資料１－２

（公印・契印省略）

総政企第79号
令和３年４月22日

統計委員会委員長
北　村　行　伸　殿

総務大臣
武　田　良　太

諮問第151号
農業経営統計調査の変更について（諮問）

標記について、令和３年４月８日付け３統計第18号により農林水産大臣から別添「基幹統計調査の変更について（申請）」のとおり申請があったところ、その承認の適否を判断するに当たり、統計法（平成19年法律第53号）第11条第２項において準用する同法第９条第４項の規定に基づき、統計委員会の意見を求める。

【資料１－２の別添】

（公印・契印省略）

３統計第１８号

令和３年４月８日

総務大臣　殿

農林水産大臣　野上　浩太郎

基幹統計調査の変更について（申請）

下記調査の変更について、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 11 条第１項に基づく承認を受けたいので、別紙申請事項記載書に関係書類を添えて、申請します。

記

農業経営統計調査

主管部課	大臣官房統計部経営・構造統計課		
事務担当者	統計管理官 北村　賢治 課長補佐 （営農類型別経営統計班） 神　朋哉	電話 e-mail 電話 e-mail	03（3502）0954 kenji_kitamura640@maff.go.jp 03（6744）2043 tomoya_kami380@maff.go.jp

別紙

申請事項記載書

1　調査の名称　農業経営統計調査

2　変更の内容

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
調査計画 1　（略） 2　調査の目的 統計法（平成19年法律第53号。以下「法」という。）に基づき、農業経営統計（法第２条第４項に規定する基幹統計）を作成し、農業経営体の経営及び農産物の生産費の実態を明らかにするとともに、農業行政の基礎資料を整備することを目的とする。 3　調査対象の範囲 （１）地域的範囲（■全国　□その他） （２）属性的範囲（□個人　■世帯　□事業所　■企業・法人・団体　□地方公共団体　□その他） 農業経営体のうち、農産物の販売を目的とする経営体（農業経営体の定義については、別添１を参照。）とし、営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）及び農畜産物の生産費統計に係る調査（以下「生産費調査」という。）の別に、次の区分とする。 ア　経営統計調査 （ア）個人経営体 世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有しない経営体 （イ）法人経営体 世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有する経営体、農事組合法人及び会社組織による経営体	調査計画 1　（略） 2　調査の目的 統計法（平成19年法律第53号。（以下「法」という。）に基づき、農業経営統計（法第２条第４項に規定する基幹統計）を作成し、農業経営体の経営及び農産物の生産費の実態を明らかにするとともに、農業行政に必要な基礎資料を得ることを目的とする。 3　調査対象の範囲 （１）地域的範囲 全国 （２）属性的範囲 農業経営体のうち、農産物の販売を目的とする経営体（農業経営体の定義については、別添１を参照。）とし、営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）及び農畜産物の生産費統計に係る調査（以下「生産費調査」という。）の別に、次の区分とする。 ア　経営統計調査 ①　「個人経営体」とは、世帯による農業経営を行う経営体のうち法人格を有しない経営体をいう。 ②　「法人経営体」とは、世帯による農業経営を行う経営体のうち法人格を有する経営体、及び農事組合法人並びに会社組織による経営体をいう。	※　承認申請マニュアルの改正に伴う形式的変更については、理由書きを省略。 表現の適正化。 農林業センサスの記述に合わせる。

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
イ　生産費調査 （ア）個別経営体 世帯による事業を行う経営体（法人格を有する経営体を含む。） （イ）組織法人経営体 個別経営体以外で農事組合法人及び会社組織による経営体	イ　生産費調査 ①　「個別経営体」とは、世帯による農業経営を行う経営体（法人格を有する経営体を含む。）をいう。 ②　「組織法人経営体」とは、「個別経営体」以外で農事組合法人及び会社組織による経営体をいう。	農林業センサスの記述に合わせる。
4　報告を求める個人又は法人その他の団体 （1）報告者数 ア　経営統計調査については、4,526経営体（母集団の大きさ：　969,279経営体） 個人経営体及び水田作（集落営農）以外の法人経営体については、2020年農林業センサスにより集められた情報を母集団とする。 法人経営体の水田作（集落営農）については、令和２年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とする。 （内訳） ○個人経営体　3,665（母集団　942,155） 水田作　768（母集団　520,198） 畑作　826（母集団　58,800） 野菜作　818（母集団　159,191） 果樹作　556（母集団　126,808） 花き作　147（母集団　19,312） 酪農　88（母集団　11,104） 肉用牛　307（母集団　25,982） 養豚　70（母集団　1,200） 採卵養鶏　15（母集団　980） ブロイラー養鶏　20（母集団　965） その他（注１）　50（母集団　17,615）	4　報告を求める個人又は法人その他の団体 （1）数 ア　経営統計調査については、4,533 個人経営体及び水田作（集落営農）以外の法人経営体については、2015年農林業センサスにより集められた情報を母集団とする。 法人経営体の水田作（集落営農）については、平成27年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とする。 （内訳） ○個人経営体　3,561（母集団　1,236,511） 水田作　742（母集団　732,052） 畑作　684（母集団　54,588） 野菜作　865（母集団　200,341） 果樹作　448（母集団　145,202） 花き作　137（母集団　25,854） 酪農　251（母集団　14,874） 肉用牛　226（母集団　33,474） 養豚　86（母集団　1,981） 採卵養鶏　45（母集団　1,425） ブロイラー養鶏　31（母集団　1,250） その他（注１）　46（母集団　25,470）	標本設計の見直しに伴う標本数の変更。 母集団情報の年次更新。
（注１）「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの13営農類型のいずれにも分類されない営農（芝、軽種馬	（注１）「その他」の情報は、経営形態別経営統計（個人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際	「その他」の例示を追加。

（競走用仔馬）、養蜂等）の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計（個人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。。	にのみ用いる。	
○法人経営体　861（母集団　27,124） 水田作（集落営農）　111（母集団　4,538） 水田作（集落営農以外）　153（母集団　3,698） 畑作　126（母集団　3,189） 野菜作　100（母集団　4,848） 果樹作　98（母集団　1,541） 花き作　65（母集団　1,113） 酪農　26（母集団　1,660） 肉用牛　38（母集団　1,612） 養豚　45（母集団　1,278） 採卵養鶏　58（母集団　892） ブロイラー養鶏　16（母集団　434） その他（注２）　25（母集団　2,321）	○法人経営体　972（母集団　22,478） 水田作（集落営農）　148（母集団　3,360） 水田作（集落営農以外）　116（母集団　3,688） 畑作　71（母集団　1,549） 野菜作　242（母集団　4,057） 果樹作　73（母集団　1,336） 花き作　51（母集団　1,186） 酪農　31（母集団　1,288） 肉用牛　71（母集団　1,168） 養豚　64（母集団　1,274） 採卵養鶏　55（母集団　968） ブロイラー養鶏　34（母集団　389） その他（注２）　16（母集団　2,215）	「その他」の例示を追加。
（注２）「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの13営農類型のいずれにも分類されない営農（芝、軽種馬（競走用仔馬）、養蜂等）の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計（法人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。	（注２）「その他」の情報は、経営形態別経営統計（法人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。	
イ　生産費調査については、3,832経営体（母集団の大きさ：848,839経営体） 2020年農林業センサスにより集められた情報を母集団とする。	イ　生産費調査については、3,967 二条大麦、六条大麦、はだか麦及びなたね以外については、2015年農林業センサスにより集められた情報を母集団とする。 二条大麦、六条大麦、はだか麦及びなたねについては、平成26年度経営所得安定対策等加入申請者情報により集められた情報を母集団とする。	標本設計の見直しによる標本数の変更。 母集団情報の年次更新。

変　更　案			変　更　前			変　更　理　由
（内訳）			（内訳）			
○個別経営体	3,385（母集団	833,033）	○個別経営体	3,692（母集団	1,077,166）	
農産物生産費統計						区分の明確化。
米生産費	818（母集団	673,743）	米生産費	810（母集団	871,831）	
小麦生産費	396（母集団	26,298）	小麦生産費	508（母集団	33,140）	
二条大麦生産費	70（母集団	6,728）	二条大麦生産費	69（母集団	6,436）	
六条大麦生産費	47（母集団	2,191）	六条大麦生産費	45（母集団	1,643）	
はだか麦生産費	38（母集団	1,097）	はだか麦生産費	40（母集団	571）	
そば生産費	112（母集団	17,354）	そば生産費	121（母集団	23,495）	
大豆生産費	398（母集団	32,769）	大豆生産費	421（母集団	42,740）	
原料用かんしょ生産費	63（母集団	2,243）	原料用かんしょ生産費	68（母集団	5,269）	
原料用ばれいしょ生産費	71（母集団	1,942）	原料用ばれいしょ生産費	75（母集団	2,337）	
なたね生産費	45（母集団	523）	なたね生産費	53（母集団	574）	
てんさい生産費	68（母集団	6,381）	てんさい生産費	70（母集団	7,160）	
さとうきび生産費	114（母集団	10,451）	さとうきび生産費	110（母集団	15,031）	
畜産物生産費統計						区分の明確化。
牛乳生産費	402（母集団	12,123）	牛乳生産費	422（母集団	16,767）	
去勢若齢肥育牛生産費	221（母集団	6,087）	去勢若齢肥育牛生産費	299（母集団	8,056）	
乳用雄肥育牛生産費	74（母集団	623）	乳用雄肥育牛生産費	84（母集団	1,184）	
交雑種肥育牛生産費	63（母集団	1,305）	交雑種肥育牛生産費	96（母集団	1,798）	
子牛生産費	208（母集団	28,390）	子牛生産費	188（母集団	35,193）	
乳用雄育成牛生産費	39（母集団	415）	乳用雄育成牛生産費	53（母集団	565）	
交雑種育成牛生産費	47（母集団	1,041）	交雑種育成牛生産費	60（母集団	1,373）	
肥育豚生産費	91（母集団	1,329）	肥育豚生産費	100（母集団	2,003）	
○組織法人経営体	447（母集団	15,806）	○組織法人経営体	275（母集団	12,540）	
農産物生産費統計						区分の明確化。
米生産費	176（母集団	9,394）	米生産費	125（母集団	7,492）	
小麦生産費	100（母集団	2,577）	小麦生産費	65（母集団	1,922）	
大豆生産費	171（母集団	3,835）	大豆生産費	85（母集団	3,126）	

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
（２）報告者の選定方法（□全数　■無作為抽出（□全数階層あり）　□有意抽出） 経営統計調査については、営農類型別及び農業経営体の種類（個人経営体及び法人経営体）ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。 生産費調査については、品目別及び農業経営体の種類（個別経営体及び組織法人経営体）ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。 詳細については、別添２のとおり。	（２）選定の方法（□全数　■無作為抽出　□有意抽出） 経営統計調査については、営農類型別及び農業経営体の種類ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により行う。 生産費調査については、品目別及び農業経営体の種類ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により行う。 詳細については、別添２のとおり。	表現の明確化。
（３）報告義務者 ア　農業経営体を代表する者は、５に掲げる事項について、配布された調査票又は電子化した調査票に記入又は入力して地方農政局等（注３）の長にその定める期日までに提出し、地方農政局等の職員若しくは統計調査員に決算書類等の書類を開示若しくは経営データを提供し、又は職員若しくは統計調査員の質問に対し口頭で回答しなければならない。 （注３）　（略） イ　農業経営体を代表する者がアに掲げる記入、入力、提出、開示、提供又は回答することができないときは、地方農政局等の職員が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者が５に掲げる事項について記入、入力、提出、開示、提供又は回答をしなければならない。	（３）報告義務者 ア　農業経営体を代表する者は、後記５に掲げる事項について、配布された調査票又は電子化した調査票に記入又は入力して地方農政局等（注３）の長にその定める期日までに提出し、地方農政局等の職員若しくは統計調査員に決算書類等の書類を開示若しくは経営データを提供し、又は職員若しくは統計調査員の質問に対し口頭で回答しなければならない。 （注３）　（略） イ　農業経営体を代表する者が前記アの記入、入力、提出、開示、提供又は回答することができないときは、地方農政局等の職員が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者が後記５に掲げる事項について記入、入力、提出、開示、提供又は回答をしなければならない。	表現の適正化。 表現の適正化。
５　報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 （１）報告を求める事項（詳細は、調査票（別添３－１から３－19まで）を参照。） ア　経営統計調査 （ア）～（サ）　（略） （シ）農業生産関連事業に関する事項	５　報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 （１）報告を求める事項（詳細は調査票（別添３－１から３－18）を参照。） ア　経営統計調査 （ア）～（サ）　（略）	営農類型別経営統計調査票（個人経営体用）に基本項目のみを把握する調査票を追加。 調査票の新旧対照表は、別添参照。 記載漏れ事項の追記。

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
なお、個人経営体のうち主業経営体及び準主業経営体(注4)並びに法人経営体においては全ての事項について報告を求め、副業的経営体(注5)においては（ア）、（イ）、（エ）及び（ク）から（サ）までの事項について報告（直接販売及び指定品目に関するものを除く。）を求める。 （注４）「主業経営体」とは、個人経営体のうち、農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる農業経営体をいう。 「準主業経営体」とは、個人経営体のうち、農外所得が主（農家所得の50%未満が農業所得）で、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる農業経営体をいう。 （注５）「副業的経営体」とは、個人経営体のうち、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない農業経営体をいう。		「選択と集中」の視点から、個人経営体の属性に応じて詳細に調査する経営体と基本項目に限定して調査する経営体を区分することにより調査経営体の負担軽減を図る。 主業・準主業・副業的の定義の明確化。
イ　（略） 〔集計しない事項の有無〕■無　□有	イ　（略）	
（２）基準となる期日又は期間 ア　（略） イ　生産費調査 生産サイクル（収穫終了月までの１年間）(注6)に基づき、農畜産物の品目ごとに次の期間とする。	（２）基準となる期日又は期間 ア　（略） イ　生産費調査 生産サイクル（収穫終了月までの１年間）(注4)に基づき、農畜産物の品目ごとに以下の期間とする。	表現の適正化。
農畜産物：米　そば　大豆　原料用かんしょ　原料用ばれいしょ　てんさい　牛乳　去勢若齢肥育牛　乳用雄肥育牛　交雑種肥育牛　子牛　乳用雄育成牛　交雑種育成牛　肥育豚 期間：毎年１月１日から12月31日	農畜産物：米　そば　大豆　原料用かんしょ　原料用ばれいしょ　てんさい　牛乳　去勢若齢肥育牛　乳用雄肥育牛　交雑種肥育牛　子牛　乳用雄育成牛　交雑種育成牛　肥育豚 対象期間：毎年１月１日から12月31日	

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
さとうきび　毎年４月１日から３月 31 日 小麦　二条大麦　六条大麦　はだか麦　なたね　毎年９月１日から８月 31 日	さとうきび　毎年４月１日から３月 31 日 小麦　二条大麦　六条大麦　はだか麦　なたね　毎年９月１日から８月 31 日	
（注６）　（略）	（注４）　（略）	
６　報告を求めるために用いる方法 （１）調査系統 ア～ウ　（略）	６　報告を求めるために用いる方法 （１）調査組織 ア～ウ　（略）	表現の適正化。
（２）調査方法 ■郵送調査　■オンライン調査（□政府統計共同利用システム　■独自のシステム　□電子メール）　■調査員調査　■その他（職員調査） 〔調査方法の概要〕 原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法（自計報告）により行う。ただし、報告者の希望により地方農政局等の職員又は統計調査員が聞き取る場合もある。	（２）調査方法（■調査員調査　■郵送調査　■オンライン調査　■その他（職員調査）） 原則として、報告者が調査票に記入する方法（自計報告）により行う。	調査方法の明確化。
ア　調査票の配布 地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。 なお、経営統計調査及び生産費調査の報告者のうち、前年から調査を継続している報告者に対しては、調査票のうち建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況等について、地方農政局等の職員が前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字する。 また、承諾が得られる報告者に対しては、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」（平成 15 年法律第 72 号）に基づき農林水産省が保有（データベースの管理は（独）家畜改良センターが実施）している牛個体識別台帳（トレーサビリティデータ）を活用し、地方農政局等の職員が牛乳生産費統計調査票における搾乳牛等の所有状況並びに子	ア　調査票の配布 地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。	あらかじめ調査票に印字することについて明確化。

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
牛生産費統計調査票及び育成牛・肥育牛生産費統計調査票における調査対象畜の取引状況をあらかじめ調査票に印字する。		
イ　調査票の提出等 次のいずれかの方法により行う。 （略）	イ　調査票の提出等 以下のいずれかの方法により行う。 （略）	表現の適正化。
7　報告を求める期間 （1）調査の周期 □１回限り　□毎月　□四半期　■１年　□２年　□３年 □５年　□不定期　□その他（　　）	7　調査の実施期間又は報告を求める期間 （1）調査の周期 １年	
（2）調査の実施期間又は調査票の提出期限 調査票は、５（２）のア又はイに掲げる期間前に配布し、提出期限については、同期間終了月の翌々月末又は報告者が税務署に確定申告した月若しくは総会等により決算報告が行われた月の翌月末までとする。	（2）調査の実施期間又は調査票の提出期限 経営統計調査の調査票は、調査期間前に配布し、提出期限については、報告者が税務署に確定申告した月又は総会等により決算報告が行われた月の翌月とする。 生産費調査の調査票は、調査期間前に配布し、提出期限については、５（２）で定める対象期間終了月の翌々月とする。	調査実施期間の明確化。
（削除）	ただし、令和元年調査については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、経営統計調査及び生産費調査（小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦及びなたねの生産費調査を除く。）ともに、上記の提出期限を４か月間延期する。	令和元年調査の対応を削除。
8　集計事項 次に掲げる集計を行う（詳細は、別添４のとおり。）。 （1）営農類型別経営統計	8　集計事項 次に掲げる集計を行う（詳細は別添４のとおり。）。 （1）営農類型別経営統計	記載の適正化。
ア　個人経営体 （ア）～（コ）　（略）	ア　個人経営体 （ア）～（コ）　（略）	
なお、個人経営体のうち主業経営体及び準主業経営体にお		５の報告を求める事項の見直

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
いては、５（１）アに掲げる全ての事項を集計し、副業的経営体においては、５（１）アの（ア）、（イ）、（エ）及び（ク）から（サ）までに掲げる事項のみ（直接販売及び指定品目に関するものを除く。）を集計する。		しに伴う集計事項の見直し。
イ　法人経営体 （ア）～（サ）　（略） （削除）	イ　法人経営体 （ア）～（サ）　（略） （シ）法人経営体のうち組織法人経営	前回の見直しに伴う経過的な措置のため廃止。
ウ　農業経営体 （ア）～（コ）　（略）	ウ　農業経営体 （ア）～（コ）　（略）	
なお、個人経営体のうち主業経営体及び準主業経営体並びに法人経営体においては、５（１）アに掲げる全ての事項を集計し、個人経営体のうち副業的経営体においては、５（１）アの（ア）、（イ）、（エ）及び（ク）から（サ）までに掲げる事項のみ（直接販売及び指定品目に関するものを除く。）を集計する。		５の報告を求める事項の見直しに伴う集計事項の見直し。
（２）～（３）　（略）	（２）～（３）　（略）	
（４）畜産物生産費統計（個別経営体） ア　牛乳生産費、イ　去勢若齢肥育牛生産費、 ウ　乳用雄肥育牛生産費、エ　交雑種肥育牛生産費、 オ　子牛生産費、カ　乳用雄育成牛生産費、 キ　交雑種育成牛生産費、ク　肥育豚生産費	（４）畜産物生産費統計 ア　個別経営体 （ア）牛乳生産費、（イ）去勢若齢肥育牛生産費、 （ウ）乳用雄肥育牛生産費、（エ）交雑種肥育牛生産費、 （オ）子牛生産費、（カ）乳用雄育成牛生産費、 （キ）交雑種育成牛生産費、（ク）肥育豚生産費	記載の適正化。
９　調査結果の公表の方法及び期日 （１）公表の方法（■e-Stat　□インターネット（e-Stat 以外） □印刷物　□閲覧） 調査結果は、e-Stat 及び農林水産省ホームページに掲載する	９　調査結果の公表の方法及び期日 （１）公表の方法 調査結果は、インターネット（農林水産省ホームページ及びe-	ニーズの低下に伴い印刷物を

<table>
<tr><th>変　更　案</th><th>変　更　前</th><th>変　更　理　由</th></tr>
<tr><td>方法により公表する。</td><td>Stat）に掲載するほか、報告書により公表する。</td><td>廃止。</td></tr>
<tr><td>（２）公表の期日
調査結果の概要は結果の集計後速やかに、その詳細は逐次公表する。詳細は、別添５のとおり。</td><td>（２）公表の期日
全国結果表の概要を結果の集計後速やかに、その詳細を逐次公表する。詳細は、別添５のとおり。</td><td>表現の適正化。</td></tr>
<tr><td>10　使用する統計基準等
□使用する　→　□日本標準産業分類　□日本標準職業分類
□その他（　　）
■使用しない
本調査では、販売を目的とする農業経営体を調査対象としているため、調査対象の範囲の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。</td><td>10　使用する統計基準
本調査では、販売を目的とする農業経営体を調査対象としているため、その画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。</td><td>表現の適正化。</td></tr>
<tr><td>11　調査票情報の保存期間及び保存責任者
<table><tr><th>関係書類名</th><th>保存期間</th><th>保存責任者</th></tr><tr><td>記入済み調査票</td><td>調査年の翌年の１月１日から起算して３年</td><td>地方農政局等の長</td></tr><tr><td>調査票の内容を記録した電磁的記録</td><td>永年</td><td>大臣官房統計部長</td></tr></table></td><td>11　調査票情報の保存期間及び保存責任者
地方農政局等の長は、個々の農業経営体に係る調査票及び当該調査票に基づき作成した調査客体別の結果（個別結果表）を収録した電磁的記録を、調査年の翌年の１月１日から起算して３年を経過する日まで保存しなければならない。
大臣官房統計部長は、個別結果表を収録した電磁的記録を永年保存する。</td><td>表形式への変更及び記載内容の整理。</td></tr>
<tr><td>12　立入検査等の対象とすることができる事項
本調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、５（１）に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。</td><td>12　立入検査等の対象とすることができる事項
本調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、前記５（１）に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。</td><td>表現の適正化。</td></tr>
</table>

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
別添１　農業経営体の定義 「農業経営体」とは、次のいずれかに該当するものをいう。 １　その経営耕地面積が 30 アール以上であること。 ２　農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が次に定める規模以上であること。 （１）露地野菜作付面積　15 アール （２）施設野菜栽培面積　350 平方メートル （３）果樹栽培面積　10 アール （４）露地花き栽培面積　10 アール （５）施設花き栽培面積　250 平方メートル （６）搾乳牛飼養頭数　１頭 （７）肥育牛飼養頭数　１頭 （８）豚飼養頭数　15 頭 （９）採卵鶏飼養羽数　150 羽 （10）ブロイラー年間出荷羽数　1,000 羽 （11）その他　調査期間の開始の日前１年間における農業生産物の総販売額が 50 万円に相当する事業の規模 別添２　報告者の選定方法　（略） 別添３　調査票　（略） 別添３－１　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目）） 別添３－２　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目）） 別添３－３　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用） 別添３－４　米生産費統計調査票（個別経営体用） 別添３－５　麦類生産費統計調査票（個別経営体用）	別添１　農業経営体の定義 「農業経営体」とは、次のいずれかに該当するものをいう。 １　その経営耕地面積が 30 アール以上であること。 ２　農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が次に定める規模以上。 （１）露地野菜作付面積　15 アール （２）施設野菜栽培面積　350 平方メートル （３）果樹栽培面積　10 アール （４）露地花き栽培面積　10 アール （５）施設花き栽培面積　250 平方メートル （６）搾乳牛飼養頭数　１頭 （７）肥育牛飼養頭数　１頭 （８）豚飼養頭数　15 頭 （９）採卵鶏飼養羽数　150 羽 （10）ブロイラー年間出荷羽数　千羽 （11）その他　調査期間の開始の日前１年間における農業生産物の総販売額が 50 万円に相当する事業の規模 別添２　報告者の選定方法　（略） 別添３　調査票　（略） 別添３－１　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用） （新設） 別添３－２　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用） 別添３－３　米生産費統計調査票（個別経営体用） 別添３－４　麦類生産費統計調査票（個別経営体用）	農林業センサスの記述に合わせる。 経営統計調査における調査事項の重点化に伴い、個人経営体用の基本項目調査票を追加。 なお、調査票様式の具体的な変更点については、別添の新旧

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
別添３－６　そば生産費統計調査票（個別経営体用）	別添３－５　そば生産費統計調査票（個別経営体用）	対照表のとおり。
別添３－７　大豆生産費統計調査票（個別経営体用）	別添３－６　大豆生産費統計調査票（個別経営体用）	
別添３－８　原料用かんしょ生産費統計調査票（個別経営体用）	別添３－７　原料用かんしょ生産費統計調査票（個別経営体用）	
別添３－９　原料用ばれいしょ生産費統計調査票（個別経営体用）	別添３－８　原料用ばれいしょ生産費統計調査票（個別経営体用）	
別添３－10　なたね生産費統計調査票（個別経営体用）	別添３－９　なたね生産費統計調査票（個別経営体用）	
別添３－11　てんさい生産費統計調査票（個別経営体用）	別添３－10　てんさい生産費統計調査票（個別経営体用）	
別添３－12　さとうきび生産費統計調査票（個別経営体用）	別添３－11　さとうきび生産費統計調査票（個別経営体用）	
別添３－13　米生産費統計調査票（組織法人経営体用）	別添３－12　米生産費統計調査票（組織法人経営体用）	
別添３－14　小麦生産費統計調査票（組織法人経営体用）	別添３－13　小麦生産費統計調査票（組織法人経営体用）	
別添３－15　大豆生産費統計調査票（組織法人経営体用）	別添３－14　大豆生産費統計調査票（組織法人経営体用）	
別添３－16　牛乳生産費統計調査票	別添３－15　牛乳生産費統計調査票	
別添３－17　子牛生産費統計調査票	別添３－16　子牛生産費統計調査票	
別添３－18　育成牛・肥育牛生産費統計調査票	別添３－17　育成牛・肥育牛生産費統計調査票	
別添３－19　肥育豚生産費統計調査票	別添３－18　肥育豚生産費統計調査票	

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
別添４　農業経営統計調査の集計事項一覧	別添４　農業経営統計調査の集計事項一覧	
目次	目次	
Ⅰ　営農類型別経営統計 １　個人経営体（基本項目） （１）～（10）　（略）	Ⅰ　営農類型別経営統計 １　個人経営体 （１）～（10）　（略）	報告を求める事項の見直しに伴う集計事項の見直し。
２　個人経営体（詳細項目） （１）水田作経営 （２）畑作経営 （３）野菜作経営 （４）果樹作経営 （５）花き作経営 （６）酪農経営 （７）肉用牛経営 （８）養豚経営 （９）採卵養鶏経営 （10）ブロイラー養鶏経営	（新設）	
３　法人経営体 （１）～（10）　（略） （削除）	２　法人経営体 （１）～（10）　（略） （11）法人経営体のうち組織法人経営	旧体系との接続のための集計を廃止。
４　農業経営体（基本項目） （１）～（10）　（略）	３　農業経営体 （１）～（10）　（略）	
Ⅱ　経営形態別経営統計 １　個人経営体 （１）全国年次別統計表 （２）全国農業地域別統計表	（新設）	記載の適正化。

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
（３）農業の主副業別統計表 （４）農業地域類型別統計表 （５）認定農業者のいる経営体の経営収支 （６）農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支 ２　法人経営体 （１）全国年次別統計表 （２）全国農業地域別統計表 （３）農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支 （４）法人経営体のうち組織法人経営体 （５）法人経営体のうち個別法人経営体 ３　農業経営体 （１）全国年次別統計表 （２）全国農業地域別統計表 （３）農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支		
Ⅲ　農産物生産費統計 １　個別経営体 （１）～（12）　（略） （削除） ２　組織法人経営体 （１）～（３）　（略）	Ⅱ　農畜産物生産費統計 １　個別経営体 （１）～（12）　（略） （13）牛乳生産費 （14）去勢若齢肥育牛生産費 （15）乳用雄肥育牛生産費 （16）交雑種肥育牛生産費 （17）子牛生産費 （18）乳用雄育成牛生産費 （19）交雑種育成牛生産費 （20）肥育豚生産費 ２　組織法人経営体 （１）～（３）　（略）	記載の細分化（Ⅳも同じ。） 記載の適正化

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
Ⅳ　畜産物生産費統計（個別経営体） １　牛乳生産費 ２　去勢若齢肥育牛生産費 ３　乳用雄肥育牛生産費 ４　交雑種肥育牛生産費 ５　子牛生産費 ６　乳用雄育成牛生産費 ７　交雑種育成牛生産費 ８　肥育豚生産費	（新設）	
（削除）	Ⅲ　経営形態別経営統計 １　個人経営体 （１）全国年次別統計表 （２）全国農業地域別統計表 （３）農業の主副業別統計表 （４）農業地域類型別統計表 （５）認定農業者のいる経営体の経営収支 （６）農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支 ２　法人経営体 （１）全国年次別統計表 （２）全国農業地域別統計表 （３）農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支 （４）法人経営体のうち組織法人経営体 （５）法人経営体のうち個別法人経営体 ３　農業経営体 （１）全国年次別統計表 （２）全国農業地域別統計表 （３）農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支	記載の適正化。

変　更　案

区　分	階層の種類	表章地域の範囲 全国	表章地域の範囲 北海道・都府県別	表章地域の範囲 農業地域別	備　考
Ⅰ　営農類型別経営統計					調査対象経営体のうち、調査期間（５（２）に掲げる期間をいう。以下同じ。）に廃業等により調査不能となった経営体を除く経営体を集計の対象とする。（Ⅱにおいても同様）
1　個人経営体（基本項目）					
(1) 水田作経営					
（略）					
(2) 畑作経営					
ア・イ　（略）					
ウ　麦類作経営	（削除）	×	○＃	×	※　北海道のみ
エ　大豆作経営	（削除）	×	○＃	×	※　〃
オ　ばれいしょ作経営	（削除）	×	○＃	×	※　〃
カ　てんさい作経営	（削除）	×	○＃	×	※　〃
キ　茶作経営	（削除）	×	○＃	×	※　都府県のみ
ク　さとうきび作経営		×	○＃	×	※　〃
ケ　かんしょ作経営	（削除）	×	○＃	×	※　〃
(3) 野菜作経営					
ア　（略）					
イ　露地野菜作経営					
（ア）～（エ）　（略）					
（削除）					
（削除）					
（削除）					
（削除）					
（削除）					
（削除）					
（削除）					
（削除）					
（削除）					
（削除）					
（削除）					

変　更　前

区　分	階層の種類	表章地域の範囲 全国	表章地域の範囲 北海道・都府県別	表章地域の範囲 農業地域別	備　考
Ⅰ　営農類型別経営統計					
1　個人経営体					
(1) 水田作経営					
（略）					
(2) 畑作経営					
ア・イ　（略）					
ウ　麦類作経営	麦類作作付面積	×	◎＃	×	※　北海道のみ
エ　大豆作経営	大豆作作付面積	×	◎＃	×	※　〃
オ　ばれいしょ作経営	ばれいしょ作作付面積	×	◎	○＊	※　関東・東山、九州のみ
カ　てんさい作経営	てんさい作作付面積	×	◎＃	×	※　北海道のみ
キ　茶作経営	茶摘採面積	×	◎＊1	○＊1	※1　都府県のみ ※2　関東・東山、東海、近畿、九州のみ
ク　さとうきび作経営		×	○＊1	○＊1	※1　都府県のみ ※2　九州、沖縄のみ
ケ　かんしょ作経営	かんしょ作作付面積	×	◎＊1	○＊1	※1　都府県のみ ※2　関東・東山、九州のみ
(3) 野菜作経営					
ア　（略）					
イ　露地野菜作経営					
（ア）～（エ）　（略）					
（オ）露地きゅうり作経営		○	×	×	
（カ）露地大玉トマト作経営		○	×	×	
（キ）露地なす作経営		○	×	×	
（ク）露地キャベツ作経営		○	×	×	
（ケ）露地ほうれんそう作経営		○	×	×	
（コ）露地たまねぎ作経営		○	×	×	
（サ）露地レタス作経営		○	×	×	
（シ）露地はくさい作経営		○	×	×	
（ス）露地白ねぎ作経営		○	×	×	
（セ）露地だいこん作経営		○	×	×	
（ソ）露地にんじん作経営		○	×	×	

変　更　理　由

集計対象となる経営体を記載（以下、各統計とも同じ。）。

報告を求める事項の見直しに伴い集計事項を変更。

階層別の利活用がないことから、平均値の表章に変更。

部門別（オ）～（ソ）は、詳細項目で集計。

変　更　案

区　分	階層の種類	表章地域の範囲 全国	表章地域の範囲 北海道・都府県別	表章地域の範囲 農業地域別	備　考
ウ 施設野菜作経営					
（ア）～（エ）　（略）					
(削除)					
(削除)					
(削除)					
(削除)					
(4) 果樹作経営					
ア ～ ウ　（略）					
(削除)					
(削除)					
(削除)					
(削除)					
(削除)					
(削除)					
(削除)					
(削除)					
(削除)					
(削除)					
(削除)					
(5) 花き作経営					
ア・イ　（略）					
ウ 施設花き作経営					
（ア）～（オ）　（略）					
(削除)					
(6) 酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	◎	◎	○	
(7) 肉用牛経営					
ア 肉用牛経営	月平均肉用牛飼養頭数	◎	◎※	○	※ 北海道は平均値のみ
イ 繁殖牛経営	月平均繁殖雌牛飼養頭数	◎	◎※	○	※ 北海道は平均値のみ
ウ 肥育牛経営					
（ア）肥育牛経営	月平均肥育牛飼養頭数	◎	◎※	○	※ 北海道は平均値のみ
（イ）・（ウ）　（略）					
(8) 養豚経営	月平均豚飼養頭数	◎	◎※	○	※ 北海道は平均値のみ

変　更　前

区　分	階層の種類	表章地域の範囲 全国	表章地域の範囲 北海道・都府県別	表章地域の範囲 農業地域別	備　考
ウ 施設野菜作経営					
（ア）～（エ）　（略）					
(オ) 施設きゅうり作経営		○	×	×	
(カ) 施設大玉トマト作経営		○	×	×	
(キ) 施設ミニトマト作経営		○	×	×	
(ク) 施設なす作経営		○	×	×	
(4) 果樹作経営					
ア ～ ウ　（略）					
エ りんご作経営	りんご栽植面積	◎	×	○※	※ 東北、関東・東山のみ
オ 露地温州みかん作経営	露地温州みかん栽植面積	◎	×	○※	※ 東海、近畿、中国、四国、九州のみ
カ 露地ぶどう作経営	露地ぶどう栽植面積	◎	×	○※	※ 東北、関東・東山、中国、九州のみ
キ 日本なし作経営	日本なし栽植面積	◎	×	○※	※ 東北、関東・東山、東海、中国、九州のみ
ク もも作経営	もも栽植面積	◎	×	○※	※ 東北、関東・東山、近畿、中国のみ
ケ 施設温州みかん作経営		○	×	×	
コ 施設ぶどう作経営		○	×	×	
サ かき作経営		○	×	×	
シ うめ作経営		○	×	×	
ス おうとう作経営		○	×	×	
セ キウイフルーツ作経営		○	×	×	
ソ すもも作経営		○	×	×	
(5) 花き作経営					
ア・イ　（略）					
ウ 施設花き作経営					
（ア）～（オ）　（略）					
(カ) 施設ばら作経営		○	×	×	
(6) 酪農経営	搾乳牛飼養頭数	◎	◎	○	
(7) 肉用牛経営					
ア 肉用牛経営	肉用牛飼養頭数	◎	◎※	○	※ 北海道は平均値のみ
イ 繁殖牛経営	繁殖雌牛飼養頭数	◎	◎※	○	※ 北海道は平均値のみ
ウ 肥育牛経営					
（ア）肥育牛経営	肥育牛飼養頭数	◎	◎※	○	※ 北海道は平均値のみ
（イ）・（ウ）　（略）					
(8) 養豚経営	肥育豚飼養頭数	◎	◎※	○	※ 北海道は平均値のみ

変　更　理　由

部門別（オ）～（ク）は、詳細項目で集計。

部門別エ～ソは、詳細項目で集計。

部門別（カ）は、詳細項目で集計。

変　更　案

区　分	階層の種類	表章地域の範囲 全国	表章地域の範囲 北海道・都府県別	表章地域の範囲 農業地域別	備考
(9) 採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	年間ブロイラー出荷羽数	◎	×	×	
2 個人経営体（詳細項目）					
(1) 水田作経営		○	○	○	
(2) 畑作経営		○	○	○	
ア ばれいしょ作経営(部門)		×	○	○※1	※ 関東・東山、九州のみ
イ 茶作経営(部門)		×	○※1	○※1,2	※1 都府県のみ ※2 関東・東山、東海、近畿、九州のみ
ウ かんしょ作経営(部門)		×	○※1	○※1,2	※1 都府県のみ ※2 関東・東山、九州のみ
(3) 野菜作経営					
ア 野菜作経営		○	○	○	
イ 露地野菜作経営		○	○	○	
(ア) 露地きゅうり作経営(部門)		○	×	×	
(イ) 露地大玉トマト作経営(部門)		○	×	×	
(ウ) 露地なす作経営(部門)		○	×	×	
(エ) 露地キャベツ作経営(部門)		○	×	×	
(オ) 露地ほうれんそう作経営(部門)		○	×	×	
(カ) 露地たまねぎ作経営(部門)		○	×	×	
(キ) 露地レタス作経営(部門)		○	×	×	
(ク) 露地はくさい作経営(部門)		○	×	×	
(ケ) 露地白ねぎ作経営(部門)		○	×	×	
(コ) 露地だいこん作経営(部門)		○	×	×	
(サ) 露地にんじん作経営(部門)		○	×	×	
ウ 施設野菜作経営		○	○	○	
(ア) 施設きゅうり作経営(部門)		○	×	×	
(イ) 施設大玉トマト作経営(部門)		○	×	×	
(ウ) 施設ミニトマト作経営(部門)		○	×	×	
(エ) 施設なす作経営(部門)		○	×	×	

変　更　前

区　分	階層の種類	表章地域の範囲 全国	表章地域の範囲 北海道・都府県別	表章地域の範囲 農業地域別	備考
(9) 採卵養鶏経営	採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	ブロイラー販売羽数	◎	×	×	
（新設）					

変　更　理　由

報告を求める事項の見直しに伴い集計事項を追加。

変　更　案

区　分	階層の種類	表章地域の範囲 全国	北海道・都府県別	農業地域別	備考
(4) 果樹作経営		○	○	○	
ア りんご作経営(部門)		○	×	○※	※ 東北、関東・東山のみ
イ 露地温州みかん作経営(部門)		○	×	○※	※ 東海、近畿、中国、四国、九州のみ
ウ 露地ぶどう作経営(部門)		○	×	○※	※ 東北、関東・東山、中国、九州のみ
エ 日本なし作経営(部門)		○	×	○※	※ 東北、関東・東山、東海、中国、九州のみ
オ もも作経営(部門)		○	×	○※	※ 東北、関東・東山、近畿、中国のみ
カ 施設温州みかん作経営(部門)		○	×	×	
キ 施設ぶどう作経営(部門)		○	×	×	
ク かき作経営(部門)		○	×	×	
ケ うめ作経営(部門)		○	×	×	
コ おうとう作経営(部門)		○	×	×	
サ キウイフルーツ作経営(部門)		○	×	×	
シ すもも作経営(部門)		○	×	×	
(5) 花き作経営					
ア 花き作経営		○	×	×	
イ 露地花き作経営		○	×	×	
ウ 施設花き作経営		○	×	×	
(ア) 施設ばら作経営(部門)		○	×	×	
(6) 酪農経営		○	○	○	
(7) 肉用牛経営					
ア 肉用牛経営		○	○	○	
イ 繁殖牛経営		○	○	○	
ウ 肥育牛経営		○	○	○	
(8) 養豚経営		○	○	○	
(9) 採卵養鶏経営		○	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営		○	×	×	
3 法人経営体					
(1) 水田作経営					
ア ～ ケ (略)					
コ 水田作経営のうち集落営農組織法人					
(ア) 水田作経営のうち集落営農組織法人	水田作作付延べ面積	◎	○※1	○※2	※1 都府県のみ ※2 東北、北陸のみ

変　更　前

区　分	階層の種類	表章地域の範囲 全国	北海道・都府県別	農業地域別	備考
2 法人経営体					
(1) 水田作経営					
ア ～ ケ (略)					
コ 水田作経営のうち集落営農組織法人					
(ア) 水田作経営のうち集落営農組織法人	水田作作付延べ面積	◎	○※	○	※ 都府県のみ

変　更　理　由

前ページの続き。

農業地域別の表章を主要地域に限定。

変　更　案

区　分	階層の種類	表章地域の範囲 全国	表章地域の範囲 北海道・都府県別	表章地域の範囲 農業地域別	備　考
（イ）～（カ）（略）					
（キ）大豆作経営	大豆作作付面積	◎	×	×	
（ク）（略）					
(2) 畑作経営					
ア （略）					
イ 麦類作経営	（削除）	×	○※	×	※ 北海道のみ
ウ 大豆作経営	（削除）	×	○※	×	※ 〃
エ ばれいしょ作経営	（削除）	×	○※	×	※ 〃
オ てんさい作経営	（削除）	×	○※	×	※ 〃
カ 茶作経営	（削除）	×	○※	×	※ 都府県のみ
キ （略）					
ク かんしょ作経営	（削除）	×	○※	×	※ 〃
(3) ～ (5) （略）					
(6) 酪農経営	年平均搾乳牛飼養頭数	◎	◎	×	
(7) 肉用牛経営					
ア 肉用牛経営	年平均肉用牛飼養頭数	◎	×	×	
イ 繁殖牛経営	年平均繁殖雌牛飼養頭数	◎	×	×	
ウ 肥育牛経営	年平均肥育牛飼養頭数	◎	×	×	
(8) 養豚経営	年平均豚飼養頭数	◎	×	×	
(9) 採卵養鶏経営	年平均採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	年間ブロイラー出荷羽数	◎	×	×	
（削除）					

変　更　前

区　分	階層の種類	表章地域の範囲 全国	表章地域の範囲 北海道・都府県別	表章地域の範囲 農業地域別	備　考
（イ）～（カ）（略）					
（キ）白大豆作経営	白大豆作作付面積	◎	×	×	
（ク）（略）					
(2) 畑作経営					
ア （略）					
イ 麦類作経営	麦類作作付面積	×	◎※	×	※ 北海道のみ
ウ 大豆作経営	大豆作作付面積	×	◎※	×	※ 〃
エ ばれいしょ作経営	ばれいしょ作作付面積	×	◎※	×	※ 〃
オ てんさい作経営	てんさい作作付面積	×	◎※	×	※ 〃
カ 茶作経営	茶栽植面積	×	◎※	×	※ 都府県のみ
キ （略）					
ク かんしょ作経営	かんしょ作作付面積	×	◎※	×	※ 〃
(3) ～ (5) （略）					
(6) 酪農経営	搾乳牛飼養頭数	◎	◎	×	
(7) 肉用牛経営					
ア 肉用牛経営	肉用牛飼養頭数	◎	×	×	
イ 繁殖牛経営	繁殖雌牛飼養頭数	◎	×	×	
ウ 肥育牛経営	肥育牛飼養頭数	◎	×	×	
(8) 養豚経営	肥育豚飼養頭数	◎	×	×	
(9) 採卵養鶏経営	採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	ブロイラー販売羽数	◎	×	×	
(11) 法人経営体のうち組織法人経営					
ア 水田作経営	水田作作付延べ面積	◎	×	○※	※ 東北、北陸のみ
イ 畑作経営					
(ア) 畑作経営	畑作作付延べ面積	◎	○※	×	※ 北海道のみ
(イ) 茶作単一経営		○	×	×	
ウ 野菜作経営					
(ア) 野菜作経営		○	×	×	
(イ) 露地野菜作経営		○	×	×	
(ウ) 施設野菜作経営		○	×	×	
エ 果樹作経営		○	×	×	

変　更　理　由

階層別の利活用がないことから、平均値の表章に変更。

旧体系との接続のための集計を廃止。

変　更　案

区　分	階層の種類	表章地域の範囲 全国	表章地域の範囲 北海道・都府県別	表章地域の範囲 農業地域別	備　考
4　農業経営体（基本項目）					
(1) 水田作経営					
（略）					
(2) 畑作経営					
ア　（略）					
イ　麦類作経営	（削除）	×	○※	×	※　北海道のみ
ウ　大豆作経営	（削除）	×	○※	×	※　〃
エ　ばれいしょ作経営	（削除）	×	○※	×	※　〃
オ　てんさい作経営	（削除）	×	○※	×	※　〃
カ　茶作経営	（削除）	×	○※	×	※　都府県のみ
キ　（略）					
ク　かんしょ作経営	（削除）	×	○※	×	※　〃
(3) ～ (5)　（略）					
(6) 酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	◎	◎	×	
(7) 肉用牛経営					
ア　肉用牛経営	月平均肉用牛飼養頭数	◎	×	×	
イ　繁殖牛経営	月平均繁殖雌牛飼養頭数	◎	×	×	
ウ　肥育牛経営	月平均肥育牛飼養頭数	◎	×	×	
(8) 養豚経営	月平均豚飼養頭数	◎	×	×	

変　更　前

区　分	階層の種類	表章地域の範囲 全国	表章地域の範囲 北海道・都府県別	表章地域の範囲 農業地域別	備　考
オ　花き作経営					
（ア）花き作経営		○	×	×	
（イ）露地花き作経営		○	×	×	
（ウ）施設花き作経営		○	×	×	
カ　酪農経営		○	×	×	
キ　肉用牛経営					
（ア）肉用牛経営		○	×	×	
（イ）繁殖牛経営		○	×	×	
（ウ）肥育牛経営		○	×	×	
ク　養豚経営		○	×	×	
ケ　採卵養鶏経営		○	×	×	
コ　ブロイラー養鶏経営		○	×	×	
3　農業経営体					
(1) 水田作経営					
（略）					
(2) 畑作経営					
ア　（略）					
イ　麦類作経営	麦類作作付面積	×	◎※	×	※　北海道のみ
ウ　大豆作経営	大豆作作付面積	×	◎※	×	※　〃
エ　ばれいしょ作経営	ばれいしょ作作付面積	×	◎※	×	※　〃
オ　てんさい作経営	てんさい作作付面積	×	◎※	×	※　〃
カ　茶作経営	茶栽培面積	×	◎※	×	※　都府県のみ
キ　（略）					
ク　かんしょ作経営	かんしょ作作付面積	×	◎※	×	※　〃
(3) ～ (5)　（略）					
(6) 酪農経営	搾乳牛飼養頭数	◎	◎	×	
(7) 肉用牛経営					
ア　肉用牛経営	肉用牛飼養頭数	◎	×	×	
イ　繁殖牛経営	繁殖雌牛飼養頭数	◎	×	×	
ウ　肥育牛経営	肥育牛飼養頭数	◎	×	×	
(8) 養豚経営	肥育豚飼養頭数	◎	×	×	

変　更　理　由

個人経営体の報告事項の見直しに伴い基本項目の集計に変更。

個人経営体及び法人経営体の表章の変更を踏まえて、平均値の表章に変更。

用語の明確化。

変　更　案

区　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
(9) 採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	年間ブロイラー出荷羽数	◎	×	×	
Ⅱ　経営形態別経営統計					
1　個人経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3) 農業の主副業別統計表		○	○	○	
(4) 農業地域類型別統計表		○	×	×	
(5) 販定農業者のいる経営体の経営収支		○	○	×	
(6) 農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支		○	×	×	
2　法人経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3) 農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支		○	×	×	
(4) 法人経営体のうち組織法人経営体					
ア　全国年次別統計表		○	×	×	
イ　農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支		○	×	×	
(5) 法人経営体のうち個別法人経営体					
ア　全国年次別統計表		○	×	×	
イ　農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支		○	×	×	
3　農業経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3) 農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支		○	×	×	

変　更　前

区　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
(9) 採卵養鶏経営	採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	ブロイラー販売羽数	◎	×	×	
(新設)					

変　更　理　由

記載の適正化。

変　更　案

区　分	階層の種類	表章地域の範囲 全　国	表章地域の範囲 北海道・都府県別	表章地域の範囲 農業地域別	備　考
Ⅲ　農産物生産費統計					調査対象経営体のうち、調査期間に脱落等により調査不能となった経営体及び調査対象品目収穫皆無となった経営体を除く経営体を集計の対象とし、このうち、調査期間の調査対象品目の生産実績が別紙２の別表第２の分類基準に該当しなかった経営体並びに過去５年間の10アール当たり収量のうち最高及び最低の年を除いた３年間の10アール当たり平均収量（平年作）に対する調査年の10アール当たり収量の増減が基準（米については±20%、米以外の農産物については±70%）以上の経営体を除く経営体を対象とした集計を行う。 更に、全ての集計対象経営体を対象とした集計（全国のみ）も、併せて行う。
１　個別経営体					
(1)　米生産費	食用米作付面積	◎	◎	◎	府県別平均値についても表章
(2) ～ (11)　(略)					
(12)　さとうきび生産費	さとうきび収穫面積	◎	×	×	鹿児島及び沖縄平均値についても表章
(削除)					
(削除)					
(削除)					
(削除)					
(削除)					
(削除)					
(削除)					
(削除)					
２　組織法人経営体 (略)					
Ⅳ　畜産物生産費統計（個別経営体）					調査対象経営体のうち、調査期間に脱落等により調査不能となった経営体及び調査期間の調査対象畜の飼養実績が別紙２の別表第２の分類基準に該当しなかった経営体を除く経営体を集計の対象とする。
１　牛乳生産費	搾乳牛飼養頭数	◎	◎	○	

変　更　前

区　分	階層の種類	表章地域の範囲 全　国	表章地域の範囲 北海道・都府県別	表章地域の範囲 農業地域別	備　考
Ⅱ　農畜産物生産費統計					
１　個別経営体					
(1)　米生産費	食用米作付面積	◎	◎	◎	その他、府県別平均値を表章
(2) ～ (11)　(略)					
(12)　さとうきび生産費	さとうきび収穫面積	◎	×	×	その他、鹿児島及び沖縄平均値を表章
(13)　牛乳生産費	搾乳牛飼養頭数	◎	◎	○	
(14)　去勢若齢肥育牛生産費	去勢若齢肥育牛飼養頭数	◎	○※	○	※　北海道のみ
(15)　乳用雄肥育牛生産費	乳用雄肥育牛飼養頭数	◎	○※	○	〃
(16)　交雑種肥育牛生産費	交雑種肥育牛飼養頭数	◎	○※	○	〃
(17)　子牛生産費	繁殖雌牛飼養頭数	◎	○※	○	〃
(18)　乳用雄育成牛生産費	乳用雄育成牛飼養頭数	◎	○※	○	〃
(19)　交雑種育成牛生産費	交雑種育成牛飼養頭数	◎	○※	○	〃
(20)　肥育豚生産費	肉豚飼養頭数	◎	○※	○	〃
２　組織法人経営体 (略)					
(新設)					

変　更　理　由

記載の細分化（Ⅳも同じ。）。

用語の修正。

記載の適正化。

変　更　案

区　分	階層の種類	表章地域の範囲 全　国	北海道・都府県別	農業地域別	備　考
2　去勢若齢肥育牛生産量	去勢若齢肥育牛飼養頭数	◎	○※	○	※　北海道のみ
3　乳用雄肥育牛生産量	乳用雄肥育牛飼養頭数	◎	○※	○	※　〃
4　交雑種肥育牛生産量	交雑種肥育牛飼養頭数	◎	○※	○	※　〃
5　子牛生産量	繁殖雌牛飼養頭数	◎	○※	○	※　〃
6　乳用雄育成牛生産量	乳用雄育成牛飼養頭数	◎	○※	○	※　〃
7　交雑種育成牛生産量	交雑種育成牛飼養頭数	◎	○※	○	※　〃
8　肥育豚生産量	肉豚飼養頭数	◎	○※	○	※　〃
（削除）					

変　更　前

区　分	階層の種類	表章地域の範囲 全　国	北海道・都府県別	農業地域別	備　考
Ⅲ　経営形態別経営統計					
1　個人経営体					
(1)　全国年次別統計表		○	×	×	
(2)　全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3)　農業の主副業別統計表		○	○	○	
(4)　農業地域類型別統計表		○	×	×	
(5)　想定農業者のいる経営体の経営収支		○	○	×	
(6)　農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支		○	×	×	
2　法人経営体					
(1)　全国年次別統計表		○	×	×	
(2)　全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3)　農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支		○	×	×	
(4)　法人経営体のうち組織法人経営					
ア　全国年次別統計表		○	×	×	
イ　全国農業地域別統計表		○	○	○	
ウ　農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支		○	×	×	
(5)　法人経営体のうち個別法人経営体		○	×	×	
3　農業経営体					
(1)　全国年次別統計表		○	×	×	
(2)　全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3)　農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支		○	×	×	

変　更　理　由

記載の適正化。

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由

別添５　農業経営統計調査の公表時期

統　　計	公表時期	
	概要	詳細
営農類型別経営統計		
個人経営体 法人経営体 農業経営体	翌年12月まで	翌々年３月まで
農畜産物生産費統計（個別経営体）		
米	翌年10月まで	翌々年３月まで
小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね	翌年６月まで	翌々年３月まで
そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい さとうきび	翌年８月まで	翌々年３月まで

別添５　農業経営統計調査の公表時期

統　　計	公表時期	
	概要	詳細
営農類型別経営統計		
個人経営体 法人経営体 農業経営体	翌年10月（ただし、令和元年調査の結果は、令和３年２月）	翌々年３月頃（ただし、令和元年調査の結果は、令和３年７月頃）
農畜産物生産費統計（個別経営体）		
米	翌年10月（ただし、令和元年調査の結果は令和３年２月）	翌々年３月頃（ただし、令和元年調査の結果は、令和３年７月頃）
小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦	翌年６月	翌々年３月頃
そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ	翌年８月（ただし、令和元年調査の結果は、令和２年12月）	翌々年３月頃（ただし、令和元年調査の結果は、令和３年７月頃）
なたね	翌年６月	翌々年３月頃
てんさい	翌年７月（ただし、令和元年調査の結果は、令和２年11月）	翌々年３月頃（ただし、令和元年調査の結果は、令和３年７月頃）
さとうきび	翌年８月（た	翌々年３月頃

公表時期の変更について、営農類型別経営統計及び畜産物生産費統計の概要は調査の実態に合わせて後ろ倒しにするとともに、てんさい生産費は他の畑作物生産費との整合を図り統一化。

なお、公表時期の変更に伴う利活用への支障は生じないことを確認。

公表時期の表現の適正化。

令和元年調査に限定した記述を削除。

変　更　案				変　更　前				変　更　理　由
						だし、令和元年調査の結果は、令和２年12月）	（ただし、令和元年調査の結果は、令和３年７月頃）	
	牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚	翌年12月まで	翌々年３月まで		牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚	翌年10月（ただし、令和元年調査の結果は、令和３年２月）	翌々年３月頃（ただし、令和元年調査の結果は、令和３年７月頃）	
農産物生産費統計（組織法人経営体）				農産物生産費統計（組織法人経営体）				
	米	翌年10月まで	翌々年３月まで		米	翌年10月（ただし、令和元年調査の結果は令和３年２月）	翌々年３月頃（ただし、令和元年調査の結果は、令和３年７月頃）	
	小麦	翌年６月まで	翌々年３月まで		小麦	翌年６月	翌々年３月頃	
	大豆	翌年８月まで	翌々年３月まで		大豆	翌年８月（ただし、令和元年調査の結果は、令和２年12月）	翌々年３月頃（ただし、令和元年調査の結果は、令和３年７月頃）	

別添

農業経営統計調査　調査票新旧対照表

ページ

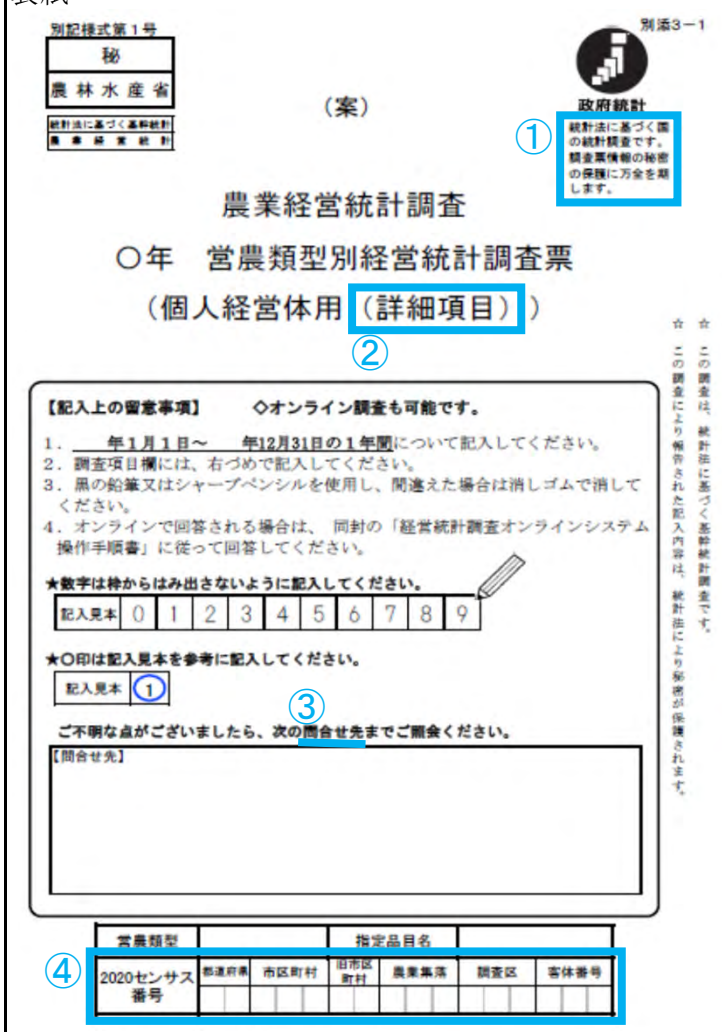
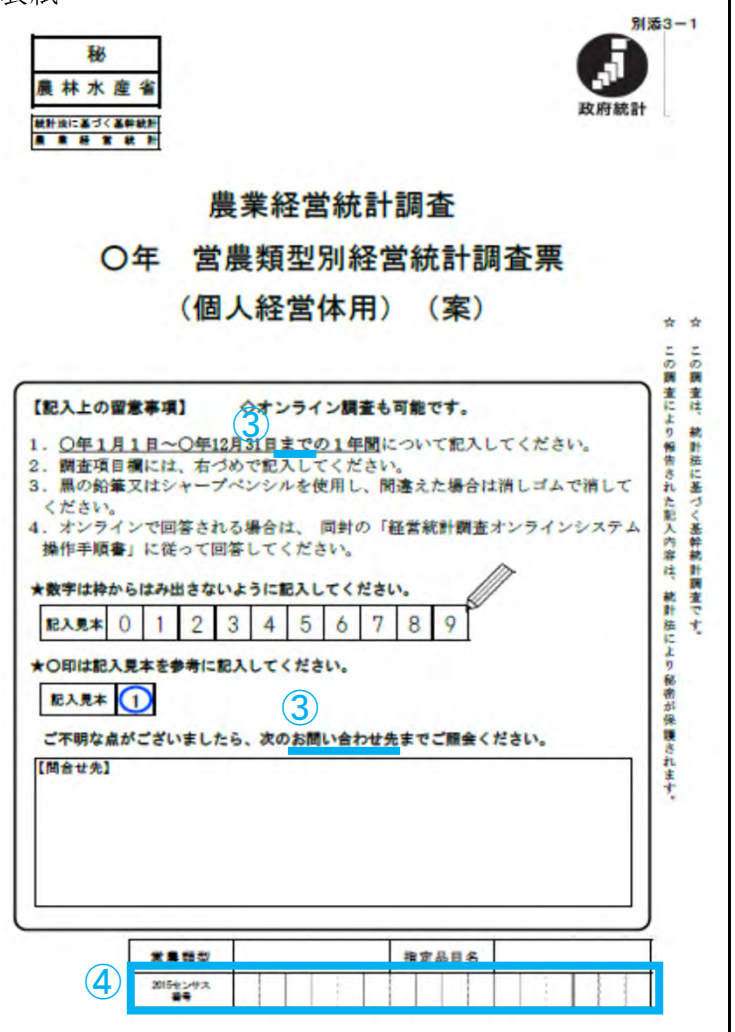
（営農類型別経営統計）
1　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））……………………………… 1
2　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））……………………………… 18
3　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）……………………………………… 30

（農産物生産費統計）
4　米生産費統計調査票（個別経営体用）……………………………………………… 45
5　麦類生産費統計調査票（個別経営体用）…………………………………………… 56
6　さとうきび生産費統計調査票（個別経営体用）…………………………………… 58
7　米生産費統計調査票（組織法人経営体用）………………………………………… 59

（畜産物生産費統計）
8　牛乳生産費統計調査票……………………………………………………………… 60
9　子牛生産費統計調査票……………………………………………………………… 70
（全部で70ページ）

農産物生産費統計の調査票に共通する変更は「４　米生産費統計調査票（個別経営体用）」において、畜産物生産費統計の調査票に共通する変更は「８　牛乳生産費統計調査票」において、それぞれその旨を記載した。

1　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））

新	旧	変更点及び理由
表紙  別記様式第１号 秘 農林水産省 統計法に基づく基幹統計 農業経営統計 別添３－１ 政府統計 ① 統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。 （案） 農業経営統計調査 ○年　営農類型別経営統計調査票 （個人経営体用（詳細項目）） ② 【記入上の留意事項】　◇オンライン調査も可能です。 １．　年１月１日～　年12月31日の１年間について記入してください。 ２．調査項目欄には、右づめで記入してください。 ３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。 ４．オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 記入見本　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ★○印は記入見本を参考に記入してください。 記入見本　① ③ ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。 【問合せ先】 ☆　この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。 ☆　この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。 ④ 営農類型　　指定品目名 2020センサス番号　都道府県　市区町村　旧市区町村　農業集落　調査区　客体番号	表紙  別添３－１ 秘 農林水産省 統計法に基づく基幹統計 農業経営統計 政府統計 農業経営統計調査 ○年　営農類型別経営統計調査票 （個人経営体用）　（案） 【記入上の留意事項】　◇オンライン調査も可能です。 ③ １．○年１月１日～○年12月31日までの１年間について記入してください。 ２．調査項目欄には、右づめで記入してください。 ３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。 ４．オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 記入見本　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ★○印は記入見本を参考に記入してください。 記入見本　① ③ ご不明な点がございましたら、次のお問い合わせ先までご照会ください。 【問合せ先】 ☆　この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。 ☆　この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。 ④ 営農類型　　指定品目名 2015センサス番号	①　他の調査票と統一する。 ②　「選択と集中」の視点から、個人経営体の属性に応じて詳細に調査する経営体と基本項目に限定して調査する経営体を区分することにより調査経営体の負担軽減を図る。 　このことにより、本調査票を営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））とする。 ③　使用している用語を、他の調査票と統一する。 ④　センサス調査年を更新するとともに、記入する16桁の番号に間違いが生じないようにするため、ヘッダとして都道府県、市区町村、旧市区町村、農業集落、調査区、客体番号を記載する。

1　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））（続き）

新

【はじめに】

【はじめに】
調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
本調査票の記入に際しては、次の点に留意してください。
○　損益計算書に係る記入欄は、青色申告決算書（農業所得用）の科目と同じ配列となっており、他の様式から転記する場合は、記入欄の配列が異なりますので該当する科目の記入欄へ転記してください。
○　営農の種類（畑作、酪農等）や農業以外に事業を行っているかどうかにより、記入する欄が異なる場合があります。

1　調査票の構成 ①

区　分	説　明	対応ページ
【１】現況（共通項目）	青色申告の申請状況、農業従事者の状況等について記入してください。	3
【２】損益計算書	農業の収入や支出の状況について転記してください。	４、５
【３】貸借対照表	資産や負債の状況について転記又は記入してください。	６、７
【４】事業収支の概要	農業以外も含めた全ての事業収支の状況について転記してください。	8
【５】投資と資金調達の状況	農業に係る投資や資金調達の状況について記入してください。	8
【６】主要農業固定資産の状況	農業固定資産の保有状況について記入してください。	9
【７】土地面積	経営する土地面積の状況について記入してください。	9
【８】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入	農畜産物の生産額及び販売収入、また農作業受託収入について記入してください。	10～13
【９】制度受取金・積立金等	国からの制度受取金等に係る状況等について記入してください。	14、15
【10】労働の概要	作業に従事した人数や労働時間に係る状況について記入してください。	16
【11】指定品目に係る労働の概要	指定品目がある方のみ記入してください。	17
【12】農業生産関連事業収支	農業生産関連事業を営んでいる方のみ記入してください。	18

2　「【３】貸借対照表」の転記に際しての留意点
「【３】貸借対照表」（６ページ）は、青色申告決算書の勘定科目から転記可能な様式となっています。一方で、青色申告であっても、貸借対照表の作成義務のない簡易簿記や現金式簡易簿記の場合、又は収支内訳書（白色申告）の場合には、資産や負債に該当する勘定科目を別様式（７ページ）に記入してください。

3　指定品目がある場合
本調査の担当から、指定品目があると説明があった場合、次の（１）～（４）に留意してください。 ②

（１）損益計算書
「【２】損益計算書」（４、５ページ）の農産物の棚卸高、経費の一部項目、経費合計に、それぞれの勘定科目に占める指定品目の金額を割合で記入してください。

（２）指定品目の作付延べ面積、生産量、販売金額
「【８】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入」（10～13ページ）に、指定品目の作付延べ面積、生産量及び販売金額をそれぞれ記入してください。

（３）指定品目の制度受取金・積立金等
「【９】制度受取金・積立金等」（14、15ページ）に、指定品目の制度受取金、制度積立金の金額又は各合計に占める指定品目の金額を　割合で記入してください。

2

旧

【はじめに】

【はじめに】
調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。本調査票の記入に際しては、次の点に留意してください。

○　損益計算書に係る記入欄は、青色申告決算書（農業所得用）の科目と同じ配列となっており、他の様式から転記する場合は、記入欄の配列が異なりますので該当する科目の記入欄へ転記してください。
○　営農の種類（畑作、酪農等）や農業以外に事業を行っているかどうかにより、記入する欄が異なる場合があります。

○　必ず記入しなければならない項目 ①

区　分	説　明	対応ページ
【１】現況（共通項目）	青色申告の申請状況、農業従事者の状況等について記入してください。	3
【２】損益計算書	農業の収入や支出の状況について転記してください。	４、５
【３】貸借対照表	資産や負債の状況について転記又は記入してください。	６、７
【４】事業収支の概要	農業以外も含めた全ての事業収支の状況について転記してください。	8
【５】投資と資金調達の状況	農業に係る投資や資金調達の状況について記入してください。	8
【６】主要農業固定資産の状況	農業固定資産の保有状況について記入してください。	9
【７】土地面積	経営する土地面積の状況について記入してください。	9
【８】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入	農畜産物の生産額及び販売収入、また農作業受託収入について記入してください。	10～13
【９】制度受取金・積立金等	国からの制度受取金等に係る状況等について記入してください。	14、15
【10】労働の概要	作業に従事した人数や労働時間に係る状況について記入してください。	16

1　「【３】貸借対照表」の転記に際しての留意点
「【３】貸借対照表」（６ページ）は、青色申告決算書の勘定科目から転記可能な様式となっています。一方で、青色申告であっても、貸借対照表の作成義務のない簡易簿記や現金式簡易簿記の場合、又は収支内訳書（白色申告）の場合には、資産や負債に該当する勘定科目を別様式（７ページ）に記入してください。

2　指定品目がある場合
本調査の担当から、「指定品目がある」と説明があった場合、次の（１）～（４）に留意してください。 ②

（１）損益計算書
「【２】損益計算書」（４、５ページ）の農産物の棚卸高、経費の一部項目、経費合計に、それぞれの勘定科目に占める指定された品目の金額を割合で記入してください。

（２）指定品目の作付延べ面積、生産量、販売金額
「【８】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入」（10～13ページ）に、指定された品目の作付延べ面積、生産量及び販売金額をそれぞれ記入してください。

（３）指定品目の制度受取金・積立金等
「【９】制度受取金・積立金等」（14、15ページ）に、指定された品目の制度受取金、制度積立金の金額又は各合計に占める指定された品目の金額を割合で記入してください。

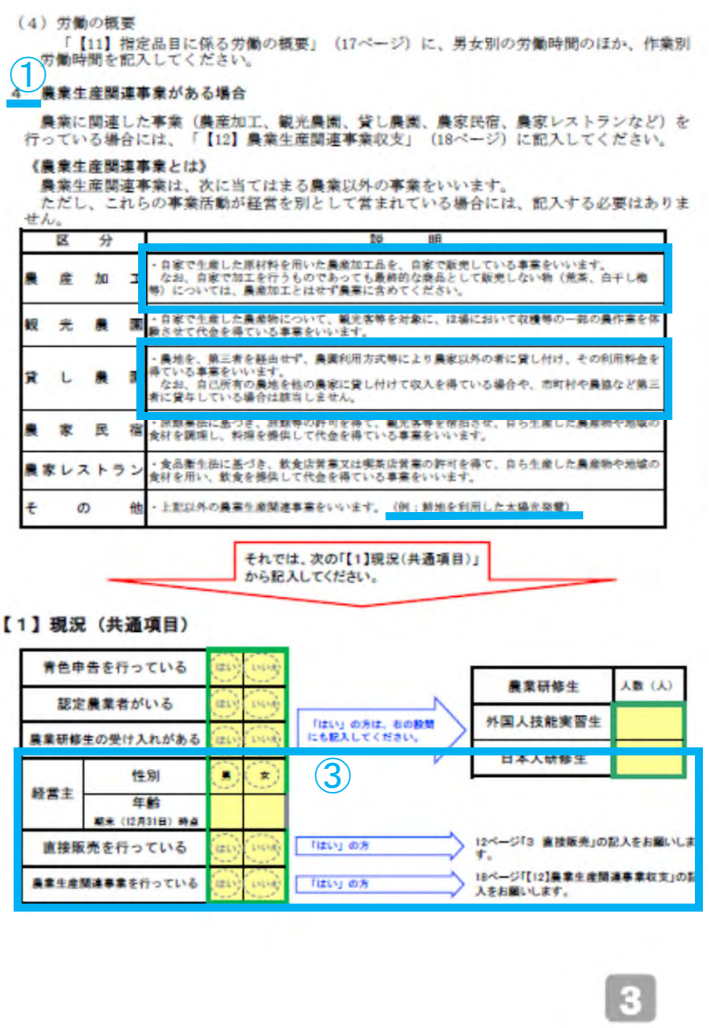
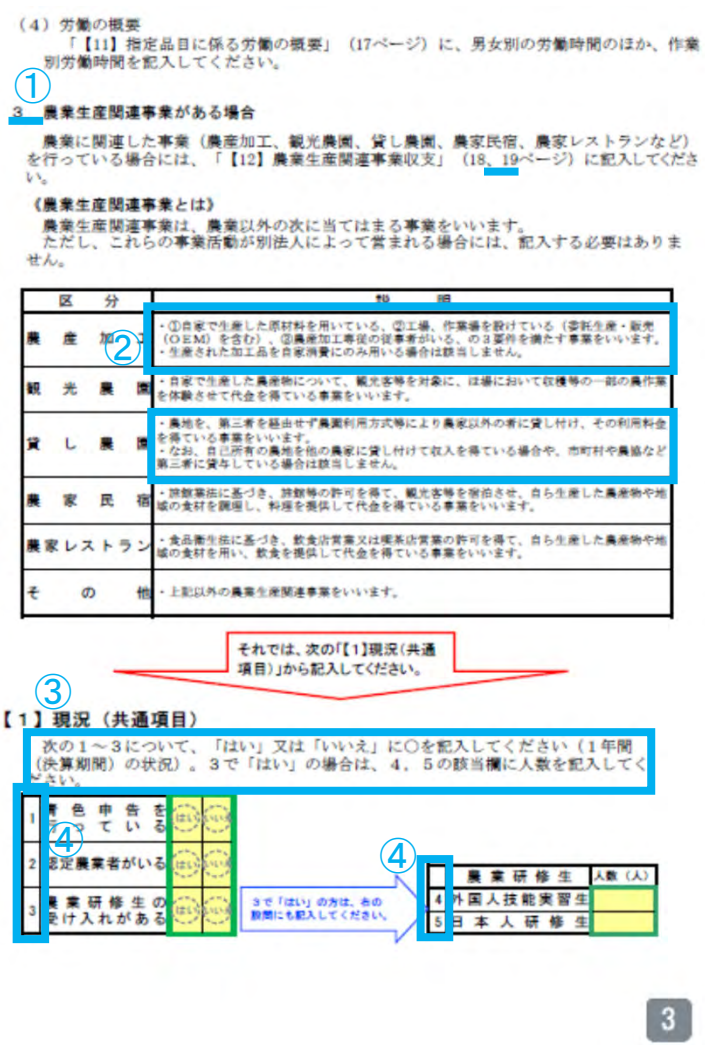
2

変更点及び理由

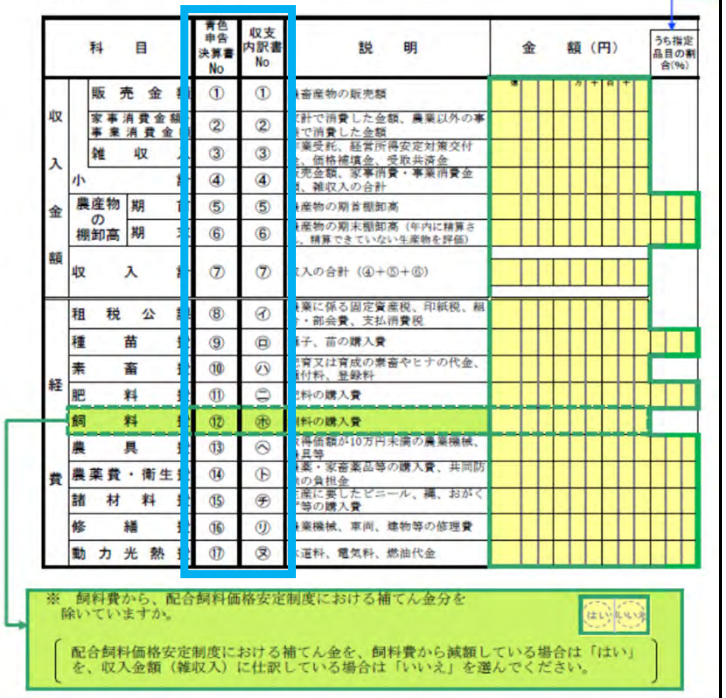
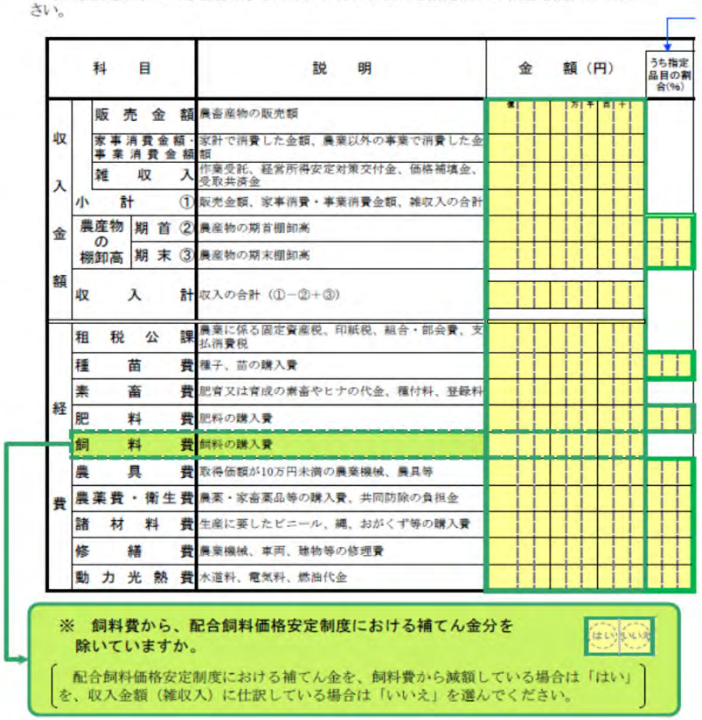
①　他の調査票と統一し、調査票の構成をすべて記載する。

②　使用している用語を、他の調査票と統一する。

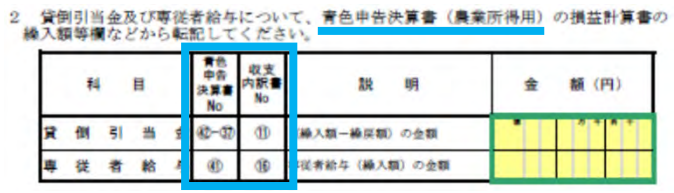
1　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
		①　他の調査票と統一し、調査票の構成をすべて記載する。 ②　使用している用語を、他の調査票と統一する。 ③　間違いが生じないようにするため、経営体の現況に関する事項は、調査の最初に一括して聞き取るように変更する。 ④項番はなくても問題ないと判断されるため削除する。

１　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
【２】損益計算書 １　農業収支について、青色申告決算書（農業所得用）などを参照し、記入してください（収支内訳書（農業所得用）は、該当する科目の記入欄へ記入してください。）。 また、指定品目がある場合は、それぞれの科目に占める指定品目の割合を記入してください。  ※　飼料費から、配合飼料価格安定制度における補てん金分を除いていますか。　はい　いいえ （配合飼料価格安定制度における補てん金を、飼料費から減額している場合は「はい」を、収入金額（雑収入）に仕訳している場合は「いいえ」を選んでください。）	【２】損益計算書 １　農業収支について、農業用税務申告書(青色申告決算書)の損益計算書などを参照し、転記してください（収支内訳書(白色申告)は、該当する科目の記入欄へ記入してください。）。 また、指定品目がある場合は、それぞれの科目に占める指定品目の割合を記入してください。  ※　飼料費から、配合飼料価格安定制度における補てん金分を除いていますか。　はい　いいえ （配合飼料価格安定制度における補てん金を、飼料費から減額している場合は「はい」を、収入金額（雑収入）に仕訳している場合は「いいえ」を選んでください。）	間違いが生じないようにするため、所得税青色申告決算書（農業所得用）又は収支内訳書（農業所得用）を参照して記入するに当たって、正しい名称を使用するとともに、表側部分に各欄の記号を設ける。

１　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
		①　間違いが生じないようにするため、所得税青色申告決算書（農業所得用）又は収支内訳書（農業所得用）を参照して記入するに当たって、正しい名称を使用するとともに、表側部分に各欄の記号を設ける。 ②　調査の変更に伴い従前の調査事項と接続を図るため設けていた２欄（市場手数料、交際費）を、目的を果たしたことから削除する。 ③　「ライスセンター・共同選果場の料金」の計上を、荷造運搬手数料から地代・賃借料に変更する。
		間違いが生じないようにするため、農業用税務申告書の損益計算書を参照して記入するに当たって、表側部分に各欄の記号を設ける。

1　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
【３】貸借対照表 ① この欄は、農林水産省職員又は専門調査員が使用しますので、何も記入しないで下さい。 統計調査員使用欄 ２ 貸借対照表を作成していない場合（貸借対照表相当の勘定科目の把握） 農業経営における資産と負債の状況について、期末（12月31日）時点の金額を記入してください。必須調査項目を合算している場合は、相当額に按分して記入してください。 また、②及び③へ記入できる場合は②及び③の枝番、⑧～⑩に記入できる場合は⑪～⑬への記入は必要ありません。 （１）資産に該当する勘定科目　（※①、②、③、④～⑦は、必須調査項目です。） ② （２）負債に該当する勘定科目　（※⑧～⑩、⑭は、必須調査項目です。）	【３】貸借対照表 統計調査員使用欄 ２ 貸借対照表を作成していない場合（貸借対照表相当の勘定科目の把握） 農業経営における資産と負債の状況について、期末（12月31日）時点の金額を記入してください。必須調査項目を合算している場合は、相当額に按分して記入してください。また、②及び③へ記入できる場合は②及び③の枝番、⑧～⑩に記入できる場合は⑪～⑬への記入は必要ありません。 （１）資産に該当する勘定科目　（※①、②、③、④～⑦は、必須調査項目です。） （２）負債に該当する勘定科目　（※⑧～⑩、⑭は、必須調査項目です。）	①　間違いが生じないようにするため、統計調査員が使用する欄であることを明記する。 ②　間違いが生じないようにするため、入力する項目であることが目立つように、緑色の線で囲む部分を変更する。

１　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
【４】事業収支の概要 １　事業収支について、所得税の確定申告書Ｂを参照して、次の科目の金額を転記してください。 	【４】事業収支の概要 １　事業収支について、所得税の確定申告書Ｂを参照して、次の科目の金額を転記してください。 	間違いが生じないようにするため、所得税の申告書Ｂを参照して記入するに当たって、表側部分に各欄の記号を設ける。

1　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））（続き）

新

【６】主要農業固定資産の状況

期末（12月31日）時点に所有する資産（農業に使用する資産）について、建物の面積を記入してください。

建物・構築物の状況

区　分	面積（㎡）
納屋・倉庫	
ガラス室	
ハウス（ガラス室以外）	
畜舎・鶏舎	

【７】土地面積

期末（12月31日）時点の土地の状況を記入してください。

区　分	説　明	経営面積(a) ②	うち借入地面積
田	田全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
畑（普通畑）	畑（樹園地、牧草地を除く）全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
樹園地	樹園地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
牧草地	牧草地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
採草放牧地	採草放牧地の面積		

区　分	説　明	面積(a) ②
貸付地（耕地）	他の経営体に貸し付けた耕地の面積（所有地分のみ）	

旧

【６】主要農業固定資産の状況

期末（12月31日）時点の所有する資産（農業に使用する資産）について、建物は面積を、自動車や農機具は台数を記入してください。

1　建物・構築物の状況

区　分	面積（㎡）
納屋・倉庫	
ガラス室	
ハウス（ガラス室以外）	
畜舎・鶏舎	

2　自動車・農機具の保有状況

区　分	説　明	台数（台）
乗用車	軽自動車を含む。	
トラック	軽トラックを含む。	
乗用型トラクター	歩行型トラクターを除く。	
うち50馬力以上		
プラウ、代かき機等	耕うん整地用機具	
抜根機、心土破砕機等	耕土造成改良用機具	
田植機、中耕除草機等	栽培管理用機具	
散粉機、噴霧機等	防除用機具	
コンバイン、脱穀機等	穀類収穫調製用機具	
モーア、ヘーベーラー等	飼料作物収穫調製用機具	
洗浄機、掘取機等	果樹、野菜又は花き収穫調製用機具	
い草刈取機、粒選機等	その他の農作物収穫調製用機具	
選別機、荒茶・仕上茶製造機等	農産物処理加工用機具	
給餌機、搾乳機等	家畜飼養管理用機具	

【７】土地面積

期末（12月31日）時点の土地の状況を記入してください。（けい畔を含めます。）

区　分	説　明	経営面積 ①	うち借入地面積
田	田全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
畑（普通畑）	畑（樹園地、牧草地を除く）全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
樹園地	樹園地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
牧草地	牧草地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
採草放牧地	採草放牧地の面積		

区　分	説　明	面積
貸付地（耕地）	他の経営体に貸し付けた耕地の面積（所有地分のみ）	

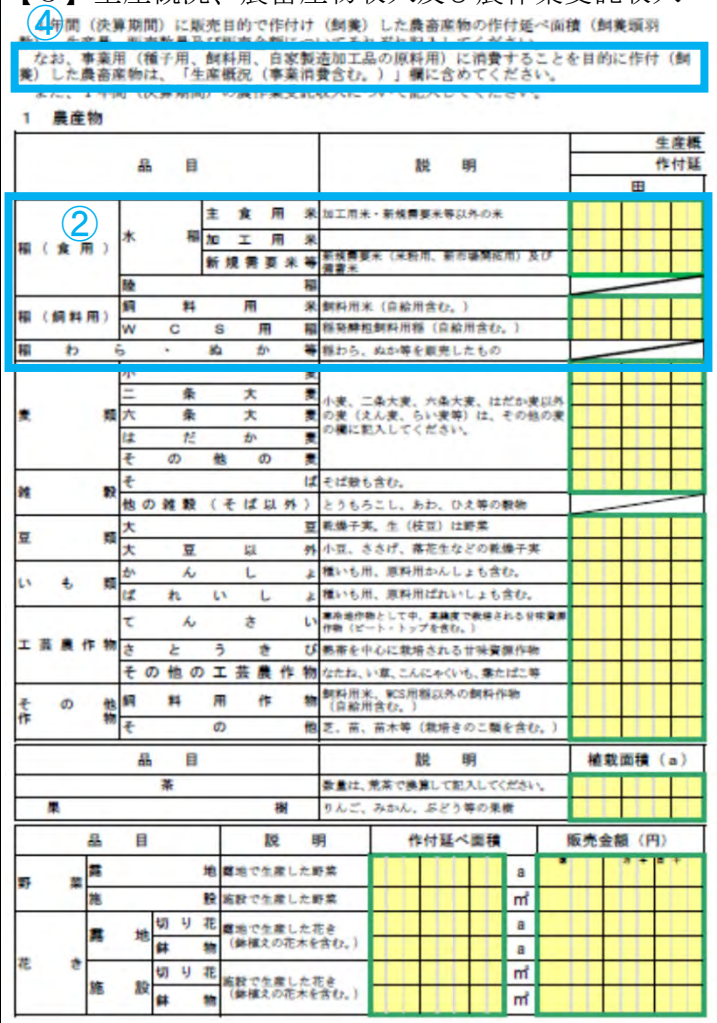
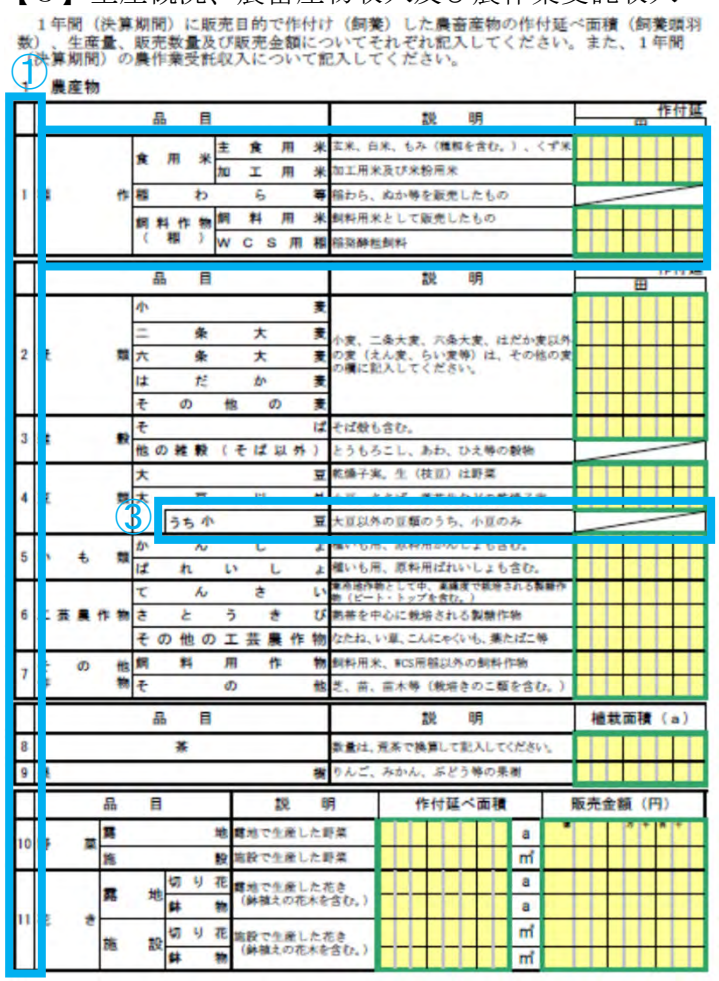
変更点及び理由

自動車・農機具の保有状況について、台数のみの把握ではその性能等が不詳であり、利活用の程度も低いものと判断され、報告者の記帳負担を軽減する意味も含めて把握を廃止する。

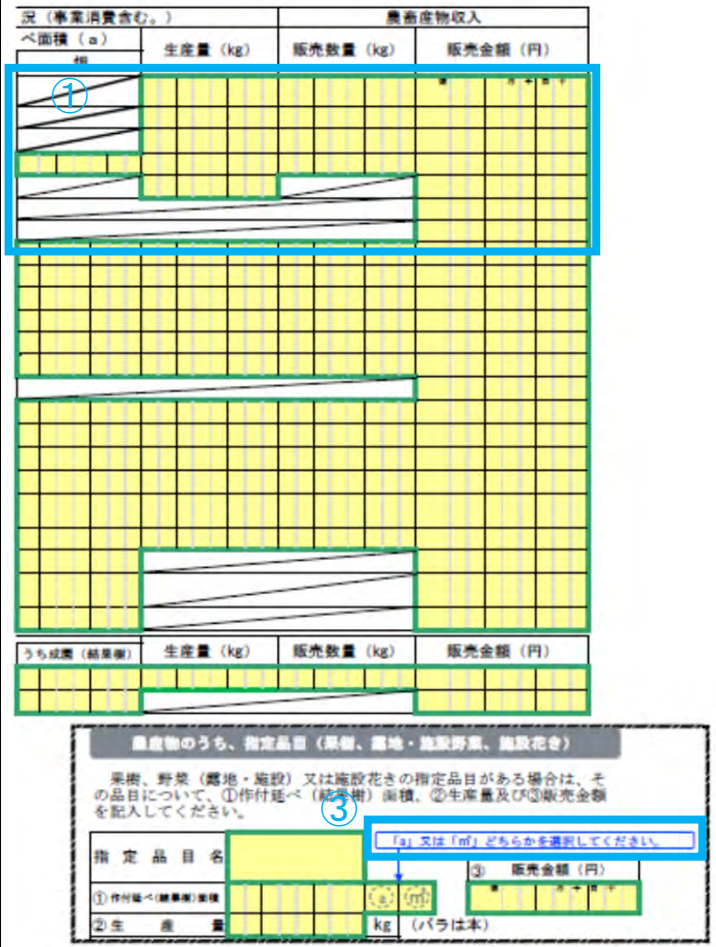
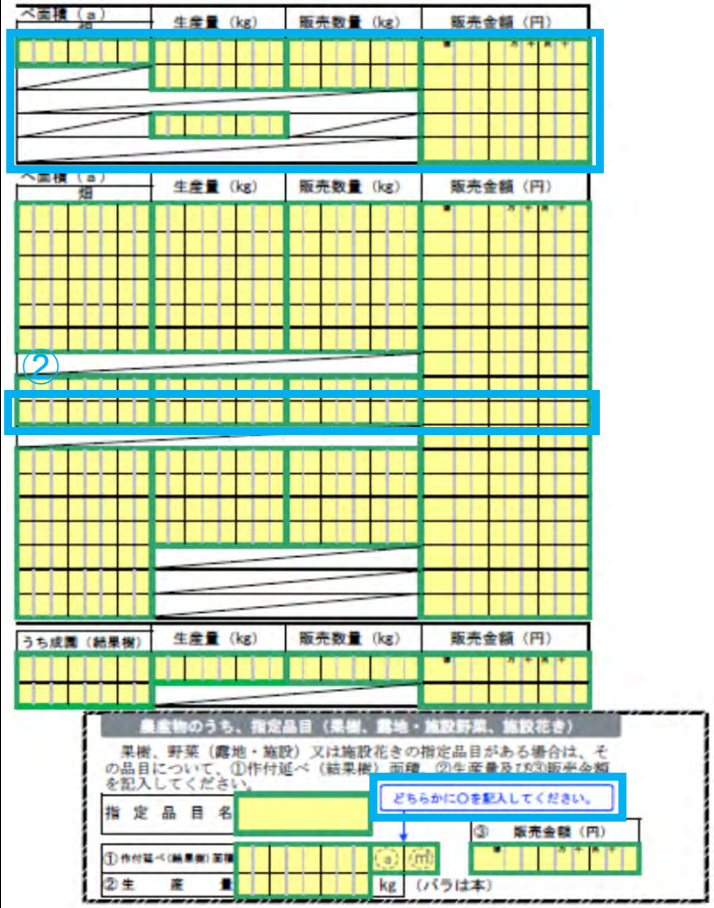
① 「（けい畔を含めます。）」の記載は、なくても問題は生じないと判断して削除する。

② 記入する単位に間違いが生じないようにするため、面積の単位が「ａ」であることを、表頭に明記する。

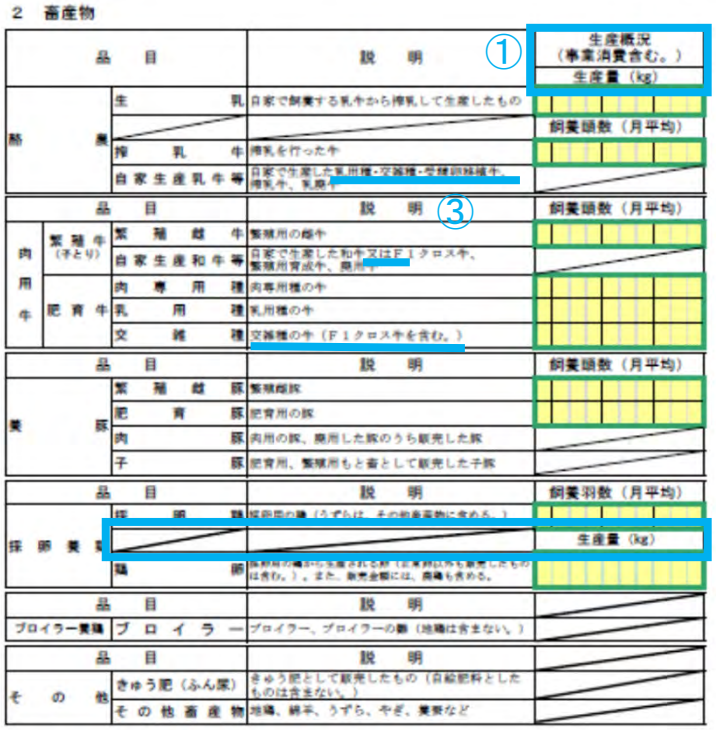
1　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
【８】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入 	【８】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入 	①　品目欄に設けていた項番はなくても問題ないと判断されるため削除する。 ②　食用と飼料用の用途を明確にするため、「稲作」について把握する項目区分を変更する。 ③　小豆を分離する必要がないため、「豆類」における「うち小豆」の把握を廃止する。 ④　間違いが生じないようにするため、事業用に消費することを目的に作付した農畜産物を含めることを明記する。

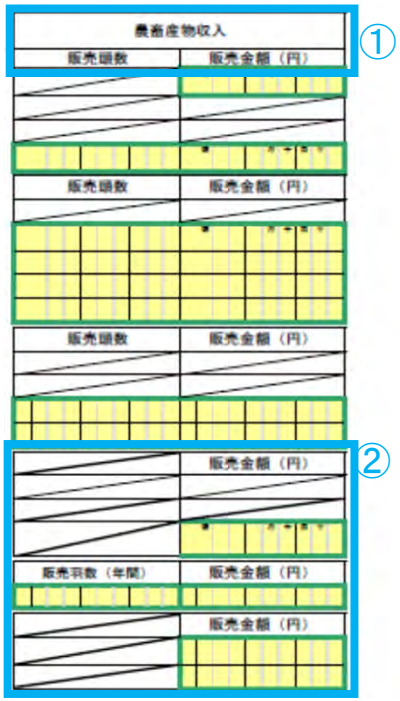
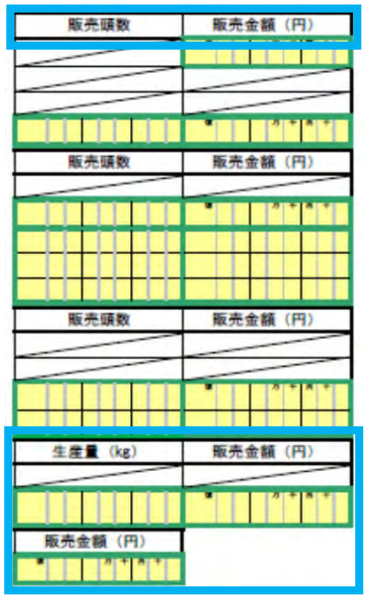
1　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
		①　食用と飼料用の用途を明確にするため、「稲作」について把握する項目区分を変更する。 ②　小豆を分離する必要がないため、「豆類」における「うち小豆」の把握を廃止する。 ③　間違いが生じないようにするため、作付延べ（結果樹）面積の入力単位が「ａ」又は「㎡」のどちらかであることを明記する。

1　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
		①　表頭のレイアウトを「１農産物」と統一する。 ②　品目欄に設けていた項番はなくても問題ないと判断されるため削除する。 ③　説明文の記述内容を他の調査票と統一する。

1　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
		①　表頭のレイアウトを「１農産物」と統一する。 ②　表の構成を他の調査票と統一する。

1　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））（続き）

新

3　直接販売

販売金額のうち、自ら生産した農産物を、実需者（小売業、食品製造業、外食産業等）や、消費者に直接販売（自営直売所、その他直売所、インターネット等）して得た金額を記入してください。
また、直接販売の販路別の金額割合を記入してください。

（1）直接販売の金額

（2）販路別金額割合

4　農作業受託収入

科　目	説　明	収入金額（円）
農作業受託収入		

【通信欄】
1年の中で、農畜産物の生産や販売で特徴的なできごとがあれば、記入してください。
（例：市場価格は好調だったが、病気のため廃棄が多くなり、生産量に比べて金額が少なかった。）

旧

3　農作業受託収入

科　目	説　明	収入金額（円）
農作業受託収入		

【通信欄】
1年の中で、農畜産物の生産や販売で特徴的なできごとがあれば、記入してください。
（例：市場価格は好調だったが、病気のため廃棄が多くなり、生産量に比べて金額が少なかった。）

4　直接販売

販売金額のうち、自ら生産した農産物を、実需者（小売業、食品製造業、外食産業等）や、自営直売所、その他直売所、インターネット等で消費者に直接販売して得た金額を記入してください。
また、直接販売の販路別の金額割合を記入してください。

（1）直接販売の金額

（2）販路別金額割合

変更点及び理由

報告者からの意見を踏まえ、「直接販売」と「農作業受託収入」について、記入の順番を入れ替える。

1　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））（続き）

新

【10】労働の概要

１年間（決算期間）に事業に従事した者の性別、家族・雇用の別、労働時間について記入してください。なお、年齢は期末（12月31日）時点の年齢を記入してください。

常用雇用者：期間を定めずに雇用している者又は１か月以上の期間を定めて雇用している者
臨時雇用者：１か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者

(1) 家族・常用雇用者労働時間

区分	性別	年齢	家族・雇用の別			農業労働時間（時間）	農作業受託労働時間（時間）	農業生産関連事業労働時間（時間）
			家族	常用雇用者 7か月未満の雇用者	常用雇用者 7か月以上の雇用者			
			1	2	3			
経営主	男 女	歳						
従事者 ①	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ②	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ③	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ④	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑤	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑥	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑦	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑧	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑨	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑩	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑪	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑫	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑬	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑭	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑮	男 女	歳	1	2	3			

注：　事業に従事した者とは、農業や農業以外の事業（林業、アパート経営、その他）に従事した者をいいます。

(2)　臨時雇用者労働時間

区分	人数（人）	農業労働時間（時間）	農作業受託労働時間（時間）	農業生産関連事業労働時間（時間）
男				
女				

旧

【10】労働の概要

１年間（決算期間）に事業に従事した者の性別、家族・雇用の別、労働時間について記入してください。なお、年齢は期末（12月31日）時点の年齢を記入してください。

常用雇用者：期間を定めずに雇用している者又は１か月以上の期間を定めて雇用している者
臨時雇用者：１か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者
※常用雇用者及び臨時雇用者には、外国人技能実習生及び日本人研修生を含みます。

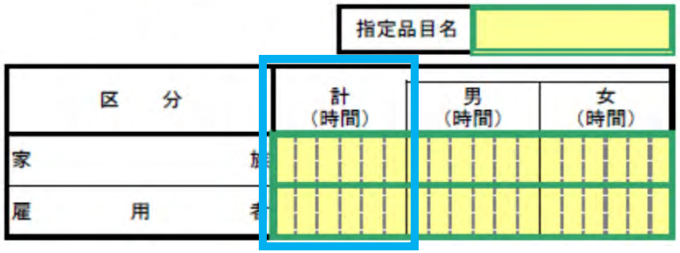
区分	性別	年齢	家族・雇用の別				農業労働時間（時間）	うち、農作業受託（時間）	農業生産関連事業労働時間（時間）
			家族	常用雇用者 7ヶ月未満の雇用者	常用雇用者 7ヶ月以上の雇用者	臨時雇用者			
			1	2	3	4			
			いずれか１つに○を記入してください。						
経営主	男 女	歳							
従事者 ①	男 女	歳	1	2	3	4			
従事者 ②	男 女	歳	1	2	3	4			
従事者 ③	男 女	歳	1	2	3	4			
従事者 ④	男 女	歳	1	2	3	4			
従事者 ⑤	男 女	歳	1	2	3	4			
従事者 ⑥	男 女	歳	1	2	3	4			
従事者 ⑦	男 女	歳	1	2	3	4			
従事者 ⑧	男 女	歳	1	2	3	4			
従事者 ⑨	男 女	歳	1	2	3	4			
従事者 ⑩	男 女	歳	1	2	3	4			
従事者 ⑪	男 女	歳	1	2	3	4			
従事者 ⑫	男 女	歳	1	2	3	4			
従事者 ⑬	男 女	歳	1	2	3	4			
従事者 ⑭	男 女	歳	1	2	3	4			
従事者 ⑮	男 女	歳	1	2	3	4			

注：　事業に従事した者とは、農業や農業以外の事業（林業、アパート経営、その他）に従事した者を言います。

変更点及び理由

報告者の負担軽減を図るため、臨時雇用者については人別に把握することを止め、男女別の人数と労働時間のみを把握するように変更する。

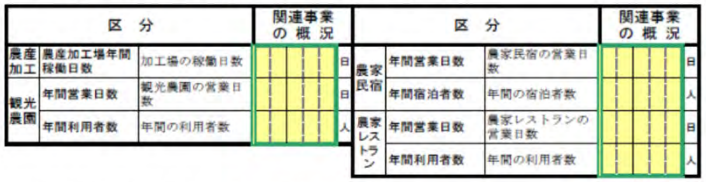
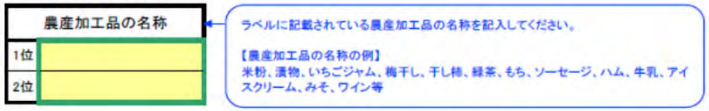
１　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
【11】指定品目に係る労働の概要 １　家族・雇用者別労働時間 指定品目について、農作業に係る労働時間を男女別・労働区分別に記入してください。 指定品目名 区　分 / 男（時間） / 女（時間） 家族 雇用者	【11】指定品目に係る労働の概要 １　家族・雇用者別労働時間 指定品目について、農作業に係る労働時間を男女別・労働区分別に記入してください。  指定品目名 区　分 / 計（時間） / 男（時間） / 女（時間） 家族 雇用者	自動計算する項目であるため、「計」欄を廃止する。

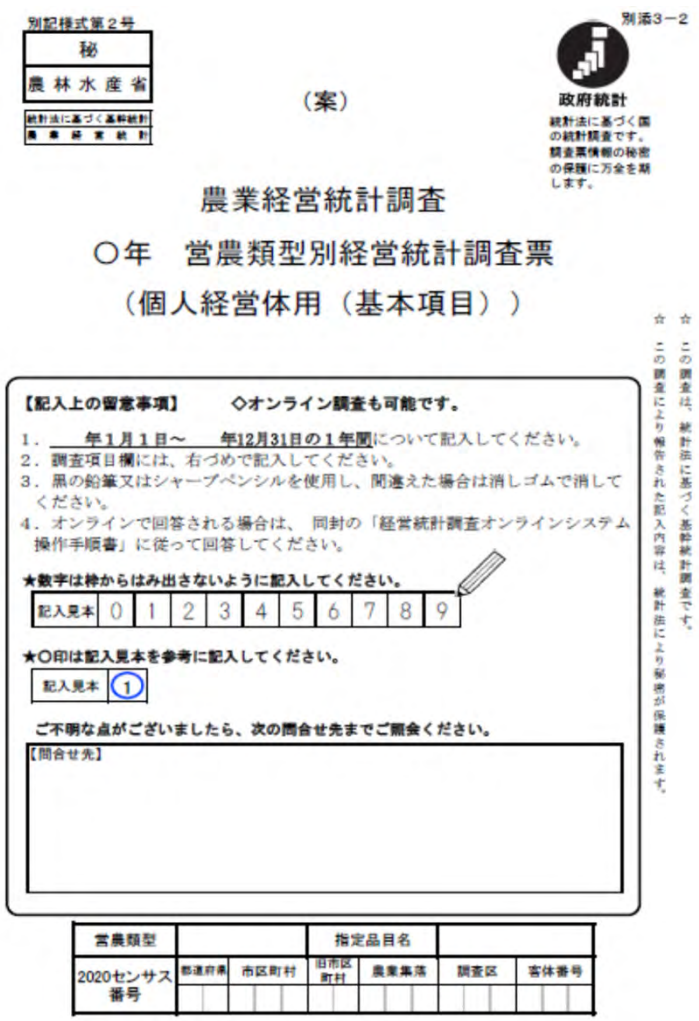
1　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
【12】農業生産関連事業収支 1　農業生産関連事業の収入金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。 　また、農業生産関連事業の収入金額が税務申告の農業収入に含まれる場合は、「はい」を選択してください。 金額での記入が難しい場合、この欄に「【4】事業収支の概要」（8ページ）の③「収入金額　計」に占める割合を記入してください。 ① 区　分 / 収入金額(円) / 割合(%) / 農業収入に含まれる 農業生産関連事業収入 / （はい） 2　農業生産関連事業の支出金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。 金額での記入が難しい場合、この欄に「【4】事業収支の概要」（8ページ）の⑤「経費」に占める割合を記入してください。 この欄には、「農業生産関連事業支出合計」に占める割合を記入してください。 区　分 / 支出金額(円) / 経費割合(%) / 割合(%) ② 農業生産関連事業支出合計 / 農業生産関連事業の支出合計 自家農畜産物 / 材料費のうち、自らが生産した農畜産物 雇人費 / 事業に従事した者の労働時間分 減価償却費 / 事業で利用した設備、施設等の減価償却費 ③調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。	【12】農業生産関連事業収支 1　各農業生産関連事業の収入金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。 　また、各農業生産関連事業の収入金額が税務申告の農業収入に含まれる場合は、「はい」に○を記入してください。 この欄には、「【4】事業収支の概要」（8ページ）の④「収入金額　計」に占める割合を記入してください。 区　分 / 収入金額(円) / 割合(%) / 農業収入に含まれる 1 農産加工 / 農産加工事業の売上高 / （はい） 2 観光農園 / 観光農園、関連施設内での売上高 / （はい） 3 貸し農園 / 貸し農園の売上高 / （はい） 4 農家民宿 / 農家民宿での売上高 / （はい） 5 農家レストラン / 農家レストランでの売上高 / （はい） 6 その他 / 上記以外の売上高 / （はい） 2　農業生産関連事業の支出金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。 この欄には、「【4】事業収支の概要」（8ページ）の⑨「経費」に占める割合を記入してください。 この欄には、「農業生産関連事業支出合計」に占める割合を記入してください。 区　分 / 支出金額(円) / 経費割合(%) / 割合(%) 農業生産関連事業支出合計 / 農業生産関連事業の支出合計 / 100 商品仕入 / 仕入販売する商品の仕入額 材料費 / 事業で消費した材料費 うち自家農畜産物 / 材料費のうち、自らが生産した農畜産物 雇人費 / 事業に従事した者の労働時間分 外注費 / 事業に付随して行った外注経費 減価償却費 / 事業で利用した設備、施設等の減価償却費 その他 / 上記以外の支出額	①　報告者の負担軽減を図るため、農業生産関連事業収入については、内訳ごとの把握を廃止し、合計金額のみの把握に変更する。 ②　報告者の負担軽減を図るため、農業生産関連事業支出については、「商品仕入」「材料費」「外注費」「その他」の区分を廃止する。 ③　他の調査票と統一して、最後に、調査協力のお礼を追加する。

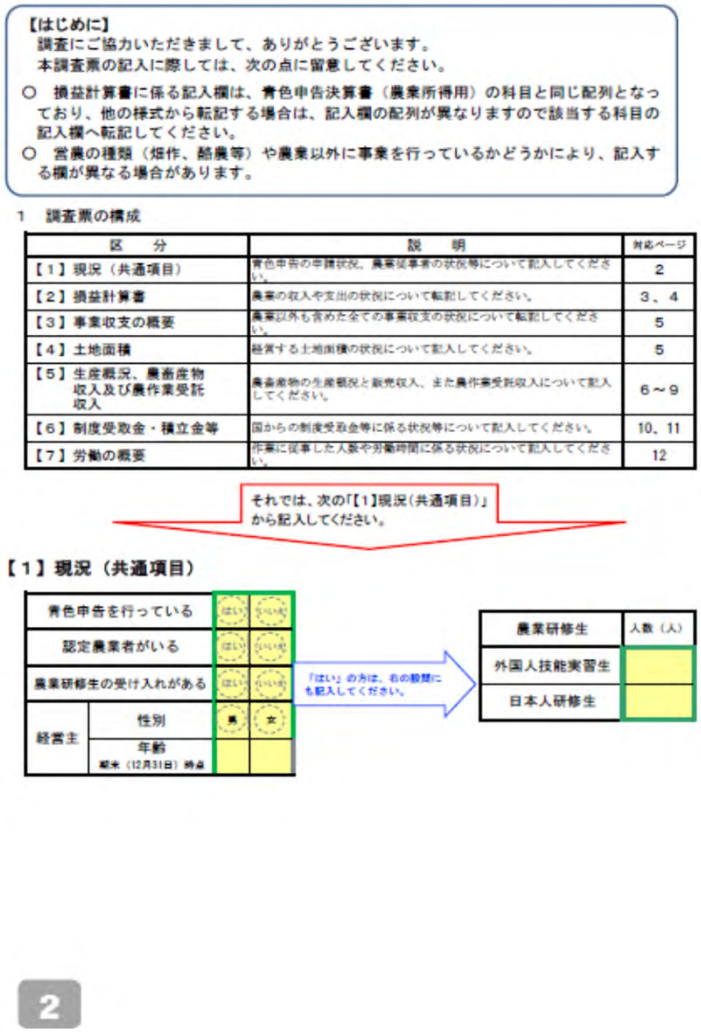
１　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（詳細項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
（削除）	3　農業生産関連事業の概況について、記入してください。  4　農産加工を行っている方のみ記入してください。 生産する農産加工品の販売金額上位２品目までについて、農産加工品の名称を記入してください。 	報告者の負担軽減を図るため、農業生産関連事業の概況、農産加工品の名称の把握を廃止する。

２　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））

新	旧	変更点及び理由
	（新設）	「選択と集中」の視点から、個人経営体の属性に応じて詳細に調査する経営体と基本項目に限定して調査する経営体を区分することにより調査経営体の負担軽減を図る。 このことにより、営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））を追加する。

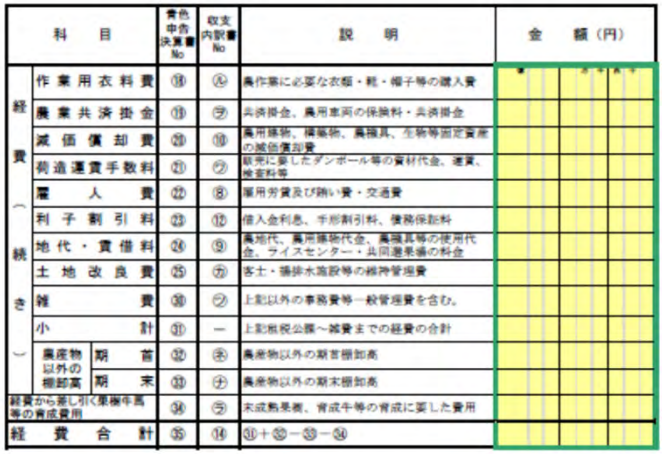
２　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
	（新設）	「選択と集中」の視点から、個人経営体の属性に応じて詳細に調査する経営体と基本項目に限定して調査する経営体を区分することにより調査経営体の負担軽減を図る。 このことにより、営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））を追加する。

２　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
	（新設）	「選択と集中」の視点から、個人経営体の属性に応じて詳細に調査する経営体と基本項目に限定して調査する経営体を区分することにより調査経営体の負担軽減を図る。 このことにより、営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））を追加する。

２　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
【２】損益計算書（続き）  4	（新設）	「選択と集中」の視点から、個人経営体の属性に応じて詳細に調査する経営体と基本項目に限定して調査する経営体を区分することにより調査経営体の負担軽減を図る。 このことにより、営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））を追加する。

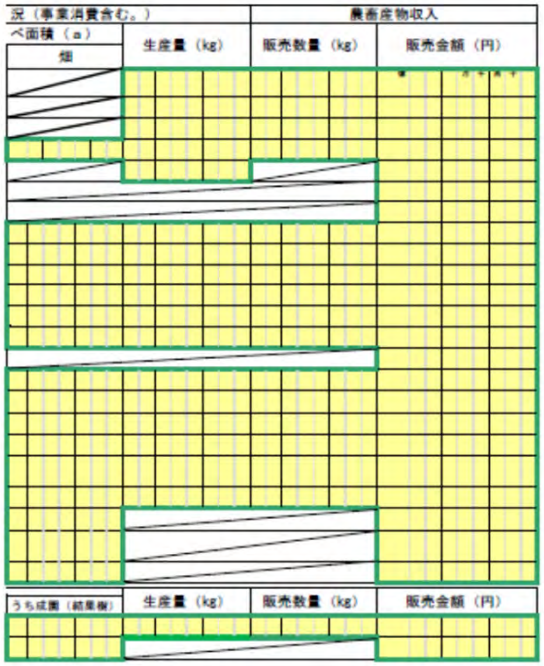
２　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
	（新設）	「選択と集中」の視点から、個人経営体の属性に応じて詳細に調査する経営体と基本項目に限定して調査する経営体を区分することにより調査経営体の負担軽減を図る。 このことにより、営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））を追加する。

２　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
	（新設）	「選択と集中」の視点から、個人経営体の属性に応じて詳細に調査する経営体と基本項目に限定して調査する経営体を区分することにより調査経営体の負担軽減を図る。 このことにより、営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））を追加する。

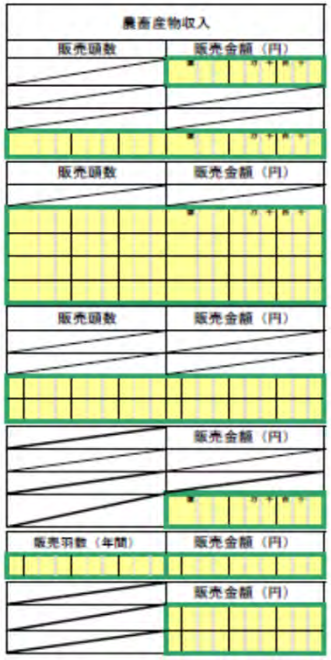
２　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
	（新設）	「選択と集中」の視点から、個人経営体の属性に応じて詳細に調査する経営体と基本項目に限定して調査する経営体を区分することにより調査経営体の負担軽減を図る。 このことにより、営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））を追加する。

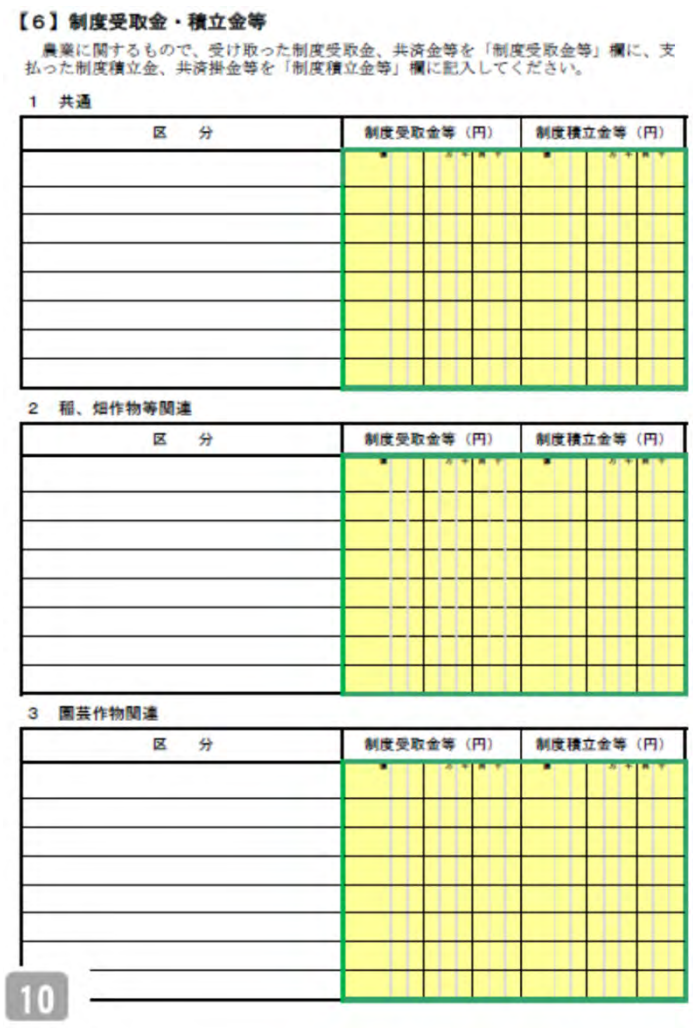
２　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
	（新設）	「選択と集中」の視点から、個人経営体の属性に応じて詳細に調査する経営体と基本項目に限定して調査する経営体を区分することにより調査経営体の負担軽減を図る。 このことにより、営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））を追加する。

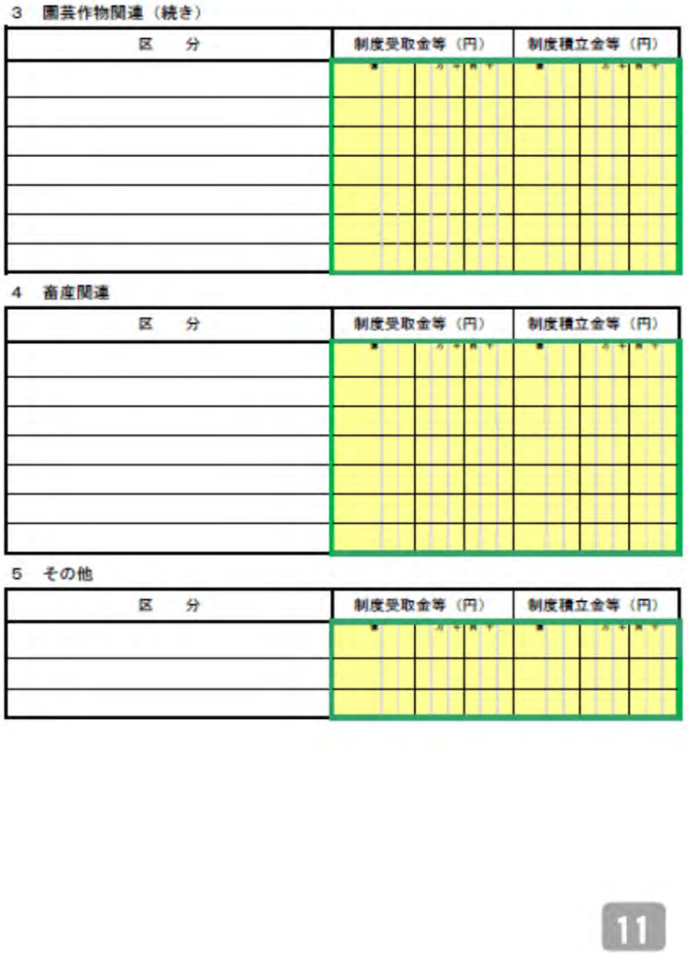
２　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
	（新設）	「選択と集中」の視点から、個人経営体の属性に応じて詳細に調査する経営体と基本項目に限定して調査する経営体を区分することにより調査経営体の負担軽減を図る。 このことにより、営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））を追加する。

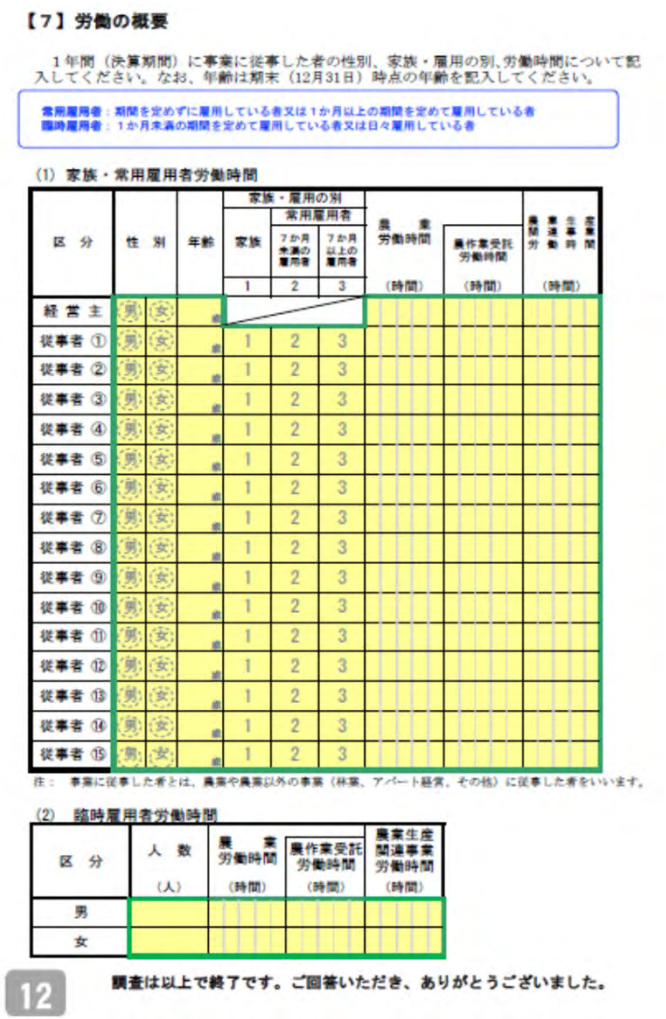
２　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
	（新設）	「選択と集中」の視点から、個人経営体の属性に応じて詳細に調査する経営体と基本項目に限定して調査する経営体を区分することにより調査経営体の負担軽減を図る。 このことにより、営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））を追加する。

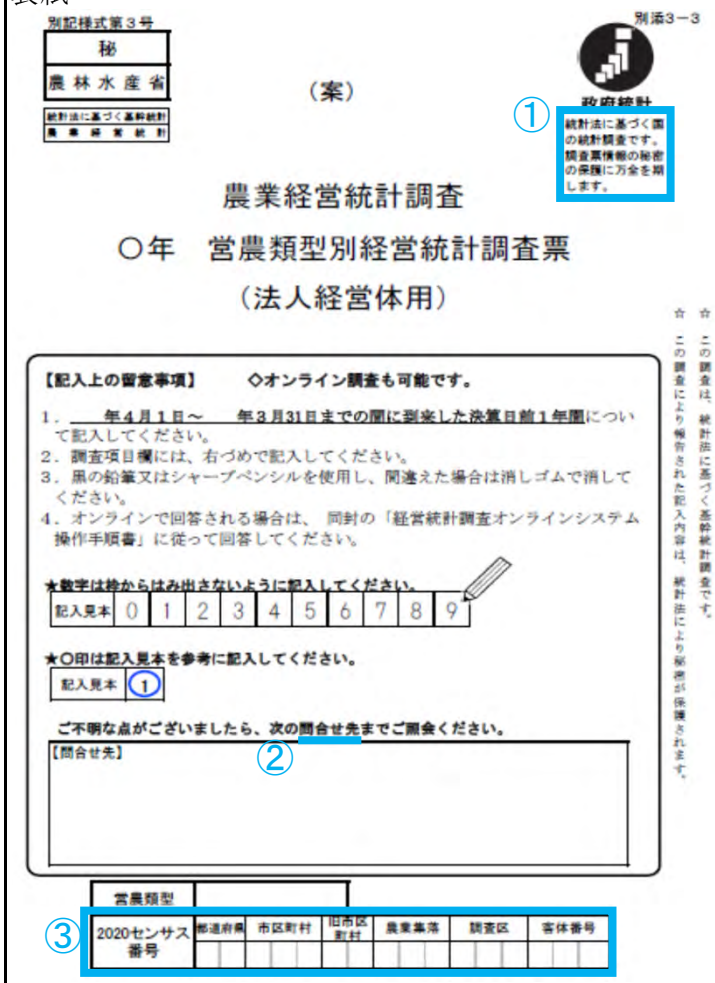
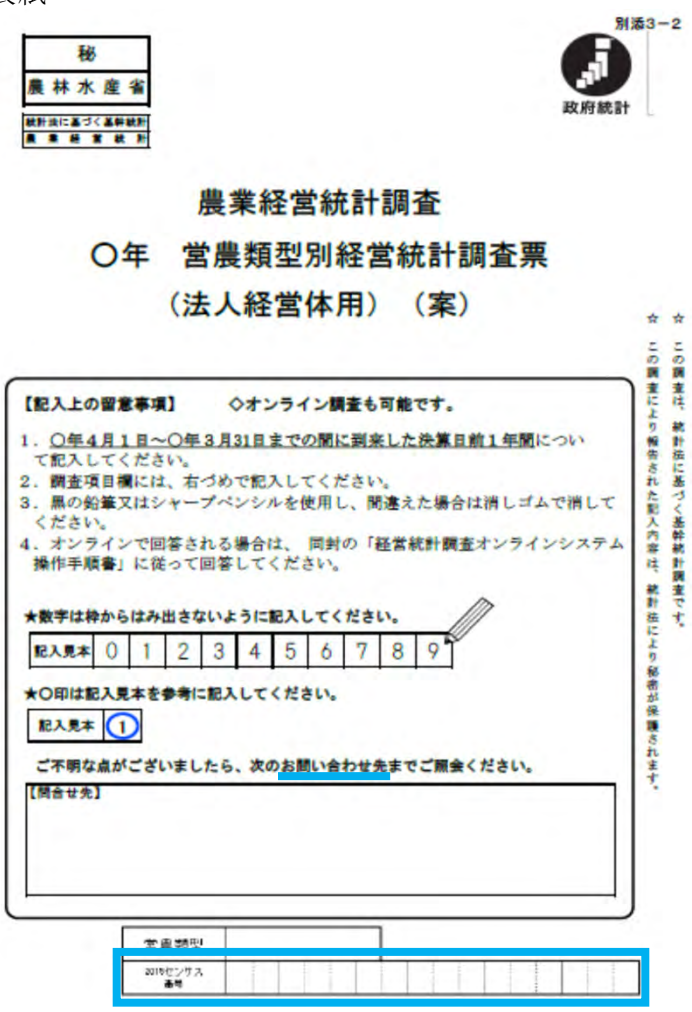
２　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
	（新設）	「選択と集中」の視点から、個人経営体の属性に応じて詳細に調査する経営体と基本項目に限定して調査する経営体を区分することにより調査経営体の負担軽減を図る。 このことにより、営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））を追加する。

２　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））（続き）

新	旧	変更点及び理由
	（新設）	「選択と集中」の視点から、個人経営体の属性に応じて詳細に調査する経営体と基本項目に限定して調査する経営体を区分することにより調査経営体の負担軽減を図る。 このことにより、営農類型別経営統計調査票（個人経営体用（基本項目））を追加する。

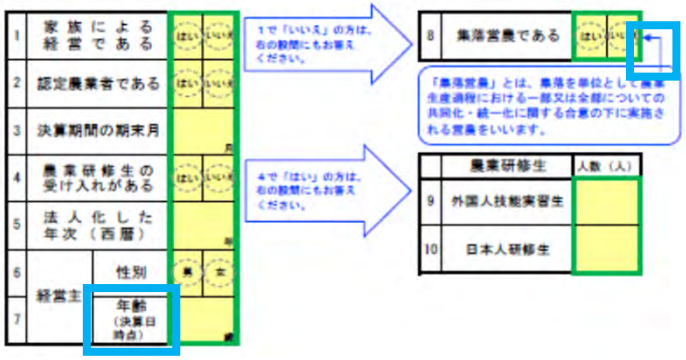
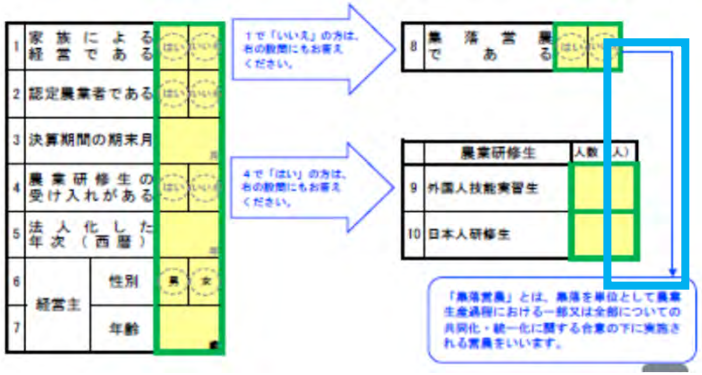
３　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）

新	旧	変更点及び理由
表紙  別記様式第３号 秘 農林水産省 統計法に基づく基幹統計 農業経営統計 （案） 別添３－３ 政府統計 ① 統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。 農業経営統計調査 ○年　営農類型別経営統計調査票 （法人経営体用） ☆　この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。 ☆　この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。 【記入上の留意事項】　◇オンライン調査も可能です。 1．　年４月１日～　年３月31日までの間に到来した決算日前１年間について記入してください。 2．調査項目欄には、右づめで記入してください。 3．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。 4．オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 記入見本　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ★○印は記入見本を参考に記入してください。 記入見本　① ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。 ② 【問合せ先】 営農類型 ③ 2020センサス番号　都道府県　市区町村　旧市区町村　農業集落　調査区　客体番号	表紙  秘 農林水産省 統計法に基づく基幹統計 農業経営統計 別添３－２ 政府統計 農業経営統計調査 ○年　営農類型別経営統計調査票 （法人経営体用）　（案） ☆　この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。 ☆　この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。 【記入上の留意事項】　◇オンライン調査も可能です。 1．○年４月１日～○年３月31日までの間に到来した決算日前１年間について記入してください。 2．調査項目欄には、右づめで記入してください。 3．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。 4．オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 記入見本　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ★○印は記入見本を参考に記入してください。 記入見本　① ご不明な点がございましたら、次のお問い合わせ先までご照会ください。 【問合せ先】 営農類型 2015センサス番号	①　他の調査票と統一する。 ②　使用している用語を、他の調査票と統一する。 ③　センサス調査年を更新するとともに、記入する16桁の番号に間違いが生じないようにするため、ヘッダとして都道府県、市区町村、旧市区町村、農業集落、調査区、客体番号を記載する。

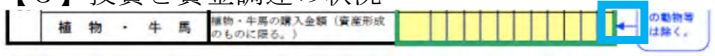
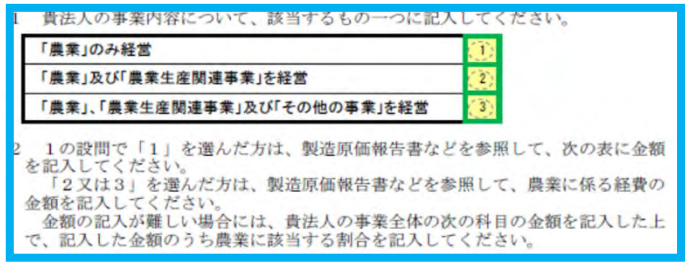
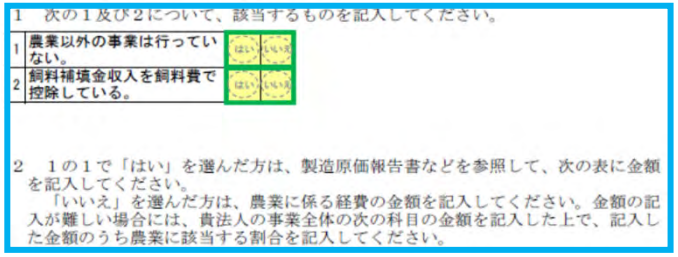
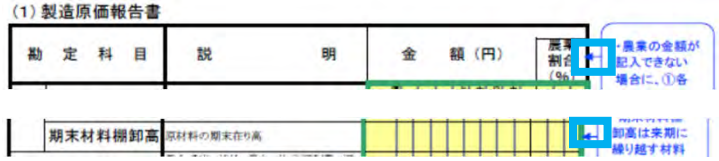
３　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）（続き）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更点及び理由</th></tr>
<tr><td>【はじめに】
【はじめに】
調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
本調査票の記入に際しては、次の点に留意してください。
○　貸借対照表や事業経費（製造原価、販売費及び一般管理費）に係る勘定科目の記入欄は、貴法人が採用する勘定科目と異なる場合があります。
○　事業経費に係る記入は、農業についてのみとしてください。</td><td>【はじめに】
【はじめに】
調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。本調査票の記入に際しては、次の点に留意してください。
○　貸借対照表や事業経費（製造原価、販売費及び一般管理費）に係る勘定科目の記入欄は、貴法人が採用する勘定科目と異なる場合があります。
○　事業経費に係る記入は、農業のみの金額となります。</td><td>使用している用語を、他の調査票と統一する。</td></tr>
<tr><td>２　農業生産関連事業がある場合
農業に関連した事業（農産加工、観光農園、貸し農園、農家民宿、農家レストランなど）を行っている場合には、「【13】農業生産関連事業収支」（22ページ）に記入してください。
《農業生産関連事業とは》
農業生産関連事業は、次に当てはまる農業以外の事業をいいます。
ただし、これらの事業活動が別法人によって営まれる場合には、記入する必要はありません。
<table><tr><th>区　分</th><th>説　明</th></tr><tr><td>農産加工</td><td>・貴法人で生産した原材料を用いた農産加工品を、貴法人で販売している事業をいいます。
なお、貴法人で加工を行うものであっても最終的な商品としては販売しない物（乾茶、白干し梅等）については、農産加工とはせず農業に含めてください。</td></tr><tr><td>観光農園</td><td>・貴法人で生産した農産物について、観光客等を対象に、ほ場において収穫等の一部の農作業を体験させて代金を得ている事業をいいます。</td></tr><tr><td>貸し農園</td><td>・農地を、第三者を経由せず、農園利用方式等により農家以外の者に貸し付け、その利用料金を得ている事業をいいます。
なお、自己所有の農地を他の農家に貸し付けて収入を得ている場合や、市町村や農協など第三者に貸与している場合は該当しません。</td></tr><tr><td>農家民宿</td><td>・旅館業法に基づき、旅館等の許可を得て、観光客等を宿泊させ、自ら生産した農産物や地域の食材を調理し、料理を提供して代金を得ている事業をいいます。</td></tr><tr><td>農家レストラン</td><td>・食品衛生法に基づき、飲食店営業又は喫茶店営業の許可を得て、自ら生産した農産物や地域の食材を用い、飲食を提供して代金を得ている事業をいいます。</td></tr><tr><td>その他</td><td>・上記以外の農業生産関連事業をいいます。（例：農地を利用した太陽光発電）</td></tr></table></td><td>２　農業生産関連事業がある場合
農業以外に、関連した事業（農産加工、観光農園、貸し農園、農家民宿、農家レストランなど）を行っている場合には、「【13】農業生産関連事業収支」（22、23ページ）に記入してください。
《農業生産関連事業とは》
農業生産関連事業は、農業以外の次に当てはまる事業をいいます。
ただし、これらの事業活動が別法人によって営まれる場合には、記入する必要はありません。
<table><tr><th>区　分</th><th>説　明</th></tr><tr><td>農産加工</td><td>・①自家で生産した原材料を用いている、②工場、作業場を設けている（委託生産・販売（ＯＥＭ）を含む）、③農産加工専従の従事者がいる、の３要件を満たす事業をいいます。
・生産された加工品を自家消費にのみ用いる場合は該当しません。</td></tr><tr><td>観光農園</td><td>・自家で生産した農産物について、観光客等を対象に、ほ場において収穫等の一部の農作業を体験させて代金を得ている事業をいいます。</td></tr><tr><td>貸し農園</td><td>・農地を、第三者を経由せず、農園利用方式等により農家以外の者に貸し付け、その利用料金を得ている事業をいいます。
・なお、自己所有の農地を他の農家に貸し付けて収入を得ている場合や、市町村や農協など第三者に貸与している場合は該当しません。</td></tr><tr><td>農家民宿</td><td>・旅館業法に基づき、旅館等の許可を得て、観光客等を宿泊させ、自ら生産した農産物や地域の食材を調理し、料理を提供して代金を得ている事業をいいます。</td></tr><tr><td>農家レストラン</td><td>・食品衛生法に基づき、飲食店営業又は喫茶店営業の許可を得て、自ら生産した農産物や地域の食材を用い、飲食を提供して代金を得ている事業をいいます。</td></tr><tr><td>その他</td><td>・上記以外の農業生産関連事業をいいます。</td></tr></table></td><td>使用している用語を、他の調査票と統一する。</td></tr>
</table>

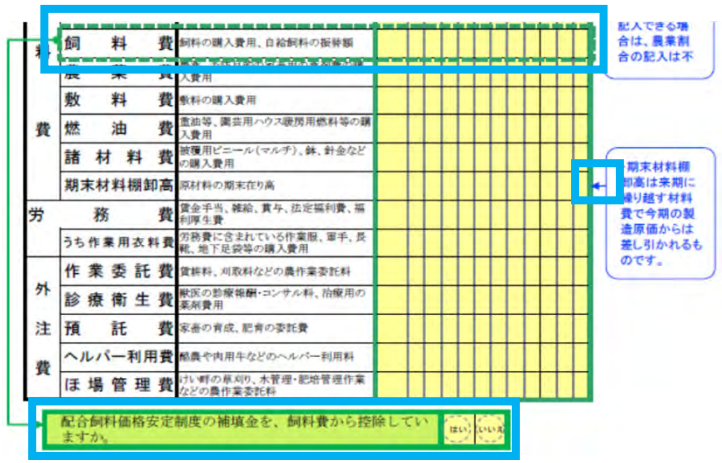
３　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）（続き）

新	旧	変更点及び理由
【１】現況（共通項目） 	【１】現況（共通項目） 	説明文の矢印の向きを、他の調査票と統一する。 間違いが生じないようにするため、経営主の年齢の判定時点を追加する。
【２】貸借対照表 （１）資産計 	【２】貸借対照表 （１）資産計 	使用している用語を、他の調査票と統一する。
		説明文の矢印の向きを、他の調査票と統一する。

３　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）（続き）

新	旧	変更点及び理由
【３】投資と資金調達の状況 	【３】投資と資金調達の状況 	説明文の矢印の向きを、他の調査票と統一する。
【５】事業経費（製造原価報告書、販売費及び一般管理費） 	【５】事業経費（製造原価報告書、販売費及び一般管理費） 	他の調査票と同様に、間違いが生じないようにするため、経営体の現況に関する事項は、調査の最初に一括して聞き取るように変更する。 調査票の審査を的確に行うため、農業以外の事業内容についても一括して聞き取るように変更する。
(1) 製造原価報告書 	(1) 製造原価報告書 	説明文の矢印の向きを、他の調査票と統一する。

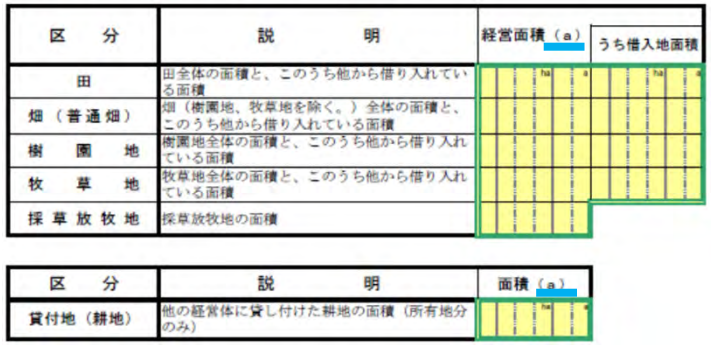
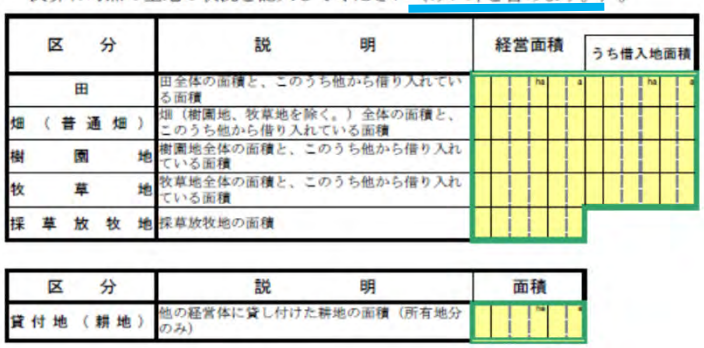
３　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）（続き）

新	旧	変更点及び理由
		他の調査票と同様に、間違いが生じないようにするため、配合飼料価格安定制度の補填金を飼料費から控除しているか否かを明確にするように変更する。 説明文の矢印の向きを、他の調査票と統一する。
		説明文の矢印の向きを、他の調査票と統一する。

３　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）（続き）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更点及び理由</th></tr>
<tr><td>【６】給与の状況
</td><td>【６】給与の状況
</td><td>間違いが生じないようにするため、臨時雇用者への支払金額も、給与支給額総額の内訳に含まれていることを明確にする。

説明文の矢印の向きを、他の調査票と統一する。

間違いが生じないようにするため、有給役員の平均年齢を記入することが明確になるように表頭に明記する。</td></tr>
<tr><td>【７】土地面積
決算日時点の土地の状況を記入してください。
 
</td><td>【７】土地面積
決算日時点の土地の状況を記入してください（けい畔を含めます。）。
 
</td><td>「（けい畔を含めます。）」の記載は、なくても問題は生じないと判断して削除する。
記入する単位に間違いが生じないようにするため、面積の単位が「ａ」であることを、表頭に明記する。</td></tr>
</table>

３　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）（続き）

新

【８】主要農業固定資産の状況

決算日時点の所有する資産（農業に使用する資産）について、建物の面積を記入してください。

建物・構築物の状況

区　分	面積（㎡）
納屋・倉庫	
ガラス室	
ハウス（ガラス室以外）	
畜舎・鶏舎	

旧

【８】主要農業固定資産の状況

決算日時点の所有する資産（農業に使用する資産）について、建物には面積を、自動車や農機具には台数を記入してください。

1　建物・構築物の状況

区　分	面積（㎡）
納屋・倉庫	
ガラス室	
ハウス（ガラス室以外）	
畜舎・鶏舎	

2　自動車・農機具の保有状況

区　分	説　明	台数（台）
乗用車	軽自動車を含む。	
トラック	軽トラックを含む。	
乗用型トラクター	歩行型トラクターを除く。	
うち 50 馬力以上		
プラウ、代かき機等	耕うん整地用機具	
抜根機、心土破砕機等	耕土造成改良用機具	
田植機、中耕除草機等	栽培管理用機具	
散粉機、噴霧機等	防除用機具	
コンバイン、脱穀機等	穀類収穫調製用機具	
モーア、ヘーベーラー等	飼料作物収穫調製用機具	
洗浄機、掘取機等	果樹、野菜又は花き収穫調製用機具	
い草刈取機、粒選機等	その他の農作物収穫調製用機具	
選別機、荒茶・仕上茶製造機等	農産物処理加工用機具	
給餌機、搾乳機等	家畜飼養管理用機具	

変更点及び理由

自動車・農機具の保有状況について、台数のみの把握ではその性能等が不詳であり、利活用の程度も低いものと判断され、報告者の記帳負担を軽減する意味も含めて把握を廃止する。

３　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）（続き）

新

【９】生産概況及び農畜産物収入

１年間（決算期間）に販売目的で作付け（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）、生産量、販売数量及び販売金額をそれぞれ記入してください。

なお、事業用（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的に作付（飼養）した農畜産物は、「生産概況（事業消費含む。）」欄に含めてください。

１　農産物

品目			説明	生産概況 作付延 田
稲（食用）	水稲	主食用米	加工用米・新規需要米等以外の米	
		加工用米		
		新規需要米等		
	陸稲			
稲（飼料用）	飼料用米		飼料用米（自給用含む。）	
	ＷＣＳ用稲		稲発酵粗飼料用稲（自給用含む。）	
稲わら・ぬか等			稲わら、ぬか等を販売したもの	
麦類	小麦		小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦以外の麦（えん麦、らい麦等）は、その他の麦の欄に記入してください。	
	二条大麦			
	六条大麦			
	はだかむぎ			
	その他の麦			
雑穀	そば		そば殻も含む。	
	他の雑穀（そば以外）		とうもろこし、あわ、ひえ等の穀物	
豆類	大豆		乾燥子実。生（枝豆）は野菜	
	大豆以外		小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実	
いも類	かんしょ		種いも用、原料用かんしょを含む。	
	ばれいしょ		種いも用、原料用ばれいしょを含む。	
工芸農作物	てんさい		寒冷地作物として中、高緯度で栽培される甘味資源作物（ビート・トップを含む。）	
	さとうきび		熱帯を中心に栽培される甘味資源作物	
	その他の工芸農作物		なたね、い草、こんにゃくいも、葉たばこ等	
その他作物	飼料用作物		飼料用米、WCS用稲以外の飼料作物（自給用含む。）	
	その他		芝、苗、苗木等（栽培きのこ類を含む。）	

品目	説明	植栽面積（a）
茶	数量は、荒茶で換算して記入してください。	
果樹	りんご、みかん、ぶどう等の果樹	

品目			説明		作付延べ面積
野菜	露地		露地で生産した野菜	a	
	施設		施設で生産した野菜	㎡	
花き	露地	切り花	露地で生産した花き（鉢植えの花木を含む。）	a	
		鉢物		a	
	施設	切り花	施設で生産した花き（鉢植えの花木を含む。）	㎡	
		鉢物		㎡	

旧

【９】生産概況及び農畜産物収入

１年間（決算期間）に販売目的で作付け（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）、生産量、販売数量及び販売金額をそれぞれ記入してください。

１　農産物

	品目		説明	作付延 田
1	作物	食用米 主食用米	玄米、白米、もみ（種籾を含む。）、くず米	
		食用米 加工用米	加工用米及び米粉用米	
		稲わら等	稲わら、ぬか等を販売したもの	
		飼料作物（稲） 飼料用米	飼料用米として販売したもの	
		飼料作物（稲） ＷＣＳ用稲	稲発酵粗飼料	

	品目		説明	作付延 田
2	麦類	小麦	小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦以外の麦（えん麦、らい麦等）は、その他の麦の欄に記入してください。	
		二条大麦		
		六条大麦		
		はだか麦		
		その他の麦		
3	雑穀	そば	そば殻も含む。	
		他の雑穀（そば以外）	とうもろこし、あわ、ひえ等の穀物	
4	豆類	大豆	乾燥子実。生（枝豆）は野菜	
		大豆以外	小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実	
		うち小豆	大豆以外の豆類のうち、小豆のみ	
5	いも類	かんしょ	種いも用、原料用かんしょも含む。	
		ばれいしょ	種いも用、原料用ばれいしょも含む。	
6	工芸農作物	てんさい	寒冷地作物として中、高緯度で栽培される製糖作物（ビート・トップを含む。）	
		さとうきび	熱帯を中心に栽培される製糖作物	
		その他の工芸農作物	なたね、い草、こんにゃくいも、葉たばこ等	
7	その他作物	飼料用作物	飼料用米、WCS用稲以外の飼料作物	
		その他	芝、苗、苗木等（栽培きのこ類を含む。）	

	品目	説明	植栽面積（a）
8	茶	数量は、荒茶で換算して記入してください。	
9	樹	りんご、みかん、ぶどう等の果樹	

	品目			説明	作付延べ面積		販売金額（円）
10	野菜	露地		露地で生産した野菜		a	
		施設		施設で生産した野菜		㎡	
11	花き	露地	切り花	露地で生産した花き（鉢植えの花木を含む。）		a	
			鉢物			a	
		施設	切り花	施設で生産した花き（鉢植えの花木を含む。）		㎡	
			鉢物			㎡	

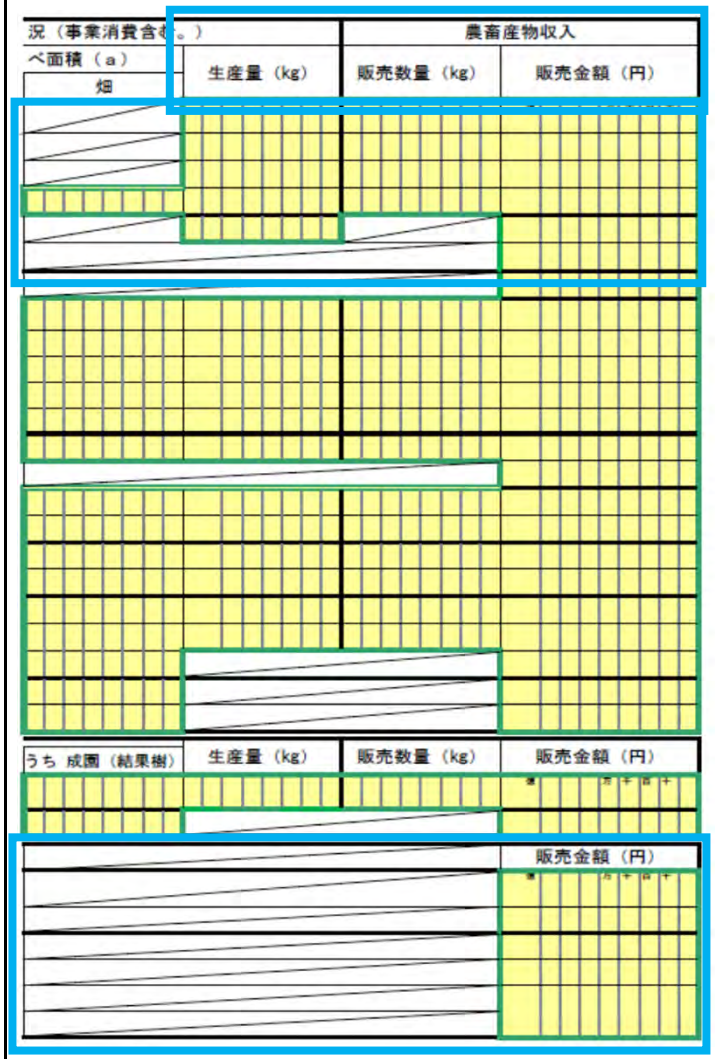
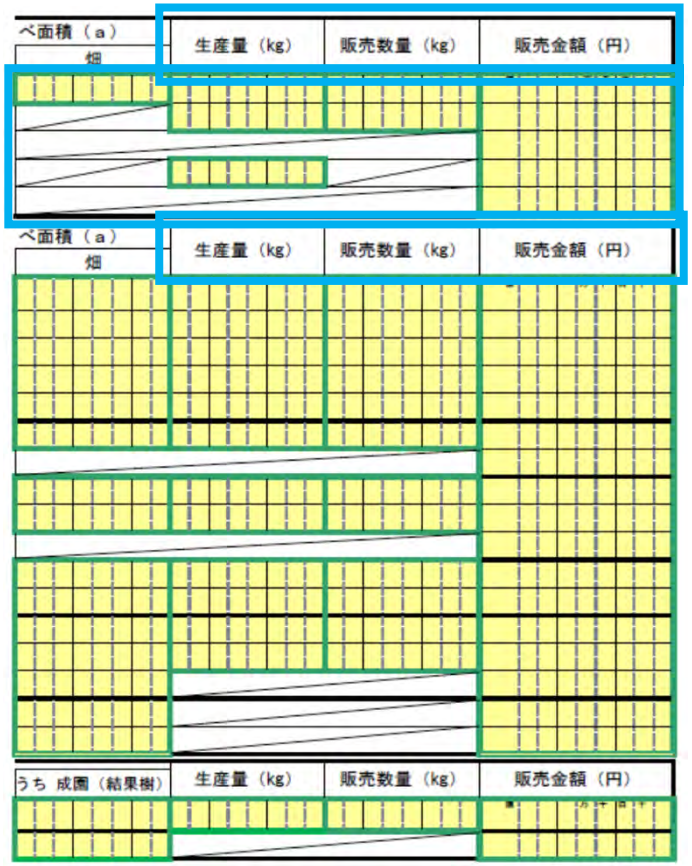
変更点及び理由

品目欄に設けていた項番を削除する。

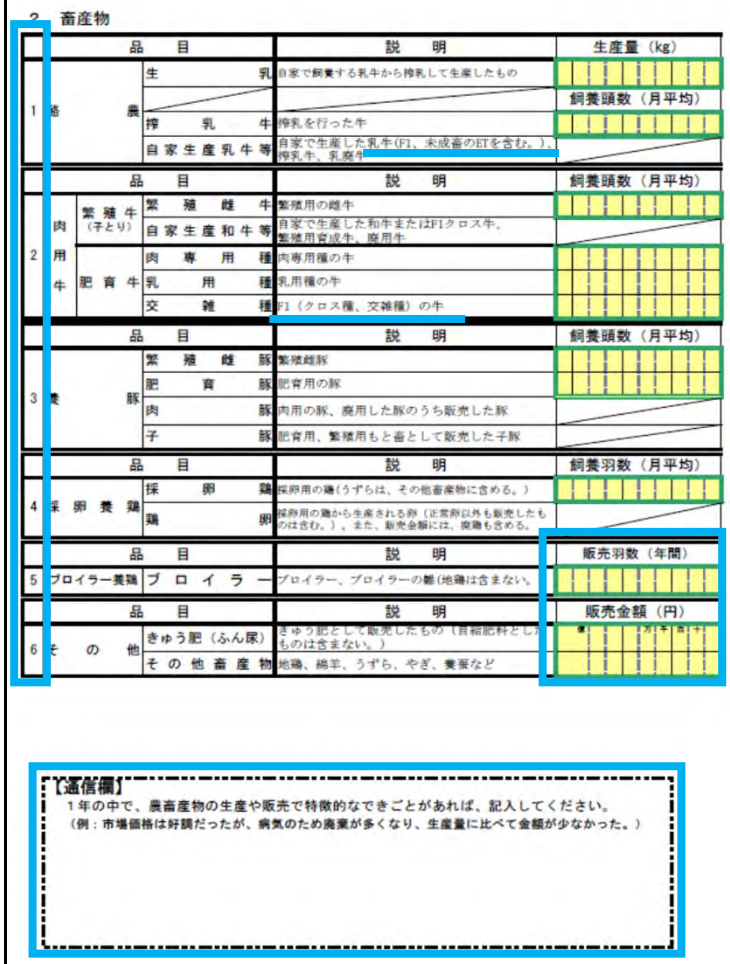
食用と飼料用の用途を明確にするため、「稲作」について把握する項目区分を変更する。

小豆を分離する必要がないため、「豆類」における「うち小豆」の把握を廃止する。

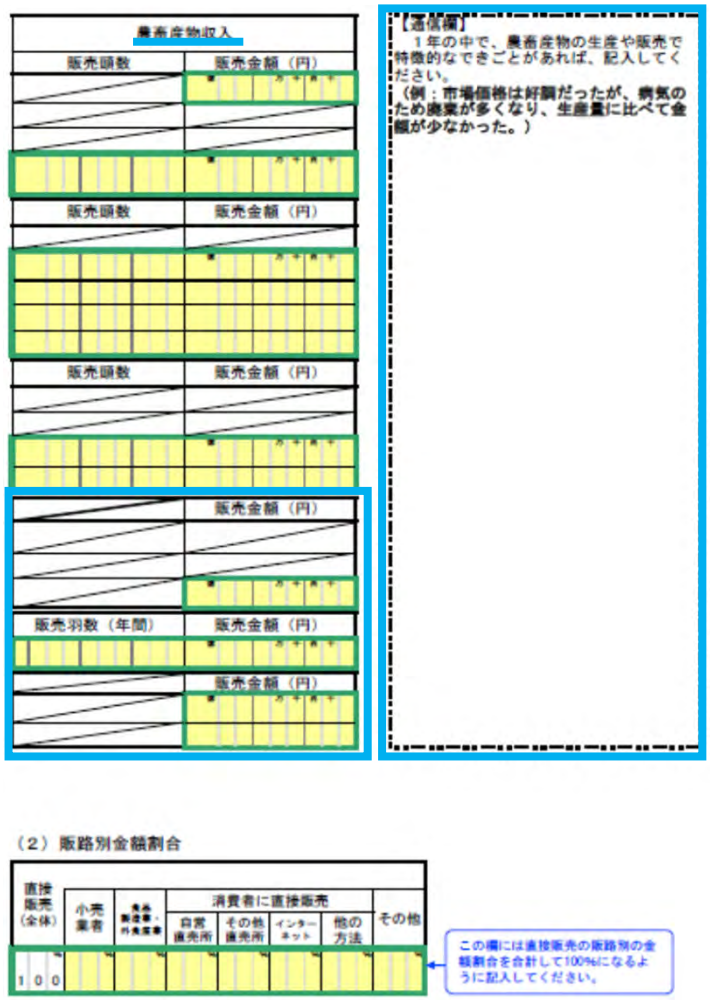
３　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）（続き）

新	旧	変更点及び理由
		間違いが生じないようにするため、表頭で、生産概況と農畜産物収入を明確に区分するように変更する。

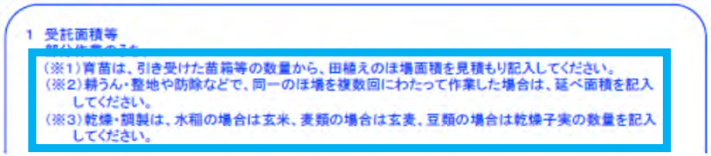
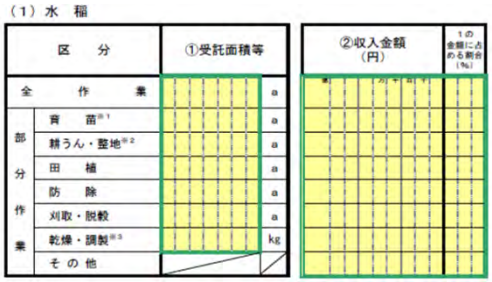
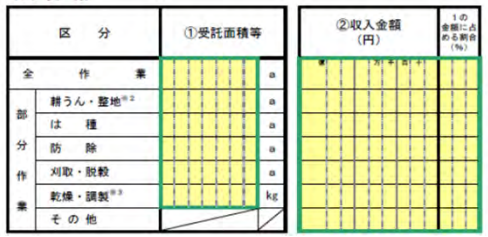
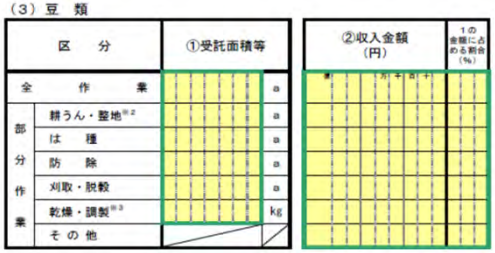
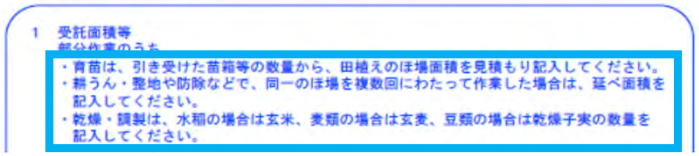
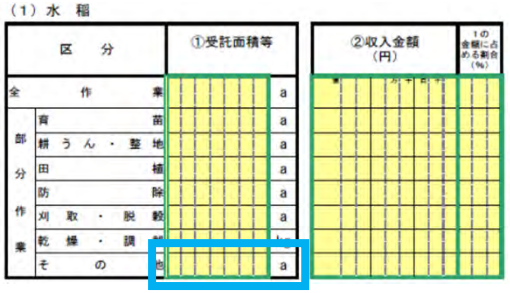
３　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）（続き）

新	旧	変更点及び理由
		表頭のレイアウトを「１　農産物」と統一する。 品目欄に設けていた項番は、なくても問題ないと判断されるため削除する。 説明文の記述内容を他の調査票と統一する。 スペースの都合のため、「３直接販売」と「【通信欄】」について、記入の順番を入れ替える。

３　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）（続き）

新	旧	変更点及び理由
		間違いが生じないようにするため、表頭で、生産概況と農畜産物収入を明確に区分するように変更する。 スペースの都合のため、「３直接販売」と「【通信欄】」について、記入の順番を入れ替える。

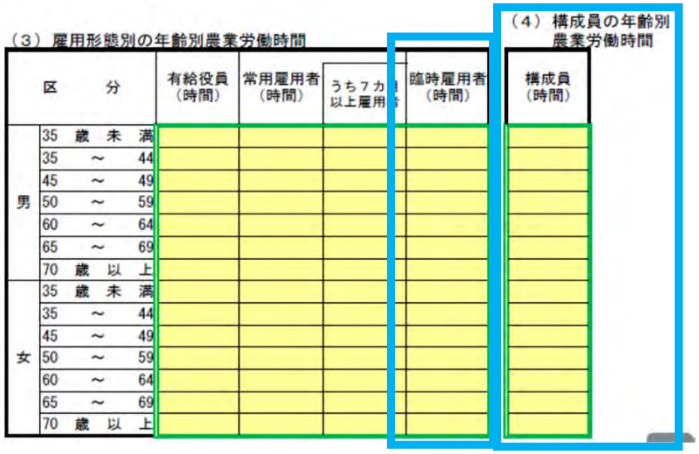
３　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）（続き）

新	旧	変更点及び理由
【10】農作業受託収入等  1　受託面積等 （※1）育苗は、引き受けた苗箱等の数量から、田植えのほ場面積を見積もり記入してください。 （※2）耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。 （※3）乾燥・調製は、水稲の場合は玄米、麦類の場合は玄麦、豆類の場合は乾燥子実の数量を記入してください。  （1）水　稲 区　分 / ①受託面積等 / ②収入金額（円） / 1の金額に占める割合（%） 全作業 / 部分作業：育苗※1 / 耕うん・整地※2 / 田植 / 防除 / 刈取・脱穀 / 乾燥・調製※3 / その他  （2）麦　類 区　分 / ①受託面積等 / ②収入金額（円） / 1の金額に占める割合（%） 全作業 / 部分作業：耕うん・整地※2 / は種 / 防除 / 刈取・脱穀 / 乾燥・調製※3 / その他  （3）豆　類 区　分 / ①受託面積等 / ②収入金額（円） / 1の金額に占める割合（%） 全作業 / 部分作業：耕うん・整地※2 / は種 / 防除 / 刈取・脱穀 / 乾燥・調製※3 / その他	【10】農作業受託収入等  1　受託面積等 ・育苗は、引き受けた苗箱等の数量から、田植えのほ場面積を見積もり記入してください。 ・耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。 ・乾燥・調製は、水稲の場合は玄米、麦類の場合は玄麦、豆類の場合は乾燥子実の数量を記入してください。  （1）水　稲 区　分 / ①受託面積等 / ②収入金額（円） / 1の金額に占める割合（%） 全作業 / 部分作業：育苗 / 耕うん・整地 / 田植 / 防除 / 刈取・脱穀 / 乾燥・調 / その他 （2）麦　類 区　分 / ①受託面積等 / ②収入金額（円） / 1の金額に占める割合（%） 全作業 / 部分作業：耕うん・整地 / は種 / 防除 / 刈取・脱穀 / 乾燥・調 / その他 （3）豆　類 区　分 / ①受託面積等 / ②収入金額（円） / 1の金額に占める割合（%） 全作業 / 部分作業：耕うん・整地 / は種 / 防除 / 刈取・脱穀 / 乾燥・調 / その他	間違いが生じないようにするため、それぞれの説明文が、入力する表のどの部分に該当するかを明確にする。 部分作業・その他の「受託面積等」は、複数の異なる作業の延べ面積の把握が困難であり、報告者の記帳負担の軽減から把握を廃止する。

３　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）（続き）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更点及び理由</th></tr>
<tr>
<td>【12】労働の概要
（３）農業従事者の年齢別日数別従事者数（臨時雇用者を除く。）

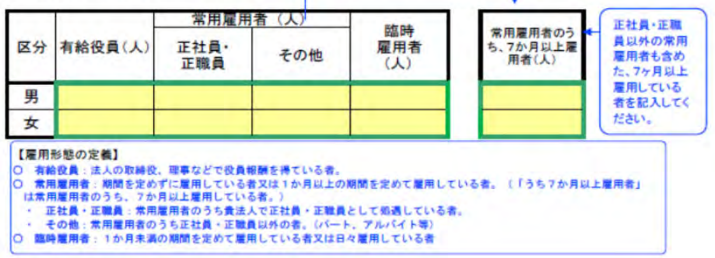
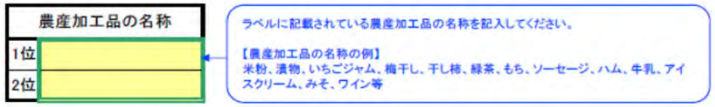
<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">区　分</th><th colspan="3">農業に従事した日数別　（人）</th></tr>
<tr><th>60日未満</th><th>60～150日</th><th>150日以上</th></tr>
<tr><td rowspan="8">男</td><td>35 歳 未 満</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>35 ～ 44</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>45 ～ 49</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>50 ～ 59</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>60 ～ 64</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>65 ～ 69</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>70 歳 以 上</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="8">女</td><td>35 歳 未 満</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>35 ～ 44</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>45 ～ 49</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>50 ～ 59</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>60 ～ 64</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>65 ～ 69</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>70 歳 以 上</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table></td>
<td>【12】労働の概要
（３）農業従事者の年齢別日数別従事者数

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">区　分</th><th colspan="3">農業に従事した日数別　（人）</th></tr>
<tr><th>60日未満</th><th>60～150日</th><th>150日以上</th></tr>
<tr><td rowspan="8">男</td><td>35 歳 未 満</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>35 ～ 44</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>45 ～ 49</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>50 ～ 59</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>60 ～ 64</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>65 ～ 69</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>70 歳 以 上</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="8">女</td><td>35 歳 未 満</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>35 ～ 44</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>45 ～ 49</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>50 ～ 59</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>60 ～ 64</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>65 ～ 69</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>70 歳 以 上</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table></td>
<td>間違いが生じないようにするため、農業従事者の年齢別日数別従事者数は、臨時雇用者を除いて把握することを明記する。</td>
</tr>
<tr>
<td>（３）雇用形態別の年齢別農業労働時間
<table>
<tr><th colspan="2">区　分</th><th>有給役員（時間）</th><th>常用雇用者（時間）</th><th>うち７カ月以上雇用者</th></tr>
<tr><td rowspan="8">男</td><td>35 歳 未 満</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>35 ～ 44</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>45 ～ 49</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>50 ～ 59</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>60 ～ 64</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>65 ～ 69</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>70 歳 以 上</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="8">女</td><td>35 歳 未 満</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>35 ～ 44</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>45 ～ 49</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>50 ～ 59</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>60 ～ 64</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>65 ～ 69</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>70 歳 以 上</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table></td>
<td>（３）雇用形態別の年齢別農業労働時間
（４）構成員の年齢別農業労働時間
 
<table>
<tr><th colspan="2">区　分</th><th>有給役員（時間）</th><th>常用雇用者（時間）</th><th>うち７カ月以上雇用</th><th>臨時雇用者（時間）</th><th>構成員（時間）</th></tr>
<tr><td rowspan="8">男</td><td>35 歳 未 満</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>35 ～ 44</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>45 ～ 49</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>50 ～ 59</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>60 ～ 64</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>65 ～ 69</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>70 歳 以 上</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="8">女</td><td>35 歳 未 満</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>35 ～ 44</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>45 ～ 49</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>50 ～ 59</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>60 ～ 64</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>65 ～ 69</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>70 歳 以 上</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table></td>
<td>報告者の負担軽減を図り、間違いが生じないようにするため、雇用形態別の年齢別農業労働時間は、臨時雇用者を除いて把握するように変更する。
報告者の負担軽減を図るため、構成員の年齢別農業労働時間の把握を廃止する。</td>
</tr>
</table>

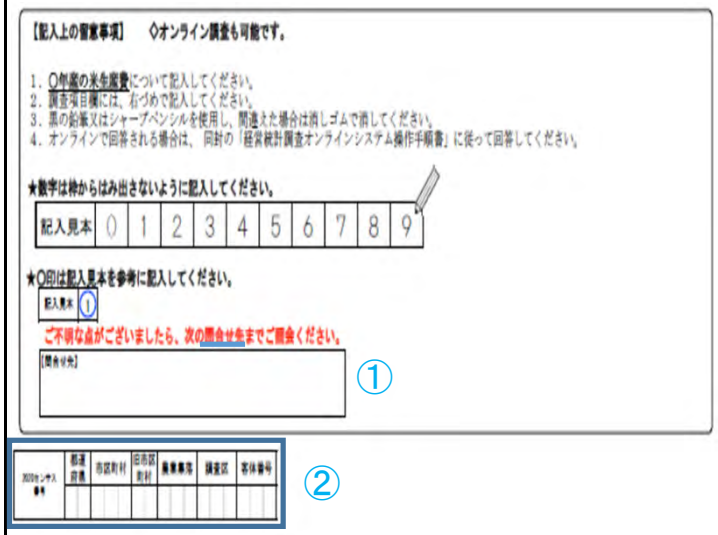
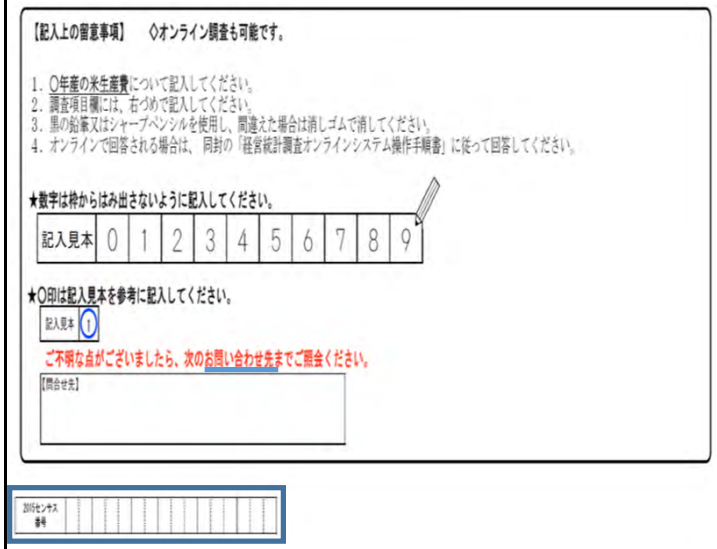
３　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）（続き）

新	旧	変更点及び理由
【13】農業生産関連事業収支 【13】農業生産関連事業収支 1　各農業生産関連事業の収入金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。 金額での記入が難しい場合、この欄に「【4】損益計算書」（7ページ）の1（1）「売上高」に対する割合を記入してください。 区分 / 収入金額（円） / 売上高割合（%） 1 農産加工 農産加工事業の売上高 2 観光農園 観光農園、関連施設内での売上高 3 貸し農園 貸し農園の売上高 4 農家民宿 農家民宿での売上高 5 農家レストラン 農家レストランでの売上高 6 その他 上記以外の売上高 2　農業生産関連事業の支出金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。 金額での記入が難しい場合、この欄に「【4】損益計算書」（7ページ）の1（1）「売上原価」に占める割合を記入してください。 （1）農業生産関連事業支出（売上原価） この欄には、農業生産関連事業の「売上原価」に占める割合を記入してください。 区分 / 支出金額（円） / 売上原価割合（%） / 売上原価割合（%） 売上原価 商品の仕入原価、製造原価 製造原価 材料費 事業で消費した材料費 労務費 農業生産関連事業労働分の労務費 減価償却費 農業生産関連事業分の減価償却費 農業生産関連事業に仕向けた「自家農畜産物」 農業の金額が記入場合、この欄に「【4】損益計算書」（7ページ）の1（1）「販売費及び一般管理費」に占める割合を記入してください。 この欄には、農業生産関連事業の「販売費及び一般管理費」に占める割合を記入してください。 区分 / 支出金額（円） / 販管費割合（%） / 販管費割合（%） 販売費及び一般管理費 各農業生産関連事業の販売費及び一般管理費の合計 人件費 農業生産関連事業労働分の人件費 減価償却費 農業生産関連事業分の減価償却費 調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。	【13】農業生産関連事業収支 1　各農業生産関連事業の収入金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。 この欄には、「【4】損益計算書」（7ページ）の1（1）「売上高」に対する割合を記入してください。 区分 / 収入金額（円） / 売上高割合（%） 1 農産加工 農産加工事業の売上高 2 観光農園 観光農園、関連施設内での売上高 3 貸し農園 貸し農園の売上高 4 農家民宿 農家民宿での売上高 5 農家レストラン 農家レストランでの売上高 6 その他 上記以外の売上高 農業生産関連事業収入の金額又は、売上高に占める割合のいずれかで、記入してください。 2　農業生産関連事業の支出金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。 この欄には、「【4】損益計算書」（7ページ）の1（1）「売上原価」に占める割合を記入してください。 （1）農業生産関連事業支出（売上原価） 区分 / 支出金額（円） / 売上原価割合（%） / 売上原価割合（%） 売上原価 商品の仕入原価、製造原価 100 商品仕入 仕入販売する商品の仕入額 材料費 事業で消費した材料費 うち自家農畜産物 材料費のうち、自らが生産した農畜産物 労務費 農業生産関連事業労働分の労務費 外注費 事業に付随して行った外注経費 減価償却費 農業生産関連事業分の減価償却費 その他 上記以外の売上原価 この欄には、農業生産関連事業の「売上原価」に占める割合を記入してください。 この欄には、「【4】損益計算書」（7ページ）の1（1）「販売費及び一般管理費」に占める割合を記入してください。 （2）農業生産関連事業支出（販売費及び一般管理費） 区分 / 支出金額（円） / 販管費割合（%） / 販管費割合（%） 販売費及び一般管理費 各農業生産関連事業の販売費及び一般管理費の合計 100 人件費 農業生産関連事業労働分の人件費 減価償却費 農業生産関連事業分の減価償却費 その他 上記以外の販売費及び一般管理費 この欄には、農業生産関連事業の「販売費及び一般管理費」に占める割合を記入してください。	間違いが生じないようにするため、説明文を分かり易い文章に変更する。 報告者の負担軽減を図るため、農業生産関連事業支出については、「商品仕入」「材料費のうち自家農産物」「外注費」「その他」の区分を廃止する。 他の調査票と統一して、最後に、調査協力のお礼を追加する。

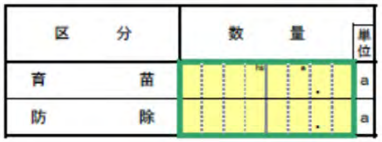
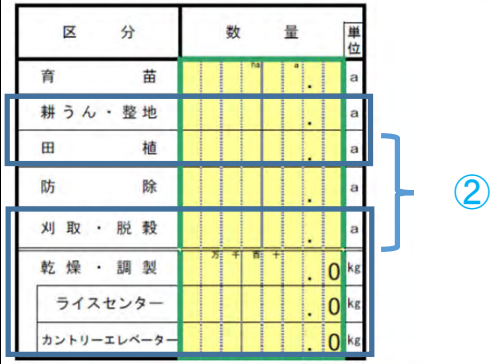
３　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）（続き）

新	旧	変更点及び理由
（削除）	３ 農業生産関連事業の概況について、記入してください。 ４　１年間（決算期間）の農業生産関連事業従事者数を男女別・雇用形態別に実人数で記入してください。  ５　農産加工を行っている方のみ記入してください。 生産する農産加工品の販売金額上位２品目までについて、農産加工品の名称を記入してください。 	報告者の負担軽減を図るため、農業生産関連事業の概況、１年間の農業生産関連事業従事者数、農産加工品の名称の把握を廃止する。

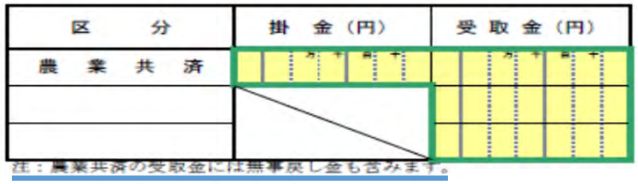
４　米生産費統計調査票（個別経営体用）

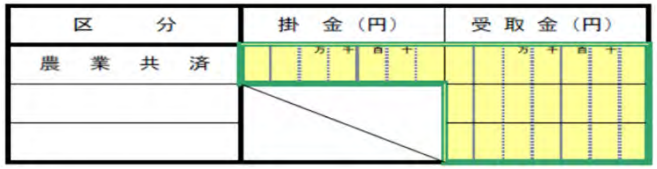
新	旧	変更点及び理由
表紙  	表紙  	①　使用している用語を、他の調査票と統一する。 ②　センサス調査年を更新するとともに、記入する16桁の番号に間違いが生じないようにするため、ヘッダとして都道府県、市区町村、旧市区町村、農業集落、調査区、客体番号を記載する。 **全ての農産物生産費統計調査票に共通**
目次 【10】　農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	目次 【10】　農具の購入費等 …… 13 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	把握する内容を正確に明示するため、タイトルを変更する。 **全ての農産物生産費統計調査票に共通**

４　米生産費統計調査票（個別経営体用）（続き）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更点及び理由</th></tr>
<tr>
<td>【１】経営の概況
９　食用米生産における作業委託の状況
同一のほ場を複数回にわたって防除した場合は、延べ面積を記入してください。
育苗は、委託した苗を用いて植え付けた田のほ場面積を記入してください。 ①
 
</td>
<td>【１】経営の概況
９　食用米生産における作業委託の状況
耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。
育苗は、委託した苗を用いて植え付けた田のほ場面積を記入してください。
乾燥・調製は、玄米の数量を記入してください。
 

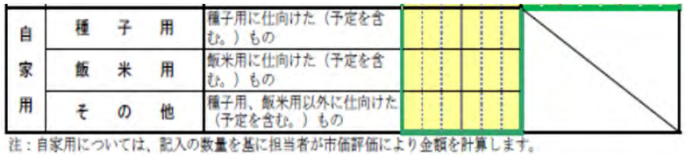
②</td>
<td>①　ここで把握する作業委託の変更を踏まえて、説明文を変更する。

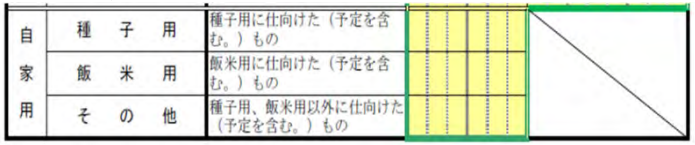
②　育苗、防除以外の作業委託の数量については、賃借料及び料金の調査項目で把握可能であることから、ここの表から削除する。</td>
</tr>
<tr>
<td>11　制度受取金等の状況
当年産の食用米に係る制度受取金等について記入してください。
 

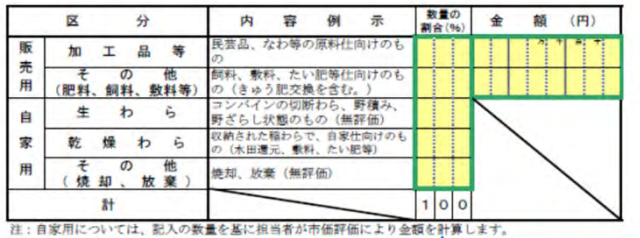
注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。</td>
<td>11　制度受取金等の状況
当年産の食用米に係る制度受取金等について記入してください。
 
</td>
<td>把握内容に間違いが生じないようにするため、注に記載する。

原料用かんしょ生産費統計調査票以外の農産物生産費統計調査票に共通</td>
</tr>
</table>

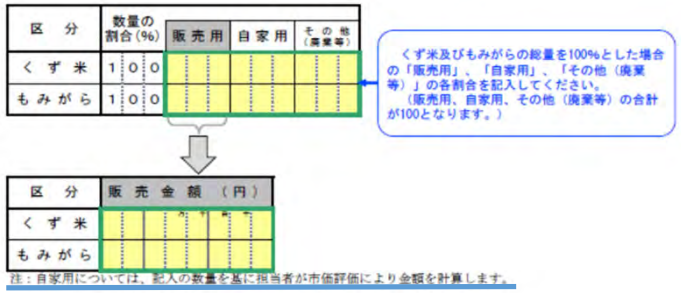
4　米生産費統計調査票（個別経営体用）（続き）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更点及び理由</th></tr>
<tr><td>【２】生産物の販売等の状況
１　食用米の販売状況等（玄米換算）
 

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。</td><td>【２】生産物の販売等の状況
１　食用米の販売状況等（玄米換算）
 
</td><td>自家用は数量のみの把握としており、金額の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。

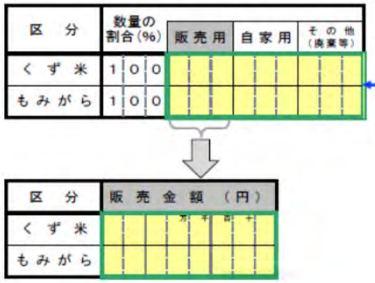
全ての農産物生産費統計調査票の主産物の販売状況表に共通</td></tr>
<tr><td>２　稲わら、くず米の販売状況等
(1)　稲わら
「数量の割合」欄には、全体の数量を100%とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。
 

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。
稲わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」の用途別に割合を記入してください。（用途別の合計が100となります。）

(2)　くず米及びもみがら
くず米及びもみがらについて、用途別に数量の割合を記入してください。
 

くず米及びもみがらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」、「その他（廃棄等）」の各割合を記入してください。（販売用、自家用、その他（廃棄等）の合計が100となります。）
注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。</td><td>２　稲わら、くず米の販売状況等
(1)　稲わら
「数量の割合」欄には、全体の数量を100%とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

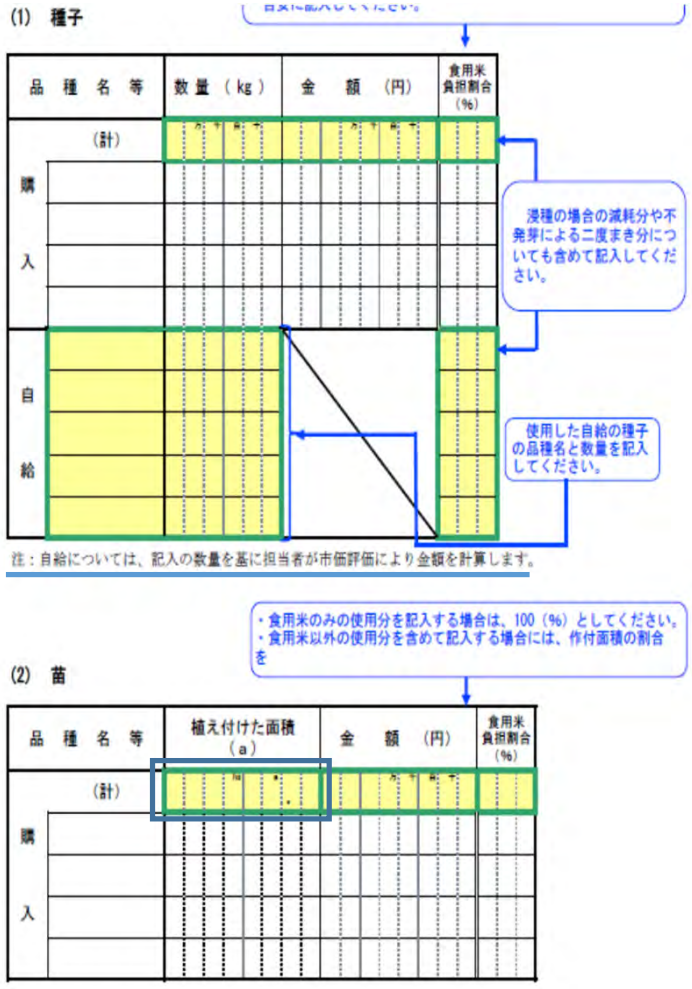
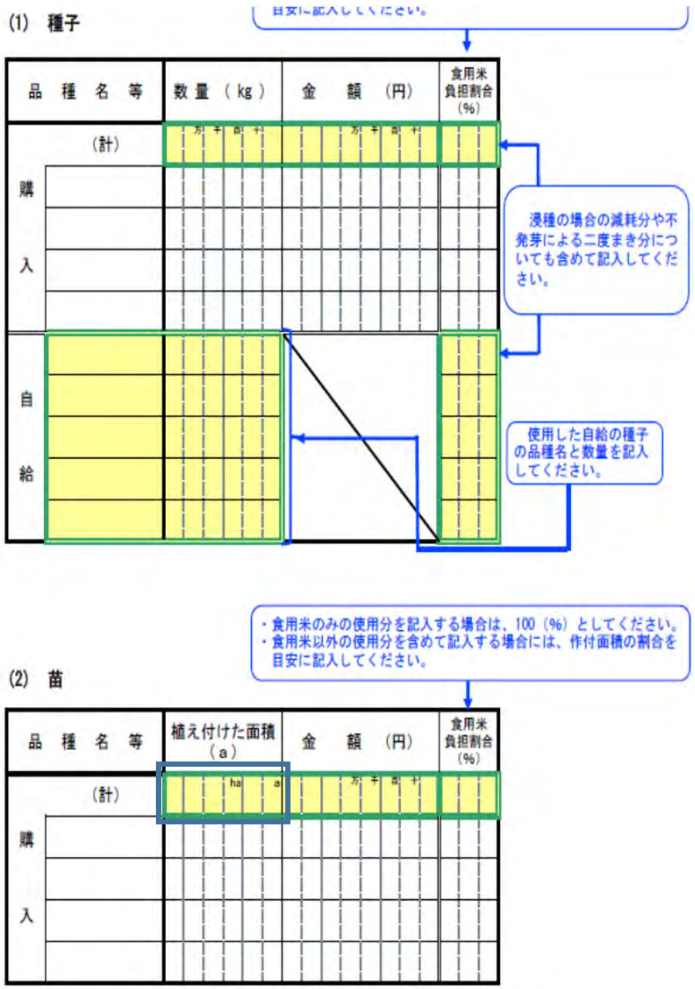
稲わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」の用途別に割合を記入してください。（用途別の合計が100となります。）

(2)　くず米及びもみがら
くず米及びもみがらについて、用途別に数量の割合を記入してください。
 

くず米及びもみがらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」、「その他（廃棄等）」の各割合を記入してください。（販売用、自家用、その他（廃棄等）の合計が100となります。）</td><td>自家用は数量のみの把握としており、金額の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。

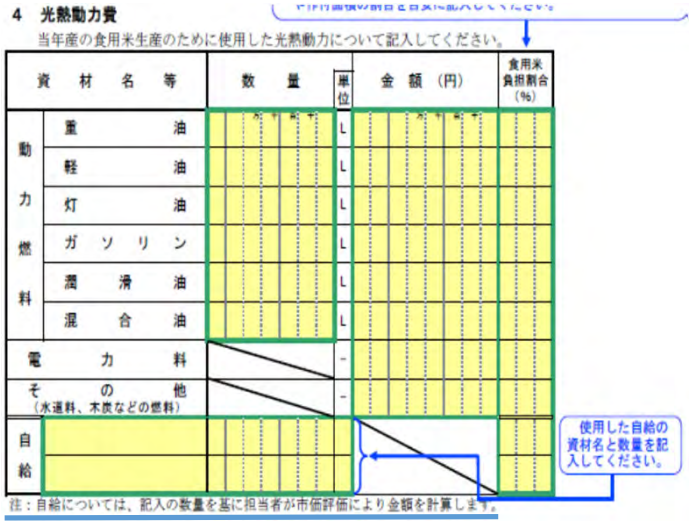
全ての農産物生産費統計調査票のくず（副産物）の販売状況表に共通</td></tr>
</table>

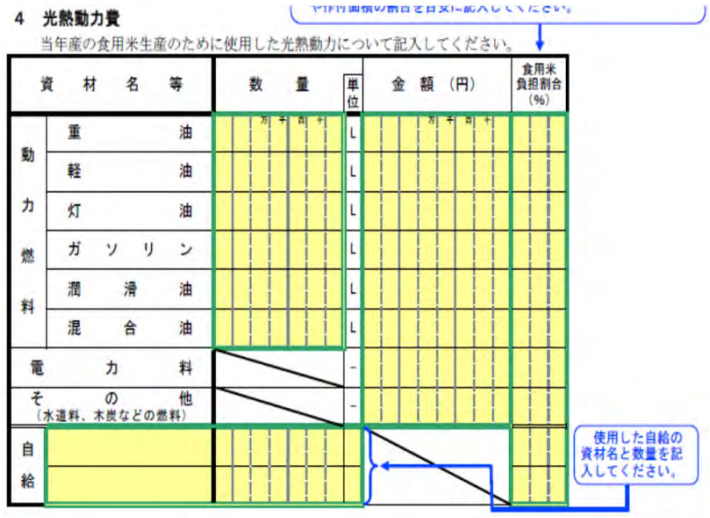
４　米生産費統計調査票（個別経営体用）（続き）

新	旧	変更点及び理由
【３】食用米の生産のために使用した資材等 １　種苗費 	【３】食用米の生産のために使用した資材等 １　種苗費 	自給資材は数量のみの把握としており、金額の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。 **米生産費統計調査票（組織法人経営体用）も同じ** 面積の記入単位を調査票内で統一するため、小数１位までに変更する。 **米生産費統計調査票（組織法人経営体用）も同じ**

４　米生産費統計調査票（個別経営体用）（続き）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更点及び理由</th></tr>
<tr>
<td>


</td>
<td>

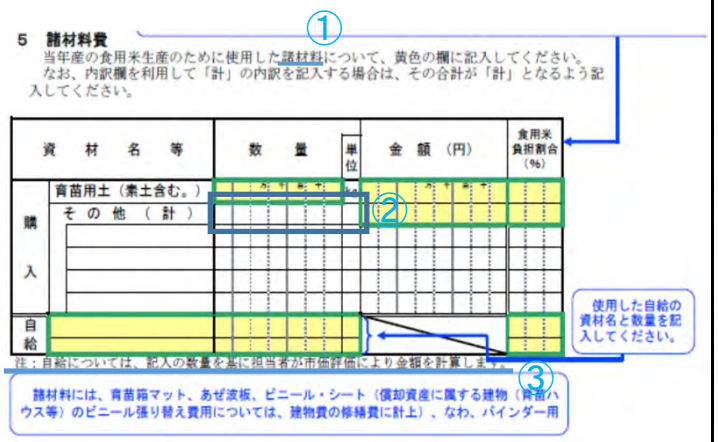
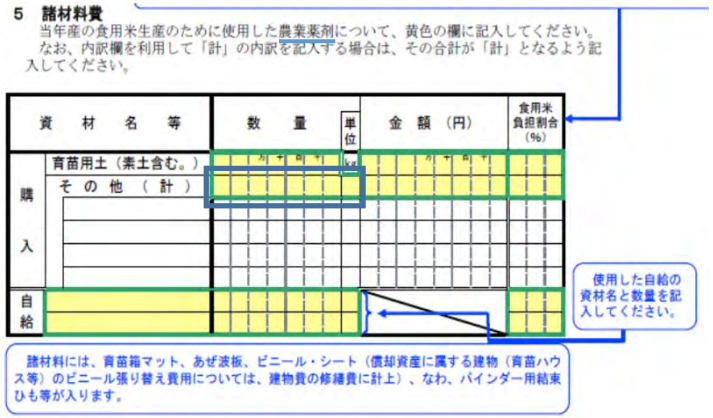
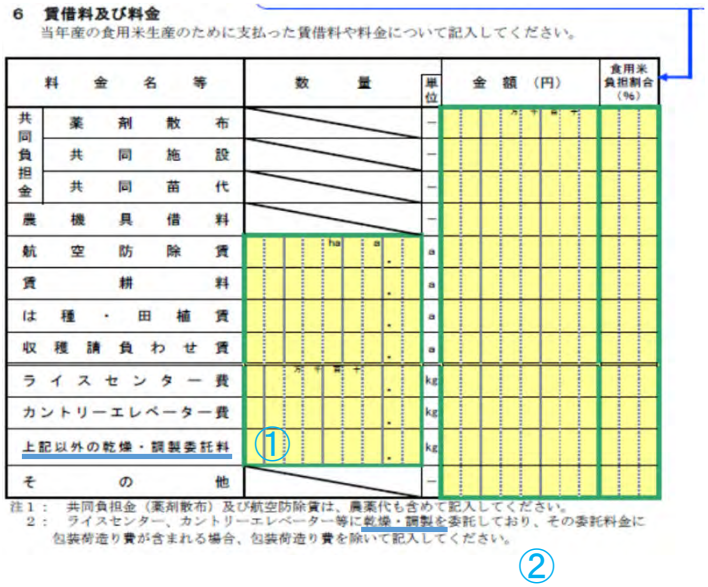
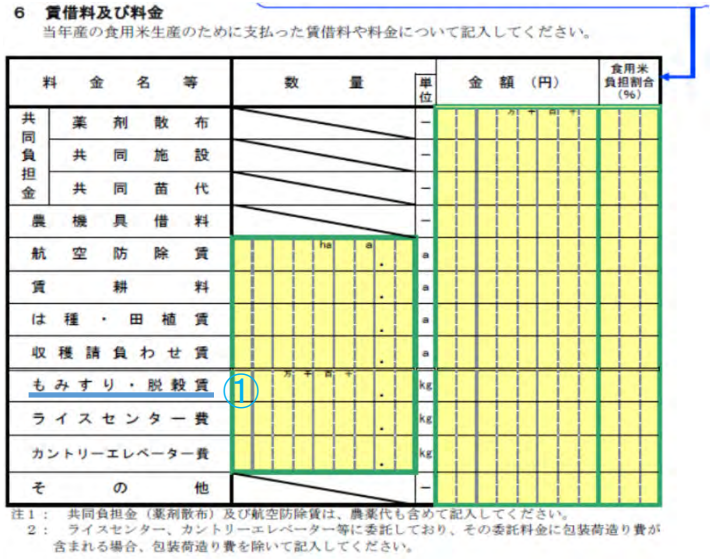

</td>
<td>自給資材は数量のみの把握としており、金額の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。

米生産費統計調査票（組織法人経営体用）も同じ

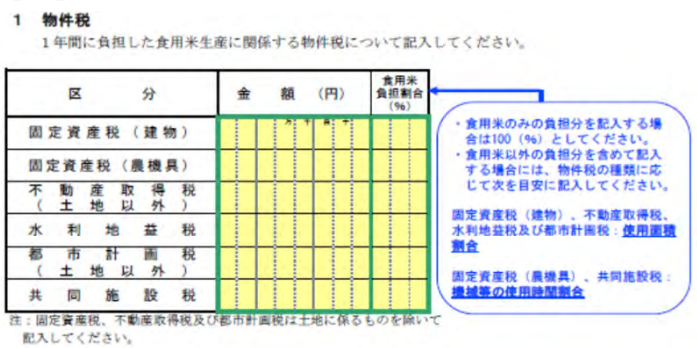
自給資材は数量のみの把握としており、金額の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。

全ての農産物生産費統計調査票に共通</td>
</tr>
</table>

4　米生産費統計調査票（個別経営体用）（続き）

新	旧	変更点及び理由
		①　誤字の修正。 ②　その他の数量について、必須の記入項目とする必要性がなくなったことから任意の記入項目に変更する。 ③　自給資材は数量のみの把握としており、金額の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。 **米生産費統計調査票（組織法人経営体用）も同じ**
		①　コンバインの普及により脱穀の委託が減少していることを踏まえ、「もみすり・脱穀賃」を削除し、ライスセンター費、カントリーエレベーター費以外の個人等への委託料の項目として「RC・CE以外の乾燥・調製委託料」を新設する。 ②　ライスセンター、カントリーエレベーター費の把握範囲に間違いが生じないよう、委託内容を追記する。 **米生産費統計調査票（組織法人経営体用）も同じ**

４　米生産費統計調査票（個別経営体用）（続き）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更点及び理由</th></tr>
<tr><td>【４】物件税及び公課諸負担
 
</td><td>【４】物件税及び公課諸負担
</td><td>税制改正により自動車取得税が廃止されたため、調査項目から「自動車取得税」を削除する。

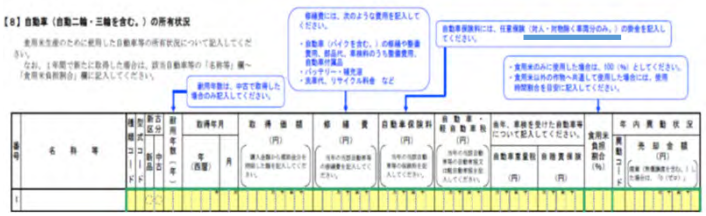
全ての農産物生産費統計調査票に共通</td></tr>
<tr><td>【５】土地改良及び水利費
当年産の食用米生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について記入してください。</td><td>【５】土地改良及び水利費
当年産の食用米生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について記入してください。
なお、土地改良区費については、事業種類別の負担金額を記入してください。</td><td>土地改良区費の事業種類別の把握は職員による整理とすることとしたため、把握内容から削除する。

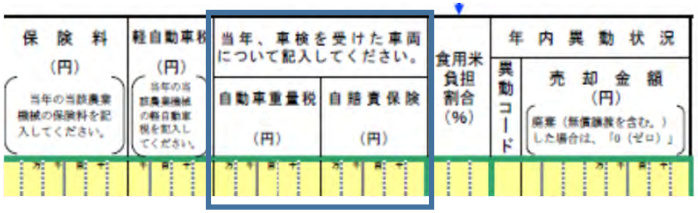
全ての農産物生産費統計調査票に共通</td></tr>
<tr><td>【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況
</td><td>【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況
</td><td>間違いが生じないようにするため、耐用年数の記入条件を追加する。

全ての農産物生産費統計調査票に共通</td></tr>
</table>

4　米生産費統計調査票（個別経営体用）（続き）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更点及び理由</th></tr>
<tr>
<td>
</td>
<td>
</td>
<td>鉄骨造の構造によって耐用年数が異なるため、構造区分を細分化する。

全ての農産物生産費統計調査票に共通</td>
</tr>
<tr>
<td>【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況
  </td>
<td>【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況
 </td>
<td>間違いが生じないようにするため、任意保険の把握内容を明確に記載する。

全ての農産物生産費統計調査票に共通</td>
</tr>
<tr>
<td>【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況
 
</td>
<td>【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況
</td>
<td>農機具の車検時に支払う自動車重量税及び自賠責保険について、別途聞き取りで把握していたが、修繕費などと同様に農機具ごとに記入できるよう記入欄を追加する。

全ての農産物生産費統計調査票に共通</td>
</tr>
</table>

４　米生産費統計調査票（個別経営体用）（続き）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更点及び理由</th></tr>
<tr>
<td>
種類コード

1	電動機	19	バインダー
2	発動機	20	自脱型コンバイン
3	歩行用トラクター	21	普通型コンバイン
4	乗用トラクター	29	脱穀機
12	電熱育苗機	31	乾燥機
13	田植機	32	もみすり機
15	揚水ポンプ	56	その他の農機具
17	動力噴霧機	57	パソコン
18	動力散粉機	58	その他の生産管理機器
33	ドローン		
</td>
<td>
種類コード

1	電動機	19	バインダー
2	発動機	20	自脱型コンバイン
3	歩行用トラクター	21	普通型コンバイン
4	乗用トラクター	29	脱穀機
12	電熱育苗機	31	乾燥機
13	田植機	32	もみすり機
15	揚水ポンプ	56	その他の農機具
17	動力噴霧機	57	パソコン
18	動力散粉機	58	その他の生産管理機器
</td>
<td>近年の普及状況を踏まえ、種類にドローンを追加する。

全ての農産物生産費統計調査票に共通</td>
</tr>
<tr>
<td>
型式コード

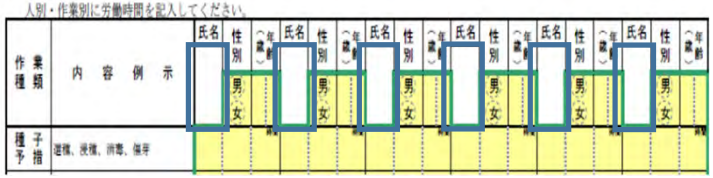
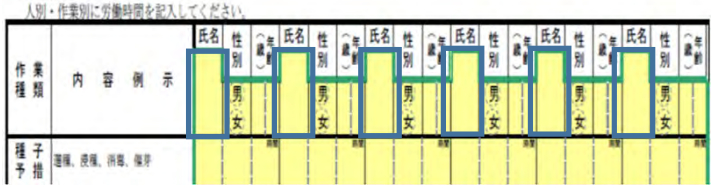
(4　乗用トラクター)		(20　自脱型コンバイン)		(56　その他の農機具)	
1	２０馬力未満	1	３条刈以下	1	その他・耐用年数３年
2	２０～５０馬力未満	2	４～５条刈	2	その他・耐用年数４年
3	５０～８０馬力未満	3	６条刈以上	3	その他・耐用年数５年
4	８０～１００馬力未満	(31　乾燥機)		4	その他・耐用年数６年
5	１００馬力以上	1	静置式	5	その他・耐用年数７年
(13　田植機)		2	循環式	上記以外の農機具	
1	２条植			6	その他
2	３～５条植				
3	６～７条植				
4	８条植以上				
</td>
<td>
型式コード

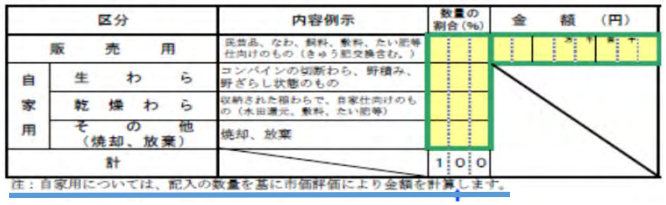
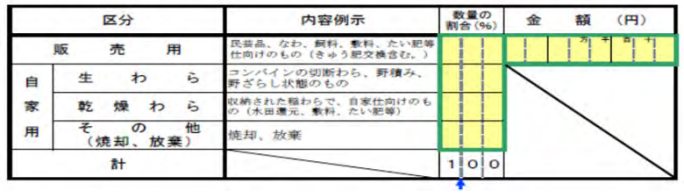
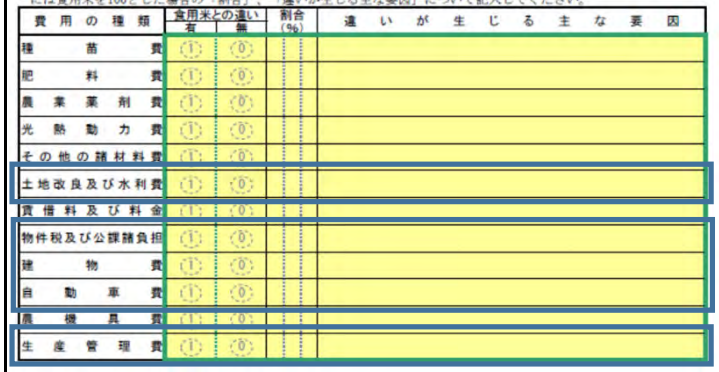
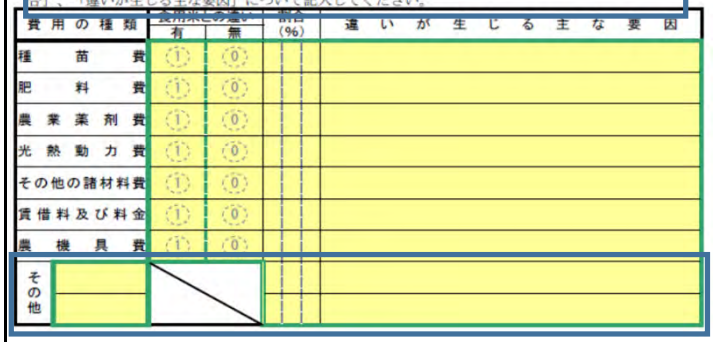
(4　乗用トラクター)		(20　自脱型コンバイン)		(56　その他の農機具)	
1	２０馬力未満	1	３条刈以下	1	その他・耐用年数３年
2	２０～５０馬力未満	2	４条刈以上	2	その他・耐用年数４年
3	５０馬力以上	(31　乾燥機)		3	その他・耐用年数５年
(13　田植機)		1	静置式	4	その他・耐用年数６年
1	２条植	2	循環式	5	その他・耐用年数７年
2	３～５条植			上記以外の農機具	
3	６条植以上			6	その他
</td>
<td>近年の大型農機の普及状況を踏まえ、乗用トラクター、田植機、自脱型コンバインの内訳を細分化する。

乗用トラクター：全ての農産物生産費統計調査票
田植機：米生産費統計調査票（組織法人経営体用）
自脱型コンバイン：原料用かんしょ、原料用ばれいしょ、てんさい及びさとうきびの生産費統計調査票以外
に共通</td>
</tr>
<tr>
<td>【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等</td>
<td>【10】農具の購入費等</td>
<td>把握内容の明確化のため、タイトルを変更する。

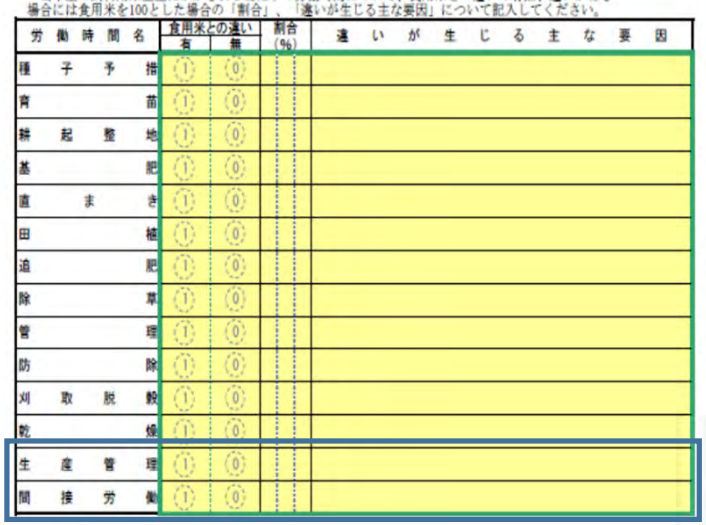
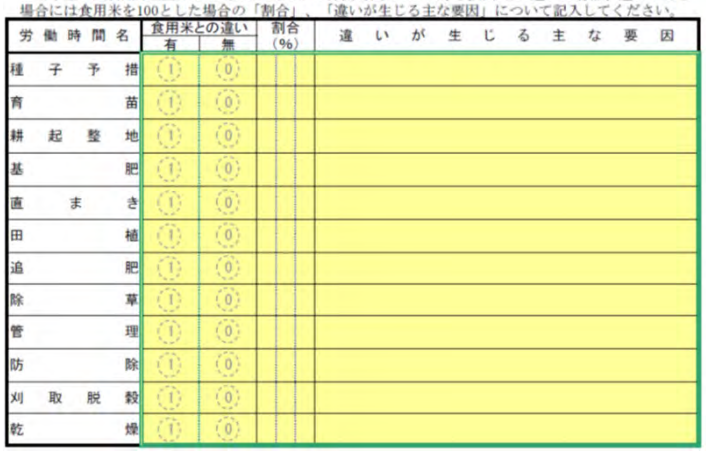
全ての農産物生産費統計調査票に共通</td>
</tr>
</table>

4　米生産費統計調査票（個別経営体用）（続き）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更点及び理由</th></tr>
<tr>
<td>【12】作業別労働時間
1　家族労働時間
人別・作業別に労働時間を記入してください。
  </td>
<td>【12】作業別労働時間
1　家族労働時間
人別・作業別に労働時間を記入してください。
  </td>
<td>氏名は特に必要ではないことから、報告者の負担軽減を図るため、氏名欄を任意記入に変更する。

農産物生産費統計調査票（個別経営体用）に共通</td>
</tr>
<tr>
<td>【13】飼料用米の作付状況、費用及び労働時間
2　稲わら販売状況等
当年産の飼料用米生産で発生した稲わらの数量、自家用別に仕向けた数量または全体を100％とした場合の割合と販売金額を記入してください。
また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を計上してください。
 
注：自家用については、記入の数量を基に市価評価により金額を計算します。</td>
<td>【13】飼料用米の作付状況、費用及び労働時間
2　稲わら販売状況等
当年産の飼料用米生産で発生した稲わらの数量、自家用別に仕向けた数量または全体を100％とした場合の割合と販売金額を記入してください。
また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を計上してください。
  </td>
<td>自家用は数量のみの把握としており、金額の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。</td>
</tr>
<tr>
<td>4　食用米生産に対して飼料用米生産にかかる費用（10ａ当たり）
当年産の飼料用米生産にかかる10ａ当たりの費用について、食用米との違いの有無、違いが有る場合には食用米を100とした場合の「割合」、「違いが生じる主な要因」について記入してください。
  </td>
<td>4　食用米生産に対して飼料用米生産にかかる費用（10ａ当たり）
当年産の飼料用米生産にかかる10ａ当たりの費用について、食用米との違いの有無、違いが有る場合には食用米を100とした場合の「割合」、「違いが生じる主な要因」について記入してください。
また、その他の費用で違いがあるものがあれば、「費用の種類」、食用米を100とした場合の「割合」、「違いが生じる主な要因」について記入してください。
  </td>
<td>把握する内容に間違いが生じないようにするため、「その他」の費用に係る記述・表を削除し、土地改良及び水利費、物件税及び公課諸負担、建物費、自動車費及び生産管理費を、表に追加する。</td>
</tr>
</table>

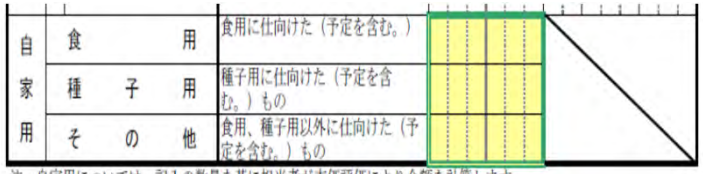
４　米生産費統計調査票（個別経営体用）（続き）

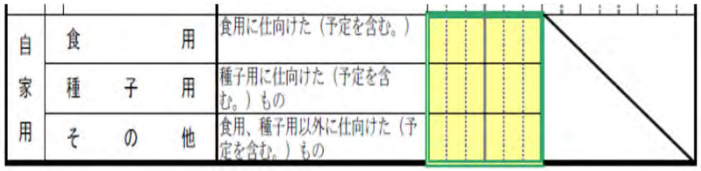
<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更点及び理由</th></tr>
<tr>
<td>
５　食用米生産に対して飼料用米生産にかかる労働時間（10ａ当たり）
当年産の飼料用米生産にかかる10ａ当たりの労働時間について、食用米との違いの有無、違いがある場合には食用米を100とした場合の「割合」、「違いが生じる主な要因」について記入してください。

<table>
<tr><th rowspan="2">労働時間名</th><th colspan="2">食用米との違い</th><th rowspan="2">割合（%）</th><th rowspan="2">違いが生じる主な要因</th></tr>
<tr><th>有</th><th>無</th></tr>
<tr><td>種子予措</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>育苗</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>耕起整地</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>基肥</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>直まき</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>田植</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>追肥</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>除草</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>管理</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>防除</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>刈取脱穀</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>乾燥</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>生産管理</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>間接労働</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td>
<td>
５　食用米生産に対して飼料用米生産にかかる労働時間（10ａ当たり）
当年産の飼料用米生産にかかる10ａ当たりの労働時間について、食用米との違いの有無、違いがある場合には食用米を100とした場合の「割合」、「違いが生じる主な要因」について記入してください。

<table>
<tr><th rowspan="2">労働時間名</th><th colspan="2">食用米との違い</th><th rowspan="2">割合（%）</th><th rowspan="2">違いが生じる主な要因</th></tr>
<tr><th>有</th><th>無</th></tr>
<tr><td>種子予措</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>育苗</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>耕起整地</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>基肥</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>直まき</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>田植</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>追肥</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>除草</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>管理</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>防除</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>刈取脱穀</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>乾燥</td><td>1</td><td>0</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td>
<td>記載漏れがあったため、生産管理、間接労働の区分を追加する（職員等の聞き取りにより補完していた。）。</td>
</tr>
<tr>
<td>最終ページの最下部

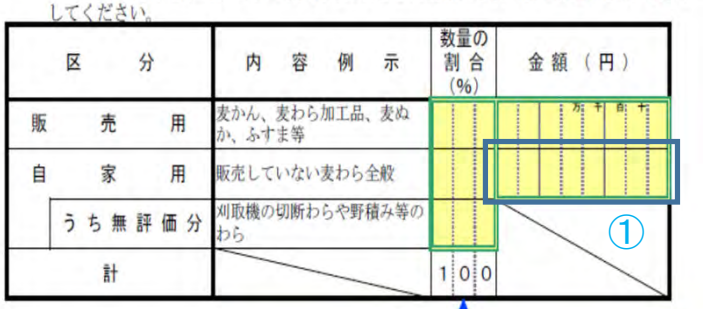
調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。</td>
<td>最終ページの最下部</td>
<td>他の調査票と統一して、最後に、調査協力のお礼を追加する。

全ての農産物生産費統計調査票に共通</td>
</tr>
</table>

５　麦類生産費統計調査票（個別経営体用）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更点及び理由</th></tr>
<tr>
<td>【２】生産物の販売等の状況
２　ビール麦の販売内訳（玄麦換算）
 

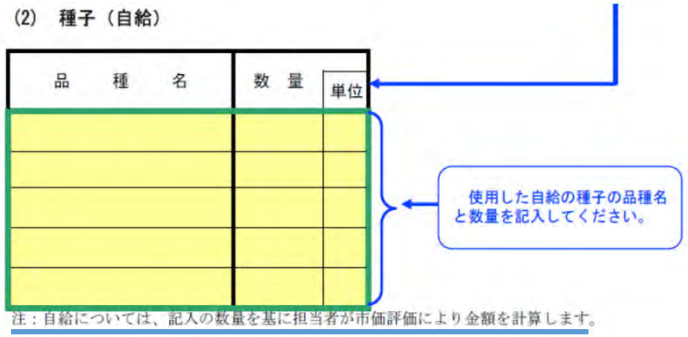
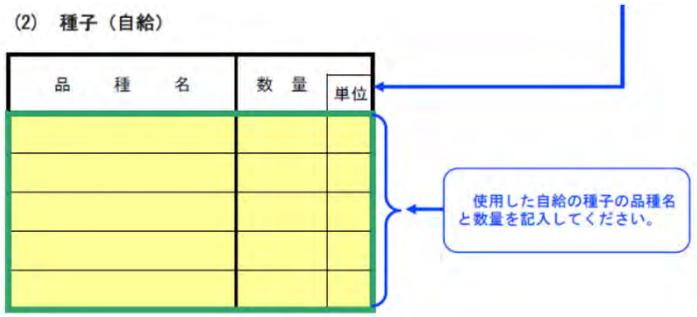
注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。</td>
<td>【２】生産物の販売等の状況
２　ビール麦の販売内訳（玄麦換算）
 
</td>
<td>自家用は数量のみの把握としており、金額の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。</td>
</tr>
<tr>
<td>３　麦わら、くず麦の販売状況等
(1)　麦わら
「数量の割合」欄には、全体の数量を100%とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

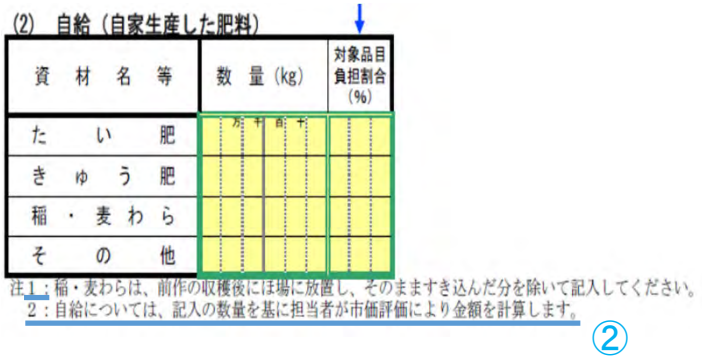
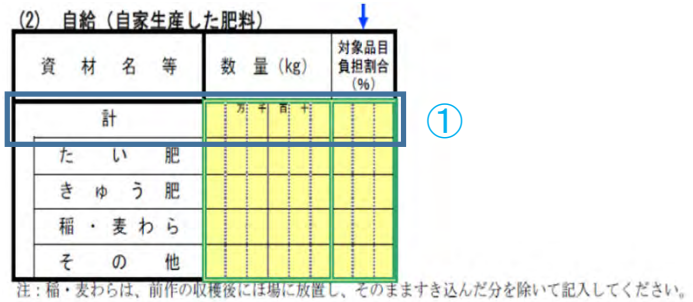
注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 ②
麦わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」の用途別に割合を記入してください。（用途別の合計が100となります。）</td>
<td>３　麦わら、くず麦の販売状況等
(1)　麦わら
「数量の割合」欄には、全体の数量を100%とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。
 

麦わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」の用途別に割合を記入してください。（用途別の合計が100となります。）</td>
<td>①　自家用の金額については担当者が計算するため、記入欄を削除する。
②　自家用の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。

小麦生産費統計調査票（組織法人経営体用）も同じ</td>
</tr>
</table>

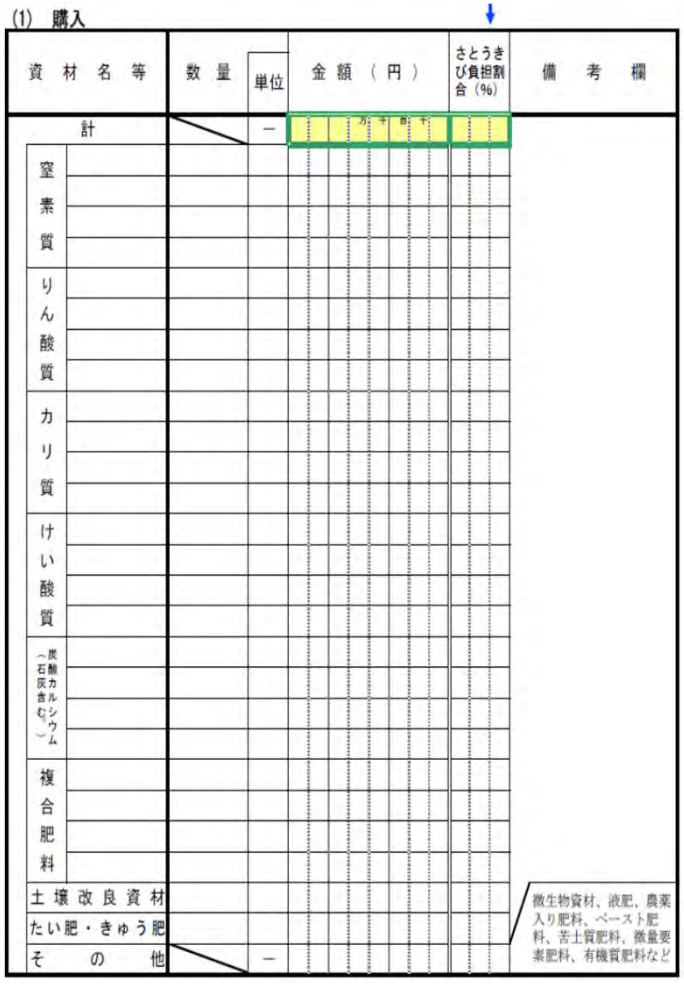
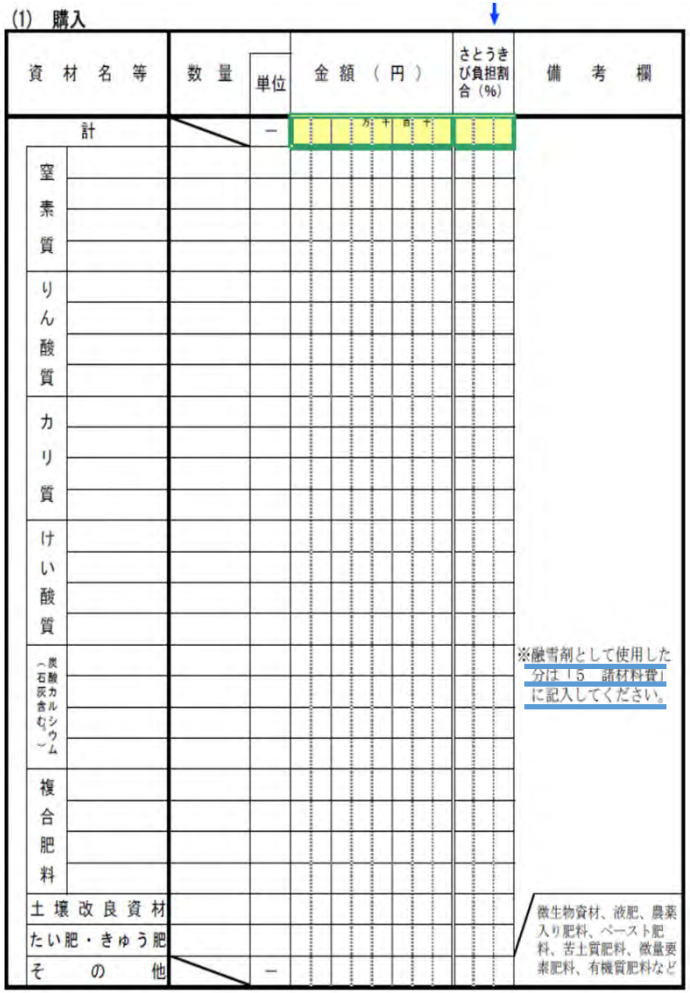
５　麦類生産費統計調査票（個別経営体用）（続き）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更点及び理由</th></tr>
<tr><td>【３】対象品目の麦の生産のために使用した資材等
１　種苗費
 
</td><td>【３】対象品目の麦の生産のために使用した資材等
１　種苗費
 
</td><td>自給資材は数量のみの把握としており、金額の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。

米以外の生産費統計調査票に共通（原料用かんしょ及び原料用ばれいしょの生産費統計調査票は「種いも（自給）」）</td></tr>
<tr><td>２　肥料費
 
</td><td>２　肥料費
 
</td><td>①　「計」は自動計算する項目であるため、欄を削除する。
②　自給資材は数量のみの把握としており、金額の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。

米以外の農産物生産費統計調査票に共通</td></tr>
</table>

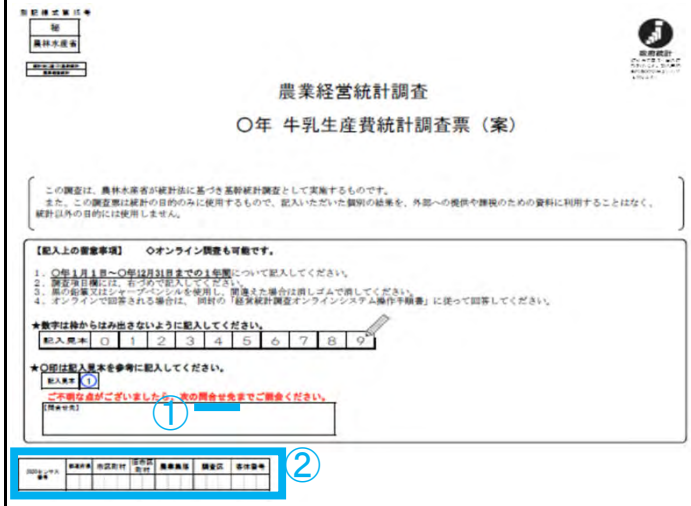
６　さとうきび生産費統計調査票（個別経営体用）

新	旧	変更点及び理由
【３】さとうきび生産のために使用した資材等 ２　肥料費 (1)　購入  	【３】さとうきび生産のために使用した資材等 ２　肥料費 (1)　購入  	さとうきびの生産地（鹿児島県及び沖縄県）において融雪剤の使用はないため、備考欄の融雪剤に係る記述を削除する。

7　米生産費統計調査票（組織法人経営体用）

新	旧	変更点及び理由
【12】作業別労働時間 1　構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間 作業ごとの延べ作業時間とその作業に携わった実人数を記入してください。 なお、構成員の労働時間については、構成員の年齢階層（65歳未満、65～69歳、70～74歳、75歳以上）別に記入してください。 構成員の年齢階層：65歳未満／65～69歳／70～74歳／75歳以上（延べ作業時間・実人数）　雇用：合計（延べ作業時間・実人数）	【12】作業別労働時間 1　構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間 作業ごとの延べ作業時間とその作業に携わった延べ人数を記入してください。 なお、構成員の労働時間については、構成員の年齢階層（65歳未満、65～69歳、70～74歳、75歳以上）別に記入してください。 構成員の年齢階層：65歳未満／65～69歳／70～74歳／75歳以上（延べ作業時間・延べ人数）　雇用：合計（延べ作業時間・延べ人数）	「延べ人数」では実際の従事者数が分からないため、「実人数」に修正する。 小麦及び大豆の農産物生産費統計調査票（組織法人経営体用）に共通

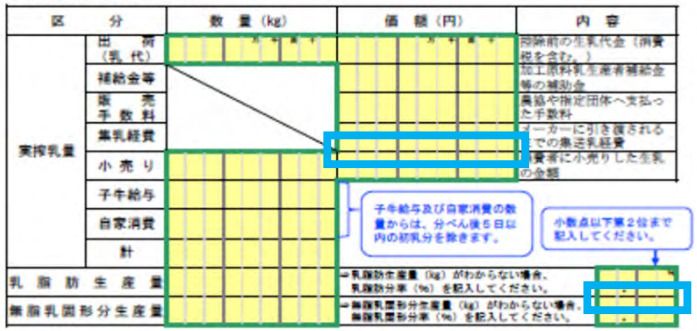
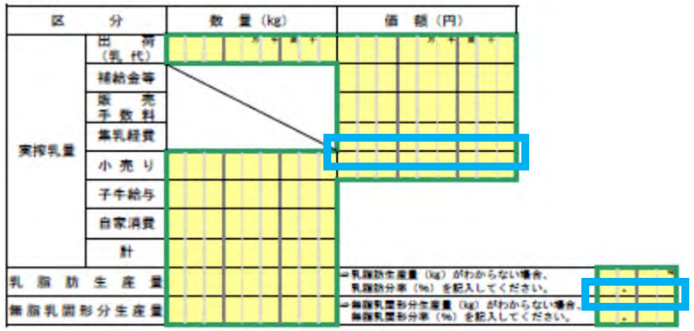
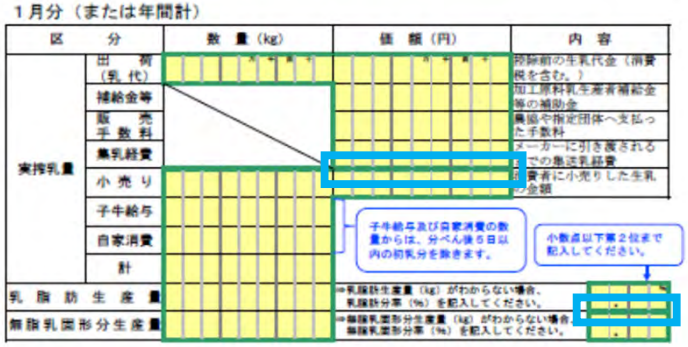
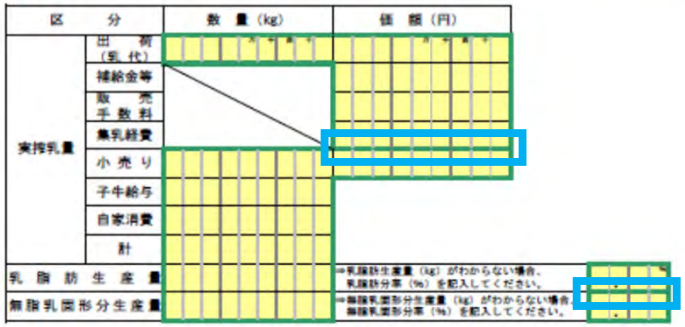
８　牛乳生産費統計調査票

新	旧	変更点及び理由
表紙  農業経営統計調査 ○年 牛乳生産費統計調査票（案） この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。 また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。 【記入上の留意事項】　◇オンライン調査も可能です。 1．○年1月1日～○年12月31日までの1年間について記入してください。 2．調査項目欄には、右づめで記入してください。 3．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。 4．オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ★○印は記入見本を参考に記入してください。 記入見本 ① ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。 【問合せ先】 ① ② 2020センサス番号 / 都道府県 / 市区町村 / 旧市区町村 / 農業集落 / 調査区 / 客体番号	表紙 農業経営統計調査 ○年 牛乳生産費統計調査票 （案） この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。 また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。 【記入上の留意事項】　◇オンライン調査も可能です。 1．○年1月1日～○年12月31日までの1年間について記入してください。 2．調査項目欄には、右づめで記入してください。 3．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。 4．オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ★○印は記入見本を参考に記入してください。 記入見本 ① ご不明な点がございましたら、次のお問い合わせ先までご照会ください。 【問合せ先】 2020センサス番号	①　使用している用語を、他の調査票と統一する。 ②　センサス調査年を更新するとともに、記入する16桁の番号に間違いが生じないようにするため、ヘッダとして都道府県、市区町村、旧市区町村、農業集落、調査区、客体番号を記載する。 全ての畜産物生産費統計調査票に共通

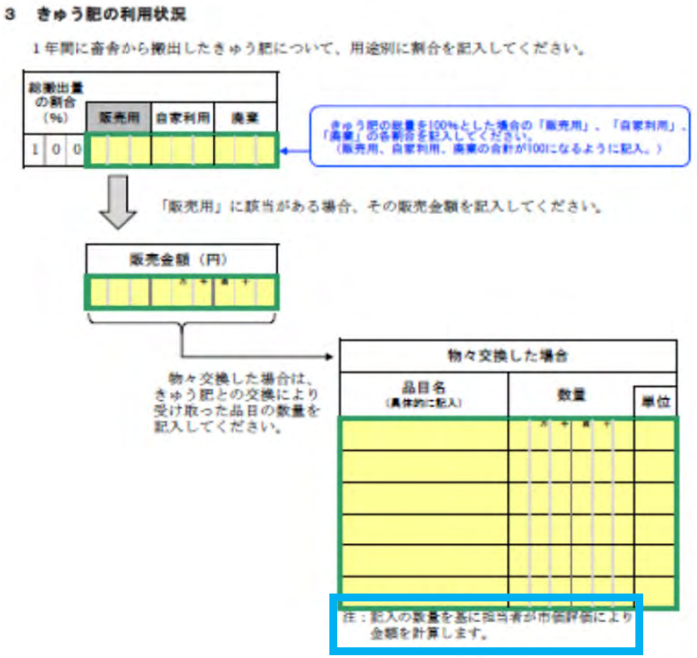
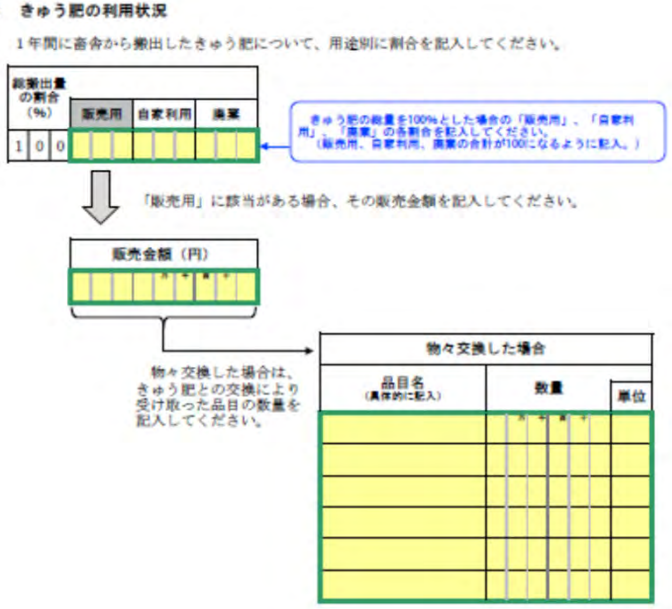
８　牛乳生産費統計調査票（続き）

新	旧	変更点及び理由
目次 調　査　事　項 ページ 【１】経営の概況 …… 3 経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。 【２】生産物の販売等の状況 …… 4 生乳生産量及び生乳、子牛の販売状況等を記入してください。 【３】調査対象畜の生産に使用した資材等 …… 7 飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、 農機具借料や牛乳検査料等の賃借料・料金等を記入してください。 【４】物件税及び公課諸負担 …… 11 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課 諸負担を記入してください。 【５】消費税 …… 11 消費税申告書により申告した消費税を記入してください。 【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 11 借入金残高、支払利子を記入してください。 【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 12 建物・構築物の所有状況を記入してください。 【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 13 自動車等の所有状況を記入してください。 【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 14 農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。 【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 15 スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、 通信費や集会参加費等を記入してください。 【11】搾乳牛等の所有状況 …… 16 搾乳牛及び子牛等の転入又は転出の異動状況を記入してください。 【12】作業別労働時間 …… 16 家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。 【13】地代（所有地及び借入地） …… 17 地代を記入してください。 【14】乳用牛の月齢別の飼育経費 …… 17 搾乳牛（成牛）の飼育に要する経費や労力に対する後継牛の飼育に要する経費や 労力の割合を乳用牛の月齢ごとに記入してください。	目次 調　査　事　項 ページ 【１】経営の概況 …… 3 経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。 【２】生産物の販売等の状況 …… 4 生乳生産量及び生乳、子牛の販売状況等を記入してください。 【３】調査対象畜の生産に使用した資材等 …… 7 飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、 農機具借料や牛乳検査料等の賃借料・料金等を記入してください。 【４】物件税及び公課諸負担 …… 11 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課 諸負担を記入してください。 【５】消費税 …… 11 消費税申告書により申告した消費税を記入してください。 【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 11 借入金残高、支払利子を記入してください。 【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 12 建物・構築物の所有状況を記入してください。 【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 13 自動車等の所有状況を記入してください。 【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 14 農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。 【10】農具の購入費等 …… 15 スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、 通信費や集会参加費等を記入してください。 【11】搾乳牛等の所有状況 …… 16 搾乳牛及び子牛等の転入又は転出の異動状況を記入してください。 【12】作業別労働時間 …… 16 家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。 【13】地代（所有地及び借入地） …… 17 地代を記入してください。 【14】乳用牛の月齢別の飼育経費 …… 17 搾乳牛（成牛）の飼育に要する経費や労力に対する後継牛の飼育に要する経費や 労力の割合を乳用牛の月齢ごとに記入してください。	把握する内容を正確に明示するため、タイトルを変更する。 **全ての畜産物生産費統計調査票に共通**

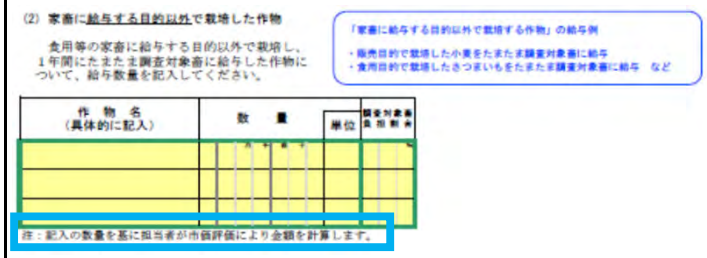
８　牛乳生産費統計調査票（続き）

新	旧	変更点及び理由
【２】生産物の販売等の状況 １月分（または年間計）  ２月分 	【２】生産物の販売等の状況 １月分（または年間計）  ２月分 	間違いが生じないようにするため、入力する項目であることが目立つように囲む緑色の線の囲み方を変更する。 12月分までの各表に共通

８　牛乳生産費統計調査票（続き）

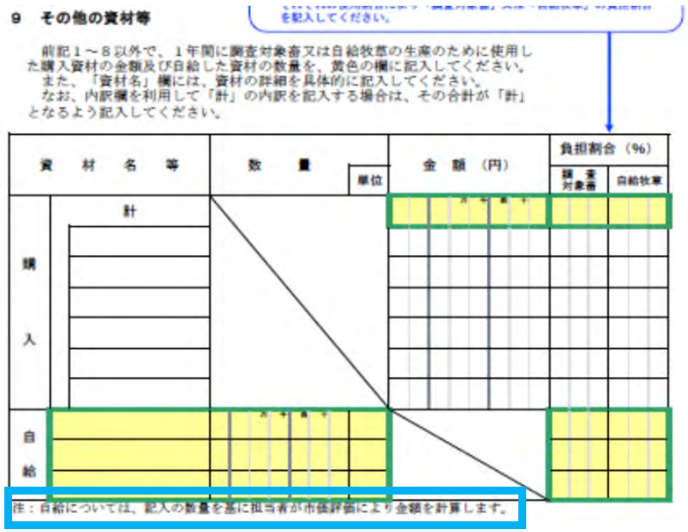
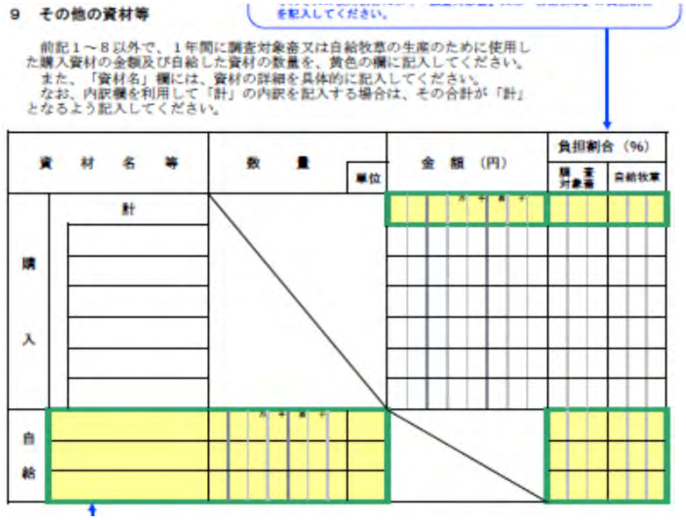
新	旧	変更点及び理由
【２】　生産物の販売等の状況 	【２】　生産物の販売等の状況 	物々交換の場合は数量のみの把握としており、金額の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。 全ての畜産物生産費統計調査票に共通

８　牛乳生産費統計調査票（続き）

新	旧	変更点及び理由
【３】調査対象畜の生産に使用した資材等 ２　自給飼料 	【３】調査対象畜の生産に使用した資材等 ２　自給飼料 	自給資材は数量のみの把握としており、金額の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。 **全ての畜産物生産費統計調査票に共通**
４　敷料費 	４　敷料費 	①　物々交換の場合は数量のみの把握としており、金額の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。 ②　自給資材は数量のみの把握としており、金額の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。 **全ての畜産物生産費統計調査票に共通**

８　牛乳生産費統計調査票（続き）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更点及び理由</th></tr>
<tr><td>【３】調査対象畜の生産に使用した資材等
５　光熱動力費
</td><td>【３】調査対象畜の生産に使用した資材等
５　光熱動力費
</td><td>自給資材は数量のみの把握としており、金額の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。

全ての畜産物生産費統計調査票に共通</td></tr>
<tr><td>９　その他の資材等
 
</td><td>９　その他の資材等
 
</td><td>自給資材は数量のみの把握としており、金額の計算方法が報告者にも分かるよう、注に記載する。

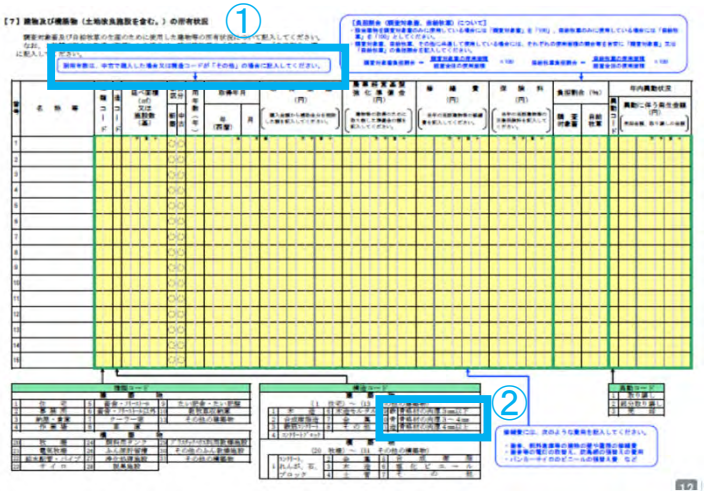
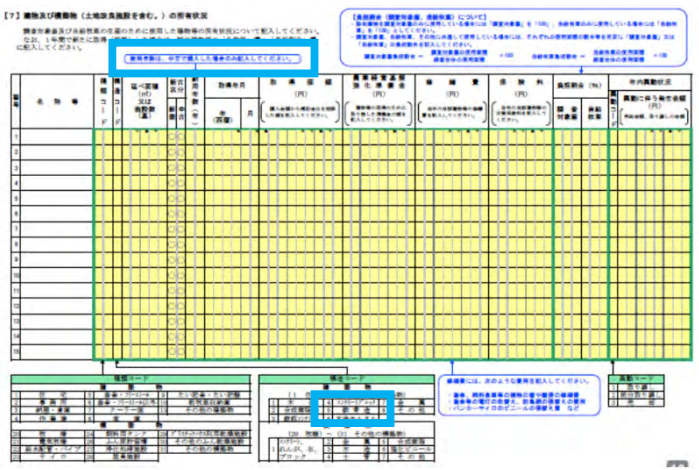
全ての畜産物生産費統計調査票に共通</td></tr>
</table>

８　牛乳生産費統計調査票（続き）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更点及び理由</th></tr>
<tr>
<td>【４】物件税及び公課諸負担

【４】物件税及び公課諸負担
１　物件税
１年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
区分 / 金額（円） / 負担割合（%）（調査対象畜 / 自給牧草）
計
固定資産税：建物 / 農機具
都市計画税（土地以外）
不動産取得税（土地以外）
共同施設税
注：　固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。
・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。
○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体の使用面積に占める調査対象畜、又は自給牧草への使用面積割合を記入してください。
○固定資産税（農機具）、共同施設税の場合は、農機具等の経営全体の使用日数に占める調査対象畜、又は自給牧草への使用日数割合を記入してください。</td>
<td>【４】物件税及び公課諸負担

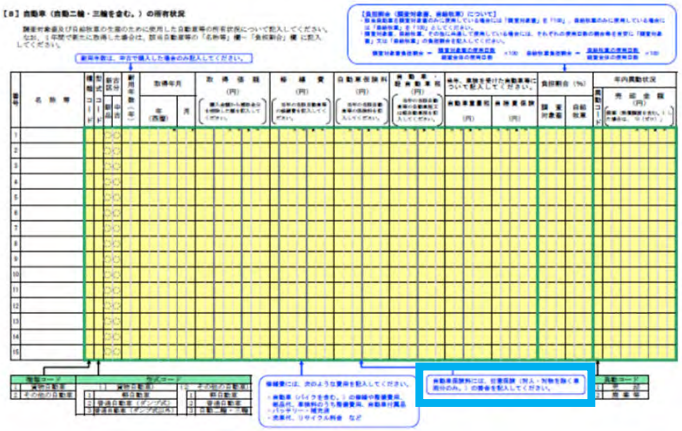
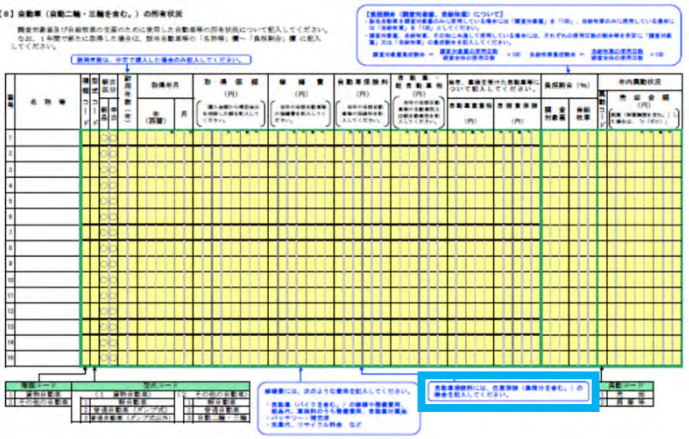
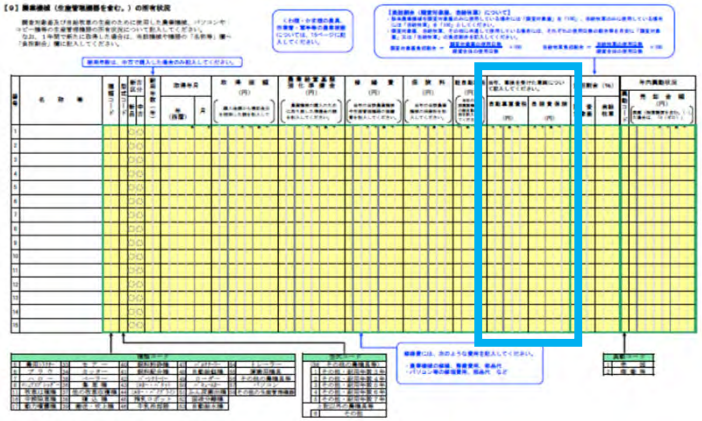
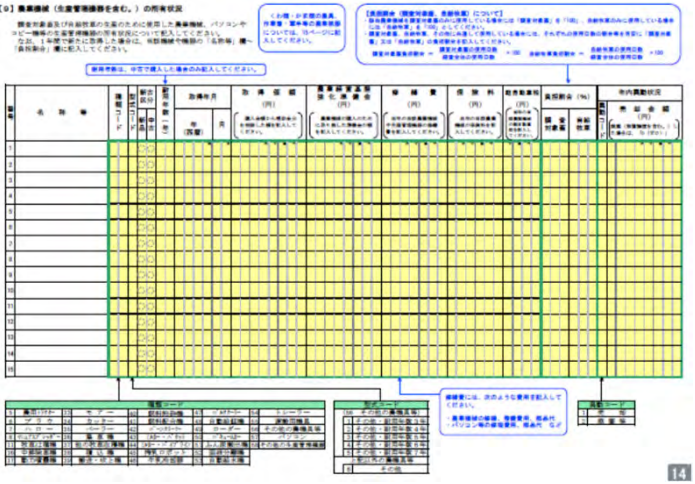
【４】物件税及び公課諸負担
１　物件税
１年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
区分 / 金額（円） / 負担割合（%）（調査対象畜 / 自給牧草）
計
固定資産税：建物 / 農機具
都市計画税（土地以外）
不動産取得税（土地以外）
自動車取得税
共同施設税
注：　固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。
・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。
○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体の使用面積に占める調査対象畜、又は自給牧草への使用面積割合を記入してください。
○固定資産税（農機具）、自動車税、共同施設税の場合は、自動車・農機具等の経営全体の使用日数に占める調査対象畜、又は自給牧草への使用日数割合を記入してください。</td>
<td>税制改正により自動車取得税が廃止されたため、調査項目から「自動車取得税」を削除する。

全ての畜産物生産費統計調査票に共通</td>
</tr>
<tr>
<td>【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況
 
①
②</td>
<td>【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況
  </td>
<td>①　間違いが生じないようにするため、耐用年数の記入条件を追加する。

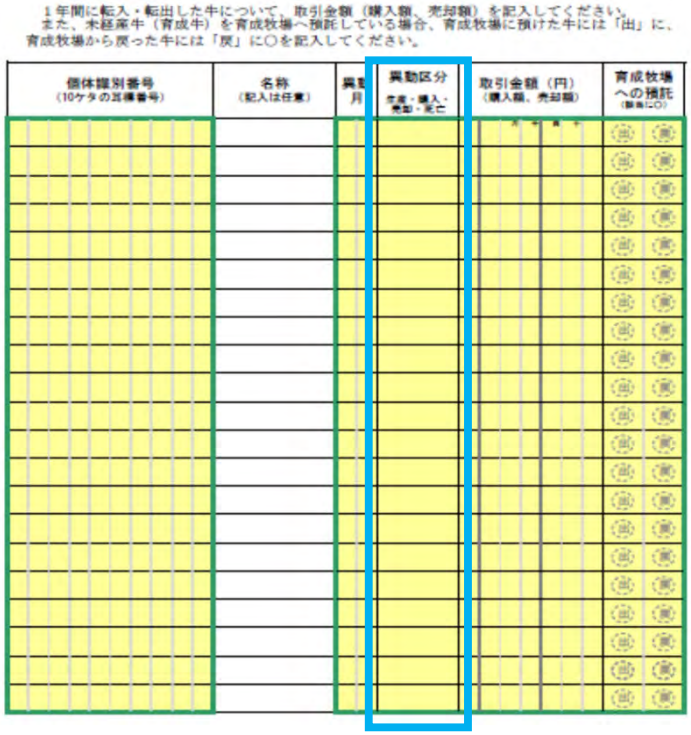
②　鉄骨造の構造によって耐用年数が異なるため、構造区分を細分化する。

全ての畜産物生産費統計調査票に共通</td>
</tr>
</table>

８　牛乳生産費統計調査票（続き）

新	旧	変更点及び理由
【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 	【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 	間違いが生じないようにするため、任意保険の把握内容を明確に記載する。 **全ての畜産物生産費統計調査票に共通**
【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 	【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 	農機具の車検時に支払う自動車重量税及び自賠責保険について、別途聞き取りで把握していたが、修繕費などと同様に農機具ごとに記入できるよう記入欄を追加する。 **全ての畜産物生産費統計調査票に共通**

８　牛乳生産費統計調査票（続き）

新	旧	変更点及び理由
【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等	【10】農具の購入費等	把握内容の明確化のため、タイトルを変更する。 **全ての畜産物生産費統計調査票に共通**
【11】搾乳牛等の所有状況 ２　搾乳牛の取引状況 	【11】搾乳牛等の所有状況 ２　搾乳牛の取引状況 	牛の転入・転出は、購入・売却以外にも発生することから、正確を期すため「購入・売却（該当に○）」を「異動区分（生産・購入・売却・死亡）」に変更する。

８　牛乳生産費統計調査票（続き）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更点及び理由</th></tr>
<tr><td>【12】作業別労働時間

</td><td>【12】作業別労働時間

</td><td>①　間違いが生じないようにするため、入力する項目であることが目立つように囲む緑色の線の囲み方を変更する。

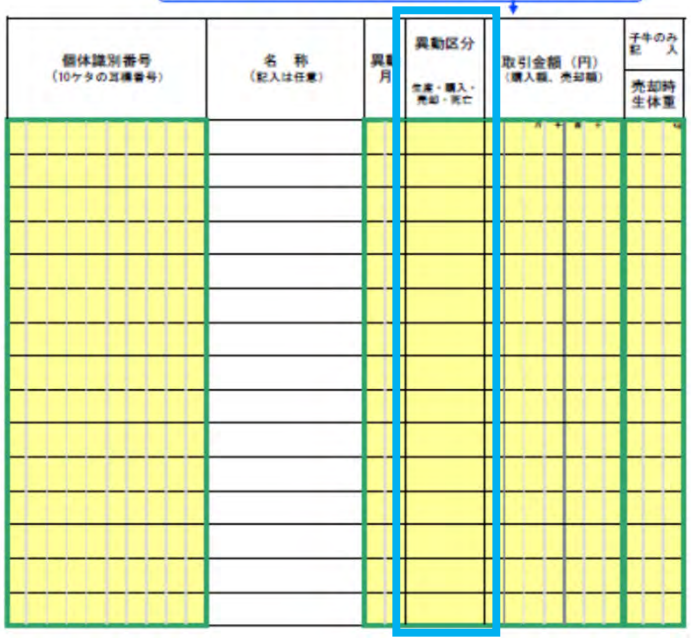
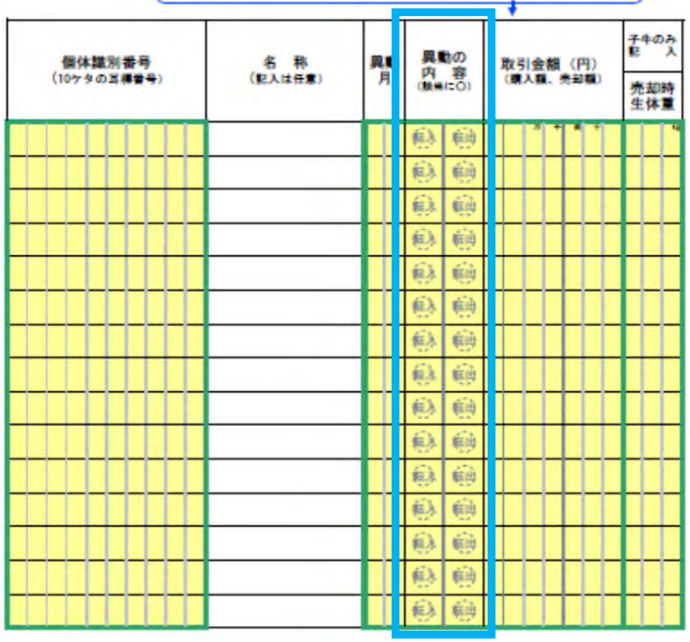
②　雇用者の年齢は記入不要であることを記入の仕方で説明しているが、報告者に分かりやすいよう調査票の注にも記載する。

全ての畜産物生産費統計調査票に共通</td></tr>
<tr><td>最終ページの最下部

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。</td><td>最終ページの最下部

全ての畜産物生産費統計調査票に共通</td><td>他の調査票と統一して、最後に、調査協力のお礼を追加する。</td></tr>
</table>

９　子牛生産費統計調査票

新	旧	変更点及び理由
【２】調査対象畜の取引状況 ２　調査対象畜の転入・転出状況 １年間に転入・転出した牛について、取引金額（購入額、売却額）を記入してください。 また、子牛を売却した場合は、売却時生体重を記入してください。 子牛の売却額は、受取金額から市場手数料などを除いた金額を記入してください。  個体識別番号（10ケタの耳標番号）／名　称（記入は任意）／異動月／異動区分（生産・購入・売却・死亡）／取引金額（円）（購入額、売却額）／子牛のみ記入／売却時生体重	【２】調査対象畜の取引状況 ２　調査対象畜の転入・転出状況 １年間に転入・転出した牛について、取引金額（購入額、売却額）を記入してください。 また、子牛を売却した場合は、売却時生体重を記入してください。 子牛の売却額は、受取金額から市場手数料などを除いた金額を記入してください。  個体識別番号（10ケタの耳標番号）／名　称（記入は任意）／異動月／異動の内容（該当に○）／取引金額（円）（購入額、売却額）／子牛のみ記入／売却時生体重	牛の転入・転出は、購入・売却以外にも発生することから、正確を期すため「購入・売却（該当に○）」を「異動区分（生産・購入・売却・死亡）」に変更する。 育成牛・肥育牛生産費統計調査票も同じ

別紙

調査計画（変更後）

1　調査の名称

農業経営統計調査

2　調査の目的

統計法（平成19年法律第53号。以下「法」という。）に基づき、農業経営統計（法第２条第４項に規定する基幹統計）を作成し、農業経営体の経営及び農産物の生産費の実態を明らかにするとともに、農業行政の基礎資料を整備することを目的とする。

3　調査対象の範囲

（１）地域的範囲（■全国　□その他）

（２）属性的範囲（□個人　■世帯　□事業所　■企業・法人・団体　□地方公共団体　□その他）

農業経営体のうち、農産物の販売を目的とする経営体（農業経営体の定義については、別添１を参照。）とし、営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）及び農畜産物の生産費統計に係る調査（以下「生産費調査」という。）の別に、次の区分とする。

ア　経営統計調査

（ア）個人経営体

世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有しない経営体

（イ）法人経営体

世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有する経営体、農事組合法人及び会社組織による経営体

イ　生産費調査

（ア）個別経営体

世帯による事業を行う経営体（法人格を有する経営体を含む。）

（イ）組織法人経営体

個別経営体以外で農事組合法人及び会社組織による経営体

4　報告を求める個人又は法人その他の団体

（１）報告者数

ア　経営統計調査については、4,526経営体（母集団の大きさ： 969,279経営体）

個人経営体及び水田作（集落営農）以外の法人経営体については、2020年農林業センサスにより集められた情報を母集団とする。

法人経営体の水田作（集落営農）については、令和２年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とする。

（内訳）

○個人経営体	3,665（母集団	942,155）
水田作	768（母集団	520,198）
畑作	826（母集団	58,800）
野菜作	818（母集団	159,191）
果樹作	556（母集団	126,808）
花き作	147（母集団	19,312）
酪農	88（母集団	11,104）
肉用牛	307（母集団	25,982）
養豚	70（母集団	1,200）
採卵養鶏	15（母集団	980）
ブロイラー養鶏	20（母集団	965）
その他（注１）	50（母集団	17,615）

（注１）「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの13営農類型のいずれにも分類されない営農（芝、軽種馬（競走用仔馬）、養蜂等）の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計（個人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。

○法人経営体	861（母集団	27,124）
水田作（集落営農）	111（母集団	4,538）
水田作（集落営農以外）	153（母集団	3,698）
畑作	126（母集団	3,189）
野菜作	100（母集団	4,848）
果樹作	98（母集団	1,541）
花き作	65（母集団	1,113）
酪農	26（母集団	1,660）
肉用牛	38（母集団	1,612）
養豚	45（母集団	1,278）
採卵養鶏	58（母集団	892）
ブロイラー養鶏	16（母集団	434）
その他（注２）	25（母集団	2,321）

（注２）「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの13営農類型のいずれにも分類されない営農（芝、軽種馬（競走用仔馬）、養蜂等）の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計（法人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。

イ　生産費調査については、3,832経営体（母集団の大きさ： 848,839経営体）
2020年農林業センサスにより集められた情報を母集団とする。

（内訳）

○個別経営体	3,385	（母集団	833,033）
農産物生産費統計			
米生産費	818	（母集団	673,743）
小麦生産費	396	（母集団	26,298）
二条大麦生産費	70	（母集団	6,728）
六条大麦生産費	47	（母集団	2,191）
はだか麦生産費	38	（母集団	1,097）
そば生産費	112	（母集団	17,354）
大豆生産費	398	（母集団	32,769）
原料用かんしょ生産費	63	（母集団	2,243）
原料用ばれいしょ生産費	71	（母集団	1,942）
なたね生産費	45	（母集団	523）
てんさい生産費	68	（母集団	6,381）
さとうきび生産費	114	（母集団	10,451）
畜産物生産費統計			
牛乳生産費	402	（母集団	12,123）
去勢若齢肥育牛生産費	221	（母集団	6,087）
乳用雄肥育牛生産費	74	（母集団	623）
交雑種肥育牛生産費	63	（母集団	1,305）
子牛生産費	208	（母集団	28,390）
乳用雄育成牛生産費	39	（母集団	415）
交雑種育成牛生産費	47	（母集団	1,041）
肥育豚生産費	91	（母集団	1,329）
○組織法人経営体	447	（母集団	15,806）
農産物生産費統計			
米生産費	176	（母集団	9,394）
小麦生産費	100	（母集団	2,577）
大豆生産費	171	（母集団	3,835）

（２）報告者の選定方法（□全数　■無作為抽出（□全数階層あり）　□有意抽出）

経営統計調査については、営農類型別及び農業経営体の種類（個人経営体及び法人経営体）ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。

生産費調査については、品目別及び農業経営体の種類（個別経営体及び組織法人経営体）ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。

詳細については、別添２のとおり。

（３）報告義務者

ア　農業経営体を代表する者は、５に掲げる事項について、配布された調査票又は電子化した調査票に記入又は入力して地方農政局等(注３)の長にその定める期日までに提出し、地方農政局等の職員若しくは統計調査員に決算書類等の書類を開示若しくは経営データを提供し、又は職員若しくは統計調査員の質問に対し口頭で回答しなければならない。

（注３）「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。

イ　農業経営体を代表する者がアに掲げる記入、入力、提出、開示、提供又は回答することができないときは、地方農政局等の職員が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者が５に掲げる事項について記入、入力、提出、開示、提供又は回答をしなければならない。

５　報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

（１）報告を求める事項（詳細は、調査票（別添３－１から３－19まで）を参照。）

ア　経営統計調査

（ア）経営体の現況に関する事項
（イ）損益計算書に関する事項
（ウ）貸借対照表に関する事項
（エ）事業収支の概要
（オ）投資と資金調達の状況
（カ）主要農業固定資産の保有状況
（キ）役員、雇用者への給与に関する事項（法人経営体のみ）
（ク）保有する土地面積の状況
（ケ）生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入に関する事項
（コ）制度受取金・積立金等に関する事項
（サ）労働に関する事項
（シ）農業生産関連事業に関する事項

なお、個人経営体のうち主業経営体及び準主業経営体(注４)並びに法人経営体においては全ての事項について報告を求め、副業的経営体(注５)においては（ア）、（イ）、（エ）及び（ク）から（サ）までの事項について報告（直接販売及び指定品目に関するものを除く。）を求める。

（注４）　「主業経営体」とは、個人経営体のうち、農業所得が主（農家所得の 50%以上が農業所得）で、調査期間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいる農業経営体をいう。

「準主業経営体」とは、個人経営体のうち、農外所得が主（農家所得の 50%未満が農業所得）で、調査期間に自営

農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいる農業経営体をいう。

（注５） 「副業的経営体」とは、個人経営体のうち、調査期間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいない個人経営体をいう。

イ　生産費調査

（ア）経営の概況

（イ）生産物の販売等の状況又は調査対象畜の取引状況

（ウ）調査対象農畜産物の生産に使用した資材等に関する事項

（エ）物件税及び公課諸負担に関する事項

（オ）土地改良及び水利費に関する事項（農産物生産費のみ）

（カ）消費税（畜産物生産費のみ）

（キ）借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子に関する事項

（ク）出荷に要した経費（畜産物生産費（牛乳生産費を除く。）のみ）

（ケ）建物及び構築物（土地改良設備を含む。）の所有状況

（コ）自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

（サ）農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

（シ）農具の購入費等に関する事項

（ス）搾乳牛等の所有状況（牛乳生産費のみ）

（セ）土地の面積及び地代に関する事項

（ソ）労働に関する事項

（タ）乳用牛の月齢別の飼育経費に関する事項（牛乳生産費のみ）

〔集計しない事項の有無〕■無　□有

（２）基準となる期日又は期間

ア　経営統計調査

（ア）個人経営体

毎年１月１日から12月31日まで

（イ）法人経営体

毎年、決算の対象となった年の１年間

イ　生産費調査

生産サイクル（収穫終了月までの１年間）(注６)に基づき、農畜産物の品目ごとに次の期間とする。

農畜産物	期間
米　そば　大豆　原料用かんしょ 原料用ばれいしょ　てんさい　牛乳 去勢若齢肥育牛　乳用雄肥育牛　交雑種肥育牛	毎年１月１日から12月31日

子牛　乳用雄育成牛　交雑種育成牛　肥育豚	
さとうきび	毎年４月１日から３月31日
小麦　二条大麦　六条大麦　はだか麦　なたね	毎年９月１日から８月31日

（注６）２つの暦年にまたがる品目は、集計対象月数の多い方の年次を調査年次とする。

６　報告を求めるために用いる方法

（１）調査系統

ア　地方農政局の管轄区域

農林水産省－地方農政局等－報告者

イ　北海道

農林水産省－北海道農政事務所－報告者

ウ　沖縄県

農林水産省－内閣府沖縄総合事務局－農林水産センター－報告者

（２）調査方法

■郵送調査　■オンライン調査（□政府統計共同利用システム　■独自のシステム　□電子メール）　■調査員調査　■その他（職員調査）

〔調査方法の概要〕

原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法（自計報告）により行う。ただし、報告者の希望により地方農政局等の職員又は統計調査員が聞き取る場合もある。

ア　調査票の配布

地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。

なお、経営統計調査及び生産費調査の報告者のうち、前年から調査を継続している報告者に対しては、調査票のうち建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況等について、地方農政局等の職員が前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字する。

また、承諾が得られる報告者に対しては、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」（平成 15 年法律第 72 号）に基づき農林水産省が保有（データベースの管理は（独）家畜改良センターが実施）している牛個体識別台帳（トレーサビリティデータ）を活用し、地方農政局等の職員が牛乳生産費統計調査票における搾乳牛等の所有状況並びに子牛生産費統計調査票及び育成牛・肥育牛生産費統計調査票における調査対象畜の取引状況をあらかじめ調査票に印字する。

イ　調査票の提出等

次のいずれかの方法により行う。

（ア）報告者が郵送又はオンラインにより提出する。

（イ）地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。
（ウ）報告者からの協力が得られる場合は、電子化した調査票を報告者がオンライン（民間事業者が行うセキュアファイル交換サービスを利用し、データ送受信時に暗号化技術を用いるなど情報漏洩を防ぐ措置を施す。以下同じ。）により提出する。
（エ）報告者が作成している決算書類等（報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。）について、協力が得られる場合には、調査票の提出に代えて、当該書類を郵送若しくはオンラインにより提供、又は、地方農政局等の職員若しくは統計調査員が、報告者を訪問して、当該書類の提供を受ける。

7　報告を求める期間

（1）調査の周期

□１回限り　□毎月　□四半期　■１年　□２年　□３年　□５年　□不定期
□その他（　）

（2）調査の実施期間又は調査票の提出期限

調査票は、５（２）のア又はイに掲げる期間前に配布し、提出期限については、同期間終了月の翌々月末又は報告者が税務署に確定申告した月若しくは総会等により決算報告が行われた月の翌月末までとする。

8　集計事項

次に掲げる集計を行う（詳細は、別添４のとおり。）。

（1）営農類型別経営統計

ア　個人経営体

（ア）水田作経営、（イ）畑作経営、（ウ）野菜作経営、（エ）果樹作経営、
（オ）花き作経営、（カ）酪農経営、（キ）肉用牛経営、（ク）養豚経営、
（ケ）採卵養鶏経営、（コ）ブロイラー養鶏経営

なお、個人経営体のうち主業経営体及び準主業経営体においては、５（１）アに掲げる全ての事項を集計し、副業的経営体においては、５（１）アの（ア）、（イ）、（エ）及び（ク）から（サ）までに掲げる事項のみ（直接販売及び指定品目に関するものを除く。）を集計する。

イ　法人経営体

（ア）水田作経営、（イ）水田作経営（集落営農）、（ウ）畑作経営、

（エ）野菜作経営、（オ）果樹作経営、（カ）花き作経営、（キ）酪農経営、
（ク）肉用牛経営、（ケ）養豚経営、（コ）採卵養鶏経営、（サ）ブロイラー養鶏経営

ウ　農業経営体
（ア）水田作経営、（イ）畑作経営、（ウ）野菜作経営、（エ）果樹作経営、
（オ）花き作経営、（カ）酪農経営、（キ）肉用牛経営、（ク）養豚経営、
（ケ）採卵養鶏経営、（コ）ブロイラー養鶏経営

なお､個人経営体のうち主業経営体及び準主業経営体並びに法人経営体においては、５（１）アに掲げる全ての事項を集計し、個人経営体のうち副業的経営体においては、５（１）アの（ア）、（イ）、（エ）及び（ク）から（サ）までに掲げる事項のみ（直接販売及び指定品目に関するものを除く。）を集計する。

（２）経営形態別経営統計
ア　個人経営体、イ　法人経営体、ウ　農業経営体

（３）農産物生産費統計
ア 個別経営体
（ア）米生産費、（イ）小麦生産費、（ウ）二条大麦生産費、（エ）六条大麦生産費、
（オ）はだか麦生産費、（カ）そば生産費、（キ）大豆生産費、
（ク）原料用かんしょ生産費、（ケ）原料用ばれいしょ生産費、
（コ）なたね生産費、（サ）てんさい生産費、（シ）さとうきび生産費
イ 組織法人経営体
（ア）米生産費、（イ）小麦生産費、（ウ）大豆生産費

（４）畜産物生産費統計（個別経営体）
ア　牛乳生産費、イ　去勢若齢肥育牛生産費、ウ　乳用雄肥育牛生産費、
エ　交雑種肥育牛生産費、オ　子牛生産費、カ　乳用雄育成牛生産費、
キ　交雑種育成牛生産費、ク　肥育豚生産費

9 調査結果の公表の方法及び期日
（１）公表の方法（■e-Stat　□インターネット（e-Stat以外）　□印刷物　□閲覧）
調査結果は、e-Stat及び農林水産省ホームページに掲載する方法により公表する。

（２）公表の期日
調査結果の概要は結果の集計後速やかに、その詳細は逐次公表する。詳細は、別添５

のとおり。

10　使用する統計基準等

□使用する　→　□日本標準産業分類　□日本標準職業分類　□その他（　　）

■使用しない

本調査では、販売を目的とする農業経営体を調査対象としているため、調査対象の範囲の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。

11　調査票情報の保存期間及び保存責任者

関係書類名	保存期間	保存責任者
記入済み調査票	調査年の翌年の１月１日から起算して３年	地方農政局等の長
調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	大臣官房統計部長

12　立入検査等の対象とすることができる事項

本調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、５（１）に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。

別添１

農業経営体の定義

「農業経営体」とは、次のいずれかに該当するものをいう。

１　その経営耕地面積が30 アール以上であること。

２　農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が次に定める規模以上であること。

（１）露地野菜作付面積	15 アール
（２）施設野菜栽培面積	350 平方メートル
（３）果樹栽培面積	10 アール
（４）露地花き栽培面積	10 アール
（５）施設花き栽培面積	250 平方メートル
（６）搾乳牛飼養頭数	１頭
（７）肥育牛飼養頭数	１頭
（８）豚飼養頭数	15 頭
（９）採卵鶏飼養羽数	150 羽
(10) ブロイラー年間出荷羽数	1,000羽
(11) その他	調査期間の開始の日前１年間における農業生産物の総販売額が 50 万円に相当する事業の規模

別添２

報告者の選定方法

１　農林水産省大臣官房統計部長（以下「統計部長」という。）は、農業経営統計調査規則（以下「規則」という。）第３条第２項の農業経営体の中から営農類型別の経営に関する統計の調査客体（以下「営農類型調査客体」という。）を抽出するため、別表第１の左欄に掲げる営農類型区分及び同表の中欄に掲げる農業経営体の種類ごとに、同表の右欄に掲げる分類基準により農業経営体を区分してリストを作成し、これを地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の長（以下「地方農政局等の長」という。）に送付する。

２　地方農政局等の長は、調査の結果が十分な精度を有するよう統計部長が定める基準に従って、統計部長から割り当てられた営農類型調査客体の数を、前項の規定により統計部長から送付されたリストを使用して層化無作為抽出の方法により抽出する。

３　統計部長は、農畜産物の生産費に関する統計の調査客体（以下「生産費調査客体」という。）を抽出するため、別表第２の左欄に掲げる品目及び同表の中欄に掲げる農業経営体の種類ごとに、同表の右欄に掲げる分類基準により農業経営体を区分してリストを作成し、これを地方農政局等の長に送付する。

４　地方農政局等の長は、生産費調査客体を抽出するため、調査の結果が十分な精度を有するよう統計部長が定める基準に従って、統計部長から割り当てられた生産費調査客体の数を、営農類型調査客体及び生産費調査客体の標本の十分な共用が図られるよう統計部長が定めるところにより、前項で統計部長から送付されたリストを使用して層化無作為抽出の方法により抽出する。

別表第１

営農類型区分		農業経営体の種類	分類基準
水田作経営		個人経営体 法人経営体	稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、水田で作付した農業生産物の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
畑作経営			稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、畑で作付した農業生産物の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
野菜作経営	露地野菜作経営		野菜の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地野菜の販売収入が施設野菜の販売収入以上である経営
	施設野菜作経営		野菜の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地野菜の販売収入より施設野菜の販売収入が多い経営
果樹作経営			果樹の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
花き作経営	露地花き作経営		花きの販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地花きの販売収入が施設花きの販売収入以上である経営
	施設花き作経営		花きの販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地花きの販売収入より施設花きの販売収入が多い経営
酪農経営			酪農の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
肉用牛経営	繁殖牛経営		肉用牛の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、繁殖用雌牛の飼養頭数が肥育牛の飼養頭数以上である経営
	肥育牛経営		肉用牛の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、繁殖用雌牛の飼養頭数より肥育牛の飼養頭数が多い経営
養豚経営			養豚の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
採卵養鶏経営			採卵養鶏の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
ブロイラー養鶏経営			ブロイラー養鶏の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
その他経営			水田作経営、畑作経営、野菜作経営、果樹作経営、花き作経営、酪農経営、肉用牛経営、養豚経営、採卵養鶏経営、ブロイラー養鶏経営以外の経営

別表第２

品目	農業経営体の種類	分類基準
米	個別経営体	水稲を作付けし、玄米を年間６００キログラム以上販売する経営
	組織法人経営体	水稲を作付けし、販売する経営
小麦	個別経営体	小麦を１０アール以上作付けし、販売する経営
	組織法人経営体	小麦を作付けし、販売する経営
二条大麦	個別経営体	対象作目を１０アール以上作付けし、販売する経営
六条大麦		
はだか麦		
そば		
大豆	個別経営体	大豆（黒大豆を除く）を１０アール以上作付けし、販売する経営
	組織法人経営体	大豆（黒大豆を除く）を作付けし、販売する経営
原料用かんしょ	個別経営体	対象作目を１０アール以上作付けし、販売する経営
原料用ばれいしょ		
なたね		
てんさい		
さとうきび		
牛乳		搾乳牛を１頭以上飼養し、生乳を販売する経営
去勢若齢肥育牛		肥育を目的とする去勢若齢和牛を１頭以上飼養し、販売する経営
乳用雄肥育牛		肥育を目的とする乳用雄牛を１頭以上飼養し、販売する経営
交雑種肥育牛		肥育を目的とする交雑種牛を１頭以上飼養し、販売する経営
子牛		肉用種の繁殖雌牛を２頭以上飼養し、子牛を生産して販売する経営
乳用雄育成牛		育成を目的とする乳用雄育成牛を５頭以上飼養し、販売する経営
交雑種育成牛		育成を目的とする交雑種牛を５頭以上飼養し、販売する経営
肥育豚		肥育豚を年間 20 頭以上販売し、肥育用もと豚に占める自家生産子豚の割合が７割以上の経営

別記様式第１号

秘
農 林 水 産 省

統計法に基づく基幹統計
農 業 経 営 統 計

（案）

別添３－１

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年　営農類型別経営統計調査票

（個人経営体用（詳細項目））

☆　この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。
☆　この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。

【記入上の留意事項】　　**◇オンライン調査も可能です。**

１．　年１月１日～　　年12月31日の１年間について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

営農類型		指定品目名			
2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

【はじめに】

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
本調査票の記入に際しては、次の点に留意してください。

○　損益計算書に係る記入欄は、青色申告決算書（農業所得用）の科目と同じ配列となっており、他の様式から転記する場合は、記入欄の配列が異なりますので該当する科目の記入欄へ転記してください。

○　営農の種類（畑作、酪農等）や農業以外に事業を行っているかどうかにより、記入する欄が異なる場合があります。

1　調査票の構成

区　　分	説　　明	対応ページ
【１】現況（共通項目）	青色申告の申請状況、農業従事者の状況等について記入してください。	３
【２】損益計算書	農業の収入や支出の状況について転記してください。	４、５
【３】貸借対照表	資産や負債の状況について転記又は記入してください。	６、７
【４】事業収支の概要	農業以外も含めた全ての事業収支の状況について転記してください。	８
【５】投資と資金調達の状況	農業に係る投資や資金調達の状況について記入してください。	８
【６】主要農業固定資産の状況	農業固定資産の保有状況について記入してください。	９
【７】土地面積	経営する土地面積の状況について記入してください。	９
【８】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入	農畜産物の生産概況と販売収入、また農作業受託収入について記入してください。	10～13
【９】制度受取金・積立金等	国からの制度受取金等に係る状況等について記入してください。	14、15
【10】労働の概要	作業に従事した人数や労働時間に係る状況について記入してください。	16
【11】指定品目に係る労働の概要	指定品目がある方のみ記入してください。	17
【12】農業生産関連事業収支	農業生産関連事業を営んでいる方のみ記入してください。	18

2　「【３】貸借対照表」の転記に際しての留意点

「【３】貸借対照表」（６ページ）は、青色申告決算書の勘定科目から転記可能な様式となっています。一方で、青色申告であっても、貸借対照表の作成義務のない簡易簿記や現金式簡易簿記の場合、又は収支内訳書（白色申告）の場合には、資産や負債に該当する勘定科目を別様式（７ページ）に記入してください。

3　指定品目がある場合

本調査の担当から、指定品目があると説明があった場合、次の（１）～（４）に留意してください。

（１）損益計算書

「【２】損益計算書」（４、５ページ）の農産物の棚卸高、経費の一部項目、経費合計に、それぞれの勘定科目に占める指定品目の金額を割合で記入してください。

（２）指定品目の作付延べ面積、生産量、販売金額

「【８】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入」（10～13ページ）に、指定品目の作付延べ面積、生産量及び販売金額をそれぞれ記入してください。

（３）指定品目の制度受取金・積立金等

「【９】制度受取金・積立金等」（14、15ページ）に、指定品目の制度受取金、制度積立金の金額又は各合計に占める指定品目の金額を、割合で記入してください。

（４）労働の概要

「【11】指定品目に係る労働の概要」（17ページ）に、男女別の労働時間のほか、作業別労働時間を記入してください。

４　農業生産関連事業がある場合

農業に関連した事業（農産加工、観光農園、貸し農園、農家民宿、農家レストランなど）を行っている場合には、「【12】農業生産関連事業収支」（18ページ）に記入してください。

《農業生産関連事業とは》

農業生産関連事業は、次に当てはまる農業以外の事業をいいます。

ただし、これらの事業活動が経営を別として営まれている場合には、記入する必要はありません。

区　分	説　明
農産加工	・自家で生産した原材料を用いた農産加工品を、自家で販売している事業をいいます。 なお、自家で加工を行うものであっても最終的な商品として販売しない物（荒茶、白干し梅等）については、農産加工とはせず農業に含めてください。
観光農園	・自家で生産した農産物について、観光客等を対象に、ほ場において収穫等の一部の農作業を体験させて代金を得ている事業をいいます。
貸し農園	・農地を、第三者を経由せず、農園利用方式等により農家以外の者に貸し付け、その利用料金を得ている事業をいいます。 なお、自己所有の農地を他の農家に貸し付けて収入を得ている場合や、市町村や農協など第三者に貸与している場合は該当しません。
農家民宿	・旅館業法に基づき、旅館等の許可を得て、観光客等を宿泊させ、自ら生産した農産物や地域の食材を調理し、料理を提供して代金を得ている事業をいいます。
農家レストラン	・食品衛生法に基づき、飲食店営業又は喫茶店営業の許可を得て、自ら生産した農産物や地域の食材を用い、飲食を提供して代金を得ている事業をいいます。
その他	・上記以外の農業生産関連事業をいいます。（例：耕地を利用した太陽光発電）

それでは、次の「【１】現況（共通項目）」から記入してください。

【１】現況（共通項目）

青色申告を行っている		はい	いいえ
認定農業者がいる		はい	いいえ
農業研修生の受け入れがある		はい	いいえ
経営主	性別	男	女
	年齢 期末（12月31日）時点		
直接販売を行っている		はい	いいえ
農業生産関連事業を行っている		はい	いいえ

「はい」の方は、右の設問にも記入してください。

農業研修生	人数（人）
外国人技能実習生	
日本人研修生	

「はい」の方 → 12ページ「３　直接販売」の記入をお願いします。

「はい」の方 → 18ページ「【12】農業生産関連事業収支」の記入をお願いします。

【２】損益計算書

１　農業収支について、青色申告決算書（農業所得用）などを参照し、記入してください（収支内訳書（農業所得用）は、該当する科目の記入欄へ記入してくださ い。）。
　また、指定品目がある場合は、それぞれの科目に占める指定品目の割合を記入してください。

科目		青色申告決算書No	収支内訳書No	説明	金額（円）	うち指定品目の割合(%)
収入金額	販売金額	①	①	農畜産物の販売額		
	家事消費金額・事業消費金額	②	②	家計で消費した金額、農業以外の事業で消費した金額		
	雑収入	③	③	作業受託、経営所得安定対策交付金、価格補填金、受取共済金		
	小計	④	④	販売金額、家事消費・事業消費金額、雑収入の合計		
	農産物の棚卸高 期首	⑤	⑤	農産物の期首棚卸高		
	農産物の棚卸高 期末	⑥	⑥	農産物の期末棚卸高（年内に精算され、精算できていない生産物を評価）		
	収入計	⑦	⑦	収入の合計（④－⑤＋⑥）		
経費	租税公課	⑧	㋑	農業に係る固定資産税、印紙税、組合・部会費、支払消費税		
	種苗費	⑨	㋺	種子、苗の購入費		
	素畜費	⑩	㋩	肥育又は育成の素畜やヒナの代金、種付料、登録料		
	肥料費	⑪	㋥	肥料の購入費		
	飼料費	⑫	㋭	飼料の購入費		
	農具費	⑬	㋬	取得価額が10万円未満の農業機械、農具等		
	農薬費・衛生費	⑭	㋣	農薬・家畜薬品等の購入費、共同防除の負担金		
	諸材料費	⑮	㋠	生産に要したビニール、縄、おがくず等の購入費		
	修繕費	⑯	㋡	農業機械、車両、建物等の修理費		
	動力光熱費	⑰	㋢	水道料、電気料、燃油代金		

※　飼料費から、配合飼料価格安定制度における補てん金分を除いていますか。　はい　いいえ

（配合飼料価格安定制度における補てん金を、飼料費から減額している場合は「はい」を、収入金額（雑収入）に仕訳している場合は「いいえ」を選んでください。）

２　貸倒引当金及び専従者給与について、青色申告決算書（農業所得用）の損益計算書の繰入額等欄などから転記してください。

科目	青色申告決算書No	収支内訳書No	説明	金額（円）
貸倒引当金	㊷－㊲	⑪	（繰入額－繰戻額）の金額	
専従者給与	㊶	⑯	専従者給与（繰入額）の金額	

この欄には、対象となる指定品目が、それぞれの科目に占める割合を記入してください。

指定品目名

科目		青色申告決算書No	収支内訳書No	説明	金額（円）	うち指定品目の収支(%)
経費（続き）	作業用衣料費	⑱	ル	農作業に必要な衣類・靴・帽子等の購入費	億 万 千 百 十	
	農業共済掛金	⑲	ヲ	共済掛金、農用車両の保険料・共済掛金		
	減価償却費	⑳	⑩	農用建物、構築物、農機具、生物等固定資産の減価償却費		
	荷造運賃手数料	㉑	ワ	販売に要したダンボール等の資材代金、運賃、検査料等		
	雇人費	㉒	⑧	雇用労賃及び賄い費・交通費		
	利子割引料	㉓	⑫	借入金利息、手形割引料、債務保証料		
	地代・賃借料	㉔	⑨	農地代、農用建物代金、農機具等の使用代金、ライスセンター・共同選果場の料金		
	土地改良費	㉕	カ	客土・揚排水施設等の維持管理費		
	雑費	㉚	ツ	上記以外の事務費等一般管理費を含む。		
	小計	㉛	ー	上記租税公課～雑費までの経費の合計		
	農産物以外の棚卸高 期首	㉜	ネ	農産物以外の期首棚卸高		
	農産物以外の棚卸高 期末	㉝	ナ	農産物以外の期末棚卸高		
経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用		㉞	ラ	未成熟果樹、育成牛等の育成に要した費用		
経費合計		㉟	⑭	㉛＋㉜－㉝－㉞		

【３】貸借対照表（主業、準主業のみ）

※　税務申告に際し、貸借対照表を作成している場合はこのページ（６ページ）の表を、作成していない場合は右のページ（７ページ）の表を使用し、各勘定科目の金額を転記又は記入してください。

１　貸借対照表を作成している場合

資産と負債の状況について、貸借対照表から期末（12月31日）時点の金額を転記してください。記載の勘定科目以外の科目を設けている場合は、その科目及び金額を任意勘定科目欄に転記してください。

（１）資産

科　目	説　明	期末(12月31日)（円）
現　金	農業経営の現金	
普通預金	農業経営の預金	
定期預金	農業経営の定期預金	
その他預金	積立金等	
売掛金	農畜産物販売金額の未収金	
未収金	農畜産物販売金額以外の未収金	
有価証券	農業経営所有の有価証券	
農産物等	農畜産物棚卸高(事業・家事消費用を含む)	
未収穫農産物等	立毛作物の棚卸高	
未成熟の果樹育成中の牛馬等	果樹の育成費用、乳牛・肉用繁殖牛の育成費用	
肥料その他貯蔵品	貯蔵品(肥・飼料、農薬、燃料、諸材料等)の棚卸高	
前払金	費用、資産購入等の代金の前払金	
貸付金	農業経営の貸付金	
建物・構築物	農業経営用建物・構築物の未償却残高	
農機具等	農業用機械等の未償却残高	
果樹・牛馬等	果樹と牛馬の未償却残高	
土地	農業経営用の農地等の固定資産評価額	
土地改良事業受益者負担金	土地改良事業による受益者負担金	
	（任意勘定科目欄）	
事業主貸	農業所得の収入金額・負債とならない収入	
合　計		

（２）負債・資本

科　目	説　明	期末(12月31日)（円）
買掛金	原材料等の購入代金の未払金	
借入金　短期借入金	返済期限が１年以内の借入金	
借入金　長期借入金	返済期限が１年を超える借入金	
未払金	買掛金以外の未払金	
前受金	生産物の販売を前提にした予約金等	
預り金	専従者給与の源泉所得税の預り金等の債務	
	（任意勘定科目欄）	
貸倒引当金	売掛金回収不能に備えた積立金	
	（任意勘定科目欄）	
事業主借	農業所得の必要経費・資産とならない支出	
元入金		
青色申告特別控除前の所得金額		
合　計		

この欄は、農林水産省職員又は専門調査員が使用しますので、何も記入しないで下さい。

統計調査員使用欄	

2 貸借対照表を作成していない場合（貸借対照表相当の勘定科目の把握）

農業経営における資産と負債の状況について、期末（12月31日）時点の金額を記入してください。必須調査項目を合算している場合は、相当額に按分して記入してください。

また、②及び③へ記入できる場合は②及び③の枝番、⑧～⑩に記入できる場合は⑪～⑬への記入は必要ありません。

（１）資産に該当する勘定科目　（※①、②、③、④～⑦は、必須調査項目です。）

科目			説明	期末（12月31日）（円） 億 万 千 百 十
流動資産	① 現金		農業経営の現金を記入してください。	
	② 預貯金等		本欄（預貯金等の合計）②が記入できる場合は、②-１～②-６の記入の必要はありません。	
		普通預金 ②-1	農業経営の普通預金	
		定期預金 ②-2	農業経営の定期預金	
		その他の預金 ②-3	積立金等	
		有価証券 ②-4	農業経営所有の有価証券	
		前払金 ②-5	費用、資産購入等の代金の前払金	
		貸付金 ②-6	農業経営の貸付金	
	③ 売掛未収入金		本欄（売掛未収入金の合計）③が記入できる場合は、③-１、③-２の記入の必要はありません。	
		売掛金 ③-1	農畜産物販売金額の未収金	
		未収金 ③-2	農畜産物販売金額以外の未収金	
固定資産	④ 建物・構築物		農業経営用建物・構築物等の未償却残高	
	⑤ 農機具等		農業用機械等の未償却残高	
	⑥ 果樹・牛馬等		果樹と牛馬の未償却残高	
	⑦ 土地	土地（⑦－２以外） ⑦-1	農業経営用の農地等の固定資産評価額（土地改良事業受益者負担を含む。）	
		貸付地 ⑦-2	貸付地の固定資産評価額	
資産合計			①＋②＋③＋④＋⑤＋⑥＋⑦	

（２）負債に該当する勘定科目　（※⑧～⑩、⑭は、必須調査項目です。）

科目			説明	期末（12月31日）（円） 億 万 千 百 十
負債	⑧ 流動負債			
		⑨ 買掛金	原材料等の購入代金の未払金	
		⑩ 短期借入金	経営のために銀行やＪＡなどからの借入金のうち返済期限が１年以内に到来する借入金	
		⑪ 未払金	買掛金以外の未払金	
		⑫ 前受金	生産物の販売を前提にした予約金等	
		⑬ 預り金	専従者給与の源泉所得税の預り金等の債務	
	負固債定	⑭ 長期借入金	経営のために銀行やＪＡなどからの借入金のうち返済期限が１年を超える借入金	
負債合計			⑧＋⑭	

【４】事業収支の概要

１　事業収支について、所得税の確定申告書Ｂを参照して、次の科目の金額を転記してください。

科目			申告書記号	説明	金額（円）
収入金額	事業	営業等	㋐	卸売業、製造業、小売業、林業、漁業など農業以外の事業の収入	億 万 千 百 十
		農業	㋑	農業収入	
	不動産		㋒	不動産収入	
	収入金額計		㋓	㋐＋㋑＋㋒	
所得金額	事業	営業等	①	農業以外の事業の収入から、その事業に投じた費用を差し引いた金額	
		農業	②	農業収入から、農業に投じた費用を差し引いた金額	
	不動産		③	不動産収入から不動産に投じた費用を差し引いた金額	
	所得金額計		④	①＋②＋③	
経費			⑤	㋔－④	

２　山林の所得がある場合には、申告書（分離課税用）第三表を参照して、次の科目の金額を転記してください。

科目	説明	金額（円）
収入金額（山林）	山林を売却、譲渡、伐採した際に生じた収入	億 万 千 百 十
所得金額（山林）	山林収入から伐採などに掛かった費用を差し引いた金額	

【５】投資と資金調達の状況（主業、準主業のみ）

１　経営する事業への投資の状況について、次の資産科目それぞれの１年間（決算期間）の購入金額の合計を記入してください。
　また、記入した金額のうち農業に該当する割合を記入してください。

科目		説明	金額（円）	農業割合（%）
投資	土地	土地の購入金額	億 万 千 百 十	
	建物・構築物	建物・構築物の購入金額		
	自動車・農機具	自動車・農機具の購入金額		
	植物・牛馬	植物・牛馬の購入金額（資産形成のものに限る。）		

販売に供するための動物等は除く。

２　事業経営のため１年間（決算期間）に借り入れた金額の合計を短期・長期別に記入してください。
　また、記入した金額のうち農業に該当する割合を記入してください。

科目	説明	金額（円）	農業割合（%）
短期借入金	返済期限が１年以内の借入金	億 万 千 百 十	
長期借入金	返済期限が１年を超える借入金		

【６】主要農業固定資産の状況（主業、準主業のみ）

期末（12月31日）時点に所有する資産（農業に使用する資産）について、建物の面積を記入してください。

建物・構築物の状況

区　分	面積（㎡）
納屋・倉庫	
ガラス室	
ハウス（ガラス室以外）	
畜舎・鶏舎	

【７】土地面積

期末（12月31日）時点の土地の状況を記入してください。

区　分	説　明	経営面積(a)	うち借入地面積
		ha a	ha a
田	田全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
畑（普通畑）	畑（樹園地、牧草地を除く）全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
樹園地	樹園地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
牧草地	牧草地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
採草放牧地	採草放牧地の面積		

区　分	説　明	面積(a)
		ha a
貸付地（耕地）	他の経営体に貸し付けた耕地の面積（所有地分のみ）	

【８】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入

１年間（決算期間）に販売目的で作付け（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）、生産量、販売数量及び販売金額についてそれぞれ記入してください。

なお、事業用（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的に作付（飼養）した農畜産物は、「生産概況（事業消費含む。）」欄に含めてください。

また、１年間（決算期間）の農作業受託収入について記入してください。

１　農産物

品目			説明	生産概況 作付延 田
稲（食用）	水稲	主食用米	加工用米・新規需要米等以外の米	
		加工用米		
		新規需要米等	新規需要米（米粉用、新市場開拓用）及び備蓄米	
	陸稲			
稲（飼料用）	飼料用米		飼料用米（自給用含む。）	
	ＷＣＳ用稲		稲発酵粗飼料用稲（自給用含む。）	
稲わら・ぬか等			稲わら、ぬか等を販売したもの	
麦類	小麦		小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦以外の麦（えん麦、らい麦等）は、その他の麦の欄に記入してください。	
	二条大麦			
	六条大麦			
	はだか麦			
	その他の麦			
雑穀	そば		そば殻も含む。	
	他の雑穀（そば以外）		とうもろこし、あわ、ひえ等の穀物	
豆類	大豆		乾燥子実。生（枝豆）は野菜	
	大豆以外		小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実	
いも類	かんしょ		種いも用、原料用かんしょも含む。	
	ばれいしょ		種いも用、原料用ばれいしょも含む。	
工芸農作物	てんさい		寒冷地作物として中、高緯度で栽培される甘味資源作物（ビート・トップを含む。）	
	さとうきび		熱帯を中心に栽培される甘味資源作物	
	その他の工芸農作物		なたね、い草、こんにゃくいも、葉たばこ等	
その他作物	飼料用作物		飼料用米、WCS用稲以外の飼料作物（自給用含む。）	
	その他		芝、苗、苗木等（栽培きのこ類を含む。）	

品目	説明	植栽面積（ａ）
茶	数量は、荒茶で換算して記入してください。	
果樹	りんご、みかん、ぶどう等の果樹	

品目			説明	作付延べ面積		販売金額（円）
野菜	露地		露地で生産した野菜		a	億 万 千 百 十
	施設		施設で生産した野菜		㎡	
花き	露地	切り花	露地で生産した花き（鉢植えの花木を含む。）		a	
		鉢物			a	
	施設	切り花	施設で生産した花き（鉢植えの花木を含む。）		㎡	
		鉢物			㎡	

況（事業消費含む。）			農畜産物収入
べ面積（ａ）	生産量（kg）	販売数量（kg）	販売金額（円）
畑			億 万 千 百 十

うち成園（結果樹）	生産量（kg）	販売数量（kg）	販売金額（円）

農産物のうち、指定品目（果樹、露地・施設野菜、施設花き）

果樹、野菜（露地・施設）又は施設花きの指定品目がある場合は、その品目について、①作付延べ（結果樹）面積、②生産量及び③販売金額を記入してください。

「a」又は「m²」どちらかを選択してください。

指定品目名		
① 作付延べ（結果樹）面積		a m²
② 生産量		kg（バラは本）

③ 販売金額（円）
億 万 千 百 十

2　畜産物

品目		説明	生産概況（事業消費含む。） 生産量（kg）
酪農	生乳	自家で飼養する乳牛から搾乳して生産したもの	
			飼養頭数（月平均）
	搾乳牛	搾乳を行った牛	
	自家生産乳牛等	自家で生産した乳牛（Ｆ１：交雑種、ET:受精卵移植を含む。）、搾乳牛、乳廃牛	

品目			説明	飼養頭数（月平均）
肉用牛	繁殖牛（子とり）	繁殖雌牛	繁殖用の雌牛	
		自家生産和牛等	自家で生産した和牛又はＦ１クロス牛、繁殖用育成牛、廃用牛	
	肥育牛	肉専用種	肉専用種の牛	
		乳用種	乳用種の牛	
		交雑種	交雑種の牛（Ｆ１クロス牛を含む。）	

品目		説明	飼養頭数（月平均）
養豚	繁殖雌豚	繁殖雌豚	
	肥育豚	肥育用の豚	
	肉豚	肉用の豚、廃用した豚のうち販売した豚	
	子豚	肥育用、繁殖用もと畜として販売した子豚	

品目		説明	飼養羽数（月平均）
採卵養鶏	採卵鶏	採卵用の鶏（うずらは、その他畜産物に含める。）	
			生産量（kg）
	鶏卵	採卵用の鶏から生産される卵（正常卵以外も販売したものは含む。）。また、販売金額には、廃鶏も含める。	

品目		説明	
ブロイラー養鶏	ブロイラー	ブロイラー、ブロイラーの雛（地鶏は含まない。）	

品目		説明	
その他	きゅう肥（ふん尿）	きゅう肥として販売したもの（自給肥料としたものは含まない。）	
	その他畜産物	地鶏、綿羊、うずら、やぎ、養蚕など	

3　直接販売

販売金額のうち、自ら生産した農産物を、実需者（小売業、食品製造業、外食産業等）や、消費者に直接販売（自営直売所、その他直売所、インターネット等）して得た金額を記入してください。

また、直接販売の販路別の金額割合を記入してください。

（1）直接販売の金額

金額（円）　億　万　千　百　十

金額での記入が難しい場合

販売金額に占める割合（%）

この欄には直接販売で得た販売金額を記入してください。

この欄には4ページの販売金額に占める直接販売の割合を記入してください。

（2）販路別金額割合

直接販売（全体）	小売業者	食品製造業・外食産業	消費者に直接販売				その他
			自営直売所	その他直売所	インターネット	他の方法	
100%	%	%	%	%	%	%	%

この欄には直接販売の販路別の金額割合を合計して100%になるように記入してください。

農畜産物収入	
販売頭数	販売金額（円）
	億 万 千 百 十
	億 万 千 百 十

販売頭数	販売金額（円）
	億 万 千 百 十

販売頭数	販売金額（円）

	販売金額（円）
	億 万 千 百 十

販売羽数（年間）	販売金額（円）

	販売金額（円）

4　農作業受託収入

区分	作業内容	収入金額（円）
農作業受託収入		億 万 千 百 十

【通信欄】
１年の中で、農畜産物の生産や販売で特徴的なできごとがあれば、記入してください。
（例：市場価格は好調だったが、病気のため廃棄が多くなり、生産量に比べて金額が少なかった。）

【９】制度受取金・積立金等

農業に関するもので、受け取った制度受取金、共済金等を「制度受取金等」欄に、支払った制度積立金、共済掛金等を「制度積立金等」欄に記入してください。

１　共通

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億　万　千　百　十	億　万　千　百　十

２　稲、畑作物等関連

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億　万　千　百　十	億　万　千　百　十

３　園芸作物関連

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億　万　千　百　十	億　万　千　百　十

3　園芸作物関連（続き）

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

4　畜産関連

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

5　その他

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

指定品目の制度受取金・積立金等

指定品目名

いも類、茶、果樹、野菜（露地・施設）又は施設花きの指定品目がある場合は、その品目に係る制度受取金・積立金等を記入してください。

制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

制度受取金・積立金等の各合計に占める割合を記入する場合は、こちらに記入してください。

指定品目に係る	
受取金等割合（%）	積立金等割合（%）

【10】労働の概要

１年間（決算期間）に事業に従事した者の性別、家族・雇用の別､労働時間について記入してください。なお、年齢は期末（12月31日）時点の年齢を記入してください。

常用雇用者：期間を定めずに雇用している者又は１か月以上の期間を定めて雇用している者
臨時雇用者：１か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者

(1) 家族・常用雇用者労働時間

区　分	性　別	年齢	家族・雇用の別			農業労働時間	農作業受託労働時間	農業生産関連事業労働時間
			家族	常用雇用者				
				７か月未満の雇用者	７か月以上の雇用者			
			1	2	3	（時間）	（時間）	（時間）
経営主	男 女	歳						
従事者 ①	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ②	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ③	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ④	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑤	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑥	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑦	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑧	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑨	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑩	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑪	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑫	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑬	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑭	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑮	男 女	歳	1	2	3			

注：　事業に従事した者とは、農業や農業以外の事業（林業、アパート経営、その他）に従事した者をいいます。

(2)　臨時雇用者労働時間

区　分	人　数	農業労働時間	農作業受託労働時間	農業生産関連事業労働時間
	（人）	（時間）	（時間）	（時間）
男				
女				

【11】指定品目に係る労働の概要
（指定品目がある方のみ記入してください。）

１　家族・雇用者別労働時間

指定品目について、農作業に係る労働時間を男女別・労働区分別に記入してください。

指定品目名	

区　分	男（時間）	女（時間）
家族		
雇用者		

２　作業別労働時間

指定品目について、次の農作業区分に従事した作業別労働時間を記入してください。

区　分	説　明	作業別労働（時間）
作業別労働時間計	指定品目の農作業に係る労働時間の計	
種子予措・育苗	選種、浸種、種子消毒、催芽、育苗	
耕うん・施肥（基肥・追肥）	耕起、整地、畝立て、マルチ、基肥の配合、施肥、追肥　など	
は種・定植整枝・せん定	は種、定植、覆土、整枝、せん定、誘引、新梢管理　など	
除草・防除	作付ほ場の中耕除草、除草剤散布、農薬散布、鳥獣害対策　など	
授粉・摘果	授粉、摘花、摘房、摘粒、摘果、葉つみ、ジベレリン処理　など	
生育管理	かん排水、けい畔の草刈り・除草剤散布、ビニール張り　など	
収穫・調製	収穫、結束、乾燥・調製、仮の収納場所への運搬　など	
包装・荷造り	包装、荷造り作業	
搬出・出荷・販売	該当農産物の搬出作業、出荷作業、販売に係る労働	
経営管理・間接労働	農機具修繕、資材等の調達、集会出席、技術習得、簿記記帳　など	

【12】農業生産関連事業収支

1　農業生産関連事業の収入金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。
　また、農業生産関連事業の収入金額が税務申告の農業収入に含まれる場合は、「はい」を選択してください。

金額での記入が難しい場合、この欄に「【４】事業収支の概要」（８ページ）の㋣「収入金額　計」に占める割合を記入してください。

区　分	収入金額(円)	割合(%)	農業収入に含まれる
農業生産関連事業収入	億 万 千 百 十		はい

2　農業生産関連事業の支出金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。

金額での記入が難しい場合、この欄に「【４】事業収支の概要」（８ページ）の⑤「経費」に占める割合を記入してください。

この欄には、「農業生産関連事業支出合計」に占める割合を記入してください。

区　分			支出金額(円)	経費割合(%)	割合(%)
農業生産関連事業支出合計		農業生産関連事業の支出合計	億 万 千 百 十		
	自家農畜産物	材料費のうち、自らが生産した農畜産物			
	雇人費	事業に従事した者の労働時間分			
	減価償却費	事業で利用した設備、施設等の減価償却費			

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第２号

秘
農 林 水 産 省

統計法に基づく基幹統計
農 業 経 営 統 計

（案）

別添３－２

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年　営農類型別経営統計調査票

（個人経営体用（基本項目））

☆　この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。
☆　この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。

【記入上の留意事項】　　**◇オンライン調査も可能です。**

１．　年１月１日～　　年12月31日の１年間について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

営農類型		指定品目名			
2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

【はじめに】
調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
本調査票の記入に際しては、次の点に留意してください。

○　損益計算書に係る記入欄は、青色申告決算書（農業所得用）の科目と同じ配列となっており、他の様式から転記する場合は、記入欄の配列が異なりますので該当する科目の記入欄へ転記してください。
○　営農の種類（畑作、酪農等）や農業以外に事業を行っているかどうかにより、記入する欄が異なる場合があります。

1　調査票の構成

区　　分	説　　明	対応ページ
【１】現況（共通項目）	青色申告の申請状況、農業従事者の状況等について記入してください。	２
【２】損益計算書	農業の収入や支出の状況について転記してください。	３、４
【３】事業収支の概要	農業以外も含めた全ての事業収支の状況について転記してください。	５
【４】土地面積	経営する土地面積の状況について記入してください。	５
【５】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入	農畜産物の生産概況と販売収入、また農作業受託収入について記入してください。	６～９
【６】制度受取金・積立金等	国からの制度受取金等に係る状況等について記入してください。	10、11
【７】労働の概要	作業に従事した人数や労働時間に係る状況について記入してください。	12

それでは、次の「【1】現況（共通項目）」から記入してください。

【１】現況（共通項目）

青色申告を行っている		はい	いいえ
認定農業者がいる		はい	いいえ
農業研修生の受け入れがある		はい	いいえ
経営主	性別	男	女
	年齢 期末（12月31日）時点		

「はい」の方は、右の設問にも記入してください。

農業研修生	人数（人）
外国人技能実習生	
日本人研修生	

【２】損益計算書

１　農業収支について、青色申告決算書（農業所得用）などを参照し、記入してください（収支内訳書（農業所得用）は、該当する科目の記入欄へ記入してくださ い。）。
　また、指定品目がある場合は、それぞれの科目に占める指定品目の割合を記入してください。

科目			青色申告決算書No	収支内訳書No	説明	金額（円）
収入金額	販売金額		①	①	農畜産物の販売額	
	家事消費金額・事業消費金額		②	②	家計で消費した金額、農業以外の事業で消費した金額	
	雑収入		③	③	作業受託、経営所得安定対策交付金、価格補填金、受取共済金	
	小計		④	④	販売金額、家事消費・事業消費金額、雑収入の合計	
	農産物の棚卸高	期首	⑤	⑤	農産物の期首棚卸高	
		期末	⑥	⑥	農産物の期末棚卸高（年内に精算され、精算できていない生産物を評価）	
	収入計		⑦	⑦	収入の合計（④－⑤＋⑥）	
経費	租税公課		⑧	㋑	農業に係る固定資産税、印紙税、組合・部会費、支払消費税	
	種苗費		⑨	㋺	種子、苗の購入費	
	素畜費		⑩	㋩	肥育又は育成の素畜やヒナの代金、種付料、登録料	
	肥料費		⑪	㋥	肥料の購入費	
	飼料費		⑫	㋭	飼料の購入費	
	農具費		⑬	㋬	取得価額が10万円未満の農業機械、農具等	
	農薬費・衛生費		⑭	㋣	農薬・家畜薬品等の購入費、共同防除の負担金	
	諸材料費		⑮	㋠	生産に要したビニール、縄、おがくず等の購入費	
	修繕費		⑯	㋡	農業機械、車両、建物等の修理費	
	動力光熱費		⑰	㋦	水道料、電気料、燃油代金	

※　飼料費から、配合飼料価格安定制度における補てん金分を除いていますか。　はい　いいえ

（配合飼料価格安定制度における補てん金を、飼料費から減額している場合は「はい」を、収入金額（雑収入）に仕訳している場合は「いいえ」を選んでください。）

２　貸倒引当金及び専従者給与について、青色申告決算書（農業所得用）の損益計算書の繰入額等欄などから転記してください。

科目	青色申告決算書No	収支内訳書No	説明	金額（円）
貸倒引当金	㊷－㊲	⑪	（繰入額－繰戻額）の金額	
専従者給与	㊶	⑯	専従者給与（繰入額）の金額	

【２】損益計算書（続き）

科目		青色申告決算書No	収支内訳書No	説明	金額（円）
経費（続き）	作業用衣料費	⑱	ル	農作業に必要な衣類・靴・帽子等の購入費	
	農業共済掛金	⑲	ヲ	共済掛金、農用車両の保険料・共済掛金	
	減価償却費	⑳	⑩	農用建物、構築物、農機具、生物等固定資産の減価償却費	
	荷造運賃手数料	㉑	ワ	販売に要したダンボール等の資材代金、運賃、検査料等	
	雇人費	㉒	⑧	雇用労賃及び賄い費・交通費	
	利子割引料	㉓	⑫	借入金利息、手形割引料、債務保証料	
	地代・賃借料	㉔	⑨	農地代、農用建物代金、農機具等の使用代金、ライスセンター・共同選果場の料金	
	土地改良費	㉕	カ	客土・揚排水施設等の維持管理費	
	雑費	㉚	ツ	上記以外の事務費等一般管理費を含む。	
	小計	㉛	ー	上記租税公課～雑費までの経費の合計	
	農産物以外の棚卸高 期首	㉜	ネ	農産物以外の期首棚卸高	
	農産物以外の棚卸高 期末	㉝	ナ	農産物以外の期末棚卸高	
経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用		㉞	ラ	未成熟果樹、育成牛等の育成に要した費用	
経費合計		㉟	⑭	㉛＋㉜－㉝－㉞	

【３】事業収支の概要

１　事業収支について、所得税の確定申告書Ｂを参照して、次の科目の金額を転記してください。

科目			申告書記号	説明	金額（円）
収入金額	事業	営業等	㋐	卸売業、製造業、小売業、林業、漁業など農業以外の事業の収入	億 万 千 百 十
		農業	㋑	農業収入	
	不動産		㋒	不動産収入	
	収入金額計		㋓	㋐＋㋑＋㋒	
所得金額	事業	営業等	①	農業以外の事業の収入から、その事業に投じた費用を差し引いた金額	
		農業	②	農業収入から、農業に投じた費用を差し引いた金額	
	不動産		③	不動産収入から不動産に投じた費用を差し引いた金額	
	所得金額計		④	①＋②＋③	
経費			⑤	㋓－④	

２　山林の所得がある場合には、申告書（分離課税用）第三表を参照して、次の科目の金額を転記してください。

科目	説明	金額（円）
収入金額（山林）	山林を売却、譲渡、伐採した際に生じた収入	億 万 千 百 十
所得金額（山林）	山林収入から伐採などに掛かった費用を差し引いた金額	

【４】土地面積

期末（12月31日）時点の土地の状況を記入してください。

区分	説明	経営面積(a)	うち借入地面積
田	田全体の面積と、このうち他から借り入れている面積	ha a	ha a
畑（普通畑）	畑（樹園地、牧草地を除く）全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
樹園地	樹園地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
牧草地	牧草地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
採草放牧地	採草放牧地の面積		

区分	説明	面積(a)
貸付地（耕地）	他の経営体に貸し付けた耕地の面積（所有地分のみ）	ha a

【５】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入

１年間（決算期間）に販売目的で作付け（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）、生産量、販売数量及び販売金額についてそれぞれ記入してください。

なお、事業用（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的に作付（飼養）した農畜産物は、「生産概況（事業消費含む。）」欄に含めてください。

また、１年間（決算期間）の農作業受託収入について記入してください。

１　農産物

品目			説明	生産概況 作付延 田
稲（食用）	水稲	主食用米	加工用米・新規需要米等以外の米	
		加工用米		
		新規需要米等	新規需要米（米粉用、新市場開拓用）及び備蓄米	
	陸稲			
稲（飼料用）	飼料用米		飼料用米（自給用含む。）	
	ＷＣＳ用稲		稲発酵粗飼料用稲（自給用含む。）	
稲わら・ぬか等			稲わら、ぬか等を販売したもの	
麦類	小麦		小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦以外の麦（えん麦、らい麦等）は、その他の麦の欄に記入してください。	
	二条大麦			
	六条大麦			
	はだか麦			
	その他の麦			
雑穀	そば		そば殻も含む。	
	他の雑穀（そば以外）		とうもろこし、あわ、ひえ等の穀物	
豆類	大豆		乾燥子実。生（枝豆）は野菜	
	大豆以外		小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実	
いも類	かんしょ		種いも用、原料用かんしょも含む。	
	ばれいしょ		種いも用、原料用ばれいしょも含む。	
工芸農作物	てんさい		寒冷地作物として中、高緯度で栽培される甘味資源作物（ビート・トップを含む。）	
	さとうきび		熱帯を中心に栽培される甘味資源作物	
	その他の工芸農作物		なたね、い草、こんにゃくいも、葉たばこ等	
その他作物	飼料用作物		飼料用米、WCS用稲以外の飼料作物（自給用含む。）	
	その他		芝、苗、苗木等（栽培きのこ類を含む。）	

品目	説明	植栽面積（ａ）
茶	数量は、荒茶で換算して記入してください。	
果樹	りんご、みかん、ぶどう等の果樹	

品目			説明	作付延べ面積		販売金額（円） 億 万 千 百 十
野菜	露地		露地で生産した野菜		a	
	施設		施設で生産した野菜		㎡	
花き	露地	切り花	露地で生産した花き（鉢植えの花木を含む。）		a	
		鉢物			a	
	施設	切り花	施設で生産した花き（鉢植えの花木を含む。）		㎡	
		鉢物			㎡	

況（事業消費含む。）			農畜産物収入
べ面積（ａ）	生産量（kg）	販売数量（kg）	販売金額（円）
畑			
			億　万　千　百　十

うち成園（結果樹）	生産量（kg）	販売数量（kg）	販売金額（円）

2　畜産物

品目			説明	生産概況（事業消費含む。） 生産量（kg）
酪農		生乳	自家で飼養する乳牛から搾乳して生産したもの	
				飼養頭数（月平均）
		搾乳牛	搾乳を行った牛	
		自家生産乳牛等	自家で生産した乳用種・交雑種・受精卵移植牛、搾乳牛、乳廃牛	

品目			説明	飼養頭数（月平均）
肉用牛	繁殖牛（子とり）	繁殖雌牛	繁殖用の雌牛	
		自家生産和牛等	自家で生産した和牛又はＦ１クロス牛、繁殖用育成牛、廃用牛	
	肥育牛	肉専用種	肉専用種の牛	
		乳用種	乳用種の牛	
		交雑種	交雑種の牛（Ｆ１クロス牛を含む。）	

品目		説明	飼養頭数（月平均）
養豚	繁殖雌豚	繁殖雌豚	
	肥育豚	肥育用の豚	
	肉豚	肉用の豚、廃用した豚のうち販売した豚	
	子豚	肥育用、繁殖用もと畜として販売した子豚	

品目		説明	飼養羽数（月平均）
採卵養鶏	採卵鶏	採卵用の鶏（うずらは、その他畜産物に含める。）	
			生産量（kg）
	鶏卵	採卵用の鶏から生産される卵（正常卵以外も販売したものは含む。）。また、販売金額には、廃鶏も含める。	

品目		説明
ブロイラー養鶏	ブロイラー	ブロイラー、ブロイラーの雛（地鶏は含まない。）

品目		説明
その他	きゅう肥（ふん尿）	きゅう肥として販売したもの（自給肥料としたものは含まない。）
	その他畜産物	地鶏、綿羊、うずら、やぎ、養蚕など

3　農作業受託収入

区分	作業内容	収入金額（円） 億　万　千　百　十
農作業受託収入		

【通信欄】
１年の中で、農畜産物の生産や販売で特徴的なできごとがあれば、記入してください。
（例：市場価格は好調だったが、病気のため廃棄が多くなり、生産量に比べて金額が少なかった。）

農畜産物収入	
販売頭数	販売金額（円）
	億 万 千 百 十
	億 万 千 百 十

販売頭数	販売金額（円）
億 万 千 百 十	

販売頭数	販売金額（円）

	販売金額（円）
	億 万 千 百 十

販売羽数（年間）	販売金額（円）

	販売金額（円）

【６】制度受取金・積立金等

農業に関するもので、受け取った制度受取金、共済金等を「制度受取金等」欄に、支払った制度積立金、共済掛金等を「制度積立金等」欄に記入してください。

１　共通

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

２　稲、畑作物等関連

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

３　園芸作物関連

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

３　園芸作物関連（続き）

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

４　畜産関連

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

５　その他

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

【７】労働の概要

１年間（決算期間）に事業に従事した者の性別、家族・雇用の別、労働時間について記入してください。なお、年齢は期末（12月31日）時点の年齢を記入してください。

常用雇用者：期間を定めずに雇用している者又は１か月以上の期間を定めて雇用している者
臨時雇用者：１か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者

(1) 家族・常用雇用者労働時間

区　分	性　別	年齢	家族・雇用の別			農業労働時間	農作業受託労働時間	農業生産関連事業労働時間
			家族	常用雇用者				
				７か月未満の雇用者	７か月以上の雇用者			
			1	2	3	（時間）	（時間）	（時間）
経営主	男 女	歳						
従事者 ①	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ②	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ③	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ④	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑤	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑥	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑦	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑧	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑨	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑩	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑪	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑫	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑬	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑭	男 女	歳	1	2	3			
従事者 ⑮	男 女	歳	1	2	3			

注：　事業に従事した者とは、農業や農業以外の事業（林業、アパート経営、その他）に従事した者をいいます。

(2)　臨時雇用者労働時間

区　分	人　数	農業労働時間	農作業受託労働時間	農業生産関連事業労働時間
	（人）	（時間）	（時間）	（時間）
男				
女				

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第３号

秘
農 林 水 産 省

統計法に基づく基幹統計
農 業 経 営 統 計

別添３－３

（案）

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年　営農類型別経営統計調査票

（法人経営体用）

☆　この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。
☆　この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。

【記入上の留意事項】　　**◇オンライン調査も可能です。**

１．　　年４月１日～　　年３月31日までの間に到来した決算日前１年間について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

営農類型						
2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

【はじめに】
調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
本調査票の記入に際しては、次の点に留意してください。

○　貸借対照表や事業経費（製造原価、販売費及び一般管理費）に係る勘定科目の記入欄は、貴法人が採用する勘定科目と異なる場合があります。

○　事業経費に係る記入は、農業についてのみとしてください。

○　必ず記入しなければならない項目

区　　分	説　　明	対応ページ
【１】現況（共通項目）	認定農業者の有無、決算期、設立年次等について記入してください。	３
【２】貸借対照表	資産や負債の状況について記入してください。	４、５
【３】投資と資金調達の状況	農業に係る投資や資金調達の状況について記入してください。	６
【４】損益計算書	農業以外も含めた全ての事業収支の状況について記入してください。	７
【５】事業経費	農業に係る経費の状況について記入してください。	８、９
【６】給与の状況	役員、雇用者への給与の状況について記入してください。	10
【７】土地面積	経営する土地面積の状況について記入してください。	10
【８】主要農業固定資産の状況	農業固定資産の保有状況について記入してください。	11
【９】生産概況及び農畜産物収入	農畜産物の生産概況と販売収入について記入してください。	12～15
【10】農作業受託収入等	農作業受託収入等、作業面積を記入してください。	16、17
【11】制度受取金･積立金等	国からの制度受取金等に係る状況等について記入してください。	18、19
【12】労働の概要	事業に従事した人数や労働時間に係る状況について記入してください。	20、21

１　「【５】事業経費」の記入に際しての留意点

（１）「事業経費」の勘定科目は、農業法人協会が定める「農業の会計に関する指針」（平成26年５月制定）及びその参考資料の「標準的勘定科目一覧」を基準に設定しています。

（２）しかしながら、法人の採用する勘定科目は、各法人ごとに異なるものであるため、貴法人の勘定科目の名称と相違がある場合には、勘定科目の説明欄を参照してください。

（３）なお、「事業経費」の項目には、農業事業に係る経費の金額（又は事業経費全体に占める農業の割合）を記入してください。

2　農業生産関連事業がある場合

農業に関連した事業（農産加工、観光農園、貸し農園、農家民宿、農家レストランなど）を行っている場合には、「【13】農業生産関連事業収支」（22ページ）に記入してください。

《農業生産関連事業とは》

農業生産関連事業は、次に当てはまる農業以外の事業をいいます。

ただし、これらの事業活動が別法人によって営まれる場合には、記入する必要はありません。

区　分	説　明
農産加工	・貴法人で生産した原材料を用いた農産加工品を、貴法人で販売している事業をいいます。 なお、貴法人で加工を行うものであっても最終的な商品としては販売しない物（荒茶、白干し梅等）については、農産加工とはせず農業に含めてください。
観光農園	・貴法人で生産した農産物について、観光客等を対象に、ほ場において収穫等の一部の農作業を体験させて代金を得ている事業をいいます。
貸し農園	・農地を、第三者を経由せず、農園利用方式等により農家以外の者に貸し付け、その利用料金を得ている事業をいいます。 なお、自己所有の農地を他の農家に貸し付けて収入を得ている場合や、市町村や農協など第三者に貸与している場合は該当しません。
農家民宿	・旅館業法に基づき、旅館等の許可を得て、観光客等を宿泊させ、自ら生産した農産物や地域の食材を調理し、料理を提供して代金を得ている事業をいいます。
農家レストラン	・食品衛生法に基づき、飲食店営業又は喫茶店営業の許可を得て、自ら生産した農産物や地域の食材を用い、飲食を提供して代金を得ている事業をいいます。
その他	・上記以外の農業生産関連事業をいいます。（例：耕地を利用した太陽光発電）

それでは、次の「【1】現況（共通項目）」から記入してください。

【1】現況（共通項目）

次の１～10について、当該決算期間中の状況を記入してください。

1	家族による経営である		はい　いいえ
2	認定農業者である		はい　いいえ
3	決算期間の期末月		月
4	農業研修生の受け入れがある		はい　いいえ
5	法人化した年次（西暦）		年
6	経営主	性別	男　女
7	経営主	年齢（決算日時点）	歳

１で「いいえ」の方は、右の設問にもお答えください。

8	集落営農である	はい　いいえ

「集落営農」とは、集落を単位として農業生産過程における一部又は全部についての共同化・統一化に関する合意の下に実施される営農をいいます。

４で「はい」の方は、右の設問にもお答えください。

	農業研修生	人数（人）
9	外国人技能実習生	
10	日本人研修生	

【２】貸借対照表

１　資産の状況について、貸借対照表を参照して、金額を記入してください。
　　また、固定資産は、記入した金額に対する農業の割合を記入してください。

（１）資産計

勘定科目	説明	金額（円） 億 万 千 百 十
資産計	資産の合計（流動資産、固定資産及び繰延資産の合計）	

（２）流動資産

勘定科目	説明	金額（円） 億 万 千 百 十
流動資産合計	流動資産の合計	
現金・預貯金	現金、当座預金、普通預金、定期預金	
売掛金	農産物販売金額の未収金等、通常取引による営業上の未収金	
有価証券	国債、地方債、株券	
棚卸資産	農産物、半製品、仕掛品、貯蔵品、資材	
うち農産物	農産物	
その他	上記以外の流動資産	

固定資産については、それぞれの項目に記入した金額のうち、農業に該当する割合を記入してください。

（３）固定資産

勘定科目	説明	金額（円） 億 万 千 百 十	農業割合（%）
固定資産合計	固定資産額の合計		
有形固定資産	有形固定資産の合計		
動物・植物	乳牛、繁殖牛、繁殖豚、果樹、茶、桑		
自動車・農機具	自動車、トラクター、乾燥機、もみすり機		
建物・構築物	建物、施設、畜舎		
土地	農地、付属施設		
その他	建設仮勘定、育成仮勘定、工具器具備品		
無形固定資産	電話加入権、地上権、借地権		
投資等	農協出資金、長期前払金、長期貸付金、投資証券、補償金		

（４）繰延資産

勘定科目	説明	金額（円） 億 万 千 百 十
繰延資産	創立費、開業費など（固定資産に整理している場合は、その金額を記入。）	

2　負債及び純資産の状況について、貸借対照表を参照して、金額を記入してください。
　また、負債計は、記入した金額に対する農業の割合を記入してください。

（1）負債計

勘定科目	説明	金額（円）	農業割合（%）
負債計	負債の合計（流動負債と固定負債の合計）	億 万 千 百 十	

（2）流動負債

勘定科目	説明	金額（円）
流動負債	流動負債の合計	億 万 千 百 十
買掛金・未払金	原材料等の購入代金等の未払金の合計	
短期借入金	返済期限が１年以内の借入金	
その他	上記以外の金額	

（3）固定負債

勘定科目	説明	金額（円）
固定負債	固定負債の合計	億 万 千 百 十
長期借入金	返済期限が１年を超える借入金	
その他	長期借入金以外の固定負債	

（4）純資産

勘定科目	説明	金額（円）
純資産	資産計－負債計の金額	億 万 千 百 十
資本金・出資金	資本金、出資金	
資本剰余金	資本準備金、資本金額減少差額、資本準備金取崩額	
利益剰余金	利益準備金、繰越利益剰余金、農業経営基盤強化準備金の積立金	
その他	上記以外の純資産	

【３】投資と資金調達の状況

１　経営する事業への投資の状況について、次の資産科目それぞれの１年間（決算期間）の購入金額の合計を記入してください。
　また、記入した金額のうち農業に該当する割合を記入してください。

勘定科目		説明	金額（円）	農業割合（%）
投資	土地	土地の購入金額	億 万 千 百 十	
	建物・構築物	建物・構築物の購入金額		
	自動車・農機具	自動車・農機具の購入金額		
	植物・牛馬	植物・牛馬の購入金額（資産形成のものに限る。）		

販売に供するための動物等は除く。

２　事業経営のため１年間（決算期間）に借り入れた金額の合計を短期・長期別に記入してください。
　また、記入した金額のうち農業に該当する割合を記入してください。

勘定科目	説明	金額（円）	農業割合（%）
短期借入金	返済期限が１年以内の借入金	億 万 千 百 十	
長期借入金	返済期限が１年を超える借入金		

３　決算日時点の貴法人に対する出資者数と出資金額について、それぞれ記入してください。

区分	計	個人	うち非従事者	農協・農協連合会	関連会社	その他団体
出資者数（人、団体又は会社数）		人	人	団体	社	団体
出資金額	万円	万円	万円	万円	万円	万円

【４】損益計算書

１　売上高などについて、損益計算書などを参照して、それぞれ記入してください。
　　また、（１）のうち「売上原価」及び（２）のうち「支払利子・割引料」については、金額を記入した上で、記入した金額のうち農業に該当する割合を記入してください。

（１）売上高、売上原価、販売費及び一般管理費

勘定科目	説明	金額（円） 億 万 千 百 十	農業割合（%）
売上高	事業の売上高		
売上原価（①＋②＋③＋④－⑤）	商品の仕入原価、製造原価		
期首商品製品棚卸高（①）	商品・製品の期首在り高		
当期商品仕入高（②）	商品の当期における仕入高		
当期製品製造原価（③）	製品の当期における製造原価		
生物売却原価（④）	減価償却資産の販売直前の帳簿価格		
期末商品製品棚卸高（⑤）	商品・製品の期末在り高		
販売費及び一般管理費	販売に係る経費、法人全体を運営、管理に要した費用		

「当期製品製造原価」について、必ず８ページの【５】事業経費の「（１）製造原価報告書」に内訳を記入してください。

内訳を記入

内訳を記入

「販売費及び一般管理費」について、必ず９ページの「（２）販売費及び一般管理費」に内訳を記入してください。

（２）営業外収益、営業外費用

勘定科目	説明	金額（円） 億 万 千 百 十	農業割合（%）
営業外収益	営業活動以外の経常的収益		
営業外費用	営業活動以外の経常的費用		
支払利子・割引料	借入金の支払利息、手形譲渡損、割引料		

（３）特別利益、特別損失、当期純利益

勘定科目	説明	金額（円） 億 万 千 百 十
特別利益	臨時収益、固定資産売却益等	
特別損失	臨時損失、固定資産売却損等	
当期純利益	税引き前当期純利益－法人税等の金額	

【５】事業経費（製造原価報告書、販売費及び一般管理費）

１　貴法人の事業内容について、該当するもの一つに記入してください。

「農業」のみ経営	1
「農業」及び「農業生産関連事業」を経営	2
「農業」、「農業生産関連事業」及び「その他の事業」を経営	3

２　１の設問で「１」を選んだ方は、製造原価報告書などを参照して、次の表に金額を記入してください。
「２又は３」を選んだ方は、製造原価報告書などを参照して、農業に係る経費の金額を記入してください。
金額の記入が難しい場合には、貴法人の事業全体の次の科目の金額を記入した上で、記入した金額のうち農業に該当する割合を記入してください。

※　決算書の勘定科目と調査における科目が異なる場合は、勘定科目ごとの説明欄を参照し、記入してください。

(1) 製造原価報告書

勘定科目		説明	金額（円）	農業割合（%）
			億 万 千 百 十	
材料費	期首材料棚卸高	原材料の期首在り高		
	種苗費	種籾、その他の種子、種芋、苗類などの購入費用		
	素畜費	種付費、もと畜購入費用、登録料		
	肥料費	肥料の購入費用		
	飼料費	飼料の購入費用、自給飼料の振替額		
	農薬費	農薬、予防目的の家畜用の薬剤費の購入費用		
	敷料費	敷料の購入費用		
	燃油費	重油等、園芸用ハウス暖房用燃料等の購入費用		
	諸材料費	被覆用ビニール(マルチ)、鉢、針金などの購入費用		
	期末材料棚卸高	原材料の期末在り高		
労務費		賃金手当、雑給、賞与、法定福利費、福利厚生費		
	うち作業用衣料費	労務費に含まれている作業服、軍手、長靴、地下足袋等の購入費用		
外注費	作業委託費	賃耕料、刈取料などの農作業委託料		
	診療衛生費	獣医の診療報酬・コンサル料、治療用の薬剤費用		
	預託費	家畜の育成、肥育の委託費		
	ヘルパー利用費	酪農や肉用牛などのヘルパー利用料		
	ほ場管理費	けい畔の草刈り、水管理・肥培管理作業などの農作業委託料		

・農業の金額が記入できない場合に、①各勘定科目の金額を記入し、②そのうち、農業の割合を記入してください。

・農業の金額が記入できる場合は、農業割合の記入は不要です。

・期末材料棚卸高は来期に繰り越す材料費で今期の製造原価からは差し引かれるものです。

配合飼料価格安定制度の補填金を、飼料費から控除していますか。　はい　いいえ

(1) 製造原価報告書(続き)

勘定科目		説明	金額(円) 億 万 千 百 十	農業割合(%)
製造経費	農具費	取得10万円未満又は耐用年数1年未満の農機具購入費		
	修繕費	建物、農機具、農業に用いた車両等の維持、修繕に要した経費		
	動力光熱費	生産用の電気、水道料金やガソリン、軽油などの燃料費		
	共済掛金	作物や農業用施設の共済掛金、価格補填負担金収入保険の保険料・事務費等		
	減価償却費	農業生産に使用した建物、農機具等の減価償却費		
	賃借料・地代	地代、家賃、賃借料、穀物等の検査料、受託農産物精算費		
	土地改良費	土地改良負担金、土地改良賦課金、水利費		
	租税公課	生産用の固定資産税等の租税、自動車損害賠償責任保険、農業共済賦課金		
その他		上記以外の経費		
仕掛品棚卸高増減		仕掛品(未収穫農産物、販売用動物等)の期首在り高－期末在り高の金額		
育成費振替高		育成中の生物に対する当期の支出として原価から控除する額		

・製造原価において、各勘定科目に該当しない場合は、「その他」にまとめて記入してください。

(2) 販売費及び一般管理費

勘定科目	説明	金額(円) 億 万 千 百 十	農業割合(%)
人件費	給与手当、雑給、賞与、退職金、役員報酬、賞与引当金繰入額、福利厚生費		
荷造運賃・販売手数料	出荷用包装材料の購入費用、製品の運送費用、JAや市場の販売手数料		
交際費	取引先の接待、供応、慰安、贈答のため支出する費用		
車両費・修繕費	販売管理用固定資産の修理費用、車両費		
うち燃料費	車両費に含まれている自動車燃料代		
減価償却費	販売や管理に使用した建物や自動車等の減価償却費		
地代家賃	販売管理用土地・建物の賃借料		
支払保険料	販売管理用固定資産の保険料		
租税公課・諸会費	印紙税、消費税、諸会費		
貸倒引当金繰入額	貸倒引当金の当期の繰入額		
動力光熱費	販売や管理のために使用した電気・水道料金など		
その他	上記以外の販売費及び一般管理費		

・販売費及び一般管理費において各勘定科目に該当しない場合は、「その他」にまとめて記入してください。

【６】給与の状況

１年間（決算期間）に支給した給与と関連する情報について、次の表に記入してください。

１　給与の支給総額を、雇用形態別・男女別に記入してください。
なお、従事分量配当として事業従事者に支払った場合も給与に含めます。

区　　分	給与支給額総計（万円）	有給役員（万円）	常用雇用者（万円）		臨時雇用者（万円）
			正社員・正職員	その他	
総　　計	億　万	億　万	億　万	億　万	億　万
男					
女					

２　決算日時点の有給役員の平均年齢について、男女別に記入してください。

区　　分	有給役員の平均年齢（歳）
男	
女	

【雇用形態の定義】
- ○　**有給役員**：法人の取締役、理事などで役員報酬を得ている者。
- ○　**常用雇用者**：期間を定めずに雇用している者又は１か月以上の期間を定めて雇用している者。
  - ・　**正社員・正職員**：常用雇用者のうち貴法人で正社員・正職員として処遇している者。
  - ・　**その他**：常用雇用者のうち正社員・正職員以外の者。（パート、アルバイト等）
- ○　**臨時雇用者**：１か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者

【７】土地面積

決算日時点の土地の状況を記入してください。

区　　分	説　　明	経営面積（ａ）	うち借入地面積
田	田全体の面積と、このうち他から借り入れている面積	ha　a	ha　a
畑（普通畑）	畑（樹園地、牧草地を除く。）全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
樹　園　地	樹園地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
牧　草　地	牧草地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
採草放牧地	採草放牧地の面積		

区　　分	説　　明	面積（ａ）
貸付地（耕地）	他の経営体に貸し付けた耕地の面積（所有地分のみ）	ha　a

【８】主要農業固定資産の状況

決算日時点の所有する資産（農業に使用する資産）について、建物の面積を記入してください。

建物・構築物の状況

区　　分	面積（㎡）
納　屋　・　倉　庫	
ガ　ラ　ス　室	
ハウス（ガラス室以外）	
畜　舎　・　鶏　舎	

【９】生産概況及び農畜産物収入

１年間（決算期間）に販売目的で作付け（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）、生産量、販売数量及び販売金額をそれぞれ記入してください。

なお、事業用（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的に作付（飼養）した農畜産物は、「生産概況（事業消費含む。）」欄に含めてください。

１　農産物

品目			説明	生産概況 作付延 田
稲（食用）	水稲	主食用米	加工用米・新規需要米等以外の米	
		加工用米		
		新規需要米等	新規需要米（米粉用、新市場開拓用）及び備蓄米	
	陸稲			
稲（飼料用）	飼料用米		飼料用米（自給用含む。）	
	ＷＣＳ用稲		稲発酵粗飼料用稲（自給用含む。）	
稲わら・ぬか等			稲わら、ぬか等を販売したもの	
麦類	小麦		小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦以外の麦（えん麦、らい麦等）は、その他の麦の欄に記入してください。	
	二条大麦			
	六条大麦			
	はだか麦			
	その他の麦			
雑穀	そば		そば殻も含む。	
	他の雑穀（そば以外）		とうもろこし、あわ、ひえ等の穀物	
豆類	大豆		乾燥子実。生（枝豆）は野菜	
	大豆以外		小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実	
いも類	かんしょ		種いも用、原料用かんしょを含む。	
	ばれいしょ		種いも用、原料用ばれいしょを含む。	
工芸農作物	てんさい		寒冷地作物として中、高緯度で栽培される甘味資源作物（ビート・トップを含む。）	
	さとうきび		熱帯を中心に栽培される甘味資源作物	
	その他の工芸農作物		なたね、い草、こんにゃくいも、葉たばこ等	
その他作物	飼料用作物		飼料用米、WCS用稲以外の飼料作物（自給用含む。）	
	その他		芝、苗、苗木等（栽培きのこ類を含む。）	

品目	説明	植栽面積（ａ）
茶	数量は、荒茶で換算して記入してください。	
果樹	りんご、みかん、ぶどう等の果樹	

品目			説明		作付延べ面積
野菜	露地		露地で生産した野菜	a	
	施設		施設で生産した野菜	㎡	
花き	露地	切り花	露地で生産した花き（鉢植えの花木を含む。）	a	
		鉢物		a	
	施設	切り花	施設で生産した花き（鉢植えの花木を含む。）	㎡	
		鉢物		㎡	

況（事業消費含む。）			農畜産物収入
べ面積（ａ）	生産量（kg）	販売数量（kg）	販売金額（円）
畑			億 万 千 百 十

うち 成園（結果樹）	生産量（kg）	販売数量（kg）	販売金額（円）
			億 万 千 百 十

	販売金額（円）
	億 万 千 百 十

2　畜産物

品目		説明	生産概況（事業消費含む。） 生産量（kg）
酪農	生乳	自家で飼養する乳牛から搾乳して生産したもの	
			飼養頭数（月平均）
	搾乳牛	搾乳を行った牛	
	自家生産乳牛等	自家で生産した乳用種・交雑種・受精卵移植牛、搾乳牛、乳廃牛	

品目			説明	飼養頭数（月平均）
肉用牛	繁殖牛（子とり）	繁殖雌牛	繁殖用の雌牛	
		自家生産和牛等	自家で生産した和牛又はＦ１クロス牛、繁殖用育成牛、廃用牛	
	肥育牛	肉専用種	肉専用種の牛	
		乳用種	乳用種の牛	
		交雑種	交雑種の牛（Ｆ１クロス牛を含む。）	

品目		説明	飼養頭数（月平均）
養豚	繁殖雌豚	繁殖雌豚	
	肥育豚	肥育用の豚	
	肉豚	肉用の豚、廃用した豚のうち販売した豚	
	子豚	肥育用、繁殖用もと畜として販売した子豚	

品目		説明	飼養羽数（月平均）
採卵養鶏	採卵鶏	採卵用の鶏（うずらは、その他畜産物に含める。）	
			生産量（kg）
	鶏卵	採卵用の鶏から生産される卵（正常卵以外も販売したものは含む。）。また、販売金額には、廃鶏も含める。	

品目		説明	
ブロイラー養鶏	ブロイラー	ブロイラー、ブロイラーの雛（地鶏は含まない。）	

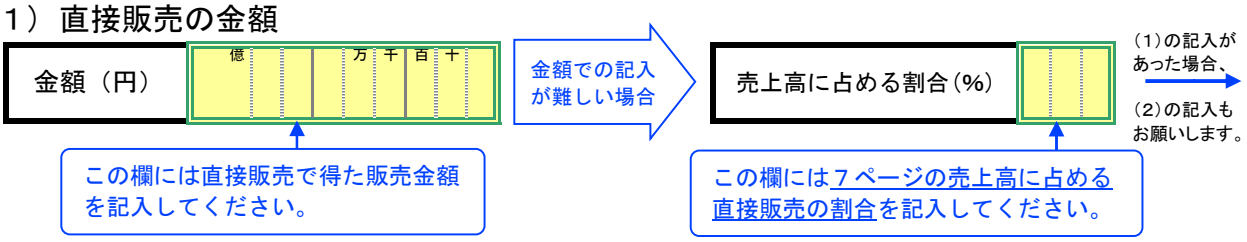
品目		説明	
その他	きゅう肥（ふん尿）	きゅう肥として販売したもの（自給肥料としたものは含まない。）	
	その他畜産物	地鶏、綿羊、うずら、やぎ、養蚕など	

3　直接販売

販売金額のうち、自ら生産した農産物を、実需者（小売業、食品製造業、外食産業等）や、自営直売所、その他直売所、インターネット等で消費者に直接販売して得た金額を記入してください。

また、直接販売の販路別の金額割合を記入してください。

（１）直接販売の金額



農畜産物収入	
販売頭数	販売金額（円）
	億 万 千 百 十
	億 万 千 百 十

販売頭数	販売金額（円）
	億 万 千 百 十

販売頭数	販売金額（円）
	億 万 千 百 十

	販売金額（円）
	億 万 千 百 十

販売羽数（年間）	販売金額（円）
	億 万 千 百 十

	販売金額（円）
	億 万 千 百 十

【通信欄】
１年の中で、農畜産物の生産や販売で特徴的なできごとがあれば、記入してください。
（例：市場価格は好調だったが、病気のため廃棄が多くなり、生産量に比べて金額が少なかった。）

（２）販路別金額割合

直接販売（全体）	小売業者	食品製造業・外食産業	消費者に直接販売				その他
			自営直売所	その他直売所	インターネット	他の方法	
100 %	%	%	%	%	%	%	%

この欄には直接販売の販路別の金額割合を合計して100%になるように記入してください。

【10】農作業受託収入等

1　売上高のうち、農作業受託の収入金額を記入してください。

区　　分	収入金額（円）
農　作　業　受　託　収　入	億　万　千　百　十

貴法人の営農類型が水田作又は畑作の場合は2にも記入してください。

2　水稲、麦類及び豆類の作業受託がある場合は、作業ごとの①受託面積等、②収入金額を次の表に記入してください。

1　受託面積等
部分作業のうち、
（※1）育苗は、引き受けた苗箱等の数量から、田植えのほ場面積を見積もり記入してください。
（※2）耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。
（※3）乾燥・調製は、水稲の場合は玄米、麦類の場合は玄麦、豆類の場合は乾燥子実の数量を記入してください。

2　収入金額
収入金額は、各作業に対する金額を記入してください。
各作業に対する金額の記入が難しい場合は、1の農作業受託収入に占める割合を記入してください。

3　全作業
全作業には、同一ほ場において、育苗から乾燥・調製までの一切の作業を受託した面積（実面積）、その収入金額を記入してください。

（1）水　稲

区　　分		①受託面積等		②収入金額（円）	1の金額に占める割合（%）
全　　作　　業			a	億　万　千　百　十	
部分作業	育　　苗※1		a		
	耕うん・整地※2		a		
	田　　植		a		
	防　　除		a		
	刈取・脱穀		a		
	乾燥・調製※3		kg		
	そ の 他				

（２）麦　類

区　　分		①受託面積等		②収入金額（円）		１の金額に占める割合（％）
全　　作　　業			a	億 万 千 百 十		
部分作業	耕うん・整地※２		a			
	は　　種		a			
	防　　除		a			
	刈取・脱穀		a			
	乾燥・調製※３		kg			
	そ の 他					

（３）豆　類

区　　分		①受託面積等		②収入金額（円）		１の金額に占める割合（％）
全　　作　　業			a	億 万 千 百 十		
部分作業	耕うん・整地※２		a			
	は　　種		a			
	防　　除		a			
	刈取・脱穀		a			
	乾燥・調製※３		kg			
	そ の 他					

【11】制度受取金・積立金等

農業に関するもので、受け取った制度受取金、共済金等を「制度受取金等」欄に、支払った制度積立金、共済掛金等を「制度積立金等」欄に記入してください。

1　共通

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億　万　千　百　十	億　万　千　百　十

2　稲、畑作物等関連

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億　万　千　百　十	億　万　千　百　十

3　園芸作物関連

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

4　畜産関連

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

5　その他

区　　分	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

【12】労働の概要

1　事業従事者の数

１年間（決算期間）の事業従事者について、男女別に雇用形態別、構成員の別に実人数で記入してください。

また、事業従事者のうち農業従業者について男女別・年齢別日数階層別に記入してください。

（１）雇用形態別の事業従事者数

区分		男（人）	女（人）
有給役員	事業従事者		
	うち農業従事者		
常用雇用者	正社員・正職員		
	うち農業従事者		
	その他		
	うち農業従事者		
	うち７か月以上		
	うち農業従事者		
臨時雇用者			
	うち農業従事者		

事業従事者とは、経営するいずれかの事業に従事する者をいいます。また、事業従事者数のうち農業従事者とは、農業に従事する者をいいます。

【雇用形態の定義】
- ○ **有給役員**：法人の取締役、理事などで役員報酬を得ている者。
- ○ **常用雇用者**：期間を定めずに雇用している者又は１か月以上の期間を定めて雇用している者。（「うち７か月以上」は常用雇用者のうち、７か月以上雇用している者。）
  - ・ **正社員・正職員**：常用雇用者のうち貴法人で正社員・正職員として処遇している者。
  - ・ **その他**：常用雇用者のうち正社員・正職員以外の者。（１ヶ月以上雇用した、パート、アルバイト等）
- ○ **臨時雇用者**：１か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者

（２）構成員数

区分		男（人）	女（人）
構成員	事業従事者		
	うち農業従事者		

構成員とは合同会社、合名会社、合資会社では社員、株式会社では株主（個人）、農事組合法人では組合員をいい、このうち実際に事業に従事している者を記入してください。なお、経営主、役員は除きます。

（３）農業従事者の年齢別日数別従事者数（臨時雇用者を除く。）

区分		農業に従事した日数別　（人）		
		60日未満	60～150日	150日以上
男	35歳未満			
	35～44			
	45～49			
	50～59			
	60～64			
	65～69			
	70歳以上			
女	35歳未満			
	35～44			
	45～49			
	50～59			
	60～64			
	65～69			
	70歳以上			

年間の労働時間を8時間で除した日数で区分してください。

２　作業別・年齢別の労働時間

事業従事者の１年間（決算期間）の作業別の労働時間を男女別に雇用形態別、経営主、構成員の別に記入してください。

また、農業労働時間について雇用形態別の労働時間を男女別・年齢階層別に記入してください。

（１）雇用形態別の作業別労働時間

区分			労働時間計（時間）	農業	農畜産物の生産	販売・一般管理	受託	農業生産関連事業
有給役員		男						
		女						
常用雇用者	男	正社員・正職員						
		その他						
		うち７か月以上						
	女	正社員・正職員						
		その他						
		うち７か月以上						
臨時雇用者		男						
		女						

（２）経営主、構成員の作業別労働時間

区分		労働時間計（時間）	農業	農畜産物の生産	販売・一般管理	受託	農業生産関連事業
経営主							
構成員	男						
	女						

（３）雇用形態別の年齢別農業労働時間

区分		有給役員（時間）	常用雇用者（時間）	うち７カ月以上雇用者
男	35歳未満			
	35 ～ 44			
	45 ～ 49			
	50 ～ 59			
	60 ～ 64			
	65 ～ 69			
	70歳以上			
女	35歳未満			
	35 ～ 44			
	45 ～ 49			
	50 ～ 59			
	60 ～ 64			
	65 ～ 69			
	70歳以上			

【13】農業生産関連事業収支

1　各農業生産関連事業の収入金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。

金額での記入が難しい場合、この欄に「【４】損益計算書」（７ページ）の１（1）「売上高」に対する割合を記入してください。

区分			収入金額(円)	売上高割合(%)
1	農産加工	農産加工事業の売上高	億 万 千 百 十	
2	観光農園	観光農園、関連施設内での売上高		
3	貸し農園	貸し農園の売上高		
4	農家民宿	農家民宿での売上高		
5	農家レストラン	農家レストランでの売上高		
6	その他	上記以外の売上高		

2　農業生産関連事業の支出金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。

金額での記入が難しい場合、この欄に「【４】損益計算書」（７ページ）の１（1）「売上原価」に占める割合を記入してください。

（1）農業生産関連事業支出（売上原価）

この欄には、農業生産関連事業の「売上原価」に占める割合を記入してください。

区分			支出金額(円)	売上原価割合(%)	売上原価割合(%)
売上原価		商品の仕入原価、製造原価	億 万 千 百 十		
	製造原価				
	材料費	事業で消費した材料費			
	労務費	農業生産関連事業労働分の労務費			
	減価償却費	農業生産関連事業分の減価償却費			
農業生産関連事業に仕向けた「自家農畜産物」			億 万 千 百 十		

農業の金額が記入場合、この欄に「【４】損益計算書」（７ページ）の１（1）「販売費及び一般管理費」に占める割合を記入してください。

（2）農業生産関連事業支出（販売費及び一般管理費）

この欄には、農業生産関連事業の「販売費及び一般管理費」に占める割合を記入してください。

区分			支出金額（円）	販管費割合(%)	販管費割合(%)
販売費及び一般管理費		各農業生産関連事業の販売費及び一般管理費の合計	億 万 千 百 十		
	人件費	農業生産関連事業労働分の人件費			
	減価償却費	農業生産関連事業分の減価償却費			

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第４号

別添3－4

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産　米生産費統計調査票（案）

（個別経営体用）

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

１．○年産の米生産費について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「食用米（※１）及び飼料用米の生産コスト」を把握する調査です。
調査票の「１　経営の概況」～「12　作業別労働時間」には○年産の食用米、「13　飼料用米の作付状況、費用及び労働時間」には飼料用米の生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　食用米とは
　食用に供する水稲のことをいい、種子も含めた主食用米（政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）、加工用米、米粉用米が該当します。（食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含みません。）

※２　この調査での食用米の生産とは
　自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（食用米負担割合について）】

食用米を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から食用米負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
食用米と小麦を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した窒素質肥料「1,000kg」を、食用米「８ha」、小麦「２ha」の作付地に施肥した場合

例１　食用米に施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	食用米負担割合（%）
窒素質肥料	800	800000	100

食用米負担割合には100%と記入

例２　食用米、小麦に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
　食用米と小麦の作付面積割合「８：２」を目安に食用米負担割合を「80%」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	食用米負担割合（%）
窒素質肥料	1000	1000000	80

食用米負担割合には80%と記入

【食用米負担割合の設定方法】

食用米を含めた複数の作物を作付けしている場合の食用米負担割合を設定する方法について説明します。

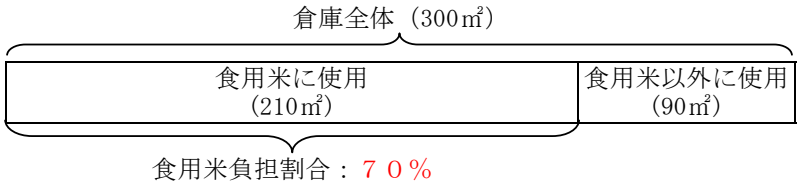
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、食用米生産のために使用した面積の割合を「食用米負担割合」とします。

$$\text{食用米負担割合} = \frac{\text{食用米に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が300㎡で、うち食用米生産のために210㎡、食用米以外の
　作物に90㎡を使用した場合の「食用米負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、食用米生産のために使用した時間の割合を「食用米負担割合」とします。

$$\text{食用米負担割合} = \frac{\text{食用米に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：トラクター全体の使用時間が200時間で、うち食用米生産のために80時間、
　食用米以外の作物に120時間使用した場合の「食用米負担割合」は４０％

調　査　事　項

ページ

【１】 経営の概況 …… 3
経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、食用米生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。

【２】 生産物の販売等の状況 …… 5
食用米、稲わら及びくず米の販売状況等について記入してください。

【３】 食用米の生産のために使用した資材等 …… 6
種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライスセンター費等の賃借料・料金等について記入してください。

【４】 物件税及び公課諸負担 …… 9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。

【５】 土地改良及び水利費 …… 9
土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。

【６】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9
借入金残高、支払利子について記入してください。

【７】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10
生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

【８】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11
生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

【９】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12
生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13
生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。

【11】 土地の面積及び地代 …… 14
所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。

【12】 作業別労働時間 …… 15
家族、雇用別の作業労働時間、田植・収穫の開始日と終了日、雇用者に支払った賃金について記入してください。

【13】 飼料用米の作付状況、費用及び労働時間 …… 16
飼料用米の作付面積、生産量、食用米生産に対して飼料用米生産にかかる費用及び労働時間等について記入します。

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　分	所有地（ａ）		借入地（ａ）	
	ha	a	ha	a
田				
普　通　畑				
樹　園　地				
牧　草　地				

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　分	用　語　の　説　明	男（人）	女（人）
世　帯　員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家　族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上の者		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農　業　年　雇	農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安にしてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

いる　いない

４　直近５か年の10ａ当たり収量

直近５か年における食用米の10ａ当たり収量を記入してください。

区　分	１年前	２年前	３年前	４年前	５年前
10ａ当たり収量（kg）					

本調査の対象作物は、**食用米**（食用に供する水稲のことをいい、種子も含めた主食用米（政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）、加工用米、米粉用米）です。
食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含めないでください。

【１】経営の概況（続き）

５　移植・直まき面積

食用米を作付けたほ場について、移植と直まき別の作付面積を記入してください。

区　分	面　積（ａ）
移　植	
直　ま　き	

注：面積の合計が当年産の食用米作付面積です。

６　水稲作付ほ場規模別枚数及び面積

食用米を作付けたほ場の規模別枚数及び合計面積を記入してください。

区　分	ほ場枚数（枚）	面　積（ａ）
未整理又は10a未満		
10a～20a区画		
20a～30a区画		
30a～50a区画		
50a～１ha区画		
１ha以上区画		

注：面積の合計が当年産の食用米作付面積です。

７　田の状況

食用米を作付けた田の状況について記入してください。

区　分		団地数等
田の団地数		
区画整理済み割合	50％未満	①
	50～80％	②
	80％以上	③

団地とは、田を含む地続きの耕地の一団をいいます。
ただし、地続きの耕地の一団が、他人の経営する耕地等によって分割されていても、作業単位として分離されていない場合は、同一の団地としてください。

８　ほ場間の距離及び団地への平均距離

食用米を作付けたほ場間の距離や団地への平均距離について記入してください。

区　分	距離（km）
ほ場間の距離	
団地への平均距離	

ほ場間の距離とは、２つ以上団地がある場合、最も離れたほ場間を、最も使われる道のりで移動した距離のことをいいます。このため、団地数が１つの場合は記入不要です。

団地への平均距離とは、居住箇所を起点として、それぞれの団地へ、最も使われる道のりで移動した距離を、団地数の合計で割ったものです。

９　食用米生産における作業委託の状況

同一のほ場を複数回にわたって防除した場合は、延べ面積を記入してください。
育苗は、委託した苗を用いて植え付けた田のほ場面積を記入してください。

区　分	数　量	単位
育　苗		ａ
防　除		ａ

10　食用米（うるち米）の品種別作付面積

当年産に作付けした食用米（うるち米）の品種名及びその作付面積を記入してください。

区　分	品種名	面　積（ａ）	区　分	品種名	面　積
品種１			品種６		
品種２			品種７		
品種３			品種８		
品種４			品種９		
品種５			品種10		

11　制度受取金等の状況

当年産の食用米に係る制度受取金等について記入してください。

区　分	掛　金（円）	受取金（円）
農業共済		

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。

【２】生産物の販売等の状況

１　食用米の販売状況等（玄米換算）

当年産の食用米の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分		内容例示	数量（kg）	金額（円）
販売用（予定を含む。）	主食用（計）	主食用米として販売された米（いわゆる縁故米、贈答米、産直米、政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）及びその種子	万 千 百 十	万 千 百 十
	加工用（計）	加工用として販売された米（加工用米、米粉用米）及びその種子		
	区分出荷	集荷円滑化対策において区分出荷された米		
自家用	種子用	種子用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	飯米用	飯米用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	その他	種子用、飯米用以外に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

２　稲わら、くず米の販売状況等

当年産の食用米生産で発生した稲わら、くず米及びもみがらの販売状況等について記入してください。

また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を計上してください。

(1)　稲わら

「数量の割合」欄には、全体の数量を100％とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

区分		内容例示	数量の割合（%）	金額（円）
販売用	加工品等	民芸品、なわ等の原料仕向けのもの		万 千 百 十
	その他（肥料、飼料、敷料等）	飼料、敷料、たい肥等仕向けのもの（きゅう肥交換を含む。）		
自家用	生わら	コンバインの切断わら、野積み、野ざらし状態のもの（無評価）		
	乾燥わら	収納された稲わらで、自家仕向けのもの（水田還元、敷料、たい肥等）		
	その他（焼却、放棄）	焼却、放棄（無評価）		
計			１００	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

稲わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」の用途別に割合を記入してください。（用途別の合計が100となります。）

(2)　くず米及びもみがら

くず米及びもみがらについて、用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合（%）	販売用	自家用	その他（廃棄等）
くず米	１００			
もみがら	１００			

くず米及びもみがらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」、「その他（廃棄等）」の各割合を記入してください。
（販売用、自家用、その他（廃棄等）の合計が100となります。）

区分	販売金額（円）
くず米	万 千 百 十
もみがら	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

当年産の水稲栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)　新たな品種の導入

(2)　直まき栽培の導入

(3)　新たな設備・機械の導入

(4)　その他（新たな栽培技術の導入）

通　信　欄

【３】食用米の生産のために使用した資材等

1　種苗費

当年産の食用米生産のために使用した種子及び苗について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(1)　種子

品種名等		数量（kg）	金額（円）	食用米負担割合（%）
	（計）	万 千 百 十	万 千 百 十	
購入				
自給				

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2)　苗

品種名等		植え付けた面積（a）	金額（円）	食用米負担割合（%）
	（計）	ha a .	万 千 百 十	
購入				

【３】食用米の生産のために使用した資材等（続き）

２　肥料費

当年産の食用米生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

	資材名等	数量（kg）	金額（円）	食用米負担割合（%）	備考欄
購入	窒素質肥料（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		
	りん酸質肥料（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		
	カリ質肥料（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		
	けい酸質肥料（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		
	炭酸カルシウム（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		炭酸カルシウムには石灰を含みます。なお、融雪剤として使用した分は「５諸材料費」に記入してください。
	複合肥料（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		
	土壌改良資材		万 千 百 十		微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
	たい肥・きゅう肥	万 千 百 十	万 千 百 十		
	その他		万 千 百 十		

２　肥料費（続き）

当年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自家で生産した肥料について記入してください。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

	資材名等	数量（kg）	食用米負担割合（%）
自給	たい肥	万 千 百 十	
	きゅう肥		
	稲・麦わら		
	その他		

注１：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いで記入してください。
　２：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

３　農業薬剤費

当年産の食用米生産のために使用した農業薬剤について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）	食用米負担割合（%）	備考欄
殺虫剤（計）	万 千 百 十		
殺菌剤（計）	万 千 百 十		
殺虫殺菌剤（計）	万 千 百 十		
除草剤（計）	万 千 百 十		
その他	万 千 百 十		殺鼠剤、植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材（育苗箱など）の殺菌・消毒剤など

注１：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「６　賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。
　２：除草剤等農薬入りの肥料は「２　肥料費」の「その他」に記入してください。

【３】食用米の生産のために使用した資材等（続き）

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

４　光熱動力費

当年産の食用米生産のために使用した光熱動力について記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	食用米負担割合（%）
動力燃料	重油	万 千 百 十	L	万 千 百 十	
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電力料			－		
その他（水道料、木炭などの燃料）			－		
自給					

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・食用米のみの使用分を記入する場合は100（%）としてください。
・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

５　諸材料費

当年産の食用米生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	食用米負担割合（%）
購入	育苗用土（素土含む。）	万 千 百 十	kg	万 千 百 十	
	その他（計）				
自給					

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

諸材料には、育苗箱マット、あぜ波板、ビニール・シート（償却資産に属する建物（育苗ハウス等）のビニール張り替え費用については、建物費の修繕費に計上）、なわ、バインダー用結束ひも等が入ります。

・食用米のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

６　賃借料及び料金

当年産の食用米生産のために支払った賃借料や料金について記入してください。

料金名等		数量	単位	金額（円）	食用米負担割合（%）
共同負担金	薬剤散布		－	万 千 百 十	
	共同施設		－		
	共同苗代		－		
農機具借料			－		
航空防除賃		ha a .	a		
賃耕料		.	a		
は種・田植賃		.	a		
収穫請負わせ賃		.	a		
ライスセンター費		万 千 百 十 .	kg		
カントリーエレベーター費		.	kg		
上記以外の乾燥・調製委託料		.	kg		
その他			－		

注１：　共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
２：　ライスセンター、カントリーエレベーター等に乾燥・調製を委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれる場合、包装荷造り費を除いて記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担した食用米生産に関係する物件税について記入してください。

区　分	金　額（円）	食用米負担割合（%）
固定資産税（建物）	万 千 百 十	
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係るものを除いて記入してください。

・食用米のみの負担分を記入する場合は100（%）としてください。
・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

２　公課諸負担

１年間に負担した食用米生産に関係する公課諸負担について記入してください。

区　分	金　額（円）	食用米負担割合（%）
集落協議会費（地域集落等の会費）	万 千 百 十	
農業協同組合費		
農事実行組合費（稲作部会等の会費）		
農業共済組合賦課金		

・食用米のみの負担分を記入する場合は100（%）としてください。
・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、食用米の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【５】土地改良及び水利費

当年産の食用米生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について記入してください。

１　土地改良区費

事業種類	食用米作付ほ場負担金額（円）		食用米負担割合（%）
	維持負担金	償還金	
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

２　水利費等

費用名	食用米作付ほ場負担金額（円）	食用米負担割合（%）
水利組合費	万 千 百 十	
揚水ポンプ組合費		
その他		

・食用米のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、食用米の収入が占める割合を目安に記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

当年産の食用米生産のための借入金及び支払利子について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	食用米負担割合（%）
短期借入金（計）	万 千 百 十	万 千 百 十	
短期借入金			
短期借入金			
短期借入金			
短期借入金			
長期借入金（計）	万 千 百 十	万 千 百 十	
長期借入金			
長期借入金			
長期借入金			
長期借入金			
買掛未払金	万 千 百 十	万 千 百 十	

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

・食用米のみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

食用米生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	食用米負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード

建築物			
1	住　宅	8	車　庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
14	稲　架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客　土	31	その他の構築物

構造コード

建築物
（１住宅）～（13その他の建築物）

1	木　造	6	木造モルタル	9 鉄骨	骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金　属	10 骨造	骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				

構築物
（14稲架）～（31その他の構築物）

1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金　属	5	合成樹脂
		3	木　造	6	塩化ビニール
		4	土　管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売　却

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

食用米生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
- 自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- バッテリー・補充液
- 洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

- 食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- 食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	食用米負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
（１　貨物自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
（２　その他の自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

食用米生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。自賠責保険（円）	食用米負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード			
1	電動機	19	バインダー
2	発動機	20	自脱型コンバイン
3	歩行用トラクター	21	普通型コンバイン
4	乗用トラクター	29	脱穀機
12	電熱育苗機	31	乾燥機
13	田植機	32	もみすり機
15	揚水ポンプ	56	その他の農機具
17	動力噴霧機	57	パソコン
18	動力散粉機	58	その他の生産管理機器
33	ドローン		

型式コード					
（4　乗用トラクター）		（20　自脱型コンバイン）		（56　その他の農機具）	
1	２０馬力未満	1	３条刈以下	1	その他・耐用年数３年
2	２０～５０馬力未満	2	４～５条刈	2	その他・耐用年数４年
3	５０～８０馬力未満	3	６条刈以上	3	その他・耐用年数５年
4	８０～１００馬力未満	（31　乾燥機）		4	その他・耐用年数６年
5	１００馬力以上	1	静置式	5	その他・耐用年数７年
（13　田植機）		2	循環式	上記以外の農機具	
1	２条植			6	その他
2	３～５条植				
3	６～７条植				
4	８条植以上				

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産の食用米生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

	名　称　等	金　額　（　円　）	食用米負担割合（%）	内　容　例　示
	（計）	万 千 百 十		【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費
農具・農業被服等の購入費				

	名　称　等	金　額　（　円　）	食用米負担割合（%）	内　容　例　示
	（計）	万 千 百 十		【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料
生産管理関係の費用				

【11】土地の面積及び地代

当年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
・食用米のみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
・食用米以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、食用米と食用米以外の作物との過去１年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】Ａ団地（ほ場）に食用米と小麦を作付けており、過去１年間における作物別の収入が食用米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。

$$\frac{\text{食用米400万円}}{\text{（食用米400万円＋小麦400万円）}} \times 100 =$$

1　所有地

(1)　作付地

当年産の食用米生産のために作付けした所有地について記入してください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	食用米負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	
2		.	.	
3		.	.	
4		.	.	
5		.	.	
6		.	.	
7		.	.	
8		.	.	
9		.	.	
10		.	.	

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産の食用米の収穫が終わる前の１年間に、
・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・食用米以外にも使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	食用米負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	
2		.	.	
3		.	.	

2　借入地

(1)　作付地

当年産の食用米生産のために作付けした借入地について記入してください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	支払地代（円）	食用米負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十	
2		.	.		
3		.	.		
4		.	.		
5		.	.		
6		.	.		
7		.	.		
8		.	.		
9		.	.		
10		.	.		

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	支払賃借料（円）	食用米負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十	
2		.	.		
3		.	.		

【12】作業別労働時間

当年産の食用米生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1　家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2　雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
			男 女			男 女			男 女			男 女			男 女			男 女			時間	時間		
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽																					種子予措	選種、浸種、消毒、催芽
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業																					育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り																					耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入																					基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入
直まき	直まき、覆土に係る労働																					直まき	直まき、覆土に係る労働
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け																					田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布																					追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき																					除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理																					管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策																					防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理																					刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理
乾燥	乾燥、もみすり（注）、もみ及び玄米運搬																					乾燥	乾燥、もみすり（注）、もみ及び玄米運搬
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）																					生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等																					間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

注：「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した作業時間を除いて記入してください。

3　食用米の田植、収穫期間

当年産の田植、収穫を開始した日と終了した日を記入してください。

区分	開始日		終了日	
田植	月	日	月	日
収穫	月	日	月	日

4　支払賃金

当年産の食用米生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	食用米負担割合（%）
	万 千 百 十	
男		
女		

・食用米生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

【13】飼料用米の作付状況、費用及び労働時間

当年産に飼料用米の作付けがある場合は、以下について記入してください。

1　飼料用米の作付面積及び生産量

当年産の作付面積と玄米、乾燥もみ及び生もみ別の生産量について記入してください。
また、乾燥もみ、生もみの生産量は玄米換算しない数量を記入してください。

区分	作付面積（a）	生産量 玄米（kg）	生産量 乾燥もみ（kg）	生産量 生もみ（kg）
	ha a	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十
飼料用米				
うち多収品種				

2　稲わら販売状況等

当年産の飼料用米生産で発生した稲わらの数量、自家用別に仕向けた数量または全体を100％とした場合の割合と販売金額を記入してください。
また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を計上してください。

区分		内容例示	数量の割合（%）	金額（円）
販売用		民芸品、なわ、飼料、敷料、たい肥等仕向けのもの（きゅう肥交換含む。）		万 千 百 十
自家用	生わら	コンバインの切断わら、野積み、野ざらし状態のもの		
	乾燥わら	収納された稲わらで、自家仕向けのもの（水田還元、敷料、たい肥等）		
	その他（焼却、放棄）	焼却、放棄		
計			100	

注：自家用については、記入の数量を基に市価評価により金額を計算します。

稲わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」の用途別に割合を記入してください。（用途別の合計が100となります。）

3　飼料用米と食用米の10ａ当たり費用及び労働時間の違いの有無

当年産の飼料用米と食用米生産にかかる10ａ当たりの費用及び労働時間に違いがない場合は「無」を○で囲んでください。その場合は以下の記入は不要です。

（無）　⇒　記入終了

4　食用米生産に対して飼料用米生産にかかる費用（10ａ当たり）

当年産の飼料用米生産にかかる10ａ当たりの費用について、食用米との違いの有無、違いが有る場合には食用米を100とした場合の「割合」、「違いが生じる主な要因」について記入してください。

費用の種類	食用米との違い 有	食用米との違い 無	割合（%）	違いが生じる主な要因
種苗費	(1)	(0)		
肥料費	(1)	(0)		
農業薬剤費	(1)	(0)		
光熱動力費	(1)	(0)		
その他の諸材料費	(1)	(0)		
土地改良及び水利費	(1)	(0)		
賃借料及び料金	(1)	(0)		
物件税及び公課諸負担	(1)	(0)		
建物費	(1)	(0)		
自動車費	(1)	(0)		
農機具費	(1)	(0)		
生産管理費	(1)	(0)		

5　食用米生産に対して飼料用米生産にかかる労働時間（10ａ当たり）

当年産の飼料用米生産にかかる10ａ当たりの労働時間について、食用米との違いの有無、違いがある場合には食用米を100とした場合の「割合」、「違いが生じる主な要因」について記入してください。

労働時間名	食用米との違い 有	食用米との違い 無	割合（%）	違いが生じる主な要因
種子予措	(1)	(0)		
育苗	(1)	(0)		
耕起整地	(1)	(0)		
基肥	(1)	(0)		
直まき	(1)	(0)		
田植	(1)	(0)		
追肥	(1)	(0)		
除草	(1)	(0)		
管理	(1)	(0)		
防除	(1)	(0)		
刈取脱穀	(1)	(0)		
乾燥	(1)	(0)		
生産管理	(1)	(0)		
間接労働	(1)	(0)		

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第５号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

別添3－5

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産　麦類生産費統計調査票（案）
［ 小麦・二条大麦・六条大麦・はだか麦 ］
（個別経営体用）

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

１．○年産の小麦・二条大麦・六条大麦・はだか麦のいずれかの生産費について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産の小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦のうち、対象品目の麦の生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦とは
食用だけでなく、種子用の麦も該当します。（青刈目的で栽培している麦は含みません。）
また、二条大麦についてはビール麦も含みます。

※２　この調査での対象品目の麦の生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（対象品目が小麦の場合の負担割合について）】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から小麦負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
小麦と水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、小麦「２ha」、水稲「８ha」の作付地に施肥した場合

例１　小麦に施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	対象品目負担割合（%）
肥料（購入）計	200	20000	100

← 対象品目負担割合には100%と記入

例２　小麦、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
小麦と水稲の作付面積割合「２：８」を目安に小麦負担割合を「２０%」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	対象品目負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	100000	20

← 対象品目負担割合には20%と記入

【対象品目が小麦の場合の負担割合設定方法】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合の小麦負担割合を設定する方法について説明します。

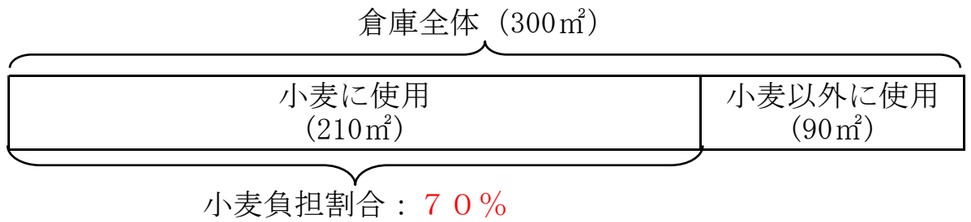
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、小麦生産のために使用した面積の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うち小麦生産のために210㎡、小麦以外の作物に90㎡を使用した場合の「小麦負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、小麦生産のために使用した時間の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うち小麦生産のために80時間、小麦以外の作物に120時間使用した場合の「小麦負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

調　査　事　項

ページ

【１】　経営の概況 …… 3
　経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、麦生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。

【２】　生産物の販売等の状況 …… 5
　麦の品質・用途別、麦わら及びくず麦の販売状況について記入してください。

【３】　対象品目の麦生産のために使用した資材等 …… 6
　種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。

【４】　物件税及び公課諸負担 …… 9
　固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。

【５】　土地改良及び水利費 …… 9
　土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。

【６】　借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9
　借入金残高、支払利子について記入してください。

【７】　建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10
　生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

【８】　自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11
　生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

【９】　農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12
　生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

【10】　農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13
　生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。

【11】　土地の面積及び地代 …… 14
　所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。

【12】　作業別労働時間 …… 15
　家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　　分	所有地（ａ）		借入地（ａ）	
	ha	a	ha	a
田				
普　通　畑				
樹　園　地				
牧　草　地				

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　　分	用　語　の　説　明	男（人）	女（人）
世　帯　員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家　族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満は除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上の者		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農　業　年　雇	農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安としてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を〇で囲んでください。

いる	いない

４　直近５か年の10ａ当たり収量

直近５か年における対象品目の麦の10ａ当たり収量を記入してください。

区　　分	１年前	２年前	３年前	４年前	５年前
10ａ当たり収量（kg）					

本調査の対象品目は、調査をお願いした、**小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦のいずれか**です。
対象品目以外の麦を含めないでください。
また、食用だけでなく、種子用の麦も含みます。（青刈り目的で栽培している麦は含みません。）

【１】経営の概況（続き）

５　対象品目の麦生産における作業委託の状況

耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。

乾燥・調製は、玄麦の数量を記入してください。

区　分	数　量	単位
耕うん・整地	ha a .	a
は種	.	a
防除	.	a
刈取・脱穀	.	a
乾燥・調製	万 千 百 十 . 0	kg

６　対象品目の麦の品種別作付面積

当年産に作付けした対象品目の麦の品種名及びその作付面積を記入してください。

区　分	品種名	面積（ａ）
品種１		ha a .
品種２		.
品種３		.
品種４		.
品種５		.

注：　面積の合計が当年産の対象品目の麦の作付面積です。

７　制度受取金等の状況

当年産の対象品目の麦に係る制度受取金等について記入してください。

区分	掛　金（円）	受　取　金（円）
農業共済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。

当年産の対象品目の麦栽培の特徴

１　作柄概況

２　被害の状況や品質

３　栽培状況の変化

(1)　新たな品種の導入

(2)　新たな設備・機械の導入

(3)　その他（新たな栽培技術の導入）

通　信　欄

【２】生産物の販売等の状況

１　対象品目の麦（二条大麦のうち<u>ビール麦を除く。</u>）の品質・用途別の販売状況等（玄麦換算）

当年産の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。
なお、１等、２等、規格外Ａ及びＢについて、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分		内容例示	数量（kg）	金額（円）
販売用（予定を含む。（ビール麦を除く。））	１等（計）	農産物検査において「１等」と判定されたもの	万 千 百 十	万 千 百 十
	２等（計）	農産物検査において「２等」と判定されたもの		
	規格外Ａ（計）	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Ａランクのもの		
	規格外Ｂ（計）	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Ｂランクのもの		
	規格外Ｃ	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Ｃランクのもの		
	その他	種子用のほか、１・２等や規格外と同等の品質を有するもの		
自家用（ビール麦を除く。）	食用	食用に仕向けた（予定を含む。）１・２等、規格外Ａのもの		
	種子用	種子用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	規格外Ｂ	自家用に仕向けた（予定を含む。）規格外のうちＢランクのもの		
	規格外Ｃ	自家用に仕向けた（予定を含む。）規格外のうちＣランクのもの		
	その他	食用、種子用、規格外Ｂ・Ｃ以外に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

※　対象品目が二条大麦の場合、「２　ビール麦の販売内訳」についても記入してください。

２　ビール麦の販売内訳（玄麦換算）

ビール麦の販売がある場合、その販売状況等について黄色の欄に記入してください。
なお、１等、２等及び等外上について、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分		内容例示	数量（kg）	金額（円）
販売用（予定を含む。）	１等（計）	農産物検査において「１等」と判定されたもの	万 千 百 十	万 千 百 十
	２等（計）	農産物検査において「２等」と判定されたもの		
	等外上（計）	農産物検査において「等外上」と判定されたもの		
自家用	食用	食用に仕向けた（予定を含む。）		
	種子用	種子用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	その他	食用、種子用以外に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

麦わら、くず麦の販売状況等については、６ページへ記入してください。

【２】生産物の販売等の状況（続き）

３　麦わら、くず麦の販売状況等

当年産の対象品目の麦生産で発生した麦わら及びくず麦の状況について記入してください。
なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等出荷経費を除いた金額を記入してください。

(1)　麦わら

「数量の割合」欄には、全体の数量を100％とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

区　　分	内　容　例　示	数量の割合（%）	金 額 （ 円 ）
販　売　用	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等		万 千 百 十
自　家　用	販売していない麦わら全般		
うち無評価分	刈取機の切断わらや野積み等のわら		
計		１００	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

麦わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」の用途別に割合を記入してください。（用途別の合計が100となります。）

(2)　くず麦

用途別に数量の割合を記入してください。

区　分	数量の割合（%）	販売用	自家用	その他（廃棄等）
くず麦	１００			

くず麦の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」、「その他（廃棄等）」の各割合を記入してください。
（販売用、自家用、その他（廃棄等）の合計が100となります。）

区　分	販売金額（円）
くず麦	万 千 百 十

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【３】対象品目の麦生産のために使用した資材等

１　種苗費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　種子（購入）

品　種　名	数　量	単位	金 額 （ 円 ）
計		－	万 千 百 十

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

(2)　種子（自給）

品　種　名	数　量	単位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【３】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

２　肥料費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　購入

資材名等	数量	単位	金額（円）	対象品目負担割合（%）	備考欄
計		―	万 千 百 十		
窒素質					
りん酸質					
カリ質					
けい酸質					※融雪剤として使用した分は「５　諸材料費」に記入してください。
炭酸カルシウム（石灰含む。）					
複合肥料					
土壌改良資材					微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥					
その他		―			

・対象品目の麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

２　肥料費（続き）

(2)　自給（自家生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	対象品目負担割合（%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注１：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
　２：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

３　農業薬剤費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）	対象品目負担割合（%）	備考欄
計	万 千 百 十		
殺虫剤			
殺菌剤			
殺虫殺菌剤			
除草剤			植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など
その他			

注１：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「６　賃借料及び料金」に記入してください。
　２：除草剤等農薬入りの肥料は「２　肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」。）」に記入してください。

【３】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

４　光熱動力費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）（万 千 百 十）	対象品目負担割合（%）
購入（計）			―		
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電力料			―		
その他（水道料、木炭などの燃料）			―		
自給					

・対象品目の麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

５　諸材料費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額（円）（万 千 百 十）	対象品目負担割合（%）
購入（計）		―		
自給				

・対象品目の麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

・対象品目の麦のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

６　賃借料及び料金

当年産の対象品目の麦生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）（万 千 百 十）	対象品目負担割合（%）
計			―		
負担金共同	薬剤散布		―		
	共同施設		―		
農機具借料			―		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
乾燥調製料			kg		
その他			―		

注１：　共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
　２：　乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担した対象品目の麦生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	対象品目負担割合（%）
計	万 千 百 十	
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

・対象品目の麦のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものは除いて記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担した対象品目の麦生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	対象品目負担割合（%）
計	万 千 百 十	
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（麦作部会等の各種部会費）		
農業共済組合賦課金		

・対象品目の麦のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、対象品目の麦の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【５】土地改良及び水利費

当年産の対象品目の麦生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

１　土地改良区費

事業種類	対象品目作付ほ場負担金額（円）		対象品目負担割合（%）
	維持負担金	償還金	
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

・対象品目の麦のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、対象品目の麦の収入が占める割合を目安に記入してください。

２　水利費等

費用名	対象品目作付ほ場負担金額（円）	対象品目負担割合（%）
水利に係る費用計	万 千 百 十	

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

当年産の対象品目の麦生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・対象品目の麦のみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	対象品目負担割合（%）
計	万 千 百 十	万 千 百 十	
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

対象品目の麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「対象品目負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新築区分 新築	新築区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	対象品目負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1							年	月	億 万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード

建	**築**		**物**
1	住　宅	8	車　庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構	**築**		**物**
14	稲　架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客　土	31	その他の構築物

構造コード

建築物
（１住宅）～（13その他の建築物）

1	木　造	6	木造モルタル	9	鉄骨造 骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金　属	10	鉄骨造 骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	鉄骨造 骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				

構築物
（14稲架）～（31その他の構築物）

1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金　属	5	合成樹脂
		3	木　造	6	塩化ビニール
		4	土　管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売　却

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

対象品目の麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「対象品目負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	対象品目負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
（１　貨物自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
（２　その他の自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

対象品目の麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「対象品目負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	区分 新品	区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険（円）	対象品目負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1				○	○		年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2				○	○													
3				○	○													
4				○	○													
5				○	○													
6				○	○													
7				○	○													
8				○	○													
9				○	○													
10				○	○													
11				○	○													
12				○	○													
13				○	○													
14				○	○													
15				○	○													

種類コード

3	歩行用トラクター	20	自脱型コンバイン
4	乗用トラクター	21	普通型コンバイン
8	たい肥等散布機	29	脱穀機
9	肥料散布機	31	乾燥機
10	総合は種機	54	トレーラー
16	中耕除草機	56	その他の農機具
17	動力噴霧機	57	パソコン
18	動力散粉機	58	その他の生産管理機器
33	ドローン		

型式コード

（4　乗用トラクター）

1	２０馬力未満
2	２０～５０馬力未満
3	５０～８０馬力未満
4	８０～１００馬力未満
5	１００馬力以上

（20　自脱型コンバイン）

1	３条刈以下
2	４～５条刈
3	６条刈以上

（56　その他の農機具）

1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年

上記以外の農機具

6	その他

異動コード

1	売　却
2	廃棄等

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産の対象品目の麦生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

	名　称　等	金　額　（円）	対象品目負担割合（%）	内　容　例　示
農具・農業被服等の購入費	（計）	万 千 百 十		【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	名　称　等	金　額　（円）	対象品目負担割合（%）	内　容　例　示
生産管理関係の費用	（計）	万 千 百 十		【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】土地の面積及び地代

当年産の対象品目の麦の収穫が終わる前の１年間に、
・対象品目の麦のみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、対象品目の麦とそれ以外の作物との過去１年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】Ａ団地（ほ場）に米と小麦を作付けており、過去１年間における作物別の収入が米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
小麦400万円÷（米400万円＋小麦400万円）×100＝50（%）

１　所有地

(1)　作付地

当年産の対象品目の麦生産のために作付けした所有地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに〇を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	対象品目負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .			
2		.	.			
3		.	.			
4		.	.			
5		.	.			
6		.	.			
7		.	.			
8		.	.			
9		.	.			
10		.	.			

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産の対象品目の麦の収穫が終わる前の１年間に、
・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産の対象品目の麦生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	対象品目負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	
2		.	.	
3		.	.	

２　借入地

(1)　作付地

当年産の対象品目の麦生産のために作付けした借入地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに〇を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	支払地代（円）	対象品目負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十			
2		.	.				
3		.	.				
4		.	.				
5		.	.				
6		.	.				
7		.	.				
8		.	.				
9		.	.				
10		.	.				

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産の対象品目の麦生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	支払賃借料（円）	対象品目負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十	
2		.	.		
3		.	.		

【12】作業別労働時間

当年産の対象品目の麦生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1　家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）
				時間			時間			時間			時間			時間			時間
種子予措	選種、浸種、種子消毒、催芽																		
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき小麦以外）																		
基肥	基肥の配合、運搬、施肥																		
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土																		
追肥	追肥の配合、運搬、施肥																		
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布																		
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）																		
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき小麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り																		
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策																		
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理																		
乾燥	乾燥、調製																		
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）																		
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等																		

2　雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
時間	時間		
		種子予措	選種、浸種、種子消毒、催芽
		耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき小麦以外）
		基肥	基肥の配合、運搬、施肥
		は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土
		追肥	追肥の配合、運搬、施肥
		中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
		麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）
		管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき小麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り
		防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
		刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理
		乾燥	乾燥、調製
＼	＼	生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
		間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

3　支払賃金

当年産の対象品目の麦生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）（万 千 百 十）	対象品目負担割合（%）
男		
女		

・対象品目の麦生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第６号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

別添3－6

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産　そば生産費統計調査票（案）

（個別経営体用）

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

１．○年産のそば生産費について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「そば（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産のそばの生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　そばとは
　　食用だけでなく、種子用のそばも該当します。

※２　この調査でのそばの生産とは
　　自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（そば負担割合について）】

そばを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からそば負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
そばと水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、そば「２ha」、水稲「８ha」の作付地に施肥した場合

例１　そばに施肥した数量、金額を記入する方法

区　　分	数　量（kg）	金　　額　（円）	そば負担割合（%）
肥料（購入）計	200	20000	100

そば負担割合には100%と記入

例２　そば、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
そばと水稲の作付面積割合「２：８」を目安にそば負担割合を「２０%」と記入してください。

区　　分	数　量（kg）	金　　額　（円）	そば負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	100000	20

そば負担割合には20%と記入

【そば負担割合の設定方法】

そばを含めた複数の作物を作付けしている場合のそば負担割合を設定する方法について説明します。

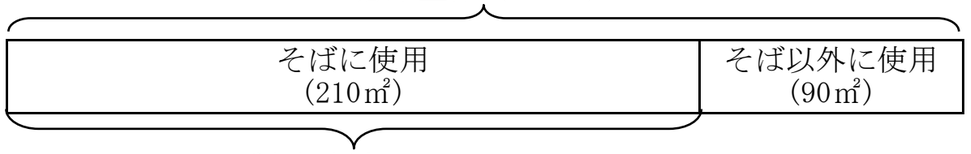
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、そば生産のために使用した面積の割合を「そば負担割合」とします。

$$\text{そば負担割合} = \frac{\text{そばに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うちそば生産のために210㎡、そば以外の作物に90㎡を使用した場合の「そば負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、そば生産のために使用した時間の割合を「そば負担割合」とします。

$$\text{そば負担割合} = \frac{\text{そばに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うちそば生産のために80時間、そば以外の作物に120時間使用した場合の「そば負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

調　査　事　項

ページ

【１】　経営の概況 …… 3
　経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、そば生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。

【２】　生産物の販売等の状況 …… 4
　そばの品質・用途別、くずそば等の販売状況について記入してください。

【３】　そばの生産のために使用した資材等 …… 5
　種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。

【４】　物件税及び公課諸負担 …… 8
　固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。

【５】　土地改良及び水利費 …… 8
　土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。

【６】　借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 8
　借入金残高、支払利子について記入してください。

【７】　建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 9
　生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

【８】　自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 10
　生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

【９】　農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 11
　生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

【10】　農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 12
　生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。

【11】　土地の面積及び地代 …… 13
　所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。

【12】　作業別労働時間 …… 14
　家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　　分	所有地（ａ）		借入地（ａ）	
	ha	a	ha	a
田				
普　通　畑				
樹　園　地				
牧　草　地				

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　　分	用　　語　　の　　説　　明	男（人）	女（人）
世　帯　員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家　族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満は除く。）		
農　業　就　業　者	年間の農業労働日数が60日以上の者		
150 日 以 上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農　業　年　雇	農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安としてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を〇で囲んでください。

いる	いない

４　直近５か年の10ａ当たり収量

直近５か年におけるそばの10ａ当たり収量を記入してください。

区　　分	１年前	２年前	３年前	４年前	５年前
10ａ当たり収量（kg）					

本調査の対象作物は、食用だけでなく、種子用も含めたそばです。

【１】経営の概況（続き）

５　そば生産における作業委託の状況

耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。

乾燥・調製は、玄そばの数量を記入してください。

区　分	数　量	単位
耕うん・整地	ha a .	a
は種	.	a
防除	.	a
刈取・脱穀	.	a
乾燥・調製	万 千 百 十 .	kg

６　そばの品種別作付面積

当年産に作付けしたそばの品種名及びその作付面積を記入してください。

区　分	品種名	面積（ａ）
品種１		ha a .
品種２		.
品種３		.
品種４		.
品種５		.

注：　面積の合計が当年産のそば作付面積です。

７　制度受取金等の状況

当年産のそばに係る制度受取金等について記入してください。

区　分	掛金（円）	受取金（円）
農業共済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。

【２】生産物の販売等の状況

１　そばの品質・用途別の販売状況等（玄そば換算）

当年産の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

また、１等、２等及び規格外について、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区　分		内容例示	数量（kg）	金額（円）
販売用（予定を含む。）	１等（計）	農産物検査において「１等」と判定されたもの	万 千 百 十	万 千 百 十
	２等（計）	農産物検査において「２等」と判定されたもの		
	規格外（計）	農産物検査において「規格外」と判定されたもの		
	その他	農産物検査を受検しないもののうち、主産物と同等の品質を有するもの		
自家用	食用	食用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	種子用	種子用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	その他	食用、種子用以外に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

２　くずそば等の状況

当年産のそば生産で発生したくずそば等について、記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区　分	内容例示	数量（kg）	金額（円）
販売用	販売した（予定を含む。）もの	万 千 百 十	万 千 百 十
自家用	自家用に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

当年産のそば栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)　新たな品種の導入

(2)　新たな設備・機械の導入

(3)　その他（新たな栽培技術の導入）

通　信　欄

【３】そばの生産のために使用した資材等

1　種苗費

当年産のそば生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が 「計」となるよう記入してください。

(1)　種子（購入）

品　種　名	数　量	単位	金　額　（　円　）
計		―	万 千 百 十

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

(2)　種子（自給）

品　種　名	数　量	単位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【３】そばの生産のために使用した資材等（続き）

２　肥料費

当年産のそば生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　購入

資材名等		数量	単位	金額（円）	そば負担割合（%）	備考欄
計		＼	―	万 千 百 十		
窒素質						
りん酸質						
カリ質						
けい酸質						
炭酸カルシウム（石灰含む。）						※融雪剤として使用した分は「５　諸材料費」に記入してください。
複合肥料						
土壌改良資材						微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥						
その他		＼	―			

・そばのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・そば以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

２　肥料費（続き）

(2)　自給（自家生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	そば負担割合（%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注１：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
　２：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

３　農業薬剤費

当年産のそば生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		金額（円）	そば負担割合（%）	備考欄
計		万 千 百 十		
殺虫剤				
殺菌剤				
殺虫殺菌剤				
除草剤				
その他				植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

注１：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「６　賃借料及び料金」に記入してください。
　２：除草剤等農薬入りの肥料は「２　肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」。）」に記入してください。

【３】そばの生産のために使用した資材等（続き）

４　光熱動力費

当年産のそば生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	そば負担割合（%）
購入（計）			―		
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電力料			―		
その他（水道料、木炭などの燃料）			―		
自給					

・そばのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・そば以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

５　諸材料費

当年産のそば生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額（円）	そば負担割合（%）
購入（計）		―		
自給				

・そばのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・そば以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

・そばのみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
・そば以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

６　賃借料及び料金

当年産のそば生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）	そば負担割合（%）
計			―		
共同負担金	薬剤散布		―		
	共同施設		―		
農機具借料			―		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
乾燥調製料			kg		
その他			―		

注１：　共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
　２：　乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担したそば生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	そば負担割合（%）
	万 千 百 十	
計		
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

・そばのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・そば以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担したそば生産に関係する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	そば負担割合（%）
	万 千 百 十	
計		
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（そば生産部会等の会費）		
農業共済組合賦課金		

・そばのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・そば以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、そばの収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【５】土地改良及び水利費

当年産のそば生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

１　土地改良区費

事業種類名	そば作付ほ場負担金額（円）		そば負担割合（%）
	維持負担金	償還金	
	万 千 百 十	万 千 百 十	
ほ場整備事業			
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

２　水利費等

費　用　名	そば作付ほ場負担金額（円）	そば負担割合（%）
	万 千 百 十	
水利に係る費用計		

・そばのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・そば以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、そばの収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

当年産のそば生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・そばのみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・そば以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	そば負担割合（%）
	万 千 百 十	万 千 百 十	
計			
借入金			
借入金			
借入金			
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

そば生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「そば負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

・そばのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・そば以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	そば負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1							年	月	億 万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード

建築物			
1	住　宅	8	車　庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客　土	31	その他の構築物
18	作業道		

構造コード

建築物
（１住宅）～（13その他の建築物）

1	木　造	6	木造モルタル	9	鉄骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金　属	10	骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	造　骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				

構築物
（15　コンクリートけい畔）～（31　その他の構築物）

1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金　属	5	合成樹脂
		3	木　造	6	塩化ビニール
		4	土　管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売　却

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

そば生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「そば負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

・そばのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・そば以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	そば負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1				◌	◌		年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2				◌	◌												
3				◌	◌												
4				◌	◌												
5				◌	◌												
6				◌	◌												
7				◌	◌												
8				◌	◌												
9				◌	◌												
10				◌	◌												
11				◌	◌												
12				◌	◌												
13				◌	◌												
14				◌	◌												
15				◌	◌												

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
（１　貨物自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
（２　その他の自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、12ページに記入してください。

そば生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「そば負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

・そばのみに使用した場合は、100(%)としてください。
・そば以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。自賠責保険（円）	そば負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1				○	○		年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2				○	○													
3				○	○													
4				○	○													
5				○	○													
6				○	○													
7				○	○													
8				○	○													
9				○	○													
10				○	○													
11				○	○													
12				○	○													
13				○	○													
14				○	○													
15				○	○													

種類コード			
3	歩行用トラクター	21	普通型コンバイン
4	乗用トラクター	22	そば収穫機
8	たい肥等散布機	29	脱穀機
9	肥料散布機	31	乾燥機
10	総合は種機	54	トレーラー
16	中耕除草機	56	その他の農機具
17	動力噴霧機	57	パソコン
18	動力散粉機	58	その他の生産管理機器
20	自脱型コンバイン		
33	ドローン		

型式コード			
（4　乗用トラクター）		（56　その他の農機具）	
1	２０馬力未満	1	その他・耐用年数３年
2	２０～５０馬力未満	2	その他・耐用年数４年
3	５０～８０馬力未満	3	その他・耐用年数５年
4	８０～１００馬力未満	4	その他・耐用年数６年
5	１００馬力以上	5	その他・耐用年数７年
（20　自脱型コンバイン）		上記以外の農機具	
1	３条刈以下	6	その他
2	４～５条刈		
3	６条刈以上		

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産のそば生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・そばのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・そば以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

	名　称　等	金　額　（円）	そば負担割合（%）	内　容　例　示
	（計）	万 千 百 十		【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費
農具・農業被服等の購入費				

	名　称　等	金　額　（円）	そば負担割合（%）	内　容　例　示
	（計）	万 千 百 十		【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料
生産管理関係の費用				

【11】土地の面積及び地代

当年産のそばの収穫が終わる前の１年間に、
・そばのみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
・そば以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、そばとそれ以外の作物との過去１年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】Ａ団地（ほ場）にそばと米を作付けており、過去１年間における作物別の収入がそば400万円、米400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
そば400万円÷（米400万円＋そば400万円）×100＝50（%）

1　所有地

(1)　作付地

当年産のそば生産のために作付けした所有地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに〇を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	そば負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .			
2		.	.			
3		.	.			
4		.	.			
5		.	.			
6		.	.			
7		.	.			
8		.	.			
9		.	.			
10		.	.			

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産のそばの収穫が終わる前の１年間に、
・そばのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・そば以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産のそば生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	そば負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	
2		.	.	
3		.	.	

2　借入地

(1)　作付地

当年産のそば生産のために作付けした借入地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに〇を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	支払地代（円） 万 千 百 十	そば負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .				
2		.	.				
3		.	.				
4		.	.				
5		.	.				
6		.	.				
7		.	.				
8		.	.				
9		.	.				
10		.	.				

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産のそば生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	支払賃借料（円） 万 千 百 十	そば負担割合（%）
1		ha a .	ha a .		
2		.	.		
3		.	.		

【12】作業別労働時間

当年産のそば生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1　家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2　雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名	性別（男・女）	年齢（歳）	氏名	性別（男・女）	年齢（歳）	氏名	性別（男・女）	年齢（歳）	氏名	性別（男・女）	年齢（歳）	氏名	性別（男・女）	年齢（歳）	雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
				時間			時間			時間			時間			時間	時間	時間			
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布																		耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布
基肥	基肥の配合、運搬、施肥																		基肥	基肥の配合、運搬、施肥
は種	種まき、覆土																		は種	種まき、覆土
追肥	追肥の配合、運搬、施肥																		追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布																		中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り																		管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策																		防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀																		刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀
乾燥	乾燥、調製																		乾燥	乾燥、調製
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）																		生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等																		間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

3　支払賃金

当年産のそば生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円） 万 千 百 十	そば負担割合（%）
男		
女		

・そば生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、
　100（%）としてください。
・そば生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合に

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第７号

秘
農林水産省

別添3－7

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

○年産　大豆生産費統計調査票（案）

（個別経営体用）

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

１．○年産の大豆生産費について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「大豆（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産の大豆の生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　大豆とは
　普通大豆、特定加工用大豆及び種子大豆（黒大豆は除きます。）が該当します。

※２　この調査での大豆の生産とは
　自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（大豆負担割合について）】

大豆を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から大豆負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
大豆と水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、大豆「２ha」、水稲「８ha」の作付地に施肥した場合

例１　大豆に施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	大豆負担割合（%）
肥料（購入）計	200	20000	100

大豆負担割合には100%と記入

例２　大豆、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
　大豆と水稲の作付面積割合「２：８」を目安に大豆負担割合を「２０%」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	大豆負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	10000	20

大豆負担割合には20%と記入

【大豆負担割合の設定方法】

大豆を含めた複数の作物を作付けしている場合の大豆負担割合を設定する方法について説明します。

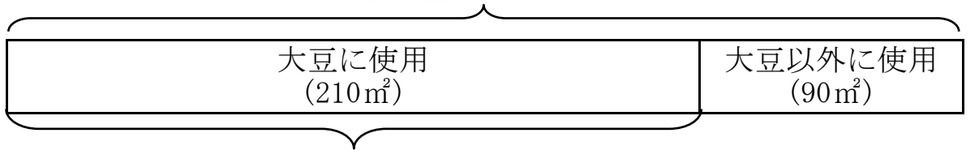
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、大豆生産のために使用した面積の割合を「大豆負担割合」とします。

$$\text{大豆負担割合} = \frac{\text{大豆に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うち大豆生産のために210㎡、大豆以外の作物に90㎡を使用した場合の「大豆負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



大豆負担割合：７０％

（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、大豆生産のために使用した時間の割合を「大豆負担割合」とします。

$$\text{大豆負担割合} = \frac{\text{大豆に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うち大豆生産のために80時間、大豆以外の作物に120時間使用した場合の「大豆負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

調　査　事　項

ページ

【１】　**経営の概況** …… 3
　経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、大豆生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。

【２】　**生産物の販売等の状況** …… 5
　大豆の品質・用途別、くず大豆等の販売状況について記入してください。

【３】　**大豆の生産のために使用した資材等** …… 6
　種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。

【４】　**物件税及び公課諸負担** …… 9
　固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。

【５】　**土地改良及び水利費** …… 9
　土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。

【６】　**借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子** …… 9
　借入金残高、支払利子について記入してください。

【７】　**建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況** …… 10
　生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

【８】　**自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況** …… 11
　生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

【９】　**農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況** …… 12
　生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

【10】　**農具の購入費・生産管理関係の費用等** …… 13
　生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。

【11】　**土地の面積及び地代** …… 14
　所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。

【12】　**作業別労働時間** …… 15
　家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　　分	所有地（ａ）		借入地（ａ）	
	ha	a	ha	a
田				
普　通　畑				
樹　園　地				
牧　草　地				

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　　分	用　語　の　説　明	男（人）	女（人）
世　帯　員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家　族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上の者		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農　業　年　雇	農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安としてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

いる	いない

４　直近５か年の10ａ当たり収量

直近５か年における大豆の10ａ当たり収量を記入してください。

区　　分	１年前	２年前	３年前	４年前	５年前
10ａ当たり収量（kg）					

本調査の対象作物は、普通大豆、特定加工用大豆、種子大豆です。
黒大豆は含めないでください。

【１】経営の概況（続き）

５　大豆生産における作業委託の状況

耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。

乾燥・調製は、乾燥子実の数量を記入してください。

区　分	数　量	単位
耕うん・整地	ha a .	a
は種	.	a
防除	.	a
刈取・脱穀	.	a
乾燥・調製	万 千 百 十 . 0	kg

６　大豆の品種別作付面積

当年産に作付けした大豆の品種名及びその作付面積を記入してください。

区　分	品種名	面積（ａ）
品種１		ha a .
品種２		.
品種３		.
品種４		.
品種５		.

注：　面積の合計が当年産の大豆作付面積です。

７　制度受取金等の状況

当年産の大豆に係る制度受取金等について記入してください。

区　分	掛金（円）	受取金（円）
	万 千 百 十	万 千 百 十
農業共済		

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。

当年産の大豆栽培の特徴

１　作柄概況

２　被害の状況や品質

３　栽培状況の変化

（1）　新たな品種の導入

（2）　新たな設備・機械の導入

（3）　その他（新たな栽培技術の導入）

通　信　欄

【２】生産物の販売等の状況

１　大豆の品質・用途別の販売状況等

当年産の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

また、１等、２等、３等・規格外及び特定加工用について、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分			内容例示	数量（kg）	金額（円）
販売用（予定を含む。）	普通大豆	１等（計）	農産物検査において「１等」と判定されたもの	万 千 百 十	万 千 百 十
		２等（計）	農産物検査において「２等」と判定されたもの		
		３等・規格外（計）	農産物検査において「３等」又は「規格外」と判定されたもの		
	特定加工用（計）		特定加工用大豆として農産物検査において「合格」又は「規格外」と判定されたもの（豆腐・油揚げ・しょう油・きな粉等、大豆の原形をとどめない用途に使用する大豆。）		
	その他		種子用のほか、普通大豆や特定加工用と同等の品質を有するもの		
自家用	食用		食用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	種子用		種子用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	その他		食用、種子用以外に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

２　くず大豆等の状況

当年産の大豆生産で発生したくず大豆等（農産物検査で等級がつかなかったくず大豆等。）の状況について、記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分	内容例示	数量（kg）	金額（円）
販売用	販売した（予定を含む。）もの	万 千 百 十	万 千 百 十
自家用	自家用に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

自　由　記　入　欄

【３】大豆の生産のために使用した資材等

１　種苗費

当年産の大豆生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　種子（購入）

品　種　名　等	数　量	単位	金　額　（　円　）
計		―	万 千 百 十

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

(2)　種子（自給）

品　種　名　等	数　量	単位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【３】大豆の生産のために使用した資材等（続き）

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

２　肥料費

当年産の大豆生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　購入

資材名等		数量	単位	金額（円） 万 千 百 十	大豆負担割合（%）	備考欄
計			―			
窒素質						
りん酸質						
カリ質						
けい酸質						
炭酸カルシウム（石灰含む。）						※融雪剤として使用した分は「５　諸材料費」に記入してください。
複合肥料						
土壌改良資材						微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥						
その他			―			

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

２　肥料費（続き）

(2)　自給（自家生産した肥料）

資材名等	数量（kg） 万 千 百 十	大豆負担割合（%）
たい肥		
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注１：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
　２：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

３　農業薬剤費

当年産の大豆生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		金額（円） 万 千 百 十	大豆負担割合（%）	備考欄
計				
殺虫剤				
殺菌剤				
殺虫殺菌剤				
除草剤				植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など
その他				

注１：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「６　賃借料及び料金」に記入してください。
　２：除草剤等農薬入りの肥料は「２　肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」。）」に記入してください。

【３】大豆の生産のために使用した資材等（続き）

４　光熱動力費

当年産の大豆生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）（万 千 百 十）	大豆負担割合（%）
購入（計）			―		
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電力料			―		
その他（水道料、木炭などの燃料）			―		
自給					

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

５　諸材料費

当年産の大豆生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額（円）（万 千 百 十）	大豆負担割合（%）
購入（計）		―		
自給				

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

・大豆のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

６　賃借料及び料金

当年産の大豆生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）（万 千 百 十）	大豆負担割合（%）
計			―		
共同負担金	薬剤散布		―		
	共同施設		―		
農機具借料			―		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
乾燥調製料			kg		
その他			―		

注１：　共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
　２：　乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担した大豆生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	大豆負担割合（%）
	万 千 百 十	
計		
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

・大豆のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：　固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るもの除いて記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担した大豆生産に関係する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	大豆負担割合（%）
	万 千 百 十	
計		
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（大豆作部会等の各種部会費）		
農業共済組合賦課金		

・大豆のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入するください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、大豆の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【５】土地改良及び水利費

当年産の大豆生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。
内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

１　土地改良区費

事　業　種　類	大豆作付ほ場負担金額（円）		大豆負担割合（%）
	維持負担金	償還金	
	万 千 百 十	万 千 百 十	
ほ場整備事業			
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

２　水利費等

費　用　名　等	大豆作付ほ場負担金額（円）	大豆負担割合（%）
	万 千 百 十	
水利に係る費用計		

・大豆のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、大豆の収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

当年産の大豆生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・大豆のみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資　金　名　（　用　途　）	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	大豆負担割合（%）
	万 千 百 十	万 千 百 十	
計			
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金は除いて記入してください。

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

大豆生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「大豆負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新築	中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	大豆負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1							年	月	億 万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード

建	**築**		**物**
1	住　宅	8	車　庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構	**築**		**物**
14	稲　架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客　土	31	その他の構築物

構造コード

建築物
（１住宅）～（13その他の建築物）

1	木　造	6	木造モルタル	9	鉄骨造　骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金　属	10	鉄骨造　骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	鉄骨造　骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				

構築物
（14稲架）～（31その他の構築物）

1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金　属	5	合成樹脂
		3	木　造	6	塩化ビニール
		4	土　管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売　却

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

大豆生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「大豆負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	大豆負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1				○	○		年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2				○	○												
3				○	○												
4				○	○												
5				○	○												
6				○	○												
7				○	○												
8				○	○												
9				○	○												
10				○	○												
11				○	○												
12				○	○												
13				○	○												
14				○	○												
15				○	○												

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
（１　貨物自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
（２　その他の自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

大豆生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「大豆負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険（円）	大豆負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1				○	○		年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2				○	○													
3				○	○													
4				○	○													
5				○	○													
6				○	○													
7				○	○													
8				○	○													
9				○	○													
10				○	○													
11				○	○													
12				○	○													
13				○	○													
14				○	○													
15				○	○													

種類コード

3	歩行用トラクター	21	普通型コンバイン
4	乗用トラクター	23	大豆収穫機
8	たい肥等散布機	29	脱穀機
9	肥料散布機	31	乾燥機
10	総合は種機	54	トレーラー
16	中耕除草機	56	その他の農機具
17	動力噴霧機	57	パソコン
18	動力散粉機	58	その他の生産管理機器
20	自脱型コンバイン		
33	ドローン		

型式コード

（4　乗用トラクター）

1	２０馬力未満
2	２０～５０馬力未満
3	５０～８０馬力未満
4	８０～１００馬力未満
5	１００馬力以上

（20　自脱型コンバイン）

1	３条刈以下
2	４～５条刈
3	６条刈以上

（56　その他の農機具）

1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年

上記以外の農機具

6	その他

異動コード

1	売　却
2	廃棄等

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産の大豆生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

	名　称　等	金　額　（　円　）	大豆負担割合（%）	内　容　例　示
農具・農業被服等の購入費	（計）	万 千 百 十		【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	名　称　等	金　額　（　円　）	大豆負担割合（%）	内　容　例　示
生産管理関係の費用	（計）	万 千 百 十		【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】土地の面積及び地代

当年産の大豆の収穫が終わる前の１年間に、
・大豆のみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
・大豆以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、大豆とそれ以外の作物との過去１年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】Ａ団地（ほ場）に小麦と大豆を作付けており、過去１年間における作物別の収入が小麦300万円、大豆200万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
大豆200万円÷（小麦300万円＋大豆200万円）×100＝40（%）

１　所有地

(1)　作付地

当年産の大豆生産のために作付けした所有地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	大豆負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .		○	○
2		.	.		○	○
3		.	.		○	○
4		.	.		○	○
5		.	.		○	○
6		.	.		○	○
7		.	.		○	○
8		.	.		○	○
9		.	.		○	○
10		.	.		○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産の大豆の収穫が終わる前の１年間に、
・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産の大豆生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	大豆負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	
2		.	.	
3		.	.	

２　借入地

(1)　作付地

当年産の大豆生産のために作付けした借入地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	支払地代（円）	大豆負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十		○	○
2		.	.			○	○
3		.	.			○	○
4		.	.			○	○
5		.	.			○	○
6		.	.			○	○
7		.	.			○	○
8		.	.			○	○
9		.	.			○	○
10		.	.			○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産の大豆生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	支払賃借料（円）	大豆負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十	
2		.	.		
3		.	.		

【12】作業別労働時間

当年産の大豆生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1　家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2　雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
				時間			時間			時間			時間			時間			時間		時間	時間		
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等																					育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布																					耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布
基肥	基肥の配合、運搬、施肥																					基肥	基肥の配合、運搬、施肥
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土																					は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植																					定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植
追肥	追肥の配合、運搬、施肥																					追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布																					中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り																					管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策																					防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
収穫	収穫、運搬、にお積みなど天日乾燥に係る作業																					収穫	収穫、運搬、にお積みなど天日乾燥に係る作業
乾燥	乾燥、調製																					乾燥	乾燥、調製
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）																					生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等																					間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

3　支払賃金

当年産の大豆生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円） 万 千 百 十	大豆負担割合（%）
男		
女		

・大豆生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第８号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

別添3－8

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産　原料用かんしょ生産費統計調査票（案）
（個別経営体用）

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

１．○年産のでん粉原料用かんしょ生産費について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「でん粉原料用かんしょ（※）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産のでん粉原料用かんしょの生産のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　でん粉原料用かんしょとは
でん粉原料用とする目的で栽培しているかんしょです。
生食用、焼酎用、飼料用、種子用とする目的で栽培しているかんしょや、規格外・余剰品でん粉原料用に利用したかんしょは含みません。

※２　この調査でのでん粉原料用かんしょの生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（でん粉原料用かんしょ負担割合について）】

でん粉原料用かんしょを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からでん粉原料用かんしょ負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
でん粉原料用かんしょと野菜を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、でん粉原料用かんしょ「２ha」、野菜「８ha」の作付地に施肥した場合

例１　でん粉原料用かんしょに施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	でん原負担割合（%）
肥料（購入）計	200	20000	100

でん粉原料用かんしょ負担割合には100%と記入

例２　でん粉原料用かんしょ、野菜に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
でん粉原料用かんしょと野菜の作付面積割合「２：８」を目安にでん粉原料用かんしょ負担割合を「２０%」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	でん原負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	100000	20

でん粉原料用かんしょ負担割合には20%と記入

【でん粉原料用かんしょ負担割合の設定方法】

でん粉原料用かんしょを含めた複数の作物を作付けしている場合のでん粉原料用かんしょ負担割合を設定する方法について説明します。

（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、でん粉原料用かんしょ生産のために使用した面積の割合を「でん粉原料用かんしょ負担割合」とします。

$$\text{でん粉原料用かんしょ負担割合} = \frac{\text{でん粉原料用かんしょに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うちでん粉原料用かんしょ生産のために210㎡、でん粉原料用かんしょ以外の作物に90㎡を使用した場合の「でん粉原料用かんしょ負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図

（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、でん粉原料用かんしょ生産のために使用した時間の割合を「でん粉原料用かんしょ負担割合」とします。

$$\text{でん粉原料用かんしょ負担割合} = \frac{\text{でん粉原料用かんしょに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うちでん粉原料用かんしょ生産のために80時間、でん粉原料用かんしょ以外の作物に120時間使用した場合の「でん粉原料用かんしょ負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

調　査　事　項

ページ

【１】　経営の概況 …… 3
　経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、でん粉原料用かんしょの作付品種等について記入してください。

【２】　生産物の販売等の状況 …… 4
　でん粉原料用かんしょの用途別の販売状況について記入してください。

【３】　でん粉原料用かんしょの生産のために使用した資材等 …… 5
　種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。

【４】　物件税及び公課諸負担 …… 8
　固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。

【５】　土地改良及び水利費 …… 8
　土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。

【６】　借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 8
　借入金残高、支払利子について記入してください。

【７】　建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 9
　生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

【８】　自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 10
　生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

【９】　農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 11
　生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

【10】　農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 12
　生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。

【11】　土地の面積及び地代 …… 13
　所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。

【12】　作業別労働時間 …… 14
　家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　　分	所有地（ａ）	借入地（ａ）
	ha　a	ha　a
田		
普　通　畑		
樹　園　地		
牧　草　地		

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　　分	用　語　の　説　明	男（人）	女（人）
世　帯　員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家　族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上の者		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農　業　年　雇	農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安としてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を〇で囲んでください。

いる	いない

４　直近５か年の10ａ当たり収量

直近５か年におけるでん粉原料用かんしょの10ａ当たり収量を記入してください。

区　　分	１年前	２年前	３年前	４年前	５年前
10ａ当たり収量（kg）					

本調査の対象作物は、でん粉原料用とする目的で栽培しているかんしょです。
生食用、焼酎用、種子用とする目的で栽培しているかんしょや、規格外・余剰品でん粉原料用に利用したかんしょは含めないでください。

【１】経営の概況（続き）

５　でん粉原料用かんしょの品種別作付面積

当年産に作付けしたでん粉原料用かんしょの品種名及びその作付面積を記入してください。

区　分	品　種　名	面　積（ａ）
品　種　1		ha　a
品　種　2		
品　種　3		
品　種　4		
品　種　5		

注：　面積の合計が当年産のでん粉原料用かんしょ作付面積です。

当年産のでん粉原料用かんしょ栽培の特徴

１　作柄概況

２　被害の状況や品質

３　栽培状況の変化

(1)　新たな品種の導入

(2)　新たな設備・機械の導入

(3)　その他（新たな栽培技術の導入）

【２】生産物の販売等の状況

１　でん粉原料用かんしょの用途別の販売状況等

当年産のでん粉原料用かんしょの販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

また、販売用（予定を含む。）について、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

なお、実際に販売したものは、販売金額（でん粉原料用の場合、「でん粉原料用いも生産者交付金」を含めた金額）から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区　分		内　容　例　示	数　量（kg）	金　額　（円）
販売用（予定を含む。）	計	でん粉原料用として出荷したかんしょ及びかんしょ生切り干し	万　千　百　十	万　千　百　十
自家用	食　用	食用に仕向けた(予定を含む。)もの		
	種　子　用	苗取り用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	その他	食用、苗取り用以外に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

２　くずいも等の状況

当年産のでん粉原料用かんしょ生産で発生したくずいも、芋づる等について、自家用に仕向けた（予定を含む。）ものの数量について記入してください。

区　分	内　容　例　示	数　量（kg）
自　家　用	自家用に仕向けた（予定を含む。）もの	万　千　百　十

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

自　由　記　入　欄

【３】でん粉原料用かんしょの生産のために使用した資材等

１　種苗費

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した種いも及び苗について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　種いも（購入）

品　種　名　等	数　量	単位	金　額　（　円　）
計		―	万　千　百　十

(2)　種いも（自給）

品　種　名　等	数　量	単位

使用した自給の種いもの品種名と数量を記入してください。

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

(3)　苗（購入）

品　種　名　等	数　量	単位	金　額　（　円　）
計		―	万　千　百　十

【３】でん粉原料用かんしょの生産のために使用した資材等（続き）

２　肥料費

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　購入

資材名等	数量	単位	金額（円）	でん原負担割合（%）	備考欄
計		―	万 千 百 十		
窒素質					
りん酸質					
カリ質					
けい酸質					
炭酸カルシウム（石灰含む。）					
複合肥料					
土壌改良資材					微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥					
その他		―			

・でん粉原料用かんしょのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

２　肥料費（続き）

(2)　自給（自家生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	でん原負担割合（%）
	万 千 百 十	
たい肥		
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注１：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
　２：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

３　農業薬剤費

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）	でん原負担割合（%）	備考欄
	万 千 百 十		
計			
殺虫剤			
殺菌剤			
殺虫殺菌剤			
除草剤			植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など
その他			

注１：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「６　賃借料及び料金」に記入してください。
　２：除草剤等農薬入りの肥料は「２　肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」。）」に記入してください。

【３】でん粉原料用かんしょの生産のために使用した資材等（続き）

４　光熱動力費

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）（万 千 百 十）	でん原負担割合（%）
購入（計）			―		
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電力料			―		
その他（水道料、木炭などの燃料）			―		
自給					

・でん粉原料用かんしょのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

５　諸材料費

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額（円）（万 千 百 十）	でん原負担割合（%）
購入（計）		―		
自給				

・でん粉原料用かんしょのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

諸材料には、ビニール・シート（償却資産に属する建物（育苗ハウス等）のビニール張り替え費用については、建物費の修繕費に記入。）、マルチ張り用のポリエチレン等が入ります。

・でん粉原料用かんしょのみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

６　賃借料及び料金

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）（万 千 百 十）	でん原負担割合（%）
計			―		
共同負担金	薬剤散布		―		
	共同施設		―		
農機具借料			―		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
貯蔵			kg		
その他			―		

注：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担したでん粉原料用かんしょ生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　） 万 千 百 十	でん原負担割合（%）
計		
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

・でん粉原料用かんしょのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものは除いて記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担したでん粉原料用かんしょ生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　） 万 千 百 十	でん原負担割合（%）
計		
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（各種部会費）		
農業共済組合賦課金		

・でん粉原料用かんしょのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、でん粉原料用かんしょの収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【５】土地改良及び水利費

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

１　土地改良区費

事業種類	でん粉原料用かんしょ作付ほ場負担金額（円） 維持負担金　万 千 百 十	 償還金　万 千 百 十	でん原負担割合（%）
ほ場整備事業			
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

２　水利費等

費用名等	でん粉原料用かんしょ作付ほ場負担金額（円） 万 千 百 十	でん原負担割合（%）
水利に係る費用計		

・でん粉原料用かんしょのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、でん粉原料用かんしょの収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

当年産の原料用かんしょ生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・でん粉原料用かんしょのみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円） 万 千 百 十	支払利子額（円） 万 千 百 十	でん原負担割合（%）
計			
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

でん粉原料用かんしょ生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「でん原負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
- 倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- 育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- 建物の電灯や電球の交換費用
- 防風網や支柱の修繕費用　など

- でん粉原料用かんしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
- でん粉原料用かんしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新築	中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	でん原負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1							年	月	億 万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード			
建築物			
1	住　宅	8	車　庫
2	事務所	12	育苗ハウス
3	納屋・倉庫	13	その他の建築物
4	作業場		
構築物			
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客　土	31	その他の構築物
18	作業道		

構造コード					
建築物					
（１住宅）～（13その他の建築物）					
1	木　造	6	木造モルタル	9	鉄骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金　属	10	骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	造　骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				
構築物					
（15　コンクリートけい畔）～（31　その他の構築物）					
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金　属	5	合成樹脂
		3	木　造	6	塩化ビニール
		4	土　管	7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売　却

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

でん粉原料用かんしょ生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「でん原負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
- 自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- バッテリー・補充液
- 洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

- でん粉原料用かんしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
- でん粉原料用かんしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	でん原負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
（１　貨物自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
（２　その他の自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、12ページに記入してください。

でん粉原料用かんしょ生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「でん原負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

・でん粉原料用かんしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。自賠責保険（円）	でん原負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード

3	歩行用トラクター	18	動力散粉機
4	乗用トラクター	24	かんしょ収穫機
8	たい肥等散布機	54	トレーラー
9	肥料散布機	56	その他の農機具
14	移植機	57	パソコン
16	中耕除草機	58	その他の生産管理機器
17	動力噴霧機		
33	ドローン		

型式コード

（4　乗用トラクター）

1	２０馬力未満
2	２０～５０馬力未満
3	５０～８０馬力未満
4	８０～１００馬力未満
5	１００馬力以上

（56　その他の農機具）

1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年

上記以外の農機具

6	その他

異動コード

1	売　却
2	廃棄等

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・でん粉原料用かんしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

	名　称　等	金　額　（　円　）	でん原負担割合（%）	内　容　例　示
農具・農業被服等の購入費	（計）	万 千 百 十		【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	名　称　等	金　額　（　円　）	でん原負担割合（%）	内　容　例　示
生産管理関係の費用	（計）	万 千 百 十		【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】土地の面積及び地代

当年産のでん粉原料用かんしょの収穫が終わる前の１年間に、
・でん粉原料用かんしょのみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、でん粉原料用かんしょとそれ以外の作物との過去１年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】Ａ団地（ほ場）にキャベツとでん粉原料用かんしょを作付けており、過去１年間における作物別の収入がキャベツ300万円、でん粉原料用かんしょ200万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
でん原かんしょ200万円÷（キャベツ300万円＋でん原かんしょ200万円）×100＝40（%）

１　所有地

(1)　作付地

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために作付けした所有地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（ａ）	作付実面積（ａ）	でん原負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .		○	○
2		.	.		○	○
3		.	.		○	○
4		.	.		○	○
5		.	.		○	○
6		.	.		○	○
7		.	.		○	○
8		.	.		○	○
9		.	.		○	○
10		.	.		○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産のでん粉原料用かんしょの収穫が終わる前の１年間に、
・でん粉原料用かんしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（ａ）	使用面積（ａ）	でん原負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	
2		.	.	
3		.	.	

２　借入地

(1)　作付地

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために作付けした借入地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（ａ）	作付実面積（ａ）	支払地代（円） 万 千 百 十	でん原負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .			○	○
2		.	.			○	○
3		.	.			○	○
4		.	.			○	○
5		.	.			○	○
6		.	.			○	○
7		.	.			○	○
8		.	.			○	○
9		.	.			○	○
10		.	.			○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（ａ）	使用面積（ａ）	支払賃借料（円） 万 千 百 十	でん原負担割合（%）
1		ha a .	ha a .		
2		.	.		
3		.	.		

【12】作業別労働時間

当年産のでん粉原料用かんしょ生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1　家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2　雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名	性別（男・女）	年齢（歳）	氏名	性別（男・女）	年齢（歳）	氏名	性別（男・女）	年齢（歳）	氏名	性別（男・女）	年齢（歳）	氏名	性別（男・女）	年齢（歳）	雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
				時間			時間			時間			時間			時間	時間	時間			
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等																		育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等
耕起整地	耕起、整地、畝立て、マルチ張り																		耕起整地	耕起、整地、畝立て、マルチ張り
基肥	基肥の配合、運搬、施肥																		基肥	基肥の配合、運搬、施肥
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植																		定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植
追肥	追肥の配合、運搬、施肥																		追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布																		中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り																		管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策																		防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
収穫	収穫、運搬																		収穫	収穫、運搬
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）																		生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等																		間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

3　支払賃金

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円） 万 千 百 十	でん原負担割合（%）
男		
女		

・でん粉原料用かんしょ生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第９号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

別添3－9

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産　原料用ばれいしょ生産費統計調査票（案）

（個別経営体用）

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

１．○年産のでん粉原料用ばれいしょ生産費について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「でん粉原料用ばれいしょ（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産のでん粉原料用ばれいしょの生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　でん粉原料用ばれいしょとは
　　でん粉原料用とする目的で栽培しているばれいしょです。
　　食用、加工用、種子用とする目的で栽培しているばれいしょや、規格外・余剰品でん粉原料用に利用されたばれいしょ（でん原落ち分）は含めません。
※２　この調査でのでん粉原料用ばれいしょの生産とは
　　自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（でん粉原料用ばれいしょ負担割合について）】

でん粉原料用ばれいしょを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からでん粉原料用ばれいしょ負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
でん粉原料用ばれいしょと小麦を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、でん粉原料用ばれいしょ「２ha」、小麦「８ha」の作付地に施肥した場合

例１　でん粉原料用ばれいしょに施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	でん原負担割合（%）
肥料（購入）計	200	200000	100

でん粉原料用ばれいしょ負担割合には100%と記入

例２　でん粉原料用ばれいしょ、小麦に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
　でん粉原料用ばれいしょと小麦の作付面積割合「２：８」を目安にでん粉原料用ばれいしょ負担割合を「２０%」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	でん原負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	100000	20

でん粉原料用ばれいしょ負担割合には20%と記入

【でん粉原料用ばれいしょ負担割合の設定方法】

でん粉原料用ばれいしょを含めた複数の作物を作付けしている場合のでん粉原料用ばれいしょ負担割合を設定する方法について説明します。

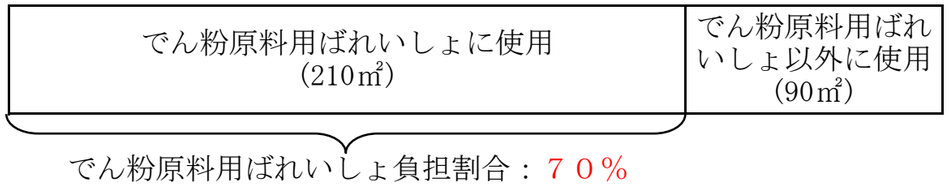
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した面積の割合を「でん粉原料用ばれいしょ負担割合」とします。

$$\text{でん粉原料用ばれいしょ負担割合} = \frac{\text{でん粉原料用ばれいしょに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うちでん粉原料用ばれいしょ生産のために210㎡、でん粉原料用ばれいしょ以外の作物に90㎡を使用した場合の「でん粉原料用ばれいしょ負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した時間の割合を「でん粉原料用ばれいしょ負担割合」とします。

$$\text{でん粉原料用ばれいしょ負担割合} = \frac{\text{でん粉原料用ばれいしょに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うちでん粉原料用ばれいしょ生産のために80時間、でん粉原料用ばれいしょ以外の作物に120時間使用した場合の「でん粉原料用ばれいしょ負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

調　査　事　項

ページ

【１】　経営の概況 …… 3
　経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、でん粉原料用ばれいしょの作付品種等について記入してください。

【２】　生産物の販売等の状況 …… 4
　でん粉原料用ばれいしょの用途別の販売状況について記入してください。

【３】　でん粉原料用ばれいしょの生産のために使用した資材等 …… 5
　種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料等の賃借料・料金等について記入してください。

【４】　物件税及び公課諸負担 …… 8
　固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。

【５】　土地改良及び水利費 …… 8
　土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。

【６】　借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 8
　借入金残高、支払利子について記入してください。

【７】　建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 9
　生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

【８】　自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 10
　生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

【９】　農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 11
　生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

【10】　農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 12
　生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。

【11】　土地の面積及び地代 …… 13
　所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。

【12】　作業別労働時間 …… 14
　家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　　分	所有地（ａ）	借入地（ａ）
	ha　a	ha　a
田		
普　通　畑		
樹　園　地		
牧　草　地		

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　　分	用　語　の　説　明	男（人）	女（人）
世　帯　員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家　族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上の者		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農　業　年　雇	農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安としてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

いる　いない

４　直近５か年の10ａ当たり収量

直近５か年におけるでん粉原料用ばれいしょの10ａ当たり収量を記入してください。

区　　分	１年前	２年前	３年前	４年前	５年前
10ａ当たり収量（kg）					

本調査の対象作物は、でん粉原料用とする目的で栽培しているばれいしょです。
生食用、加工用、種子用とする目的で栽培しているばれいしょや、規格外・余剰品でん粉原料用として利用されるばれいしょ（でん原落ち分）は含めないでください。

【１】経営の概況（続き）

５　でん粉原料用ばれいしょの品種別作付面積

当年産に作付けしたでん粉原料用ばれいしょの品種名及びその作付面積を記入してください。

区　分	品　種　名	面　積（ａ）
		ha　a
品 種 1		
品 種 2		
品 種 3		
品 種 4		
品 種 5		

注：　面積の合計が当年産のでん粉原料用ばれいしょ作付面積です。

６　制度受取金等の状況

当年産のでん粉原料用ばれいしょに係る制度受取金等について記入してください。

区　分	掛　金（円）	受　取　金（円）
	万 千 百 十	万 千 百 十
農 業 共 済		

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。

【２】生産物の販売等の状況

１　でん粉原料用ばれいしょの用途別の販売状況等

当年産のでん粉原料用ばれいしょの販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

また、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

なお、実際に販売したものは、販売金額（早期出荷手当がある場合は、その手当を含めた金額）から搬出費、包装荷作り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区　分		内　容　例　示	数　量（kg）	金　額　（円）
			万 千 百 十	万 千 百 十
販売用（予定を含む。）	計	でん粉原料用として出荷したばれいしょ（でん粉原料用専用品種をでん粉原料用以外の用途で販売したばれいしょを含む。）		
自家用	食　用	食用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	種いも用	種いも用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	その他	食用、種いも用以外に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

２　くずいも等の状況

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産で発生したくずいも等について、自家用に仕向けた（予定を含む。）ものの数量について記入してください。

区　分	内　容　例　示	数　量（kg）
		万 千 百 十
自　家　用	自家用に仕向けた（予定を含む。）もの	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

当年産のでん粉原料用ばれいしょ栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)　新たな品種の導入

(2)　新たな設備・機械の導入

(3)　その他（新たな栽培技術の導入）

通　信　欄

【３】でん粉原料用ばれいしょの生産のために使用した資材等

1　種苗費

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した種いもについて、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　種いも（購入）

品　種　名　等	数　量	単位	金　額　（　円　）
計		―	万 千 百 十

(2)　種いも（自給）

品　種　名　等	数　量	単位

使用した自給の種いもの品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【３】でん粉原料用ばれいしょの生産のために使用した資材等（続き）

２　肥料費

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　購入

資材名等	数量	単位	金額（円） 万 千 百 十	でん原負担割合（%）	備考欄
計		―			
窒素質					
りん酸質					
カリ質					
けい酸質					
炭酸カルシウム（石灰含む。）					※融雪剤として使用した分は「５　諸材料費」に記入してください。
複合肥料					
土壌改良資材					微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥					
その他		―			

・でん粉原料用ばれいしょのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

２　肥料費（続き）

(2)　自給（自家生産した肥料）

資材名等	数量（kg） 万 千 百 十	でん原負担割合（%）
たい肥		
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注１：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
　２：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

３　農業薬剤費

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円） 万 千 百 十	でん原負担割合（%）	備考欄
計			
殺虫剤			
殺菌剤			
殺虫殺菌剤			
除草剤			植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など
その他			

注１：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「６　賃借料及び料金」に記入してください。
　２：除草剤等農薬入りの肥料は「２　肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」。）」に記入してください。

【３】でん粉原料用ばれいしょの生産のために使用した資材等（続き）

４　光熱動力費

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	でん原負担割合（%）
購入（計）			―	万 千 百 十	
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電力料			―		
その他（水道料、木炭などの燃料）			―		
自給					

・でん粉原料用ばれいしょのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

５　諸材料費

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額（円）	でん原負担割合（%）
購入（計）		―	万 千 百 十	
自給				

・でん粉原料用ばれいしょのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

６　賃借料及び料金

・でん粉原料用ばれいしょのみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）	でん原負担割合（%）
計			―	万 千 百 十	
共同負担金	薬剤散布		―		
	共同施設		―		
農機具借料			―		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
貯蔵			kg		
その他			―		

注：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

注：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担したでん粉原料用ばれいしょ生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	でん原負担割合（%）
計	万 千 百 十	
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

・でん粉原料用ばれいしょのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担したでん粉原料用ばれいしょ生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	でん原負担割合（%）
計	万 千 百 十	
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（各種部会費）		
農業共済組合賦課金		

・でん粉原料用ばれいしょのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、でん粉原料用ばれいしょの収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【５】土地改良及び水利費

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるように記入してください。

１　土地改良区費

事業種類	でん粉原料用ばれいしょ作付ほ場負担金額（円）		でん原負担割合（%）
	維持負担金	償還金	
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

２　水利費等

費用名等	でん粉原料用ばれいしょ作付ほ場負担金額（円）	でん原負担割合（%）
水利に係る費用計	万 千 百 十	

・でん粉原料用ばれいしょのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、でん粉原料用ばれいしょの収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるように記入してく

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	でん原負担割合（%）
計	万 千 百 十	万 千 百 十	
借入金			
買掛未払金			

・でん粉原料用ばれいしょのみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「でん原負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

・でん粉原料用ばれいしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	古分 新区 新築	古分 新区 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	でん原負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1							年	月	億 万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード

建築物			
1	住　宅	8	車　庫
2	事務所	12	育苗ハウス
3	納屋・倉庫	13	その他の建築物
4	作業場		
構築物			
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客　土	31	その他の構築物
18	作業道		

構造コード

建築物
（１住宅）～（13その他の建築物）

1	木　造	6	木造モルタル	9	鉄骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金　属	10	骨造 骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				

構築物
（14稲架）～（31その他の構築物）

1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金　属	5	合成樹脂
		3	木　造	6	塩化ビニール
		4	土　管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売　却

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「でん原負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

・でん粉原料用ばれいしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	でん原負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
（１　貨物自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
（２　その他の自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、12ページに記入してください。

でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「でん原負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

・でん粉原料用ばれいしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。自賠責保険（円）	でん原負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード

3	歩行用トラクター
4	乗用トラクター
8	たい肥等散布機
9	肥料散布機
10	総合は種機
16	中耕除草機
17	動力噴霧機
18	動力散粉機
25	ばれいしょ収穫機
33	ドローン
54	トレーラー
56	その他の農機具
57	パソコン
58	その他の生産管理機器

型式コード

（4　乗用トラクター）

1	２０馬力未満
2	２０～５０馬力未満
3	５０～８０馬力未満
4	８０～１００馬力未満
5	１００馬力以上

（56　その他の農機具）

1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年

上記以外の農機具

6	その他

異動コード

1	売　却
2	廃棄等

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・でん粉原料用ばれいしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

	名　称　等	金　額　（円）	でん原負担割合（%）	内　容　例　示
農具・農業被服等の購入費	（計）	万 千 百 十		【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	名　称　等	金　額　（円）	でん原負担割合（%）	内　容　例　示
生産管理関係の費用	（計）	万 千 百 十		【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】土地の面積及び地代

当年産のでん粉原料用ばれいしょの収穫が終わる前の１年間に、
・でん粉原料用ばれいしょのみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、でん粉原料用ばれいしょとそれ以外の作物との過去１年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】Ａ団地（ほ場）にでん粉原料用ばれいしょと小麦を作付けており、過去１年間における作物別の収入がでん粉原料用ばれいしょ400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
でん原ばれいしょ400万円÷（でん原ばれいしょ400万円＋小麦400万円）×100＝50（%）

１　所有地

(1)　作付地

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために作付けした所有地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	でん原負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .		○	○
2		.	.		○	○
3		.	.		○	○
4		.	.		○	○
5		.	.		○	○
6		.	.		○	○
7		.	.		○	○
8		.	.		○	○
9		.	.		○	○
10		.	.		○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産のでん粉原料用ばれいしょの収穫が終わる前の１年間に、
・でん粉原料用ばれいしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	でん原負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	
2		.	.	
3		.	.	

２　借入地

(1)　作付地

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために作付けした借入地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	支払地代（円） 万 千 百 十	でん原負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .			○	○
2		.	.			○	○
3		.	.			○	○
4		.	.			○	○
5		.	.			○	○
6		.	.			○	○
7		.	.			○	○
8		.	.			○	○
9		.	.			○	○
10		.	.			○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	支払賃借料（円） 万 千 百 十	でん原負担割合（%）
1		ha a .	ha a .		
2		.	.		
3		.	.		

【12】作業別労働時間

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1　家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2　雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名	性別（男・女）	年齢（歳）	氏名	性別（男・女）	年齢（歳）	氏名	性別（男・女）	年齢（歳）	氏名	性別（男・女）	年齢（歳）	氏名	性別（男・女）	年齢（歳）	氏名	性別（男・女）	年齢（歳）	雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
				時間			時間			時間			時間			時間			時間		時間	時間		
耕起整地	耕起、整地、畝立て																					耕起整地	耕起、整地、畝立て
基肥	基肥の配合、運搬、施肥																					基肥	基肥の配合、運搬、施肥
は種	種子予措、選種、種子消毒、植え付け、覆土																					は種	種子予措、選種、種子消毒、植え付け、覆土
追肥	追肥の配合、運搬、施肥																					追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布																					中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り																					管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策																					防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
収穫	収穫、運搬																					収穫	収穫、運搬
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）																					生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等																					間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

3　支払賃金

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円） 万 千 百 十	でん原負担割合（%）
男		
女		

・でん粉原料用ばれいしょ生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第１０号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

別添3－10

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産　なたね生産費統計調査票（案）

（個別経営体用）

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

１．○年産のなたね生産費について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「なたね（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産のなたねの生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　なたねとは
食用だけでなく、種子用のなたねも該当します。

※２　この調査でのなたねの生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（なたね負担割合について）】

なたねを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からなたね負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
なたねと水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、なたね「２ha」、水稲「８ha」の作付地に施肥した場合

例１　なたねに施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	なたね負担割合（%）
肥料（購入）計	200	20000	100

なたね負担割合には100%と記入

例２　なたね、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
なたねと水稲の作付面積割合「２：８」を目安になたね負担割合を「２０%」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	なたね負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	100000	20

なたね負担割合には20%と記入

【なたね負担割合の設定方法】

なたねを含めた複数の作物を作付けしている場合のなたね負担割合を設定する方法について説明します。

（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、なたね生産のために使用した面積の割合を「なたね負担割合」とします。

$$\text{なたね負担割合} = \frac{\text{なたねに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うちなたね生産のために210㎡、なたね以外の作物に90㎡を使用した場合の「なたね負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図

（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、なたね生産のために使用した時間の割合を「なたね負担割合」とします。

$$\text{なたね負担割合} = \frac{\text{なたねに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うちなたね生産のために80時間、なたね以外の作物に120時間使用した場合の「なたね負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

調　査　事　項

ページ

【１】　経営の概況 …… 3
　経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、なたね生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。

【２】　生産物の販売等の状況 …… 4
　なたねの用途別、くずなたね等の販売状況について記入してください。

【３】　なたねの生産のために使用した資材等 …… 5
　種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。

【４】　物件税及び公課諸負担 …… 8
　固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。

【５】　土地改良及び水利費 …… 8
　土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。

【６】　借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 8
　借入金残高、支払利子について記入してください。

【７】　建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 9
　生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

【８】　自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 10
　生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

【９】　農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 11
　生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

【10】　農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 12
　生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。

【11】　土地の面積及び地代 …… 13
　所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。

【12】　作業別労働時間 …… 14
　家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　　分	所有地（ａ）		借入地（ａ）	
	ha	a	ha	a
田				
普　通　畑				
樹　園　地				
牧　草　地				

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　　分	用　　語　　の　　説　　明	男（人）	女（人）
世　帯　員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家　族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満は除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上の者		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農　業　年　雇	農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安としてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

（いる　いない）

４　直近５か年の10ａ当たり収量

直近５か年におけるなたねの10ａ当たり収量を記入してください。

区　　分	１年前	２年前	３年前	４年前	５年前
10ａ当たり収量（kg）					

本調査の対象作物は、食用だけでなく、種子用も含めたなたねです。

【１】経営の概況（続き）

５　なたね生産における作業委託の状況

耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。

乾燥・調製は、乾燥子実の数量を記入してください。

区　分	数　量	単位
耕うん・整地	ha a .	a
は種	.	a
防除	.	a
刈取・脱穀	.	a
乾燥・調製	万 千 百 十 .　0	kg

６　なたねの品種別作付面積

当年産に作付けしたなたねの品種名及びその作付面積を記入してください。

区　分	品種名	面積（a）
品種１		ha a .
品種２		.
品種３		.
品種４		.
品種５		.

注：　面積の合計が当年産のなたね作付面積です。

７　制度受取金等の状況

当年産のなたねに係る制度受取金等について記入してください。

区　分	掛金（円）	受取金（円）
農業共済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。

【２】生産物の販売等の状況

１　なたねの用途別の販売状況等

当年産のなたねの販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

また、販売用（予定を含む。）について、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区　分		内容例示	数量（kg）	金額（円）
販売用（予定を含む。）	計	なたね油用として出荷・販売したものや、同等の品質を有するもの	万 千 百 十	万 千 百 十
自家用	食用	食用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	種子用	種子用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	その他	食用、種子用以外に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

２　くずなたね等の状況

当年産のなたね生産で発生したくずなたね等について、記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区　分	内容例示	数量（kg）	金額（円）
販売用	販売した（予定を含む。）もの	万 千 百 十	万 千 百 十
自家用	自家用に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

当年産のなたね栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)　新たな品種の導入

(2)　新たな設備・機械の導入

(3)　その他（新たな栽培技術の導入）

通　信　欄

【３】なたねの生産のために使用した資材等

1　種苗費

当年産のなたね生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　種子（購入）

品　種　名	数　量	単位	金　額　（　円　）
計		―	万 千 百 十

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

(2)　種子（自給）

品　種　名	数　量	単位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【３】なたねの生産のために使用した資材等（続き）

２　肥料費

当年産のなたね生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　購入

資材名等		数量	単位	金額（円）	なたね負担割合（%）	備考欄
計			―			
窒素質						
りん酸質						
カリ質						
けい酸質						
炭酸カルシウム（石灰含む。）						※融雪剤として使用した分は「５　諸材料費」に記入してください。
複合肥料						
土壌改良資材						微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥						
その他			―			

・なたねのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

２　肥料費（続き）

(2)　自給（自家生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	なたね負担割合（%）
たい肥		
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注１：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
　２：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

３　農業薬剤費

当年産のなたね生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		金額（円）	なたね負担割合（%）	備考欄
計				
殺虫剤				
殺菌剤				
殺虫殺菌剤				
除草剤				
その他				植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

注１：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「６　賃借料及び料金」に記入してください。
　２：除草剤等農薬入りの肥料は「２　肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」。）」に記入してください。

【３】なたねの生産のために使用した資材等（続き）

４　光熱動力費

当年産のなたね生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）万 千 百 十	なたね負担割合（%）
購入（計）			－		
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電力料			－		
その他（水道料、木炭などの燃料）			－		
自給					

・なたねのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

５　諸材料費

当年産のなたね生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が 「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額（円）万 千 百 十	なたね負担割合（%）
購入（計）		－		
自給				

・なたねのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

・なたねのみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

６　賃借料及び料金

当年産のなたね生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）万 千 百 十	なたね負担割合（%）
計			－		
共同負担金	薬剤散布		－		
	共同施設		－		
農機具借料			－		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
乾燥調製料			kg		
その他			－		

注１：　共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
２：　乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担したなたね生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	なたね負担割合（%）
	万 千 百 十	
計		
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

・なたねのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものは除いて記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担したなたね生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	なたね負担割合（%）
	万 千 百 十	
計		
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（なたね生産部会等の会費）		
農業共済組合賦課金		

・なたねのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、なたねの収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【５】土地改良及び水利費

当年産のなたね生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

１　土地改良区費

事業種類名	なたね作付ほ場負担金額（円）		なたね負担割合（%）
	維持負担金	償還金	
	万 千 百 十	万 千 百 十	
ほ場整備事業			
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

・なたねのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、なたねの収入が占める割合を目安に記入してください。

２　水利費等

費　用　名	なたね作付ほ場負担金額（円）	なたね負担割合（%）
	万 千 百 十	
水利に係る費用計		

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

当年産のなたね生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・なたねのみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	なたね負担割合（%）
	万 千 百 十	万 千 百 十	
計			
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

なたね生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「なたね負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

・なたねのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	区分 新築	区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	なたね負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1				○	○		年	月	億 万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2				○	○										
3				○	○										
4				○	○										
5				○	○										
6				○	○										
7				○	○										
8				○	○										
9				○	○										
10				○	○										
11				○	○										
12				○	○										
13				○	○										
14				○	○										
15				○	○										

種類コード

	建築物		
1	住　宅	8	車　庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
	構築物		
14	稲　架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客　土	31	その他の構築物

構造コード

建築物
（１住宅）～（13その他の建築物）

1	木　造	6	木造モルタル	9	鉄骨造 骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金　属	10	鉄骨造 骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	鉄骨造 骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				

構築物
（15　コンクリートけい畔）～（31　その他の構築物）

1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金　属	5	合成樹脂
		3	木　造	6	塩化ビニール
		4	土　管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売　却

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

なたね生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「なたね負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

・なたねのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	なたね負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
（１　貨物自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
（２　その他の自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、12ページに記入してください。

なたね生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「なたね負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

・なたねのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。自賠責保険（円）	なたね負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード

3	歩行用トラクター	21	普通型コンバイン
4	乗用トラクター	26	なたね収穫機
8	たい肥等散布機	29	脱穀機
9	肥料散布機	31	乾燥機
10	総合は種機	54	トレーラー
16	中耕除草機	56	その他の農機具
17	動力噴霧機	57	パソコン
18	動力散粉機	58	その他の生産管理機器
20	自脱型コンバイン		
33	ドローン		

型式コード

（4　乗用トラクター）

1	２０馬力未満
2	２０～５０馬力未満
3	５０～８０馬力未満
4	８０～１００馬力未満
5	１００馬力以上

（20　自脱型コンバイン）

1	３条刈以下
2	４～５条刈
3	６条刈以上

（56　その他の農機具）

1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年

上記以外の農機具

6	その他

異動コード

1	売　却
2	廃棄等

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産のなたね生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・なたねのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の作物にも使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

	名　称　等	金　額　（円）	なたね負担割合（%）	内　容　例　示
	（計）			【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費
農具・農業被服等の購入費				

	名　称　等	金　額　（円）	なたね負担割合（%）	内　容　例　示
	（計）			【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得の費用】 ・研修、集会等の参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料
生産管理関係の費用				

【11】土地の面積及び地代

当年産のなたねの収穫が終わる前の１年間に、
・なたねのみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
・なたね以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、なたねとそれ以外の作物との過去１年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】Ａ団地（ほ場）に米となたねを作付けており、過去１年間における作物別の収入が米400万円、なたね400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
なたね400万円÷（米400万円＋なたね400万円）×100＝50（%）

１　所有地

(1)　作付地

当年産のなたね生産のために作付けした所有地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（ａ）	作付実面積（ａ）	なたね負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .		○	○
2		.	.		○	○
3		.	.		○	○
4		.	.		○	○
5		.	.		○	○
6		.	.		○	○
7		.	.		○	○
8		.	.		○	○
9		.	.		○	○
10		.	.		○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産のなたねの収穫が終わる前の１年間に、
・なたねのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産のなたね生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（ａ）	使用面積（ａ）	なたね負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	
2		.	.	
3		.	.	

２　借入地

(1)　作付地

当年産のなたね生産のために作付けした借入地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（ａ）	作付実面積（ａ）	支払地代（円）	なたね負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十		○	○
2		.	.			○	○
3		.	.			○	○
4		.	.			○	○
5		.	.			○	○
6		.	.			○	○
7		.	.			○	○
8		.	.			○	○
9		.	.			○	○
10		.	.			○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産のなたね生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（ａ）	使用面積（ａ）	支払賃借料（円）	なたね負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十	
2		.	.		
3		.	.		

【12】作業別労働時間

当年産のなたね生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1　家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2　雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名	性別（男・女）	（年齢）歳	氏名	性別（男・女）	（年齢）歳	氏名	性別（男・女）	（年齢）歳	氏名	性別（男・女）	（年齢）歳	氏名	性別（男・女）	（年齢）歳	雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
				時間			時間			時間			時間			時間	時間	時間			
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等																		育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布																		耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布
基肥	基肥の配合、運搬、施肥																		基肥	基肥の配合、運搬、施肥
は種	種まき、覆土																		は種	種まき、覆土
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植																		定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植
追肥	追肥の配合、運搬、施肥																		追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布																		中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り																		管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策																		防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀																		刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀
乾燥	乾燥、調製																		乾燥	乾燥、調製
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）																		生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等																		間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

3　支払賃金

当年産のなたね生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円） 万 千 百 十	なたね負担割合（%）
男		
女		

・なたね生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・なたね生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第１１号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

別添3－11

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産　てんさい生産費統計調査票（案）

（個別経営体用）

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

１．○年産のてんさい生産費について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「てんさいの生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産のてんさいの生産（※）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　てんさいとは
　　砂糖原料用とする目的で栽培しているてんさいです。

※２　この調査でのてんさいの生産とは
　　自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（てんさい負担割合について）】

てんさいを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からてんさい負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
てんさいと小麦を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、てんさい「８ha」、小麦「２ha」の作付地に施肥した場合

例１　てんさいに施肥した数量、金額を記入する方法

区　　分	数　量（kg）	金　　額　（円）	てんさい負担割合（%）
肥料（購入）計	800	800000	100

てんさい負担割合には100%と記入

例２　てんさい、小麦に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
　　てんさいと小麦の作付面積割合「８：２」を目安にてんさい負担割合を「８０％」と記入してください。

区　　分	数　量（kg）	金　　額　（円）	てんさい負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	1000000	80

てんさい負担割合には80%と記入

【てんさい負担割合の設定方法】

てんさいを含めた複数の作物を作付けしている場合のてんさい負担割合を設定する方法について説明します。

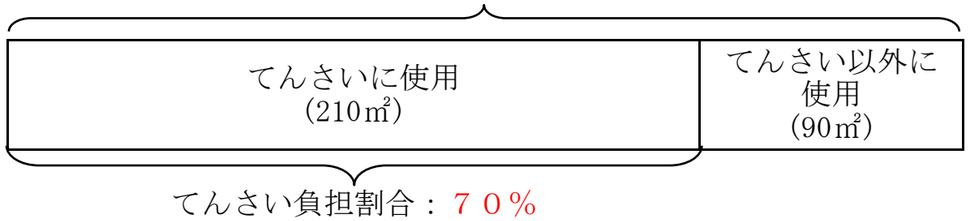
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、てんさい生産のために使用した面積の割合を「てんさい負担割合」とします。

$$\text{てんさい負担割合} = \frac{\text{てんさいに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うちてんさい生産のために210㎡、てんさい以外の作物に90㎡を使用した場合の「てんさい負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、てんさい生産のために使用した時間の割合を「てんさい負担割合」とします。

$$\text{てんさい負担割合} = \frac{\text{てんさいに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うちてんさい生産のために80時間、てんさい以外の作物に120時間使用した場合の「てんさい負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

調　査　事　項

ページ

【１】　経営の概況 …… 3
　経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、てんさいの作付品種等について記入してください。

【２】　生産物の販売等の状況 …… 4
　てんさいの用途別の販売状況について記入してください。

【３】　てんさいの生産のために使用した資材等 …… 5
　種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料等の賃借料・料金等について記入してください。

【４】　物件税及び公課諸負担 …… 8
　固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。

【５】　土地改良及び水利費 …… 8
　土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。

【６】　借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 8
　借入金残高、支払利子について記入してください。

【７】　建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 9
　生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

【８】　自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 10
　生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

【９】　農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 11
　生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

【10】　農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 12
　生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。

【11】　土地の面積及び地代 …… 13
　所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。

【12】　作業別労働時間 …… 14
　家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　　分	所有地（ａ）	借入地（ａ）
田	ha　a	ha　a
普　通　畑		
樹　園　地		
牧　草　地		

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　分	用　語　の　説　明	男（人）	女（人）
世　帯　員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家　族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上の者		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農　業　年　雇	農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安としてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

いる	いない

４　直近５か年の10ａ当たり収量

直近５か年におけるてんさいの10ａ当たり収量を記入してください。

区　　分	１年前	２年前	３年前	４年前	５年前
10ａ当たり収量（kg）					

【１】経営の概況（続き）

５　てんさいの品種別作付面積

当年産に作付けしたてんさいの品種名及びその作付面積を記入してください。

区　分	品　種　名	面　積（ａ）
		ha　a
品 種 １		.
品 種 ２		.
品 種 ３		.
品 種 ４		.
品 種 ５		.

注：　面積の合計が当年産のてんさい作付面積です。

６　移植・直まき面積

てんさいを作付けたほ場について、移植と直まき別の作付面積を記入してください。

区　分	面　積（ａ）
	ha　a
移　植	.
直　ま　き	.

注：　面積の合計が当年産のてんさい作付面積です。

７　制度受取金等の状況

当年産のてんさいに係る制度受取金等について記入してください。

区　分	掛　金（円）	受　取　金（円）
	万 千 百 十	万 千 百 十
農　業　共　済		

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。

【２】生産物の販売等の状況

１　てんさいの用途別の販売状況等

当年産のてんさいの販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

また、実際に販売したものは、販売金額（早期出荷手当がある場合は、その手当を含めた金額）から搬出費、包装荷作り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区　分	内　容　例　示	数量（出荷量）（kg）	金　額（円）	取引糖度（%）
		万 千 百 十	万 千 百 十	.
計				.
販売用（予定を含む。）	製糖工場へ出荷した（予定を含む。）もの			.
自　家　用	自家用に仕向けた（予定を含む。）もの			

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【２】生産物の販売等の状況（続き）

２　ビート・トップ等の状況

当年産のてんさい生産で発生したビート・トップ等について、用途別に記入してください。
なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区　分	内　容　例　示	数　量（kg）	金　額　（円）
販　売　用	販売した（予定を含む。）もの	万 千 百 十	万 千 百 十
自　家　用	自家用に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

当年産のてんさい栽培の特徴

１　作柄概況

２　被害の状況や品質

３　栽培状況の変化

(1)　新たな品種の導入

(2)　直まき栽培の導入

(3)　新たな設備・機械の導入

(4)　その他（新たな栽培技術の導入）

【３】てんさいの生産のために使用した資材等

１　種苗費

当年産のてんさい生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　種子（購入）

品　種　名　等	数　量	単位	金　額　（円）
計		―	万 千 百 十

(2)　種子（自給）

品　種　名　等	数　量	単位

使用した種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

(3)　苗（購入）

品　種　名　等	数　量	単位	金　額　（円）
計		―	万 千 百 十

注：は種済みポットについては、こちらに記入してください。

【３】てんさいの生産のために使用した資材等（続き）

２　肥料費

当年産のてんさい生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　購入

資材名等	数量	単位	金額（円）	てんさい負担割合（%）	備考欄
計		―	万 千 百 十		
窒素質					
りん酸質					
カリ質					
けい酸質					
炭酸カルシウム（石灰含む。）					※融雪剤として使用した分は「５　諸材料費」に記入してください。
複合肥料					
土壌改良資材					微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥					
その他		―			

２　肥料費（続き）

・てんさいのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・てんさい以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2)　自給（自家生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	てんさい負担割合（%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注１：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
　２：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

３　農業薬剤費

当年産のてんさい生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）	てんさい負担割合（%）	備考欄
計	万 千 百 十		
殺虫剤			
殺菌剤			
殺虫殺菌剤			
除草剤			植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など
その他			

注１：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「６　賃借料及び料金」に記入してください。
　２：除草剤等農薬入りの肥料は「２　肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」。）」に記入してください。

【３】てんさいの生産のために使用した資材等（続き）

４　光熱動力費

当年産のてんさい生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）（万 千 百 十）	てんさい負担割合（%）
購入（計）			―		
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電力料			―		
その他（水道料、木炭などの燃料）			―		
自給					

・てんさいのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・てんさい以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

５　諸材料費

当年産のてんさい生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額（円）（万 千 百 十）	てんさい負担割合（%）
購入（計）		―		
自給				

・てんさいのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・てんさい以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

諸材料には、育苗用土、ペーパーポット、融雪剤等が入ります。

６　賃借料及び料金

・てんさいのみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
・てんさい以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

当年産のてんさい生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）（万 千 百 十）	てんさい負担割合（%）
計			―		
共同負担金	薬剤散布		―		
	共同施設		―		
農機具借料			―		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
その他			―		

注：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担したてんさい生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	てんさい負担割合（%）
	万 千 百 十	
計		
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

・てんさいのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・てんさい以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担したてんさい生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	てんさい負担割合（%）
	万 千 百 十	
計		
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（各種部会費）		
農業共済組合賦課金		

・てんさいのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・てんさい以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、てんさいの収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【５】土地改良及び水利費

当年産のてんさい生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

１　土地改良区費

事業種類	てんさい作付ほ場負担金額（円）		てんさい負担割合（%）
	維持負担金	償還金	
	万 千 百 十	万 千 百 十	
ほ場整備事業			
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

・てんさいのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・てんさい以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、てんさいの収入が占める割合を目安に記入してください。

２　水利費等

費用名等	てんさい作付ほ場負担金額（円）	てんさい負担割合（%）
	万 千 百 十	
水利に係る費用計		

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

当年産のてんさい生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・てんさいのみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・てんさい以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	てんさい負担割合（%）
	万 千 百 十	万 千 百 十	
計			
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

てんさい生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「てんさい負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

・てんさいのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・てんさい以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新築区分 新築	新築区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	てんさい負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1							年	月	億 万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード

	建築物		
1	住　宅	8	車　庫
2	事務所	12	育苗ハウス
3	納屋・倉庫	13	その他の建築物
4	作業場		
	構築物		
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客　土	31	その他の構築物
18	作業道		

構造コード

建築物
（１住宅）～（13その他の建築物）

1	木　造	6	木造モルタル	9	鉄骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金　属	10	骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	造骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				

構築物
（14稲架）～（31その他の構築物）

1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金　属	5	合成樹脂
		3	木　造	6	塩化ビニール
		4	土　管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売　却

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

てんさい生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「てんさい負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

・てんさいのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・てんさい以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	てんさい負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード

1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード

（１　貨物自動車）

1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）

（２　その他の自動車）

1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード

1	売　却
2	廃棄等

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、12ページに記入してください。

てんさい生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「てんさい負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

・てんさいのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・てんさい以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険（円）	てんさい負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1				○	○		年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2				○	○													
3				○	○													
4				○	○													
5				○	○													
6				○	○													
7				○	○													
8				○	○													
9				○	○													
10				○	○													
11				○	○													
12				○	○													
13				○	○													
14				○	○													
15				○	○													

種類コード

3	歩行用トラクター	27	てんさい収穫機
4	乗用トラクター	54	トレーラー
8	たい肥等散布機	56	その他の農機具
9	肥料散布機	57	パソコン
10	総合は種機	58	その他の生産管理機器
14	移植機		
16	中耕除草機		
17	動力噴霧機		
18	動力散粉機		
33	ドローン		

型式コード

（4　乗用トラクター）

1	２０馬力未満
2	２０～５０馬力未満
3	５０～８０馬力未満
4	８０～１００馬力未満
5	１００馬力以上

（56　その他の農機具）

1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年

上記以外の農機具

6	その他

異動コード

1	売　却
2	廃棄等

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産のてんさい生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・てんさいのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・てんさい以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

	名　称　等	金　額　（円）	てんさい負担割合（%）	内　容　例　示
農具・農業被服等の購入費	（計）	万 千 百 十		【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	名　称　等	金　額　（円）	てんさい負担割合（%）	内　容　例　示
生産管理関係の費用	（計）	万 千 百 十		【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】土地の面積及び地代

当年産のてんさいの収穫が終わる前の１年間に、
・てんさいのみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
・てんさい以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、てんさいとそれ以外の作物との過去１年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】Ａ団地（ほ場）にてんさいと他作物を作付けており、過去１年間における作物別の収入がてんさい300万円、他作物200万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
てんさい300万円÷（てんさい300万円＋他作物200万円）×100＝60（%）

１　所有地

(1)　作付地

当年産のてんさい生産のために作付けした所有地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	てんさい負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .		○	○
2		.	.		○	○
3		.	.		○	○
4		.	.		○	○
5		.	.		○	○
6		.	.		○	○
7		.	.		○	○
8		.	.		○	○
9		.	.		○	○
10		.	.		○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産のてんさいの収穫が終わる前の１年間に、
・てんさいのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・てんさい以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産のてんさい生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	てんさい負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	
2		.	.	
3		.	.	

２　借入地

(1)　作付地

当年産のてんさい生産のために作付けした借入地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	支払地代（円） 万 千 百 十	てんさい負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .			○	○
2		.	.			○	○
3		.	.			○	○
4		.	.			○	○
5		.	.			○	○
6		.	.			○	○
7		.	.			○	○
8		.	.			○	○
9		.	.			○	○
10		.	.			○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産のてんさい生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	支払賃借料（円） 万 千 百 十	てんさい負担割合（%）
1		ha a .	ha a .		
2		.	.		
3		.	.		

【12】作業別労働時間

当年産のてんさい生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1　家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名	性別（男・女）	（年齢）歳	氏名	性別（男・女）	（年齢）歳	氏名	性別（男・女）	（年齢）歳	氏名	性別（男・女）	（年齢）歳	氏名	性別（男・女）	（年齢）歳	氏名	性別（男・女）	（年齢）歳	雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
				時間			時間			時間			時間			時間			時間		時間	時間		
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体及びそれに伴う除雪等																				育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体及びそれに伴う除雪等
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り																				耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り
基肥	基肥の配合、運搬、施肥																				基肥	基肥の配合、運搬、施肥
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土																				は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植																				定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植
追肥	追肥の配合、運搬、施肥																				追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布																				中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、育苗ハウス後に行う除雪作業、ほ場見回り																				管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、育苗ハウス後に行う除雪作業、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策																				防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
収穫	収穫、運搬、タッピング																				収穫	収穫、運搬、タッピング
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）																				生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等																				間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

2　雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

3　支払賃金

当年産のてんさい生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円） 万 千 百 十	てんさい負担割合（%）
男		
女		

・てんさい生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・てんさい生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第１２号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

別添3－12

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産　さとうきび生産費統計調査票（案）

（個別経営体用）

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

１．○年産のさとうきび生産費について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「さとうきび（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産のさとうきびの生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　さとうきびとは
砂糖原料用とする目的で栽培しているさとうきびです。
苗取り用とする目的で栽培しているさとうきびは含みません。

※２　この調査でのさとうきびの生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（さとうきび負担割合について）】

さとうきびを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からさとうきび負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
さとうきびと野菜を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、さとうきび「８ha」、野菜「２ha」の作付地に施肥した場合

例１　さとうきびに施肥した数量、金額を記入する方法

区　　分	数　量（kg）	金　　額　（円）	さとうきび負担割合（%）
肥料（購入）計	800	80000	100

← さとうきび負担割合には100%と記入

例２　さとうきび、野菜に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
さとうきびと野菜の作付面積割合「８：２」を目安にさとうきび負担割合を「８０%」と記入してください。

区　　分	数　量（kg）	金　　額　（円）	さとうきび負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	100000	80

← さとうきび負担割合には80%と記入

【さとうきび負担割合の設定方法】

さとうきびを含めた複数の作物を作付けしている場合のさとうきび負担割合を設定する方法について説明します。

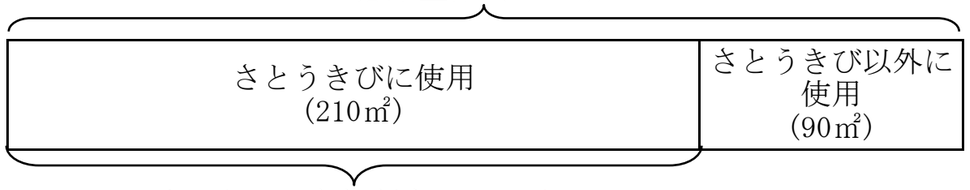
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、さとうきび生産のために使用した面積の割合を「さとうきび負担割合」とします。

$$\text{さとうきび負担割合} = \frac{\text{さとうきびに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うちさとうきび生産のために210㎡、さとうきび以外の作物に90㎡を使用した場合の「さとうきび負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、さとうきび生産のために使用した時間の割合を「さとうきび負担割合」とします。

$$\text{さとうきび負担割合} = \frac{\text{さとうきびに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うちさとうきび生産のために80時間、さとうきび以外の作物に120時間使用した場合の「さとうきび負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

調　査　事　項

ページ

【１】　経営の概況 …… 3
　経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、さとうきびの作付品種等について記入してください。

【２】　生産物の販売等の状況 …… 4
　さとうきびの用途別の販売状況について記入してください。

【３】　さとうきびの生産のために使用した資材等 …… 5
　種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料等の賃借料・料金等について記入してください。

【４】　物件税及び公課諸負担 …… 8
　固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。

【５】　土地改良及び水利費 …… 8
　土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。

【６】　借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 8
　借入金残高、支払利子について記入してください。

【７】　建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 9
　生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

【８】　自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 10
　生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

【９】　農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 11
　生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

【10】　農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 12
　生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。

【11】　土地の面積及び地代 …… 13
　所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。

【12】　作業別労働時間 …… 14
　家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　　分	所有地（ａ）	借入地（ａ）
	ha　a	ha　a
田		
普　通　畑		
樹　園　地		
牧　草　地		

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　　分	用　語　の　説　明	男（人）	女（人）
世　帯　員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家　族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上の者		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農　業　年　雇	農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安としてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を〇で囲んでください。

いる　いない

４　直近５か年の10ａ当たり収量

直近５か年におけるさとうきびの10ａ当たり収量を記入してください。

区　　分	１年前	２年前	３年前	４年前	５年前
10ａ当たり収量（kg）					

本調査の対象作物は、砂糖原料用とする目的で栽培しているさとうきびです。
苗取り用とする目的で栽培しているさとうきびは含めないでください。

【１】経営の概況（続き）

５　さとうきびの品種別収穫面積

当年産に収穫したさとうきびの品種名及びその収穫面積を記入してください。

区　分	品　種　名	面　積（ａ）
		ha　a
品 種 １		.
品 種 ２		.
品 種 ３		.
品 種 ４		.
品 種 ５		.

注：　面積の合計が当年産のさとうきび収穫面積です。

６　さとうきびの栽培型別収穫面積

当年産のさとうきびの収穫面積について、栽培型（株出し・春植え・夏植え）別面積を記入してください。

区　分	面　積（ａ）
	ha　a
株　出　し	.
春　植　え	.
夏　植　え	.

注：面積の合計が当年産のさとうきび収穫面積です。

７　農業共済金の状況

当年産のさとうきびに係る農業共済の掛金・受取金について記入してください。

区　分	掛　金（円）	受　取　金（円）
	万 千 百 十	万 千 百 十
農　業　共　済		

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。

【２】生産物の販売等の状況

１　さとうきびの用途別の販売状況等

当年産のさとうきびの販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

また、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

なお、実際に販売したものは、販売金額（「甘味資源作物生産者交付金」を含めた金額）から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区　分		内　容　例　示	数量（出荷量）（kg）	金　額（円）	取引糖度（%）
			万 千 百 十	万 千 百 十	
販売用（予定を含む。）	計				.
		製糖工場へ出荷した（予定を含む。）もの及び同等の品質を有するもの			.
					.
					.
					.
					.
					.
					.
					.
					.
					.
					.
					.
					.
					.
					.
自家用	苗　用	苗用に仕向けた（予定を含む。）もの			
	そ　の　他	苗用以外に仕向けた（予定を含む。）もの			

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【２】生産物の販売等の状況（続き）

２　梢頭部等の状況

当年産のさとうきび生産で発生した梢頭部等について、用途別に記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区　　分	内　　容　　例　　示	数　量（kg）	金　　額　（円）
販　　売　　用	販売した（予定を含む。）もの	万 千 百 十	万 千 百 十
自　　家　　用	自家用に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

当年産のさとうきび栽培の特徴

１　作柄概況

２　被害の状況や品質

３　栽培状況の変化

(1)　新たな品種の導入

(2)　栽培型（株出し・春植え・夏植え）の動向

(3)　新たな設備・機械の導入

(4)　その他（新たな栽培技術の導入や増産対策への取組状況）

【３】さとうきびの生産のために使用した資材等

１　種苗費

当年産のさとうきび生産のために使用した苗について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　苗（購入）

品　種　名　等	数　量	単位	金　額　（　円　）
計		－	万 千 百 十

(2)　苗（自給）

品　種　名　等	数　量	単位

使用した種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【３】さとうきびの生産のために使用した資材等（続き）

２　肥料費

当年産のさとうきび生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　購入

資　材　名　等		数　量	単位	金　額　（　円　）	さとうきび負担割合（%）	備　考　欄
				万 千 百 十		
計		／	―			
窒素質						
りん酸質						
カリ質						
けい酸質						
炭酸カルシウム（石灰含む。）						
複合肥料						
土壌改良資材						微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥						
その他		／	―			

・さとうきびのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

２　肥料費（続き）

(2)　自給（自家生産した肥料）

資　材　名　等	数　量（kg）	さとうきび負担割合（%）
	万 千 百 十	
たい肥		
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注１：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
　２：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

３　農業薬剤費

当年産のさとうきび生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資　材　名　等		金　額　（　円　）	さとうきび負担割合（%）	備　考　欄
		万 千 百 十		
計				
殺虫剤				
殺菌剤				
殺虫殺菌剤				
除草剤				植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など
その他				

注１：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「６　賃借料及び料金」に記入してください。
　２：除草剤等農薬入りの肥料は「２　肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」。）」に記入してください。

【３】さとうきびの生産のために使用した資材等（続き）

４　光熱動力費

当年産のさとうきび生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）（万 千 百 十）	さとうきび負担割合（%）
購入（計）			―		
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電力料			―		
その他（水道料、木炭などの燃料）			―		
自給					

・さとうきびのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

５　諸材料費

当年産のさとうきび生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額（円）（万 千 百 十）	さとうきび負担割合（%）
購入（計）		―		
自給				

・さとうきびのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

諸材料には、被覆用ポリエチレンや結束用のなわ等が入ります。

・さとうきびのみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
・さとうきび以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

６　賃借料及び料金

当年産のさとうきび生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）（万 千 百 十）	さとうきび負担割合（%）
計			―		
負担金 共同	薬剤散布		―		
	共同施設		―		
農機具借料			―		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
その他			―		

注：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担したさとうきび生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　） 万 千 百 十	さとうきび負担割合（%）
計		
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものは除いて記入してください。

・さとうきびのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・さとうきび以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

２　公課諸負担

１年間に負担したさとうきび生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　） 万 千 百 十	さとうきび負担割合（%）
計		
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（各種部会費）		
農業共済組合賦課金		

・さとうきびのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・さとうきび以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、さとうきびの収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【５】土地改良及び水利費

当年産のさとうきび生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

１　土地改良区費

事業種類	さとうきび作付ほ場負担金額（円） 維持負担金 万 千 百 十	 償還金 万 千 百 十	さとうきび負担割合（%）
ほ場整備事業			
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

２　水利費等

費用名等	さとうきび作付ほ場負担金額（円） 万 千 百 十	さとうきび負担割合（%）
水利に係る費用計		

・さとうきびのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・さとうきび以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、さとうきびの収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

当年産のさとうきび生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・さとうきびのみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・さとうきび以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円） 万 千 百 十	支払利子額（円） 万 千 百 十	さとうきび負担割合（%）
計			
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

さとうきび生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「さとうきび負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

・さとうきびのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・さとうきび以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

夏植えに使用している場合、〇を囲んでください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	さとうきび負担割合（%）	夏植え使用	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1				◌	◌		年	月	億 万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十		◌		万 千 百 十
2				◌	◌									◌		
3				◌	◌									◌		
4				◌	◌									◌		
5				◌	◌									◌		
6				◌	◌									◌		
7				◌	◌									◌		
8				◌	◌									◌		
9				◌	◌									◌		
10				◌	◌									◌		
11				◌	◌									◌		
12				◌	◌									◌		
13				◌	◌									◌		
14				◌	◌									◌		
15				◌	◌									◌		

種類コード

建築物		構築物	
1	住　宅	8	車　庫
2	事務所	12	育苗ハウス
3	納屋・倉庫	13	その他の建築物
4	作業場		
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客　土	31	その他の構築物
18	作業道		

構造コード

建築物
（１住宅）～（13その他の建築物）

1	木　造	6	木造モルタル	9	鉄骨造 骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金　属	10	鉄骨造 骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	鉄骨造 骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				

構築物
（15　コンクリートけい畔）～（31その他の構築物）

1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金　属	5	合成樹脂
		3	木　造	6	塩化ビニール
		4	土　管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売　却

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

さとうきび生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「さとうきび負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

・さとうきびのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・さとうきび以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

夏植えに使用している場合、〇を囲んでください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	さとうきび負担割合（%）	夏植え使用	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十				万 千 百 十
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
（１　貨物自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
（２　その他の自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、12ページに記入してください。

さとうきび生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「さとうきび負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

・さとうきびのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・さとうきび以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

夏植えに使用している場合、〇を囲んでください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円） 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円） 農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円） 当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円） 当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円） 当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険（円）	さとうきび負担割合（%）	夏植え使用	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円） 廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1									万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十				万 千 百 十
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			

種類コード			
3	歩行用トラクター	18	動力散粉機
4	乗用トラクター	28	さとうきび収穫機
8	たい肥等散布機	30	きび脱葉機
9	肥料散布機	54	トレーラー
10	総合は種機	56	その他の農機具
14	移植機	57	パソコン
16	中耕除草機	58	その他の生産管理機器
17	動力噴霧機	33	ドローン

型式コード（4　乗用トラクター）	
1	２０馬力未満
2	２０～５０馬力未満
3	５０～８０馬力未満
4	８０～１００馬力未満
5	１００馬力以上

型式コード（56　その他の農機具）	
1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年
上記以外の農機具	
6	その他

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産のさとうきび生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・さとうきびのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・さとうきび以外の作物にも使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

	名　称　等	金　額　（円）	さとうきび負担割合（%）	内　容　例　示
	（計）	万 千 百 十		【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費
農具・農業被服等の購入費				

	名　称　等	金　額　（円）	さとうきび負担割合（%）	内　容　例　示
	（計）	万 千 百 十		【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料
生産管理関係の費用				

【11】土地の面積及び地代

当年産のさとうきびの収穫が終わる前の１年（夏植えの場合は１年半）の間に、
・さとうきびのみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
・さとうきび以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、さとうきびとそれ以外の作物との過去１年（夏植えの場合は１年半）の 間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】Ａ団地（ほ場）にさとうきびと野菜を作付けており、過去１年（夏植えの場合は１年半）の間における作物別の収入がさとうきび300万円、野菜200万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
さとうきび300万円÷（さとうきび300万円＋野菜200万円）×100＝60（%）

１　所有地

(1)　作付地

当年産のさとうきび生産のために作付けした所有地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに〇を付けてください。
また、作型が夏植えの場合は、「夏植え」欄に〇を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	さとうきび負担割合（%）	地目 田	地目 畑	夏植え
1		ha a .	ha a .		○	○	○
2		.	.		○	○	○
3		.	.		○	○	○
4		.	.		○	○	○
5		.	.		○	○	○
6		.	.		○	○	○
7		.	.		○	○	○
8		.	.		○	○	○
9		.	.		○	○	○
10		.	.		○	○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産のさとうきびの収穫が終わる前の１年（夏植えの場合は１年半）の間に、
・さとうきびのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・さとうきび以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産のさとうきび生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。
なお、作型が夏植えの場合は、「夏植え」欄に〇を付けてください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	さとうきび負担割合（%）	夏植え
1		ha a .	ha a .		○
2		.	.		○
3		.	.		○

２　借入地

(1)　作付地

当年産のさとうきび生産のために作付けした借入地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに〇を付けてください。
また、作型が夏植えの場合は、「夏植え」欄に〇を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	支払地代（円）	さとうきび負担割合（%）	地目 田	地目 畑	夏植え
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十		○	○	○
2		.	.			○	○	○
3		.	.			○	○	○
4		.	.			○	○	○
5		.	.			○	○	○
6		.	.			○	○	○
7		.	.			○	○	○
8		.	.			○	○	○
9		.	.			○	○	○
10		.	.			○	○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産のさとうきび生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。
なお、作型が夏植えの場合は、「夏植え」欄に〇を付けてください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	支払賃借料（円）	さとうきび負担割合（%）	夏植え
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十		○
2		.	.			○
3		.	.			○

【12】作業別労働時間

当年産のさとうきび生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1　家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2　雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	氏名	性別（男・女）	（年齢）（歳）	雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
				時間			時間			時間			時間			時間			時間		時間	時間		
育苗	定植用の苗管理一切																					育苗	定植用の苗管理一切
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り																					耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り
基肥	基肥の配合、運搬、施肥																					基肥	基肥の配合、運搬、施肥
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植																					定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植
株分け	苗の消毒、調苗、株の切断																					株分け	苗の消毒、調苗、株の切断
追肥	追肥の配合、運搬、施肥																					追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布																					中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り																					管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策																					防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
はく葉	はく葉																					はく葉	はく葉
収穫	収穫、運搬																					収穫	収穫、運搬
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）																					生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等																					間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

3　支払賃金

当年産のさとうきび生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円） 万 千 百 十	さとうきび負担割合（%）
男		
女		

・さとうきび生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・さとうきび生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第１３号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

別添3－13

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産　米生産費統計調査票（案）

（組織法人経営体用）

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

１．○年産の米生産費について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「食用米（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産の食用米の生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　食用米とは
　食用に供する水稲のことをいい、種子も含めた主食用米（政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）、加工用米、米粉用米が該当します。（食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含みません。）

※２　この調査での食用米の生産とは
　組織内での生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（食用米負担割合について）】

食用米を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から食用米負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
食用米と小麦を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した窒素質肥料「1,000kg」を、食用米「８ha」、小麦「２ha」の作付地に施肥した場合

例１　食用米に施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	食用米負担割合（%）
窒素質肥料	800	80000	100

食用米負担割合には100%と記入

例２　食用米、小麦に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
食用米と小麦の作付面積割合「８：２」を目安に食用米負担割合を「80%」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	食用米負担割合（%）
窒素質肥料	1000	100000	80

食用米負担割合には80%と記入

【食用米負担割合の設定方法】

食用米を含めた複数の作物を作付けしている場合の食用米負担割合を設定する方法について説明します。

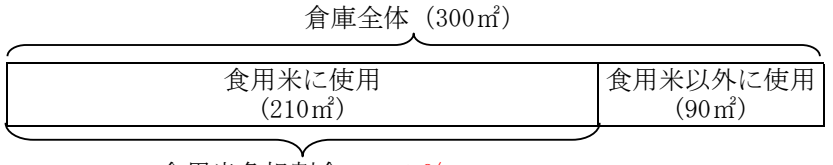
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、食用米生産のために使用した面積の割合を「食用米負担割合」とします。

$$\text{食用米負担割合} = \frac{\text{食用米に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が300㎡で、うち食用米生産のために210㎡、食用米以外の作物に90㎡を使用した場合の「食用米負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、食用米生産のために使用した時間の割合を「食用米負担割合」とします。

$$\text{食用米負担割合} = \frac{\text{食用米に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：トラクター全体の使用時間が200時間で、うち食用米生産のために80時間、食用米以外の作物に120時間使用した場合の「食用米負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

調　査　事　項

ページ

【１】　経営の概況 …… 3
　経営している耕地の状況、構成員の人数や構成農家の世帯数、食用米生産における作業受託・委託別状況、農業共済金及び助成金等について記入してください。

【２】　生産物の販売等の状況 …… 5
　食用米、稲わら及びくず米の販売状況等について記入してください。

【３】　食用米の生産のために使用した資材等 …… 6
　種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライスセンター費等の賃借料・料金等について記入してください。

【４】　物件税及び公課諸負担 …… 9
　固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。

【５】　土地改良及び水利費 …… 9
　土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。

【６】　借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9
　借入金残高、支払利子について記入してください。

【７】　建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10
　生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

【８】　自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11
　生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

【９】　農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12
　生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

【10】　農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13
　生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。

【11】　土地の面積及び地代 …… 14
　所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。

【12】　作業別労働時間 …… 15
　構成員、雇用別の作業労働時間、田植・収穫の開始日と終了日、雇用者に支払った賃金について記入してください。

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　分	所有地（ａ）		借入地（ａ）	
	ha	a	ha	a
田				
普　通　畑				
樹　園　地				
牧　草　地				

２　構成員数と構成農家数等

構成員、農業年雇の人数、構成農家世帯数について記入してください。

区　分	用　語　の　説　明	人数等	単位
構　成　員	貴組織法人に出資している個人（自然人）のうち、貴組織法人の事業に１日以上従事した者		人
農　業　年　雇	構成員を除き、農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		人
構成農家世帯	貴組織法人に出資している個人（自然人）の属する農家世帯（経営耕地面積が10ａ以上又は農産物販売金額が15万円以上の世帯）		戸

構成農家世帯数は、貴組織法人への出資者（個人）が農家世帯である場合に、その世帯数を記入します。
例えば、同じ農家世帯から出資者が２名いる場合、ここでいう構成農家世帯数は「１」戸になります。

３　認定農業者の状況

貴組織法人は認定農業者ですか。
該当を○で囲んでください。

はい　いいえ

４　稲作主体の経営

１年間における農産物総販売金額の中で、稲作販売金額が１位でしたか。
該当を○で囲んでください。

はい　いいえ

５　直近５か年の10ａ当たり収量

直近５か年における食用米の10ａ当たり収量を記入してください。

区　分	１年前	２年前	３年前	４年前	５年前
10ａ当たり収量（kg）					

本調査の対象作物は、**食用米**（食用に供する水稲のことをいい、種子も含めた主食用米（政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）、加工用米、米粉用米）です。
　食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含めないでください。

【１】経営の概況（続き）

６　移植・直まき面積

食用米を作付けたほ場について、移植と直まき別の作付面積を記入してください。

区　分	面　積（ａ）
移　植	ha　a
直　ま　き	ha　a

注：面積の合計が当年産の食用米作付面積です。

７　飼料用米作付面積

当年産に飼料用米の作付けがあった場合は、その作付面積を記入してください。

区　分	面　積（ａ）
飼料用米作付面積	ha　a

注：ＷＣＳ用稲は含めないでください。

８　水稲作付ほ場規模別枚数及び面積

食用米を作付けたほ場の規模別枚数及び合計面積を記入してください。

区　分	ほ場枚数（枚）	面　積（ａ）
未整理又は10a未満		ha　a
10a～20a区画		
20a～30a区画		
30a～50a区画		
50a～１ha区画		
１ha以上区画		

注：面積の合計が当年産の食用米作付面積です。

９　田の状況

食用米を作付けた田の状況について記入してください。

区　分		団地数等
田の団地数		団地
区画整理済み面積割合	50%未満	①
	50～80％	②
	80％以上	③

団地とは、田を含む地続きの耕地の一団をいいます。
ただし、地続きの耕地の一団が、他人の経営する耕地等によって分割されていても、作業単位として分離されていない場合は、同一の団地としてください。

１０　ほ場間の距離及び団地への平均距離

食用米を作付けたほ場間の距離や団地への平均距離について記入してください。

区　分	距離（km）
ほ場間の距離	km
団地への平均距離	

ほ場間の距離とは、２つ以上団地がある場合、最も離れたほ場間を、最も使われる道のりで移動した距離のことをいいます。このため、団地数が１つの場合は記入不要です。

団地への平均距離とは、居住箇所を起点として、それぞれの団地へ、最も使われる道のりで移動した距離を、団地数の合計で割ったものです。

１１　食用米生産における作業受託・委託の状況

全作業には、同一ほ場において、育苗から乾燥・調製までの一切の作業を受託した面積（実面積）を記入してください。
耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。
育苗は、引き受けた苗箱等の数量から、田植えのほ場面積を見積もり記入してください。
乾燥・調製は、玄米の数量を記入してください。

(1) 受託作業別の状況

区　分	数　量	単位
全作業	ha　a	a
耕うん・整地		a
育苗		a
田植		a
防除		a
刈取・脱穀		a
乾燥・調製	万 千 百 十 0	kg

(2) 委託作業別の状況

区　分	数　量	単位
育苗	ha　a	a
防除		a

１２　食用米（うるち米）の品種別作付面積

当年産に作付けした食用米（うるち米）の品種名及びその作付面積を記入してください。

区　分	品種名	面　積（ａ）	区　分	品種名	面　積（ａ）
品種１		ha　a	品種６		ha　a
品種２			品種７		
品種３			品種８		
品種４			品種９		
品種５			品種10		

１３　制度受取金等の状況

当年産の食用米に係る制度受取金等について記入してください。

区　分	掛　金（円）	受　取　金（円）
農業共済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。

【２】生産物の販売等の状況

１　食用米の販売状況等（玄米換算）

当年産の食用米の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分		内容例示	数量（kg）	金額（円）
販売用（予定を含む。）	主食用（計）	主食用米として販売された米（いわゆる縁故米、贈答米、産直米、政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）及びその種子	万 千 百 十	万 千 百 十
	加工用（計）	加工用として販売された米（加工用米、米粉用米）及びその種子		
	区分出荷	集荷円滑化対策において区分出荷された米		
組織内消費	種子用	種子用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	飯米用	飯米用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	その他	種子用、飯米用以外に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

２　稲わら、くず米の販売状況等

当年産の食用米生産で発生した稲わら、くず米及びもみがらの販売状況等について記入してください。

また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

(1)　稲わら

「数量の割合」欄には、全体の数量を100％とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

区分		内容例示	数量の割合（%）	金額（円）
販売用	加工品等	民芸品、なわ等の原料仕向けのもの		万 千 百 十
	その他（肥料、飼料、敷料等）	飼料、敷料、たい肥等仕向けのもの（きゅう肥交換を含む。）		
組織内消費	生わら	コンバインの切断わら、野積み、野ざらし状態のもの（無評価）		
	乾燥わら	収納された稲わらで、自家仕向けのもの（水田還元、敷料、たい肥等）		
	その他（焼却、放棄）	焼却、放棄（無評価）		
計			１００	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

稲わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「組織内消費」の用途別に割合を記入してください。（用途別の合計が100となります。）

(2)　くず米及びもみがら

くず米及びもみがらについて、用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合（%）	販売用	組織内消費	その他（廃棄等）
くず米	１００			
もみがら	１００			

くず米及びもみがらの総量を100%とした場合の「販売用」、「組織内消費」、「その他（廃棄等）」の各割合を記入してください。（販売用、組織内消費、その他（廃棄等）の合計が100となります。）

区分	販売金額（円）
くず米	万 千 百 十
もみがら	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

当年産の水稲栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)　新たな品種の導入

(2)　直まき栽培の導入

(3)　新たな設備・機械の導入

(4)　その他（新たな栽培技術の導入）

通　信　欄

【３】食用米の生産のために使用した資材等

1　種苗費

当年産の食用米生産のために使用した種子及び苗について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(1)　種子

品種名等		数量（kg）	金額（円）	食用米負担割合（%）
	（計）	万 千 百 十	万 千 百 十	
購入				
自給				

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2)　苗

品種名等		植え付けた面積（a）	金額（円）	食用米負担割合（%）
	（計）	ha a	万 千 百 十	
購入				

【３】食用米の生産のために使用した資材等（続き）

２　肥料費

当年産の食用米生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

	資材名等	数量（kg）	金額（円）	食用米負担割合（%）	備考欄
購入	窒素質肥料（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		
	りん酸質肥料（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		
	カリ質肥料（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		
	けい酸質肥料（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		
	炭酸カルシウム（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		炭酸カルシウムには石灰を含みます。なお、融雪剤として使用した分は「５諸材料費」に記入してください。
	複合肥料（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		
	土壌改良資材		万 千 百 十		微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
	たい肥・きゅう肥	万 千 百 十			
	その他				

２　肥料費（続き）

当年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自家で生産した肥料について記入してください。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

	資材名等	数量（kg）	食用米負担割合（%）
自給	たい肥	万 千 百 十	
	きゅう肥		
	稲・麦わら		
	その他		

注１：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いで記入してください。
　２：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

３　農業薬剤費

当年産の食用米生産のために使用した農業薬剤について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）	食用米負担割合（%）	備考欄
殺虫剤（計）	万 千 百 十		
殺菌剤（計）	万 千 百 十		
殺虫殺菌剤（計）	万 千 百 十		
除草剤（計）	万 千 百 十		
その他	万 千 百 十		殺鼠剤、植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材（育苗箱など）の殺菌・消毒剤など

注１：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「６　賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。
　２：除草剤等農薬入りの肥料は「２　肥料費」の「その他」に記入してください。

【３】食用米の生産のために使用した資材等（続き）

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

４　光熱動力費

当年産の食用米生産のために使用した光熱動力について記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	食用米負担割合（%）
動力燃料	重油	万 千 百 十	L	万 千 百 十	
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電力料			－		
その他（水道料、木炭などの燃料）			－		
自給					

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・食用米のみの使用分を記入する場合は100（%）としてください。
・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

５　諸材料費

当年産の食用米生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	食用米負担割合（%）
購入	育苗用土（素土含む。）	万 千 百 十	kg	万 千 百 十	
	その他（計）				
自給					

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

諸材料には、育苗箱マット、あぜ波板、ビニール・シート（償却資産に属する建物（育苗ハウス等）のビニール張り替え費用については、建物費の修繕費に計上）、なわ、バインダー用結束ひも等が入ります。

・食用米のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

６　賃借料及び料金

当年産の食用米生産のために支払った賃借料や料金について記入してください。

料金名等		数量	単位	金額（円）	食用米負担割合（%）
共同負担金	薬剤散布		－	万 千 百 十	
	共同施設		－		
	共同苗代		－		
農機具借料			－		
航空防除賃		ha a .	a		
賃耕料		.	a		
は種・田植賃		.	a		
収穫請負わせ賃		.	a		
ライスセンター費		万 千 百 十 .	kg		
カントリーエレベーター費		.	kg		
上記以外の乾燥・調製委託料		.	kg		
その他			－		

注１：　共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
２：　ライスセンター、カントリーエレベーター等に乾燥・調製を委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれる場合、包装荷造り費を除いて記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担した食用米生産に関係する物件税について記入してください。

区　　分	金　額　（円）	食用米負担割合（%）
固定資産税（建物）	万 千 百 十	
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

・食用米のみの負担分を記入する場合は100（%）としてください。
・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係るものを除いて記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担した食用米生産に関係する公課諸負担について記入してください。

区　　分	金　額　（円）	食用米負担割合（%）
集落協議会費（地域集落等の会費）	万 千 百 十	
農業協同組合費		
農事実行組合費（稲作部会等の会費）		
農業共済組合賦課金		

・食用米のみの負担分を記入する場合は100（%）としてください。
・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、食用米の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【５】土地改良及び水利費

当年産の食用米生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について記入してください。

１　土地改良区費

事　業　種　類	食用米作付ほ場負担金額（円）		食用米負担割合（%）
	維持負担金	償還金	
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

２　水利費等

費　用　名	食用米作付ほ場負担金額（円）	食用米負担割合（%）
水利組合費	万 千 百 十	
揚水ポンプ組合費		
その他		

・食用米のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、食用米の収入が占める割合を目安に記入してください。

・食用米のみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

当年産の食用米生産のための借入金及び支払利子について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資金名（用途）		調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	食用米負担割合（%）
短期借入金	（計）	万 千 百 十	万 千 百 十	
長期借入金	（計）	万 千 百 十	万 千 百 十	
買掛未払金		万 千 百 十	万 千 百 十	

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

食用米生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円） 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円） 建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円） 当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円） 当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	食用米負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円） 売却金額、取り壊しの金額
1							年	月	億 万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード

建築物			
1	住　宅	8	車　庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
14	稲　架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客　土	31	その他の構築物

構造コード

建築物
（１住宅）～（13その他の建築物）

1	木　造	6	木造モルタル	9 鉄骨	骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金　属	10 骨造	骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				

構築物
（14稲架）～（31その他の構築物）

1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金　属	5	合成樹脂
		3	木　造	6	塩化ビニール
		4	土　管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売　却

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

食用米生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
- 自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- バッテリー・補充液
- 洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

- 食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- 食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	食用米負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
（１　貨物自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
（２　その他の自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

食用米生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。自賠責保険（円）	食用米負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード

1	電動機	19	バインダー
2	発動機	20	自脱型コンバイン
3	歩行用トラクター	21	普通型コンバイン
4	乗用トラクター	29	脱穀機
12	電熱育苗機	31	乾燥機
13	田植機	32	もみすり機
15	揚水ポンプ	56	その他の農機具
17	動力噴霧機	57	パソコン
18	動力散粉機	58	その他の生産管理機器
33	ドローン		

型式コード

（4　乗用トラクター）

1	２０馬力未満
2	２０～５０馬力未満
3	５０～８０馬力未満
4	８０～１００馬力未満
5	１００馬力以上

（13　田植機）

1	２条植
2	３～５条植
3	６～７条植
4	８条植以上

（20　自脱型コンバイン）

1	３条刈以下
2	４～５条刈
3	６条刈以上

（31　乾燥機）

1	静置式
2	循環式

（56　その他の農機具）

1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年

上記以外の農機具

6	その他

異動コード

1	売　却
2	廃棄等

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産の食用米生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

	名　称　等	金　額　（　円　）	食用米負担割合（%）	内　容　例　示
	（計）	万 千 百 十		【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費
農具・農業被服等の購入費				

	名　称　等	金　額　（　円　）	食用米負担割合（%）	内　容　例　示
	（計）	万 千 百 十		【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料
生産管理関係の費用				

【11】土地の面積及び地代

当年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
・食用米のみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
・食用米以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、食用米と食用米以外の作物との過去１年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】Ａ団地（ほ場）に食用米と小麦を作付けており、過去１年間における作物別の収入が食用米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。

$$\frac{\text{食用米400万円}}{\text{（食用米400万円＋小麦400万円）}} \times 100 =$$

1　所有地

(1)　作付地

当年産の食用米生産のために作付けした所有地について記入してください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	食用米負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	
2		.	.	
3		.	.	
4		.	.	
5		.	.	
6		.	.	
7		.	.	
8		.	.	
9		.	.	
10		.	.	

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産の食用米の収穫が終わる前の１年間に、
・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・食用米以外にも使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	食用米負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	
2		.	.	
3		.	.	

2　借入地

(1)　作付地

当年産の食用米生産のために作付けした借入地について記入してください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	支払地代（円）	食用米負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十	
2		.	.		
3		.	.		
4		.	.		
5		.	.		
6		.	.		
7		.	.		
8		.	.		
9		.	.		
10		.	.		

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	支払賃借料（円）	食用米負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十	
2		.	.		
3		.	.		

【12】作業別労働時間

当年産の食用米生産における主な作業時間（受託による作業時間は含みません。）について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1　構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間

作業ごとの延べ作業時間とその作業に携わった実人数を記入してください。
なお、構成員の労働時間については、構成員の年齢階層（65歳未満、65～69歳、70～74歳、75歳以上）別に記入してください。

作業種類	内容例示	構成員の年齢階層								雇用		作業種類
		65歳未満		65～69歳		70～74歳		75歳以上		合計		
		延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	
		時間	人	時間	人	時間	人	時間	人	時間	人	
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽											種子予措
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業											育苗
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り											耕起整地
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入											基肥
直まき	直まき、覆土に係る労働											直まき
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け											田植
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布											追肥
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき											除草
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理											管理
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策											防除
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理											刈取脱穀
乾燥	乾燥、もみすり（注）、もみ及び玄米運搬											乾燥
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）											生産管理
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等											間接労働

注：「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した作業時間を除いて記入してください。

2　食用米の田植、収穫期間

当年産の田植、収穫を開始した日と終了した日を記入してください。

区分	開始日			終了日		
田植	月	日		月	日	
収穫	月	日		月	日	

3　支払賃金

当年産の食用米生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）							食用米負担割合（%）
	万	千	百	十				
合計								

・食用米生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第１４号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

別添3－14

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産　小麦生産費統計調査票（案）

（組織法人経営体用）

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

１．○年産の小麦生産費について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「小麦（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産の小麦の生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　小麦とは
　　食用だけでなく、種子用の麦も該当します。（青刈り目的で栽培している小麦は含みません。）

※２　この調査での小麦の生産とは
　　組織内での生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（小麦負担割合について）】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から小麦負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
小麦と水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、小麦「２ha」、水稲「８ha」の作付地に施肥した場合

例１　小麦に施肥した数量、金額を記入する方法

区　　分	数　量（kg）	金　　額　（円）	小麦負担割合（%）
肥料（購入）計	200	20000	100

← 小麦負担割合には100%と記入

例２　小麦、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
小麦と水稲の作付面積割合「２：８」を目安に小麦負担割合を「２０%」と記入してください。

区　　分	数　量（kg）	金　　額　（円）	小麦負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	100000	20

← 小麦負担割合には20%と記入

【小麦負担割合の設定方法】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合の小麦負担割合を設定する方法について説明します。

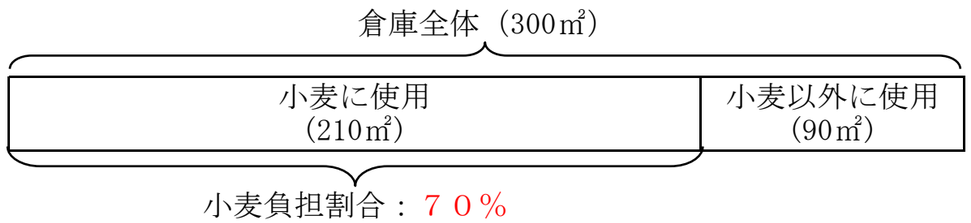
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、小麦生産のために使用した面積の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うち小麦生産のために210㎡、小麦以外の作物に90㎡を使用した場合の「小麦負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、小麦生産のために使用した時間の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うち小麦生産のために80時間、小麦以外の作物に120時間使用した場合の「小麦負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

調　査　事　項

ページ

【１】　経営の概況 …… 3
　経営している耕地の状況、構成員の人数や構成農家の世帯数、小麦生産における作業受託・委託別状況、農業共済金及び助成金等について記入してください。

【２】　生産物の販売等の状況 …… 5
　小麦の品質・用途別、麦わら及びくず麦の販売状況について記入してください。

【３】　小麦の生産のために使用した資材等 …… 6
　種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライスセンター費等の賃借料・料金等について記入してください。

【４】　物件税及び公課諸負担 …… 9
　固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。

【５】　土地改良及び水利費 …… 9
　土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。

【６】　借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9
　借入金残高、支払利子について記入してください。

【７】　建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10
　生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

【８】　自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11
　生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

【９】　農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12
　生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

【10】　農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13
　生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。

【11】　土地の面積及び地代 …… 14
　所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。

【12】　作業別労働時間 …… 15
　構成員、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　　分	所有地（ａ）	借入地（ａ）
	ha　a	ha　a
田		
普　通　畑		
樹　園　地		
牧　草　地		

２　構成員数と構成農家数等

構成員、農業年雇の人数、構成農家世帯数について記入してください。

区　　分	用　　語　　の　　説　　明	人数等	単位
構　成　員	貴組織法人に出資している個人（自然人）のうち、貴組織法人の事業に１日以上従事した者		人
農　業　年　雇	構成員を除き、農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		人
構成農家世帯	貴組織法人に出資している個人（自然人）の属する農家世帯（経営耕地面積が10ａ以上又は農産物販売金額が15万円以上の世帯）		戸

構成農家世帯数は、貴組織法人への出資者（個人）が農家世帯である場合に、その世帯数を記入します。
例えば、同じ農家世帯から出資者が２名いる場合、ここでいう構成農家世帯数は「１」戸になります。

３　認定農業者の状況

貴組織法人は認定農業者ですか。
該当を○で囲んでください。

はい	いいえ

４　直近５か年の10ａ当たり収量

直近５か年における小麦の10ａ当たり収量を記入してください。

区　　分	１年前	２年前	３年前	４年前	５年前
10ａ当たり収量（kg）					

本調査の対象作物は、食用だけでなく、種子用を含めた小麦です。
青刈り目的で栽培している小麦は含めないでください。

【１】経営の概況（続き）

５　小麦生産における作業受託・委託の状況

全作業には、同一ほ場において、耕うん・整地から乾燥・調製までの一切の作業を受託した面積（実面積）を記入してください。

耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。

乾燥・調製は、玄麦の数量を記入してください。

(1)　受託作業別の状況

区　分	数　量	単位
全　作　業	ha a .	a
耕うん・整地	.	a
は　種	.	a
防　除	.	a
刈取・脱穀	.	a
乾燥・調製	万 千 百 十 . 0	kg

(2)　委託作業別の状況

区　分	数　量	単位
耕うん・整地	ha a .	a
は　種	.	a
防　除	.	a
刈取・脱穀	.	a
乾燥・調製	万 千 百 十 . 0	kg

６　小麦の品種別作付面積

当年産に作付けした小麦の品種名及びその作付面積を記入してください。

区　分	品種名	面積（ａ）
品種１		ha a .
品種２		.
品種３		.
品種４		.
品種５		.

注：　面積の合計が当年産の小麦作付面積です。

７　制度受取金等の状況

当年産の小麦に係る制度受取金等について記入してください。

区　分	掛金（円）	受取金（円）
農業共済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。

当年産の小麦栽培の特徴

１　作柄概況

２　被害の状況や品質

３　栽培状況の変化

(1)　新たな品種の導入

(2)　新たな設備・機械の導入

(3)　その他（新たな栽培技術の導入）

通　信　欄

【２】生産物の販売等の状況

１　小麦の品質・用途別の販売状況等（玄麦換算）

当年産の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

１等、２等、規格外Ａ及びＢについて、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分		内容例示	数量（kg）	金額（円）
販売用（予定を含む。）	１等（計）	農産物検査において「１等」と判定されたもの	万 千 百 十	万 千 百 十
	２等（計）	農産物検査において「２等」と判定されたもの		
	規格外Ａ（計）	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Ａランクのもの		
	規格外Ｂ（計）	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Ｂランクのもの		
	規格外Ｃ	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Ｃランクのもの		
	その他	種子用のほか、１・２等や規格外と同等の品質を有するもの		
組織内消費	食用	食用に仕向けた（予定を含む。）１・２等、規格外Ａのもの		
	種子用	種子用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	規格外Ｂ	組織内に仕向けた（予定を含む。）規格外のうちＢランクのもの		
	規格外Ｃ	組織内に仕向けた（予定を含む。）規格外のうちＣランクのもの		
	その他	食用、種子用、規格外Ｂ・Ｃ以外に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

２　麦わら、くず麦の販売状況等

当年産の小麦生産で発生した麦わら及びくず麦の状況について記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

(1)　麦わら

「数量の割合」欄には、全体の数量を100％とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

区分	内容例示	数量の割合（%）	金額（円）
販売用	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等		万 千 百 十
組織内消費	販売していない麦わら全般		
うち無評価分	刈取機の切断わらや野積み等のわら		
計		１００	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

麦わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「組織内消費」の用途別に割合を記入してください。（用途別の合計が100となります。）

(2)　くず麦

くず麦について、用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合（%）	販売用	組織内消費	その他（廃棄等）
くず麦	１００			

くず麦の総量を100%とした場合の「販売用」、「組織内消費」、「その他（廃棄等）」の各割合を記入してください。
（販売用、組織内消費、その他（廃棄等）の合計が100となります。）

区分	販売金額（円）
くず麦	万 千 百 十

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

自　由　記　入　欄

【３】小麦の生産のために使用した資材等

１　種苗費

当年産の小麦生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　種子（購入）

品　種　名	数　量	単位	金　額　（　円　）
計		―	万 千 百 十

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

(2)　種子（自給）

品　種　名	数　量	単位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【３】小麦の生産のために使用した資材等（続き）

２　肥料費

当年産の小麦生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　購入

資材名等		数量	単位	金額（円）	小麦負担割合（%）	備考欄
計			―	万 千 百 十		
窒素質						
りん酸質						
カリ質						
けい酸質						
炭酸カルシウム（石灰含む。）						※融雪剤として使用した分は「５　諸材料費」に記入してください。
複合肥料						
土壌改良資材						微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥						
その他			―			

・小麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

２　肥料費（続き）

(2)　自給（組織内で生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	小麦負担割合（%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注１：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
　２：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

３　農業薬剤費

当年産の小麦生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		金額（円）	小麦負担割合（%）	備考欄
計		万 千 百 十		
殺虫剤				
殺菌剤				
殺虫殺菌剤				
除草剤				
その他				植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

注１：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「６　賃借料及び料金」に記入してください。
　２：除草剤等農薬入りの肥料は「２　肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」。）」に記入してください。

【３】小麦の生産のために使用した資材等（続き）

４　光熱動力費

当年産の小麦生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）万 千 百 十	小麦負担割合（%）
購入（計）			―		
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電力料			―		
その他（水道料、木炭などの燃料）			―		
自給					

・小麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

５　諸材料費

当年産の小麦生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額（円）万 千 百 十	小麦負担割合（%）
購入（計）		―		
自給				

・小麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

・小麦のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

６　賃借料及び料金

当年産の小麦生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）万 千 百 十	小麦負担割合（%）
計			―		
負担金 共同	薬剤散布		―		
	共同施設		―		
農機具借料			―		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
乾燥調製料			kg		
その他			―		

注１：　共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
　２：　乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担した小麦生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	小麦負担割合（%）
計	万 千 百 十	
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

・小麦のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

２　公課諸負担

１年間に負担した小麦生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	小麦負担割合（%）
計	万 千 百 十	
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（麦作部会等の各種部会費）		
農業共済組合賦課金		

・小麦のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち小麦の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【５】土地改良及び水利費

当年産の小麦生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

１　土地改良区費

事業種類	小麦作付ほ場負担金額（円）		小麦負担割合（%）
	維持負担金	償還金	
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

・小麦のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、小麦の収入が占める割合を目安に記入してください。

２　水利費等

費用名	小麦作付ほ場負担金額（円）	小麦負担割合（%）
水利に係る費用計	万 千 百 十	

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

当年産の小麦生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・小麦のみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	小麦負担割合（%）
計	万 千 百 十	万 千 百 十	
借入金			
借入金			
借入金			
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

小麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「小麦負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

・小麦のみに使用した場合は、100（%）として　ください。
・小麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新築	中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	小麦負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1							年	月	億 万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード

建	**築**		**物**
1	住　宅	8	車　庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構	**築**		**物**
14	稲　架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客　土	31	その他の構築物

構造コード

建築物
（１住宅）～（13その他の建築物）

1	木　造	6	木造モルタル	9	鉄骨造　骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金　属	10	骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				

構築物
（14稲架）～（31その他の構築物）

1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金　属	5	合成樹脂
		3	木　造	6	塩化ビニール
		4	土　管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売　却

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

小麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「小麦負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

・小麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	小麦負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1				○	○		年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2				○	○												
3				○	○												
4				○	○												
5				○	○												
6				○	○												
7				○	○												
8				○	○												
9				○	○												
10				○	○												
11				○	○												
12				○	○												
13				○	○												
14				○	○												
15				○	○												

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
（１　貨物自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
（２　その他の自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

小麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「小麦負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

・小麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険（円）	小麦負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1				○	○		年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2				○	○													
3				○	○													
4				○	○													
5				○	○													
6				○	○													
7				○	○													
8				○	○													
9				○	○													
10				○	○													
11				○	○													
12				○	○													
13				○	○													
14				○	○													
15				○	○													

種類コード

3	歩行用トラクター	20	自脱型コンバイン
4	乗用トラクター	21	普通型コンバイン
8	たい肥等散布機	29	脱穀機
9	肥料散布機	31	乾燥機
10	総合は種機	54	トレーラー
16	中耕除草機	56	その他の農機具
17	動力噴霧機	57	パソコン
18	動力散粉機	58	その他の生産管理機器
33	ドローン		

型式コード

（4　乗用トラクター）

1	２０馬力未満
2	２０～５０馬力未満
3	５０～８０馬力未満
4	８０～１００馬力未満
5	１００馬力以上

（20　自脱型コンバイン）

1	３条刈以下
2	４～５条刈
3	６条刈以上

（56　その他の農機具）

1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年

上記以外の農機具

6	その他

異動コード

1	売　却
2	廃棄等

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産の小麦生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・小麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

	名　称　等	金　額　（円）	小麦負担割合（%）	内　容　例　示
	（計）	万 千 百 十		【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費
農具・農業被服等の購入費				

	名　称　等	金　額　（円）	小麦負担割合（%）	内　容　例　示
	（計）	万 千 百 十		【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料
生産管理関係の費用				

【11】土地の面積及び地代

当年産の小麦の収穫が終わる前の１年間に、
・小麦のみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
・小麦以外の作物も作付けした団地(ほ場）においては、小麦とそれ以外の作物との過去１年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】Ａ団地（ほ場）に米と小麦を作付けており、過去１年間における作物別の収入が米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
小麦400万円÷（米400万円＋小麦400万円）×100＝50（%）

１　所有地

(1)　作付地

当年産の小麦生産のために作付けした所有地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	小麦負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .		○	○
2		.	.		○	○
3		.	.		○	○
4		.	.		○	○
5		.	.		○	○
6		.	.		○	○
7		.	.		○	○
8		.	.		○	○
9		.	.		○	○
10		.	.		○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産の小麦の収穫が終わる前の１年間に、
・小麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産の小麦生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	小麦負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	
2		.	.	
3		.	.	

２　借入地

(1)　作付地

当年産の小麦生産のために作付けした借入地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	支払地代（円）	小麦負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十		○	○
2		.	.			○	○
3		.	.			○	○
4		.	.			○	○
5		.	.			○	○
6		.	.			○	○
7		.	.			○	○
8		.	.			○	○
9		.	.			○	○
10		.	.			○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産の小麦生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	支払賃借料（円）	小麦負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十	
2		.	.		
3		.	.		

【12】作業別労働時間

当年産の小麦生産における主な作業時間（受託した作業時間は含みません。）について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1　構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間

作業ごとの延べ作業時間とその作業に携わった実人数を記入してください。
なお、構成員の労働時間については、構成員の年齢階層（65歳未満、65～69歳、70～74歳、75歳以上）別に記入してください。

作業種類	内容例示	構成員の年齢階層								雇用		作業種類
		65歳未満		65～69歳		70～74歳		75歳以上		合計		
		延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	
		時間	人	時間	人	時間	人	時間	人	時間	人	
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽											種子予措
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき小麦以外）											耕起整地
基肥	基肥の配合、運搬、施肥											基肥
は種	種子予措、選種、消毒、種まき、覆土											は種
追肥	追肥の配合、運搬、施肥											追肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布											中耕除草
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）											麦踏み
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき小麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り											管理
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策											防除
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊しを含む。）、麦稈の処理											刈取脱穀
乾燥	乾燥、調製											乾燥
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）											生産管理
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等											間接労働

2　支払賃金

当年産の小麦生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）					小麦負担割合（%）
	万	千	百	十		
合計						

・小麦生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第１５号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

別添3－15

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産　大豆生産費統計調査票（案）

（組織法人経営体用）

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

１．○年産の大豆生産費について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「大豆（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産の大豆の生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　大豆とは
普通大豆、特定加工用大豆及び種子大豆（黒大豆は除きます。）が該当します。

※２　この調査での大豆の生産とは
組織内での生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（大豆負担割合について）】

大豆を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から大豆負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
大豆と水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、大豆「２ha」、水稲「８ha」の作付地に施肥した場合

例１　大豆に施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	大豆負担割合（%）
肥料（購入）計	200	20000	100

大豆負担割合には100%と記入

例２　大豆、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
大豆と水稲の作付面積割合「２：８」を目安に大豆負担割合を「２０%」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	大豆負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	10000	20

大豆負担割合には20%と記入

【大豆負担割合の設定方法】

大豆を含めた複数の作物を作付けしている場合の大豆負担割合を設定する方法について説明します。

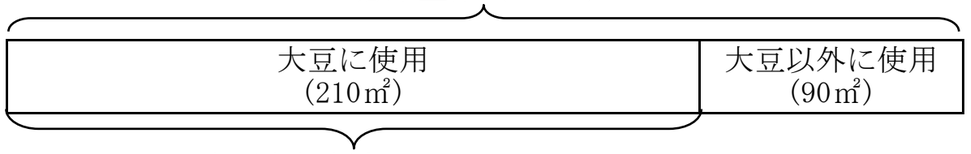
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、大豆生産のために使用した面積の割合を「大豆負担割合」とします。

$$\text{大豆負担割合} = \frac{\text{大豆に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うち大豆生産のために210㎡、大豆以外の作物に90㎡を使用した場合の「大豆負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



大豆負担割合：７０％

（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、大豆生産のために使用した時間の割合を「大豆負担割合」とします。

$$\text{大豆負担割合} = \frac{\text{大豆に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うち大豆生産のために80時間、大豆以外の作物に120時間使用した場合の「大豆負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

調　査　事　項

ページ

【１】　経営の概況 …… 3
　経営している耕地の状況、構成員の人数や構成農家の世帯数、大豆生産における作業受託・委託別状況、農業共済金及び助成金等について記入してください。

【２】　生産物の販売等の状況 …… 5
　大豆の品質・用途別、くず大豆等の販売状況について記入してください。

【３】　大豆の生産のために使用した資材等 …… 6
　種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライスセンター費等の賃借料・料金等について記入してください。

【４】　物件税及び公課諸負担 …… 9
　固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。

【５】　土地改良及び水利費 …… 9
　土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。

【６】　借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9
　借入金残高、支払利子について記入してください。

【７】　建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10
　生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

【８】　自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11
　生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

【９】　農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12
　生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

【10】　農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13
　生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。

【11】　土地の面積及び地代 …… 14
　所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。

【12】　作業別労働時間 …… 15
　構成員、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　　分	所有地（ａ）	借入地（ａ）
	ha a	ha a
田		
普　通　畑		
樹　園　地		
牧　草　地		

２　構成員数と構成農家数等

構成員、農業年雇の人数、構成農家世帯数について記入してください。

区　　分	用　　語　　の　　説　　明	人数等	単位
構　成　員	貴組織法人に出資している個人（自然人）のうち、貴組織法人の事業に１日以上従事した者		人
農　業　年　雇	構成員を除き、農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		人
構成農家世帯	貴組織法人に出資している個人（自然人）の属する農家世帯（経営耕地面積が10ａ以上又は農産物販売金額が15万円以上の世帯）		戸

構成農家世帯数は、貴組織法人への出資者（個人）が農家世帯である場合に、その世帯数を記入します。
例えば、同じ農家世帯から出資者が２名いる場合、ここでいう構成農家世帯数は「１」戸になります。

３　認定農業者の状況

貴組織法人は認定農業者ですか。
該当を○で囲んでください。

はい　いいえ

４　直近５か年の10ａ当たり収量

直近５か年における大豆の10ａ当たり収量を記入してください。

区　　分	１年前	２年前	３年前	４年前	５年前
10ａ当たり収量（kg）					

本調査の対象作物は、普通大豆、特定加工用大豆、種子大豆です。
　黒大豆は含めないでください。

【１】経営の概況（続き）

５　大豆生産における作業受託・委託の状況

全作業には、同一ほ場において、耕うん・整地から乾燥・調製までの一切の作業を受託した面積（実面積）を記入してください。

耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。

乾燥・調製は、乾燥子実の数量を記入してください。

(1)　受託作業別の状況

区　分	数　量	単位
全　作　業	ha a .	a
耕うん・整地	.	a
は　種	.	a
防　除	.	a
刈取・脱穀	.	a
乾燥・調製	万 千 百 十 . 0	kg

(2)　委託作業別の状況

区　分	数　量	単位
耕うん・整地	ha a .	a
は　種	.	a
防　除	.	a
刈取・脱穀	.	a
乾燥・調製	万 千 百 十 . 0	kg

６　大豆の品種別作付面積

当年産に作付けした大豆の品種名及びその作付面積を記入してください。

区　分	品種名	面積（ａ）
品種１		ha a .
品種２		.
品種３		.
品種４		.
品種５		.

注：　面積の合計が当年産の大豆作付面積です。

７　制度受取金等の状況

当年産の大豆に係る制度受取金等について記入してください。

区　分	掛金（円）	受取金（円）
農業共済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。

当年産の大豆栽培の特徴

１　作柄概況

２　被害の状況や品質

３　栽培状況の変化

(1)　新たな品種の導入

(2)　新たな設備・機械の導入

(3)　その他（新たな栽培技術の導入）

通　信　欄

【２】生産物の販売等の状況

１　大豆の品質・用途別の販売状況等

当年産の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

また、１等、２等、３等・規格外及び特定加工用について、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分			内容例示	数量（kg）	金額（円）
販売用（予定を含む。）	普通大豆	１等（計）	農産物検査において「１等」と判定されたもの	万 千 百 十	万 千 百 十
		２等（計）	農産物検査において「２等」と判定されたもの		
		３等・規格外（計）	農産物検査において「３等」又は「規格外」と判定されたもの		
	特定加工用（計）		特定加工用大豆として農産物検査において「合格」又は「規格外」と判定されたもの（豆腐・油揚げ・しょう油・きな粉等、大豆の原形をとどめない用途に使用する大豆。）		
	その他		種子用のほか、普通大豆や特定加工用と同等の品質を有するもの		
組織内消費	食用		食用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	種子用		種子用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	その他		食用、種子用以外に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

２　くず大豆等の状況

当年産の大豆生産で発生したくず大豆等（農産物検査で等級がつかなかったくず大豆等。）の状況について、記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分	内容例示	数量（kg）	金額（円）
販売用	販売した（予定を含む。）もの	万 千 百 十	万 千 百 十
組織内消費	組織内に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

自　由　記　入　欄

【３】大豆の生産のために使用した資材等

１　種苗費

当年産の大豆生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　種子（購入）

品　種　名　等	数　量	単位	金　額　（　円　）
計		―	万 千 百 十

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

(2)　種子（自給）

品　種　名　等	数　量	単位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【３】大豆の生産のために使用した資材等（続き）

２　肥料費

当年産の大豆生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　購入

資材名等	数量	単位	金額（円）	大豆負担割合（%）	備考欄
計		―	万 千 百 十		
窒素質					
りん酸質					
カリ質					
けい酸質					
炭酸カルシウム（石灰含む。）					※融雪剤として使用した分は「５　諸材料費」に記入してください。
複合肥料					
土壌改良資材					微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥					
その他		―			

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

２　肥料費（続き）

(2)　自給（組織内で生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	大豆負担割合（%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注１：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
　２：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

３　農業薬剤費

当年産の大豆生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）	大豆負担割合（%）	備考欄
計	万 千 百 十		
殺虫剤			
殺菌剤			
殺虫殺菌剤			
除草剤			
その他			植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

注１：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「６　賃借料及び料金」に記入してください。
　２：除草剤等農薬入りの肥料は「２　肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」。）」に記入してください。

【３】大豆の生産のために使用した資材等（続き）

４　光熱動力費

当年産の大豆生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）（万 千 百 十）	大豆負担割合（%）
購入（計）			―		
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電力料			―		
その他（水道料、木炭などの燃料）			―		
自給					

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

５　諸材料費

当年産の大豆生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額（円）（万 千 百 十）	大豆負担割合（%）
購入（計）		―		
自給				

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

・大豆のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

６　賃借料及び料金

当年産の大豆生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）（万 千 百 十）	大豆負担割合（%）
計			―		
共同負担金	薬剤散布		―		
	共同施設		―		
農機具借料			―		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
乾燥調製料			kg		
その他			―		

注１：　共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
　２：　乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担した大豆生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	大豆負担割合（%）
計	万 千 百 十	
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

・大豆のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担した大豆生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	大豆負担割合（%）
計	万 千 百 十	
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（大豆作部会等の各種部会費）		
農業共済組合賦課金		

・大豆のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、大豆の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【５】土地改良及び水利費

当年産の大豆生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

１　土地改良区費

事　業　種　類	大豆作付ほ場負担金額（円）		大豆負担割合（%）
	維持負担金	償還金	
	万 千 百 十	万 千 百 十	
ほ場整備事業			
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

２　水利費等

費　用　名　等	大豆作付ほ場負担金額（円）	大豆負担割合（%）
	万 千 百 十	
水利に係る費用計		

・大豆のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、大豆の収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

当年産の大豆生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・大豆のみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	大豆負担割合（%）
計	万 千 百 十	万 千 百 十	
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

大豆生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「大豆負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	区分 新築	区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	大豆負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1							年	月	億 万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード

	建築物		
1	住　宅	8	車　庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
	構築物		
14	稲　架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客　土	31	その他の構築物

構造コード

建築物
（１住宅）～（13その他の建築物）

1	木　造	6	木造モルタル	9	鉄骨造 骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金　属	10	鉄骨造 骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	鉄骨造 骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				

構築物
（14稲架）～（31その他の構築物）

1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金　属	5	合成樹脂
		3	木　造	6	塩化ビニール
		4	土　管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売　却

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

大豆生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「大豆負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円） 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円） 当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円） 当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円） 当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	大豆負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円） 廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
（１　貨物自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
（２　その他の自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

大豆生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「大豆負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険（円）	大豆負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1				○	○		年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2				○	○													
3				○	○													
4				○	○													
5				○	○													
6				○	○													
7				○	○													
8				○	○													
9				○	○													
10				○	○													
11				○	○													
12				○	○													
13				○	○													
14				○	○													
15				○	○													

種類コード

3	歩行用トラクター	21	普通型コンバイン
4	乗用トラクター	23	大豆収穫機
8	たい肥等散布機	29	脱穀機
9	肥料散布機	31	乾燥機
10	総合は種機	54	トレーラー
16	中耕除草機	56	その他の農機具
17	動力噴霧機	57	パソコン
18	動力散粉機	58	その他の生産管理機器
20	自脱型コンバイン	33	ドローン

型式コード

（4　乗用トラクター）

1	２０馬力未満
2	２０～５０馬力未満
3	５０～８０馬力未満
4	８０～１００馬力未満
5	１００馬力以上

（20　自脱型コンバイン）

1	３条刈以下
2	４～５条刈
3	６条刈以上

（56　その他の農機具）

1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年

上記以外の農機具

6	その他

異動コード

1	売　却
2	廃棄等

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産の大豆生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

	名　称　等	金　額　（　円　）	大豆負担割合（%）	内　容　例　示
農具・農業被服等の購入費	（計）	万 千 百 十		【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	名　称　等	金　額　（　円　）	大豆負担割合（%）	内　容　例　示
生産管理関係の費用	（計）	万 千 百 十		【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】土地の面積及び地代

当年産の大豆の収穫が終わる前の１年間に、
・大豆のみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
・大豆以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、大豆とそれ以外の作物との過去１年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】Ａ団地（ほ場）に小麦と大豆を作付けており、過去１年間における作物別の収入が小麦300万円、大豆200万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
大豆200万円÷（小麦300万円＋大豆200万円）×100＝40（%）

１　所有地

(1)　作付地

当年産の大豆生産のために作付けした所有地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに〇を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	大豆負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .		○	○
2		.	.		○	○
3		.	.		○	○
4		.	.		○	○
5		.	.		○	○
6		.	.		○	○
7		.	.		○	○
8		.	.		○	○
9		.	.		○	○
10		.	.		○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産の大豆の収穫が終わる前の１年間に、
・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産の大豆生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	大豆負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	
2		.	.	
3		.	.	

２　借入地

(1)　作付地

当年産の大豆生産のために作付けした借入地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに〇を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	支払地代（円）	大豆負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十		○	○
2		.	.			○	○
3		.	.			○	○
4		.	.			○	○
5		.	.			○	○
6		.	.			○	○
7		.	.			○	○
8		.	.			○	○
9		.	.			○	○
10		.	.			○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産の大豆生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	支払賃借料（円）	大豆負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十	
2		.	.		
3		.	.		

【12】作業別労働時間

当年産の大豆生産における主な作業時間（受託した作業時間は含みません。）について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1　構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間

作業ごとの延べ作業時間とその作業に携わった実人数を記入してください。
なお、構成員の労働時間については、構成員の年齢階層（65歳未満、65～69歳、70～74歳、75歳以上）別に記入してください。

作業種類	内容例示	構成員の年齢階層								雇用		作業種類
		65歳未満		65～69歳		70～74歳		75歳以上		合計		
		延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	
		時間	人	時間	人	時間	人	時間	人	時間	人	
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等											育苗
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布											耕起整地
基肥	基肥の配合、運搬、施肥											基肥
は種	種子予措、選種、消毒、種まき、覆土											は種
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植											定植
追肥	追肥の配合、運搬、施肥											追肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布											中耕除草
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り											管理
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策											防除
収穫	刈取、運搬、にお積みなど天日乾燥に係る作業											刈取脱穀
乾燥	乾燥、調製											乾燥
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）											生産管理
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等											間接労働

2　支払賃金

当年産の大豆生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	大豆負担割合（%）
	万 千 百 十	
合計		

・大豆生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第１６号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

別添3－16

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年 牛乳生産費統計調査票（案）

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

１．○年１月１日～○年12月31日までの１年間について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「生乳の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、〇年１月１日～〇年12月31日の間に、次の牛の飼育に要した経費や労働時間等について記入をお願いします。

① 搾乳牛・・・ホルスタイン等の乳用牛の雌（経産牛）
② 子　牛・・・搾乳牛から生まれた、生後10日齢までの子牛
③ 育成牛・・・将来、搾乳牛として育成する乳用牛の雌（後継牛）

→ 調査では、これらの牛を**「調査対象畜」**といいます。

【調査票の記入方法（調査対象畜負担割合について）】

調査票の各項目には、調査対象畜の飼育のために使用した経費等を記入してください。
例えば、調査対象畜（酪農）と合わせて肥育牛を飼育している場合には、調査対象畜分の経費等を分けて記入いただく必要があります。調査対象畜分がわかる場合には下の記入例１を、わからない場合には下の記入例２を参考に記入してください。

～～～ 配合飼料の記入例 ～～～

●記入例１　調査対象畜（酪農）分の給与量・金額を記入できる場合

調査対象畜に140ｔ、７百万円の配合飼料を給与した場合、数量に**140ｔ**、金額に**７百万円**を記入し、調査対象畜負担割合を**100%**と記入してください。

区　分	数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配　合　飼　料	140	t	7000000	100

●記入例２　調査対象畜（酪農）分の給与量・金額を記入できない場合（調査対象畜以外を含む経営全体の給与量・金額しかわからない場合）

経営全体で200ｔ、１千万円の配合飼料を給与した場合、数量に**200ｔ**、金額に**１千万円**を記入し、調査対象畜負担割合には、**経営全体に占める調査対象畜の割合**を記入してください。

区　分	数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配　合　飼　料	200	t	10000000	

記入に当たり、右頁を参照してください。

【調査対象畜負担割合の設定方法】

調査対象畜負担割合について、調査対象畜（酪農）以外の家畜を飼育している場合の設定方法を説明します。（※ここでは、搾乳牛と肥育牛を飼育している事例で説明します。）

（１）配合飼料の場合

経営全体の家畜（搾乳牛＋肥育牛）の飼養頭数のうち、搾乳牛の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{搾乳牛の飼養頭数}}{\text{経営全体の家畜の飼養頭数}} \times 100$$

例：経営全体の家畜の飼養頭数が30頭で、うち搾乳牛が21頭、肥育牛が９頭の場合の調査対象畜負担割合は７０％（21頭÷30頭×100）になります。

（２）畜舎の場合

畜舎の全面積のうち、調査対象畜（酪農）の飼育のために使用した面積の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した畜舎の面積}}{\text{畜舎の全面積}} \times 100$$

例：畜舎全体の面積が300㎡で、うち調査対象畜（酪農）に240㎡、肥育牛に60㎡をそれぞれ使用している場合の調査対象畜負担割合は８０％（240㎡÷300㎡×100）になります。

（３）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用日数のうち、調査対象畜の飼育のために使用した日数の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した日数}}{\text{トラクターの全使用日数}} \times 100$$

例：経営全体のトラクターの使用日数が150日で、うち調査対象畜に60日、調査対象畜以外に90日使用した場合の調査対象畜負担割合は４０％（60日÷150日×100）になります。

◎調査項目によっては、調査対象畜負担割合のほか「自給牧草負担割合」を記入いただきます。以下を参考に記入してください。

（４）倉庫の場合

倉庫の全面積のうち、調査対象畜（酪農）の飼育のために使用した面積を「調査対象畜負担割合」、自給牧草の生産のために使用した面積の割合を「自給牧草負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が150㎡で、うち調査対象畜に45㎡、自給牧草に75㎡を使用した場合の
「調査対象畜負担割合」は３０％（45㎡÷150㎡×100）、
「自給牧草負担割合」は５０％（75㎡÷150㎡×100）になります。
＜倉庫（150㎡）の負担割合のイメージ図＞

倉庫全体（150㎡）

調査対象畜の飼料置き場（45㎡）	自給牧草生産用の農機具の保管場所（75㎡）	その他（30㎡）

調査対象畜負担割合：３０％　　自給牧草負担割合：５０％

調　査　事　項

ページ

【１】経営の概況 …… 3
経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。

【２】生産物の販売等の状況 …… 4
生乳生産量及び生乳、子牛の販売状況等を記入してください。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等 …… 7
飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、農機具借料や牛乳検査料等の賃借料・料金等を記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担 …… 11
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課諸負担を記入してください。

【５】消費税 …… 11
消費税申告書により申告した消費税を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 11
借入金残高、支払利子を記入してください。

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 12
建物・構築物の所有状況を記入してください。

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 13
自動車等の所有状況を記入してください。

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 14
農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 15
スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、通信費や集会参加費等を記入してください。

【11】搾乳牛等の所有状況 …… 16
搾乳牛及び子牛等の転入又は転出の異動状況を記入してください。

【12】作業別労働時間 …… 16
家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地） …… 17
地代を記入してください。

【14】乳用牛の月齢別の飼育経費 …… 17
搾乳牛（成牛）の飼育に要する経費や労力に対する後継牛の飼育に要する経費や労力の割合を乳用牛の月齢ごとに記入してください。

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　分	所有地（ａ）		借入地（ａ）	
	ha	a	ha	a
田				
普　通　畑				
樹　園　地				
牧　草　地				

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　分		用語の説明	男（人）	女（人）
世　帯　員		世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
	家　族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農　業　就　業　者		年間の農業労働日数が60日以上の者		
	150 日 以 上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農　業　年　雇		農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安にしてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

いる	いない

通信欄（農業に関することを何でもお書きください。）

【２】生産物の販売等の状況

１　生乳

生乳の生産量等を月別に記入してください。
ただし、１年分の生産量等をまとめて記入できる場合には、１月分の記入欄に年間計を記入してください。
乳脂肪生産量（kg）や無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合には、乳脂肪分率（%）や無脂乳固形分率（%）を記入してください。
また、「価額」には、乳代、加工原料乳生産者補給金等の補助金、販売手数料及び集乳経費を記入してください。

１月分（または年間計）

区　分		数　量（kg）	価　額（円）	内　容
実搾乳量	出荷（乳代）	万 千 百 十	万 千 百 十	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
	補給金等			加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り			消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳脂肪生産量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。	. %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。	. %

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第２位まで記入してください。

２月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出荷（乳代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販売手数料		
	集乳経費		
	小売り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳脂肪生産量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 .

３月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出荷（乳代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販売手数料		
	集乳経費		
	小売り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳脂肪生産量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 .

４月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出荷（乳代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販売手数料		
	集乳経費		
	小売り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳脂肪生産量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 .

【２】生産物の販売等の状況（続き）

５月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）	内　容
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
	補給金等			加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販　売手 数 料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小　売　り			消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。	. %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。	.

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第２位まで記入してください。

６月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手 数 料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 .

７月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手 数 料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 .

８月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手 数 料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 .

【２】生産物の販売等の状況（続き）

９月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）	内　容
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
	補給金等			加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販　売手 数 料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小　売　り			消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。	. %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。	. %

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第２位まで記入してください。

10月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手 数 料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 . %

11月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手 数 料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 . %

12月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手 数 料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 . %

【２】生産物の販売等の状況（続き）

２　子牛

１年間に搾乳牛から生まれた子牛のうち、死産等により「牛トレーサビリティ」（耳標番号）を登録しなかった子牛の頭数を品種別に記入してください。

区　　分	乳用種		交雑種（Ｆ１）		黒毛和種（受精卵移植）	
	雄	雌	雄	雌	雄	雌
耳標番号を登録していない子牛の頭数（頭）						

３　きゅう肥の利用状況

１年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に割合を記入してください。

総搬出量の割合（%）	販売用	自家利用	廃棄
100			

きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。
（販売用、自家利用、廃棄の合計が100になるように記入。）

「販売用」に該当がある場合、その販売金額を記入してください。

販売金額（円）
万 千 百 十

物々交換した場合は、きゅう肥との交換により受け取った品目の数量を記入してください。

物々交換した場合		
品目名（具体的に記入）	数量 万 千 百 十	単位

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等

１　購入飼料

１年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。
（自給飼料は、８ページに記入してください。）

・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 / 全体の飼養頭数 ×100

区　　分		数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
		万 千 百 十		万 千 百 十	%
穀類	大麦				
	その他の麦				
	とうもろこし				
	大豆				
	飼料用米				
	その他の穀類				
ぬか・ふすま類	ふすま				
	米・麦ぬか				
	その他のぬか・ふすま類				
植物性かす類	大豆油かす				
	ビートパルプ				
	その他の植物性かす類				
配合飼料					
ＴＭＲ（粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料）					
牛乳脱脂乳					
いも類及び野菜類					
わら類	稲わら				
	その他のわら類（麦わら等）				
生牧草					
乾牧草	ヘイキューブ				
	その他の乾牧草				
サイレージ	いね科（稲発酵粗飼料を除く）				
	稲発酵粗飼料				
	その他のサイレージ				
上記以外の購入飼料					

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

２　自給飼料

【調査対象畜負担割合について】
・「数量」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 / 全体の飼養頭数 ×100

収穫量は、収穫時の重量（乾燥等の調製をする前の生重量）です。

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

家畜に給与する目的で栽培し、１年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を給与形態別（生牧草、乾牧草、サイレージ）に記入してください。
また、自給飼料の生産状況には、作付面積、収穫量及び給与割合を記入してください。

区分		自給飼料の例示	生牧草（生の状態で給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	乾牧草（乾燥させて給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	サイレージ（発酵させて給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	左記の牧草の生産状況 作付面積	収穫量	単位
			万 千 百 十		%	万 千 百 十		%	万 千 百 十		%	ha a	万 千 百 十	
いね科	デントコーン													
	イタリアンライグラス													
	ソルゴー													
	稲発酵粗飼料	ＷＣＳ：ホールクロップサイレージ												
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草												
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草												
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草												
その他の牧草		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等												
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類												
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等												
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの												
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの												
放牧時間（放牧場）		放牧場における放牧時間		時間										

生産した牧草のうち、調査対象畜に給与した牧草の割合を記入してください。

%

・自給飼料の全量を調査対象畜に給与した場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外にも給与した場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜への給与割合を記入してください。
・調査対象畜に給与するほか、販売（又は廃棄）した場合には、全量のうち調査対象畜への給与分の割合を記入してください。

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物

食用等の家畜に給与する目的以外で栽培し、１年間にたまたま調査対象畜に給与した作物について、給与数量を記入してください。

「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例

・販売目的で栽培した小麦をたまたま調査対象畜に給与
・食用目的で栽培したさつまいもをたまたま調査対象畜に給与　など

作物名（具体的に記入）	数量 万 千 百 十	単位	調査対象畜負担割合 %

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

３　種付料

(1) 種付けに支払った料金を記入してください。
（精液代、種付料等）

黒毛和種の種付け（Ｆ１）や黒毛和種の受精卵移植（ＥＴ）を含みます。

種付料金（円）	万	千	百	十

(2) 自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数を記入してください。

延べ種付回数（回）	万	千	百	十

４　敷料費

(1) 購入

１年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。

区　分	金　額（円） 万	千	百	十	調査対象畜負担割合 %
計					
稲わら					
おがくず					
麦わら					
乾牧草					
その他					

物々交換した場合

品目名（具体的に記入）	数量 万	千	百	十	単位

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

(2) 自給

１年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量 万	千	百	十	単位	調査対象畜負担割合 %

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

５　光熱動力費

(1) 購入

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金　額（円） 万	千	百	十	負担割合（%） 調査対象畜	自給牧草
計						
重　油						
軽　油						
灯　油						
ガソリン						
水道料						
電力料						
その他						

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

(2) 自給

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量 万	千	百	十	単位	負担割合（%） 調査対象畜	自給牧草

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【自給で使用した燃料の例】　薪、木炭　など

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

６　獣医師料及び医薬品費

１年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
	万 千 百 十	%	
計			
獣医師料			獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」（病傷部分）
医薬品費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤、ミルカーの洗剤費用等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

７　賃借料及び料金

１年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	賃借料及び料金の例示
	万 千 百 十			
計				
共同負担金				共同放牧場（育成牛の放牧料は除く。）、共同採草地など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料				農機具のリース代
牛乳検査料		100		
削蹄料				
疾病の検査料				義務付けられている検査（結核、ブルセラ病等）に要した費用
乳用牛群検定料		100		
その他				建物の賃借料、コントラクター料金、作業委託料

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの利用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

８　草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金）

１年間に草地開発や土地改良のために支払った負担金及び償還金を合わせて記入してください。

草地開発事業の負担金（円）	
草地造成事業	草地整備事業
万 千 百 十	万 千 百 十

土地改良事業の負担金（円）		
事業番号（　　）	事業番号（　　）	事業番号（　　）
万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十

①　ほ場整備事業、②　農地開発事業、③　かんがい排水事業、④　農道（牧道）整備事業、⑤　その他の整備事業

・「金額」や「使用数量」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

９　その他の資材等

前記１～８以外で、１年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために使用した購入資材の金額及び自給した資材の数量を、黄色の欄に記入してください。
また、「資材名」欄には、資材の詳細を具体的に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資　材　名　等		数　量 単位	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
			万 千 百 十		
購入	計				
自給			万 千 百 十		

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【調査対象畜に使用した資材例】
　ロープ、縄、ビニール・シート、ハエ取り紙　など

【自給牧草の生産に使用した資材例】
　牧草の種子、肥料、諸材料、農薬、きゅう肥（購入・自給）　など

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分		金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
計		万 千 百 十		
固定資産税	建　物			
	農機具			
都市計画税（土地以外）				
不動産取得税（土地以外）				
共同施設税				

注：　固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体の使用面積に占める調査対象畜、又は自給牧草への**使用面積割合**を記入してください。

○固定資産税（農機具）、共同施設税の場合は、農機具等の経営全体の使用日数に占める調査対象畜、又は自給牧草への**使用日数割合**を記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分		金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	公課諸負担の例示
計		万 千 百 十			
集落協議会費					地域集落等の会費
農業協同組合費					農業協同組合の組合費、賦課金
酪農組合費					
生乳出荷枠の取得費			100		
農事実行組合費					実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金					

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を記入してください。

○集落協議会費、農業協同組合費、酪農組合費及び農事実行組合費の場合は、**農業収入に占める調査対象畜の収入割合**を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。
○家畜共済組合賦課金の場合は、**飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合**を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

【５】消費税

消費税申告書により申告した酪農分の消費税額を記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合
消　費　税　（納付額）	万 千 百 十	%

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査対象畜又は自給牧草の生産のための借入金について、調査開始時（１月１日）の未償還残高、買掛未払金を、黄色の欄に記入してください。
また、１年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

借　入　金　種　類	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
計	万 千 百 十	万 千 百 十		
買　掛　未　払　金				

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜の借入額又は利子額を記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の借入額又は利子額を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次のとおり農業収入全体に占める調査対象畜（酪農）の収入割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜（酪農）の収入}}{\text{経営全体の農業収入}} \times 100$$

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用面積 / 経営全体の使用面積 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用面積 / 経営全体の使用面積 ×100

番号	名称等	種類コード	構造コード	延べ面積（㎡）又は施設数（基）	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（円）（建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。）	修繕費（円）（当年の当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料（円）（当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）（売却金額、取り壊しの金額）
1				千 百 十				年	月	億 千 百 十 万	千 百 十 万	千 百 十 万	千 百 十 万				千 百 十 万
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード

建築物					
1	住宅	5	畜舎・ﾌﾘｰｽﾄｰﾙ	9	たい肥舎・たい肥盤
2	事務所	6	畜舎・ﾌﾘｰｽﾄｰﾙ以外	10	乾牧草収納庫
3	納屋・倉庫	7	クーラー室	13	その他の建築物
4	作業場	8	車庫		
構築物					
20	牧柵	24	飼料用タンク	29	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾊｳｽ利用乾燥施設
21	電気牧柵	26	ふん尿貯留槽	30	その他のふん乾燥施設
22	給水配管・パイプ	27	浄化処理施設	31	その他の構築物
23	サイロ	28	脱臭施設		

構造コード

建築物（１　住宅）～（13　その他の建築物）					
1	木造	6	木造モルタル	9	鉄骨 骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金属	10	鉄骨 骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	8	その他	11	鉄骨 骨格材の肉厚４㎜以上
4	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ				
構築物（20　牧柵）～（31　その他の構築物）					
1	ｺﾝｸﾘｰﾄ、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
・バンカーサイロのビニールの張替え費　など

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「負担割合」欄 に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当自動車を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	修繕費（円）（当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。）	自動車保険料（円）（当年の当該自動車等の保険料を記入してください。）	自動車・軽自動車税（円）（当年の当該自動車又は軽自動車税を記入してください。）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）（廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」）
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十				万 千 百 十
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード（１　貨物自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）

型式コード（２　その他の自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物を除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

異動コード	
1	売　　却
2	廃 棄 等

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、15ページに記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当農業機械を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入して	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。自賠責保険（円）	負担割合（%）調査対象畜	負担割合（%）自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十				万 千 百 十
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			

種類コード							
5	農用ﾄﾗｸﾀｰ	33	モ ア ー	40	飼料粉砕機	47	ﾊﾞﾙｸｸｰﾗｰ	54	トレーラー
6	プ ラ ウ	34	カッター	41	飼料配合機	48	自動給餌機	55	運搬用機具
7	ハ ロ ー	35	ベーラー	42	ﾊﾞｰﾝｸﾘｰﾅｰ	49	ローダー	56	その他の農機具等
8	ﾏﾆｭｱｽﾌﾟﾚｯﾀﾞｰ	36	集 草 機	43	ﾐﾙｶｰ・ﾊﾞｹｯﾄ	50	ﾊﾞｷｭｰﾑｶｰ	57	パソコン
11	牧草は種機	37	他の牧草収穫機	44	ﾐﾙｶｰ・ﾊﾟｲﾌﾟﾗｲﾝ	51	ふん尿搬出機	58	その他の生産管理機器
16	中耕除草機	38	積 込 機	45	搾乳ロボット	52	固液分離機		
17	動力噴霧機	39	搬送・吹上機	46	牛乳冷却器	53	自動給水機		

型式コード	
（56 その他の農機具等）	
1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年
上記以外の農機具等	
6	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

異動コード	
1	売　　却
2	廃 棄 等

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容例示
農具・農業被服等の購入費	（計）	万 千 百 十			【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容例示
生産管理関係の費用	（計）	万 千 百 十			【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】搾乳牛等の所有状況

1　農家団体コード（牛トレサ関係）

牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。
複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。

農家団体コード１	農家団体コード２	農家団体コード３

2　搾乳牛の取引状況

１年間に転入・転出した牛について、取引金額（購入額、売却額）を記入してください。
また、未経産牛（育成牛）を育成牧場へ預託している場合、育成牧場に預けた牛には「出」に、育成牧場から戻った牛には「戻」に○を記入してください。

個体識別番号（10ケタの耳標番号）	名称（記入は任意）	異動月	異動区分 生産・購入・売却・死亡	取引金額（円）（購入額、売却額）	育成牧場への預託（該当に○）
				万 千 百 十	(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)
					(出) (戻)

【12】作業別労働時間

「その他の飼育作業」とは、搾乳牛に関する以下の作業をいいます。
・種付け、分べん関係作業
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
・衛生管理（殺虫剤の散布等）

1　酪農に関する定型作業

農業従事者ごとに、上段に１日当たりの平均作業時間を記入し、下段に１年間の従事日数を記入してください。

氏　名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水	敷料搬入・きゅう肥搬出	搾乳・牛乳処理・運搬	その他の飼育作業
	(男) (女)		家族 雇用	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日	日
	(男) (女)		家族 雇用	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日	日
	(男) (女)		家族 雇用	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日	日
	(男) (女)		家族 雇用	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日	日
	(男) (女)		家族 雇用	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日	日
	(男) (女)		家族 雇用	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日	日

注：雇用者の年齢は記入不要です。

2　酪農に関する１以外の作業

「作業名」欄の（　）に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。
ここには、集会出席・技術習得・簿記記帳等の生産管理の時間、自給飼料（牧草等）の生産、建物・自動車・農機具の修繕の作業時間等を記入してください。

氏　名	性別	年齢	家族・雇用	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）
	(男) (女)		家族 雇用	時間	時間	時間	時間	時間
	(男) (女)		家族 雇用					
	(男) (女)		家族 雇用					
	(男) (女)		家族 雇用					

注：雇用者の年齢は記入不要です。

3　支払賃金

雇用者（ヘルパー、研修生等）に支払った賃金（現物支給も含む。）を男女別に記入してください。

区　分	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	自給牧草
男	万 千 百 十		
女			

・「支払賃金」に調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の生産のための支払い分を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の雇用者への支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜又は自給牧草の負担割合を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地）

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。
なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。

１　所有地

ほ　場　名	ほ場の例示	実面積	負担割合（%）	
			調　査 対象畜	自給牧草
建　物　敷　地	畜舎、納屋、飼料倉庫及び牛乳の冷却槽などの建物及び構築物の敷地	ha　a		
運　動　場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を綱でつないで飼うこと。）に利用した土地			
牧　草　栽　培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地			
放　牧　地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地			
採　草　地	耕地以外で過去１年間に調査対象畜用の野草を採草した土地			

２　借入地

ほ　場　名	実面積	支払地代（円）	負担割合（%）	
			調　査 対象畜	自給牧草
建　物　敷　地	ha　a	万　千　百　十		
運　動　場				
牧　草　栽　培				
放　牧　地				
採　草　地				

・「実面積」又は「支払地代」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

【14】乳用牛の月齢別の飼育経費

搾乳牛（成牛）の飼育に要する経費や労力に対する後継牛（①生後11日未満の牛、②生後11日～６か月、③６～18か月、④18か月以上）の飼育に要する経費や労力の割合を記入してください。
なお、記入の仕方がわからない場合には、担当者にご相談ください。

１　飼料等

搾乳牛（成牛）に給与する飼料費を「100」とした場合の、月齢別の後継牛に給与する飼料費の割合を記入してください。

搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～６か月 ②	６～18か月 ③	18か月以上 ④
100				

搾乳牛１頭を１か月飼育するのに要する飼料費を「100」とした場合の、各月齢の後継牛１頭を１か月飼育するのに要する飼料費の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】

$$\text{各月齢別の後継牛の割合} = \frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する飼料費}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する飼料費}} \times 100$$

２　建物

搾乳牛（成牛）の飼育に使用する建物面積を「100」とした場合の、月齢別の後継牛に使用する建物面積の割合を記入してください。

搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～６か月 ②	６～18か月 ③	18か月以上 ④
100				

搾乳牛１頭を飼育するのに要する建物の面積を「100」とした場合の、各月齢の後継牛１頭を飼育するのに要する建物の面積の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】

$$\text{各月齢別の後継牛の割合} = \frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する建物面積}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する建物面積}} \times 100$$

３　飼育作業

搾乳牛（成牛）の飼育に要する労働時間を「100」とした場合の、月齢別の後継牛の飼育に要する労働時間の割合を記入してください。

搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～６か月 ②	６～18か月 ③	18か月以上 ④
100				

搾乳牛１頭を１か月飼育するのに要する労働時間を「100」とした場合の、各月齢の後継牛１頭を１か月飼育するのに要する労働時間の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】

$$\text{各月齢別の後継牛の割合} = \frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する労働時間}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する労働時間}} \times 100$$

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第１７号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

別添3－17

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年 子牛生産費統計調査票（案）

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

１．○年１月１日～○年12月31日までの１年間について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「子牛の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、〇年１月１日～〇年12月31日の間に、次の牛の飼育に要した経費や労働時間等について記入をお願いします。

① 繁殖雌牛・・・初回種付け以降の肉専用種の雌
② 子　　牛・・・自家で飼育している繁殖雌牛から生まれた、地域で一般的に取引される月齢に達するまでの子牛

→ 調査では、これらの牛を**「調査対象畜」**といいます。

【調査票の記入方法（調査対象畜負担割合について）】

調査票の各項目には、調査対象畜の飼育のために使用した経費等を記入してください。
例えば、調査対象畜以外の牛も飼育している場合には、調査対象畜分の経費等を分けて記入いただく必要があります。調査対象畜分がわかる場合には下の記入例１を、わからない場合には下の記入例２を参考に記入してください。

～～～ 配合飼料の記入例 ～～～

●記入例１　調査対象畜分の給与量・金額を記入できる場合

調査対象畜に140ｔ、７百万円の配合飼料を給与した場合、数量に**140ｔ**、金額に**７百万円**を記入し、調査対象畜負担割合を**100%**と記入してください。

区　分	数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配　合　飼　料	140	t	7000000	100

●記入例２　調査対象畜分の給与量・金額を記入できない場合（調査対象畜以外を含む経営全体の給与量・金額しかわからない場合）

経営全体で200ｔ、１千万円の配合飼料を給与した場合、数量に**200ｔ**、金額に**１千万円**を記入し、調査対象畜負担割合には、**経営全体に占める調査対象畜の割合**を記入してください。

区　分	数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配　合　飼　料	200	t	10000000	

記入に当たり、右頁を参照してください。

【調査対象畜負担割合の設定方法】

調査対象畜負担割合について、調査対象畜以外の家畜を飼育している場合の設定方法を説明します。（※ここでは、調査対象畜と肥育牛を飼育している事例で説明します。）

（１）配合飼料の場合

経営全体の家畜（繁殖雌牛＋子牛＋肥育牛）の飼養頭数のうち、繁殖雌牛と子牛の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{繁殖雌牛と子牛の飼養頭数}}{\text{経営全体の家畜の飼養頭数}} \times 100$$

例：経営全体の家畜の飼養頭数が30頭で、うち繁殖雌牛と子牛が21頭、肥育牛が９頭の場合の調査対象畜負担割合は７０％（21頭÷30頭×100）になります。

（２）畜舎の場合

畜舎の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した畜舎の面積}}{\text{畜舎の全面積}} \times 100$$

例：畜舎全体の面積が300㎡で、うち調査対象畜に240㎡、肥育牛に60㎡をそれぞれ使用している場合の調査対象畜負担割合は８０％（240㎡÷300㎡×100）になります。

（３）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用日数のうち、調査対象畜の飼育のために使用した日数の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した日数}}{\text{トラクターの全使用日数}} \times 100$$

例：経営全体のトラクターの使用日数が150日で、うち調査対象畜に60日、調査対象畜以外に90日使用した場合の調査対象畜負担割合は４０％（60日÷150日×100）になります。

◎調査項目によっては、調査対象畜負担割合のほか「自給牧草負担割合」を記入いただきます。
以下を参考に記入してください。

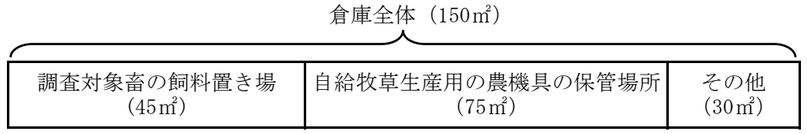
（４）倉庫の場合

倉庫の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積を「調査対象畜負担割合」、自給牧草の生産のために使用した面積の割合を「自給牧草負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が150㎡で、うち調査対象畜に45㎡、自給牧草に75㎡を使用した場合の
「調査対象畜負担割合」は３０％（45㎡÷150㎡×100）、
「自給牧草負担割合」は５０％（75㎡÷150㎡×100）になります。
＜倉庫（150㎡）の負担割合のイメージ図＞



調　査　事　項

ページ

【１】経営の概況 …… 3
経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。

【２】調査対象畜の取引状況 …… 4
繁殖雌牛及び子牛の転入・転出状況、繁殖雌牛の初回種付けの月齢、きゅう肥の利用状況を記入してください。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等 …… 5
飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、農機具借料等の賃借料・料金等を記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担 …… 9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課諸負担を記入してください。

【５】消費税 …… 9
消費税申告書により申告した消費税を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9
借入金残高、支払利子を記入してください。

【７】出荷に要した経費 …… 9
出荷で支払った料金や労働時間を記入してください。

【８】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10
建物・構築物の所有状況を記入してください。

【９】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11
自動車等の所有状況を記入してください。

【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12
農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。

【11】農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13
スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、通信費や集会参加費等を記入してください。

【12】作業別労働時間 …… 14
家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地） …… 14
地代を記入してください。

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　分	所有地（ａ）		借入地（ａ）	
	ha	a	ha	a
田				
普　通　畑				
樹　園　地				
牧　草　地				

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　分		用語の説明	男（人）	女（人）
世　帯　員		世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
	家　族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農　業　就　業　者		年間の農業労働日数が60日以上の者		
	150 日 以 上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農　業　年　雇		農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安にしてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を〇で囲んでください。　いる　いない

通信欄（農業に関することを何でもお書きください。）

【２】調査対象畜の取引状況

１　農家団体コード（牛トレサ関係）

牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。
複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。

農家団体コード１	農家団体コード２	農家団体コード３

２　調査対象畜の転入・転出状況

１年間に転入・転出した牛について、取引金額（購入額、売却額）を記入してください。
また、子牛を売却した場合は、売却時生体重を記入してください。

子牛の売却額は、受取金額から市場手数料などを除いた金額を記入してください。

個体識別番号（10ケタの耳標番号）	名　称（記入は任意）	異動月	異動区分 生産・購入・売却・死亡	取引金額（円）（購入額、売却額）	子牛のみ記入 売却時生体重
				万　千　百　十	kg

２　調査対象畜の転入・転出状況（続き）

個体識別番号（10ケタの耳標番号）	名　称（記入は任意）	異動月	異動区分 生産・購入・売却・死亡	取引金額（円）（購入額、売却額）	子牛のみ記入 売却時生体重
				万　千　百　十	kg

【２】調査対象畜の取引状況（続き）

３　初回種付けした繁殖雌牛

１年間に初回の種付けをした繁殖雌牛の個体識別番号、初回種付け月を記入してください。

個体識別番号（10ケタの耳標番号）	初回種付け月
	月

個体識別番号（10ケタの耳標番号）	初回種付け月
	月

４　きゅう肥の利用状況

１年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に割合を記入してください。

総搬出量の割合（%）	販売用	自家利用	廃棄
100			

きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。
（販売用、自家利用、廃棄の合計が100になるように記入。）

「販売用」に該当がある場合、その販売金額を記入してください。

販売金額（円）
万 千 百 十

物々交換した場合は、きゅう肥との交換により受け取った品目の数量を記入してください。

物々交換した場合		
品目名（具体的に記入）	数量	単位
	万 千 百 十	

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等

１　購入飼料

１年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。
（自給飼料は、６ページに記入してください。）

・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 / 全体の飼養頭数 ×100

区分		数量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
		万 千 百 十		万 千 百 十	%
穀類	大麦				
	その他の麦				
	とうもろこし				
	大豆				
	飼料用米				
	その他の穀類				
ぬか・ふすま類	ふすま				
	米・麦ぬか				
	その他のぬか・ふすま類				
植物性かす類	大豆油かす				
	ビートパルプ				
	その他の植物性かす類				
配合飼料					
TMR（粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料）					
牛乳脱脂乳					
いも類及び野菜類					
わら類	稲わら				
	その他のわら類（麦わら等）				
生牧草					
乾牧草	ヘイキューブ				
	その他の乾牧草				
サイレージ	いね科（稲発酵粗飼料を除く。）				
	稲発酵粗飼料				
	その他のサイレージ				
上記以外の購入飼料					

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

【調査対象畜負担割合について】
・「数量」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{全体の飼養頭数}} \times 100$$

２　自給飼料

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

家畜に給与する目的で栽培し、１年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を給与形態別（生牧草、乾牧草、サイレージ）に記入してください。
また、自給飼料の生産状況には、作付面積、収穫量及び給与割合を記入してください。

収穫量は、収穫時の重量（乾燥等の調製をする前の生重量）です。

区分		自給飼料の例示	生牧草（生の状態で給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	乾牧草（乾燥させて給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	サイレージ（発酵させて給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	左記の牧草の生産状況 作付面積	収穫量	単位
いね科	デントコーン		万 千 百 十		%	万 千 百 十		%	万 千 百 十		%	ha a	万 千 百 十	
	イタリアンライグラス													
	ソルゴー													
	稲発酵粗飼料	ＷＣＳ：ホールクロップサイレージ												
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草												
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草												
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草												
その他の牧草		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等												
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類												
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等												
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの												
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの												
放牧時間（放牧場）		放牧場における放牧時間		時間										

生産した牧草のうち、調査対象畜に給与した牧草の割合を記入してください。

%

・自給飼料の全量を調査対象畜に給与した場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外にも給与した場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜への給与割合を記入してください。
・調査対象畜に給与するほか、販売（又は廃棄）した場合には、全量のうち調査対象畜への給与分の割合を記入してください。

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物

食用等の家畜に給与する目的以外で栽培し、１年間にたまたま調査対象畜に給与した作物について、給与数量を記入してください。

「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例

・販売目的で栽培した小麦をたまたま調査対象畜に給与
・食用目的で栽培したさつまいもをたまたま調査対象畜に給与　など

作物名（具体的に記入）	数量	単位	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十		%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

３　種付料

(1) 種付けに支払った料金を記入してください。
（精液代、種付料等）

種付料金（円）	万	千	百	十

(2) 自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数を記入してください。

延べ種付回数（回）	万	千	百	十

４　敷料費

(1) 購入

１年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。

区　分	金　額（円） 万	千	百	十	調査対象畜負担割合 %
計					
稲わら					
おがくず					
麦わら					
乾牧草					
その他					

物々交換した場合		
品目名（具体的に記入）	数量 万 千 百 十	単位

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

(2) 自給

１年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量 万 千 百 十	単位	調査対象畜負担割合 %

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

５　光熱動力費

(1) 購入

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金　額（円） 万	千	百	十	負担割合（%） 調査対象畜	自給牧草
計						
重　油						
軽　油						
灯　油						
ガソリン						
水道料						
電力料						
その他						

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

(2) 自給

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量 万 千 百 十	単位	負担割合（%） 調査対象畜	自給牧草

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【自給で使用した燃料の例】　薪、木炭　など

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

６　獣医師料及び医薬品費

１年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
計	万 千 百 十	%	
獣医師料			獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」（病傷部分）
医薬品費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

７　賃借料及び料金

１年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	賃借料及び料金の例示
計	万 千 百 十	%	%	
共同負担金				共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料				農機具のリース代
その他				削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、コントラクター料金　等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの利用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

８　草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金）

１年間に草地開発や土地改良のために支払った負担金及び償還金を合わせて記入してください。

草地開発事業の負担金（円）		土地改良事業の負担金（円）		
草地造成事業	草地整備事業	事業番号（　）	事業番号（　）	事業番号（　）
万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十

①　ほ場整備事業、②　農地開発事業、③　かんがい排水事業、④　農道（牧道）整備事業、⑤　その他の整備事業

・「金額」や「使用数量」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

９　その他の資材等

前記１～８以外で、１年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために使用した購入資材の金額及び自給した資材の数量を、黄色の欄に記入してください。
また、「資材名」欄には、資材の詳細を具体的に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資　材　名　等	数　量 単位	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
購入 計		万 千 百 十		
購入				
購入				
購入				
購入				
購入				
購入				
自給	万 千 百 十			
自給				
自給				

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【調査対象畜に使用した資材例】
ロープ、縄、ビニール・シート、ハエ取り紙　など

【自給牧草の生産に使用した資材例】
牧草の種子、肥料、諸材料、農薬、きゅう肥（購入・自給）　など

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分			金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
			万 千 百 十		
計					
	固定資産税	建　物			
		農機具			
	都市計画税（土地以外）				
	不動産取得税（土地以外）				
	共同施設税				

注：　固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体への使用面積に占める調査対象畜又は自給牧草への**使用面積割合**を記入してください。

○固定資産税（農機具）、共同施設税の場合は、農機具等の経営全体への使用日数に占める調査対象畜又は自給牧草への**使用日数割合**を記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分		金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	公課諸負担の例示
		万 千 百 十			
計					
	集落協議会費				地域集落等の会費
	農業協同組合費				農業協同組合の組合費、賦課金
	肉用牛組合費				
	農事実行組合費				実行組合、農家組合等の会費、賦課金
	家畜共済組合賦課金				

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を記入してください。

○集落協議会費、農業協同組合費、肉用牛組合費及び農事実行組合費の場合は、**農業収入に占める調査対象畜の収入割合**を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。
○家畜共済組合賦課金の場合は、**飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合**を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

【５】消費税

消費税申告書により申告した調査対象畜分の消費税額を記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十	%
消費税（納付額）		

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査対象畜又は自給牧草の生産のための借入金について、調査開始時（１月１日）の未償還残高、買掛未払金を、黄色の欄に記入してください。
また、１年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

借入金種類	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
	万 千 百 十	万 千 百 十		
計				
買掛未払金				

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜の借入額又は利子額を記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の借入額又は利子額を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次のとおり農業収入全体に占める調査対象畜の収入割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の収入}}{\text{経営全体の農業収入}} \times 100$$

【７】出荷に要した経費

１年間に子牛を出荷するために使用した資材等の金額を記入してください。

区　　分	金額、時間	出荷に要した経費の例示
	万 千 百 十	
材　　料（円）		出荷に使用したガソリン代、資材（手綱、鼻木等）の購入代金　等
料　　金（円）		出荷作業を依頼した場合の料金、共同出荷における運搬費の負担金　等
労働時間（時間）	千 百 十 時間	子牛を販売する際の家畜市場等の販売先までの運搬に要した時間

【８】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
- 該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- 調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用面積 ／ 経営全体の使用面積 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用面積 ／ 経営全体の使用面積 ×100

番号	名称等	種類コード	構造コード	延べ面積（㎡）又は施設数（基）	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（円）（建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。）	修繕費（円）（当年の当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料（円）（当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）（売却金額、取り壊しの金額）
				千 百 十				年	月	億 千 百 万 千 百 十	千 百 万 千 百 十	千 百 万 千 百 十	千 百 万 千 百 十				千 百 万 千 百 十
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード

建築物					
1	住宅	4	作業場	9	たい肥舎・たい肥盤
2	事務所	6	畜舎	10	乾牧草収納庫
3	納屋・倉庫	8	車庫	13	その他の建築物

構築物					
20	牧柵	24	飼料用タンク	29	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾊｳｽ利用乾燥施設
21	電気牧柵	26	ふん尿貯留槽	30	その他のふん乾燥施設
22	給水配管・パイプ	27	浄化処理施設	31	その他の構築物
23	サイロ	28	脱臭施設		

構造コード

建築物（１　住宅）～（13　その他の建築物）					
1	木造	6	木造モルタル	9	鉄骨造 骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金属	10	鉄骨造 骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	8	その他	11	鉄骨造 骨格材の肉厚４㎜以上
4	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ				

構築物（20　牧柵）～（31　その他の構築物）					
1	ｺﾝｸﾘｰﾄ、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

修繕費には、次のような費用を記入してください。
- 畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
- 畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
- バンカーサイロのビニールの張替え費　など

【９】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当自動車を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	自賠責保険（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十				万 千 百 十
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード（１　貨物自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）

型式コード（２　その他の自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物を除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

異動コード	
1	売　却
2	廃　棄　等

【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した農業機械、パソコン、コピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄に「負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当農業機械を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してくださ	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してく	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。自賠責保険（円）	負担割合（%）調査対象畜	負担割合（%）自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十				万 千 百 十
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			

種類コード

5	農用ﾄﾗｸﾀｰ	33	モ ア ー	40	飼料粉砕機	52	固液分離機
6	プ ラ ウ	34	カッター	41	飼料配合機	53	自動給水機
7	ハ ロ ー	35	ベーラー	42	ﾊﾞｰﾝｸﾘｰﾅｰ	54	トレーラー
8	ﾏﾆｭｱｽﾌﾟﾚｯﾀﾞｰ	36	集 草 機	48	自動給餌機	55	運搬用機具
11	牧草は種機	37	他の牧草収穫機	49	ローダー	56	その他の農機具等
16	中耕除草機	38	積 込 機	50	ﾊﾞｷｭｰﾑｶｰ	57	パソコン
17	動力噴霧機	39	搬送・吹上機	51	ふん尿搬出機	58	その他の生産管理機器

型式コード

（56	その他の農機具等）
1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年
上記以外の農機具等	
6	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

異動コード

1	売　　却
2	廃 棄 等

【11】農具の購入費・生産管理関係の費用等

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容例示
農具・農業被服等の購入費	（計）	万 千 百 十			【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容例示
生産管理関係の費用	（計）	万 千 百 十			【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【12】作業別労働時間

「その他の飼育作業」とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・種付け、分べん関係作業
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
・衛生管理（殺虫剤の散布等）

1　調査対象畜に関する定型作業

農業従事者ごとに、上段に１日当たりの平均作業時間を記入し、下段に１年間の従事日数を記入してください。

氏　名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水	敷料搬入・きゅう肥搬出	その他の飼育作業
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日

注：雇用者の年齢は記入不要です。

2　調査対象畜に関する１以外の作業

「作業名」欄の　（　）に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。
ここには、集会出席・技術習得・簿記記帳等の生産管理の時間、自給飼料（牧草等）の生産、建物・自動車・農機具の修繕の作業時間等を記入してください。

氏　名	性別	年齢	家族・雇用	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間	時間	時間	時間	時間
	(男)(女)		(家族)(雇用)					
	(男)(女)		(家族)(雇用)					
	(男)(女)		(家族)(雇用)					
	(男)(女)		(家族)(雇用)					

注：雇用者の年齢は記入不要です。

3　支払賃金

雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を男女別に記入してください。

区　分	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
	万 千 百 十		
男			
女			

・「支払賃金」に調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の生産のための支払い分を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の雇用者への支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜又は自給牧草の負担割合を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地）

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。
なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。

1　所有地

ほ　場　名	ほ場の例示	実面積 ha	実面積 a	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地				
運動場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を綱でつないで飼うこと。）に利用した土地				
牧草栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地				
放牧地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地				
採草地	耕地以外で過去１年間に調査対象畜用の野草を採草した土地				

・「実面積」又は「支払地代」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

2　借入地

ほ　場　名	実面積 ha	実面積 a	支払地代（円） 万 千 百 十	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
建物敷地					
運動場					
牧草栽培					
放牧地					
採草地					

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第１８号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

別添3－18

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年 育成牛 ・ 肥育牛生産費統計調査票（案）

［乳用雄育成牛・交雑種育成牛・去勢若齢肥育牛・乳用雄肥育牛・交雑種肥育牛］

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

１．○年１月１日～○年12月31日までの１年間について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「育成牛若しくは肥育牛の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、〇年１月１日～〇年12月31日の間に、次の牛の飼育に要した経費や労働時間等について記入をお願いします。

乳用雄育成牛・・・肥育用もと牛として育成している乳用種の雄牛
交雑種育成牛・・・肥育用もと牛として育成している交雑種の牛
去勢若齢肥育牛・・肉用に販売する目的で肥育している去勢和牛
乳用雄肥育牛・・・肉用に販売する目的で肥育している乳用種の雄牛
交雑種肥育牛・・・肉用に販売する目的で肥育している交雑種の牛

→ 調査の対象となる牛を**「調査対象畜」**といいます。

【調査票の記入方法（調査対象畜負担割合について）】

調査票の各項目には、調査対象畜の飼育のために使用した経費等を記入してください。
例えば、調査対象畜以外の牛も飼育している場合には、調査対象畜分の経費等を分けて記入いただく必要があります。調査対象畜分がわかる場合には下の記入例１を、わからない場合には記入例２を参考に記入してください。

～～～ 配合飼料の記入例 ～～～

●記入例１　調査対象畜分の給与量・金額を記入できる場合

調査対象畜に140ｔ、７百万円の配合飼料を給与した場合、数量に**140ｔ**、金額に**７百万円**を記入し、調査対象畜負担割合を**100%**と記入してください。

区　分	数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配　合　飼　料	140	t	7000000	100

●記入例２　調査対象畜分の給与量・金額を記入できない場合（調査対象畜以外を含む経営全体の給与量・金額しかわからない場合）

経営全体で200ｔ、１千万円の配合飼料を給与した場合、数量に**200ｔ**、金額に**１千万円**を記入し、調査対象畜負担割合には、**経営全体に占める調査対象畜の割合**を記入してください。

区　分	数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配　合　飼　料	200	t	10000000	

記入に当たり、右頁を参照してください。

【調査対象畜負担割合の設定方法】

調査対象畜負担割合について、調査対象畜以外の家畜を飼育している場合の設定方法を説明します。（※ここでは、肥育牛と搾乳牛を飼育している事例で説明します。）

（１）配合飼料の場合

経営全体の家畜（肥育牛＋搾乳牛）の飼養頭数のうち、調査対象畜の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{経営全体の家畜の飼養頭数}} \times 100$$

例：経営全体の家畜の飼養頭数が30頭で、うち肥育牛が21頭、搾乳牛が９頭の場合の調査対象畜負担割合は７０％（21頭÷30頭×100）になります。

（２）畜舎の場合

畜舎の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した畜舎の面積}}{\text{畜舎の全面積}} \times 100$$

例：畜舎全体の面積が300㎡で、うち調査対象畜に240㎡、調査対象畜以外に60㎡をそれぞれ使用している場合の調査対象畜負担割合は８０％（240㎡÷300㎡×100）になります。

（３）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用日数のうち、調査対象畜の飼育のために使用した日数の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した日数}}{\text{トラクターの全使用日数}} \times 100$$

例：経営全体のトラクターの使用日数が150日で、うち調査対象畜に60日、調査対象畜以外に90日使用した場合の調査対象畜負担割合は４０％（60日÷150日×100）になります。

◎調査項目によっては、調査対象畜負担割合のほか「自給牧草負担割合」を記入いただきます。以下を参考に記入してください。

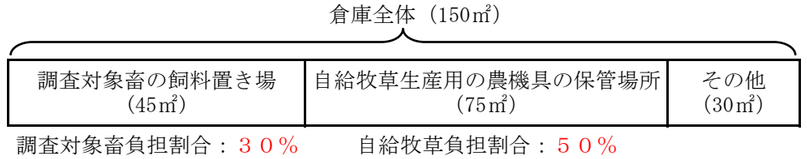
（４）倉庫の場合

倉庫の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積を「調査対象畜負担割合」、自給牧草の生産のために使用した面積の割合を「自給牧草負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が150㎡で、うち調査対象畜に45㎡、自給牧草に75㎡を使用した場合の「調査対象畜負担割合」は３０％（45㎡÷150㎡×100）、「自給牧草負担割合」は５０％（75㎡÷150㎡×100）になります。
＜倉庫（150㎡）の負担割合のイメージ図＞



調　査　事　項

ページ

【１】経営の概況 …… 3
経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。

【２】調査対象畜の取引状況 …… 4
調査対象畜の購入・売却状況等を記入してください。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等 …… 5
飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、農機具借料等の賃借料・料金等を記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担 …… 9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課諸負担を記入してください。

【５】消費税 …… 9
消費税申告書により申告した消費税を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9
借入金残高、支払利子を記入してください。

【７】出荷に要した経費 …… 9
出荷で支払った料金や労働時間を記入してください。

【８】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10
建物・構築物の所有状況を記入してください。

【９】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11
自動車等の所有状況を記入してください。

【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12
農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。

【11】農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13
スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、通信費や集会参加費等を記入してください。

【12】作業別労働時間 …… 14
家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地） …… 14
地代を記入してください。

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　分	所有地（ａ）		借入地（ａ）	
	ha	a	ha	a
田				
普　通　畑				
樹　園　地				
牧　草　地				

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　分		用語の説明	男（人）	女（人）
世　帯　員		世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
	家　族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農業就業者		年間の農業労働日数が60日以上の者		
	150日以上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農　業　年　雇		農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安にしてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。　　いる　いない

通信欄（農業に関することを何でもお書きください。）

【２】調査対象畜の取引状況

１　農家団体コード（牛トレサ関係）

牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。
複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。

農家団体コード１	農家団体コード２	農家団体コード３

２　調査対象畜の購入・売却状況

１年間に転入・転出した牛について、取引金額（購入額、売却額）を記入してください。
また、調査対象畜を売却した場合は売却時生体重を記入してください。

売却額は、受取金額から市場手数料などを除いた金額を記入してください。

個体識別番号 （10ケタの耳標番号）	名　称 （記入は任意）	異動月 月	異動区分 生産・購入・売却・死亡	取引金額（円） （購入額、売却額） 万 千 百 十	売却時生体重（kg） 百 十

２　調査対象畜の購入・売却状況（続き）

個体識別番号 （10ケタの耳標番号）	名　称 （記入は任意）	異動月 月	異動区分 生産・購入・売却・死亡	取引金額（円） （購入額、売却額） 万 千 百 十	売却時生体重（kg） 百 十

【２】調査対象畜の取引状況（続き）

３　きゅう肥の利用状況

１年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に割合を記入してください。

総搬出量の割合（%）	販売用	自家利用	廃棄
100			

きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。
（販売用、自家利用、廃棄の合計が100になるように記入。）

「販売用」に該当がある場合、その販売金額を記入してください。

販売金額（円）
万 千 百 十

物々交換した場合は、きゅう肥との交換により受け取った品目の数量を記入してください。

物々交換した場合		
品目名（具体的に記入）	数量 万 千 百 十	単位

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等

１　購入飼料

１年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。
（自給飼料は、６ページに記入してください。）

・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 / 全体の飼養頭数 ×100

区分		数量 万 千 百 十	単位	金額（円） 万 千 百 十	調査対象畜負担割合 %
穀類	大麦				
	その他の麦				
	とうもろこし				
	大豆				
	飼料用米				
	その他の穀類				
ぬか・ふすま類	ふすま				
	米・麦ぬか				
	その他のぬか・ふすま類				
植物性かす類	大豆油かす				
	ビートパルプ				
	その他の植物性かす類				
配合飼料					
TMR（粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料）					
牛乳脱脂乳					
いも類及び野菜類					
わら類	稲わら				
	その他のわら類（麦わら等）				
生牧草					
乾牧草	ヘイキューブ				
	その他の乾牧草				
サイレージ	いね科（稲発酵粗飼料を除く。）				
	稲発酵粗飼料				
	その他のサイレージ				
上記以外の購入飼料					

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

【調査対象畜負担割合について】
・「数量」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{全体の飼養頭数}} \times 100$$

２　自給飼料

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

家畜に給与する目的で栽培し、１年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を給与形態別（生牧草、乾牧草、サイレージ）に記入してください。
また、自給飼料の生産状況には、作付面積、収穫量及び給与割合を記入してください。

収穫量は、収穫時の重量（乾燥等の調製をする前の生重量）です。

区分		自給飼料の例示	生牧草（生の状態で給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	乾牧草（乾燥させて給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	サイレージ（発酵させて給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	左記の牧草の生産状況 作付面積	収穫量	単位
いね科	デントコーン		万 千 百 十		%	万 千 百 十		%	万 千 百 十		%	ha a	万 千 百 十	
	イタリアンライグラス													
	ソルゴー													
	稲発酵粗飼料	ＷＣＳ：ホールクロップサイレージ												
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草												
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草												
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草												
その他の牧草		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等												
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類												
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等												
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの												
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの												
放牧時間（放牧場）		放牧場における放牧時間		時間										

生産した牧草のうち、調査対象畜に給与した牧草の割合を記入してください。

%

・自給飼料の全量を調査対象畜に給与した場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外にも給与した場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜への給与割合を記入してください。
・調査対象畜に給与するほか、販売（又は廃棄）した場合には、全量のうち調査対象畜への給与分の割合を記入してください。

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物

食用等の家畜に給与する目的以外で栽培し、１年間にたまたま調査対象畜に給与した作物について、給与数量を記入してください。

「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例

・販売目的で栽培した小麦をたまたま調査対象畜に給与
・食用目的で栽培したさつまいもをたまたま調査対象畜に給与　など

作物名（具体的に記入）	数量	単位	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十		%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

３　敷料費

(1) 購入

１年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。

区　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十	%
計		
稲わら		
おがくず		
麦わら		
乾牧草		
その他		

物々交換した場合		
品目名（具体的に記入）	数量	単位
	万 千 百 十	

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

(2) 自給

１年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量	単位	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十		%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

４　光熱動力費

(1) 購入

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金　額（円）	負担割合（%）	
		調査対象畜	自給牧草
	万 千 百 十		
計			
重　油			
軽　油			
灯　油			
ガソリン			
水道料			
電力料			
その他			

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

(2) 自給

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量	単位	負担割合（%）	
			調査対象畜	自給牧草
	万 千 百 十			

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【自給で使用した燃料の例】　薪、木炭　など

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

５　獣医師料及び医薬品費

１年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
	万 千 百 十	%	
計			
獣医師料			獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」（病傷部分）
医薬品費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

６　賃借料及び料金

１年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額（円）	負担割合（%）		賃借料及び料金の例示
		調査対象畜	自給牧草	
	万 千 百 十	%	%	
計				
共同負担金				共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料				農機具のリース代
その他				削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、コントラクター料金　等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの利用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

７　草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金）

１年間に草地開発や土地改良のために支払った負担金及び償還金を合わせて記入してください。

草地開発事業の負担金（円）	
草地造成事業	草地整備事業
万 千 百 十	万 千 百 十

土地改良事業の負担金（円）		
事業番号（　　）	事業番号（　　）	事業番号（　　）
万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十

①　ほ場整備事業、②　農地開発事業、③　かんがい排水事業、④　農道（牧道）整備事業、⑤　その他の整備事業

・「金額」や「使用数量」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

８　その他の資材等

前記１～７以外で、１年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために使用した購入資材の金額及び自給した資材の数量を、黄色の欄に記入してください。
また、「資材名」欄には、資材の詳細を具体的に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資　材　名　等	数　量	単位	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
			万 千 百 十		
購入 計					
自給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【調査対象畜に使用した資材例】
ロープ、縄、ビニール・シート、ハエ取り紙　など

【自給牧草の生産に使用した資材例】
牧草の種子、肥料、諸材料、農薬、きゅう肥（購入・自給）　など

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分		金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
計		万 千 百 十		
固定資産税	建　物			
	農機具			
都市計画税（土地以外）				
不動産取得税（土地以外）				
共同施設税				

注：　固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体への使用面積に占める調査対象畜又は自給牧草への**使用面積割合**を記入してください。

○固定資産税（農機具）、共同施設税の場合は、農機具等の経営全体への使用日数に占める調査対象畜又は自給牧草への**使用日数割合**を記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分		金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	公課諸負担の例示
計		万 千 百 十			
集落協議会費					地域集落等の会費
農業協同組合費					農業協同組合の組合費、賦課金
肉用牛組合費					
農事実行組合費					実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金					

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を記入してください。

○集落協議会費、農業協同組合費、肉用牛組合費及び農事実行組合費の場合は、**農業収入に占める調査対象畜の収入割合**を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。
○家畜共済組合賦課金の場合は、**飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合**を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

【５】消費税

消費税申告書により申告した調査対象畜分の消費税額を記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合
消　費　税　（納付額）	万 千 百 十	%

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査対象畜又は自給牧草の生産のための借入金について、調査開始時（１月１日）の未償還残高、買掛未払金を、黄色の欄に記入してください。
また、１年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

借入金種類	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
計	万 千 百 十	万 千 百 十		
買掛未払金				

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜の借入額又は利子額を記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の借入額又は利子額を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次のとおり農業収入全体に占める調査対象畜の収入割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の収入}}{\text{経営全体の農業収入}} \times 100$$

【７】出荷に要した経費

１年間に調査対象畜を出荷するために使用した資材等の金額を記入してください。

区　　分	金額、時間	出荷に要した経費の例示
材　　料（円）	万 千 百 十	出荷に使用したガソリン代、資材（手綱、鼻木等）の購入代金　等
料　　金（円）		出荷作業を依頼した場合の料金、共同出荷における運搬費の負担金　等
労働時間（時間）	千 百 十 時間	調査対象畜を販売する際の家畜市場等の販売先までの運搬に要した時間

【８】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
- 該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- 調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用面積 / 経営全体の使用面積 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用面積 / 経営全体の使用面積 ×100

番号	名称等	種類コード	構造コード	延べ面積（㎡）又は施設数（基）	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（円）（建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。）	修繕費（円）（当年の当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料（円）（当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）（売却金額、取り壊しの金額）
1				千 百 十	○	○		年	月	億 千 百 十 万	千 百 十 万	千 百 十 万	千 百 十 万				千 百 十 万
2					○	○											
3					○	○											
4					○	○											
5					○	○											
6					○	○											
7					○	○											
8					○	○											
9					○	○											
10					○	○											
11					○	○											
12					○	○											
13					○	○											
14					○	○											
15					○	○											

種類コード

建築物					
1	住宅	4	作業場	9	たい肥舎・たい肥盤
2	事務所	6	畜舎	10	乾牧草収納庫
3	納屋・倉庫	8	車庫	13	その他の建築物

構築物					
20	牧柵	24	飼料用タンク	29	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾊｳｽ利用乾燥施設
21	電気牧柵	26	ふん尿貯留槽	30	その他のふん乾燥施設
22	給水配管・パイプ	27	浄化処理施設	31	その他の構築物
23	サイロ	28	脱臭施設		

構造コード

建築物（１　住宅）～（13　その他の建築物）

1	木造	6	木造モルタル	9	鉄骨造 骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金属	10	鉄骨造 骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	8	その他	11	鉄骨造 骨格材の肉厚４㎜以上
4	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ				

構築物（20　牧柵）～（31　その他の構築物）

1	ｺﾝｸﾘｰﾄ、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

修繕費には、次のような費用を記入してください。
- 畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
- 畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
- バンカーサイロのビニールの張替え費　など

【９】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当自動車を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十				万 千 百 十
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード（１　貨物自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）

型式コード（２　その他の自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物を除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

異動コード	
1	売　却
2	廃　棄　等

【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当農業機械を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新品	中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十				万 千 百 十
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			

種類コード

5	農用ﾄﾗｸﾀｰ	33	モ ア ー	40	飼料粉砕機	52	固液分離機
6	プ ラ ウ	34	カッター	41	飼料配合機	53	自動給水機
7	ハ ロ ー	35	ベーラー	42	ﾊﾞｰｸｸﾘｰﾅｰ	54	トレーラー
8	ﾏﾆｭｱｽﾌﾟﾚｯﾀﾞｰ	36	集 草 機	48	自動給餌機	55	運搬用機具
11	牧草は種機	37	他の牧草収穫機	49	ローダー	56	その他の農機具等
16	中耕除草機	38	積 込 機	50	ﾊﾞｷｭｰﾑｶｰ	57	パソコン
17	動力噴霧機	39	搬送・吹上機	51	ふん尿搬出機	58	その他の生産管理機器

型式コード

（56　その他の農機具等）

1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年

上記以外の農機具等

6	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

異動コード

1	売　　却
2	廃 棄 等

【11】農具の購入費・生産管理関係の費用等

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容例示
農具・農業被服等の購入費	（計）	万 千 百 十			【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容例示
生産管理関係の費用	（計）	万 千 百 十			【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【12】作業別労働時間

「その他の飼育作業」とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
・衛生管理（殺虫剤の散布等）

1　調査対象畜に関する定型作業

農業従事者ごとに、上段に１日当たりの平均作業時間を記入し、下段に１年間の従事日数を記入してください。

氏　名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水	敷料搬入・きゅう肥搬出	その他の飼育作業
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日

注：雇用者の年齢は記入不要です。

2　調査対象畜に関する１以外の作業

「作業名」欄の　（　）に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。
ここには、集会出席・技術習得・簿記記帳等の生産管理の時間、自給飼料（牧草等）の生産、建物・自動車・農機具の修繕の作業時間等を記入してください。

氏　名	性別	年齢	家族・雇用	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間	時間	時間	時間	時間
	(男)(女)		(家族)(雇用)					
	(男)(女)		(家族)(雇用)					
	(男)(女)		(家族)(雇用)					
	(男)(女)		(家族)(雇用)					

注：雇用者の年齢は記入不要です。

3　支払賃金

雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を男女別に記入してください。

区　分	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
男	万 千 百 十		
女			

・「支払賃金」に調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の生産のための支払い分を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の雇用者への支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜又は自給牧草の負担割合を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地）

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。
なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。

1　所有地

ほ　場　名	ほ場の例示	実面積 ha a	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地			
運動場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を綱でつないで飼うこと。）に利用した土地			
牧草栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地			
放牧地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地			
採草地	耕地以外で過去１年間に調査対象畜用の野草を採草した土地			

・「実面積」又は「支払地代」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

2　借入地

ほ　場　名	実面積 ha a	支払地代（円） 万 千 百 十	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
建物敷地				
運動場				
牧草栽培				
放牧地				
採草地				

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別記様式第１９号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

別添3－19

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年　肥育豚生産費統計調査票（案）

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

１．○年１月１日～○年12月31日までの１年間について記入してください。
２．調査項目欄には、右づめで記入してください。
３．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
４．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「肥育豚の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、〇年１月１日～〇年12月31日の間に、次の豚の飼育にかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

① 肉　豚・・・肥育して販売する目的で飼育している豚
② 繁殖豚・・・繁殖用の雄豚及び雌豚
（繁殖用として育成中の豚、繁殖利用後に肥育して販売する豚）
③ 原種豚・・・繁殖豚生産のための原種豚

→ 調査では、これらの豚を**「調査対象畜」**といいます。

【調査票の記入方法（調査対象畜負担割合について）】

調査票の各項目には、調査対象畜の飼育のために使用した経費等を記入してください。
例えば、調査対象畜以外の家畜を飼育している場合には、調査対象畜分の経費等を分けて記入いただく必要があります。調査対象畜分がわかる場合には下の記入例１を、わからない場合には下の記入例２を参考に記入してください。

～～～ 配合飼料の記入例 ～～～

●記入例１　調査対象畜（養豚）分の給与量・金額を記入できる場合

調査対象畜に140ｔ、７百万円の配合飼料を給与した場合、数量に**140ｔ**、金額に**７百万円**を記入し、調査対象畜負担割合を**100%**と記入してください。

区　分	数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配　合　飼　料	140	t	7000000	100

●記入例２　調査対象畜（養豚）分の給与量・金額を記入できない場合（調査対象畜以外を含む経営全体の給与量・金額しかわからない場合）

経営全体で200ｔ、１千万円の配合飼料を給与した場合、数量に**200ｔ**、金額に**１千万円**を記入し、調査対象畜負担割合には、**経営全体に占める調査対象畜の割合**を記入してください。

区　分	数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配　合　飼　料	200	t	10000000	

記入に当たり、右頁を参照してください。

【調査対象畜負担割合の設定方法】

調査対象畜負担割合について、養豚以外の経営を行っている場合の設定方法を説明します。
（※　（１）では調査対象畜と豚以外の家畜を飼育している事例、（２）以降は養豚と稲作の経営を行っている事例で説明します。）

（１）配合飼料の場合

経営全体の家畜（調査対象畜＋豚以外の家畜）の飼養頭数のうち、調査対象畜の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{経営全体の家畜の飼養頭数}} \times 100$$

例：経営全体の家畜の飼養頭数が150頭で、うち肉豚と繁殖豚が105頭、豚以外の家畜が45頭の場合の調査対象畜負担割合は７０％（105頭÷150頭×100）になります。

（２）倉庫の場合

倉庫の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が300㎡で、うち豚の飼料置き場に240㎡、米の肥料置き場に60㎡をそれぞれ使用している場合の調査対象畜負担割合は８０％（240㎡÷300㎡×100）になります。

（３）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用日数のうち、調査対象畜の飼育のために使用した日数の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した日数}}{\text{トラクターの全使用日数}} \times 100$$

例：経営全体のトラクターの全使用日数が50日で、うち豚の飼育に20日、米の生産に30日使用した場合の調査対象畜負担割合は４０％（20日÷50日×100）になります。

調　査　事　項

ページ

【１】経営の概況 …… 3
経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。

【２】生産物の販売等の状況 …… 4
豚の飼養状況、販売状況、購入状況等を記入してください。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等 …… 5
飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、農機具借料や賃借料・料金等を記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担 …… 8
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課諸負担を記入してください。

【５】消費税 …… 8
消費税申告書により申告した消費税を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 8
借入金残高、支払利子を記入してください。

【７】出荷に要した経費 …… 8
出荷で支払った料金や労働時間を記入してください。

【８】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 9
建物・構築物の所有状況を記入してください。

【９】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 10
自動車等の所有状況を記入してください。

【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 11
農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。

【11】農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 12
スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、通信費や集会参加費等を記入してください。

【12】作業別労働時間 …… 13
家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地） …… 13
地代を記入してください。

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　分	所有地（ａ）		借入地（ａ）	
	ha	a	ha	a
田				
普　通　畑				
樹　園　地				
牧　草　地				

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　分		用語の説明	男（人）	女（人）
世　帯　員		世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
	家　族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農　業　就　業　者		年間の農業労働日数が60日以上の者		
	150 日 以 上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農　業　年　雇		農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安にしてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

いる　いない

通信欄（農業に関することを何でもお書きください。）

【２】生産物の販売等の状況

１　豚の飼養状況

(1) 肥育豚

毎月始め（１日現在）の「肥育豚」及び「肥育用子豚」の飼養頭数を記入してください。
なお、繁殖用とする見込みの子豚は、「(2) 繁殖豚」に記入してください。

毎月始め（１日現在）の「肥育豚」、「子豚」の飼養頭数（頭）	万	千	百	十
１月				
２月				
３月				
４月				
５月				
６月				

毎月始め（１日現在）の「肥育豚」、「子豚」の飼養頭数（頭）	万	千	百	十
７月				
８月				
９月				
10月				
11月				
12月				

(2) 繁殖豚（後継豚を含む。）

年始めにおける繁殖豚の飼養頭数を記入してください。

年始め（１月１日現在）の繁殖豚の飼養頭数（頭）	繁殖雌豚		種雄豚		後継繁殖雌豚		後継種雄豚	
万 千 百 十								

後継繁殖雌豚、後継種雄豚とは、将来、繁殖用にするために育成している子豚です。

２　きゅう肥の利用状況

１年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に割合を記入してください。

総搬出量の割合（%）	販売用	自家利用	廃棄
1 0 0			

きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。
（販売用、自家利用、廃棄の合計が100になるように記入。）

「販売用」に該当がある場合、
その販売金額を記入してください。

販売金額（円）	万	千	百	十

物々交換した場合は、きゅう肥との交換により受け取った品目の数量を記入してください。

物々交換した場合	品目名（具体的に記入）	数量 万 千 百 十	単位

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

３　肥育豚の販売状況等

１年間に販売した肥育豚について、販売頭数、販売価額、月齢、生体重の合計を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、月別欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
（繁殖豚を繁殖利用後、肥育して肉用として販売した場合には、４に記入してください。）

受取金額から市場手数料などを除いた価額を記入してください。

販売した肥育豚の月齢の合計を記入してください。
例えば、6.6月齢の肥育豚を10頭販売した場合には、66月（6.6月×10頭）と記入してください。

月	販売頭数（頭） 万 千 百 十	価額（円） 万 千 百 十	月齢（月） 万 千 百 十	生体重（kg） 万 千 百 十
計				
１月				
２月				
３月				
４月				
５月				
６月				
７月				
８月				
９月				
10月				
11月				
12月				

４　肥育豚以外の販売状況

１年間に販売した子豚、繁殖雌豚、種雄豚、事故豚の販売状況を記入してください。

小数点以下第１位まで記入してください。

区　分	用語の説明	頭数（頭） 千 百 十	平均月齢（月） .	価額（円） 万 千 百 十
子　豚	肥育用・繁殖用として販売した豚、通常の出荷体重前に肉用として販売した豚			
繁殖雌豚	廃用後販売した繁殖雌豚（廃用後、肥育して販売した豚を含む。）			
種雄豚	廃用後、販売した種雄豚（廃用後、肥育して販売した豚を含む。）			
事故豚	事故等によりとう汰し、販売した豚			

【２】生産物の販売等の状況（続き）

５　子豚等の購入状況

１年間に購入した子豚、繁殖雌豚、種雄豚について記入してください。

区　分	用語の説明	頭数（頭）	平均月齢（月）	価額（円）
子　豚	肥育用として購入した子豚	千 百 十	.	万 千 百 十
繁殖雌豚	子取り用として購入した雌豚（将来、繁殖雌豚とする予定の子豚を含む。）			
種雄豚	種付用として購入した雄豚（将来、種雄豚とする予定の子豚を含む。）			

６　繁殖雌豚の分べん状況

１年間に分べんした繁殖雌豚の頭数、子豚の分べん頭数を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、月別欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

	分べんした繁殖雌豚（頭）	子豚分べん頭数（頭）
計	千 百 十	万 千 百 十
１月		
２月		
３月		
４月		
５月		
６月		
７月		
８月		
９月		
10月		
11月		
12月		

７　死亡・とう汰した豚の状況

肥育豚及び肥育用子豚のうち１年間に死亡・とう汰した頭数について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、月別欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

	死亡・とう汰頭数（頭）
計	千 百 十
１月	
２月	
３月	
４月	
５月	
６月	
７月	
８月	
９月	
10月	
11月	
12月	

死亡・とう汰した豚の死亡・とう汰時の平均的な月齢を小数点第１位まで記入してください。

平均月齢（月）
.

平均的な月齢を、小数点以下第１位まで記入してください。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等

１　購入飼料

１年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。

・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を目安に負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 / 全体の飼養頭数 ×100

（※２　自給飼料でも同様です。）

区　分		数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
穀　類	大　麦	万 千 百 十		万 千 百 十	%
	その他の麦				
	とうもろこし				
	飼料用米				
	その他の穀類				
ぬか・ふすま類	ふすま				
	その他のぬか・ふすま類				
植物性かす類					
配合飼料					
エコフィード					
脱脂乳					
いも類及び野菜類					
上記以外の購入飼料					

２　自給飼料

１年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を記入してください。

作物名（具体的に記入）	数　量	単位	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十		%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

３　種付料

種付けに支払った料金を記入してください。（精液代、種付料等）

種付料金（円）	万	千	百	十

４　敷料費

(1) 購入

１年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。

区　分	金　額（円） 万	千	百	十	調査対象畜負担割合 %
計					
稲わら					
おがくず					
麦わら					
乾牧草					
その他					

物々交換した場合		
品目名（具体的に記入）	数量	単位

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を目安に負担割合を記入してください。

(2) 自給

１年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量 万	千	百	十	単位	調査対象畜負担割合 %

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

５　光熱動力費

(1) 購入

１年間に調査対象畜に使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金　額（円） 万	千	百	十	調査対象畜負担割合 %
計					
重　油					
軽　油					
灯　油					
ガソリン					
水道料					
電力料					
その他					

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の使用分を含めて記入する場合には、それぞれの使用割合により記入してください。

(2) 自給

１年間に調査対象畜に使用した光熱動力の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量 万	千	百	十	単位	調査対象畜負担割合 %

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【自給で使用した燃料の例】　薪、木炭　など

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

６　獣医師料及び医薬品費

１年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
	万 千 百 十	%	
計			
獣医師料			獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」（病傷部分）
医薬品費			豚に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を目安に負担割合を記入してください。

７　賃借料及び料金

１年間に支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合	賃借料及び料金の例示
	万 千 百 十	%	
計			
共同負担金			共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料			農機具のリース代
その他			義務付けられている検査の費用、建物の賃借料等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、それぞれの利用割合により負担割合を記入してください。

８　その他の資材等

・「金額」や「使用数量」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、それぞれの使用割合により負担割合を記入してください。

前記１～７以外で、１年間に調査対象畜に使用した購入資材の金額及び自給した資材の数量を、黄色の欄に記入してください。
また、「資材名」欄には、資材の詳細を具体的に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

	資材名等	数量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
				万 千 百 十	%
購入	計				
自給				万 千 百 十	

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

ロープ、縄、ビニール・シート、ハエ取り紙　など

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担した調査対象畜に関係する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分			金　額（円）	調査対象畜負担割合
			万 千 百 十	%
計				
	固定資産税	建　物		
		農機具		
	都市計画税（土地以外）			
	不動産取得税（土地以外）			
	共同施設税			

注：　固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、次の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体への使用面積に占める調査対象畜の**使用面積割合**を記入してください。

○固定資産税（農機具）、共同施設税の場合は、農機具等の経営全体への使用日数に占める調査対象畜の**使用日数割合**を記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担した調査対象畜に関係する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分		金　額（円）	調査対象畜負担割合	公課諸負担の例示
		万 千 百 十	%	
計				
	集落協議会費			地域集落等の会費
	農業協同組合費			農業協同組合の組合費、賦課金
	養豚組合費			
	農事実行組合費			実行組合、農家組合等の会費、賦課金
	家畜共済組合賦課金			

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、次の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

○集落協議会費、農業協同組合費、養豚組合費及び農事実行組合費の場合は、**農業収入に占める調査対象畜の収入割合**を記入してください。
○家畜共済組合賦課金の場合は、**飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合**を記入してください。

【５】消費税

消費税申告書により申告した養豚分の消費税額を記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十	%
消費税（納付額）		

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査対象畜関係の借入金について、調査開始時（１月１日）の未償還残高、買掛未払金を、黄色の欄に記入してください。
また、１年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

借入金種類	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十	万 千 百 十	%
計			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜分の借入額又は利子額を記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分をまとめて記入する場合には、次のとおり農業収入全体に占める調査対象畜（養豚）の収入割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜（養豚）の収入}}{\text{経営全体の農業収入}} \times 100$$

【７】出荷に要した経費

１年間に肥育豚を出荷するために使用した資材等の金額を記入してください。

区　　分	金額、時間	出荷に要した経費の例示
	万 千 百 十	
材　　料（円）		出荷に使用したガソリン代、資材（手綱、鼻木等）の購入代金　等
料　　金（円）		出荷作業を依頼した場合の料金、共同出荷における運搬費の負担金　等
労働時間（時間）	時間	肥育豚を販売する際の家畜市場等の販売先までの運搬に要した時間

【８】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜の飼育に使用した建物等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

【調査対象畜負担割合について】
・該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用面積 / 経営全体の使用面積 ×100

番号	名称等	種類コード	構造コード	延べ面積（㎡）又は施設数（基）	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	調査対象畜負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1				千 百 十				年	月	億 千 百 万 千 百 十	千 百 万 千 百 十	千 百 万 千 百 十	千 百 万 千 百 十			千 百 万 千 百 十
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																

種類コード

建築物					
1	住宅	4	作業場	9	たい肥舎・たい肥盤
2	事務所	6	畜舎	10	乾牧草収納庫
3	納屋・倉庫	8	車庫	13	その他の建築物
構築物					
24	飼料用タンク	29	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾊｳｽ利用乾燥施設		
26	ふん尿貯留槽	30	その他のふん乾燥施設		
27	浄化処理施設	31	その他の構築物		
28	脱臭施設				

構造コード

建築物（１　住宅）～（13　その他の建築物）

1	木造	6	木造モルタル	9	鉄骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金属	10	鉄骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	8	その他	11	鉄骨格材の肉厚４㎜以上
4	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ				

構築物（24　飼料用タンク）～（31　その他の構築物）

1	ｺﾝｸﾘｰﾄ、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。

・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用　など

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【９】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

調査対象畜の飼育に使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

【調査対象畜負担割合について】
・該当自動車を調査対象畜のみに使用している場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	調査対象畜負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1				○	○		年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2				○	○												
3				○	○												
4				○	○												
5				○	○												
6				○	○												
7				○	○												
8				○	○												
9				○	○												
10				○	○												
11				○	○												
12				○	○												
13				○	○												
14				○	○												
15				○	○												

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード（１　貨物自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）

型式コード（２　その他の自動車）	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

異動コード	
1	売　却
2	廃　棄　等

【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査対象畜の飼育に使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、12ページに記入してください。

【調査対象畜負担割合について】
・該当農業機械を調査対象畜のみに使用している場合は「100」としてください。
・調査対象畜以外に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円） 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円） 農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円） 当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円） 当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円） 当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険（円）	調査対象畜負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円） 廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1				○	○		年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2				○	○													
3				○	○													
4				○	○													
5				○	○													
6				○	○													
7				○	○													
8				○	○													
9				○	○													
10				○	○													
11				○	○													
12				○	○													
13				○	○													
14				○	○													
15				○	○													

種類コード			
5	農用ﾄﾗｸﾀｰ	50	ﾊﾞｷｭｰﾑｶｰ
8	ﾏﾆｭｱｽﾌﾟﾚｯﾀﾞｰ	52	固液分離機
17	動力噴霧機	53	自動給水機
40	飼料粉砕機	56	その他の農機具等
41	飼料配合機	57	パソコン
48	自動給餌機	58	その他の生産管理機器
49	ローダー		

型式コード	
（56　その他の農機具等）	
1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年
上記以外の農機具等	
6	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

異動コード	
1	売　却
2	廃　棄　等

【11】農具の購入費・生産管理関係の費用等

１年間に調査対象畜の飼育のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外へ共通して使用している場合には、それぞれへの使用日数の割合等を目安に負担割合を記入してください。

	区分（名称等）	金額（円） 万 千 百 十	調査対象畜負担割合（%）	内容例示
農具・農業被服等の購入費	（計）			【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	区分（名称等）	金額（円） 万 千 百 十	調査対象畜負担割合（%）	内容例示
生産管理関係の費用	（計）			【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【12】作業別労働時間

「その他の飼育作業」とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・種付け、分べん関係作業
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
・衛生管理（殺虫剤の散布等）

1　調査対象畜の生産に関する定型作業

農業従事者ごとに、上段に１日当たりの平均作業時間を記入し、下段に１年間の従事日数を記入してください。

氏　名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水	敷料搬入・きゅう肥搬出	その他の飼育作業
	男／女		家族／雇用	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	男／女		家族／雇用	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	男／女		家族／雇用	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	男／女		家族／雇用	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	男／女		家族／雇用	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	男／女		家族／雇用	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日

注：雇用者の年齢は記入不要です。

2　調査対象畜の生産に関する１以外の作業

「作業名」欄の（　）に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。
ここには、集会出席・技術習得・簿記記帳等の生産管理の時間、自給飼料の生産のための作業時間を記入してください。

氏　名	性別	年齢	家族・雇用	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）
	男／女		家族／雇用	時間	時間	時間	時間	時間
	男／女		家族／雇用					
	男／女		家族／雇用					
	男／女		家族／雇用					
	男／女		家族／雇用					

注：雇用者の年齢は記入不要です。

3　支払賃金

雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を男女別に記入してください。

区分	金　額（円）	調査対象畜負担割合
男	万 千 百 十 円	%
女		

・「支払賃金」に調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の雇用者への支払い分を含めて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地）

１年間に調査対象畜の飼育のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。
なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。

1　所有地

ほ　場　名	ほ場の例示	実面積	調査対象畜負担割合
建　物　敷　地	畜舎、納屋及び飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地	ha a	%
運　動　場	豚の運動や放牧に利用した土地		
牧　草　栽　培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地		
採　草　地	耕地以外で過去１年間に調査対象畜用の野草を採草した土地		

・該当土地を調査対象畜のみに使用している場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

2　借入地

ほ　場　名	実面積	支払地代（円）	調査対象畜負担割合
建　物　敷　地	ha a	万 千 百 十	%
運　動　場			
牧　草　栽　培			
採　草　地			

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

別添４

農業経営統計調査の集計事項一覧（案）

目　　次

Ⅰ　営農類型別経営統計

１　個人経営体（基本項目）

(1) 水田作経営 …… 1
(2) 畑作経営 …… 1
(3) 野菜作経営 …… 2
(4) 果樹作経営 …… 3
(5) 花き作経営 …… 3
(6) 酪農経営 …… 4
(7) 肉用牛経営 …… 4
(8) 養豚経営 …… 4
(9) 採卵養鶏経営 …… 4
(10) ブロイラー養鶏経営 …… 4

２　個人経営体（詳細項目）

(1) 水田作経営 …… 4
(2) 畑作経営 …… 4
(3) 野菜作経営 …… 5
(4) 果樹作経営 …… 6
(5) 花き作経営 …… 7
(6) 酪農経営 …… 7
(7) 肉用牛経営 …… 7
(8) 養豚経営 …… 7
(9) 採卵養鶏経営 …… 7
(10) ブロイラー養鶏経営 …… 7

３　法人経営体

(1) 水田作経営 …… 7
(2) 畑作経営 …… 9
(3) 野菜作経営 …… 9
(4) 果樹作経営 …… 9
(5) 花き作経営 …… 9
(6) 酪農経営 …… 9
(7) 肉用牛経営 …… 10
(8) 養豚経営 …… 10
(9) 採卵養鶏経営 …… 10
(10) ブロイラー養鶏経営 …… 10

４　農業経営体（基本項目）

(1) 水田作経営 …… 10
(2) 畑作経営 …… 11
(3) 野菜作経営 …… 11
(4) 果樹作経営 …… 11
(5) 花き作経営 …… 11
(6) 酪農経営 …… 11
(7) 肉用牛経営 …… 12
(8) 養豚経営 …… 12
(9) 採卵養鶏経営 …… 12
(10) ブロイラー養鶏経営 …… 12

Ⅱ　経営形態別経営統計

１　個人経営体

(1) 全国年次別統計表 …… 12
(2) 全国農業地域別統計表 …… 12
(3) 農業の主副業別統計表 …… 12
(4) 農業地域類型別統計表 …… 12
(5) 認定農業者のいる経営体の経営収支 …… 12
(6) 農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支 …… 12

２　法人経営体

(1) 全国年次別統計表 …… 13
(2) 全国農業地域別統計表 …… 13
(3) 農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支 …… 13
(4) 法人経営体のうち組織法人経営体 …… 13
(5) 法人経営体のうち個別法人経営体 …… 13

３　農業経営体

(1) 全国年次別統計表 …… 13
(2) 全国農業地域別統計表 …… 13
(3) 農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支 …… 13

Ⅲ　農産物生産費統計

１　個別経営体

(1) 米生産費 …… 14
(2) 小麦生産費 …… 14
(3) 二条大麦生産費 …… 14
(4) 六条大麦生産費 …… 14
(5) はだか麦生産費 …… 14
(6) そば生産費 …… 14
(7) 大豆生産費 …… 15
(8) 原料用かんしょ生産費 …… 15
(9) 原料用ばれいしょ生産費 …… 15
(10) なたね生産費 …… 15
(11) てんさい生産費 …… 15
(12) さとうきび生産費 …… 15

２　組織法人経営体

(1) 米生産費 …… 15
(2) 小麦生産費 …… 15
(3) 大豆生産費 …… 15

Ⅳ　畜産物生産費統計（個別経営体）

1　牛乳生産費 …… 16
2　去勢若齢肥育牛生産費 …… 16
3　乳用雄肥育牛生産費 …… 16
4　交雑種肥育牛生産費 …… 16
5　子牛生産費 …… 16
6　乳用雄育成牛生産費 …… 16
7　交雑種育成牛生産費 …… 16
8　肥育豚生産費 …… 16

本文内の記号の意味
◎：　平均値及び階層別を表章
○：　平均値のみを表章
×：　集計しない

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
Ⅰ　営農類型別経営統計					調査対象経営体のうち、調査期間（５（２）に掲げる期間をいう。以下同じ。）に脱落等により調査不能となった経営体を除く経営体を集計の対象とする。（Ⅱにおいても同様）
１　個人経営体（基本項目）					
(1) 水田作経営					
ア　水田作経営	水田作作付延べ面積	◎	◎	○	
イ　水田作主業経営	〃	◎	○	×	
ウ　稲作経営	稲作作付面積	◎	◎	○	
エ　稲作１位経営	〃	◎	◎	○	
オ　稲作単一経営	〃	◎	◎	○	
カ　稲作１位複合経営	〃	◎	◎	○	
キ　麦類作経営	麦類作作付面積	◎	○ ※1	○ ※2	※１　北海道のみ ※２　関東・東山、九州のみ
ク　麦類作１位経営		○	×	×	
ケ　大豆作経営	大豆作作付面積	◎	○	×	
コ　大豆作１位経営		○	×	×	
(2) 畑作経営					
ア　畑作経営	畑作作付延べ面積	○	◎	○	
イ　畑作主業経営	〃	○	◎ ※1	○ ※2	※１　都府県は平均値のみ ※２　九州のみ

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
ウ　麦類作経営		×	○※	×	※　北海道のみ
エ　大豆作経営		×	○※	×	※　〃
オ　ばれいしょ作経営		×	○※	×	※　〃
カ　てんさい作経営		×	○※	×	※　〃
キ　茶作経営		×	○※	×	※　都府県のみ
ク　さとうきび作経営		×	○※	×	※　〃
ケ　かんしょ作経営		×	○※	×	※　〃
(3) 野菜作経営					
ア　野菜作経営					
（ア）　野菜作経営	野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
（イ）　野菜作主業経営		○	×	×	
イ　露地野菜作経営					
（ア）　露地野菜作経営	露地野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
（イ）　露地野菜作主業経営		○	×	×	
（ウ）　露地野菜作単一経営	露地野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
（エ）　露地野菜作１位複合経営	〃	◎	○	○	
ウ　施設野菜作経営					
（ア）　施設野菜作経営	施設野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
（イ）　施設野菜作主業経営		○	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
（ウ）　施設野菜作単一経営	施設野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
（エ）　施設野菜作１位複合経営	〃	◎	○	○	
(4) 果樹作経営					
ア　果樹作経営	果樹植栽面積	◎	○	○	
イ　果樹作主業経営		○	×	×	
ウ　果樹作単一経営	果樹植栽面積	◎	○	○	
(5) 花き作経営					
ア　花き作経営					
（ア）　花き作経営	花き作作付延べ面積	◎	×	×	
（イ）　花き作主業経営		○	×	×	
イ　露地花き作経営					
（ア）　露地花き作経営	露地花き作作付延べ面積	◎	×	×	
（イ）　露地花き作主業経営		○	×	×	
（ウ）　露地花き作単一経営	露地花き作作付延べ面積	◎	×	×	
（エ）　切り花が主		○	×	×	
ウ　施設花き作経営					
（ア）　施設花き作経営	施設花き作作付延べ面積	◎	×	×	
（イ）　施設花き作主業経営		○	×	×	
（ウ）　施設花き作単一経営	施設花き作作付延べ面積	◎	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
（エ）　切り花が主		○	×	×	
（オ）　鉢物が主		○	×	×	
(6) 酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	◎	◎	○	
(7) 肉用牛経営					
ア　肉用牛経営	月平均肉用牛飼養頭数	◎	◎※	○	※　北海道は平均値のみ
イ　繁殖牛経営	月平均繁殖雌牛飼養頭数	◎	◎※	○	※　北海道は平均値のみ
ウ　肥育牛経営					
（ア）　肥育牛経営	月平均肥育牛飼養頭数	◎	◎※	○	※　北海道は平均値のみ
（イ）　肉専用種が主	〃	◎	×	×	
（ウ）　乳用種が主	〃	◎	×	×	
(8) 養豚経営	月平均豚飼養頭数	◎	◎※	○	※　北海道は平均値のみ
(9) 採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	年間ブロイラー出荷羽数	◎	×	×	
２　個人経営体（詳細項目）					
(1) 水田作経営		○	○	○	
(2) 畑作経営		○	○	○	
ア　ばれいしょ作経営(部門)		×	○	○※	※　関東・東山、九州のみ

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
イ　茶作経営(部門)		×	○ ※1	○ ※2	※1　都府県のみ ※2　関東・東山、東海、近畿、九州のみ
ウ　かんしょ作経営(部門)		×	○ ※1	○ ※2	※1　都府県のみ ※2　関東・東山、九州のみ
(3) 野菜作経営					
ア　野菜作経営		○	○	○	
イ　露地野菜作経営		○	○	○	
（ア）　露地きゅうり作経営(部門)		○	×	×	
（イ）　露地大玉トマト作経営(部門)		○	×	×	
（ウ）　露地なす作経営(部門)		○	×	×	
（エ）　露地キャベツ作経営(部門)		○	×	×	
（オ）　露地ほうれんそう作経営(部門)		○	×	×	
（カ）　露地たまねぎ作経営(部門)		○	×	×	
（キ）　露地レタス作経営(部門)		○	×	×	
（ク）　露地はくさい作経営(部門)		○	×	×	
（ケ）　露地白ねぎ作経営(部門)		○	×	×	
（コ）　露地だいこん作経営(部門)		○	×	×	
（サ）　露地にんじん作経営(部門)		○	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
ウ　施設野菜作経営		○	○	○	
（ア）　施設きゅうり作経営(部門)		○	×	×	
（イ）　施設大玉トマト作経営(部門)		○	×	×	
（ウ）　施設ミニトマト作経営(部門)		○	×	×	
（エ）　施設なす作経営(部門)		○	×	×	
(4) 果樹作経営		○	○	○	
ア　りんご作経営(部門)		○	×	○※	※　東北、関東・東山のみ
イ　露地温州みかん作経営(部門)		○	×	○※	※　東海、近畿、中国、四国、九州のみ
ウ　露地ぶどう作経営(部門)		○	×	○※	※　東北、関東・東山、中国、九州のみ
エ　日本なし作経営(部門)		○	×	○※	※　東北、関東・東山、東海、中国、九州のみ
オ　もも作経営(部門)		○	×	○※	※　東北、関東・東山、近畿、中国のみ
カ　施設温州みかん作経営(部門)		○	×	×	
キ　施設ぶどう作経営(部門)		○	×	×	
ク　かき作経営(部門)		○	×	×	
ケ　うめ作経営(部門)		○	×	×	
コ　おうとう作経営(部門)		○	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
サ　キウイフルーツ作経営(部門)		○	×	×	
シ　すもも作経営(部門)		○	×	×	
(5) 花き作経営					
ア　花き作経営		○	×	×	
イ　露地花き作経営		○	×	×	
ウ　施設花き作経営		○	×	×	
（ア）施設ばら作経営(部門)		○	×	×	
(6) 酪農経営		○	○	○	
(7) 肉用牛経営					
ア　肉用牛経営		○	○	○	
イ　繁殖牛経営		○	○	○	
ウ　肥育牛経営		○	○	○	
(8) 養豚経営		○	○	○	
(9) 採卵養鶏経営		○	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営		○	×	×	
3　法人経営体					
(1) 水田作経営					
ア　水田作経営	水田作作付延べ面積	◎	○	○	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
イ　稲作経営	稲作作付面積	◎	○	○※	※　東北、北陸のみ
ウ　稲作１位経営	〃	◎	○	○※	※　〃
エ　稲作単一経営	〃	◎	○	○※	※　〃
オ　稲作１位複合経営		○	×	×	
カ　麦類作経営	麦類作作付面積	◎	×	×	
キ　麦類作１位経営		○	×	×	
ク　大豆作経営	大豆作作付面積	◎	×	×	
ケ　大豆作１位経営		○	×	×	
コ　水田作経営のうち集落営農組織法人					
（ア）水田作経営のうち集落営農組織法人	水田作作付延べ面積	◎	○※	○	※　都府県のみ
（イ）稲作１位経営	稲作作付面積	◎	○※1	○※2	※１　都府県のみ ※２　東北、北陸のみ
（ウ）稲作単一経営	〃	◎	○※1	○※2	※１　都府県のみ ※２　東北、北陸のみ
（エ）稲作１位複合経営		○	×	×	
（オ）麦類作経営	麦類作作付面積	◎	×	×	
（カ）麦類作１位経営		○	×	×	
（キ）大豆作経営	大豆作作付面積	◎	×	×	
（ク）大豆作１位経営		○	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
(2) 畑作経営					
ア　畑作経営	畑作作付延べ面積	◎	◎	×	
イ　麦類作経営		×	○※	×	※　北海道のみ
ウ　大豆作経営		×	○※	×	※　〃
エ　ばれいしょ作経営		×	○※	×	※　〃
オ　てんさい作経営		×	○※	×	※　〃
カ　茶作経営		×	○※	×	※　都府県のみ
キ　さとうきび作経営		×	○※	×	※　〃
ク　かんしょ作経営		×	○※	×	※　〃
(3) 野菜作経営					
ア　野菜作経営	野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
イ　露地野菜作経営	露地野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ　施設野菜作経営	施設野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
(4) 果樹作経営	果樹植栽面積	◎	×	×	
(5) 花き作経営					
ア　花き作経営	花き作作付延べ面積	◎	×	×	
イ　露地花き作経営	露地花き作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ　施設花き作経営	施設花き作作付延べ面積	◎	×	×	
(6) 酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	◎	◎	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
(7) 肉用牛経営					
ア　肉用牛経営	月平均肉用牛飼養頭数	◎	×	×	
イ　繁殖牛経営	月平均繁殖雌牛飼養頭数	◎	×	×	
ウ　肥育牛経営	月平均肥育牛飼養頭数	◎	×	×	
(8) 養豚経営	月平均豚飼養頭数	◎	×	×	
(9) 採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	年間ブロイラー出荷羽数	◎	×	×	
4　農業経営体（基本項目）					
(1) 水田作経営					
ア　水田作経営	水田作作付延べ面積	◎	○	○	
イ　稲作経営	稲作作付面積	◎	○	○※	※　東北、北陸のみ
ウ　稲作１位経営	〃	◎	○	○※	※　〃
エ　稲作単一経営	〃	◎	○	○	※　〃
オ　稲作１位複合経営		○	×	×	
カ　麦類作経営	麦類作作付面積	◎	×	×	
キ　麦類作１位経営		○	×	×	
ク　大豆作経営	大豆作作付面積	◎	×	×	
ケ　大豆作１位経営		○	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
(2) 畑作経営					
ア　畑作経営	畑作作付延べ面積	◎	◎	×	
イ　麦類作経営		×	○※	×	※　北海道のみ
ウ　大豆作経営		×	○※	×	※　〃
エ　ばれいしょ作経営		×	○※	×	※　〃
オ　てんさい作経営		×	○※	×	※　〃
カ　茶作経営		×	○※	×	※　都府県のみ
キ　さとうきび作経営		×	○※	×	※　〃
ク　かんしょ作経営		×	○※	×	※　〃
(3) 野菜作経営					
ア　野菜作経営	野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
イ　露地野菜作経営	露地野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ　施設野菜作経営	施設野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
(4) 果樹作経営	果樹植栽面積	◎	×	×	
(5) 花き作経営					
ア　花き作経営	花き作作付延べ面積	◎	×	×	
イ　露地花き作経営	露地花き作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ　施設花き作経営	施設花き作作付延べ面積	◎	×	×	
(6) 酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	◎	◎	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
(7) 肉用牛経営					
ア　肉用牛経営	月平均肉用牛飼養頭数	◎	×	×	
イ　繁殖牛経営	月平均繁殖雌牛飼養頭数	◎	×	×	
ウ　肥育牛経営	月平均肥育牛飼養頭数	◎	×	×	
(8) 養豚経営	月平均豚飼養頭数	◎	×	×	
(9) 採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	年間ブロイラー出荷羽数	◎	×	×	
Ⅱ　経営形態別経営統計					
1　個人経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3) 農業の主副業別統計表		○	○	○	
(4) 農業地域類型別統計表		○	×	×	
(5) 認定農業者のいる経営体の経営収支		○	○	×	
(6) 農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支		○	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
2　法人経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3) 農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支		○	×	×	
(4) 法人経営体のうち組織法人経営体					
ア　全国年次別統計表		○	×	×	
イ　農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支		○	×	×	
(5) 法人経営体のうち個別法人経営体					
ア　全国年次別統計表		○	×	×	
イ　農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支		○	×	×	
3　農業経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3) 農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支		○	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
Ⅲ　農産物生産費統計					調査対象経営体のうち、調査期間に脱落等により調査不能となった経営体及び調査対象品目が収穫皆無となった経営体を除く経営体を集計の対象とし、このうち、調査期間の調査対象品目の生産実績が別添２の別表第２の分類基準に該当しなかった経営体並びに過去５年間の10アール当たり収量のうち最高及び最低の年を除いた３年間の10アール当たり平均収量（平年作）に対する調査年の10アール当たり収量の増減が基準（米については±20%、米以外の農産物については±70%）以上の経営体を除く経営体を対象とした集計を行う。 更に、全ての集計対象経営体を対象とした集計（全国のみ）も、併せて行う。
１　個別経営体					
(1) 米生産費	食用米作付面積	◎	◎	◎	府県別平均値についても表章
(2) 小麦生産費					
ア　田畑計	小麦作付面積	◎	◎	○※	※　関東・東山及び九州のみ
イ　田畑別	〃	◎	○	×	
(3) 二条大麦生産費		○	×	×	
(4) 六条大麦生産費		○	×	×	
(5) はだか麦生産費		○	×	×	
(6) そば生産費	そば作付面積	◎	○	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
(7) 大豆生産費					
ア　田畑計	大豆作付面積	◎	◎	○※	※　東北、北陸、関東・東山及び九州のみ
イ　田畑別	〃	◎	×	×	
(8) 原料用かんしょ生産費		○※	×	×	※　鹿児島のみ
(9) 原料用ばれいしょ生産費	原料用ばれいしょ作付面積	×	◎※	×	※　北海道のみ
(10) なたね生産費		○	○	×	
(11) てんさい生産費	てんさい作付面積	×	◎※	×	※　北海道のみ
(12) さとうきび生産費	さとうきび収穫面積	◎	×	×	鹿児島及び沖縄平均値についても表章
2　組織法人経営体					
(1) 米生産費	食用米作付面積	◎	×	×	
(2) 小麦生産費	小麦作付面積	◎	×	×	
(3) 大豆生産費	大豆作付面積	◎	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
Ⅳ　畜産物生産費統計（個別経営体）					調査対象経営体のうち、調査期間に脱落等により調査不能となった経営体及び調査期間の調査対象畜の飼養実績が別添２の別表第２の分類基準に該当しなかった経営体を除く経営体を集計の対象とする。
1　牛乳生産費	搾乳牛飼養頭数	◎	◎	○	
2　去勢若齢肥育牛生産費	去勢若齢肥育牛飼養頭数	◎	○※	○	※　北海道のみ
3　乳用雄肥育牛生産費	乳用雄肥育牛飼養頭数	◎	○※	○	※　〃
4　交雑種肥育牛生産費	交雑種肥育牛飼養頭数	◎	○※	○	※　〃
5　子牛生産費	繁殖雌牛飼養頭数	◎	○※	○	※　〃
6　乳用雄育成牛生産費	乳用雄育成牛飼養頭数	◎	○※	○	※　〃
7　交雑種育成牛生産費	交雑種育成牛飼養頭数	◎	○※	○	※　〃
8　肥育豚生産費	肉豚飼養頭数	◎	○※	○	※　〃

別添４（参考）

営農類型別経営統計　統計表（見直し案）

１　概要

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
集計経営体数	経営体	**集計経営体数**	**集計経営体数**	
経営体の概況		**経営体の概況**	**経営体の概況**	詳細調査項目
経営耕地面積	a	経営耕地面積	経営耕地面積	
（営農類型規模）	（規模の単位）	（営農類型規模）	（営農類型規模）	○　共通 営農類型規模は、営農類型に応じた規模を表章（例：酪農経営の場合は月平均搾乳牛飼養頭数）
農業労働時間	時間	農業労働時間	農業労働時間	
農業生産関連事業労働時間	〃	農業生産関連事業労働時間	農業生産関連事業労働時間	
	千円	農業固定資産額		
	〃	資本金		
		出資構成（出資者数）		
	人	個人		
	〃	うち非従事出資者		
	団体	農協・農協連合会		
	社	関連会社		
	団体	その他の団体		
	万円	出資（資本金）構成（金額）		
	〃	個人		
	〃	うち非従事出資者		
	〃	農協・農協連合会		
	〃	関連会社		
	〃	その他の団体		
事業収支の概要		**事業収支の概要**	**事業収支の概要**	
事業収入	千円	事業収入	事業収入	
事業支出	〃	事業支出	事業支出	
営業利益	〃	営業利益	営業利益	
営業外収益	〃	営業外収益	営業外収益	
営業外費用	〃	営業外費用	営業外費用	
経常利益	〃	経常利益	経常利益	

1　概要（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
分析指標（事業）		**分析指標（事業）**	**分析指標（事業）**	
収益性		収益性	収益性	
売上高営業利益率	%	総資本経常利益率	売上高営業利益率	
売上高経常利益率	〃	売上高営業利益率	売上高経常利益率	
	〃	売上高経常利益率		
	〃	売上高当期純利益率		
	〃	自己資本当期純利益率		
売上高費用比率	〃	売上高費用比率	売上高費用比率	
	〃	売上高原価比率		
	〃	売上高販売管理費比率		
生産性		生産性	生産性	
付加価値額	千円	付加価値額	付加価値額	
売上高付加価値率（付加価値率）	%	売上高付加価値率（付加価値率）	売上高付加価値率（付加価値率）	
	千円	事業従事者1人当たり給与総額		
	%	付加価値額給与総額率（労働分配率）		
事業従事者1人当たり付加価値額（労働生産性）	円	事業従事者1人当たり付加価値額（労働生産性）	事業従事者1人当たり付加価値額（労働生産性）	
事業従事者1人当たり売上高	千円	事業従事者1人当たり売上高	事業従事者1人当たり売上高	
		効率性		
	回	総資本回転率		
		安全性		
	%	自己資本比率		
	〃	流動比率		

1　概要（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
農業経営収支の概要		**農業経営収支の概要**	**農業経営収支の概要**	
農業所得	千円	農業所得	農業所得	
農業粗収益	〃	農業粗収益	農業粗収益	
うち共済・補助金等受取金	〃	うち共済・補助金等受取金	うち共済・補助金等受取金	
農業経営費	〃	農業経営費	農業経営費	
うち共済等の掛金・拠出金	〃	うち共済等の掛金・拠出金	うち共済等の掛金・拠出金	
農業生産関連事業所得	〃	農業生産関連事業所得	農業生産関連事業所得	
農業生産関連事業収入	〃	農業生産関連事業収入	農業生産関連事業収入	
農業生産関連事業支出	〃	農業生産関連事業支出	農業生産関連事業支出	
分析指標（農業）		**分析指標（農業）**	**分析指標（農業）**	
収益性		収益性	収益性	
農業依存度	%	農業依存度	農業依存度	
農業所得率	〃	農業所得率	農業所得率	
農業従事者1人当たり農業所得	千円	農業従事者1人当たり農業所得	農業従事者1人当たり農業所得	
	〃	農業固定資産額千円当たり農業所得		
経営耕地面積10a当たり農業所得	〃	経営耕地面積10a当たり農業所得	経営耕地面積10a当たり農業所得	
営農類型規模当たり農業所得	（規模の単位）	営農類型規模当たり農業所得	営農類型規模当たり農業所得	
生産性		生産性	生産性	
付加価値額	千円	付加価値額	付加価値額	
農業粗収益付加価値率（付加価値率）	%	農業粗収益付加価値率（付加価値率）	農業粗収益付加価値率（付加価値率）	
農業従事者1人当たり付加価値額（農業労働生産性）	円	農業従事者1人当たり付加価値額（農業労働生産性）	農業従事者1人当たり付加価値額（農業労働生産性）	
農業従事者1人当たり付加価値額	千円	農業従事者1人当たり付加価値額	農業従事者1人当たり付加価値額	
	〃	農業固定資産額千円当たり付加価値額		
経営耕地面積10a当たり付加価値額	〃	経営耕地面積10a当たり付加価値額	経営耕地面積10a当たり付加価値額	
営農類型規模当たり付加価値額	（規模の単位）	営農類型規模当たり付加価値額	営農類型規模当たり付加価値額	
	〃	農業固定資産装備率		
	回	農業固定資産回転率		

2　労働力・土地等の状況

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
事業従事者数	人	**事業従事者数**	**事業従事者数**	○　共通 事業従事者の区分について、他産業の雇用形態との比較を可能とする項目の追加
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
経営主・有給役員・家族	〃	経営主・有給役員	家族	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
雇用者	〃	雇用者	雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
常用雇用者	〃	常用雇用者	常用雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
	〃	正社員・正職員		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	正社員・正職員以外		
	〃	男		
	〃	女		
うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	〃	うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
臨時雇用者	〃	臨時雇用者	臨時雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
	〃	うち構成員		
	〃	男		
	〃	女		

2　労働力・土地等の状況（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
うち農業従事者数	人	うち農業従事者数	うち農業従事者数	○農業従事者 15歳以上で、調査期日前１年間に自営農業に従事した者
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
経営主・有給役員・家族	〃	経営主・有給役員	家族	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
雇用者	〃	雇用者	雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
常用雇用者	〃	常用雇用者	常用雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
	〃	正社員・正職員		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	正社員・正職員以外		
	〃	男		
	〃	女		
うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	〃	うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
臨時雇用者	〃	臨時雇用者	臨時雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
	〃	うち構成員		
	〃	男		
	〃	女		

2　労働力・土地等の状況（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
農業に60日以上従事	人	農業に60日以上従事	農業に60日以上従事	
男	〃	男	男	
35歳未満	〃	35歳未満	35歳未満	
35～44	〃	35～44	35～44	
45～49	〃	45～49	45～49	
50～59	〃	50～59	50～59	
60～64	〃	60～64	60～64	
65～69	〃	65～69	65～69	
70歳以上	〃	70歳以上	70歳以上	
女	〃	女	女	
35歳未満	〃	35歳未満	35歳未満	
35～44	〃	35～44	35～44	
45～49	〃	45～49	45～49	
50～59	〃	50～59	50～59	
60～64	〃	60～64	60～64	
65～69	〃	65～69	65～69	
70歳以上	〃	70歳以上	70歳以上	
農業に150日以上従事	人	農業に150日以上従事	農業に150日以上従事	
男	〃	男	男	
35歳未満	〃	35歳未満	35歳未満	
35～44	〃	35～44	35～44	
45～49	〃	45～49	45～49	
50～59	〃	50～59	50～59	
60～64	〃	60～64	60～64	
65～69	〃	65～69	65～69	
70歳以上	〃	70歳以上	70歳以上	
女	〃	女	女	
35歳未満	〃	35歳未満	35歳未満	
35～44	〃	35～44	35～44	
45～49	〃	45～49	45～49	
50～59	〃	50～59	50～59	
60～64	〃	60～64	60～64	
65～69	〃	65～69	65～69	
70歳以上	〃	70歳以上	70歳以上	

2　労働力・土地等の状況（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
農業研修生	人	**農業研修生**	**農業研修生**	○　共通 雇用者のうち、研修生の人数把握のための項目の新設
外国人技能実習生	〃	外国人技能実習生	外国人技能実習生	
日本人研修生	〃	日本人研修生	日本人研修生	
経営主の平均年齢	歳	経営主の平均年齢	経営主の平均年齢	
		有給役員の平均年齢		
	〃	男		
	〃	女		

2　労働力・土地等の状況（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
経営耕地面積	a	**経営耕地面積**	**経営耕地面積**	
田	〃	田	田	
普通畑	〃	普通畑	普通畑	
樹園地	〃	樹園地	樹園地	
牧草地	〃	牧草地	牧草地	
自作地	〃	自作地	自作地	
借入地	〃	借入地	借入地	
採草放牧地	〃	**採草放牧地**	**採草放牧地**	
貸付地（耕地）	〃	**貸付地（耕地）**	**貸付地（耕地）**	
主要農産物の生産概況		**主要農産物の生産概況**	**主要農産物の生産概況**	
※ 各営農類型に対応した生産概況を表章する。		※ 各営農類型に対応した生産概況を表章する。	※ 各営農類型に対応した生産概況を表章する。	
主要農業固定資産の所有状況		**主要農業固定資産の所有状況**	**主要農業固定資産の所有状況**	
	㎡	納屋・倉庫	納屋・倉庫	
	〃	加温ハウス（ガラス、プラ）	加温ハウス（ガラス、プラ）	
	〃	パイプハウス（ビニールハウス）	パイプハウス（ビニールハウス）	
	〃	畜舎・鶏舎	畜舎・鶏舎	

2　労働力・土地等の状況（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
	時間	**事業労働時間**		○　共通 労働区分は、これまで農業を中心の視点で区分していたものを、他産業との比較も視野にいれつつ変更。また、従来組織法人と個別経営とで名称や区分が異なっていたものを解消。 ○　法人経営体 給与水準（１時間当たり単価の計算）把握のために事業全体の労働時間を把握
	〃	男		
	〃	女		
	〃	経営主・有給役員		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	雇用者		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	常用雇用者		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	正社員・正職員		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	正社員・正職員以外		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	うち常用雇用者のうち7か月以上雇用		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	臨時雇用者		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	うち構成員		
	〃	男		
	〃	女		
農業労働時間	〃	うち農業労働時間	農業労働時間	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
経営主・有給役員・家族	〃	経営主・有給役員	家族	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	

2　労働力・土地等の状況（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
雇用者	時間	雇用者	雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
常用雇用者	〃	常用雇用者	常用雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
	〃	正社員・正職員		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	正社員・正職員以外		
	〃	男		
	〃	女		
うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	〃	うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
臨時雇用者	〃	臨時雇用者	臨時雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
	〃	うち構成員		
	〃	男		
	〃	女		

2　労働力・土地等の状況（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
	〃	生産部門		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	経営主・有給役員		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	雇用者		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	常用雇用者		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	正社員・正職員		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	正社員・正職員以外		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	うち常用雇用者のうち7か月以上雇用		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	臨時雇用者		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	うち構成員		
	〃	男		
	〃	女		

2　労働力・土地等の状況（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
	〃	販売及び一般管理部門		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	経営主・有給役員		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	雇用者		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	常用雇用者		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	正社員・正職員		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	正社員・正職員以外		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	うち常用雇用者のうち7か月以上雇用		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	臨時雇用者		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	うち構成員		
	〃	男		
	〃	女		

2　労働力・土地等の状況（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
うち農作業受託労働時間	時間	農作業受託労働時間	うち農作業受託労働時間	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
経営主・有給役員・家族	〃	経営主・有給役員	家族	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
雇用者	〃	雇用者	雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
農業生産関連事業労働時間	〃	農業生産関連事業労働時間	農業生産関連事業労働時間	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
経営主・有給役員・家族	〃	経営主・有給役員	家族	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
雇用者	〃	雇用者	雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	

2　労働力・土地等の状況（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
年齢階層別農業労働時間	〃	**年齢階層別農業労働時間**	**年齢階層別農業労働時間**	
経営主・有給役員・家族	〃	経営主・有給役員	家族	
男	〃	男	男	
35歳未満	〃	35歳未満	35歳未満	
35～44	〃	35～44	35～44	
45～49	〃	45～49	45～49	
50～59	〃	50～59	50～59	
60～64	〃	60～64	60～64	
65～69	〃	65～69	65～69	
70歳以上	〃	70歳以上	70歳以上	
女	〃	女	女	
35歳未満	〃	35歳未満	35歳未満	
35～44	〃	35～44	35～44	
45～49	〃	45～49	45～49	
50～59	〃	50～59	50～59	
60～64	〃	60～64	60～64	
65～69	〃	65～69	65～69	
70歳以上	〃	70歳以上	70歳以上	
経営主	〃	経営主	経営主	
男	〃	男	男	
35歳未満	〃	35歳未満	35歳未満	
35～44	〃	35～44	35～44	
45～49	〃	45～49	45～49	
50～59	〃	50～59	50～59	
60～64	〃	60～64	60～64	
65～69	〃	65～69	65～69	
70歳以上	〃	70歳以上	70歳以上	
女	〃	女	女	
35歳未満	〃	35歳未満	35歳未満	
35～44	〃	35～44	35～44	
45～49	〃	45～49	45～49	
50～59	〃	50～59	50～59	
60～64	〃	60～64	60～64	
65～69	〃	65～69	65～69	
70歳以上	〃	70歳以上	70歳以上	

2　労働力・土地等の状況（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
有給役員・経営主以外の家族	〃	有給役員	経営主以外	
男	〃	男	男	
35歳未満	〃	35歳未満	35歳未満	
35～44	〃	35～44	35～44	
45～49	〃	45～49	45～49	
50～59	〃	50～59	50～59	
60～64	〃	60～64	60～64	
65～69	〃	65～69	65～69	
70歳以上	〃	70歳以上	70歳以上	
女	〃	女	女	
35歳未満	〃	35歳未満	35歳未満	
35～44	〃	35～44	35～44	
45～49	〃	45～49	45～49	
50～59	〃	50～59	50～59	
60～64	〃	60～64	60～64	
65～69	〃	65～69	65～69	
70歳以上	〃	70歳以上	70歳以上	
常用雇用者	〃	常用雇用者	常用雇用者	
男	〃	男	男	
35歳未満	〃	35歳未満	35歳未満	
35～44	〃	35～44	35～44	
45～49	〃	45～49	45～49	
50～59	〃	50～59	50～59	
60～64	〃	60～64	60～64	
65～69	〃	65～69	65～69	
70歳以上	〃	70歳以上	70歳以上	
女	〃	女	女	
35歳未満	〃	35歳未満	35歳未満	
35～44	〃	35～44	35～44	
45～49	〃	45～49	45～49	
50～59	〃	50～59	50～59	
60～64	〃	60～64	60～64	
65～69	〃	65～69	65～69	
70歳以上	〃	70歳以上	70歳以上	

2　労働力・土地等の状況（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	〃	うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	
男	〃	男	男	
35 歳 未 満	〃	35 歳 未 満	35 歳 未 満	
35 ～ 44	〃	35 ～ 44	35 ～ 44	
45 ～ 49	〃	45 ～ 49	45 ～ 49	
50 ～ 59	〃	50 ～ 59	50 ～ 59	
60 ～ 64	〃	60 ～ 64	60 ～ 64	
65 ～ 69	〃	65 ～ 69	65 ～ 69	
70 歳 以 上	〃	70 歳 以 上	70 歳 以 上	
女	〃	女	女	
35 歳 未 満	〃	35 歳 未 満	35 歳 未 満	
35 ～ 44	〃	35 ～ 44	35 ～ 44	
45 ～ 49	〃	45 ～ 49	45 ～ 49	
50 ～ 59	〃	50 ～ 59	50 ～ 59	
60 ～ 64	〃	60 ～ 64	60 ～ 64	
65 ～ 69	〃	65 ～ 69	65 ～ 69	
70 歳 以 上	〃	70 歳 以 上	70 歳 以 上	

2　労働力・土地等の状況（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
		給与の状況		○　法人経営体 法人経営体において、給与状況を把握、表章
	千円	給与総額		
	〃	有給役員		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	雇用者		
	〃	男		
	〃	女		○　法人経営体 有給役員には、有給の経営主を含む。
	〃	常用雇用者		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	正社員・正職員		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	正社員・正職員以外		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	臨時雇用者		
	〃	男		
	〃	女		

3　損益の状況（損益計算書）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
事業収入 ①	千円	事業収入（売上高） ①	事業収入 ①	
農業収入	〃	農業収入	農業収入	
農業以外の収入	〃		農業以外の収入	
うち農業生産関連事業収入	〃	農業生産関連事業収入	うち農業生産関連事業収入	
農外事業収入	〃	農外事業収入	農外事業収入	
事業支出 ②	〃	事業支出 ②	事業支出 ②	
農業支出	〃	農業支出	農業支出	
農業以外の支出	〃		農業以外の支出	
うち農業生産関連事業支出	〃	農業生産関連事業支出	うち農業生産関連事業支出	
農外事業支出	〃	農外事業支出	農外事業支出	
	〃	売上原価 ③		
	〃	農業		
	〃	農業生産関連事業		
	〃	農外事業		
	〃	うち製造原価 ④		
	〃	農業		
	〃	農業生産関連事業		
	〃	農外事業		
	〃	販売費及び一般管理費 ⑤		
	〃	農業		
	〃	農業生産関連事業		
	〃	農外事業		
	〃	売上総利益 ⑥		
		（①－③）		
	〃	農業		
	〃	農業生産関連事業		
	〃	農外事業		
営業利益 ③	〃	営業利益 ⑦	営業利益 ③	
（①－②）		（①－③－⑤）	（①－②）	
農業	〃	農業	農業	
農業以外	〃		農業以外	
うち農業生産関連事業	〃	農業生産関連事業	うち農業生産関連事業	
農外事業	〃	農外事業	農外事業	
営業外収益 ④	〃	営業外収益 ⑧	営業外収益 ④	
営業外費用 ⑤	〃	営業外費用 ⑨	営業外費用 ⑤	
経常利益	〃	経常利益 ⑩	経常利益	
（③＋④－⑤）		（⑦＋⑧－⑨）	（③＋④－⑤）	

3　損益の状況（損益計算書）（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
	千円	特別利益 ⑪		
	〃	特別損失 ⑫		
	〃	税引前当期純利益 ⑬ （⑩＋⑪－⑫）		
	〃	法人税等引当金 ⑭		
	〃	当期純利益 ⑮ （⑬－⑭）		

4　財産の状況（貸借対照表）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
	千円	**資産**	**資産**	
	〃	流動資産	流動資産	
	〃	当座資産	現金・預金・売掛金	
	〃	現金・預金等	現金＋預金等	
			現金	
			預金等	
	〃	売掛金	売掛金	
	〃	棚卸資産	棚卸資産	
	〃	うち農産物	農産物	
			農業生産資材	
	〃	その他の流動資産	その他の流動資産	
	〃	固定資産		
	〃	有形固定資産	固定資産	
	〃	うち自動車・農機具	自動車・農機具	
	〃	建物・構築物	建物・構築物	
	〃	土地	土地	
	〃	植物・牛馬（肥育牛を除く。）	植物・牛馬（肥育牛を除く。）	
	〃	うち農業		
	〃	うち自動車・農機具		
	〃	建物・構築物		
	〃	土地		
	〃	植物・牛馬（肥育牛を除く。）		
	〃	無形固定資産		
	〃	投資・外部出資		
	〃	繰延資産		
	千円	**負債**	**負債**	
	〃	流動負債	流動負債	
	〃	買掛未払金	買掛未払金	
	〃	短期借入金	短期借入金	
	〃	その他の流動負債		
	〃	固定負債	固定負債	
	〃	長期借入金	長期借入金	
	〃	その他の固定負債		
	〃	うち農業		

4　財産の状況（貸借対照表）（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
	千円 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	**純資産** 資本金・出資金 資本剰余金 利益剰余金 その他の純資産	**純資産** 農業固定資産額合計 建物・構築物 自動車・農機具 植物・牛馬（肥育牛を除く。）	

５　投資と資金の状況

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
		投資	**投資**	
	千円	期中投資額	期中投資額	
	〃	土地	土地	
	〃	建物・構築物	建物・構築物	
	〃	自動車・農機具	自動車・農機具	
	〃	植物・牛馬（肥育牛を除く。）	植物・牛馬（肥育牛を除く。）	
	〃	うち農業	うち農業	
	〃	土地	土地	
	〃	建物・構築物	建物・構築物	
	〃	自動車・農機具	自動車・農機具	
	〃	植物・牛馬（肥育牛を除く。）	植物・牛馬（肥育牛を除く。）	
		資金調達	**資金調達**	
	〃	期中借入額	期中借入額	
	〃	長期借入金	長期借入金	
	〃	短期借入金	短期借入金	
	〃	うち農業	うち農業	
	〃	長期借入金	長期借入金	
	〃	短期借入金	短期借入金	

6　農業経営収支の状況

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
農業粗収益	千円	農業粗収益	農業粗収益	○　共通 作物収入及び畜産収入の内訳については、各品目の販売・受取収入金額を表章
作物収入	〃	作物収入	作物収入	
稲作	〃	稲作	稲作	
水稲米	〃	水稲米	水稲米	
主食用米	〃	主食用米	主食用米	
加工用米	〃	加工用米	加工用米	
新規需要米等	〃	新規需要米等	新規需要米等	
稲わら等	〃	稲わら等	稲わら等	
麦類	〃	麦類	麦類	
小麦	〃	小麦	小麦	
二条大麦	〃	二条大麦	二条大麦	
六条大麦	〃	六条大麦	六条大麦	
はだか麦	〃	はだか麦	はだか麦	
雑穀	〃	雑穀	雑穀	
そば	〃	そば	そば	
豆類	〃	豆類	豆類	
大豆	〃	大豆	大豆	
いも類	〃	いも類	いも類	
かんしょ	〃	かんしょ	かんしょ	
ばれいしょ	〃	ばれいしょ	ばれいしょ	
工芸農作物	〃	工芸農作物	工芸農作物	
てんさい	〃	てんさい	てんさい	
さとうきび	〃	さとうきび	さとうきび	
茶	〃	茶	茶	
野菜	〃	野菜	野菜	
露地野菜	〃	露地野菜	露地野菜	
施設野菜	〃	施設野菜	施設野菜	
果樹	〃	果樹	果樹	
花き	〃	花き	花き	
露地花き	〃	露地花き	露地花き	
施設花き	〃	施設花き	施設花き	
飼料用作物	〃	飼料用作物	飼料用作物	
飼料用米	〃	飼料用米	飼料用米	
稲発酵粗飼料	〃	稲発酵粗飼料	稲発酵粗飼料	
その他作物	〃	その他作物	その他作物	
畜産収入	〃	畜産収入	畜産収入	
鶏卵（不正卵、廃鶏含む。）	〃	鶏卵（不正卵、廃鶏含む。）	鶏卵（不正卵、廃鶏含む。）	
ブロイラー	〃	ブロイラー	ブロイラー	
養豚（肉豚、子豚）	〃	養豚（肉豚、子豚）	養豚（肉豚、子豚）	
酪農	〃	酪農	酪農	
うち生乳（飲料用・加工用）	〃	うち生乳（飲料用・加工用）	うち生乳（飲料用・加工用）	
肥育牛	〃	肥育牛	肥育牛	
自家生産和牛等	〃	自家生産和牛等	自家生産和牛等	
その他畜産物	〃	その他畜産物	その他畜産物	

6　農業経営収支の状況（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
農作業受託収入	千円	農作業受託収入	農作業受託収入	
農業雑収入	〃	農業雑収入	農業雑収入	
うち共済・補助金等受取金	〃	うち共済・補助金等受取金	うち共済・補助金等受取金	
事業消費等	〃	事業消費等	事業消費等	
	〃	うち直接販売収入	うち直接販売収入	
	〃	小売業者	小売業者	
	〃	食品製造業・外食産業	食品製造業・外食産業	
	〃	消費者に直接販売	消費者に直接販売	
	〃	自営の農産物直売所	自営の農産物直売所	
	〃	その他の農産物直売所	その他の農産物直売所	
	〃	インターネット	インターネット	
	〃	他の方法（無人販売など）	他の方法（無人販売など）	
	〃	その他	その他	
農業経営費	〃	農業経営費	農業経営費	
雇人費	〃	雇人費	雇人費	
種苗費	〃	種苗費	種苗費	
素畜費	〃	素畜費	素畜費	
肥料費	〃	肥料費	肥料費	
飼料費	〃	飼料費	飼料費	
農薬衛生費	〃	農薬衛生費	農薬衛生費	
諸材料費	〃	諸材料費	諸材料費	
動力光熱費	〃	動力光熱費	動力光熱費	
修繕費	〃	修繕費	修繕費	
農具費	〃	農具費	農具費	
作業用衣料費	〃	作業用衣料費	作業用衣料費	
地代・賃借料	〃	地代・賃借料	地代・賃借料	
土地改良費	〃	土地改良費	土地改良費	
租税公課	〃	租税公課	租税公課	
利子割引料	〃	利子割引料	利子割引料	
荷造運賃手数料	〃	荷造運賃手数料	荷造運賃手数料	
農業雑支出	〃	農業雑支出	農業雑支出	
うち共済等の掛金・拠出金	〃	うち共済等の掛金・拠出金	うち共済等の掛金・拠出金	
減価償却費	〃	減価償却費	減価償却費	
農産物以外の棚卸高（期首−期末）	〃	農産物以外の棚卸高（期首−期末）	農産物以外の棚卸高（期首−期末）	
経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用	〃	経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用	経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用	
農業所得	〃	農業所得	農業所得	
			（参考）専従者給与	

7　水稲、麦類及び豆類の農作業受託の状況

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
		農作業受託面積		○　法人経営体 水田作、畑作営農のみ 表章
	a	水稲全作業受託面積（実面積）		
	〃	水稲部分作業受託面積（延べ面積）		
	〃	うち育苗		
	〃	耕うん・整地		
	〃	田植		
	〃	防除		
	〃	刈取・脱穀		
	〃	乾燥・調製		
	〃	麦類全作業受託面積（実面積）		
	〃	麦類部分作業受託面積（延べ面積）		
	〃	うち耕うん・整地		
	〃	播種		
	〃	防除		
	〃	刈取・脱穀		
	〃	乾燥・調製		
	〃	豆類全作業受託面積（実面積）		
	〃	豆類部分作業受託面積（延べ面積）		
	〃	うち耕うん・整地		
	〃	播種		
	〃	防除		
	〃	刈取・脱穀		
	〃	乾燥・調製		
		農作業受託収入		
	千円	水稲全作業受託		
	〃	水稲部分作業受託		
	〃	うち育苗		
	〃	耕うん・整地		
	〃	田植		
	〃	防除		
	〃	刈取・脱穀		
	〃	乾燥・調製		
	〃	麦類全作業受託		
	〃	麦類部分作業受託		
	〃	うち耕うん・整地		
	〃	播種		
	〃	防除		
	〃	刈取・脱穀		
	〃	乾燥・調製		
	〃	豆類全作業受託		
	〃	豆類部分作業受託		
	〃	うち耕うん・整地		
	〃	播種		
	〃	防除		
	〃	刈取・脱穀		
	〃	乾燥・調製		

8　畑作物、野菜、果樹及び花きの部門収支

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
	経営体		集計経営体数	○　部門収支 個人経営体のみ作成
			当該部門の概況	
	a		部門作付面積	
	kg		部門生産量	
	〃		部門販売数量	
			【１経営体当たり】	
	時間		**当該部門労働時間計**	
	〃		家族	
	〃		雇用者	
			（男）	
	〃		労働時間	
	〃		家族	
	〃		雇用者	
			（女）	
	〃		労働時間	
	〃		家族	
	〃		雇用者	
			当該部門作業別労働時間計	○　共通 作業別項目は、表章する指定部門（品目）の作業に応じて変更し表章 （表示している作業別項目は、野菜における項目）
	〃		育苗	
	〃		耕うん・施肥	
	〃		は種・定植	
	〃		除草・防除	
	〃		生育管理	
	〃		収穫・調製	
	〃		包装・荷造り	
	〃		搬出・出荷・販売	
	〃		経営管理・間接労働	
			部門粗収益	
	千円		当該品目収入	
	〃		農業雑収入	
	〃		うち共済・補助金等受取金	

8　畑作物、野菜、果樹及び花きの部門収支（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
			部門経営費	
	千円		うち雇人費	
	〃		種苗費	
	〃		肥料費	
	〃		農薬衛生費	
	〃		諸材料費	
	〃		動力光熱費	
	〃		農具費	
	〃		荷造運賃手数料	
	〃		減価償却費	
	〃		共済等の掛金・拠出金	
			部門所得	
			【10ａ当たり】	
			当該部門労働時間計	
	時間		家族	
	〃		雇用者	
			（男）	
	〃		労働時間	
	〃		家族	
	〃		雇用者	
			（女）	
	〃		労働時間	
	〃		家族	
	〃		雇用者	
			当該部門作業別労働時間計	
	〃		育苗	○　共通 作業別項目は、表章する指定部門（品目）の作業に応じて変更し表章 （表示している作業別項目は、野菜における項目）
	〃		耕うん・施肥	
	〃		は種・定植	
	〃		除草・防除	
	〃		生育管理	
	〃		収穫・調製	
	〃		包装・荷造り	
	〃		搬出・出荷・販売	
	〃		経営管理・間接労働	

8　畑作物、野菜、果樹及び花きの部門収支（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
	千円		**部門粗収益**	
	〃		当該品目収入	
	〃		農業雑収入	
	〃		うち共済・補助金等受取金	
	〃		**部門経営費**	
	〃		うち雇人費	
	〃		種苗費	
	〃		肥料費	
	〃		農薬衛生費	
	〃		諸材料費	
	〃		動力光熱費	
	〃		農具費	
	〃		荷造運賃手数料	
	〃		減価償却費	
	〃		共済等の掛金・拠出金	
	〃		**部門所得**	
			分析指標	
			収益性	
	円		部門家族農業労働1時間当たり部門所得	
	%		部門所得率	
			生産性	
	千円		付加価値額	
	〃		10a当たり付加価値額	
	%		付加価値率	
	円		部門労働1時間当たり付加価値額	
	〃		部門労働1時間当たり部門粗収益	
	〃		部門労働1時間当たり部門経営費	
	〃		部門労働1時間当たり部門所得	
	%		部門農機具資産比率	

９　農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
農業生産関連事業の集計農業経営体数		**農業生産関連事業の集計農業経営体数**	**農業生産関連事業の集計農業経営体数**	○　共通 集計経営体数によって、また全体及び事業別に表章が異なる
農業生産関連事業計	経営体	農業生産関連事業計	農業生産関連事業計	
	〃	農産加工		
	〃	観光農園		
	〃	貸し農園		
	〃	農家民宿		
	〃	農家レストラン		○農業経営体の集計においては、個人は、主・準主業経営体のデータを使用
農業生産関連事業別の農業経営収支		**農業生産関連事業別の農業経営収支**	**農業生産関連事業別の農業経営収支**	
農業所得	千円	農業所得	農業所得	
農業粗収益	〃	農業粗収益	農業粗収益	
農業経営費	〃	農業経営費	農業経営費	
農業生産関連事業所得	〃	農業生産関連事業所得	農業生産関連事業所得	
農業生産関連事業収入	〃	農業生産関連事業収入	農業生産関連事業収入	
農業生産関連事業支出	〃	農業生産関連事業支出	農業生産関連事業支出	
分析指標		**分析指標**	**分析指標**	
農業生産関連事業所得率	%	農業生産関連事業所得率	農業生産関連事業所得率	
農業及び農業生産関連事業所得率	〃	農業及び農業生産関連事業所得率	農業及び農業生産関連事業所得率	
農業生産関連事業付加価値額	千円	農業生産関連事業付加価値額	農業生産関連事業付加価値額	
農業生産関連事業付加価値率	%	農業生産関連事業付加価値率	農業生産関連事業付加価値率	
農業及び農業生産関連事業付加価値額	千円	農業及び農業生産関連事業付加価値額	農業及び農業生産関連事業付加価値額	
農業及び農業生産関連事業付加価値率	%	農業及び農業生産関連事業付加価値率	農業及び農業生産関連事業付加価値率	
農業生産関連事業従事者１人当たり関連事業労働時間	時間	農業生産関連事業従事者１人当たり関連事業労働時間	農業生産関連事業従事者１人当たり関連事業労働時間	
収益性（農業生産関連事業所得）		収益性（農業生産関連事業所得）	収益性（農業生産関連事業所得）	
農業生産関連事業１時間当たり	円	農業生産関連事業１時間当たり	農業生産関連事業１時間当たり	
農業生産関連事業従事者１人当たり	〃	農業生産関連事業従事者１人当たり	農業生産関連事業従事者１人当たり	
生産性（付加価値額）		生産性（付加価値額）	生産性（付加価値額）	
農業生産関連事業１時間当たり	円	農業生産関連事業１時間当たり	農業生産関連事業１時間当たり	
農業生産関連事業従事者１人当たり	〃	農業生産関連事業従事者１人当たり	農業生産関連事業従事者１人当たり	

９　農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
農業生産関連事業従事者数	人	**農業生産関連事業従事者数**	**農業生産関連事業従事者数**	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
有給役員・家族	〃	有給役員	家族	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
雇用者	〃	雇用者	雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
常用雇用者	〃	常用雇用者	常用雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
	〃			
	〃	正社員・正職員		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	正社員・正職員以外		
	〃	男		
	〃	女		
うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	〃	うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
臨時雇用者	〃	臨時雇用者	臨時雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	

９　農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
農業生産関連事業投下労働時間	時間	**農業生産関連事業投下労働時間**	**農業生産関連事業投下労働時間**	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
有給役員・家族	〃	有給役員	家族	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
雇用者	〃	雇用者	雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
常用雇用者	〃	常用雇用者	常用雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
	〃	正社員・正職員		
	〃	男		
	〃	女		
	〃	正社員・正職員以外		
	〃	男		
	〃	女		
うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	〃	うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	うち常用雇用者のうち7か月以上雇用	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	
臨時雇用者	〃	臨時雇用者	臨時雇用者	
男	〃	男	男	
女	〃	女	女	

９　農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支（続き）

農業経営体	単位	法人経営体	個人経営体	備考
農業生産関連事業収入	千円	**農業生産関連事業収入**	**農業生産関連事業収入**	○　共通 集計経営体数によって、また全体及び事業別に表章が異なる。
	〃	農産加工		
	〃	観光農園		
	〃	貸し農園		
	〃	農家民宿		
	〃	農家レストラン		
農業生産関連事業支出	〃	**農業生産関連事業支出**	**農業生産関連事業支出**	
	〃	材料費		
自家農畜産物	〃	うち自家農畜産物	自家農畜産物	
雇人費	〃	雇人費	雇人費	
減価償却費	〃	減価償却費	減価償却費	
農業生産関連事業所得	〃	**農業生産関連事業所得**	**農業生産関連事業所得**	

別添５

農業経営統計調査の公表時期

統　　計		公　表　時　期	
		概　　要	詳　　細
営農類型別経営統計			
	個人経営体 法人経営体 農業経営体	翌年 12 月まで	翌々年３月まで
農畜産物生産費統計（個別経営体）			
	米	翌年 10 月まで	翌々年３月まで
	小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね	翌年６月まで	翌々年３月まで
	そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい さとうきび	翌年８月まで	翌々年３月まで
	牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚	翌年 12 月まで	翌々年３月まで
農産物生産費統計（組織法人経営体）			
	米	翌年 10 月まで	翌々年３月まで
	小麦	翌年６月まで	翌々年３月まで
	大豆	翌年８月まで	翌々年３月まで

農業経営統計調査の標本設計及び集計方法について

１　調査対象母集団

（１）本調査は、2020 年農林業センサス（以下、「センサス」という。）及び令和２年集落営農実態調査に基づいて調査を設計する。調査の対象は、統計の種類により異なるが、センサスで規定する「農業経営体」のうち農産物の販売を目的とする経営体とする。

（２）本調査における経営体は、営農類型別経営統計、農畜産物生産費統計別に、次の区分とする。

ア　営農類型別経営統計

（ア）個人経営体

世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有しない経営体。

（イ）法人経営体

世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有する経営体並びに農事組合法人及び会社組織による経営体。

イ　農畜産物生産費統計

（ア）個別経営体

世帯による事業を行う経営体（法人格を有する経営体を含む。）

（イ） 組織法人経営体

個別経営体以外で農事組合法人及び会社組織による経営体。

２　目標精度及び標本の大きさの基本的な考え方

農業経営統計調査の各統計別の目標精度（標準誤差率）については、利用部局と調整の上、利活用ニーズに応じて、１経営体当たり農業粗収益（生産費統計は計算単位当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下、「全算入生産費」という。）を指標とした目標精度を設定して標本の大きさを決定する。

【農業経営統計調査の統計別標本の大きさ】

単位：経営体、％

区　　分	見直し後（Ａ）	現　行（Ｂ）	Ａ／Ｂ×100
農業経営統計調査　⑦＝③＋⑥	8,358	8,500	98.3
営農類型別経営統計　③＝①＋②	4,526	4,533	99.8
個人経営体　①	3,665	3,561	102.9
法人経営体　②	861	972	88.6
農畜産物生産費統計　⑥＝④＋⑤	3,832	3,967	96.6
個別経営体　④	3,385	3,692	91.7
組織法人経営体　⑤	447	275	162.5

３　営農類型別経営統計

（１） 営農類型別の母集団

全国の個人経営体及び法人経営体ごとに、営農類型別の母集団リストを編成する。

（２） 営農類型別母集団リストの編成方法

営農類型別の母集団リストは、各営農類型に該当する農産物の販売金額が１位の経営体を集めて編成する。

具体的には、センサスに基づく販売目的の農業経営体の農業販売収入に占める農産物の販売金額割合を指標として、次表の分類基準のとおり母集団リストを編成する。

【営農類型の分類基準】

営農類型別区分	営 農 類 型 の 分 類 基 準
〇水田作経営	・稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、**水田で作付けした農業生産物の販売収入**が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて**最も多い経営**
〇畑作経営	・稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、**畑で作付けした農業生産物の販売収入**が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて**最も多い経営**
〇野菜作経営	・**野菜の販売収入**が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて**最も多い経営**
・露地野菜作経営	・野菜作経営のうち、**露地野菜の販売収入が施設野菜の販売収入以上である経営**
・施設野菜作経営	・野菜作経営のうち、**露地野菜の販売収入より施設野菜の販売収入が多い経営**
〇果樹作経営	・**果樹の販売収入**が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて**最も多い経営**
〇花き作経営	・**花きの販売収入**が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて**最も多い経営**
・露地花き作経営	・花き作経営のうち、**露地花きの販売収入が施設花きの販売収入以上である経営**
・施設花き作経営	・花き作経営のうち、**露地花きの販売収入より施設花きの販売収入が多い経営**
〇酪農経営	・**酪農の販売収入**が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて**最も多い経営**
〇肉用牛経営	・**肉用牛の販売収入**が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて**最も多い経営**
・繁殖牛経営	・肉用牛経営のうち、**繁殖雌牛の飼養頭数が肥育牛の飼養頭数以上である経営**
・肥育牛経営	・肉用牛経営のうち、**繁殖雌牛の飼養頭数より肥育牛の飼養頭数が多い経営**
〇養豚経営	・**養豚の販売収入**が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて**最も多い経営**
〇採卵養鶏経営	・**採卵養鶏の販売収入**が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて**最も多い経営**
〇ブロイラー養鶏経営	・**ブロイラー養鶏の販売収入**が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて**最も多い経営**
〇その他	・**上記の営農類型に分類されない経営**

（３） 営農類型別経営統計の標本の大きさ及び標本配置

ア　個人経営体の標本の大きさ等

（ア） 全国の標本の大きさ

個人経営体の標本の大きさは、利用部局と調整の上、目標精度（畑作は北海道・都府県別）を設定し、その達成に必要な標本の大きさを設定する。

なお、「その他」経営は、経営形態別経営統計（個人経営体及び農業経営体全体）を作成する際にのみ用いることから、最小限の標本の大きさを設定する。

【営農類型別経営統計（個人経営体）の標本の大きさ】

単位：経営体、％

区　分		母集団の大きさ ①	標本の大きさ ②	抽出率 ②／①	目標精度	現　行
営農類型別合計		－	3,665	－	－	3,561
水田作		520,198	768	1/ 677	2.0	742
畑作	合計	58,800	826	1/ 71	－	684
	北海道	7,926	163	1/ 49	3.0	168
	都府県	50,874	663	1/ 77	3.0	516
野菜作	合計	159,191	818	1/ 195	－	865
	露地	100,342	359	1/ 280	3.0	493
	施設	58,849	459	1/ 128	3.0	372
果樹作		126,808	556	1/ 228	3.0	448
花き作	合計	19,312	147	1/ 131	－	137
	露地	7,701	105	1/ 73	8.0	91
	施設	11,611	42	1/ 276	8.0	46
酪農		11,104	88	1/ 126	3.0	251

肉	合　　計	25,982	307	1/ 85	―	226
用	繁　殖　牛	22,110	181	1/ 122	4.0	124
牛	肥　育　牛	3,872	126	1/ 31	4.0	102
養　　豚		1,200	70	1/ 17	4.0	86
採　卵　養　鶏		980	15	1/ 65	8.0	45
ブロイラー養鶏		965	20	1/ 48	8.0	31
そ　の　他		17,615	50	1/ 352	―	46

注：　その他は、目標精度を廃止して、各規模階層 10 標本ごとの 50 標本とした。

（イ） 階層別・全国農業地域別配分

目標精度を定めた区分ごとに、全国等の標本をネイマンの最適配分により区分内の経営規模による規模階層別に配分する。更に、規模階層別に配分された全国等の標本を全国農業地域の規模階層別の母集団の大きさに応じて比例配分する。

「その他」経営は、各規模階層 10 標本を配置し、その規模階層別の標本を全国農業地域別の規模階層別の母集団の大きさに応じて比例配分する。

イ　法人経営体の標本の大きさ等

（ア） 全国の標本の大きさ

法人経営体の標本の大きさは、利用部局と調整の上、目標精度（水田作は集落営農・集落営農以外別、畑作は北海道・都府県別）を設定し、その達成に必要な標本の大きさを設定する。

なお、「その他」経営は、経営形態別経営統計（法人経営体及び農業経営体全体）を作成する際にのみ用いることから、最小限の標本の大きさを設定する。

【営農類型別経営統計（法人経営体）の標本の大きさ】

単位：経営体、％

区分		母集団の大きさ ①	標本の大きさ ②	抽出率 ①／②	目標精度	現行
営農類型別合計		－	861	－	－	972
水田作	合計	8,236	264	1/ 31	－	264
	集落営農	4,538	111	1/ 41	4.0	148
	集落営農以外	3,698	153	1/ 24	4.0	116
畑作	合計	3,189	126	1/ 25	－	71
	北海道	714	68	1/ 11	10.0	24
	都府県	2,475	58	1/ 43	10.0	47
野菜作	合計	4,848	100	1/ 48	－	242
	露地	2,523	43	1/ 59	10.0	121
	施設	2,325	57	1/ 41	10.0	121
果樹作		1,541	98	1/ 16	10.0	73
花き作	合計	1,113	65	1/ 17	－	51
	露地	240	36	1/ 7	10.0	26
	施設	873	29	1/ 30	10.0	25
酪農		1,660	26	1/ 64	10.0	31
肉用牛	合計	1,612	38	1/ 42	－	71
	繁殖牛	502	23	1/ 22	10.0	26
	肥育牛	1,110	15	1/ 74	10.0	45
養豚		1,278	45	1/ 28	10.0	64
採卵養鶏		892	58	1/ 15	10.0	55
ブロイラー養鶏		434	16	1/ 27	10.0	34
その他		2,321	25	1/ 93	－	16

注１：　集落営農とは、集落（集落内の経営体のうち、概ね半数以上の経営体が参加）を単位として農業経営を行う経営体である。

注２：　その他は、目標精度を廃止して、各規模階層５標本ごとの 25 標本とした。

（イ） 階層別・全国農業地域別配分

目標精度を定めた区分ごとに、全国等の標本をネイマンの最適配分により区分内の経営規模による規模階層別に配分する。更に、規模階層別に配分された全国等の標本を全国農業地域の規模階層別の母集団の大きさに応じて比例配分する。

「その他」経営は、各規模階層５標本を配置し、その規模階層別の標本を全国農業地域別の規模階層別の母集団の大きさに応じて比例配分する。

４　農畜産物生産費統計

（１） 調査対象母集団

生産費対象品目を作付(飼養)し販売している個別経営体及び組織法人経営体を対象として、次表に示す分類基準のとおり母集団リストを編成する。

【生産費の対象とする農業経営体】

対象品目		調査対象とする経営体の分類基準
個別経営体	米	・水稲を作付けし、玄米を 600 kg以上販売する経営体
	小麦	・小麦を 10 a 以上作付けし、販売する経営体
	二条大麦	・二条大麦を 10 a 以上作付けし、販売する経営体
	六条大麦	・六条大麦を 10 a 以上作付けし、販売する経営体
	はだか麦	・はだか麦を 10 a 以上作付けし、販売する経営体
	そば	・そばを 10 a 以上作付けし、販売する経営体
	大豆	・大豆（黒大豆を除く。）を 10 a 以上作付けし、販売する経営体
	原料用かんしょ	・原料用かんしょを 10 a 以上作付けし、販売する経営体
	原料用ばれいしょ	・原料用ばれいしょを 10 a 以上作付けし、販売する経営体
	なたね	・なたねを 10 a 以上作付けし、販売する経営体

	てんさい	・てんさいを 10ａ以上作付けし、販売する経営体
	さとうきび	・さとうきびを 10ａ以上作付けし、販売する経営体
	牛乳	・搾乳牛を１頭以上飼養し、生乳を販売する経営体
	去勢若齢肥育牛	・肥育を目的とする去勢若齢和牛を１頭以上飼養し、販売する経営体
	乳用雄肥育牛	・肥育を目的とする乳用雄牛を１頭以上飼養し、販売する経営体
	交雑種肥育牛	・肥育を目的とする交雑種牛を１頭以上飼養し、販売する経営体
	子牛	・肉用種の繁殖雌牛を２頭以上飼養し、子牛を生産して販売する経営体
	乳用雄育成牛	・育成を目的とする乳用雄育成牛を５頭以上飼養し、販売する経営体
	交雑種育成牛	・育成を目的とする交雑種牛を５頭以上飼養し、販売する経営体
	肥育豚	・肥育豚を年間 20 頭以上販売し、肥育用もと豚に占める自家生産子豚の割合が７割以上の経営体
組織法人経営体	米	・水稲を作付けし、販売する経営体
	小麦	・小麦を作付けし、販売する経営体
	大豆	・大豆（黒大豆を除く。）を作付けし、販売する経営体

（２） 生産費統計の標本の大きさ及び標本配置

ア　個別経営体の標本の大きさ等

（ア） 全国の標本の大きさ

個別経営体の標本の大きさは、交付金単価算定の利用実態に即して、利用部局と調整の上、目標精度（米、小麦、大豆及び牛乳生産費は北海道・都府県別）を設定し、その達成に必要な標本の大きさを設定する。

【生産費統計（個別経営体）の標本の大きさ】

単位：経営体、％

区分			母集団の大きさ ①	標本の大きさ ②	抽出率 ①／②	目標精度	現行
生産費合計			－	3,385	－	－	3,692
米	合計		673,743	818	1/824	－	810
	北海道		10,433	105	1/ 99	2.0	91
	都府県		663,310	713	1/930	1.5	719
小麦	田畑計	合計	26,298	396	1/ 66	－	508
		北海道	11,769	106	1/111	3.0	110
		都府県	14,529	290	1/ 50	2.5	398
	田	合計	12,848	207	1/ 62	－	375
		北海道	3,484	25	1/139	－	24
		都府県	9,364	182	1/ 51	－	351
	畑	合計	13,450	189	1/ 71	－	133
		北海道	8,285	81	1/102	－	86
		都府県	5,165	108	1/ 48	－	47
二条大麦			6,728	70	1/ 96	4.0	69
六条大麦			2,191	47	1/ 47	5.0	45
はだか麦			1,097	38	1/ 29	4.0	40
そば			17,354	112	1/155	5.5	121
大豆	田畑計	合計	32,769	398	1/ 82	－	421
		北海道	7,108	76	1/ 94	4.0	73
		都府県	25,661	322	1/ 80	3.5	348

豆	田	合計	19,032	229	1/ 94	―	338
		北海道	2,683	27	1/ 83	―	34
		都府県	16,349	202	1/ 99	―	304
	畑	合計	13,737	169	1/ 81	―	83
		北海道	4,425	49	1/ 90	―	39
		都府県	9,312	120	1/ 78	―	44
原料用かんしょ			2,243	63	1/ 36	3.5	68
原料用ばれいしょ			1,942	71	1/ 27	2.0	75
なたね			523	45	1/ 12	7.0	53
てんさい			6,381	68	1/ 94	2.5	70
さとうきび			10,451	114	1/ 92	3.0	110
牛乳	合計		12,123	402	1/ 30	―	422
	北海道		4,861	239	1/ 20	1.0	234
	都府県		7,262	163	1/ 45	2.0	188
去勢若齢肥育牛			6,087	221	1/ 28	1.0	299
乳用雄肥育牛			623	74	1/ 8	2.0	84
交雑種肥育牛			1,305	63	1/ 21	2.0	96
子牛			28,390	208	1/136	2.0	188
乳用雄育成牛			415	39	1/ 11	3.0	53
交雑種育成牛			1,041	47	1/ 22	3.0	60
肥育豚			1,329	91	1 /15	2.0	100

（イ） 階層別・全国農業地域別配分

目標精度を定めた区分ごとに、全国等の標本をネイマンの最適配分により区分内の経営規模による規模階層別に配分する。更に、規模階層別に配分された全国等の標本を全国農業地域の規模階層別の母集団の大きさに応じて比例配分する。

この際、次の品目については、規模階層別又は全国農業地域別平均値についても、一定の精度を求められている現状を踏まえ、以下のとおり調査対象経営体を追加する。

更に、小麦生産費（個別経営）及び大豆生産費（個別経営）については、全国農業地域の規模階層別に配分された標本を田畑別の全国農業地域の規模階層別の母集団の大きさに応じて比例配分する。

① 米生産費（個別経営）については、北海道 2.0%、都府県 1.5%の目標精度で標本の大きさを算出した後、全国の規模階層別は、担い手の生産費の集計対象経営体の下限規模設定を踏まえ、15ha 以上の各層の精度は 3.0%になるまで調査対象経営体を追加、全国農業地域別は、作物統計における作付面積の大きさに応じ、東北を 2.0%、関東・東山、北陸及び九州を 3.0%、東海、近畿及び中国を 5.0%、四国は 7.0%となるまで調査対象経営体を追加する。

② 小麦生産費（個別経営）については、北海道 3.0%、都府県 2.5%の目標精度で標本の大きさを算出した後、北海道を除く主要全国農業地域（関東・東山及び九州）のうち精度が 3.0%を下回った全国農業地域について、精度が 3.0%となるまで調査対象経営体を追加する。また、主要全国農業地域以外のうち標本の大きさが 20 経営体を下回っている全国農業地域について、原則として 20 経営体となるまで調査対象経営体を追加する（※中国と四国は合わせて 20 経営体とする。）。

③ 大豆生産費（個別経営）については、北海道 4.0%、都府県 3.5%の目標精度で標本の大きさを算出した後、北海道を除く主要全国農業地域（東北、北陸、関東・東山及び九州）のうち精度が 5.0%を下回った全国農業地域について、精度が 5.0%となるまで調査対象経営体を追加する。また、主要全国農業地域以外のうち標本の大きさが 20 経営体を下回っている全国農業地域について、原則として 20 経営体となるまで調査対象経営体を追加する（※中国と四国は合わせて 20 経営体とする。）。

④ 牛乳生産費については、北海道 1.0%、都府県 2.0%の目標精度で標本の大きさを算出した後、北海道の規模階層別の標本の大きさが 10 経営体を下回った階層について、10 経営体となるまで調査対象経営体を追加する。また、都府県の規模階層別の精度が 3.0%を下回った階層について、精度が 3.0%となるまで調査対象経営体を追加する。

⑤ 去勢若齢肥育牛生産費については、全国 1.0%の目標精度で標本の大きさを算出した後、主要全国農業地域(東北及び九州)のうち精度が 1.0%を下回った全国農業地域について、精度が 1.0%となるまで調査対象経営体を追加する。また、主要全国農業地域以外のうち標本の大きさが 10 経営体を下回っている全国農業地域について、原則として 10 経営体となるまで調査対象経営体を追加する（※北陸については５経営体とする。）。

⑥ 乳用雄肥育牛生産費、交雑種肥育牛生産費及び肥育豚生産費については、全国 2.0%の目標精度で標本の大きさを算出した後、全国の規模階層別の標本が７経営体を下回った階層について、標本の大きさが７経営体となるまで調査対象経営体を追加する。

⑦ 子牛生産費については、全国 2.0%の目標精度で標本の大きさを算出した後、全国の規模階層別の精度が 4.0%を下回った階層について、精度が 4.0%となるまで調査対象経営体を追加する。

⑧ 乳用雄育成牛生産費及び交雑種育成牛生産費については、全国3.0%の目標精度で標本の大きさを算出した後、全国の規模階層別の精度が4.0%を下回った階層について、精度が4.0%となるまで調査対象経営体を追加する。

イ　組織法人経営体の標本の大きさ等

（ア） 全国の標本の大きさ

組織法人経営体の標本の大きさは、利用部局と調整の上、利活用ニーズに応じて目標精度を設定し、その達成に必要な標本の大きさを設定する。

【生産費統計（組織法人経営体）の標本の大きさ】

単位：経営体、%

区　分	母集団の大きさ ①	標本の大きさ ②	抽出率 ①／②	目標精度	現行
生産費合計	－	447	－	－	275
米	9,394	176	1/53	3.0	125
小麦	2,577	100	1/26	3.0	65
大豆	3,835	171	1/22	3.0	85

（イ） 階層別・全国農業地域別配分

目標精度を定めた区分ごとに、全国の標本をネイマンの最適配分により区分内の経営規模による規模階層別に配分する。更に、規模階層別の標本を全国農業地域の規模階層別の母集団の大きさに応じて比例配分する。

この際、利活用ニーズが高い米生産費については、全国平均値のみならず、規模階層別平均値についても一定の精度を求められていることを踏まえ、規模階層別の精度が５%を下回った階層について、精度が５%となるまで調査対象経営体を追加する。

５　経営形態別経営統計を作成するための標本の大きさ

経営形態別経営統計は、個人経営体及び法人経営体について、各経営体全体の経営を把握するため、営農類型別経営統計を基に各営農類型の母集団の大きさにより加重平均して作成する。

この場合、営農類型別経営統計を作成しない「その他」の経営も集計対象として含める。

【経営形態別経営統計の標本の大きさ】

単位：経営体

区　分	見直し後		現　　行	
	個人経営体	法人経営体	個人経営体	法人経営体
標 本 の 大 き さ	3,665	861	3,561	972

６　標準誤差率（精度）、標本の大きさ等の算出方法

（１） 標準誤差率（精度）の算出式

ア　営農類型別経営統計

$\widehat{S}$ ＝ x の標準誤差の推定値

N ＝ 母集団の大きさ

Ni ＝ i 番目の階層の経営体数

L ＝ 階層数

ni ＝ i 番目階層の標本の大きさ

$\widehat{Si}$ ＝ i 番目階層の x の標準偏差の推定値

xij ＝ i 番目階層の j 番目の標本の x の値

$\overline{xi}$ ＝ i 番目階層の x の経営体平均の推定値

$\overline{x}$ ＝ x の経営体平均の推定値

$$\bar{x}i = \frac{1}{ni} \cdot \sum_{j=1}^{ni} xij \quad , \quad \bar{x} = \sum_{i=1}^{L} \frac{Ni}{N} \cdot \bar{x}i$$

$$\hat{S}^2 = \sum_{i=1}^{L} \frac{Ni^2}{N^2} \cdot \frac{Ni-ni}{Ni-1} \cdot \frac{\hat{S}i^2}{ni} \ , \ \hat{S}i^2 = \frac{1}{ni-1} \cdot \sum_{j=1}^{ni} (Xij - \bar{X}i)^2$$

i階層の精度（標準誤差率）$= \frac{1}{\bar{x}i} \cdot \sqrt{\frac{Ni-ni}{Ni-1} \cdot \frac{\hat{S}i^2}{ni}}$ ， 精度（標準誤差率）$= \frac{\hat{S}}{\bar{X}}$

イ　農畜産物生産費統計

Ｎ　＝　母集団経営体数

Ｎｉ＝　ｉ番目の階層の経営体数

Ｌ　＝　階層数

ｎｉ＝　ｉ番目の階層の標本の大きさ

ｘｉｊ＝　ｉ番目の階層のｊ番目の標本のｘ（生産費）の値

ｙｉｊ＝　ｉ番目の階層のｊ番目の標本のｙ（計算単位生産量）の値

$\bar{x}i$ ＝　ｉ番目の階層のｘの１経営体当たり平均の推定値

$\bar{y}i$ ＝　ｉ番目の階層のｙの１経営体当たり平均の推定値

Ｓｉｘ＝　ｉ番目の階層のｘの標準偏差の推定値

Ｓｉｙ＝　ｉ番目の階層のｙの標準偏差の推定値

Ｓｉｘｙ＝　ｉ番目の階層のｘとｙの共分散の推定値

$\bar{x}$　＝　ｘの経営体当たり平均の推定値

$\hat{r}$　＝　計算単位当たりの生産費の推定値

$\bar{y}$　＝　ｙの経営体当たり平均の推定値

$\hat{r}i$ ＝　i 階層の計算単位当たりの生産費の推定値

$\hat{s}$　＝ $\hat{r}$ の標準誤差の推定値

$\hat{s}i$ ＝ $\hat{r}i$ の標準誤差の推定値

$$\overline{x}i = \frac{1}{ni} \cdot \sum_{j=1}^{ni} xij \quad , \quad Six^2 = \frac{1}{ni-1} \cdot \sum_{j=1}^{ni} (xij - \overline{x}i)^2$$

$$\overline{y}i = \frac{1}{ni} \cdot \sum_{j=1}^{ni} yij \quad , \quad Siy^2 = \frac{1}{ni-1} \cdot \sum_{j=1}^{ni} (yij - \overline{y}i)^2$$

$$Sixy = \frac{1}{ni-1} \cdot \sum_{j=1}^{ni} (xij - \overline{x}i)(yij - \overline{y}i)$$

$$\overline{x} = \sum_{i=1}^{L} \frac{Ni}{N} \cdot \overline{x}i \quad , \quad \overline{y} = \sum_{i=1}^{L} \frac{Ni}{N} \cdot \overline{y}i$$

$$\hat{r} = \frac{\overline{x}}{\overline{y}} \quad , \quad \hat{r}i = \frac{\overline{x}i}{\overline{y}i}$$

$$\hat{S}^2 \fallingdotseq \left(\frac{\overline{x}}{\overline{y}}\right)^2 \cdot \sum_{i=1}^{L} \left(\frac{Ni}{N}\right)^2 \cdot \frac{Ni-ni}{Ni-1} \cdot \frac{1}{ni} \cdot \left(\frac{Six^2}{\overline{x}^2} + \frac{Siy^2}{\overline{y}^2} - 2 \cdot \frac{Sixy}{\overline{x}\,\overline{y}}\right)$$

$$\hat{S}i^2 \fallingdotseq \left(\frac{\overline{x}i}{\overline{y}i}\right)^2 \cdot \frac{Ni-ni}{Ni-1} \cdot \frac{1}{ni} \cdot \left(\frac{Six^2}{\overline{x}i^2} + \frac{Siy^2}{\overline{y}i^2} - 2 \cdot \frac{Sixy}{\overline{x}i\,\overline{y}i}\right)$$

精度（標準誤差率）＝ $\hat{S}$ ／ $\hat{r}$　　i 階層の精度（標準誤差率）＝ $\hat{S}i$ ／ $\hat{r}i$

（２） 標本の大きさの算出と標本配分

ア　営農類型別経営統計

ni ＝　ｉ番目階層の標本の大きさ　　C ＝　目標精度

N ＝　母集団の大きさ　　Si ＝　ｉ番目階層のｘの標準偏差の推定値

Ni ＝　ｉ番目の階層の経営体数　　n ＝　標本の大きさ

L ＝　階層数　　$\bar{x}$ ＝　ｘの経営体平均の推定値

（ｘは、目標精度を設けた指標）

$$n = \frac{\left(\sum_{k=1}^{L} \frac{Nk}{N} Sk\right)^2}{(c\bar{x})^2 + \sum_{k=1}^{L} \frac{Nk}{N^2} Sk^2} \fallingdotseq \left(\frac{\sum_{k=1}^{L} \frac{Nk}{N} Sk}{c\bar{x}} \right)^2$$

$$ni = n \cdot \frac{Ni}{N} Si \Big/ \sum_{k=1}^{L} \frac{Nk}{N} Sk$$

Ｓｉ、$\bar{x}$は、直近数年平均（３年程度）を用いる。

（注）　農産物価格の変動を吸収するため、センサス直近の３年平均を用いている。

イ　農畜産物生産費統計

Ｎ　　＝　母集団の大きさ

Ｎｉ　　＝　ｉ番目の階層の経営体数

Ｌ　　＝　階層数

ｎｉ　　＝　ｉ番目の階層の標本の大きさ

Ｓｉｘ　　＝　ｉ番目の階層のｘの標準偏差の推定値

Ｓｉｙ　　＝　ｉ番目の階層のｙの標準偏差の推定値

Ｓｉｘｙ　＝ｉ番目の階層のｘとｙの共分散の推定値

$\bar{x}$　　＝　ｘ（全算入生産費）の１経営体当たり平均の推定値

$\bar{y}$　　＝　ｙ（計算単位生産量）の１経営体当たり平均の推定値

Ｃ　　＝　目標精度（計算単位当たり全算入生産費に対して設ける。）

$$Si^2 = \left(\frac{Six}{\bar{x}}\right)^2 + \left(\frac{Siy}{\bar{y}}\right)^2 - 2\frac{Sixy}{\bar{x}\,\bar{y}}$$

として、

$$n = \frac{\left(\sum_{k=1}^{L} \frac{Nk}{N} Sk\right)^2}{c^2 + \sum_{k=1}^{L} \frac{Nk}{N^2} Sk^2} \fallingdotseq \left(\frac{\sum_{k=1}^{L} \frac{Nk}{N} Sk}{c}\right)^2$$

$$ni = n \frac{Ni}{N} Si \Big/ \sum_{k=1}^{L} \frac{Nk}{N} Sk$$

Ｓｉは、直近数年平均（３年程度）を用いる。

（注）　豊凶変動や資材価格の変動を吸収するため、センサス直近の３年平均を用いている。

7　集計方法

（１） 営農類型別経営統計

集計対象経営体ごとに営農類型別、規模区分別に区分した各階層の標本抽出率（階層の大きさに対する集計対象経営体数の比率をいい、次のア～ウのとおり算出する）の逆数を集計ウェイト（拡大乗率）として定め、集計対象とする区分ごとに次式により１経営体当たりの平均値（加重平均）を算出する。

$$\text{求めようとする項目の平均値の推定値} = \frac{\sum_{i=1}^{n} wi\ xi}{\sum_{i=1}^{n} wi}$$

ｎ　：　当該集計対象区分に属する集計対象経営体数

ｗｉ：　当該集計対象区分に属するｉ番目の集計対象経営体のウェイト

ｘｉ：　当該集計対象区分に属するｉ番目の集計対象経営体の調査結果

ア　個人経営体

$$\text{標本抽出率} = \frac{\text{当該階層から抽出した集計対象経営体数}}{\text{センサス結果における当該階層の大きさ（経営体数）}}$$

イ　法人経営体

集落営農と集落営農以外に区分し、次のとおりとした。

（ア） 集落営農以外

$$\text{標本抽出率} = \frac{\text{当該階層から抽出した集計対象経営体数}}{\text{センサス結果における当該階層の大きさ（経営体数）}}$$

（イ） 集落営農

$$\text{標本抽出率} = \frac{\text{当該階層から抽出した集計対象経営体数}}{\text{令和２年集落営農実態調査結果における当該階層の大きさ（経営体数）}}$$

ウ　農業経営体

個人経営体と法人経営体で用いた標本抽出率を用いる。

（２） 生産費統計

集計対象経営体ごとに全国農業地域別（米生産費（個別経営）は都道府県別）、規模階層別、小麦生産費（個別経営）及び大豆生産費（個別経営）についてはさらに田畑別に区分した標本抽出率（階層の大きさに対する集計経営体数の比率をいい、次のア及びイのとおり算出する）の逆数を集計ウェイト（拡大乗率）として定め、集計対象とする区分ごとに次式により平均値（加重平均）を算出する。

$$\text{１経営体当たり平均値の推定値} = \frac{\sum_{i=1}^{n} wi\ xi}{\sum_{i=1}^{n} wi}$$

ｎ　：　当該集計対象区分に属する集計対象経営体数

ｗｉ：　当該集計対象区分に属するｉ番目の集計対象経営体のウェイト

ｘｉ：　当該集計対象区分に属するｉ番目の集計対象経営体の調査結果

$$\text{計算単位当たり平均値の推定値} = \frac{\sum_{i=1}^{n} wi\ xi}{\sum_{i=1}^{n} wi\ yi}$$

ｎ　：　当該集計対象区分に属する集計対象経営体数

ｗｉ：　当該集計対象区分に属するｉ番目の集計対象経営体のウェイト

ｘｉ：　当該集計対象区分に属するｉ番目の集計対象経営体の調査結果

ｙｉ：　当該集計対象区分に属するｉ番目の集計対象経営体の計算単位の調査結果

ア　米生産費

$$\text{標本抽出率} = \frac{\text{当該階層から抽出した集計対象経営体数}}{\text{センサス結果における当該階層の大きさ（経営体数）}}$$

イ　米生産費以外の生産費

$$\text{標本抽出率} = \frac{\text{当該区分の集計対象経営体数}}{\text{次表に示す結果情報における当該区分の大きさ（経営体数）}}$$

生産費区分	拡大乗率の作成に使用する情報
麦類、そば、大豆、原料用ばれいしょ、てんさい、なたね	経営所得安定対策等加入申請者数
原料用かんしょ、さとうきび	でん粉原料用かんしょ及びさとうきびの経営所得安定対策に係る対象甘味資源作物及びでん粉原料用いも生産者要件審査申請者数
畜産物生産費	畜産統計（肥育豚生産費については、センサス実施年はセンサス結果）

（３） 復元推計（集計）の考え方

ア　営農類型別経営統計

構造変化を的確にとらえるよう、次の考え方で復元推計を行う。

（ア）センサス実施年

当該センサス結果に基づき母集団となる農業経営体数及び拡大乗率を決定（ベンチマークに設定）し、復元推計を行う。

（イ）センサス実施年以降の４年間

ベンチマークであるセンサス結果に農業構造動態調査の農業経営体数から算出した増減率を乗ずる方法で復元推計を行う。

（ウ）センサス実施年の４年後

最新のセンサス結果が公表されている場合には、最新のセンサスから前年の母集団を推計する方法を採用する。

注：最大階層における拡大乗率作成時の評価

最大階層においては、標本の分布が等しく均等にならないため、拡大乗率（いわゆる、集計ウェイト）の作成に際しては、一律の評価では復元推計に歪みを与える可能性があることから、母集団の分布と標本の分布状況に鑑み、適宜、拡大乗率を評価して作成するものとする。

なお、評価した内容については、確定値公表において、実績精度と併せて利用者に向けて公表するものとする。

イ　生産費統計

（ア） 米生産費統計

当該センサス結果に基づき母集団となる農業経営体数及び拡大乗率を決定（個々の標本へのベンチマークに設定）し、復元推計を行う。

（イ） 米生産費以外の生産費統計

直近の構造変化を的確にとらえる観点から、当該年（産）の他統計や行政情報等をベンチマークとして拡大乗率を作成し、復元推計を行う。

（参考）標本抽出がない規模階層があった場合の拡大乗率の考え方

ア　営農類型別経営統計

標本抽出がない規模階層が発生した場合は、標本抽出のない規模階層の大きさを、当該営農類型における他の規模階層の大きさに比例して配分し、拡大乗率を再計算して適用する。

イ　生産費統計

（ア）米生産費（個別経営）統計

a　標本抽出のない当該階層を含む都道府県が属する全国農業地域内の同一規模階層に標本抽出がある場合、当該全国農業地域内の都道府県のうち当該規模階層から標本が抽出されている各都道府県の当該規模階層に、それらの当初の大きさに比例して配分する。

b　標本抽出のない当該階層を含む都道府県が属する全国農業地域内の同一規模階層には標本抽出がないが、全国の同一規模階層に標本抽出がある場合は、全国の都道府県の当該同規模階層から標本が抽出されている各都道府県の当該規模階層にそれらの当初の大きさに比例して配分する。

c　標本抽出のない当該階層と同一の規模階層からは全国において標本抽出がない場合は、次のように、まず全国において標本抽出のある規模階層に配分し、次のそれ

を配分先の規模階層から標本が抽出されている各都道府県の当該規模階層に配分する。

（ａ）全国において標本抽出のある規模階層への配分

① 標本抽出のある規模階層のうち一番近い（当該規模階層との間に介在する規模階層の数が小さいほど当該規模階層に近い規模階層であることとする。）規模階層が１つに限られる場合は、その一番近い規模階層にすべて配分する。

② 一番近い標本抽出のある規模階層が上下に２つある場合は、それら２つの規模階層にそれらの当初の大きさに比例して配分する。

（ｂ）（ａ）により配分された全国の規模階層から都道府県の当該規模階層への配分

① 標本抽出のない当該階層を含む都道府県において、その配分先の規模階層に標本抽出があれば、当該都道府県の当該規模階層に全てを配分する。

② 標本抽出のない当該階層を含む都道府県においては、その配分先の規模階層に標本抽出がないが、当該都道府県が属する全国農業地域内の当該規模階層に標本抽出がある場合は、当該全国農業地域内の都道府県のうち当該規模階層に標本抽出のある各都道府県の当該規模階層に、それらの当初の大きさに比例して配分する。

③ 標本抽出のない当該階層を含む都道府県が属する全国農業地域内において、その配分先の規模階層に標本抽出がない場合には、全国の都道府県のうち当該規模階層に標本抽出のある各都道府県の当該規模階層に、それらの当初の大きさに比例して配分する。

（イ）米生産費（個別経営）以外の統計

ａ 全国農業地域において標本抽出のない規模階層については、全国の同一規模階層に標本抽出がある場合は、標本抽出がない農業地域の当該規模階層の母集団を標本抽出がされている農業地域の当該規模階層にそれらの当初の母集団の大きさに比例して配分する。

ｂ 全国において標本抽出がない規模階層については、

（ａ）全国において標本抽出のある規模階層への配分

① 全国の標本抽出のある規模階層のうち、一番近い（当該規模階層との間に介在する規模階層の数が小さいほど当該規模階層に近い規模階層であることとする。）規模階層が一つに限られる場合は、その一番近い規模階層に配分する。

② 一番近い標本抽出のある規模階層が上下に２つある場合は、２つの規模階層にそれらの母集団の大きさに比例して配分する。

（ｂ）（ａ）により配分された全国の規模階層から全国農業地域の当該規模階層のうち、当該規模階層に標本抽出のある農業地域の当該規模階層に、それらの当初の母集団の大きさに比例して配分する。

令和４年体系見直し後の標本数と現行の比較（規模階層別）

１　営農類型別経営統計（個人経営）

営農類型	規模指標			計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
水田作経営	水田作作付延べ面積			計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0ha以上	
		全国	R4母集団	520,198	158,283	149,994	143,201	29,423	22,719	7,702	3,784	3,163	1,390	539	
			現行①	742	65	91	182	76	113	63	48	47	39	18	
			R4②	768	94	109	244	64	110	51	29	30	25	12	
			②－①	26	29	18	62	▲12	▲3	▲12	▲19	▲17	▲14	▲6	
		北海道	R4母集団	7,559	106	161	708	817	1,824	1,463	1,036	1,022	371	51	
			現行①	120	0	0	4	10	22	28	19	18	15	4	
			R4②	48	0	0	1	2	9	10	8	10	7	1	
			②－①	▲72			▲3	▲8	▲13	▲18	▲11	▲8	▲8	▲3	
		都府県	R4母集団	512,639	158,177	149,833	142,493	28,606	20,895	6,239	2,748	2,141	1,019	488	
			現行①	622	65	91	178	66	91	35	29	29	24	14	
			R4②	720	94	109	243	62	101	41	21	20	18	11	
			②－①	98	29	18	65	▲4	10	6	▲8	▲9	▲6	▲3	
畑作経営	畑作作付延べ面積			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0～40.0	40.0～50.0	50.0～60.0	60.0ha以上
		全国	R4母集団	58,800	30,017	14,537	4,392	3,233	1,196	831	1,732	1,475	765	334	288
			現行①	684	108	177	117	81	33	26	38	36	29	20	19
			R4②	826	197	229	99	112	48	27	47	36	11	10	10
			②－①	142	89	52	▲18	31	15	1	9		▲18	▲10	▲9
		北海道	R4母集団	7,926	458	596	469	820	645	645	1,571	1,413	733	322	254
			現行①	168	0	0	3	3	9	17	34	35	28	20	19
			R4②	163	2	5	6	16	18	17	39	33	10	9	8
			②－①	▲5	2	5	3	13	9		5	▲2	▲18	▲11	▲11
		都府県	R4母集団	50,874	29,559	13,941	3,923	2,413	551	186	161	62	32	12	34
			現行①	516	108	177	114	78	24	9	4	1	1	0	0
			R4②	663	195	224	93	96	30	10	8	3	1	1	2
			②－①	147	87	47	▲21	18	6	1	4	2		1	-2
野菜作経営	露地野菜作	延べ面積	露地野菜作付	計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0ha以上			
		全国	R4母集団	100,342	51,095	18,617	19,483	5,201	4,100	1,220	305	321			
			現行①	493	117	112	118	54	47	23	13	9			
			R4②	359	94	53	98	40	40	18	4	12			
			②－①	▲134	▲23	▲59	▲20	▲14	▲7	▲5	▲9	3			
	施設野菜作	延べ面積	施設野菜作付	計	0.2ha未満	0.2～0.3	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～2.0	2.0ha以上					
		全国	R4母集団	58,849	25,700	10,836	11,200	7,247	2,711	1,155					
			現行①	372	74	56	76	86	52	28					
			R4②	459	103	74	97	93	57	35					
			②－①	87	29	18	21	7	5	7					
果樹作経営	果樹植栽面積			計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0ha以上						
		全国	R4母集団	126,808	56,520	34,302	31,826	3,386	774						
			現行①	448	114	117	88	71	58						
			R4②	556	161	157	188	38	12						
			②－①	108	47	40	100	▲33	▲46						
花き作経営	露地花き作	延べ面積	露地花き作付	計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～3.0	3.0ha以上							
		全国	R4母集団	7,701	5,069	1,530	866	236							
			現行①	91	40	13	24	14							
			R4②	105	34	20	29	22							
			②－①	14	▲6	7	5	8							
	施設花き作	延べ面積	施設花き作付	計	0.2ha未満	0.2～0.5	0.5～1.0	1.0ha以上							
		全国	R4母集団	11,611	4,830	4,476	1,653	652							
			現行①	46	10	16	10	10							
			R4②	42	8	18	7	9							
			②－①	▲4	▲2	2	▲3	▲1							

1　営農類型別経営統計（個人経営）（つづき）

営農類型	規模指標			計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
酪農経営	月平均搾乳牛飼育頭数			計	20頭未満	20～30	30～50	50～100	100～200	200頭以上					
		全国	R4母集団	11,104	2,636	1,579	2,928	3,016	829	116					
			現行①	251	39	29	59	74	33	17					
			R4②	88	11	6	19	32	14	6					
			②－①	▲163	▲28	▲23	▲40	▲42	▲19	▲11					
		北海道	R4母集団	4,494	366	257	1,095	2,039	639	98					
			現行①	73	5	5	8	25	18	12					
			R4②	48	2	1	7	22	11	5					
			②－①	▲25	▲3	▲4	▲1	▲3	▲7	▲7					
		都府県	R4母集団	6,610	2,270	1,322	1,833	977	190	18					
			現行①	178	34	24	51	49	15	5					
			R4②	40	9	5	12	10	3	1					
			②－①	▲138	▲25	▲19	▲39	▲39	▲12	▲4					
肉用牛経営	繁殖牛	月平均繁殖めす牛飼養頭数		計	5頭未満	5～10	10～20	20～50	50～100	100頭以上					
			全国 R4母集団	22,110	4,221	4,886	5,110	5,088	2,098	707					
			現行①	124	11	24	23	32	14	20					
			R4②	181	6	6	30	56	29	54					
			②－①	57	▲5	▲18	7	24	15	34					
	肥育牛	月平均肥育牛飼養頭数		計	50頭未満	50～100	100～200	200～500	500頭以上						
			全国 R4母集団	3,872	2,137	671	598	375	91						
			現行①	102	25	15	21	25	16						
			R4②	126	34	14	22	34	22						
			②－①	24	9	▲1	1	9	6						
養豚経営	月平均豚飼養頭数			計	300頭未満	300～500	500～1000	1000～2000	2000頭以上						
		全国	R4母集団	1,200	444	174	322	197	63						
			現行①	86	16	15	20	22	13						
			R4②	70	12	7	20	18	13						
			②－①	▲16	▲4	▲8		▲4							
採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数			計	5000羽未満	5000～1万	1万～3万	3万～5万	5万羽以上						
		全国	R4母集団	980	606	136	159	34	45						
			現行①	45	13	8	8	5	11						
			R4②	15	4	2	5	1	3						
			②－①	▲30	▲9	▲6	▲3	▲4	▲8						
ブロイラー養鶏経営	ブロイラー出荷羽数			計	10万羽未満	10万～20万	20万～30万	30万羽以上							
		全国	R4母集団	965	366	338	144	117							
			現行①	31	9	8	5	9							
			R4②	20	4	4	4	8							
			②－①	▲11	▲5	▲4	▲1	▲1							
その他経営	農産物販売収入＋農作業受託収入			計	100万円未満	100万～300万	300万～500万	500万～1000万	1000万円以上						
		全国	R4母集団	17,615	3,983	2,718	4,095	1,869	4,950						
			現行①	46	9	7	4	9	17						
			R4②	50	10	10	10	10	10						
			②－①	4	1	3	6	1	▲7						

2　営農類型別経営統計（法人経営）

営農類型	規模指標			計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
水田作経営	水田作作付延べ面積			計	5.0ha未満	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0～100.0	100.0ha以上			
		全国	R4母集団	8,236	1,288	927	853	802	1,378	1,585	1,067	336			
			現行①	264	23	26	21	20	35	63	40	36			
			R4②	264	45	12	17	17	36	43	50	44			
			②－①		22	▲14	▲4	▲3	1	▲20	10	8			
		集落営農	R4母集団	4,538	223	415	529	514	938	1,144	620	155			
			現行①	148	8	15	12	12	24	45	19	13			
			R4②	111	4	2	5	12	20	22	27	19			
			②－①	▲37	▲4	▲13	▲7		▲4	▲23	8	6			
		集落営農以外	R4母集団	3,698	1,065	512	324	288	440	441	447	181			
			現行①	116	15	11	9	8	11	18	21	23			
			R4②	153	41	10	12	5	16	21	23	25			
			②－①	37	26	▲1	3	▲3	5	3	2	2			
畑作経営	畑作作付延べ面積			計	5.0ha未満	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0～60.0	60.0～100.0	100.0ha以上		
		全国	R4母集団	3,189	1,106	541	371	219	305	339	86	129	93		
			現行①	71	15	15	7	7	6	5	6	5	5		
			R4②	126	7	10	14	3	20	17	1	16	38		
			②－①	55	▲8	▲5	7	▲4	14	12	▲5	11	33		
		北海道	R4母集団	714	73	55	53	38	99	188	59	79	70		
			現行①	24	1	1	1	1	2	3	5	5	5		
			R4②	68	1	1	3	1	8	11	1	11	31		
			②－①	44			2		6	8	▲4	6	26		
		都府県	R4母集団	2,475	1,033	486	318	181	206	151	27	50	23		
			現行①	47	14	14	6	6	4	2	1	0	0		
			R4②	58	6	9	11	2	12	6	0	5	7		
			②－①	11	▲8	▲5	5	▲4	8	4	▲1	5	7		
野菜作経営	露地野菜作	露地野菜作付延べ面積		計	5.0ha未満	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0ha以上					
		全国	R4母集団	2,523	1,330	351	277	171	182	212					
			現行①	121	60	20	14	9	9	9					
			R4②	43	11	5	6	5	4	12					
			②－①	▲78	▲49	▲15	▲8	▲4	▲5	3					
	施設野菜作	施設野菜作付延べ面積		計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～2.0	2.0～5.0	5.0ha以上						
		全国	R4母集団	2,325	1,165	462	329	251	118						
			現行①	121	36	30	23	17	15						
			R4②	57	14	7	8	11	17						
			②－①	▲64	▲22	▲23	▲15	▲6	2						
果樹作経営	果樹植栽面積			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0ha以上					
		全国	R4母集団	1,541	511	469	259	179	59	64					
			現行①	73	11	20	17	13	7	5					
			R4②	98	20	18	10	33	6	11					
			②－①	25	9	▲2	▲7	20	▲1	6					
花き作経営	露地花き作	露地花き作付延べ面積		計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0ha以上							
		全国	R4母集団	240	94	61	27	58							
			現行①	26	8	9	5	4							
			R4②	36	2	6	5	23							
			②－①	10	▲6	▲3		19							
	施設花き作	施設花き作付延べ面積		計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～2.0	2.0ha以上							
		全国	R4母集団	873	419	239	134	81							
			現行①	25	8	6	6	5							
			R4②	29	10	8	4	7							
			②－①	4	2	2	▲2	2							

2　営農類型別経営統計（法人経営）（つづき）

営農類型	規模指標			計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
酪農経営	飼養頭数 月平均搾乳牛			計	50頭未満	50～100	100～200	200頭以上							
		全国	R4母集団	1,660	350	425	482	403							
			現行①	31	8	7	7	9							
			R4②	26	3	1	4	18							
			②－①	▲5	▲5	▲6	▲3	9							
肉用牛経営 繁殖牛	飼養頭数 月平均繁殖めす牛			計	50頭未満	50～100	100頭以上								
		全国	R4母集団	502	136	101	265								
			現行①	26	9	7	10								
			R4②	23	3	5	15								
			②－①	▲3	▲6	▲2	5								
肉用牛経営 肥育牛	飼養頭数 月平均肥育牛			計	200頭未満	200～500	500～1000	1000～2000	2000頭以上						
		全国	R4母集団	1,110	400	356	157	116	81						
			現行①	45	13	13	8	6	5						
			R4②	15	6	1	1	2	5						
			②－①	▲30	▲7	▲12	▲7	▲4							
養豚経営	頭数 月平均豚飼養			計	1000頭未満	1000～2000	2000～1万	1万頭以上							
		全国	R4母集団	1,278	296	281	575	126							
			現行①	64	12	17	23	12							
			R4②	45	1	1	18	25							
			②－①	▲19	▲11	▲16	▲5	13							
採卵養鶏経営	飼養羽数 月平均採卵鶏			計	3万羽未満	3万～5万	5万～10万	10万～20万	20万羽以上						
		全国	R4母集団	892	322	110	134	126	200						
			現行①	55	14	8	7	10	16						
			R4②	58	2	1	3	3	49						
			②－①	3	▲12	▲7	▲4	▲7	33						
ブロイラー養鶏経営	荷羽数 ブロイラー出			計	20万羽未満	20万～30万	30万～50万	50万～100万	100万羽以上						
		全国	R4母集団	434	108	67	111	83	65						
			現行①	34	8	7	6	5	8						
			R4②	16	1	0	1	5	9						
			②－①	▲18	▲7	▲7	▲5		1						
その他経営	農産物販売収入＋農作業受託収入			計	1000万円未満	1000～3000	3000～5000	5000～1億	1億円以上						
		全国	R4母集団	2,321	599	822	400	9	491						
			現行①	16	4	2	2	3	5						
			R4②	25	5	5	5	5	5						
			②－①	9	1	3	3	2							

３　農畜産物生産費統計（個別経営）

品目	規模指標			計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
米	水稲作付面積			計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0ha以上	
		全国	R4母集団	673,743	231,736	191,887	174,504	34,834	25,878	7,944	3,331	2,415	852	362	
			現行①	810	140	169	219	67	72	39	41	37	19	7	
			R4②	818	111	153	189	77	95	44	48	37	26	38	
			②－①	8	▲29	▲16	▲30	10	23	5	7		7	31	
		北海道	R4母集団	10,433	224	358	1,440	1,512	3,107	1,968	970	689	143	22	
			現行①	91	0	1	5	8	26	20	18	7	5	1	
			R4②	105	0	1	2	7	24	17	25	16	8	5	
			②－①	14			▲3	▲1	▲2	▲3	7	9	3	4	
		都府県	R4母集団	663,310	231,512	191,529	173,064	33,322	22,771	5,976	2,361	1,726	709	340	
			現行①	719	140	168	214	59	46	19	23	30	14	6	
			R4②	713	111	152	187	70	71	27	23	21	18	33	
			②－①	▲6	▲29	▲16	▲27	11	25	8		▲9	4	27	
小麦	小麦作付面積（田畑計）			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0ha以上				
		全国	R4母集団	26,298	6,712	5,605	3,233	5,371	3,110	1,208	1,059				
			現行①	508	74	103	64	111	61	45	50				
			R4②	396	34	65	46	89	63	35	64				
			②－①	▲112	▲40	▲38	▲18	▲22	2	▲10	14				
		北海道	R4母集団	11,769	264	1,563	1,675	3,893	2,584	988	802				
			現行①	110	0	3	5	29	27	25	21				
			R4②	106	0	3	8	28	30	16	21				
			②－①	▲4			3	▲1	3	▲9					
		都府県	R4母集団	14,529	6,448	4,042	1,558	1,478	526	220	257				
			現行①	398	74	100	59	82	34	20	29				
			R4②	290	34	62	38	61	33	19	43				
			②－①	▲108	▲40	▲38	▲21	▲21	▲1	▲1	14				
	小麦作付面積（田）			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0ha以上				
		全国	R4母集団	12,848	3,923	3,576	1,817	2,150	767	306	309				
			現行①	375	63	93	55	84	36	18	26				
			R4②	207	18	42	27	48	25	15	32				
			②－①	▲168	▲45	▲51	▲28	▲36	▲11	▲3	6				
		北海道	R4母集団	3,484	138	803	747	1,102	409	149	136				
			現行①	24	0	2	2	9	5	2	4				
			R4②	25	0	2	4	8	5	2	4				
			②－①	1			2	▲1							
		都府県	R4母集団	9,364	3,785	2,773	1,070	1,048	358	157	173				
			現行①	351	63	91	53	75	31	16	22				
			R4②	182	18	40	23	40	20	13	28				
			②－①	▲169	▲45	▲51	▲30	▲35	▲11	▲3	6				
	小麦作付面積（畑）			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0ha以上				
		全国	R4母集団	13,450	2,789	2,029	1,416	3,221	2,343	902	750				
			現行①	133	11	10	9	27	25	27	24				
			R4②	189	16	23	19	41	38	20	32				
			②－①	56	5	13	10	14	13	▲7	8				
		北海道	R4母集団	8,285	126	760	928	2,791	2,175	839	666				
			現行①	86		1	3	20	22	23	17				
			R4②	81	0	1	4	20	25	14	17				
			②－①	▲5			1		3	▲9					
		都府県	R4母集団	5,165	2,663	1,269	488	430	168	63	84				
			現行①	47	11	9	6	7	3	4	7				
			R4②	108	16	22	15	21	13	6	15				
			②－①	61	5	13	9	14	10	2	8				

二条大麦	二条大麦作付面積			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上								
		全国	R4母集団	6,728	1,774	2,666	1,007	890	391								
			現行①	69	6	18	15	19	11								
			R4②	70	4	17	7	15	27								
			②－①	1	▲2	▲1	▲8	▲4	16								
六条大麦	六条大麦作付面積			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上								
		全国	R4母集団	2,191	1,008	569	257	233	124								
			現行①	45	5	9	7	11	13								
			R4②	47	4	8	7	14	14								
			②－①	2	▲1	▲1		3	1								
はだか麦	はだか麦作付面積			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上								
		全国	R4母集団	1,097	404	377	137	100	79								
			現行①	40	5	10	9	7	9								
			R4②	38	4	11	7	8	8								
			②－①	▲2	▲1	1	▲2	1	▲1								
そば	そば作付面積			計	1ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上								
		全国	R4母集団	17,354	11,374	3,603	933	745	699								
			現行①	121	27	28	16	12	38								
			R4②	112	16	16	9	17	54								
			②－①	▲9	▲11	▲12	▲7	5	16								

3　農畜産物生産費統計（個別経営）（つづき）

品目	規模指標			計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
大豆	大豆作付面積（田畑計）			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上						
		全国	R4母集団	32,769	18,138	7,156	3,253	2,836	1,386						
			現行①	421	128	95	54	77	67						
			R4②	398	100	72	52	74	100						
			②－①	▲23	▲28	▲23	▲2	▲3	33						
		北海道	R4母集団	7,108	523	2,144	1,850	1,875	716						
			現行①	73	0	16	17	25	15						
			R4②	76	1	9	15	24	27						
			②－①	3	1	▲7	▲2	▲1	12						
		都府県	R4母集団	25,661	17,615	5,012	1,403	961	670						
			現行①	348	128	79	37	52	52						
			R4②	322	99	63	37	50	73						
			②－①	▲26	▲29	▲16		▲2	21						
	大豆作付面積（田）			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上						
		全国	R4母集団	19,032	10,785	4,412	1,689	1,410	736						
			現行①	338	102	83	43	60	50						
			R4②	229	56	45	31	42	55						
			②－①	▲109	▲46	▲38	▲12	▲18	5						
		北海道	R4母集団	2,683	210	809	658	729	277						
			現行①	34	0	8	7	12	7						
			R4②	27	0	3	5	9	10						
			②－①	▲7		▲5	▲2	▲3	3						
		都府県	R4母集団	16,349	10,575	3,603	1,031	681	459						
			現行①	304	102	75	36	48	43						
			R4②	202	56	42	26	33	45						
			②－①	▲102	▲46	▲33	▲10	▲15	2						
	大豆作付面積（畑）			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上						
		全国	R4母集団	13,737	7,353	2,744	1,564	1,426	650						
			現行①	83	26	12	11	17	17						
			R4②	169	44	27	21	32	45						
			②－①	86	18	15	10	15	28						
		北海道	R4母集団	4,425	313	1,335	1,192	1,146	439						
			現行①	39		8	10	13	8						
			R4②	49	1	6	10	15	17						
			②－①	10	1	▲2		2	9						
		都府県	R4母集団	9,312	7,040	1,409	372	280	211						
			現行①	44	26	4	1	4	9						
			R4②	120	43	21	11	17	28						
			②－①	76	17	17	10	13	19						
原料用かんしょ	原料用かんしょ作付面積			計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0ha以上						
		全国	R4母集団	2,243	660	737	667	108	71						
			現行①	68	9	20	26	7	6						
			R4②	63	7	12	30	7	7						
			②－①	▲5	▲2	▲8	4		1						
原料用ばれいしょ	原料用ばれいしょ作付面積			計	3.0ha未満	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0ha以上						
		全国	R4母集団	1,942	350	269	776	420	127						
			現行①	75	6	8	27	23	11						
			R4②	71	4	9	30	21	7						
			②－①	▲4	▲2	1	3	▲2	▲4						
なたね	なたね作付面積			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0ha以上								
		全国	R4母集団	523	270	130	123								
			現行①	53	26	11	16								
			R4②	45	4	9	32								
			②－①	▲8	▲22	▲2	16								

てんさい	てんさい作付面積			計	3.0ha未満	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0ha以上					
		全国	R4母集団	6,381	658	975	2,936	1,401	309	102					
			現行①	70	5	7	29	17	7	5					
			R4②	68	3	7	33	19	5	1					
			②－①	▲2	▲2		4	2	▲2	▲4					
さとうきび	さとうきび作付面積			計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上					
		全国	R4母集団	10,451	1,931	2,852	4,347	831	373	117					
			現行①	110	8	17	47	14	19	5					
			R4②	114	9	18	46	17	16	8					
			②－①	4	1	1	▲1	3	▲3	3					

3　農畜産物生産費統計（個別経営）（つづき）

品目	規模指標			計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
牛乳	搾乳牛通年換算飼養頭数			計	20頭未満	20～30	30～50	50～100	100～200	200頭以上					
		全国	R4母集団	12,123	2,640	1,695	3,109	3,311	1,124	244					
			現行①	422	43	40	98	174	47	20					
			R4②	402	58	43	58	118	84	41					
			②－①	▲20	15	3	▲40	▲56	37	21					
		北海道	R4母集団	4,861	217	287	1,146	2,171	843	197					
			現行①	234	10	12	50	117	30	15					
			R4②	239	10	10	33	96	65	25					
			②－①	5		▲2	▲17	▲21	35	10					
		都府県	R4母集団	7,262	2,423	1,408	1,963	1,140	281	47					
			現行①	188	33	28	48	57	17	5					
			R4②	163	48	33	25	22	19	16					
			②－①	▲25	15	5	▲23	▲35	2	11					
去勢若齢肥育牛	月平均去勢若齢肥育牛飼養頭数			計	10頭未満	10～20	20～30	30～50	50～100	100～200	200～500	500頭以上			
		全国	R4母集団	6,087	2,800	728	397	540	695	533	321	73			
			現行①	299	54	43	35	41	52	48	21	5			
			R4②	221	34	26	21	25	34	31	39	11			
			②－①	▲78	▲20	▲17	▲14	▲16	▲18	▲17	18	6			
乳用雄肥育牛	月平均乳用雄肥育牛飼養頭数			計	10頭未満	10～20	20～30	30～50	50～100	100～200	200～500	500頭以上			
		全国	R4母集団	623	289	64	32	41	42	61	53	41			
			現行①	84	9	7	6	9	14	16	16	7			
			R4②	74	7	7	7	7	7	8	16	15			
			②－①	▲10	▲2		1	▲2	▲7	▲8		8			
交雑種肥育牛	月平均交雑種肥育牛飼養頭数			計	10頭未満	10～20	20～30	30～50	50～100	100～200	200～500	500頭以上			
		全国	R4母集団	1,305	471	116	84	101	133	174	171	55			
			現行①	96	6	6	8	11	19	25	15	6			
			R4②	63	7	7	7	7	7	7	11	10			
			②－①	▲33	1	1	▲1	▲4	▲12	▲18	▲4	4			
子牛	雌牛月平均繁殖用飼養頭数			計	２～５頭	５～10	10～20	20～50	50～100	100頭以上					
		全国	R4母集団	28,390	8,520	7,188	5,892	5,044	1,393	353					
			現行①	188	31	37	39	54	21	6					
			R4②	208	56	35	28	52	27	10					
			②－①	20	25	▲2	▲11	▲2	6	4					
乳用雄育成牛	月平均乳用雄育成牛飼養頭数			計	５～20頭	20～50	50～100	100～200	200頭以上						
		全国	R4母集団	415	258	67	29	19	42						
			現行①	53	15	13	9	7	9						
			R4②	39	5	16	8	4	6						
			②－①	▲14	▲10	3	▲1	▲3	▲3						
交雑種育成牛	月平均交雑種育成牛飼養頭数			計	５～20頭	20～50	50～100	100～200	200頭以上						
		全国	R4母集団	1,041	727	175	49	35	55						
			現行①	60	16	15	13	7	9						
			R4②	47	8	12	11	5	11						
			②－①	▲13	▲8	▲3	▲2	▲2	2						
肥育豚	月平均肥育豚飼養頭数			計	100頭未満	100～300	300～500	500～1000	1000～2000	2000頭以上					
		全国	R4母集団	1,329	217	187	152	337	269	167					
			現行①	100	9	10	10	23	26	22					
			R4②	91	7	7	7	15	21	34					
			②－①	▲9	▲2	▲3	▲3	▲8	▲5	12					

4　農畜産物生産費統計（組織法人経営）

品目	規模指標			計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
米	水稲作付面積			計	5.0ha未満	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0～100.0	100.0ha以上			
		全国	R4母集団	9,394	2,592	1,411	1,164	1,002	1,426	1,161	510	128			
			現行①	125	11	23	30	18	19	12	5	7			
			R4②	176	47	36	11	19	15	12	23	13			
			②－①	51	36	13	▲19	1	▲4		18	6			
小麦	小麦作付面積			計	5.0ha未満	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0ha以上				
		全国	R4母集団	2,577	686	568	411	260	298	200	154				
			現行①	65	5	8	9	7	11	13	12				
			R4②	100	7	8	12	8	22	21	22				
			②－①	35	2		3	1	11	8	10				
大豆	大豆作付面積			計	5.0ha未満	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0ha以上					
		全国	R4母集団	3,835	1,560	821	513	276	355	310					
			現行①	85	12	17	16	7	10	23					
			R4②	171	15	22	29	15	40	50					
			②－①	86	3	5	13	8	30	27					

令和４年体系標本数と現行の比較（全体の推移）

１　営農類型別経営統計（個人経営）

営農類型	規模指標			計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
水田作経営	水田作作付延べ面積			計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0ha以上	
		全国	R元標本数 ①	742	65	91	182	76	113	63	48	47	39	18	
			R４標本数 ②	768	94	109	244	64	110	51	29	30	25	12	
			② － ①	26	29	18	62	▲12	▲3	▲12	▲19	▲17	▲14	▲6	
		北海道	R元標本数 ①	120	0	0	4	10	22	28	19	18	15	4	
			R４標本数 ②	48	0	0	1	2	9	10	8	10	7	1	
			② － ①	▲72			▲3	▲8	▲13	▲18	▲11	▲8	▲8	▲3	
		東北	R元標本数 ①	191	10	20	59	27	40	13	7	6	6	3	
			R４標本数 ②	212	12	19	75	25	43	17	8	7	4	2	
			② － ①	21	2	▲1	16	▲2	3	4	1	1	▲2	▲1	
		北陸	R元標本数 ①	94	3	6	34	13	17	6	4	5	4	2	
			R４標本数 ②	103	6	11	39	12	18	7	3	3	2	2	
			② － ①	9	3	5	5	▲1	1	1	▲1	▲2	▲2		
		関東・東山	R元標本数 ①	122	9	16	40	12	18	7	5	6	5	4	
			R４標本数 ②	143	17	20	52	12	18	8	4	5	5	2	
			② － ①	21	8	4	12			1	▲1	▲1		▲2	
		東海	R元標本数 ①	41	7	6	5	2	3	2	3	4	4	5	
			R４標本数 ②	42	11	8	10	1	3	2	1	1	2	3	
			② － ①	1	4	2	5	▲1			▲2	▲3	▲2	▲2	
		近畿	R元標本数 ①	44	7	9	10	3	4	2	3	4	2		
			R４標本数 ②	57	14	14	17	2	4	2	1	1	1	1	
			② － ①	13	7	5	7	▲1			▲2	▲3	▲1	1	
		中国	R元標本数 ①	47	11	14	12	3	3	1	3				
			R４標本数 ②	60	15	16	19	3	4	1	1		1	0	
			② － ①	13	4	2	7		1		▲2		1		
		四国	R元標本数 ①	33	12	14	7								
			R４標本数 ②	24	7	7	7	1	2		0	0	0	0	
			② － ①	▲9	▲5	▲7		1	2						
		九州	R元標本数 ①	50	6	6	11	6	6	4	4	4	3		
			R４標本数 ②	79	12	14	24	6	9	4	3	3	3	1	
			② － ①	29	6	8	13		3		▲1	▲1		1	
		沖縄	R元標本数 ①	0											
			R４標本数 ②	0											
			② － ①												
		関東農政局	R元標本数 ①	128	10	17	41	12	19	7	5	7	6	4	
			R４標本数 ②	148	19	21	53	12	18	8	4	5	6	2	
			② － ①	20	9	4	12		▲1	1	▲1	▲2		▲2	
		東海農政局	R元標本数 ①	35	6	5	4	2	2	2	3	3	3	5	
			R４標本数 ②	37	9	7	9	1	3	2	1	1	1	3	
			② － ①	2	3	2	5	▲1	1		▲2	▲2	▲2	▲2	
		中国四国農政局	R元標本数 ①	80	23	28	19	3	3	1	3	0	0	0	
			R４標本数 ②	84	22	23	26	4	6	1	1	0	1	0	
			② － ①	4	▲1	▲5	7	1	3		▲2		1		

畑作経営	畑作作付延べ面積			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0～40.0	40.0～50.0	50.0～60.0	60.0ha以上
		全国	R元標本数 ①	684	108	177	117	81	33	26	38	36	29	20	19
			R４標本数 ②	826	197	229	99	112	48	27	47	36	11	10	10
			② － ①	142	89	52	▲18	31	15	1	9		▲18	▲10	▲9
		北海道	R元標本数 ①	168			3	3	9	17	34	35	28	20	19
			R４標本数 ②	163	2	5	6	16	18	17	39	33	10	9	8
			② － ①	▲5	2	5	3	13	9		5	▲2	▲18	▲11	▲11
		東北	R元標本数 ①	31	12	11	4	2	2						
			R４標本数 ②	62	28	20	5	5	2	1	1	0	0	0	0
			② － ①	31	16	9	1	3		1	1				
		北陸	R元標本数 ①	2		2									
			R４標本数 ②	15	6	5	1	2	1	0	0	0	0	0	0
			② － ①	13	6	3	1	2	1						
		関東・東山	R元標本数 ①	105	28	31	20	14	5	3	2	1	1		
			R４標本数 ②	134	41	36	17	19	9	4	4	1	1	1	1
			② － ①	29	13	5	▲3	5	4	1	2			1	1
		東海	R元標本数 ①	81	21	30	17	11	2						
			R４標本数 ②	87	29	30	14	9	2	1	1	1	0	0	0
			② － ①	6	8		▲3	▲2		1	1	1			
		近畿	R元標本数 ①	14	2	4	6	2							
			R４標本数 ②	28	15	6	3	3	1	0	0	0	0	0	0
			② － ①	14	13	2	▲3	1	1						
		中国	R元標本数 ①	2	1	1									
			R４標本数 ②	21	15	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0
			② － ①	19	14	2	1	1	1						
		四国	R元標本数 ①	11	4	5	2								
			R４標本数 ②	20	7	8	2	2	1	0	0	0	0	0	0
			② － ①	9	3	3		2	1						
		九州	R元標本数 ①	198	25	65	51	39	11	5	2				
			R４標本数 ②	217	39	77	38	45	11	3	2	1	0	0	1
			② － ①	19	14	12	▲13	6		▲2		1			1
		沖縄	R元標本数 ①	72	15	28	14	10	4	1					
			R４標本数 ②	79	15	39	12	10	2	1	0	0	0	0	0
			② － ①	7		11	▲2		▲2						
		関東農政局	R元標本数 ①	175	46	58	37	21	6	3	2	1	1		
			R４標本数 ②	197	60	61	28	25	10	5	4	1	1	1	1
			② － ①	22	14	3	▲9	4	4	2	2			1	1
		東海農政局	R元標本数 ①	11	3	3		4	1						
			R４標本数 ②	24	10	5	3	3	1	0	1	1	0	0	0
			② － ①	13	7	2	3	▲1			1	1			
		中国四国農政局	R元標本数 ①	13	5	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0
			R４標本数 ②	41	22	11	3	3	2	0	0	0	0	0	0
			② － ①	28	17	5	1	3	2						

露地野菜作経営 / 露地野菜作 / 露地野菜作付延べ面積

			計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0ha以上			
全国	R元標本数	①	493	117	112	118	54	47	23	13	9			
	R４標本数	②	359	94	53	98	40	40	18	4	12			
	② － ①		▲134	▲23	▲59	▲20	▲14	▲7	▲5	▲9	3			
北海道	R元標本数	①	45			2	7	15	10	6	5			
	R４標本数	②	30	1	1	3	3	9	8	2	3			
	② － ①		▲15	1	1	1	▲4	▲6	▲2	▲4	▲2			
東北	R元標本数	①	69	14	23	14	6	5	3	2	2			
	R４標本数	②	44	13	7	12	5	4	2	0	1			
	② － ①		▲25	▲1	▲16	▲2	▲1	▲1	▲1	▲2	▲1			
北陸	R元標本数	①	13	4	4	3	1	1						
	R４標本数	②	7	2	1	2	1	1	0	0	0			
	② － ①		▲6	▲2	▲3	▲1								
関東・東山	R元標本数	①	185	45	38	55	20	15	6	4	2			
	R４標本数	②	135	30	20	40	16	16	5	2	6			
	② － ①		▲50	▲15	▲18	▲15	▲4	1	▲1	▲2	4			
東海	R元標本数	①	45	9	14	11	6	4	1					
	R４標本数	②	31	10	5	8	4	3	1	0	0			
	② － ①		▲14	1	▲9	▲3	▲2	▲1						
近畿	R元標本数	①	30	14	8	7	1							
	R４標本数	②	21	9	5	6	1	0	0	0	0			
	② － ①		▲9	▲5	▲3	▲1								
中国	R元標本数	①	17	4	7	4	1	1						
	R４標本数	②	14	7	2	3	1	1	0	0	0			
	② － ①		▲3	3	▲5	▲1								
四国	R元標本数	①	26	10	6	6	3	1						
	R４標本数	②	23	9	4	7	2	1	0	0	0			
	② － ①		▲3	▲1	▲2	1	▲1							
九州	R元標本数	①	59	15	11	15	9	5	3	1				
	R４標本数	②	51	12	7	16	7	5	2	0	2			
	② － ①		▲8	▲3	▲4	1	▲2		▲1	▲1	2			
沖縄	R元標本数	①	4	2	1	1								
	R４標本数	②	3	1	1	1	0	0	0	0	0			
	② － ①		▲1	▲1										
関東農政局	R元標本数	①	194	50	40	57	20	15	6	4	2			
	R４標本数	②	142	34	21	42	16	16	5	2	6			
	② － ①		▲52	▲16	▲19	▲15	▲4	1	▲1	▲2	4			
東海農政局	R元標本数	①	36	4	12	9	6	4	1					
	R４標本数	②	24	6	4	6	4	3	1	0	0			
	② － ①		▲12	2	▲8	▲3	▲2	▲1						
中国四国農政局	R元標本数	①	43	14	13	10	4	2	0	0	0			
	R４標本数	②	37	16	6	10	3	2	0	0	0			
	② － ①		▲6	2	▲7		▲1							

施設野菜作

施設野菜作付延べ面積

			計	0.2ha未満	0.2～0.3	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～2.0	2.0ha以上					
全国	R元標本数	①	372	74	56	76	86	52	28					
	R４標本数	②	459	103	74	97	93	57	35					
	② － ①		87	29	18	21	7	5	7					
北海道	R元標本数	①	20	2	1	3	6	5	3					
	R４標本数	②	24	4	1	4	6	5	4					
	② － ①		4	2		1			1					
東北	R元標本数	①	32	10	5	7	7	2	1					
	R４標本数	②	36	13	7	7	6	2	1					
	② － ①		4	3	2		▲1							
北陸	R元標本数	①	7	1	1	1	3	1						
	R４標本数	②	8	2	1	1	2	1	1					
	② － ①		1	1			▲1		1					
関東・東山	R元標本数	①	117	18	15	20	29	21	14					
	R４標本数	②	131	24	17	26	29	20	15					
	② － ①		14	6	2	6		▲1	1					
東海	R元標本数	①	34	8	6	8	8	3	1					
	R４標本数	②	44	12	8	10	8	4	2					
	② － ①		10	4	2	2		1	1					
近畿	R元標本数	①	18	6	2	3	3	2	2					
	R４標本数	②	23	7	3	4	4	3	2					
	② － ①		5	1	1	1	1	1						
中国	R元標本数	①	13	5	2	2	2	1	1					
	R４標本数	②	16	6	2	2	3	2	1					
	② － ①		3	1			1	1						
四国	R元標本数	①	23	7	6	5	4	1						
	R４標本数	②	34	11	8	8	5	1	1					
	② － ①		11	4	2	3	1		1					
九州	R元標本数	①	104	16	17	26	23	16	6					
	R４標本数	②	138	23	26	34	29	18	8					
	② － ①		34	7	9	8	6	2	2					
沖縄	R元標本数	①	4	1	1	1	1							
	R４標本数	②	5	1	1	1	1	1	0					
	② － ①		1					1						
関東農政局	R元標本数	①	131	22	17	23	32	22	15					
	R４標本数	②	147	29	20	29	32	21	16					
	② － ①		16	7	3	6		▲1	1					
東海農政局	R元標本数	①	20	4	4	5	5	2						
	R４標本数	②	28	7	5	7	5	3	1					
	② － ①		8	3	1	2		1	1					
中国四国農政局	R元標本数	①	36	12	8	7	6	2	1					
	R４標本数	②	50	17	10	10	8	3	2					
	② － ①		14	5	2	3	2	1	1					

果樹作経営	果樹植栽面積			計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0ha以上						
		全国	R元標本数 ①	448	114	117	88	71	58						
			R４標本数 ②	556	161	157	188	38	12						
			② － ①	108	47	40	100	▲33	▲46						
		北海道	R元標本数 ①	7				2	5						
			R４標本数 ②	3	0	0	1	1	1						
			② － ①	▲4			1	▲1	▲4						
		東北	R元標本数 ①	96	17	23	24	19	13						
			R４標本数 ②	117	24	30	51	10	2						
			② － ①	21	7	7	27	▲9	▲11						
		北陸	R元標本数 ①	6	3	2	1								
			R４標本数 ②	11	4	4	3								
			② － ①	5	1	2	2								
		関東・東山	R元標本数 ①	96	32	35	16	7	6						
			R４標本数 ②	131	45	46	37	2	1						
			② － ①	35	13	11	21	▲5	▲5						
		東海	R元標本数 ①	35	11	9	5	5	5						
			R４標本数 ②	45	17	13	11	3	1						
			② － ①	10	6	4	6	▲2	▲4						
		近畿	R元標本数 ①	58	10	12	14	13	9						
			R４標本数 ②	67	14	16	28	7	2						
			② － ①	9	4	4	14	▲6	▲7						
		中国	R元標本数 ①	24	13	7	3	1							
			R４標本数 ②	34	18	9	6	1	0						
			② － ①	10	5	2	3								
		四国	R元標本数 ①	48	13	12	10	9	4						
			R４標本数 ②	61	17	17	21	5	1						
			② － ①	13	4	5	11	▲4	▲3						
		九州	R元標本数 ①	73	14	16	14	14	15						
			R４標本数 ②	83	20	21	29	9	4						
			② － ①	10	6	5	15	▲5	▲11						
		沖縄	R元標本数 ①	5	1	1	1	1	1						
			R４標本数 ②	4	2	1	1	0	0						
			② － ①	▲1	1			▲1	▲1						
		関東農政局	R元標本数 ①	114	36	39	19	11	9						
			R４標本数 ②	152	52	51	43	4	2						
			② － ①	38	16	12	24	▲7	▲7						
		東海農政局	R元標本数 ①	17	7	5	2	1	2						
			R４標本数 ②	24	10	8	5	1	0						
			② － ①	7	3	3	3		▲2						
		中国四国農政局	R元標本数 ①	72	26	19	13	10	4						
			R４標本数 ②	95	35	26	27	6	1						
			② － ①	23	9	7	14	▲4	▲3						

花き作経営 / 露地花き作 / 露地花き作付延べ面積

			計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～3.0	3.0ha以上							
全国	R元標本数	①	91	40	13	24	14							
	R４標本数	②	105	34	20	29	22							
	② － ①		14	▲6	7	5	8							
北海道	R元標本数	①	4	1		2	1							
	R４標本数	②	2	0	0	1	1							
	② － ①		▲2	▲1		▲1								
東北	R元標本数	①	12	6	2	3	1							
	R４標本数	②	15	5	4	5	1							
	② － ①		3	▲1	2	2								
北陸	R元標本数	①	6	1	1	2	2							
	R４標本数	②	7	1	1	3	2							
	② － ①		1			1								
関東・東山	R元標本数	①	24	11	4	5	4							
	R４標本数	②	31	10	6	7	8							
	② － ①		7	▲1	2	2	4							
東海	R元標本数	①	10	5	1	2	2							
	R４標本数	②	11	4	2	3	2							
	② － ①		1	▲1	1	1								
近畿	R元標本数	①	9	5	1	2	1							
	R４標本数	②	8	4	1	2	1							
	② － ①		▲1	▲1										
中国	R元標本数	①	6	4	1	1								
	R４標本数	②	6	3	1	1	1							
	② － ①			▲1			1							
四国	R元標本数	①	5	3		1	1							
	R４標本数	②	5	2	1	1	1							
	② － ①			▲1	1									
九州	R元標本数	①	11	3	2	4	2							
	R４標本数	②	14	4	3	4	3							
	② － ①		3	1	1		1							
沖縄	R元標本数	①	4	1	1	2								
	R４標本数	②	6	1	1	2	2							
	② － ①		2				2							
関東農政局	R元標本数	①	29	13	5	6	5							
	R４標本数	②	36	12	7	8	9							
	② － ①		7	▲1	2	2	4							
東海農政局	R元標本数	①	5	3		1	1							
	R４標本数	②	6	2	1	2	1							
	② － ①		1	▲1	1	1								
中国四国農政局	R元標本数	①	11	7	1	2	1							
	R４標本数	②	11	5	2	2	2							
	② － ①			▲2	1		1							

施設花き作

施設花き作付延べ面積

			計	0.2ha未満	0.2～0.5	0.5～1.0	1.0ha以上							
全国	R元標本数	①	46	10	16	10	10							
	R４標本数	②	42	8	18	7	9							
	② － ①		▲4	▲2	2	▲3	▲1							
北海道	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	1	0	1	0	0							
	② － ①		1		1									
東北	R元標本数	①	3	1	1	1								
	R４標本数	②	2	1	1	0	0							
	② － ①		▲1			▲1								
北陸	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	0											
	② － ①													
関東・東山	R元標本数	①	11	3	4	2	2							
	R４標本数	②	9	2	4	1	2							
	② － ①		▲2	▲1		▲1								
東海	R元標本数	①	13	1	5	3	4							
	R４標本数	②	13	1	5	3	4							
	② － ①													
近畿	R元標本数	①	3	1	1	1								
	R４標本数	②	2	1	1	0	0							
	② － ①		▲1			▲1								
中国	R元標本数	①	1	1										
	R４標本数	②	2	1	1	0	0							
	② － ①		1		1									
四国	R元標本数	①	2	1	1									
	R４標本数	②	1	0	1	0	0							
	② － ①		▲1	▲1										
九州	R元標本数	①	12	2	3	3	4							
	R４標本数	②	11	2	3	3	3							
	② － ①		▲1				▲1							
沖縄	R元標本数	①	1		1									
	R４標本数	②	1	0	1	0	0							
	② － ①													
関東農政局	R元標本数	①	12	3	5	2	2							
	R４標本数	②	10	2	5	1	2							
	② － ①		▲2	▲1		▲1								
東海農政局	R元標本数	①	12	1	4	3	4							
	R４標本数	②	12	1	4	3	4							
	② － ①													
中国四国農政局	R元標本数	①	3	2	1	0	0							
	R４標本数	②	3	1	2	0	0							
	② － ①			▲1	1									

1　営農類型別経営統計（個人経営）（つづき）

営農類型	規模指標			計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
酪農経営	月平均搾乳牛飼育頭数			計	20頭未満	20～30	30～50	50～100	100～200	200頭以上					
		全国	R元標本数 ①	251	39	29	59	74	33	17					
			R４標本数 ②	88	11	6	19	32	14	6					
			② － ①	▲163	▲28	▲23	▲40	▲42	▲19	▲11					
		北海道	R元標本数 ①	73	5	5	8	25	18	12					
			R４標本数 ②	48	2	1	7	22	11	5					
			② － ①	▲25	▲3	▲4	▲1	▲3	▲7	▲7					
		東北	R元標本数 ①	41	14	6	11	9	1						
			R４標本数 ②	11	4	2	3	2	0	0					
			② － ①	▲30	▲10	▲4	▲8	▲7	▲1						
		北陸	R元標本数 ①	6	1	1	2	2							
			R４標本数 ②	0											
			② － ①	▲6	▲1	▲1	▲2	▲2							
		関東・東山	R元標本数 ①	62	9	8	19	17	6	3					
			R４標本数 ②	15	3	2	4	4	1	1					
			② － ①	▲47	▲6	▲6	▲15	▲13	▲5	▲2					
		東海	R元標本数 ①	16	2	1	4	5	3	1					
			R４標本数 ②	3			1	1	1						
			② － ①	▲13	▲2	▲1	▲3	▲4	▲2	▲1					
		近畿	R元標本数 ①	8	2	1	2	2	1						
			R４標本数 ②	1			1								
			② － ①	▲7	▲2	▲1	▲1	▲2	▲1						
		中国	R元標本数 ①	12	2	2	3	3	1	1					
			R４標本数 ②	3	1		1	1							
			② － ①	▲9	▲1	▲2	▲2	▲2	▲1	▲1					
		四国	R元標本数 ①	6	1	1	2	2							
			R４標本数 ②	0											
			② － ①	▲6	▲1	▲1	▲2	▲2							
		九州	R元標本数 ①	27	3	4	8	9	3						
			R４標本数 ②	7	1	1	2	2	1						
			② － ①	▲20	▲2	▲3	▲6	▲7	▲2						
		沖縄	R元標本数 ①	0											
			R４標本数 ②	0											
			② － ①												
		関東農政局	R元標本数 ①	67	10	9	20	18	7	3					
			R４標本数 ②	15	3	2	4	4	1	1					
			② － ①	▲52	▲7	▲7	▲16	▲14	▲6	▲2					
		東海農政局	R元標本数 ①	11	1		3	4	2	1					
			R４標本数 ②	3			1	1	1						
			② － ①	▲8	▲1		▲2	▲3	▲1	▲1					
		中国四国農政局	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0	0					
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0	0					
			② － ①												

肉用牛経営 / 繁殖牛 / 月平均繁殖めす牛飼養頭数

			計	5頭未満	5～10	10～20	20～50	50～100	100頭以上					
全国	R元標本数	①	124	11	24	23	32	14	20					
	R４標本数	②	181	6	6	30	56	29	54					
	② － ①		57	▲5	▲18	7	24	15	34					
北海道	R元標本数	①	7				2	3	2					
	R４標本数	②	19	0	0	1	3	4	11					
	② － ①		12			1	1	1	9					
東北	R元標本数	①	27	4	7	6	7	1	2					
	R４標本数	②	32	2	2	7	12	4	5					
	② － ①		5	▲2	▲5	1	5	3	3					
北陸	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	0											
	② － ①													
関東・東山	R元標本数	①	7		2	2	2	1						
	R４標本数	②	8	0	0	1	3	2	2					
	② － ①		1		▲2	▲1	1	1	2					
東海	R元標本数	①	1				1							
	R４標本数	②	2	0	0	0	1	0	1					
	② － ①		1						1					
近畿	R元標本数	①	4		1	1	1		1					
	R４標本数	②	5	0	0	1	2	1	1					
	② － ①		1		▲1		1	1						
中国	R元標本数	①	4	1	1	1	1							
	R４標本数	②	8	1	0	2	2	1	2					
	② － ①		4		▲1	1	1	1	2					
四国	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	1	0	0	0	1	0	0					
	② － ①		1				1							
九州	R元標本数	①	68	6	12	12	16	8	14					
	R４標本数	②	95	3	4	16	28	15	29					
	② － ①		27	▲3	▲8	4	12	7	15					
沖縄	R元標本数	①	6		1	1	2	1	1					
	R４標本数	②	11	0	0	2	4	2	3					
	② － ①		5		▲1	1	2	1	2					
関東農政局	R元標本数	①	7		2	2	2	1						
	R４標本数	②	8	0	0	1	3	2	2					
	② － ①		1		▲2	▲1	1	1	2					
東海農政局	R元標本数	①	1				1							
	R４標本数	②	2	0	0	0	1	0	1					
	② － ①		1						1					
中国四国農政局	R元標本数	①	4	1	1	1	1	0	0					
	R４標本数	②	9	1	0	2	3	1	2					
	② － ①		5		▲1	1	2	1	2					

肥育牛

月平均肥育牛飼養頭数

			計	50頭未満	50～100	100～200	200～500	500頭以上						
全国	R元標本数	①	102	25	15	21	25	16						
	R４標本数	②	126	34	14	22	34	22						
	② － ①		24	9	▲1	1	9	6						
北海道	R元標本数	①	6	1		1	1	3						
	R４標本数	②	11	2	1	1	1	6						
	② － ①		5	1	1			3						
東北	R元標本数	①	21	8	5	4	2	2						
	R４標本数	②	21	9	3	4	3	2						
	② － ①			1	▲2		1							
北陸	R元標本数	①	1	1										
	R４標本数	②	2	1	0	1	0	0						
	② － ①		1			1								
関東・東山	R元標本数	①	19	3	3	4	5	4						
	R４標本数	②	20	4	3	4	6	3						
	② － ①		1	1			1	▲1						
東海	R元標本数	①	8	1	1	2	3	1						
	R４標本数	②	9	1	1	2	4	1						
	② － ①		1				1							
近畿	R元標本数	①	4	1	1	1	1							
	R４標本数	②	5	1	1	1	1	1						
	② － ①		1					1						
中国	R元標本数	①	4	1	1	1	1							
	R４標本数	②	5	2	1	1	1	0						
	② － ①		1	1										
四国	R元標本数	①	4	1	1	1	1							
	R４標本数	②	6	1	1	1	2	1						
	② － ①		2				1	1						
九州	R元標本数	①	34	7	3	7	11	6						
	R４標本数	②	46	12	3	7	16	8						
	② － ①		12	5			5	2						
沖縄	R元標本数	①	1	1										
	R４標本数	②	1	1	0	0	0	0						
	② － ①													
関東農政局	R元標本数	①	22	3	3	5	6	5						
	R４標本数	②	23	4	3	5	7	4						
	② － ①		1	1			1	▲1						
東海農政局	R元標本数	①	5	1	1	1	2							
	R４標本数	②	6	1	1	1	3	0						
	② － ①		1				1							
中国四国農政局	R元標本数	①	8	2	2	2	2	0						
	R４標本数	②	11	3	2	2	3	1						
	② － ①		3	1			1	1						

養豚経営

月平均豚飼養頭数

			計	300頭未満	300～500	500～1000	1000～2000	2000頭以上						
全国	R元標本数	①	86	16	15	20	22	13						
	R４標本数	②	70	12	7	20	18	13						
	② － ①		▲16	▲4	▲8		▲4							
北海道	R元標本数	①	3	1	1	1								
	R４標本数	②	1			1								
	② － ①		▲2	▲1	▲1									
東北	R元標本数	①	8	2	2	2	2							
	R４標本数	②	9	2	1	3	2	1						
	② － ①		1		▲1	1		1						
北陸	R元標本数	①	2			1	1							
	R４標本数	②	2			1	1							
	② － ①													
関東・東山	R元標本数	①	29	4	4	7	8	6						
	R４標本数	②	28	5	3	7	7	6						
	② － ①		▲1	1	▲1		▲1							
東海	R元標本数	①	12	2	2	2	4	2						
	R４標本数	②	7	1	1	1	3	1						
	② － ①		▲5	▲1	▲1	▲1	▲1	▲1						
近畿	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	0											
	② － ①													
中国	R元標本数	①	1	1										
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲1	▲1										
四国	R元標本数	①	2	1	1									
	R４標本数	②	1			1								
	② － ①		▲1	▲1	▲1	1								
九州	R元標本数	①	25	4	5	6	6	4						
	R４標本数	②	20	3	2	6	5	4						
	② － ①		▲5	▲1	▲3		▲1							
沖縄	R元標本数	①	4	1		1	1	1						
	R４標本数	②	2	1				1						
	② － ①		▲2			▲1	▲1							
関東農政局	R元標本数	①	29	4	4	7	8	6						
	R４標本数	②	30	6	3	7	8	6						
	② － ①		1	2	▲1									
東海農政局	R元標本数	①	12	2	2	2	4	2						
	R４標本数	②	5		1	1	2	1						
	② － ①		▲7	▲2	▲1	▲1	▲2	▲1						
中国四国農政局	R元標本数	①	3	2	1	0	0	0						
	R４標本数	②	1	0	0	1	0	0						
	② － ①		▲2	▲2	▲1	1								

採卵養鶏経営

月平均採卵鶏飼養羽数

			計	5000羽未満	5000～1万	1万～3万	3万～5万	5万羽以上						
全国	R元標本数	①	45	13	8	8	5	11						
	R４標本数	②	15	4	2	5	1	3						
	② － ①		▲30	▲9	▲6	▲3	▲4	▲8						
北海道	R元標本数	①	1	1										
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲1	▲1										
東北	R元標本数	①	1	1										
	R４標本数	②	4	2	1	1	0	0						
	② － ①		3	1	1	1								
北陸	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	0											
	② － ①													
関東・東山	R元標本数	①	10	3	2	2	1	2						
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲10	▲3	▲2	▲2	▲1	▲2						
東海	R元標本数	①	12	2	1	2	2	5						
	R４標本数	②	4	1		2	0	1						
	② － ①		▲8	▲1	▲1		▲2	▲4						
近畿	R元標本数	①	3	1	1	1								
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲3	▲1	▲1	▲1								
中国	R元標本数	①	2	1	1									
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲2	▲1	▲1									
四国	R元標本数	①	3	1	1	1								
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲3	▲1	▲1	▲1								
九州	R元標本数	①	13	3	2	2	2	4						
	R４標本数	②	7	1	1	2	1	2						
	② － ①		▲6	▲2	▲1		▲1	▲2						
沖縄	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	0											
	② － ①													
関東農政局	R元標本数	①	11	4	2	2	1	2						
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲11	▲4	▲2	▲2	▲1	▲2						
東海農政局	R元標本数	①	11	1	1	2	2	5						
	R４標本数	②	4	1		2		1						
	② － ①		▲7		▲1		▲2	▲4						
中国四国農政局	R元標本数	①	5	2	2	1	0	0						
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0						
	② － ①		▲5	▲2	▲2	▲1								

ブロイラー養鶏経営

ブロイラー出荷羽数

			計	10万羽未満	10万～20万	20万～30万	30万羽以上							
全国	R元標本数	①	31	9	8	5	9							
	R４標本数	②	20	4	4	4	8							
	② － ①		▲11	▲5	▲4	▲1	▲1							
北海道	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	0											
	② － ①													
東北	R元標本数	①	8	2	2	1	3							
	R４標本数	②	5	1	1	1	2							
	② － ①		▲3	▲1	▲1		▲1							
北陸	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	0											
	② － ①													
関東・東山	R元標本数	①	2	1	1									
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲2	▲1	▲1									
東海	R元標本数	①	1	1										
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲1	▲1										
近畿	R元標本数	①	1	1										
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲1	▲1										
中国	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	0											
	② － ①													
四国	R元標本数	①	3	2	1									
	R４標本数	②	1	1										
	② － ①		▲2	▲1	▲1									
九州	R元標本数	①	16	2	4	4	6							
	R４標本数	②	14	2	3	3	6							
	② － ①		▲2		▲1	▲1								
沖縄	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	0											
	② － ①													
関東農政局	R元標本数	①	2	1	1									
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲2	▲1	▲1									
東海農政局	R元標本数	①	1	1										
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲1	▲1										
中国四国農政局	R元標本数	①	3	2	1	0	0							
	R４標本数	②	1	1	0	0	0							
	② － ①		▲2	▲1	▲1									

				計	100万円未満	100万～300万	300万～500万	500万～1000万	1000万円以上						
その他経営	農産物販売収入＋農作業受託収入	全国	R元標本数	①	46	9	7	4	9	17						
			R４標本数	②	50	10	10	10	10	10						
			②－①		4	1	3	6	1	▲7						
		北海道	R元標本数	①	5				1	4						
			R４標本数	②	2				1	1						
			②－①		▲3					▲3						
		東北	R元標本数	①	6	1	1	1	1	2						
			R４標本数	②	7	1	1	1	2	2						
			②－①		1				1							
		北陸	R元標本数	①	1					1						
			R４標本数	②	0											
			②－①		▲1											
		関東・東山	R元標本数	①	13	2	3	1	3	4						
			R４標本数	②	17	4	4	4	3	2						
			②－①		4	2	1	3		▲2						
		東海	R元標本数	①	6	1	1	1	1	2						
			R４標本数	②	6	1	1	1	1	2						
			②－①													
		近畿	R元標本数	①	2	1			1							
			R４標本数	②	1	1										
			②－①		▲1				▲1							
		中国	R元標本数	①	3	1	1			1						
			R４標本数	②	2		1	1								
			②－①		▲1	▲1		1		▲1						
		四国	R元標本数	①	2	1				1						
			R４標本数	②	0											
			②－①		▲2	▲1				▲1						
		九州	R元標本数	①	8	2	1	1	2	2						
			R４標本数	②	15	3	3	3	3	3						
			②－①		7	1	2	2	1	1						
		沖縄	R元標本数	①	0											
			R４標本数	②	0											
			②－①													
		関東農政局	R元標本数	①	14	2	3	1	4	4						
			R４標本数	②	21	5	5	5	4	2						
			②－①		7	3	2	4		▲2						
		東海農政局	R元標本数	①	5	1	1	1		2						
			R４標本数	②	2	0	0	0		2						
			②－①		▲3	▲1	▲1	▲1								
		中国四国農政局	R元標本数	①	5	2	1	0	0	2						
			R４標本数	②	2	0	1	1	0	0						
			②－①		▲3	▲2		1		▲2						

2　営農類型別経営統計（法人経営）

営農類型	規模指標			計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
水田作経営	水田作作付延べ面積			計	5.0ha未満	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0～100.0	100.0ha以上			
		全国	R元標本数 ①	264	23	26	21	20	35	63	40	36			
			R４標本数 ②	264	45	12	17	17	36	43	50	44			
			② － ①		22	▲14	▲4	▲3	1	▲20	10	8			
		集落営農	R元標本数 ①	148	8	15	12	12	24	45	19	13			
			R４標本数 ②	111	4	2	5	12	20	22	27	19			
			② － ①	▲37	▲4	▲13	▲7		▲4	▲23	8	6			
		集落営農以外	R元標本数 ①	116	15	11	9	8	11	18	21	23			
			R４標本数 ②	153	41	10	12	5	16	21	23	25			
			② － ①	37	26	▲1	3	▲3	5	3	2	2			
畑作経営	畑作作付延べ面積			計	5.0ha未満	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0～60.0	60.0～100.0	100.0ha以上		
		全国	R元標本数 ①	71	15	15	7	7	6	5	6	5	5		
			R４標本数 ②	126	7	10	14	3	20	17	1	16	38		
			② － ①	55	▲8	▲5	7	▲4	14	12	▲5	11	33		
		北海道	R元標本数 ①	24	1	1	1	1	2	3	5	5	5		
			R４標本数 ②	68	1	1	3	1	8	11	1	11	31		
			② － ①	44			2		6	8	▲4	6	26		
		東北	R元標本数 ①	4	1	2			1						
			R４標本数 ②	11	1	1	2	0	3	1	0	2	1		
			② － ①	7		▲1	2		2	1		2	1		
		北陸	R元標本数 ①	2	1	1									
			R４標本数 ②	5	1	1	1	0	1	0	0	0	1		
			② － ①	3			1		1				1		
		関東・東山	R元標本数 ①	10	3	2	1	2	1	1					
			R４標本数 ②	11	1	1	1	1	2	1	0	1	3		
			② － ①	1	▲2	▲1		▲1	1			1	3		
		東海	R元標本数 ①	6	2	2	1	1							
			R４標本数 ②	5		1	1	0	1	1	0	1	0		
			② － ①	▲1	▲2	▲1		▲1	1	1		1			
		近畿	R元標本数 ①	2	1	1									
			R４標本数 ②	3	0	1	1	0	1	0	0	0	0		
			② － ①	1	▲1		1		1						
		中国	R元標本数 ①	1	1										
			R４標本数 ②	4	1	1	1	0	1	0	0	0	0		
			② － ①	3		1	1		1						
		四国	R元標本数 ①	1	1										
			R４標本数 ②	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
			② － ①		▲1	1									
		九州	R元標本数 ①	19	3	5	4	3	2	1	1				
			R４標本数 ②	18	2	2	4	1	3	3	0	1	2		
			② － ①	▲1	▲1	▲3		▲2	1	2	▲1	1	2		
		沖縄	R元標本数 ①	2	1	1									
			R４標本数 ②	0											
			② － ①	▲2	▲1	▲1									
		関東農政局	R元標本数 ①	14	4	4	2	2	1	1					
			R４標本数 ②	11	1	1	1	1	2	1	0	1	3		
			② － ①	▲3	▲3	▲3	▲1	▲1	1			1	3		
		東海農政局	R元標本数 ①	2	1			1							
			R４標本数 ②	5	0	1	1	0	1	1	0	1	0		
			② － ①	3	▲1	1	1	▲1	1	1		1			
		中国四国農政局	R元標本数 ①	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0		
			R４標本数 ②	5	1	2	1	0	1	0	0	0	0		
			② － ①	3	▲1	2	1		1						

野菜作経営	露地野菜作	露地野菜作付延べ面積			計	5.0ha未満	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0ha以上					
			全国	R元標本数 ①	121	60	20	14	9	9	9					
				R４標本数 ②	43	11	5	6	5	4	12					
				② － ①	▲78	▲49	▲15	▲8	▲4	▲5	3					
			北海道	R元標本数 ①	19	3	3	3	4	3	3					
				R４標本数 ②	11	1	2	2	2	1	3					
				② － ①	▲8	▲2	▲1	▲1	▲2	▲2						
			東北	R元標本数 ①	11	7	1			1	2					
				R４標本数 ②	4	1	0	0	1	0	2					
				② － ①	▲7	▲6	▲1		1	▲1						
			北陸	R元標本数 ①	3	3										
				R４標本数 ②	0											

			② － ①	▲3	▲3										
		関東・東山	R元標本数 ①	36	17	7	5	3	3	1					
			R４標本数 ②	12	3	2	2	1	2	2					
			② － ①	▲24	▲14	▲5	▲3	▲2	▲1	1					
		東海	R元標本数 ①	8	6	1	1								
			R４標本数 ②	2	1	0	0	0	0	1					
			② － ①	▲6	▲5	▲1	▲1			1					
		近畿	R元標本数 ①	5	4	1									
			R４標本数 ②	1	1										
			② － ①	▲4	▲3	▲1									
		中国	R元標本数 ①	8	6	1		1							
			R４標本数 ②	1	1										
			② － ①	▲7	▲5	▲1		▲1							
		四国	R元標本数 ①	7	4	2	1								
			R４標本数 ②	2	1					1					
			② － ①	▲5	▲3	▲2	▲1			1					
		九州	R元標本数 ①	23	9	4	4	1	2	3					
			R４標本数 ②	10	2	1	2	1	1	3					
			② － ①	▲13	▲7	▲3	▲2		▲1						
		沖縄	R元標本数 ①	1	1										
			R４標本数 ②	0											
			② － ①	▲1	▲1										
		関東農政局	R元標本数 ①	38	19	7	5	3	3	1					
			R４標本数 ②	12	3	2	2	1	2	2					
			② － ①	▲26	▲16	▲5	▲3	▲2	▲1	1					
		東海農政局	R元標本数 ①	6	4	1	1								
			R４標本数 ②	2	1	0	0	0	0	1					
			② － ①	▲4	▲3	▲1	▲1			1					
		中国四国農政局	R元標本数 ①	15	10	3	1	1	0	0					
			R４標本数 ②	3	2	0	0	0	0	1					
			② － ①	▲12	▲8	▲3	▲1	▲1		1					

					計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～2.0	2.0～5.0	5.0ha以上						
施設野菜作	施設野菜作付延べ面積	全国	R元標本数	①	121	36	30	23	17	15						
			R４標本数	②	57	14	7	8	11	17						
			②	－ ①	▲64	▲22	▲23	▲15	▲6	2						
		北海道	R元標本数	①	8	2	2	2	1	1						
			R４標本数	②	4	1	0	1	1	1						
			②	－ ①	▲4	▲1	▲2	▲1								
		東北	R元標本数	①	12	5	2	3	1	1						
			R４標本数	②	5	1	1	1	1	1						
			②	－ ①	▲7	▲4	▲1	▲2								
		北陸	R元標本数	①	3	2	1									
			R４標本数	②	1	1										
			②	－ ①	▲2	▲1	▲1									
		関東・東山	R元標本数	①	34	8	8	6	5	7						
			R４標本数	②	16	3	2	2	2	7						
			②	－ ①	▲18	▲5	▲6	▲4	▲3							
		東海	R元標本数	①	13	5	4	2	1	1						
			R４標本数	②	7	2	1	1	2	1						
			②	－ ①	▲6	▲3	▲3	▲1	1							
		近畿	R元標本数	①	7	3	2	1	1							
			R４標本数	②	2	1	0	0	0	1						
			②	－ ①	▲5	▲2	▲2	▲1	▲1	1						
		中国	R元標本数	①	9	3	3	1	1	1						
			R４標本数	②	3	1	0	0	1	1						
			②	－ ①	▲6	▲2	▲3	▲1								
		四国	R元標本数	①	5	2	2	1								
			R４標本数	②	2	1	1	0	0	0						
			②	－ ①	▲3	▲1	▲1	▲1								
		九州	R元標本数	①	28	5	5	7	7	4						
			R４標本数	②	17	3	2	3	4	5						
			②	－ ①	▲11	▲2	▲3	▲4	▲3	1						
		沖縄	R元標本数	①	2	1	1									
			R４標本数	②	0											
			②	－ ①	▲2	▲1	▲1									
		関東農政局	R元標本数	①	39	10	9	7	5	8						
			R４標本数	②	19	4	2	2	3	8						
			②	－ ①	▲20	▲6	▲7	▲5	▲2							
		東海農政局	R元標本数	①	8	3	3	1	1							
			R４標本数	②	4	1	1	1	1	0						
			②	－ ①	▲4	▲2	▲2									
		中国四国農政局	R元標本数	①	14	5	5	2	1	1						
			R４標本数	②	5	2	1	0	1	1						
			②	－ ①	▲9	▲3	▲4	▲2								

果樹作経営	果樹植栽面積			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0ha以上					
		全国	R元標本数 ①	73	11	20	17	13	7	5					
			R４標本数 ②	98	20	18	10	33	6	11					
			② － ①	25	9	▲2	▲7	20	▲1	6					
		北海道	R元標本数 ①	2		1		1							
			R４標本数 ②	5	1			3		1					
			② － ①	3	1	▲1		2		1					
		東北	R元標本数 ①	16	2	4	4	2	2	2					
			R４標本数 ②	16	2	3	2	5	2	2					
			② － ①			▲1	▲2	3							
		北陸	R元標本数 ①	2		1	1								
			R４標本数 ②	3	1	1	0	1	0	0					
			② － ①	1	1		▲1	1							
		関東・東山	R元標本数 ①	13	2	4	3	2	1	1					
			R４標本数 ②	20	4	4	2	7	1	2					
			② － ①	7	2		▲1	5		1					
		東海	R元標本数 ①	4	1	1		1	1						
			R４標本数 ②	6	2	1	0	2		1					
			② － ①	2	1			1	▲1	1					
		近畿	R元標本数 ①	6	1	1	1	2	1						
			R４標本数 ②	10	2	1	1	4	1	1					
			② － ①	4	1			2		1					
		中国	R元標本数 ①	6	1	2	2	1							
			R４標本数 ②	9	2	2	1	3	0	1					
			② － ①	3	1		▲1	2		1					
		四国	R元標本数 ①	9	1	3	3	1	1						
			R４標本数 ②	13	2	3	2	4	1	1					
			② － ①	4	1		▲1	3		1					
		九州	R元標本数 ①	11	1	2	3	2	1	2					
			R４標本数 ②	14	3	2	2	4	1	2					
			② － ①	3	2		▲1	2							
		沖縄	R元標本数 ①	4	2	1		1							
			R４標本数 ②	2	1	1	0	0	0	0					
			② － ①	▲2	▲1			▲1							
		関東農政局	R元標本数 ①	13	2	4	3	2	1	1					
			R４標本数 ②	23	5	4	2	9	1	2					
			② － ①	10	3		▲1	7		1					
		東海農政局	R元標本数 ①	4	1	1		1	1						
			R４標本数 ②	3	1	1	0	0	0	1					
			② － ①	▲1				▲1	▲1	1					
		中国四国農政局	R元標本数 ①	15	2	5	5	2	1	0					
			R４標本数 ②	22	4	5	3	7	1	2					
			② － ①	7	2		▲2	5		2					

花き作経営 / 露地花き作 / 露地花き作付延べ面積

			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0ha以上							
全国	R元標本数	①	26	8	9	5	4							
	R４標本数	②	36	2	6	5	23							
	② － ①		10	▲6	▲3		19							
北海道	R元標本数	①	1	1										
	R４標本数	②	2		1		1							
	② － ①		1	▲1	1		1							
東北	R元標本数	①	2	1	1									
	R４標本数	②	5		1	1	3							
	② － ①		3	▲1		1	3							
北陸	R元標本数	①	2	1	1									
	R４標本数	②	3		1	1	1							
	② － ①		1	▲1		1	1							
関東・東山	R元標本数	①	7	2	2	1	2							
	R４標本数	②	9	1	2	2	4							
	② － ①		2	▲1		1	2							
東海	R元標本数	①	4	1	1	1	1							
	R４標本数	②	3		1		2							
	② － ①		▲1	▲1		▲1	1							
近畿	R元標本数	①	3	1	1	1								
	R４標本数	②	2				2							
	② － ①		▲1	▲1	▲1	▲1	2							
中国	R元標本数	①	2		1	1								
	R４標本数	②	2				2							
	② － ①				▲1	▲1	2							
四国	R元標本数	①	1		1									
	R４標本数	②	2				2							
	② － ①		1		▲1		2							
九州	R元標本数	①	4	1	1	1	1							
	R４標本数	②	5	1			4							
	② － ①		1		▲1	▲1	3							
沖縄	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	3			1	2							
	② － ①		3			1	2							
関東農政局	R元標本数	①	8	2	2	1	3							
	R４標本数	②	9	1	2	2	4							
	② － ①		1	▲1		1	1							
東海農政局	R元標本数	①	3	1	1	1								
	R４標本数	②	3		1		2							
	② － ①			▲1		▲1	2							
中国四国農政局	R元標本数	①	3	0	2	1	0							
	R４標本数	②	4	0	0	0	4							
	② － ①		1		▲2	▲1	4							

施設花き作

施設花き作付延べ面積

			計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～2.0	2.0ha以上							
全国	R元標本数	①	25	8	6	6	5							
	R４標本数	②	29	10	8	4	7							
	② － ①		4	2	2	▲2	2							
北海道	R元標本数	①	2	1	1									
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲2	▲1	▲1									
東北	R元標本数	①	4	1	1	1	1							
	R４標本数	②	3	1	1	0	1							
	② － ①		▲1			▲1								
北陸	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	0											
	② － ①													
関東・東山	R元標本数	①	7	2	2	1	2							
	R４標本数	②	10	3	3	2	2							
	② － ①		3	1	1	1								
東海	R元標本数	①	4	1	1	1	1							
	R４標本数	②	7	2	2	1	2							
	② － ①		3	1	1		1							
近畿	R元標本数	①	1	1										
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲1	▲1										
中国	R元標本数	①	2	1		1								
	R４標本数	②	1	1										
	② － ①		▲1			▲1								
四国	R元標本数	①	1			1								
	R４標本数	②	1	1										
	② － ①			1		▲1								
九州	R元標本数	①	4	1	1	1	1							
	R４標本数	②	7	2	2	1	2							
	② － ①		3	1	1		1							
沖縄	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	0											
	② － ①													
関東農政局	R元標本数	①	7	2	2	1	2							
	R４標本数	②	11	3	4	2	2							
	② － ①		4	1	2	1								
東海農政局	R元標本数	①	4	1	1	1	1							
	R４標本数	②	6	2	1	1	2							
	② － ①		2	1			1							
中国四国農政局	R元標本数	①	3	1	0	2	0							
	R４標本数	②	2	2	0	0	0							
	② － ①		▲1	1		▲2								

2　営農類型別経営統計（法人経営）（つづき）

営農類型	規模指標			計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数			計	50頭未満	50～100	100～200	200頭以上							
		全国	R元標本数 ①	31	8	7	7	9							
			R４標本数 ②	26	3	1	4	18							
			② － ①	▲5	▲5	▲6	▲3	9							
		北海道	R元標本数 ①	11	1	2	3	5							
			R４標本数 ②	15	1		2	12							
			② － ①	4		▲2	▲1	7							
		東北	R元標本数 ①	4	1	1	1	1							
			R４標本数 ②	1				1							
			② － ①	▲3	▲1	▲1	▲1								
		北陸	R元標本数 ①	1	1										
			R４標本数 ②	0											
			② － ①	▲1	▲1										
		関東・東山	R元標本数 ①	5	1	1	2	1							
			R４標本数 ②	4	1		1	2							
			② － ①	▲1		▲1	▲1	1							
		東海	R元標本数 ①	2	1			1							
			R４標本数 ②	1				1							
			② － ①	▲1	▲1										
		近畿	R元標本数 ①	2	1	1									
			R４標本数 ②	0											
			② － ①	▲2	▲1	▲1									
		中国	R元標本数 ①	2	1	1									
			R４標本数 ②	1				1							
			② － ①	▲1	▲1	▲1		1							
		四国	R元標本数 ①	0											
			R４標本数 ②	0											
			② － ①												
		九州	R元標本数 ①	4	1	1	1	1							
			R４標本数 ②	4	1	1	1	1							
			② － ①												
		沖縄	R元標本数 ①	0											
			R４標本数 ②	0											
			② － ①												
		関東農政局	R元標本数 ①	5	1	1	2	1							
			R４標本数 ②	4	1	0	1	2							
			② － ①	▲1		▲1	▲1	1							
		東海農政局	R元標本数 ①	2	1			1							
			R４標本数 ②	1				1							
			② － ①	▲1	▲1										
		中国四国農政局	R元標本数 ①	2	1	1	0	0							
			R４標本数 ②	1	0	0	0	1							
			② － ①	▲1	▲1	▲1		1							

					計	50頭未満	50～100	100頭以上								
肉用牛経営	繁殖牛	月平均繁殖めす牛飼養頭数	全国	R元標本数 ①	26	9	7	10								
				R４標本数 ②	23	3	5	15								
				② － ①	▲3	▲6	▲2	5								
			北海道	R元標本数 ①	7	2	2	3								
				R４標本数 ②	7	1	2	4								
				② － ①		▲1		1								
			東北	R元標本数 ①	4	2	1	1								
				R４標本数 ②	2	1	0	1								
				② － ①	▲2	▲1	▲1									
			北陸	R元標本数 ①	0											
				R４標本数 ②	0											
				② － ①												
			関東・東山	R元標本数 ①	2	1		1								
				R４標本数 ②	0											
				② － ①	▲2	▲1		▲1								
			東海	R元標本数 ①	1			1								
				R４標本数 ②	1	0	0	1								
				② － ①												
			近畿	R元標本数 ①	0											
				R４標本数 ②	0											
				② － ①												
			中国	R元標本数 ①	2	1	1									
				R４標本数 ②	2	0	1	1								
				② － ①		▲1		1								
			四国	R元標本数 ①	0											
				R４標本数 ②	0											
				② － ①												
			九州	R元標本数 ①	7	2	2	3								
				R４標本数 ②	9	1	2	6								
				② － ①	2	▲1		3								
			沖縄	R元標本数 ①	3	1	1	1								
				R４標本数 ②	2			2								
				② － ①	▲1	▲1	▲1	1								
			関東農政局	R元標本数 ①	2	1		1								
				R４標本数 ②	0											
				② － ①	▲2	▲1		▲1								
			東海農政局	R元標本数 ①	1			1								
				R４標本数 ②	1			1								
				② － ①												
			中国四国農政局	R元標本数 ①	2	1	1	0								
				R４標本数 ②	2	0	1	1								
				② － ①		▲1		1								

肥育牛

月平均肥育牛飼養頭数

			計	200頭未満	200～500	500～1000	1000～2000	2000頭以上						
全国	R元標本数	①	45	13	13	8	6	5						
	R４標本数	②	15	6	1	1	2	5						
	② － ①		▲30	▲7	▲12	▲7	▲4							
北海道	R元標本数	①	9	2	2	1	2	2						
	R４標本数	②	3	1	0	0	0	2						
	② － ①		▲6	▲1	▲2	▲1	▲2							
東北	R元標本数	①	6	2	1	1	1	1						
	R４標本数	②	2	1				1						
	② － ①		▲4	▲1	▲1	▲1	▲1							
北陸	R元標本数	①	2	1	1									
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲2	▲1	▲1									
関東・東山	R元標本数	①	7	2	2	1	1	1						
	R４標本数	②	3	1			1	1						
	② － ①		▲4	▲1	▲2	▲1								
東海	R元標本数	①	5	2	2	1								
	R４標本数	②	1	1										
	② － ①		▲4	▲1	▲2	▲1								
近畿	R元標本数	①	2	1	1									
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲2	▲1	▲1									
中国	R元標本数	①	4	1	1	1	1							
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲4	▲1	▲1	▲1	▲1							
四国	R元標本数	①	3	1	1	1								
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲3	▲1	▲1	▲1								
九州	R元標本数	①	7	1	2	2	1	1						
	R４標本数	②	6	2	1	1	1	1						
	② － ①		▲1	1	▲1	▲1								
沖縄	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	0											
	② － ①													
関東農政局	R元標本数	①	7	2	2	1	1	1						
	R４標本数	②	3	1			1	1						
	② － ①		▲4	▲1	▲2	▲1								
東海農政局	R元標本数	①	5	2	2	1								
	R４標本数	②	1	1										
	② － ①		▲4	▲1	▲2	▲1								
中国四国農政局	R元標本数	①	7	2	2	2	1	0						
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0						
	② － ①		▲7	▲2	▲2	▲2	▲1							

養豚経営	月平均豚飼養頭数			計	1000頭未満	1000～2000	2000～1万	1万頭以上							
		全国	R元標本数 ①	64	12	17	23	12							
			R４標本数 ②	45	1	1	18	25							
			② － ①	▲19	▲11	▲16	▲5	13							
		北海道	R元標本数 ①	5	1	1	2	1							
			R４標本数 ②	5			2	3							
			② － ①		▲1	▲1		2							
		東北	R元標本数 ①	11	2	2	4	3							
			R４標本数 ②	8			3	5							
			② － ①	▲3	▲2	▲2	▲1	2							
		北陸	R元標本数 ①	2	1	1									
			R４標本数 ②	0											
			② － ①	▲2	▲1	▲1									
		関東・東山	R元標本数 ①	17	3	5	6	3							
			R４標本数 ②	13	1	1	5	6							
			② － ①	▲4	▲2	▲4	▲1	3							
		東海	R元標本数 ①	5	1	2	2								
			R４標本数 ②	3			2	1							
			② － ①	▲2	▲1	▲2		1							
		近畿	R元標本数 ①	0											
			R４標本数 ②	0											
			② － ①												
		中国	R元標本数 ①	2			1	1							
			R４標本数 ②	1				1							
			② － ①	▲1			▲1								
		四国	R元標本数 ①	2		1	1								
			R４標本数 ②	2			1	1							
			② － ①			▲1		1							
		九州	R元標本数 ①	19	3	5	7	4							
			R４標本数 ②	13			5	8							
			② － ①	▲6	▲3	▲5	▲2	4							
		沖縄	R元標本数 ①	1	1										
			R４標本数 ②	0											
			② － ①	▲1	▲1										
		関東農政局	R元標本数 ①	19	3	6	7	3							
			R４標本数 ②	14	1	1	6	6							
			② － ①	▲5	▲2	▲5	▲1	3							
		東海農政局	R元標本数 ①	3	1	1	1								
			R４標本数 ②	2			1	1							
			② － ①	▲1	▲1	▲1		1							
		中国四国農政局	R元標本数 ①	4	0	1	2	1							
			R４標本数 ②	3	0	0	1	2							
			② － ①	▲1		▲1	▲1	1							

採卵養鶏経営

月平均採卵鶏飼養羽数

			計	3万羽未満	3万～5万	5万～10万	10万～20万	20万羽以上						
全国	R元標本数	①	55	14	8	7	10	16						
	R４標本数	②	58	2	1	3	3	49						
	② － ①		3	▲12	▲7	▲4	▲7	33						
北海道	R元標本数	①	2				1	1						
	R４標本数	②	1					1						
	② － ①		▲1				▲1							
東北	R元標本数	①	5	2			1	2						
	R４標本数	②	6					6						
	② － ①		1	▲2			▲1	4						
北陸	R元標本数	①	5	1	1		1	2						
	R４標本数	②	4					4						
	② － ①		▲1	▲1	▲1		▲1	2						
関東・東山	R元標本数	①	14	4	2	2	2	4						
	R４標本数	②	18	1		1	1	15						
	② － ①		4	▲3	▲2	▲1	▲1	11						
東海	R元標本数	①	7	2	1	1	1	2						
	R４標本数	②	7			1	1	5						
	② － ①			▲2	▲1			3						
近畿	R元標本数	①	1	1										
	R４標本数	②	2					2						
	② － ①		1	▲1				2						
中国	R元標本数	①	7	1	1	1	1	3						
	R４標本数	②	7					7						
	② － ①			▲1	▲1	▲1	▲1	4						
四国	R元標本数	①	4	1	1	1	1							
	R４標本数	②	3					3						
	② － ①		▲1	▲1	▲1	▲1	▲1	3						
九州	R元標本数	①	10	2	2	2	2	2						
	R４標本数	②	10	1	1	1	1	6						
	② － ①			▲1	▲1	▲1	▲1	4						
沖縄	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	0											
	② － ①													
関東農政局	R元標本数	①	14	4	2	2	2	4						
	R４標本数	②	19	1		1	1	16						
	② － ①		5	▲3	▲2	▲1	▲1	12						
東海農政局	R元標本数	①	7	2	1	1	1	2						
	R４標本数	②	6			1	1	4						
	② － ①		▲1	▲2	▲1			2						
中国四国農政局	R元標本数	①	11	2	2	2	2	3						
	R４標本数	②	10	0	0	0	0	10						
	② － ①		▲1	▲2	▲2	▲2	▲2	7						

ブロイラー養鶏経営

ブロイラー出荷羽数

			計	20万羽未満	20万～30万	30万～50万	50万～100万	100万羽以上						
全国	R元標本数	①	34	8	7	6	5	8						
	R４標本数	②	16	1	0	1	5	9						
	② － ①		▲18	▲7	▲7	▲5		1						
北海道	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	1					1						
	② － ①		1					1						
東北	R元標本数	①	10	1	2	2	2	3						
	R４標本数	②	5				2	3						
	② － ①		▲5	▲1	▲2	▲2								
北陸	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	0											
	② － ①													
関東・東山	R元標本数	①	2	1	1									
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲2	▲1	▲1									
東海	R元標本数	①	2	1				1						
	R４標本数	②	1					1						
	② － ①		▲1	▲1										
近畿	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	0											
	② － ①													
中国	R元標本数	①	2				1	1						
	R４標本数	②	1					1						
	② － ①		▲1				▲1							
四国	R元標本数	①	1	1										
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲1	▲1										
九州	R元標本数	①	17	4	4	4	2	3						
	R４標本数	②	8	1		1	3	3						
	② － ①		▲9	▲3	▲4	▲3	1							
沖縄	R元標本数	①	0											
	R４標本数	②	0											
	② － ①													
関東農政局	R元標本数	①	2	1	1									
	R４標本数	②	0											
	② － ①		▲2	▲1	▲1									
東海農政局	R元標本数	①	2	1				1						
	R４標本数	②	1					1						
	② － ①		▲1	▲1										
中国四国農政局	R元標本数	①	3	1	0	0	1	1						
	R４標本数	②	1	0	0	0	0	1						
	② － ①		▲2	▲1			▲1							

その他経営	農産物販売収入＋農作業受託収入			計	1000万円未満	1000～3000	3000～5000	5000～1億	1億円以上							
		全国	R元標本数 ①	16	4	2	2	3	5							
			R４標本数 ②	25	5	5	5	5	5							
			② － ①	9	1	3	3	2								
		北海道	R元標本数 ①	3			1	1	1							
			R４標本数 ②	8	1	2	2	2	1							
			② － ①	5	1	2	1	1								
		東北	R元標本数 ①	2			1		1							
			R４標本数 ②	2	1	0	0	0	1							
			② － ①		1		▲1									
		北陸	R元標本数 ①	2	1				1							
			R４標本数 ②	0												
			② － ①	▲2	▲1				▲1							
		関東・東山	R元標本数 ①	3				2	1							
			R４標本数 ②	10	2	2	2	2	2							
			② － ①	7	2	2	2		1							
		東海	R元標本数 ①	1		1										
			R４標本数 ②	0												
			② － ①	▲1		▲1										
		近畿	R元標本数 ①	1	1											
			R４標本数 ②	0												
			② － ①	▲1	▲1											
		中国	R元標本数 ①	1		1										
			R４標本数 ②	0												
			② － ①	▲1		▲1										
		四国	R元標本数 ①	1	1											
			R４標本数 ②	0												
			② － ①	▲1	▲1											
		九州	R元標本数 ①	2	1				1							
			R４標本数 ②	5	1	1	1	1	1							
			② － ①	3		1	1	1								
		沖縄	R元標本数 ①	0												
			R４標本数 ②	0												
			② － ①													
		関東農政局	R元標本数 ①	3				2	1							
			R４標本数 ②	10	2	2	2	2	2							
			② － ①	7	2	2	2		1							
		東海農政局	R元標本数 ①	1		1										
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0							
			② － ①	▲1		▲1										
		中国四国農政局	R元標本数 ①	2	1	1	0	0	0							
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0							
			② － ①	▲2	▲1	▲1										

令和４年体系標本数と現行の比較（全体の推移）

３　農畜産物生産費統計（個別経営）

品目	規模指標			計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
米	水稲作付面積			計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0ha以上	
		全国	R元標本数 ①	810	140	169	219	67	72	39	41	37	19	7	
			R４標本数 ②	818	111	153	189	77	95	44	48	37	26	38	
			② － ①	8	▲29	▲16	▲30	10	23	5	7		7	31	
		北海道	R元標本数 ①	91	0	1	5	8	26	20	18	7	5	1	
			R４標本数 ②	105	0	1	2	7	24	17	25	16	8	5	
			② － ①	14			▲3	▲1	▲2	▲3	7	9	3	4	
		東北	R元標本数 ①	147	9	24	54	14	15	6	11	10	3	1	
			R４標本数 ②	153	10	20	44	22	23	9	8	6	4	7	
			② － ①	6	1	▲4	▲10	8	8	3	▲3	▲4	1	6	
		関東・東山	R元標本数 ①	101	18	20	34	8	3	4	2	8	1	3	
			R４標本数 ②	140	20	26	39	13	14	5	5	5	4	9	
			② － ①	39	2	6	5	5	11	1	3	▲3	3	6	
		北陸	R元標本数 ①	85	5	13	32	10	8	3	3	6	5	0	
			R４標本数 ②	94	5	13	27	13	13	5	4	4	3	7	
			② － ①	9			▲5	3	5	2	1	▲2	▲2	7	
		東海	R元標本数 ①	65	17	18	13	2	2	3	3	2	3	2	
			R４標本数 ②	53	13	12	8	2	3	2	2	3	3	5	
			② － ①	▲12	▲4	▲6	▲5		1	▲1	▲1	1		3	
		近畿	R元標本数 ①	69	22	16	19	2	5	1	2	1	1	0	
			R４標本数 ②	48	12	15	10	3	3	1	1	1	1	1	
			② － ①	▲21	▲10	▲1	▲9	1	▲2		▲1			1	
		中国	R元標本数 ①	74	21	23	17	5	5	1	1	0	1	0	
			R４標本数 ②	55	13	18	13	3	3	1	1	1	1	1	
			② － ①	▲19	▲8	▲5	▲4	▲2	▲2			1		1	
		四国	R元標本数 ①	74	24	23	19	4	3	1	0	0	0	0	
			R４標本数 ②	47	13	16	11	3	2	1	0	0	1	0	
			② － ①	▲27	▲11	▲7	▲8	▲1	▲1				1		
		九州	R元標本数 ①	104	24	31	26	14	5	0	1	3	0	0	
			R４標本数 ②	123	25	32	35	11	10	3	2	1	1	3	
			② － ①	19	1	1	9	▲3	5	3	1	▲2	1	3	
		沖縄	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			② － ①												
		関東農政局	R元標本数 ①	112	22	21	37	8	3	5	2	8	3	3	
			R４標本数 ②	150	23	28	40	13	15	5	5	6	5	10	
			② － ①	38	1	7	3	5	12		3	▲2	2	7	
		東海農政局	R元標本数 ①	54	13	17	10	2	2	2	3	2	1	2	
			R４標本数 ②	43	10	10	7	2	2	2	2	2	2	4	
			② － ①	▲11	▲3	▲7	▲3				▲1		1	2	
		中国四国農政局	R元標本数 ①	148	45	46	36	9	8	2	1	0	1	0	
			R４標本数 ②	102	26	34	24	6	5	2	1	1	2	1	
			② － ①	▲46	▲19	▲12	▲12	▲3	▲3			1	1	1	

小麦	小麦作付面積（田畑計）			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0ha以上				
		全国	R元標本数 ①	508	74	103	64	111	61	45	50				
			R４標本数 ②	396	34	65	46	89	63	35	64				
			② － ①	▲112	▲40	▲38	▲18	▲22	2	▲10	14				
		北海道	R元標本数 ①	110	0	3	5	29	27	25	21				
			R４標本数 ②	106	0	3	8	28	30	16	21				
			② － ①	▲4			3	▲1	3	▲9					
		東北	R元標本数 ①	30	9	10	3	5	2	0	1				
			R４標本数 ②	20	4	7	3	2	1	1	2				
			② － ①	▲10	▲5	▲3		▲3	▲1	1	1				
		関東・東山	R元標本数 ①	133	23	32	18	28	11	9	12				
			R４標本数 ②	118	16	24	14	25	13	8	18				
			② － ①	▲15	▲7	▲8	▲4	▲3	2	▲1	6				
		北陸	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0	0	0				
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0	0	0				
			② － ①												
		東海	R元標本数 ①	43	11	5	3	6	5	5	8				
			R４標本数 ②	34	4	3	2	3	5	4	13				
			② － ①	▲9	▲7	▲2	▲1	▲3		▲1	5				
		近畿	R元標本数 ①	30	8	6	4	8	2	1	1				
			R４標本数 ②	20	4	5	3	4	2	1	1				
			② － ①	▲10	▲4	▲1	▲1	▲4							
		中国	R元標本数 ①	20	4	7	4	3	1	1	0				
			R４標本数 ②	9	1	2	2	2	1	0	1				
			② － ①	▲11	▲3	▲5	▲2	▲1		▲1	1				
		四国	R元標本数 ①	26	6	6	6	6	2	0	0				
			R４標本数 ②	11	1	2	2	3	2	1	0				
			② － ①	▲15	▲5	▲4	▲4	▲3		1					
		九州	R元標本数 ①	116	13	34	21	26	11	4	7				
			R４標本数 ②	78	4	19	12	22	9	4	8				
			② － ①	▲38	▲9	▲15	▲9	▲4	▲2		1				
		沖縄	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0	0	0				
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0	0	0				
			② － ①												
		関東農政局	R元標本数 ①	134	23	32	18	29	11	9	12				
			R４標本数 ②	118	16	24	14	25	13	8	18				
			② － ①	▲16	▲7	▲8	▲4	▲4	2	▲1	6				
		東海農政局	R元標本数 ①	42	11	5	3	5	5	5	8				
			R４標本数 ②	34	4	3	2	3	5	4	13				
			② － ①	▲8	▲7	▲2	▲1	▲2		▲1	5				
		中国四国農政局	R元標本数 ①	46	10	13	10	9	3	1	0				
			R４標本数 ②	20	2	4	4	5	3	1	1				
			② － ①	▲26	▲8	▲9	▲6	▲4			1				

小麦作付面積（田）			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0ha以上				
	全国	R元標本数 ①	375	63	93	55	84	36	18	26				
		R４標本数 ②	207	18	42	27	48	25	15	32				
		② － ①	▲168	▲45	▲51	▲28	▲36	▲11	▲3	6				
	北海道	R元標本数 ①	24	0	2	2	9	5	2	4				
		R４標本数 ②	25	0	2	4	8	5	2	4				
		② － ①	1			2	▲1							
	東北	R元標本数 ①	29	8	10	3	5	2	0	1				
		R４標本数 ②	14	3	5	2	1	0	1	2				
		② － ①	▲15	▲5	▲5	▲1	▲4	▲2	1	1				
	関東・東山	R元標本数 ①	90	14	23	13	21	8	5	6				
		R４標本数 ②	51	6	11	6	12	5	4	7				
		② － ①	▲39	▲8	▲12	▲7	▲9	▲3	▲1	1				
	北陸	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0	0	0				
		R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0	0	0				
		② － ①												
	東海	R元標本数 ①	41	10	5	3	6	5	5	7				
		R４標本数 ②	24	2	2	1	2	4	3	10				
		② － ①	▲17	▲8	▲3	▲2	▲4	▲1	▲2	3				
	近畿	R元標本数 ①	30	8	6	4	8	2	1	1				
		R４標本数 ②	15	3	4	2	3	1	1	1				
		② － ①	▲15	▲5	▲2	▲2	▲5	▲1						
	中国	R元標本数 ①	20	4	7	4	3	1	1	0				
		R４標本数 ②	7	1	1	1	2	1	0	1				
		② － ①	▲13	▲3	▲6	▲3	▲1		▲1	1				
	四国	R元標本数 ①	26	6	6	6	6	2	0	0				
		R４標本数 ②	4	0	1	1	1	1	0	0				
		② － ①	▲22	▲6	▲5	▲5	▲5	▲1						
	九州	R元標本数 ①	115	13	34	20	26	11	4	7				
		R４標本数 ②	67	3	16	10	19	8	4	7				
		② － ①	▲48	▲10	▲18	▲10	▲7	▲3						
	沖縄	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0	0	0				
		R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0	0	0				
		② － ①												
	関東農政局	R元標本数 ①	91	14	23	13	22	8	5	6				
		R４標本数 ②	51	6	11	6	12	5	4	7				
		② － ①	▲40	▲8	▲12	▲7	▲10	▲3	▲1	1				
	東海農政局	R元標本数 ①	40	10	5	3	5	5	5	7				
		R４標本数 ②	24	2	2	1	2	4	3	10				
		② － ①	▲16	▲8	▲3	▲2	▲3	▲1	▲2	3				
	中国四国農政局	R元標本数 ①	46	10	13	10	9	3	1	0				
		R４標本数 ②	11	1	2	2	3	2	0	1				
		② － ①	▲35	▲9	▲11	▲8	▲6	▲1	▲1	1				

				計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0ha以上				
小麦作付面積（畑）	全国	R元標本数	①	133	11	10	9	27	25	27	24				
		R４標本数	②	189	16	23	19	41	38	20	32				
		② － ①		56	5	13	10	14	13	▲7	8				
	北海道	R元標本数	①	86	0	1	3	20	22	23	17				
		R４標本数	②	81	0	1	4	20	25	14	17				
		② － ①		▲5			1		3	▲9					
	東北	R元標本数	①	1	1	0	0	0	0	0	0				
		R４標本数	②	6	1	2	1	1	1	0	0				
		② － ①		5		2	1	1	1						
	関東・東山	R元標本数	①	43	9	9	5	7	3	4	6				
		R４標本数	②	67	10	13	8	13	8	4	11				
		② － ①		24	1	4	3	6	5		5				
	北陸	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0	0	0				
		R４標本数	②	0	0	0	0	0	0	0	0				
		② － ①													
	東海	R元標本数	①	2	1	0	0	0	0	0	1				
		R４標本数	②	10	2	1	1	1	1	1	3				
		② － ①		8	1	1	1	1	1	1	2				
	近畿	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0	0	0				
		R４標本数	②	5	1	1	1	1	1	0	0				
		② － ①		5	1	1	1	1	1						
	中国	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0	0	0				
		R４標本数	②	2	0	1	1	0	0	0	0				
		② － ①		2		1	1								
	四国	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0	0	0				
		R４標本数	②	7	1	1	1	2	1	1	0				
		② － ①		7	1	1	1	2	1	1					
	九州	R元標本数	①	1	0	0	1	0	0	0	0				
		R４標本数	②	11	1	3	2	3	1	0	1				
		② － ①		10	1	3	1	3	1		1				
	沖縄	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0	0	0				
		R４標本数	②	0	0	0	0	0	0	0	0				
		② － ①													
	関東農政局	R元標本数	①	43	9	9	5	7	3	4	6				
		R４標本数	②	67	10	13	8	13	8	4	11				
		② － ①		24	1	4	3	6	5		5				
	東海農政局	R元標本数	①	2	1	0	0	0	0	0	1				
		R４標本数	②	10	2	1	1	1	1	1	3				
		② － ①		8	1	1	1	1	1	1	2				
	中国四国農政局	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0	0	0				
		R４標本数	②	9	1	2	2	2	1	1	0				
		② － ①		9	1	2	2	2	1	1					

二条大麦	二条大麦作付面積			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上						
		全国	R元標本数 ①	69	6	18	15	19	11						
			R４標本数 ②	70	4	17	7	15	27						
			② － ①	1	▲2	▲1	▲8	▲4	16						
		北海道	R元標本数 ①	7	0	2	3	2	0						
			R４標本数 ②	5	0	1	1	2	1						
			② － ①	▲2		▲1	▲2		1						
		東北	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		関東・東山	R元標本数 ①	41	4	12	8	10	7						
			R４標本数 ②	31	2	8	3	6	12						
			② － ①	▲10	▲2	▲4	▲5	▲4	5						
		北陸	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		東海	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		近畿	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		中国	R元標本数 ①	2	0	0	0	1	1						
			R４標本数 ②	4	0	1	0	1	2						
			② － ①	2		1			1						
		四国	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		九州	R元標本数 ①	19	2	4	4	6	3						
			R４標本数 ②	30	2	7	3	6	12						
			② － ①	11		3	▲1		9						
		沖縄	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		関東農政局	R元標本数 ①	41	4	12	8	10	7						
			R４標本数 ②	31	2	8	3	6	12						
			② － ①	▲10	▲2	▲4	▲5	▲4	5						
		東海農政局	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		中国四国農政局	R元標本数 ①	2	0	0	0	1	1						
			R４標本数 ②	4	0	1	0	1	2						
			② － ①	2		1			1						

六条大麦

六条大麦作付面積

			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上						
全国	R元標本数	①	45	5	9	7	11	13						
	R４標本数	②	47	4	8	7	14	14						
	② － ①		2	▲1	▲1		3	1						
北海道	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0						
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0						
	② － ①													
東北	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0						
	R４標本数	②	2	0	0	0	1	1						
	② － ①		2				1	1						
関東・東山	R元標本数	①	24	3	5	3	6	7						
	R４標本数	②	21	2	3	3	6	7						
	② － ①		▲3	▲1	▲2									
北陸	R元標本数	①	19	2	4	4	4	5						
	R４標本数	②	18	2	4	3	5	4						
	② － ①		▲1			▲1	1	▲1						
東海	R元標本数	①	2	0	0	0	1	1						
	R４標本数	②	2	0	0	0	1	1						
	② － ①													
近畿	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0						
	R４標本数	②	4	0	1	1	1	1						
	② － ①		4		1	1	1	1						
中国	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0						
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0						
	② － ①													
四国	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0						
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0						
	② － ①													
九州	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0						
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0						
	② － ①													
沖縄	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0						
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0						
	② － ①													
関東農政局	R元標本数	①	24	3	5	3	6	7						
	R４標本数	②	21	2	3	3	6	7						
	② － ①		▲3	▲1	▲2									
東海農政局	R元標本数	①	2	0	0	0	1	1						
	R４標本数	②	2	0	0	0	1	1						
	② － ①													
中国四国農政局	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0						
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0						
	② － ①													

はだか麦	はだか麦作付面積			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上						
		全国	R元標本数 ①	40	5	10	9	7	9						
			R４標本数 ②	38	4	11	7	8	8						
			② － ①	▲2	▲1	1	▲2	1	▲1						
		北海道	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		東北	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		関東・東山	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	2	0	0	0	1	1						
			② － ①	2				1	1						
		北陸	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		東海	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		近畿	R元標本数 ①	1	0	1	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①	▲1		▲1									
		中国	R元標本数 ①	2	0	1	1	0	0						
			R４標本数 ②	2	0	1	0	0	1						
			② － ①				▲1		1						
		四国	R元標本数 ①	18	3	4	4	3	4						
			R４標本数 ②	21	3	7	4	4	3						
			② － ①	3		3		1	▲1						
		九州	R元標本数 ①	19	2	4	4	4	5						
			R４標本数 ②	13	1	3	3	3	3						
			② － ①	▲6	▲1	▲1	▲1	▲1	▲2						
		沖縄	R元標本数 ①	0											
			R４標本数 ②	0											
			② － ①												
		関東農政局	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	2	0	0	0	1	1						
			② － ①	2				1	1						
		東海農政局	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		中国四国農政局	R元標本数 ①	20	3	5	5	3	4						
			R４標本数 ②	23	3	8	4	4	4						
			② － ①	3		3	▲1	1							

そば	そば作付面積			計	1ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上						
		全国	R元標本数 ①	121	27	28	16	12	38						
			R４標本数 ②	112	16	16	9	17	54						
			② － ①	▲9	▲11	▲12	▲7	5	16						
		北海道	R元標本数 ①	53	1	8	10	8	26						
			R４標本数 ②	51	1	4	4	9	33						
			② － ①	▲2		▲4	▲6	1	7						
		東北	R元標本数 ①	30	11	12	3	1	3						
			R４標本数 ②	29	8	8	3	3	7						
			② － ①	▲1	▲3	▲4		2	4						
		関東・東山	R元標本数 ①	21	7	4	2	2	6						
			R４標本数 ②	21	4	2	2	3	10						
			② － ①		▲3	▲2		1	4						
		北陸	R元標本数 ①	9	3	2	1	1	2						
			R４標本数 ②	5	1	1	0	1	2						
			② － ①	▲4	▲2	▲1	▲1								
		東海	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		近畿	R元標本数 ①	1	1	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①	▲1	▲1										
		中国	R元標本数 ①	3	2	1	0	0	0						
			R４標本数 ②	1	1	0	0	0	0						
			② － ①	▲2	▲1	▲1									
		四国	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		九州	R元標本数 ①	4	2	1	0	0	1						
			R４標本数 ②	5	1	1	0	1	2						
			② － ①	1	▲1			1	1						
		沖縄	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		関東農政局	R元標本数 ①	21	7	4	2	2	6						
			R４標本数 ②	21	4	2	2	3	10						
			② － ①		▲3	▲2		1	4						
		東海農政局	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		中国四国農政局	R元標本数 ①	3	2	1	0	0	0						
			R４標本数 ②	1	1	0	0	0	0						
			② － ①	▲2	▲1	▲1									

3　農畜産物生産費統計（個別経営）（つづき）

品目	規模指標			計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
大豆	大豆作付面積（田畑計）			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上						
		全国	R元標本数 ①	421	128	95	54	77	67						
			R４標本数 ②	398	100	72	52	74	100						
			② － ①	▲23	▲28	▲23	▲2	▲3	33						
		北海道	R元標本数 ①	73	0	16	17	25	15						
			R４標本数 ②	76	1	9	15	24	27						
			② － ①	3	1	▲7	▲2	▲1	12						
		東北	R元標本数 ①	73	27	20	8	11	7						
			R４標本数 ②	67	19	17	9	9	13						
			② － ①	▲6	▲8	▲3	1	▲2	6						
		関東・東山	R元標本数 ①	66	20	14	7	11	14						
			R４標本数 ②	89	24	12	9	18	26						
			② － ①	23	4	▲2	2	7	12						
		北陸	R元標本数 ①	54	18	15	6	8	7						
			R４標本数 ②	44	12	10	5	7	10						
			② － ①	▲10	▲6	▲5	▲1	▲1	3						
		東海	R元標本数 ①	30	5	3	2	6	14						
			R４標本数 ②	20	3	1	1	2	13						
			② － ①	▲10	▲2	▲2	▲1	▲4	▲1						
		近畿	R元標本数 ①	30	14	5	3	4	4						
			R４標本数 ②	25	12	4	2	3	4						
			② － ①	▲5	▲2	▲1	▲1	▲1							
		中国	R元標本数 ①	27	22	3	1	1	0						
			R４標本数 ②	19	15	2	1	1	0						
			② － ①	▲8	▲7	▲1									
		四国	R元標本数 ①	3	2	1	0	0	0						
			R４標本数 ②	1	1	0	0	0	0						
			② － ①	▲2	▲1	▲1									
		九州	R元標本数 ①	65	20	18	10	11	6						
			R４標本数 ②	57	13	17	10	10	7						
			② － ①	▲8	▲7	▲1		▲1	1						
		沖縄	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		関東農政局	R元標本数 ①	66	20	14	7	11	14						
			R４標本数 ②	89	24	12	9	18	26						
			② － ①	23	4	▲2	2	7	12						
		東海農政局	R元標本数 ①	30	5	3	2	6	14						
			R４標本数 ②	20	3	1	1	2	13						
			② － ①	▲10	▲2	▲2	▲1	▲4	▲1						
		中国四国農政局	R元標本数 ①	30	24	4	1	1	0						
			R４標本数 ②	20	16	2	1	1	0						
			② － ①	▲10	▲8	▲2									

大豆作付面積（田）			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上						
	全国	R元標本数 ①	339	102	83	43	60	51						
		R４標本数 ②	229	56	45	31	42	55						
		② － ①	▲110	▲46	▲38	▲12	▲18	4						
	北海道	R元標本数 ①	34	0	8	7	12	7						
		R４標本数 ②	27	0	3	5	9	10						
		② － ①	▲7		▲5	▲2	▲3	3						
	東北	R元標本数 ①	66	20	20	8	11	7						
		R４標本数 ②	49	12	13	7	7	10						
		② － ①	▲17	▲8	▲7	▲1	▲4	3						
	関東・東山	R元標本数 ①	40	8	11	6	8	7						
		R４標本数 ②	36	8	5	4	9	10						
		② － ①	▲4		▲6	▲2	1	3						
	北陸	R元標本数 ①	51	17	15	6	7	6						
		R４標本数 ②	31	8	7	3	5	8						
		② － ①	▲20	▲9	▲8	▲3	▲2	2						
	東海	R元標本数 ①	30	5	3	2	6	14						
		R４標本数 ②	14	2	1	1	1	9						
		② － ①	▲16	▲3	▲2	▲1	▲5	▲5						
	近畿	R元標本数 ①	30	14	5	3	4	4						
		R４標本数 ②	19	9	3	2	2	3						
		② － ①	▲11	▲5	▲2	▲1	▲2	▲1						
	中国	R元標本数 ①	22	17	3	1	1	0						
		R４標本数 ②	12	9	1	1	1	0						
		② － ①	▲10	▲8	▲2									
	四国	R元標本数 ①	3	2	1	0	0	0						
		R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
		② － ①	▲3	▲2	▲1									
	九州	R元標本数 ①	63	19	17	10	11	6						
		R４標本数 ②	41	8	12	8	8	5						
		② － ①	▲22	▲11	▲5	▲2	▲3	▲1						
	沖縄	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
		R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
		② － ①												
	関東農政局	R元標本数 ①	40	8	11	6	8	7						
		R４標本数 ②	36	8	5	4	9	10						
		② － ①	▲4		▲6	▲2	1	3						
	東海農政局	R元標本数 ①	29	5	3	2	6	13						
		R４標本数 ②	14	2	1	1	1	9						
		② － ①	▲15	▲3	▲2	▲1	▲5	▲4						
	中国四国農政局	R元標本数 ①	25	19	4	1	1	0						
		R４標本数 ②	12	9	1	1	1	0						
		② － ①	▲13	▲10	▲3									

大豆作付面積（畑）				計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上						
	全国	R元標本数	①	82	26	12	11	17	16						
		R４標本数	②	169	44	27	21	32	45						
		② － ①		87	18	15	10	15	29						
	北海道	R元標本数	①	39	0	8	10	13	8						
		R４標本数	②	49	1	6	10	15	17						
		② － ①		10	1	▲2		2	9						
	東北	R元標本数	①	7	7	0	0	0	0						
		R４標本数	②	18	7	4	2	2	3						
		② － ①		11		4	2	2	3						
	関東・東山	R元標本数	①	26	12	3	1	3	7						
		R４標本数	②	53	16	7	5	9	16						
		② － ①		27	4	4	4	6	9						
	北陸	R元標本数	①	3	1	0	0	1	1						
		R４標本数	②	13	4	3	2	2	2						
		② － ①		10	3	3	2	1	1						
	東海	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0						
		R４標本数	②	6	1	0	0	1	4						
		② － ①		6	1			1	4						
	近畿	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0						
		R４標本数	②	6	3	1	0	1	1						
		② － ①		6	3	1		1	1						
	中国	R元標本数	①	5	5	0	0	0	0						
		R４標本数	②	7	6	1	0	0	0						
		② － ①		2	1	1									
	四国	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0						
		R４標本数	②	1	1	0	0	0	0						
		② － ①		1	1										
	九州	R元標本数	①	2	1	1	0	0	0						
		R４標本数	②	16	5	5	2	2	2						
		② － ①		14	4	4	2	2	2						
	沖縄	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0						
		R４標本数	②	0	0	0	0	0	0						
		② － ①													
	関東農政局	R元標本数	①	26	12	3	1	3	7						
		R４標本数	②	53	16	7	5	9	16						
		② － ①		27	4	4	4	6	9						
	東海農政局	R元標本数	①	1	0	0	0	0	1						
		R４標本数	②	6	1	0	0	1	4						
		② － ①		5	1			1	3						
	中国四国農政局	R元標本数	①	5	5	0	0	0	0						
		R４標本数	②	8	7	1	0	0	0						
		② － ①		3	2	1									

原料用かんしょ作付面積			計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0ha以上								
	全国	R元標本数 ①	68	9	20	26	7	6								
		R４標本数 ②	63	7	12	30	7	7								
		② － ①	▲5	▲2	▲8	4		1								
原料用ばれいしょ作付面積			計	3.0ha未満	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0ha以上								
	全国	R元標本数 ①	75	6	8	27	23	11								
		R４標本数 ②	71	4	9	30	21	7								
		② － ①	▲4	▲2	1	3	▲2	▲4								
なたね作付面積			計	1.0ha未満	1.0～3.0	3.0ha以上										
	全国	R元標本数 ①	53	26	11	16										
		R４標本数 ②	45	4	9	32										
		② － ①	▲8	▲22	▲2	16										
	北海道	R元標本数 ①	14	0	3	11										
		R４標本数 ②	33	0	6	27										
		② － ①	19		3	16										
	東北	R元標本数 ①	19	7	7	5										
		R４標本数 ②	6	1	2	3										
		② － ①	▲13	▲6	▲5	▲2										
	関東・東山	R元標本数 ①	3	3	0	0										
		R４標本数 ②	1	1	0	0										
		② － ①	▲2	▲2												
	北陸	R元標本数 ①	1	1	0	0										
		R４標本数 ②	0	0	0	0										
		② － ①	▲1	▲1												
	東海	R元標本数 ①	2	2	0	0										
		R４標本数 ②	0	0	0	0										
		② － ①	▲2	▲2												
	近畿	R元標本数 ①	4	4	0	0										
		R４標本数 ②	1	1	0	0										
		② － ①	▲3	▲3												
	中国	R元標本数 ①	2	2	0	0										
		R４標本数 ②	1	0	0	1										
		② － ①	▲1	▲2		1										
	四国	R元標本数 ①	0	0	0	0										
		R４標本数 ②	0	0	0	0										
		② － ①														
	九州	R元標本数 ①	8	7	1	0										
		R４標本数 ②	3	1	1	1										
		② － ①	▲5	▲6		1										
	沖縄	R元標本数 ①	0	0	0	0										
		R４標本数 ②	0	0	0	0										
		② － ①														
	関東農政局	R元標本数 ①	3	3	0	0										
		R４標本数 ②	1	1	0	0										
		② － ①	▲2	▲2												
	東海農政局	R元標本数 ①	2	2	0	0										
		R４標本数 ②	0	0	0	0										
		② － ①	▲2	▲2												
	中国四国農政局	R元標本数 ①	2	2	0	0										
		R４標本数 ②	1	0	0	1										
		② － ①	▲1	▲2		1										

てんさい	てんさい作付面積			計	3.0ha未満	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0ha以上					
		全国	R元標本数 ①	70	5	7	29	17	7	5					
			R４標本数 ②	68	3	7	33	19	5	1					
			② － ①	▲2	▲2		4	2	▲2	▲4					
さとうきび	さとうきび作付面積			計	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上					
		全国	R元標本数 ①	110	8	17	47	14	19	5					
			R４標本数 ②	114	9	18	46	17	16	8					
			② － ①	4	1	1	▲1	3	▲3	3					
		九州	R元標本数 ①	46	3	7	20	6	8	2					
			R４標本数 ②	48	4	8	18	7	7	4					
			② － ①	2	1	1	▲2	1	▲1	2					
		沖縄	R元標本数 ①	64	5	10	27	8	11	3					
			R４標本数 ②	66	5	10	28	10	9	4					
			② － ①	2			1	2	▲2	1					

3　農畜産物生産費統計（個別経営）（つづき）

品目	規模指標			計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
牛乳	搾乳牛通年換算飼養頭数			計	20頭未満	20～30	30～50	50～100	100～200	200頭以上					
		全国	R元標本数 ①	422	43	40	98	174	47	20					
			R４標本数 ②	402	58	43	58	118	84	41					
			② － ①	▲20	15	3	▲40	▲56	37	21					
		北海道	R元標本数 ①	234	10	12	50	117	30	15					
			R４標本数 ②	239	10	10	33	96	65	25					
			② － ①	5		▲2	▲17	▲21	35	10					
		東北	R元標本数 ①	42	13	7	10	10	2	0					
			R４標本数 ②	39	18	9	5	4	2	1					
			② － ①	▲3	5	2	▲5	▲6		1					
		関東・東山	R元標本数 ①	58	7	9	17	17	5	3					
			R４標本数 ②	51	12	11	8	7	6	7					
			② － ①	▲7	5	2	▲9	▲10	1	4					
		北陸	R元標本数 ①	5	1	1	1	2	0	0					
			R４標本数 ②	4	1	1	1	1	0	0					
			② － ①	▲1				▲1							
		東海	R元標本数 ①	17	1	2	4	6	3	1					
			R４標本数 ②	13	2	2	2	2	3	2					
			② － ①	▲4	1		▲2	▲4		1					
		近畿	R元標本数 ①	9	2	1	2	3	1	0					
			R４標本数 ②	8	2	2	1	1	1	1					
			② － ①	▲1		1	▲1	▲2		1					
		中国	R元標本数 ①	14	3	2	3	4	2	0					
			R４標本数 ②	11	3	2	2	1	2	1					
			② － ①	▲3			▲1	▲3		1					
		四国	R元標本数 ①	6	1	1	2	2	0	0					
			R４標本数 ②	5	1	1	1	1	0	1					
			② － ①	▲1			▲1	▲1		1					
		九州	R元標本数 ①	37	5	5	9	13	4	1					
			R４標本数 ②	32	9	5	5	5	5	3					
			② － ①	▲5	4		▲4	▲8	1	2					
		沖縄	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0	0					
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0	0					
			② － ①												
		関東農政局	R元標本数 ①	63	8	10	18	18	6	3					
			R４標本数 ②	57	13	12	9	8	7	8					
			② － ①	▲6	5	2	▲9	▲10	1	5					
		東海農政局	R元標本数 ①	12	0	1	3	5	2	1					
			R４標本数 ②	7	1	1	1	1	2	1					
			② － ①	▲5	1		▲2	▲4							
		中国四国農政局	R元標本数 ①	20	4	3	5	6	2	0					
			R４標本数 ②	16	4	3	3	2	2	2					
			② － ①	▲4			▲2	▲4		2					

去勢若齢肥育牛

月平均去勢若齢肥育牛飼養頭数

			計	10頭未満	10～20	20～30	30～50	50～100	100～200	200～500	500頭以上			
全国	R元標本数	①	299	54	43	35	41	52	48	21	5			
	R４標本数	②	221	34	26	21	25	34	31	39	11			
	② － ①		▲78	▲20	▲17	▲14	▲16	▲18	▲17	▲18	▲6			
北海道	R元標本数	①	16	3	4	2	2	2	2	1	0			
	R４標本数	②	10	3	2	1	1	1	1	1	0			
	② － ①		▲6		▲2	▲1	▲1	▲1	▲1					
東北	R元標本数	①	82	16	14	12	14	14	9	2	1			
	R４標本数	②	100	16	16	13	16	17	10	8	4			
	② － ①		18		2	1	2	3	1	▲6	▲3			
関東・東山	R元標本数	①	42	5	6	6	6	9	6	3	1			
	R４標本数	②	16	1	1	1	1	3	3	5	1			
	② － ①		▲26	▲4	▲5	▲5	▲5	▲6	▲3	▲2				
北陸	R元標本数	①	5	1	1	1	1	1	0	0	0			
	R４標本数	②	5	1	1	0	1	1	1	0	0			
	② － ①					▲1			1					
東海	R元標本数	①	19	1	2	3	2	4	5	2	0			
	R４標本数	②	10	0	0	0	0	2	3	4	1			
	② － ①		▲9	▲1	▲2	▲3	▲2	▲2	▲2	▲2	▲1			
近畿	R元標本数	①	11	2	2	1	1	2	2	1	0			
	R４標本数	②	10	2	1	1	1	1	1	2	1			
	② － ①		▲1		▲1			▲1	▲1	▲1	▲1			
中国	R元標本数	①	12	3	1	2	2	2	2	0	0			
	R４標本数	②	10	4	1	1	1	1	1	1	0			
	② － ①		▲2	1		▲1	▲1	▲1	▲1	▲1				
四国	R元標本数	①	10	1	2	0	2	2	2	1	0			
	R４標本数	②	10	2	2	2	1	1	1	1	0			
	② － ①			1		2	▲1	▲1	▲1					
九州	R元標本数	①	98	19	10	8	11	16	20	11	3			
	R４標本数	②	50	5	2	2	3	7	10	17	4			
	② － ①		▲48	▲14	▲8	▲6	▲8	▲9	▲10	▲6	▲1			
沖縄	R元標本数	①	4	3	1									
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	② － ①		▲4	▲3	▲1									
関東農政局	R元標本数	①	44	5	6	7	6	10	6	3	1			
	R４標本数	②	18	1	1	1	1	3	4	6	1			
	② － ①		▲26	▲4	▲5	▲6	▲5	▲7	▲2	▲3				
東海農政局	R元標本数	①	17	1	2	2	2	3	5	2	0			
	R４標本数	②	8	0	0	0	0	2	2	3	1			
	② － ①		▲9	▲1	▲2	▲2	▲2	▲1	▲3	▲1	▲1			
中国四国農政局	R元標本数	①	22	4	3	2	4	4	4	1	0			
	R４標本数	②	20	6	3	3	2	2	2	2	0			
	② － ①		▲2	2		1	▲2	▲2	▲2	▲1				

乳用雄肥育牛

月平均乳用雄肥育牛飼養頭数

			計	10頭未満	10～20	20～30	30～50	50～100	100～200	200～500	500頭以上			
全国	R元標本数	①	84	9	7	6	9	14	16	16	7			
	R４標本数	②	74	7	7	7	7	7	8	16	15			
	② － ①		▲10	▲2		1	▲2	▲7	▲8		▲8			
北海道	R元標本数	①	17	0	0	1	1	4	2	4	5			
	R４標本数	②	27	1	2	2	3	2	2	4	11			
	② － ①		10	1	2	1	2	▲2			▲6			
東北	R元標本数	①	11	1	2	1	1	3	2	1	0			
	R４標本数	②	7	2	1	1	1	1	1	0	0			
	② － ①		▲4	1	▲1			▲2	▲1	1				
関東・東山	R元標本数	①	5	0	0	0	1	1	2	1	0			
	R４標本数	②	11	1	1	1	1	1	1	4	1			
	② － ①		6	1	1	1			▲1	▲3	▲1			
北陸	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	② － ①													
東海	R元標本数	①	15	2	1	1	2	2	3	3	1			
	R４標本数	②	5	1	0	0	0	1	1	1	1			
	② － ①		▲10	▲1	▲1	▲1	▲2	▲1	▲2	2				
近畿	R元標本数	①	3	1	1	0	1	0	0	0	0			
	R４標本数	②	3	0	0	1	1	0	0	1	0			
	② － ①			▲1	▲1	1				▲1				
中国	R元標本数	①	4	1	1	1	0	1	0	0	0			
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	② － ①		▲4	▲1	▲1	▲1		▲1						
四国	R元標本数	①	4	0	0	0	2	0	1	1	0			
	R４標本数	②	4	0	1	0	0	0	1	2	0			
	② － ①				1		▲2			▲1				
九州	R元標本数	①	25	4	2	2	1	3	6	6	1			
	R４標本数	②	14	2	0	1	1	2	2	4	2			
	② － ①		▲11	▲2	▲2	▲1		▲1	▲4	2	▲1			
沖縄	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	R４標本数	②	3	0	2	1	0	0	0	0	0			
	② － ①		3		2	1								
関東農政局	R元標本数	①	17	2	1	1	2	3	4	3	1			
	R４標本数	②	11	1	1	1	1	1	1	4	1			
	② － ①		▲6	▲1			▲1	▲2	▲3	▲1				
東海農政局	R元標本数	①	3	0	0	0	1	0	1	1	0			
	R４標本数	②	5	1	0	0	0	1	1	1	1			
	② － ①		2	1			▲1	1			▲1			
中国四国農政局	R元標本数	①	8	1	1	1	2	1	1	1	0			
	R４標本数	②	4	0	1	0	0	0	1	2	0			
	② － ①		▲4	▲1		▲1	▲2	▲1		▲1				

交雑種肥育牛

月平均交雑種肥育牛飼養頭数

			計	10頭未満	10～20	20～30	30～50	50～100	100～200	200～500	500頭以上			
全国	R元標本数	①	96	6	6	8	11	19	25	15	6			
	R４標本数	②	63	7	7	7	7	7	7	11	10			
	② － ①		▲33	1	1	▲1	▲4	▲12	▲18	4	▲4			
北海道	R元標本数	①	8	1	1	1	1	1	1	1	1			
	R４標本数	②	6	1	1	1	1	0	0	0	2			
	② － ①		▲2					▲1	▲1	1	▲1			
東北	R元標本数	①	12	2	1	1	2	2	2	1	1			
	R４標本数	②	8	1	1	1	1	1	1	1	1			
	② － ①		▲4	▲1			▲1	▲1	▲1					
関東・東山	R元標本数	①	27	1	2	2	2	6	8	4	2			
	R４標本数	②	16	1	2	2	2	2	2	3	2			
	② － ①		▲11					▲4	▲6	1				
北陸	R元標本数	①	3	0	0	0	1	1	1	0	0			
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	② － ①		▲3				▲1	▲1	▲1					
東海	R元標本数	①	15	0	1	1	1	3	5	3	1			
	R４標本数	②	8	0	1	0	1	1	1	3	1			
	② － ①		▲7			▲1		▲2	▲4					
近畿	R元標本数	①	2	0	0	0	0	1	1	0	0			
	R４標本数	②	4	1	0	0	1	0	1	0	1			
	② － ①		2	1			1	▲1			▲1			
中国	R元標本数	①	3	0	0	0	1	1	1	0	0			
	R４標本数	②	4	1	0	2	0	1	0	0	0			
	② － ①		1	1		2	▲1		▲1					
四国	R元標本数	①	6	0	0	1	1	1	2	1	0			
	R４標本数	②	3	0	0	0	0	1	1	0	1			
	② － ①		▲3			▲1	▲1		▲1	1	▲1			
九州	R元標本数	①	20	2	1	2	2	3	4	5	1			
	R４標本数	②	14	2	2	1	1	1	1	4	2			
	② － ①		▲6		1	▲1	▲1	▲2	▲3	1	▲1			
沖縄	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	② － ①													
関東農政局	R元標本数	①	30	1	2	2	2	6	10	5	2			
	R４標本数	②	18	1	3	2	2	2	2	4	2			
	② － ①		▲12		1			▲4	▲8	1				
東海農政局	R元標本数	①	12	0	1	1	1	3	3	2	1			
	R４標本数	②	6	0	0	0	1	1	1	2	1			
	② － ①		▲6		▲1	▲1		▲2	▲2					
中国四国農政局	R元標本数	①	9	0	0	1	2	2	3	1	0			
	R４標本数	②	7	1	0	2	0	2	1	0	1			
	② － ①		▲2	1		1	▲2		▲2	1	▲1			

子牛	月平均繁殖用雌牛飼養頭数			計	2～5頭	5～10	10～20	20～50	50～100	100頭以上					
		全国	R元標本数 ①	188	31	37	39	54	21	6					
			R４標本数 ②	208	56	35	28	52	27	10					
			② － ①	20	25	▲2	▲11	▲2	6	4					
		北海道	R元標本数 ①	16		1	3	7	5						
			R４標本数 ②	17	1	1	2	6	5	2					
			② － ①	1	1		▲1	▲1		2					
		東北	R元標本数 ①	44	14	13	6	9	1	1					
			R４標本数 ②	51	20	11	7	9	3	1					
			② － ①	7	6	▲2	1		2						
		関東・東山	R元標本数 ①	9	2	1	1	4	1	0					
			R４標本数 ②	12	2	2	2	4	2	0					
			② － ①	3		1	1		1						
		北陸	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0	0					
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0	0					
			② － ①												
		東海	R元標本数 ①	3	0	0	1	1	1	0					
			R４標本数 ②	3	1	0	0	1	1	0					
			② － ①		1		▲1								
		近畿	R元標本数 ①	5	1	1	1	2	0	0					
			R４標本数 ②	6	2	1	1	1	1	0					
			② － ①	1	1			▲1	1						
		中国	R元標本数 ①	9	2	2	3	2	0	0					
			R４標本数 ②	10	4	2	1	2	1	0					
			② － ①	1	2		▲2		1						
		四国	R元標本数 ①	1	0	0	0	1	0	0					
			R４標本数 ②	1	0	0	0	1	0	0					
			② － ①												
		九州	R元標本数 ①	92	11	16	22	25	13	5					
			R４標本数 ②	99	24	17	13	25	13	7					
			② － ①	7	13	1	▲9			2					
		沖縄	R元標本数 ①	9	1	3	2	3	0	0					
			R４標本数 ②	9	2	1	2	3	1	0					
			② － ①		1	▲2			1						
		関東農政局	R元標本数 ①	9	2	1	1	4	1	0					
			R４標本数 ②	12	2	2	2	4	2	0					
			② － ①	3		1	1		1						
		東海農政局	R元標本数 ①	3	0	0	1	1	1	0					
			R４標本数 ②	3	1	0	0	1	1	0					
			② － ①		1		▲1								
		中国四国農政局	R元標本数 ①	10	2	2	3	3	0	0					
			R４標本数 ②	11	4	2	1	3	1	0					
			② － ①	1	2		▲2		1						

乳用雄育成牛	月平均乳用雄育成牛飼養頭数			計	５～20頭	20～50	50～100	100～200	200頭以上						
		全国	R元標本数 ①	53	15	13	9	7	9						
			R４標本数 ②	39	5	16	8	4	6						
			② － ①	▲14	▲10	3	▲1	▲3	▲3						
		北海道	R元標本数 ①	25	4	6	4	3	8						
			R４標本数 ②	24	1	9	5	3	6						
			② － ①	▲1	▲3	3	1		▲2						
		東北	R元標本数 ①	5	2	1	1	1	0						
			R４標本数 ②	4	1	2	1	0	0						
			② － ①	▲1	▲1	1		▲1							
		関東・東山	R元標本数 ①	5	2	1	1	1	0						
			R４標本数 ②	3	1	1	0	1	0						
			② － ①	▲2	▲1		▲1								
		北陸	R元標本数 ①	1	0	0	0	1	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①	▲1				▲1							
		東海	R元標本数 ①	4	2	0	1	1	0						
			R４標本数 ②	1	0	1	0	0	0						
			② － ①	▲3	▲2	1	▲1	▲1							
		近畿	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		中国	R元標本数 ①	2	1	1	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①	▲2	▲1	▲1									
		四国	R元標本数 ①	5	1	2	2	0	0						
			R４標本数 ②	1	0	1	0	0	0						
			② － ①	▲4	▲1	▲1	▲2								
		九州	R元標本数 ①	6	3	2	0	0	1						
			R４標本数 ②	6	2	2	2	0	0						
			② － ①		▲1		2		▲1						
		沖縄	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0						
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0						
			② － ①												
		関東農政局	R元標本数 ①	6	3	1	1	1	0						
			R４標本数 ②	3	1	1	0	1	0						
			② － ①	▲3	▲2		▲1								
		東海農政局	R元標本数 ①	3	1	0	1	1	0						
			R４標本数 ②	1	0	1	0	0	0						
			② － ①	▲2	▲1	1	▲1	▲1							
		中国四国農政局	R元標本数 ①	7	2	3	2	0	0						
			R４標本数 ②	1	0	1	0	0	0						
			② － ①	▲6	▲2	▲2	▲2								

交雑種育成牛

月平均交雑種育成牛飼養頭数

			計	5～20頭	20～50	50～100	100～200	200頭以上						
全国	R元標本数	①	60	16	15	13	7	9						
	R４標本数	②	47	8	12	11	5	11						
	② － ①		▲13	▲8	▲3	▲2	▲2	2						
北海道	R元標本数	①	14	2	2	3	2	5						
	R４標本数	②	18	2	4	3	2	7						
	② － ①		4		2			2						
東北	R元標本数	①	7	2	2	1	1	1						
	R４標本数	②	4	1	1	1	0	1						
	② － ①		▲3	▲1	▲1		▲1							
関東・東山	R元標本数	①	13	4	3	4	1	1						
	R４標本数	②	9	2	2	3	1	1						
	② － ①		▲4	▲2	▲1	▲1								
北陸	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0						
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0						
	② － ①													
東海	R元標本数	①	5	2	1	1	1	0						
	R４標本数	②	3	1	2	0	0	0						
	② － ①		▲2	▲1	1	▲1	▲1							
近畿	R元標本数	①	1	1	0	0	0	0						
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0						
	② － ①		▲1	▲1										
中国	R元標本数	①	2	1	0	1	0	0						
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0						
	② － ①		▲2	▲1		▲1								
四国	R元標本数	①	2	0	1	1	0	0						
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0						
	② － ①		▲2		▲1	▲1								
九州	R元標本数	①	16	4	6	2	2	2						
	R４標本数	②	13	2	3	4	2	2						
	② － ①		▲3	▲2	▲3	2								
沖縄	R元標本数	①	0	0	0	0	0	0						
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0						
	② － ①													
関東農政局	R元標本数	①	14	5	3	4	1	1						
	R４標本数	②	10	2	3	3	1	1						
	② － ①		▲4	▲3		▲1								
東海農政局	R元標本数	①	4	1	1	1	1	0						
	R４標本数	②	2	1	1	0	0	0						
	② － ①		▲2			▲1	▲1							
中国四国農政局	R元標本数	①	4	1	1	2	0	0						
	R４標本数	②	0	0	0	0	0	0						
	② － ①		▲4	▲1	▲1	▲2								

肥育豚	月平均肥育豚飼養頭数			計	100頭未満	100～300	300～500	500～1000	1000～2000	2000頭以上					
		全国	R元標本数 ①	100	9	10	10	23	26	22					
			R４標本数 ②	91	7	7	7	15	21	34					
			② － ①	▲9	▲2	▲3	▲3	▲8	▲5	12					
		北海道	R元標本数 ①	3	0	0	0	1	0	2					
			R４標本数 ②	5	1	0	0	1	1	2					
			② － ①	2	1				1						
		東北	R元標本数 ①	9	1	2	1	2	2	1					
			R４標本数 ②	10	1	1	1	2	2	3					
			② － ①	1		▲1				2					
		関東・東山	R元標本数 ①	38	2	4	3	9	10	10					
			R４標本数 ②	36	1	2	2	5	10	16					
			② － ①	▲2	▲1	▲2	▲1	▲4		6					
		北陸	R元標本数 ①	3	0	0	0	1	1	1					
			R４標本数 ②	3	0	1	1	1	0	0					
			② － ①			1	1		▲1	▲1					
		東海	R元標本数 ①	13	1	1	1	2	5	3					
			R４標本数 ②	10	1	1	1	1	3	3					
			② － ①	▲3				▲1	▲2						
		近畿	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0	0					
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0	0					
			② － ①												
		中国	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0	0					
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0	0					
			② － ①												
		四国	R元標本数 ①	1	0	0	0	0	0	1					
			R４標本数 ②	4	1	0	0	1	1	1					
			② － ①	3	1			1	1						
		九州	R元標本数 ①	31	4	3	5	7	8	4					
			R４標本数 ②	22	1	2	2	4	4	9					
			② － ①	▲9	▲3	▲1	▲3	▲3	▲4	5					
		沖縄	R元標本数 ①	2	1			1							
			R４標本数 ②	1	1	0	0	0	0	0					
			② － ①	▲1				▲1							
		関東農政局	R元標本数 ①	42	3	5	3	10	10	11					
			R４標本数 ②	41	2	3	3	5	11	17					
			② － ①	▲1	▲1	▲2		▲5	1	6					
		東海農政局	R元標本数 ①	9	0	0	1	1	5	2					
			R４標本数 ②	5	0	0	0	1	2	2					
			② － ①	▲4			▲1		▲3						
		中国四国農政局	R元標本数 ①	1	0	0	0	0	0	1					
			R４標本数 ②	4	1	0	0	1	1	1					
			② － ①	3	1			1	1						

4　農畜産物生産費統計（組織法人経営）

品目	規模指標			計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
米	水稲作付面積			計	5.0ha未満	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0～100.0	100.0ha以上			
		全国	R元標本数 ①	125	11	23	30	18	19	12	5	7			
			R４標本数 ②	176	47	36	11	19	15	12	23	13			
			② － ①	51	36	13	▲19	1	▲4		18	6			
		北海道	R元標本数 ①	3	0	0	1	0	0	1	0	1			
			R４標本数 ②	6	1	1	0	1	0	0	2	1			
			② － ①	3	1	1	▲1	1		▲1	2				
		東北	R元標本数 ①	22	1	7	4	1	5	2	0	2			
			R４標本数 ②	31	6	5	2	3	3	3	6	3			
			② － ①	9	5	▲2	▲2	2	▲2	1	6	1			
		関東・東山	R元標本数 ①	13	1	1	4	2	1	3	0	1			
			R４標本数 ②	19	7	4	1	2	1	1	2	1			
			② － ①	6	6	3	▲3			▲2	2				
		北陸	R元標本数 ①	34	2	6	4	6	7	4	4	1			
			R４標本数 ②	35	3	5	2	5	6	4	7	3			
			② － ①	1	1	▲1	▲2	▲1	▲1		3	2			
		東海	R元標本数 ①	9	2	0	2	1	1	1	0	2			
			R４標本数 ②	14	3	2	1	1	1	1	3	2			
			② － ①	5	1	2	▲1				3				
		近畿	R元標本数 ①	12	0	2	5	3	1	0	1	0			
			R４標本数 ②	15	5	4	1	2	1	1	1	0			
			② － ①	3	5	2	▲4	▲1		1					
		中国	R元標本数 ①	19	1	5	5	4	3	1	0	0			
			R４標本数 ②	23	6	7	2	3	2	1	1	1			
			② － ①	4	5	2	▲3	▲1	▲1		1	1			
		四国	R元標本数 ①	4	1	0	2	0	1	0	0	0			
			R４標本数 ②	6	4	2	0	0	0	0	0	0			
			② － ①	2	3	2	▲2		▲1						
		九州	R元標本数 ①	9	3	2	3	1	0	0	0	0			
			R４標本数 ②	27	12	6	2	2	1	1	1	2			
			② － ①	18	9	4	▲1	1	1	1	1	2			
		沖縄	R元標本数 ①	0											
			R４標本数 ②	0											
			② － ①												
		関東農政局	R元標本数 ①	13	1	1	4	2	1	3	0	1			
			R４標本数 ②	20	8	4	1	2	1	1	2	1			
			② － ①	7	7	3	▲3			▲2	2				
		東海農政局	R元標本数 ①	9	2	0	2	1	1	1	0	2			
			R４標本数 ②	13	2	2	1	1	1	1	3	2			
			② － ①	4		2	▲1				3				
		中国四国農政局	R元標本数 ①	23	2	5	7	4	4	1	0	0			
			R４標本数 ②	29	10	9	2	3	2	1	1	1			
			② － ①	6	8	4	▲5	▲1	▲2		1	1			

小麦	小麦作付面積			計	5.0ha未満	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0ha以上				
		全国	R元標本数 ①	65	5	8	9	7	11	13	12				
			R４標本数 ②	100	7	8	12	8	22	21	22				
			② － ①	35	2		3	1	11	8	10				
		北海道	R元標本数 ①	16	1	2	2	2	2	4	3				
			R４標本数 ②	23	1	1	2	2	5	5	7				
			② － ①	7		▲1			3	1	4				
		東北	R元標本数 ①	6	0	1	1	1	1	1	1				
			R４標本数 ②	8	1	1	1	1	2	1	1				
			② － ①	2	1				1						
		関東・東山	R元標本数 ①	13	1	1	1	1	3	3	3				
			R４標本数 ②	14	1	1	1	1	3	4	3				
			② － ①	1						1					
		北陸	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0	0	0				
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0	0	0				
			② － ①												
		東海	R元標本数 ①	10	0	1	1	1	2	3	2				
			R４標本数 ②	17	1	0	2	1	4	5	4				
			② － ①	7	1	▲1	1		2	2	2				
		近畿	R元標本数 ①	8	1	2	2	1	1	0	1				
			R４標本数 ②	11	1	2	3	1	2	1	1				
			② － ①	3			1		1	1					
		中国	R元標本数 ①	1	1	0	0	0	0	0	0				
			R４標本数 ②	4	1	1	0	0	1	1	0				
			② － ①	3		1			1	1					
		四国	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0	0	0				
			R４標本数 ②	1	0	1	0	0	0	0	0				
			② － ①	1		1									
		九州	R元標本数 ①	11	1	1	2	1	2	2	2				
			R４標本数 ②	22	1	1	3	2	5	4	6				
			② － ①	11			1	1	3	2	4				
		沖縄	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0	0	0				
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0	0	0				
			② － ①												
		関東農政局	R元標本数 ①	13	1	1	1	1	3	3	3				
			R４標本数 ②	14	1	1	1	1	3	4	3				
			② － ①	1						1					
		東海農政局	R元標本数 ①	10	0	1	1	1	2	3	2				
			R４標本数 ②	17	1	0	2	1	4	5	4				
			② － ①	7	1	▲1	1		2	2	2				
		中国四国農政局	R元標本数 ①	1	1	0	0	0	0	0	0				
			R４標本数 ②	5	1	2	0	0	1	1	0				
			② － ①	4		2			1	1					

大豆	大豆作付面積			計	5.0ha未満	5.0～10.0	10.0～15.0	15.0～20.0	20.0～30.0	30.0ha以上					
		全国	R元標本数 ①	85	12	17	16	7	10	23					
			R４標本数 ②	171	15	22	29	15	40	50					
			② － ①	86	3	5	13	8	30	27					
		北海道	R元標本数 ①	7	1	1	2	0	1	2					
			R４標本数 ②	17	1	2	3	2	5	4					
			② － ①	10		1	1	2	4	2					
		東北	R元標本数 ①	24	3	3	3	2	3	10					
			R４標本数 ②	51	2	4	6	4	13	22					
			② － ①	27	▲1	1	3	2	10	12					
		関東・東山	R元標本数 ①	6	1	1	1	1	1	1					
			R４標本数 ②	10	1	1	2	1	2	3					
			② － ①	4			1		1	2					
		北陸	R元標本数 ①	17	2	5	4	2	2	2					
			R４標本数 ②	28	3	5	7	3	5	5					
			② － ①	11	1		3	1	3	3					
		東海	R元標本数 ①	9	1	1	1	0	1	5					
			R４標本数 ②	17	1	1	2	1	5	7					
			② － ①	8			1	1	4	2					
		近畿	R元標本数 ①	8	1	2	2	1	1	1					
			R４標本数 ②	15	2	3	4	1	3	2					
			② － ①	7	1	1	2		2	1					
		中国	R元標本数 ①	5	2	2	1	0	0	0					
			R４標本数 ②	7	3	2	1	0	1	0					
			② － ①	2	1				1						
		四国	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0	0					
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0	0					
			② － ①												
		九州	R元標本数 ①	9	1	2	2	1	1	2					
			R４標本数 ②	26	2	4	4	3	6	7					
			② － ①	17	1	2	2	2	5	5					
		沖縄	R元標本数 ①	0	0	0	0	0	0	0					
			R４標本数 ②	0	0	0	0	0	0	0					
			② － ①												
		関東農政局	R元標本数 ①	6	1	1	1	1	1	1					
			R４標本数 ②	10	1	1	2	1	2	3					
			② － ①	4			1		1	2					
		東海農政局	R元標本数 ①	9	1	1	1	0	1	5					
			R４標本数 ②	17	1	1	2	1	5	7					
			② － ①	8			1	1	4	2					
		中国四国農政局	R元標本数 ①	5	2	2	1	0	0	0					
			R４標本数 ②	7	3	2	1	0	1	0					
			② － ①	2	1				1						

農業経営統計調査の必要性等について

1　調査の目的・必要性について

農業経営統計調査は、農産物の販売を目的とする農業経営体の年間の経営及び農畜産物の生産費の実態を明らかにし、農業行政の策定・検証に必要な資料を整備することを目的としている。

調査結果は、農業経営の実態を表す基本指標として、「食料・農業・農村基本計画」（令和２年３月 31 日閣議決定）の策定、経営所得安定対策における交付金の算定、畜産物の生産者補給金単価の算定等に利用されている。

【政府内において想定される主な利活用】

(1)　営農類型別経営統計

〔区分〕

■重要な政策の立案・実施・評価のための基礎資料
■基幹統計など重要な統計作成への利用
□国際機関への提供など国際比較上の利用
□その他

〔具体的な利活用〕

- 「食料・農業・農村基本計画」と併せて策定された「農業経営の展望」に各営農類型の農業経営収支等が基礎データとして利用。
- 「食料・農業・農村基本計画」において作成される食料自給力指標の算定に各営農類型の 10ａ当たり投入労働時間が利用。
- ＥＢＰＭに基づく政策の効果測定、見直し等の基礎データとして利用。
- 「国民経済計算」、「産業連関表」、「生産農業所得統計」及び「農業・食料関連産業の経済計算」において、農業部門の投入・産出の細目を推計する上で必要な項目について基礎データとして利用。
- 施策担当部局における各種施策の検討・検証に利用。

等

(2)　生産費統計

〔区分〕

■重要な政策の立案・実施・評価のための基礎資料
□基幹統計など重要な統計作成への利用
□国際機関への提供など国際比較上の利用
□その他

〔具体的な利活用〕

- 「成長戦略」において設定された、コメの生産コスト削減に係る「成果目標」（ＫＰＩ）の進捗の評価に利用。
- 麦、大豆、原料用ばれいしょ、てんさい、そば及びなたねに係る諸外国との生産条

件の格差による不利を補正するための交付金算定に利用（農業の担い手に対する経営安定のための交付金の交付に関する法律）。

・　甘味資源作物及び国内産糖並びにでん粉原料用いも及び国内産いもでん粉についての交付金算定に利用（砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律）。

・　加工原料乳及び子牛の畜産物価格並びに肉用牛及び肉豚の経営安定交付金の算定に利用（畜産経営の安定に関する法律、肉用子牛生産安定等特別措置法）。

・　「食料・農業・農村基本計画」と併せて策定された「農業経営の展望」に各品目・畜種の生産費等が基礎データとして利用。

・　「食料・農業・農村基本計画」において作成される食料自給力指標の算定に各品目・畜種の計算単位当たり労働時間が利用。

・　施策担当部局における各種施策の検討・検証に利用。

等

２　他の統計調査との重複

本調査のように農業経営の収支及び生産費の実態を詳細にみる統計は存在しない。

３　行政記録情報等の利活用

「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」（平成十五年九月十一日法律第七十二号）に基づき、農林水産省が保有（データベースの管理については（独）家畜改良センターが実施）している「牛個体識別台帳」のデータ（調査客体が飼養している牛個体ごとの性別、品種、出生月、購入月、売却月、死亡月）を活用している。

「牛個体識別台帳」を利用することにより、当該データで把握できる事項については、当省職員において調査票に記入することができ、調査客体への聞き取り又は自計が不要となり、報告者負担の軽減が図られる。

４　事業所母集団データベースを利用した重複是正等

本調査では、調査対象名簿のデータベース照合及び代替事業所・企業の選定を、営農類型別経営統計（法人経営体）及び農産物生産費統計（組織法人経営体：米及び大豆生産費）については令和３年 12 月下旬まで、農産物生産費統計（組織法人経営体：小麦生産費）については令和４年８月下旬までに実施し、重複是正措置結果の事業所母集団データベースシステムへの登録を、営農類型別経営統計（法人経営体）及び農産物生産費統計（組織法人経営体：米及び大豆生産費）については令和４年１月下旬まで、農産物生産費統計（組織法人経営体：小麦生産費）については令和４年９月下旬までに実施することを予定している。

ただし、本調査は、次の標本選定時期に至るまで５年間調査客体を固定して実施することから、重複是正は今回１回のみとなる。

また、履歴登録は調査結果名簿を、営農類型別経営統計（法人経営体）及び農産物生産費統計（組織法人経営体：米及び大豆生産費）については令和５年６月下旬まで、農産物生産費統計（組織法人経営体：小麦生産費）については令和６年１月下旬までに提出することを予定している。